

武蔵村山市民意識調査

報 告 書

平成 26 年 3 月

武蔵村山市

目 次

第1章．調査の概要	
1．調査の目的-----	1
2．調査の方法-----	1
3．回収結果-----	2
4．報告書の見方-----	3
第2章．市民意識調査結果概要	
1．武蔵村山市に住んで感じたこと(現在の生活の満足度)-----	5
2．武蔵村山市のまちづくりの施策について-----	5
3．市のまちづくり施策への要望-----	9
4．自由意見まとめ-----	10
第3章．市民意識調査の集計結果	
1．あなた自身について-----	11
2．武蔵村山市に住んで感じたこと-----	21
(1)市の住みやすさ-----	21
(2)生活環境の満足度-----	33
3．武蔵村山市のまちづくり施策について-----	61
3-1．市民自ら考え行動するまちづくり-----	61
(1)コミュニティ-----	61
(2)パートナーシップ-----	70
3-2．安心していきいきと暮らせるまちづくり-----	77
(3)安全安心-----	77
(4)健康・医療-----	91
(5)福祉-----	113
(6)暮らし-----	130
3-3．誰もが自分らしく成長できるまちづくり-----	132
(7)人権・平和-----	132
(8)男女共同参画-----	137
(9)教育-----	237
3-4．快適で暮らしやすいまちづくり-----	245
(10)都市基盤-----	245
(11)環境-----	272
3-5．地域の資源を生かした特色あるまちづくり-----	275
(12)産業-----	275
(13)景観-----	278
3-6．計画の推進に向けて-----	283
(14)行政運営-----	283
(15)財政運営-----	293
(16)広域行政-----	297
4．市のまちづくり施策への要望-----	301
5．自由意見-----	306
第4章．資料編	
武蔵村山市市民意識調査票-----	323

第 4 章．資料編

武蔵村山市市民意識調査票

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、平成27年度をもって計画期間が満了となる第四次長期総合計画前期基本計画と、平成26年度をもって計画期間が満了となる第二次男女共同参画計画（男女Y・O・U・Iプラン）について、それぞれ次期の計画を策定することとしている。

本調査では、これらの計画の策定にあたり、市民のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ることを目的として、市民意識調査を実施した。

2. 調査の方法

（1）調査地域及び対象者

本調査の調査地域は、武蔵村山市全域とし、住民基本台帳から等間隔無作為抽出した市内在住の18歳以上の男女2,000人とした。

（2）調査期間

平成25年7月5日（金）～平成25年7月21日（日）

（3）配布・回収方法

配布はメール便、回収は郵送で行った。

（4）調査項目

①回答者の属性

1. 性別 2. 年齢 3. 居住年数 4. 居住地区 5. 居住形態 6. 未・既婚 7. 家族の人数
8. 同居者数 9. 職業 10. 通勤地・通学地 11. 主な交通手段 12. 最寄り駅までの交通手段
13. 配偶者の職業

②現在の生活の満足度

1. 市の住みやすさ 2. 生活環境の満足度

③市の施策に対しての設問

1. コミュニティ 2. パートナースhip 3. 安全安心 4. 健康・医療 5. 福祉 6. 暮らし
7. 人権・平和 8. 男女共同参画 9. 教育 10. 都市基盤 11. 環境 12. 産業 13. 景観
14. 行政運営 15. 財政運営 16. 広域行政

④市のまちづくり施策への要望

⑤自由意見

3. 回収結果

回収結果は以下の通りである。

(1) 配布枚数

○全体の対象者----- 2,000 通

(2) 回収枚数

○回収枚数-----648 通

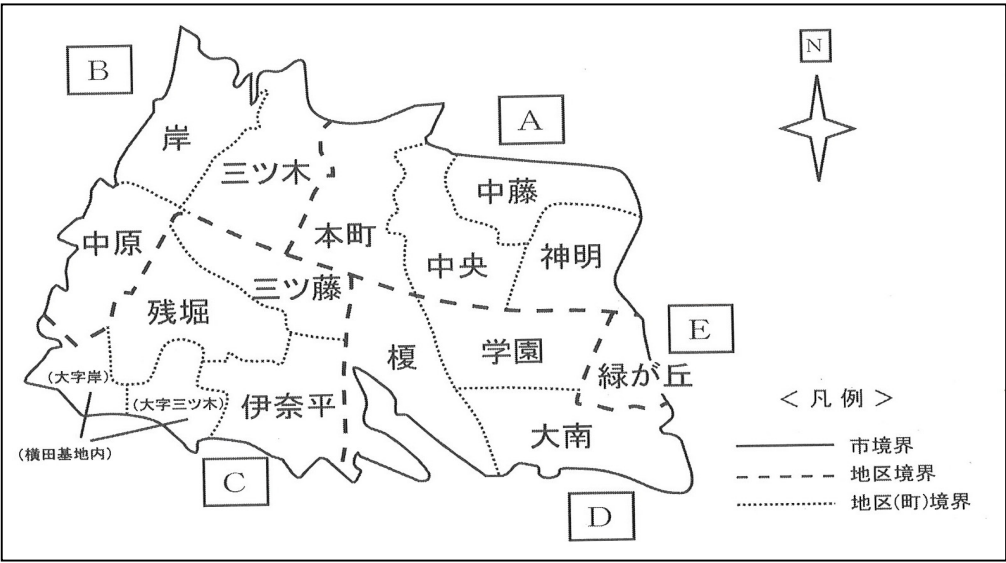
(3) 回収率

有効回答数 648 通 / 2,000 通 = 32.4%

地区別	対象者	有効回収枚数	有効回収率(%)
A地区(中藤、神明、中央、本町)	387	135	34.9
B地区(三ツ木、岸、中原)	323	93	28.8
C地区(残堀、伊奈平、三ツ藤)	439	125	28.5
D地区(榎、学園、大南)	653	220	33.7
E地区(緑が丘)	198	55	27.8
不明	—	20	—
計	2,000	648	32.4

年齢別	対象者	有効回収枚数	有効回収率(%)
10歳代	54	6	11.1
20歳代	279	56	20.1
30歳代	388	99	25.5
40歳代	429	123	28.7
50歳代	288	105	36.5
60歳代	387	154	39.8
70歳代	175	86	49.1
不明	—	19	—
計	2,000	648	32.4

○地区の位置



地 区	名 称
A 地区	中藤、神明、中央、本町
B 地区	三ツ木、岸、中原
C 地区	残堀、伊奈平、三ツ藤
D 地区	榎、学園、大南
E 地区	緑が丘

4. 報告書の見方

- ①基礎となる実数はnとして掲載した。
- ②集計結果については、百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分比の合計が100%にならないことがある。
- ③複数回答の場合は、その比率の合計が100%を上回ることがある。

第2章 市民意識調査結果の概要

1. 武蔵村山市に住んで感じたこと(現在の生活の満足度)

- 武蔵村山市に住んで感じたことについては、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が約50%を占め、「住みにくい」と「どちらかという住みにくい」は30%程度となっており、「住みやすい」と感じている方が多い割合となっている。
- 住みやすいと思う理由については、「緑が多く、自然環境が良いから」「家や土地を持っているから」「地域に愛着があるから」等となっている。また、住みにくいと思う理由は、「生活の利便性(交通・買物)がよくないから」「市に発展性がなく、将来に期待できないから」等となっている。
- 生活環境の項目では、「道路・交通の安全性」「日常の交通の便利さ」「道路の整備状況」等では、満足度が低く、満足度が高いのは、「ごみ処理の状況」「公園や緑地の状況」「日常の買物の便利さ」となっている。

2. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

2-1 市民が自ら考え行動するまちづくり

(1) コミュニティ

- 自治会については、「とても重要である」と「どちらからといえば重要」の回答が約40%を占めている。一方で加入状況を見ると、「加入している」の約40%に対し、「加入していない」が約50%と、未加入者の割合が高くなっている。
- 自治会に加入しない理由については、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」「いずれ役員等を務めることになり面倒である」等の意見が多く見られる。

(2) パートナーシップ

- 市政に関する情報の入手方法については、主に「市報、広報誌」が約80%を占めている。
- 市民参加の形については、「市民参加が難しい」が約40%を占めている。

2-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

(3) 安全安心

- 震災が起こった場合に心配なのは、「地震による建物等の倒壊・損壊」が約45%と高く、次に「家族の安否確認」が約40%を占めている。
- 避難場所については、「知っている」が約75%と高い値を占める一方で、防災の準備に関しては「特に準備していない」が約50%に対し「準備している」は約40%にとどまっている状況である。
- 防災の準備については、「水や食料の備蓄」が約80%と高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」が約60%で、以下「家具の転倒防止」が約50%となっている。
- 本市における災害への取組については、「どちらともいえない」が約30%が高く、次に「わからない」が約20%となっており、認知度が低い。
- 今後の取組に望まれている項目については、「必要物資の備蓄」が約50%と高く、次に「避難場所や避難路の充実」が約30%となっている。

(4)健康・医療

- 市の健康診断等の利用については、「健康診断を受けたことがある」が約 45%と高く、次に「知っているが利用したことがない」が約 30%となっており、認知度は比較的高いと言える。
- 市内のスポーツ・レクリエーション施設の整備状況については、「どちらともいえない」が約 25%と高く、次に「わからない」が約 16%を占め施設の認知度は低く、施設が充実していると思わない理由として、「施設が遠く、又は、交通の便が利用しにくいから」が約 50%と高い値となっている。
- 「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」が約 30%と高い割合となっている。
- 医療機関が身近に整っているかについては、「そう思う」が約 55%と高い値となっている。
- ジェネリック医薬品の使用については、「使ったことがある」が約 60%と高い割合となっているが、一方、使用しなかった理由については、「医師や薬剤師に勧められなかった」が約 50%と高い割合となっている。
- ジェネリック医薬品の普及に関しては、「医療費の抑制に効果的で、今後も利用したい」が約 65%と高く、必要と思われる。
- 社会保障制度については、「ある程度の個人負担はやむを得ない」が約 50%と高く、その負担は「全ての世代で支えていくべき」が約 40%と高い割合となっている。

(5)福祉

- 高齢社会に向けての施策については、「高齢者の雇用・就業機会の確保」「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」等が重要とされている。
- 障害者の自立支援に必要な施策については、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」「障害者の雇用・就業機会の確保」等が重要とされている。
- 子育て支援で必要な施策については、「未就学児の保育サービスの充実」「子育てをする世代への経済的支援」「魅力ある遊び場の確保」等が必要とされている。
- 少子化対策の支援や体制については、「経済的支援措置」「子どもを預かる事業の拡充」等が必要とされている。

(6)暮らし

- 消費者支援で取り組むべき施策については、「消費者相談サービスの充実」「消費生活情報の収集と提供体制の強化」が必要とされている。

2-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

(7)人権・平和

- 人権の尊重については、「どちらかといえばそう思う」が約 30%、「そう思う」が約 25%と、半数強の人は、自分又は家族の人権が尊重されていると考えている。
- 「そう思わない」理由としては、「プライバシーの侵害」「思想・信条に基づく差別」「学歴に対する差別」「男女（性）差別」「職業に対する差別」など、身の回りの様々な部分で人権に対する差別が挙げられている。

(8) 男女共同参画

- 男女の地位の平等については、「学校教育の場」「家庭生活の場」「法律の制度上」で男女平等が守られているという結果となっている。
- 男女共同参画で知っている言葉について、「ドメスティック・バイオレンス」の認知度が約 80%と高い、一方、「ワーク・ライフ・バランス」「ジェンダー」「ポジティブ・アクション」の認知度が低い。
- 家庭内の役割については、男性で「主に配偶者」が、女性で「主に自分」が役割としている傾向が高く、家事や教育等において女性が担っている場面が多いことが伺える。
- 結婚・出産後も働き続けるには、また、女性が再就職するためには、「保育施設や学童クラブの充実」「労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実」「家庭の理解や家事・育児などへの参加」等が必要とされている。
- 職場における男女平等については、「平等」なのは「研修の機会や内容」「採用時の条件」「賃金」「仕事の内容」等となっている。
- 職場で休業・休暇の制度が活用されていない理由としては、「在職中に取得する必要がなかった」が最も回答が多くなっている。
- 生活の中での優先度と現状については、「生活と仕事を両方優先したい」が約 30%、「家庭生活を優先したい」約 20%となっているものの、現実には「仕事を優先したい」が約 23%、「家庭生活を優先したい」が約 22%となっており、生活と仕事を両立するのは難しいという結果が伺える。
- ドメスティック・バイオレンスについては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきでない」が約 70%と高く、次に「DVは人権を侵害する行為である」が約 50%と高い割合となっている。
- 配偶者からの暴力などについては、「まったくない」が約 70%と高い割合となっている。また、相手から受けた行為についての相談については、「相談しようと思わなかった」が約 45%と高く、次に「相談した」が約 30%となっている。その相談相手は、「家族・親戚」「友人・知人」が多く。一方で、相談しなかった理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」との回答が多くなっている。
- 暴力を防止するためには、「被害者が早期に相談できる身近な相談窓口を増やす」が約 54%と高く、次に「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」約 40%が必要と思われる。また、身近なところに相談できる機会や場所があることが大切とする意見が多くなっている。
- 男女共同参画の進めている事業などについては、「知らない」が約 70%と高く、情報誌についても「読んだことがない」が約 80%を占め認知度が低い。
- 男女共同参画の拠点施設である男女共同参画センターについては、「知らない」が約 80%を占め認知度が低い。
- 男女共同参画センターの事業については、「わからない」が約 40%と高い割合となっている。
- 社会全体として必要なことは、「子どものときから家庭や学校で、男女の平等について教えること」「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう就労時間や制度を見直すこと」等が必要と思われる。
- 市としての取組については、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が必要と思われる。

(9)教育

- 教育を充実させるためには、「子どもたちの基礎的な学力の向上」「子どもたちの体力・健康の向上」「心の教育の充実」「いじめの対策の強化」等の充実が望まれている。
- 生涯学習を充実させるためには、「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通じて提供する」「学習するための施設の充実」「講座や教室の内容の充実」等の充実が望まれている。

2-4 快適でくらしやすいまちづくり

(10)都市基盤

- 土地利用については、「緑豊かな緑地の保全」「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」等が望まれている。
- 都市基盤整備については、「モノレールの早期延伸」「バリアフリー化の推進、歩道の整備、歩車道の分離」「バス路線の増加・充実」「身近な生活道路の整備、道路の拡幅」「雨水排水の整備」等が望まれている。
- 交通手段の充実については、「駅」が約60%と高く、最寄駅までの公共交通の充実が望まれている。
- 現在のモノレールについては、「利用していない」が約45%と高く、モノレールが延伸した場合の利用は「遊びの利用」「買物等の利用」「通勤・通学の利用」等が期待されている。
- 移動時間と移動手段では、移動時間が5分～10分以内の身近な商店へは徒歩や自転車を利用し、20分以内～20分超える移動時間では、大規模な店舗などへ自動車やバス等を利用する人が多くなっている。

(11)環境

- 環境づくりについては、「公園や緑地などの身近な緑の保全」「家庭・事業所などから出るごみの減量」「リサイクルの推進」等の取組が期待されている。

2-5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

(12)産業

- 産業振興については、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」「地産地消」「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」等による振興が望まれている。

(13)景観

- まちなみの保全については、「どちらかといえばそう思う」が約30%と高く、次に「どちらともいえない」が約28%となっている。
- まちなみの保全に「そう思わない」理由については、「緑地に親しめる公園が少ない」「電線・電柱が多い」「水辺に親しめる公園が少ない」「自転車が雑然と置かれている」「住宅・店舗・工場など混在している」等が挙げられている。

2-6 計画の推進に向けて

(14) 行政運営

- 行政サービスの満足度については、「どちらともいえない」が約 40%と高く、次に「どちらかといえ
ば満足している」が約 25%となっている。また、満足していない理由については、「市の職員と接し
たときの対応が悪かった」「対応に時間がかかった」等が挙げられている。
- インターネットを活用した行政サービスについては、「証明書発行の申請」「公共施設の予約」「医療・
福祉サービスの申請」等の充実が望まれている。

(15) 財政運営

- 市の財政運営については、「市民の負担を抑えた財政運営を行うべきである」「公共施設等のあり方を見直し、市民の負担の増加を極力抑えた財政運営を行うべきである」等の取組が望まれている。
- 公共施設使用料の負担については、「施設の利用者が一部負担すべきである」が約 50%と高い割合となっている。

(16) 広域行政

- 広域行政については、「狭山丘陵などの観光資源の活用」「図書館・集会施設の広域利用」「コミュニティバスの連携」が望まれている。

3. 市のまちづくり施策への要望

- 市のまちづくり施策への要望として、以下の項目が上位に挙げられており、多摩都市モノレールへの期待が高いと同時に、周辺の鉄道駅を含む交通結節点へのバス交通の充実に対する要望が強い。
- 東日本大震災以降、防災意識が向上しており、防災対策の充実・強化が次点に挙げられている。

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 1 位 | 道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備 |
| 2 位 | 防災対策の充実・強化 |
| 3 位 | 子育て支援の推進 |
| 4 位 | 高齢者施設の充実 |
| 5 位 | 防犯対策の充実・強化 |

4. 自由意見まとめ

- 自由意見の内容を大項目で整理（複数の項目にまたがる意見は分割してカウント）した結果、行財政運営や行政サービスに関する不満等の意見が多く見られた。
- 上記のまちづくり施策への要望同様、交通環境の充実に関する意見も多く挙げられている。
- 当アンケートの設問数の多さや設問のわかりにくさ等を指摘する意見も見られた。

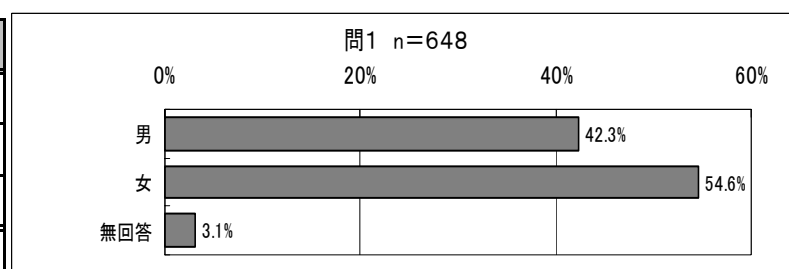
○行財政運営、サービスの向上	40 件
○市のまちづくり全般	25 件
○モノレールの整備	20 件
○交通環境の整備	14 件
○公園・緑地の整備	12 件
○居住環境の整備	10 件
○当アンケートに対する意見	8 件

第3章 市民意識調査の集計結果

1. あなた自身について

問1 あなたの性別について

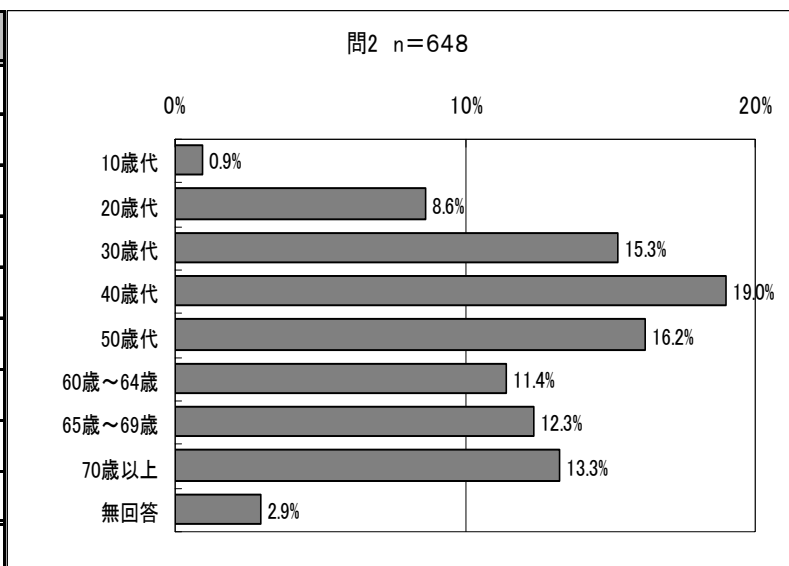
項目	回答数	構成比
1. 男	274	42.3%
2. 女	354	54.6%
無回答	20	3.1%
計	648	100.0%



○性別については、「女性」が54.6%と高く、「男性」が42.3%となっている。

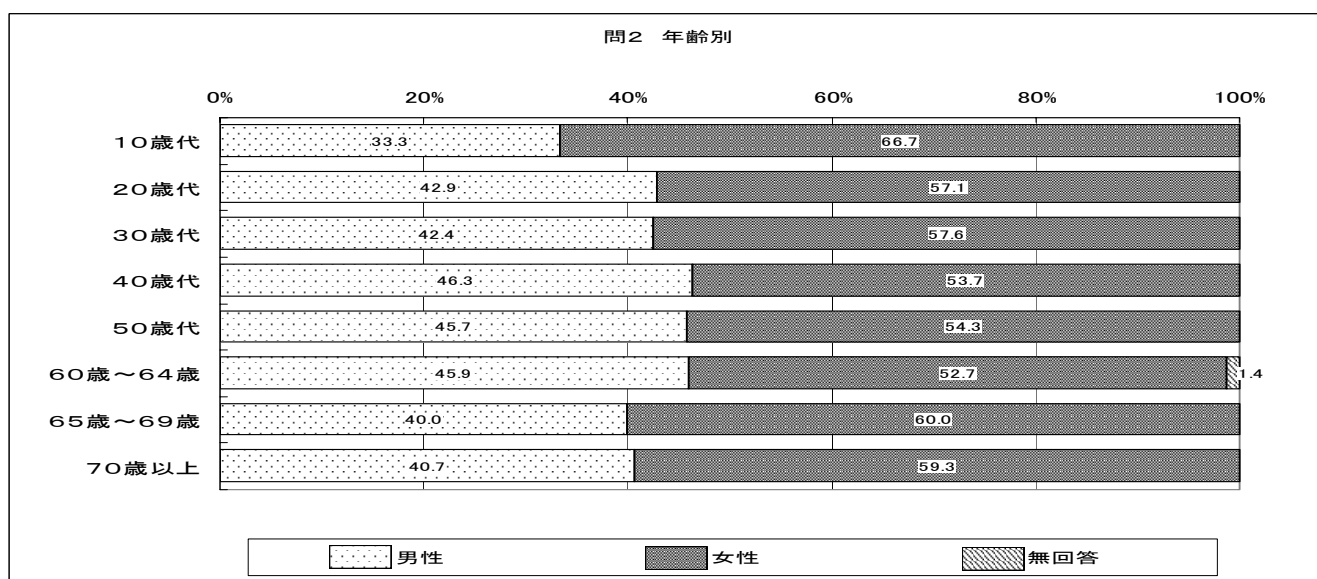
問2 あなたの年齢について

項目	回答数	構成比
1. 10歳代	6	0.9%
2. 20歳代	56	8.6%
3. 30歳代	99	15.3%
4. 40歳代	123	19.0%
5. 50歳代	105	16.2%
6. 60歳～64歳	74	11.4%
7. 65歳～69歳	80	12.3%
8. 70歳以上	86	13.3%
無回答	19	2.9%
計	648	100.0%

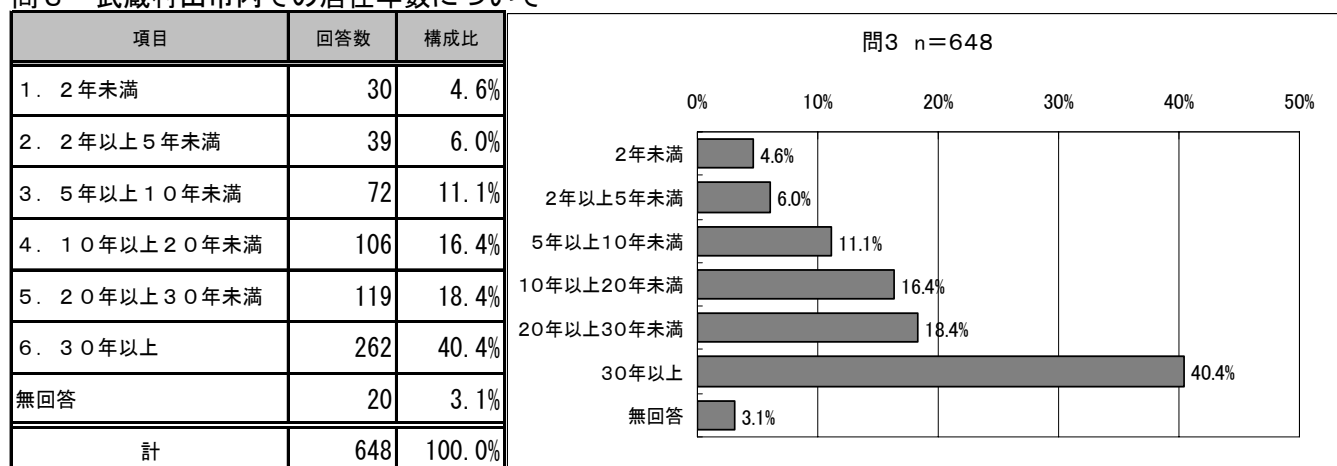


○年齢別については、「40歳代」が19.0%と高く、次に「50歳代」が16.2%で、以下「30歳代」が15.3%となっている。

○各年齢別においても女性の割合が高い傾向となっている。

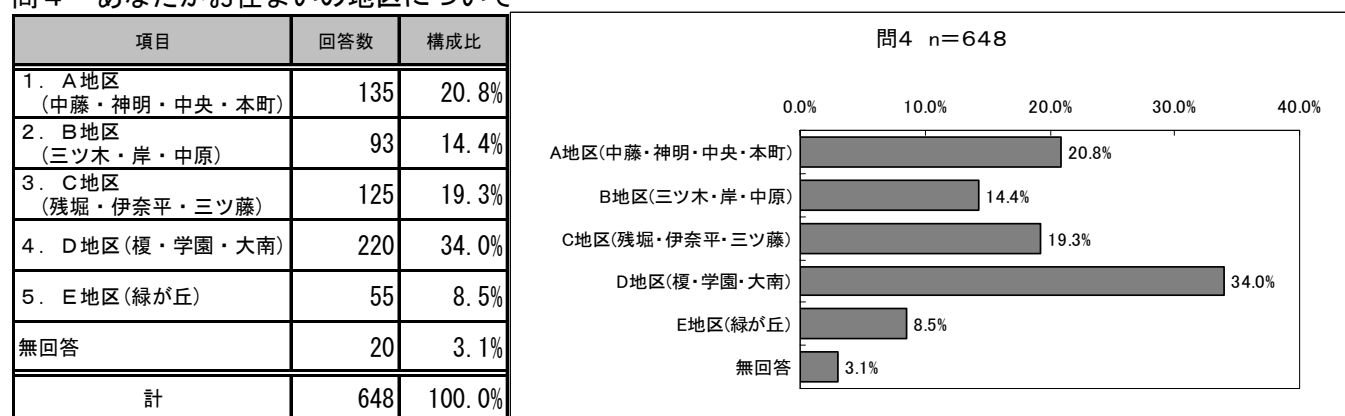


問3 武蔵村山市内での居住年数について



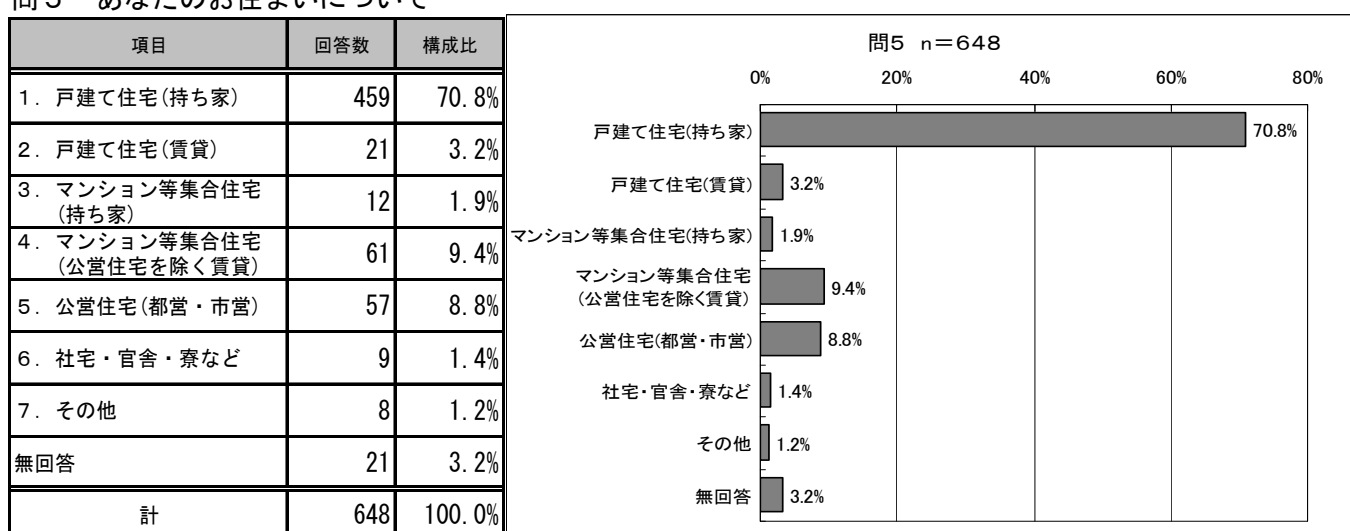
○居住年数については、「30年以上」が40.4%と高く、次に「20年以上30年未満」が18.4%で、以下「10年以上20年未満」が16.4%となっている。

問4 あなたがお住まいの地区について

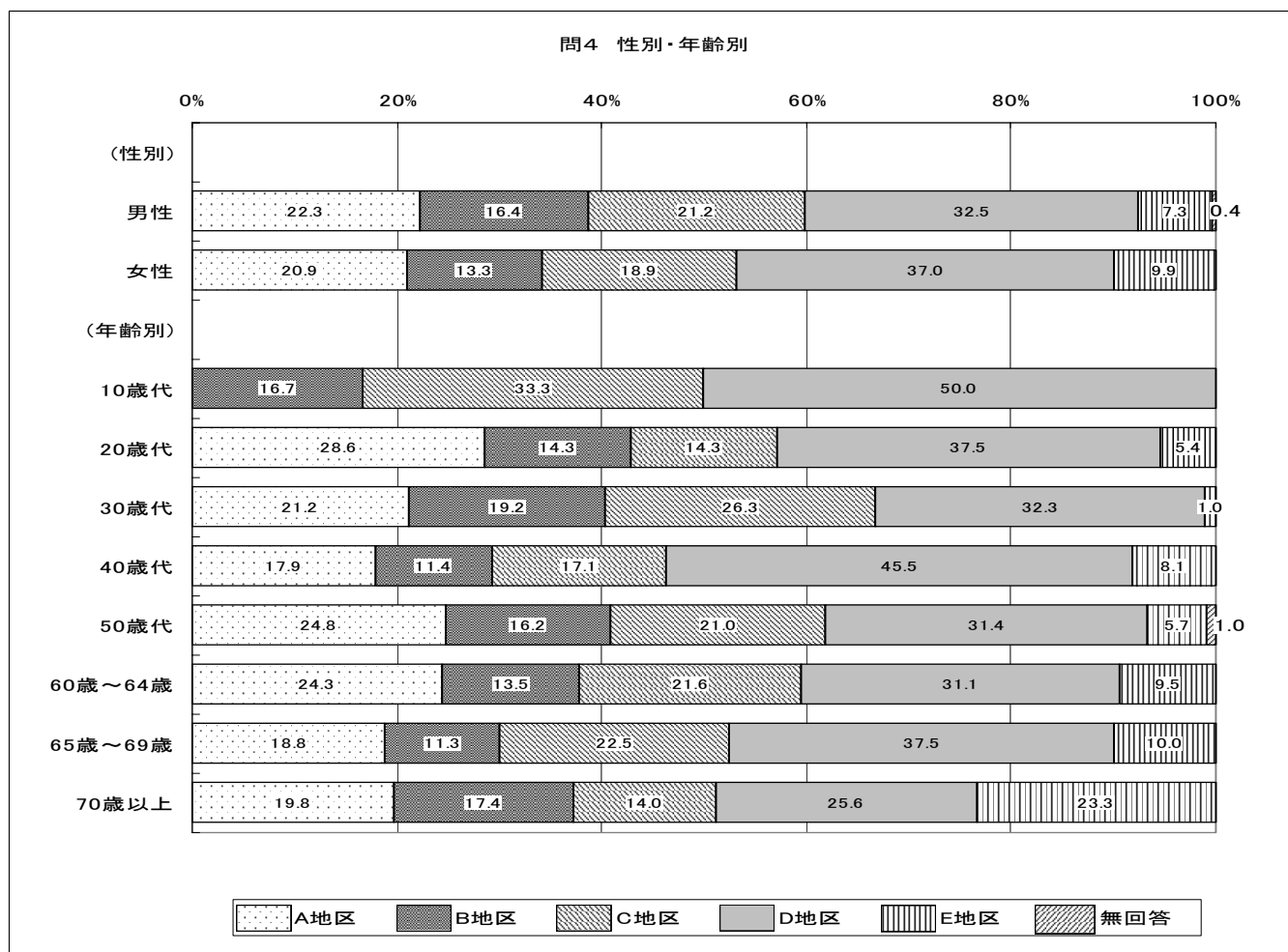


○居住地区については、「D地区(榎・学園・大南)」が34.0%と高く、次に「A地区(中藤・神明・中央・本町)」20.8%で、以下「C地区(残堀・伊奈平・三ツ藤)」19.3%となっている。

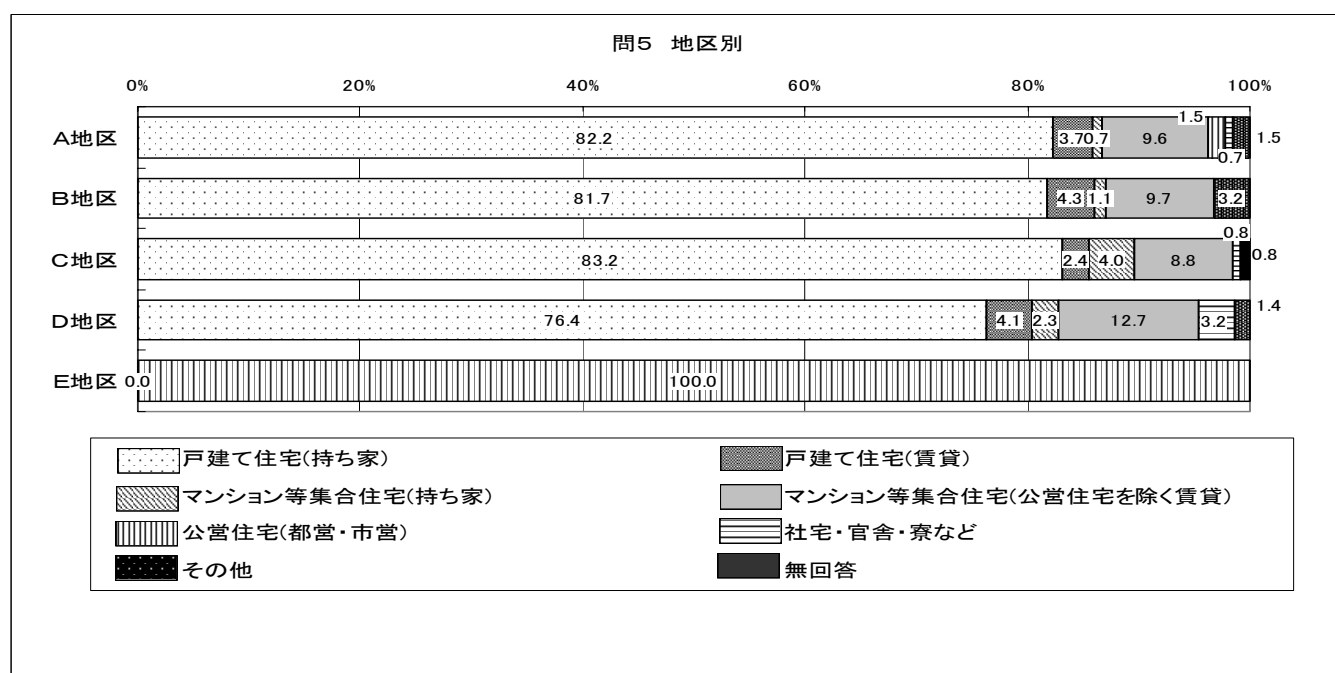
問5 あなたのお住まいについて



○住まいについては、「戸建て住宅(持ち家)」が70.8%と高く、次に「マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)」9.4%、以下「公営住宅(都営・市営)」8.8%となっており、持ち家率が高いことが伺える。



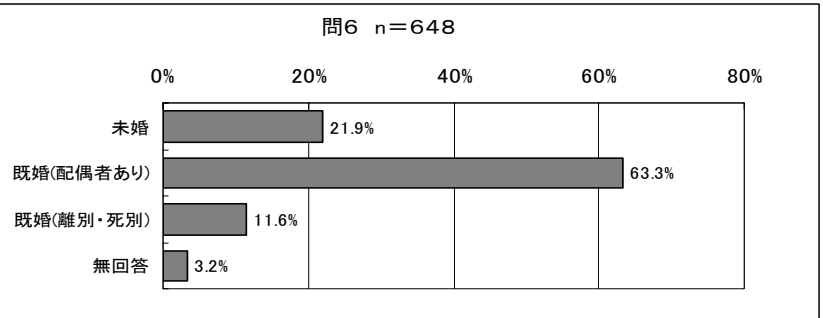
○居住地区では、年齢別の「70歳以上」が23.3%と高い値を示している。



○住まいの形態では、地区別のE地区で「公営住宅(都営・市営)」に住んでいる方が100%となっている。

問6 あなたは結婚していますか。

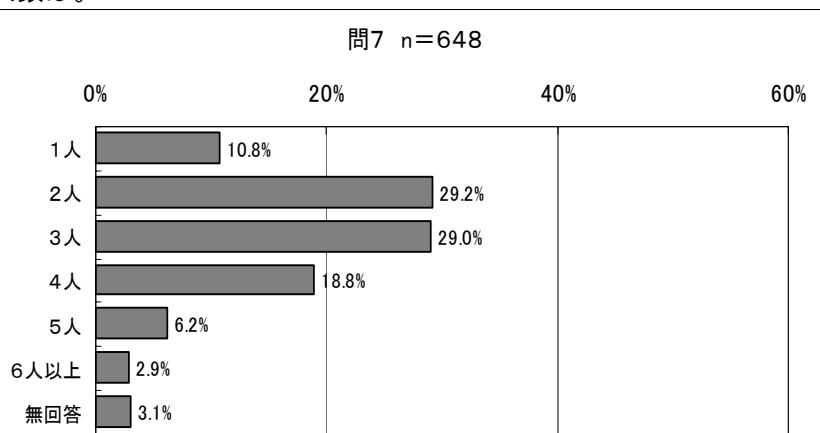
項目	回答数	構成比
1. 未婚	142	21.9%
2. 既婚(配偶者あり)	410	63.3%
3. 既婚(離別・死別)	75	11.6%
無回答	21	3.2%
計	648	100.0%



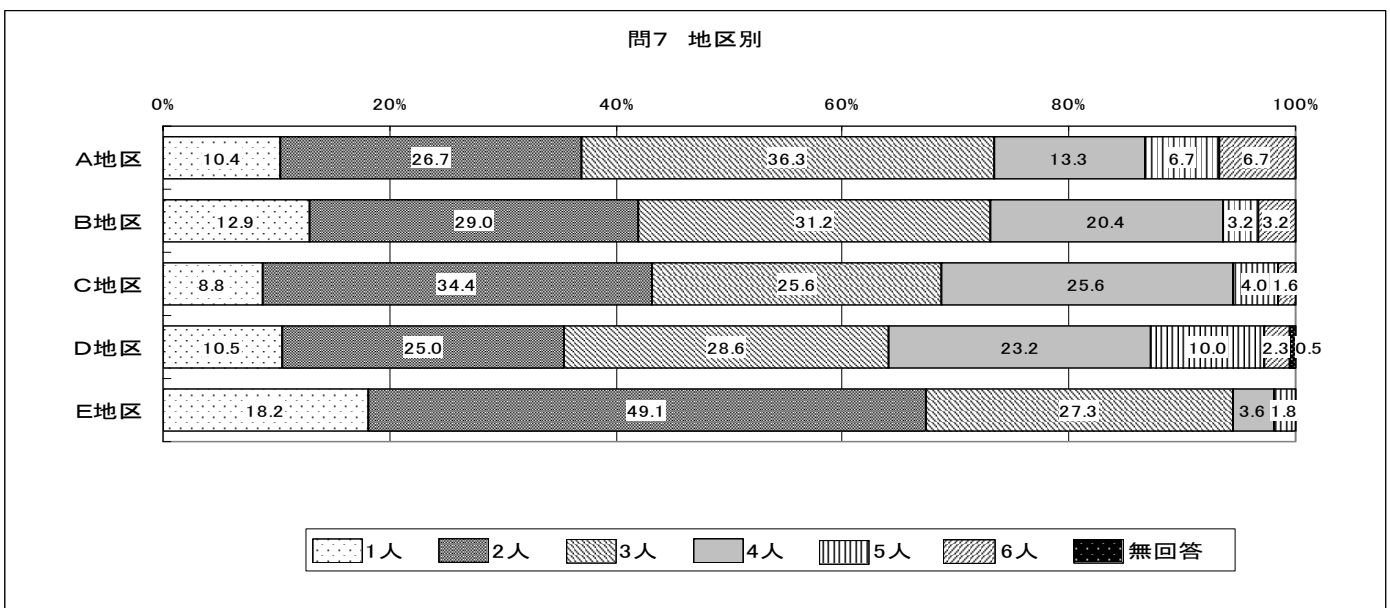
○結婚については、既婚（配偶者あり）が63.3%と高く、次に未婚21.9%で、以下既婚（離別・死別）11.6%となっている。

問7 あなたを含む同居している家族の人数は。

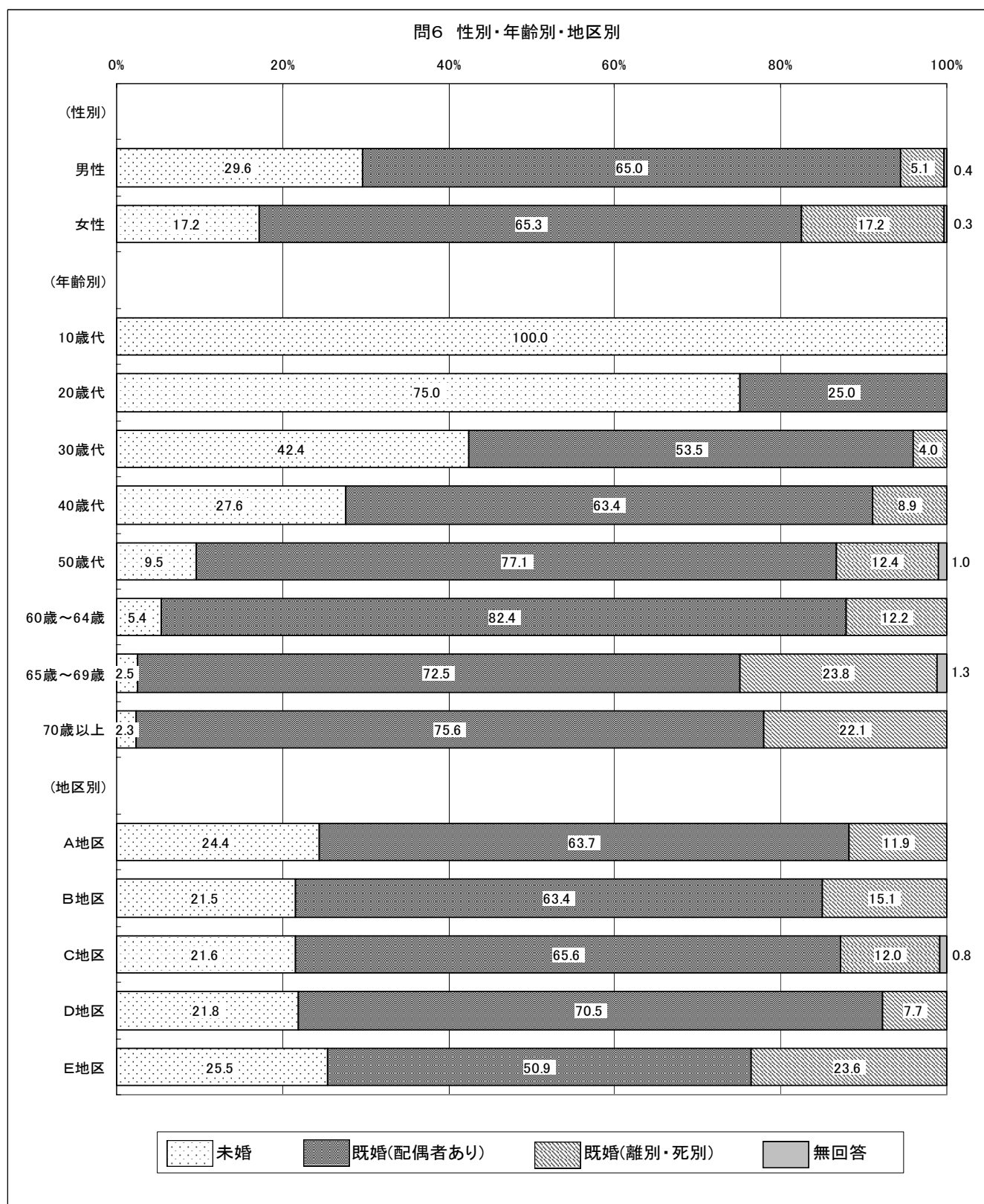
項目	回答数	構成比
1. 1人	70	10.8%
2. 2人	189	29.2%
3. 3人	188	29.0%
4. 4人	122	18.8%
5. 5人	40	6.2%
6. 6人以上	19	2.9%
無回答	20	3.1%
計	648	100.0%



○同居している家族の人数については、「2人」が29.2%と高く、次に「3人」が29.0%で、以下「4人」が18.8%、「1人」が10.8%となっている。

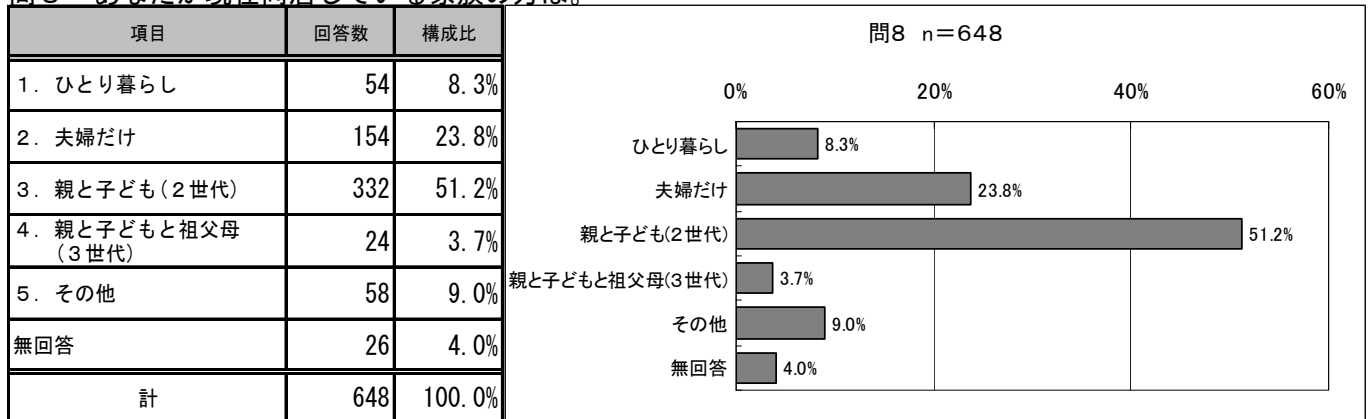


○家族の人数では、E地区の「2人」が49.1%と他の地区より高く、「4人」は3.6%と低い値となっている。



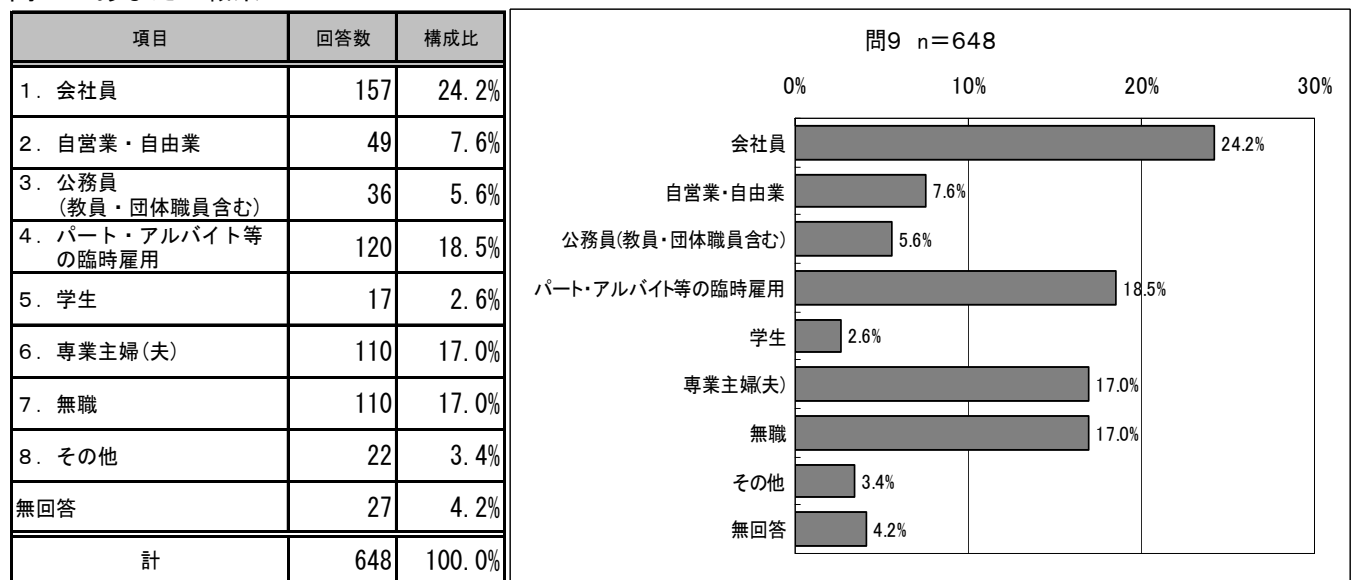
○性別では、女性の「既婚(離別・死別)」が、17.2%と男性の5.1%より、3倍と高い値となっている。
 ○年齢別では、「既婚(離別・死別)」が、65歳～69歳と70歳以上で20%以上と高い値となっている。
 ○地区別では、E地区で「既婚(離別・死別)」が23.6%と他の地区より高い値となっている。

問8 あなたが現在同居している家族の方は。



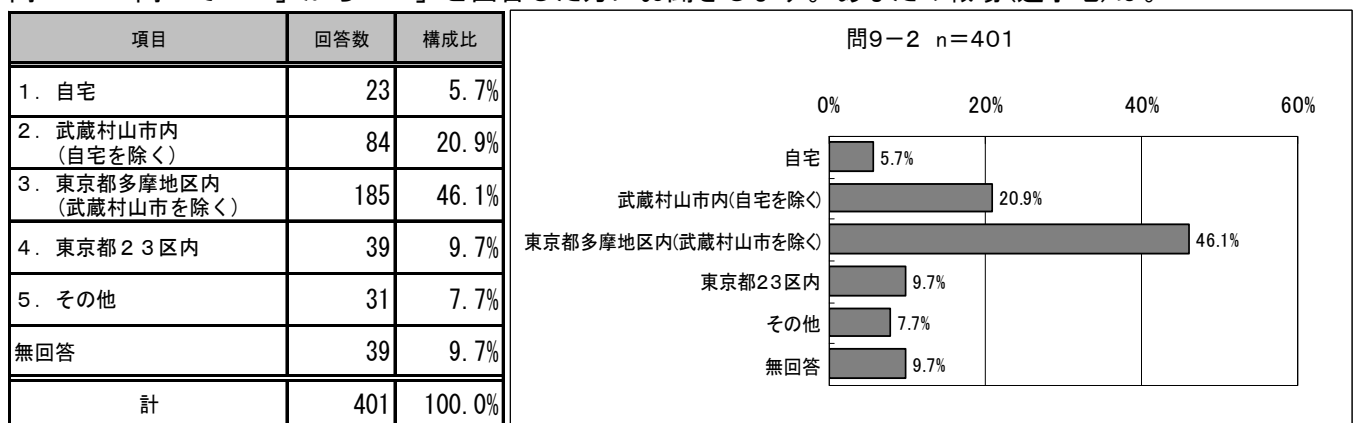
○同居している家族については、「親と子ども(2世代)」が 51.2%と高く、次に「夫婦だけ」23.8%で、以下「その他」9.0%、「ひとり暮らし」8.3%となっている。

問9 あなたの職業について

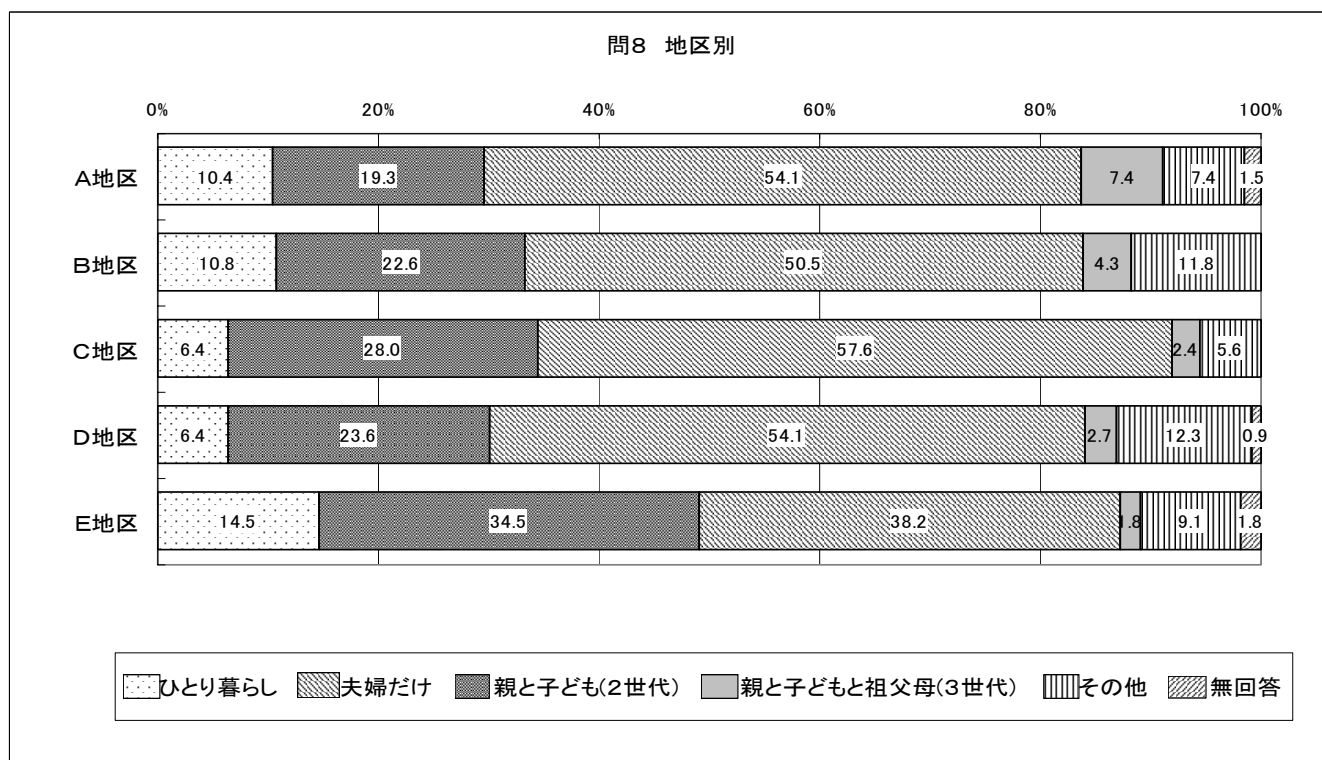


○職業については、「会社員」が 24.2%と高く、次に「臨時雇用(パート等)」が 18.5%で、以下「専業主婦(夫)」が 17.0%、「無職」が 17.0%となっている。

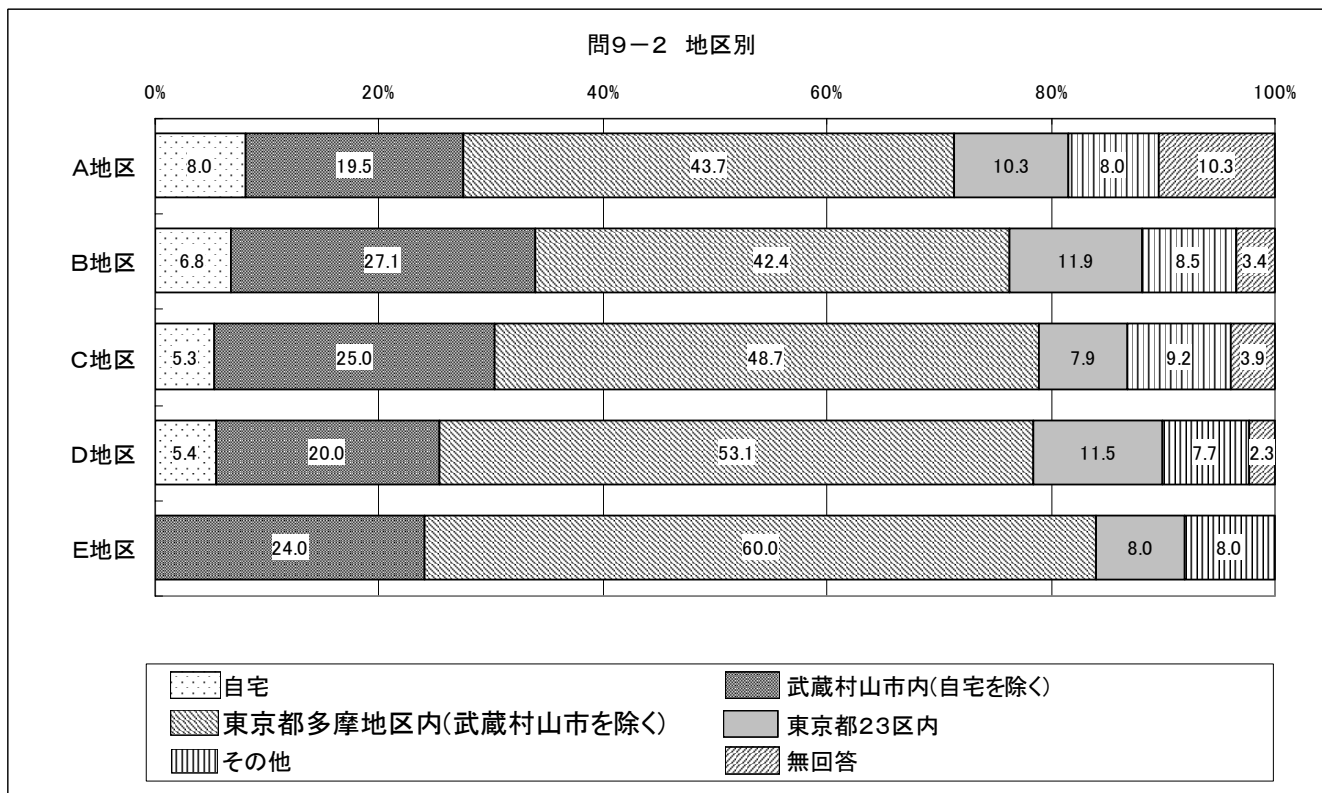
問9-2 問9で「1」から「5」と回答した方にお聞きします。あなたの職場(通学地)は。



○職場(通学地)の所在地については、「多摩地区内(武蔵村山市を除く)」が 46.1%と高く、次に「武蔵村山市内(自宅を除く)」20.9%となっており、半数近くの人が市外への通勤・通学を行っている。

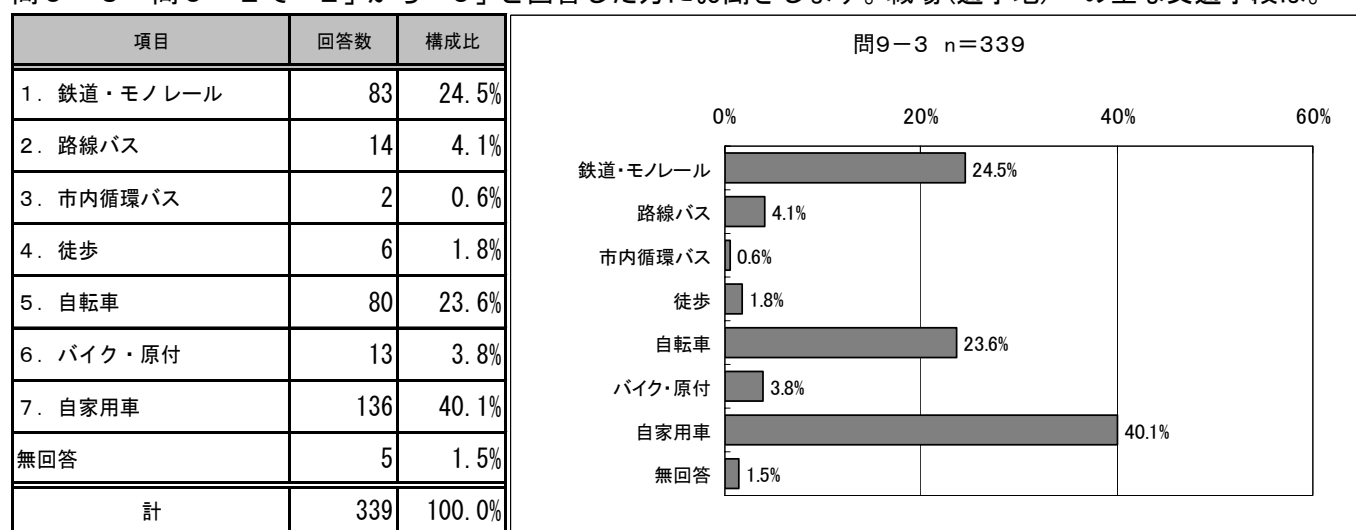


○地区別では、E地区の「ひとり暮らし」が14.5%、「夫婦だけ」が34.5%と他の地区より高い値となっている。



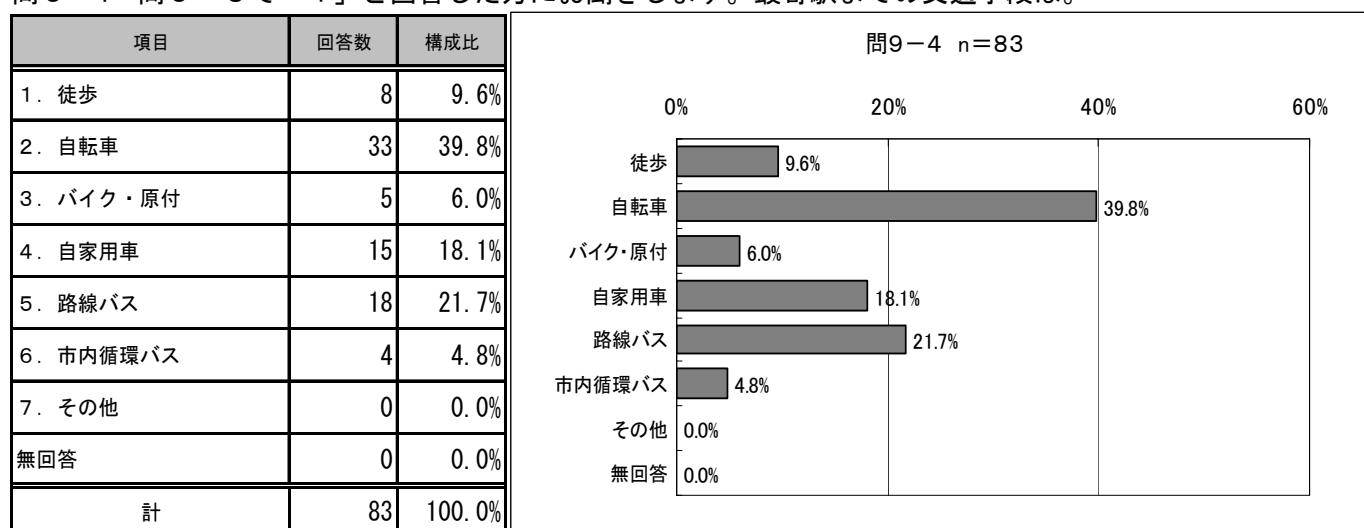
○地区別では、E地区の「東京都多摩地区(武蔵村山市を除く)」が60.0%と高い値となっている。

問9-3 問9-2で「2」から「5」と回答した方にお聞きします。職場(通学地)への主な交通手段は。

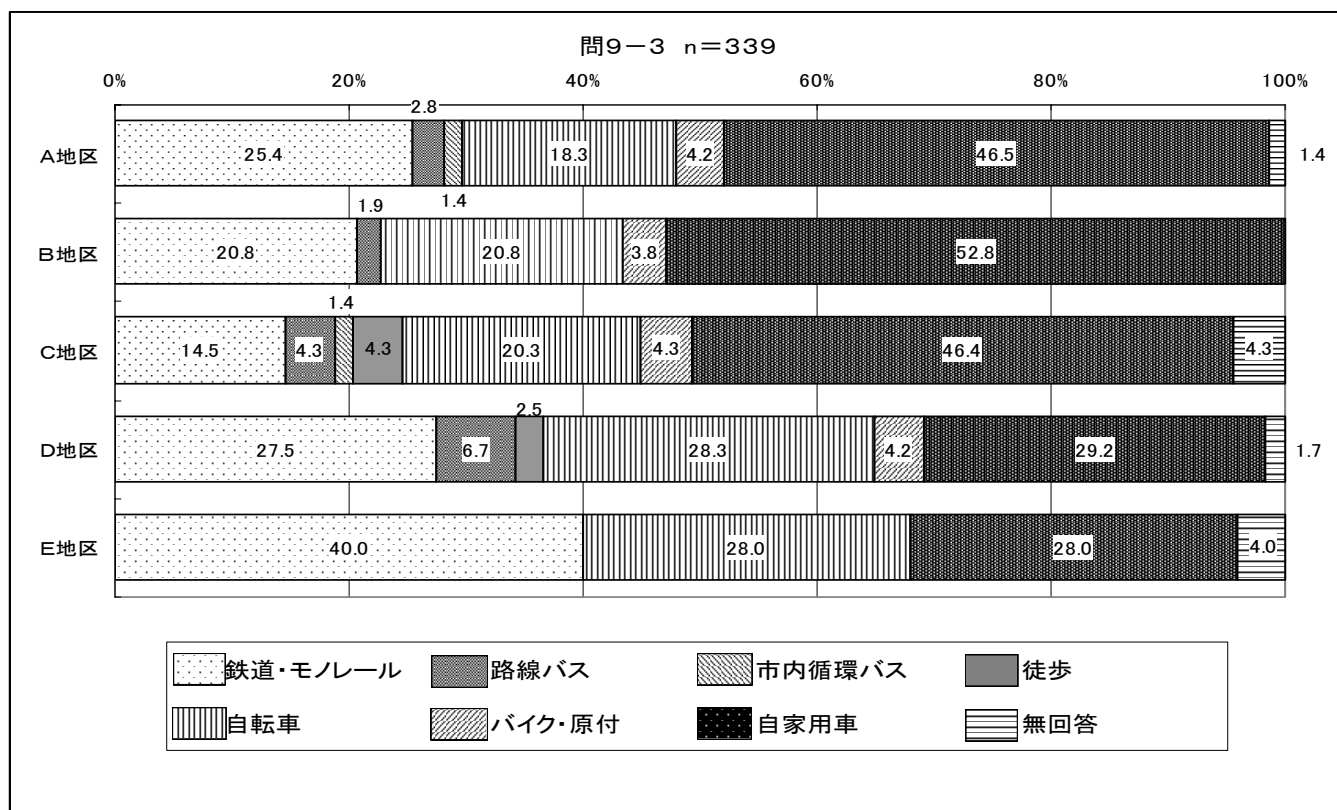


○職場への交通手段については、「自家用車」が40.1%と高く、次に「鉄道・モノレール」が24.5%で、以下「自転車」が23.6%となっており、自家用車への依存度が高い。

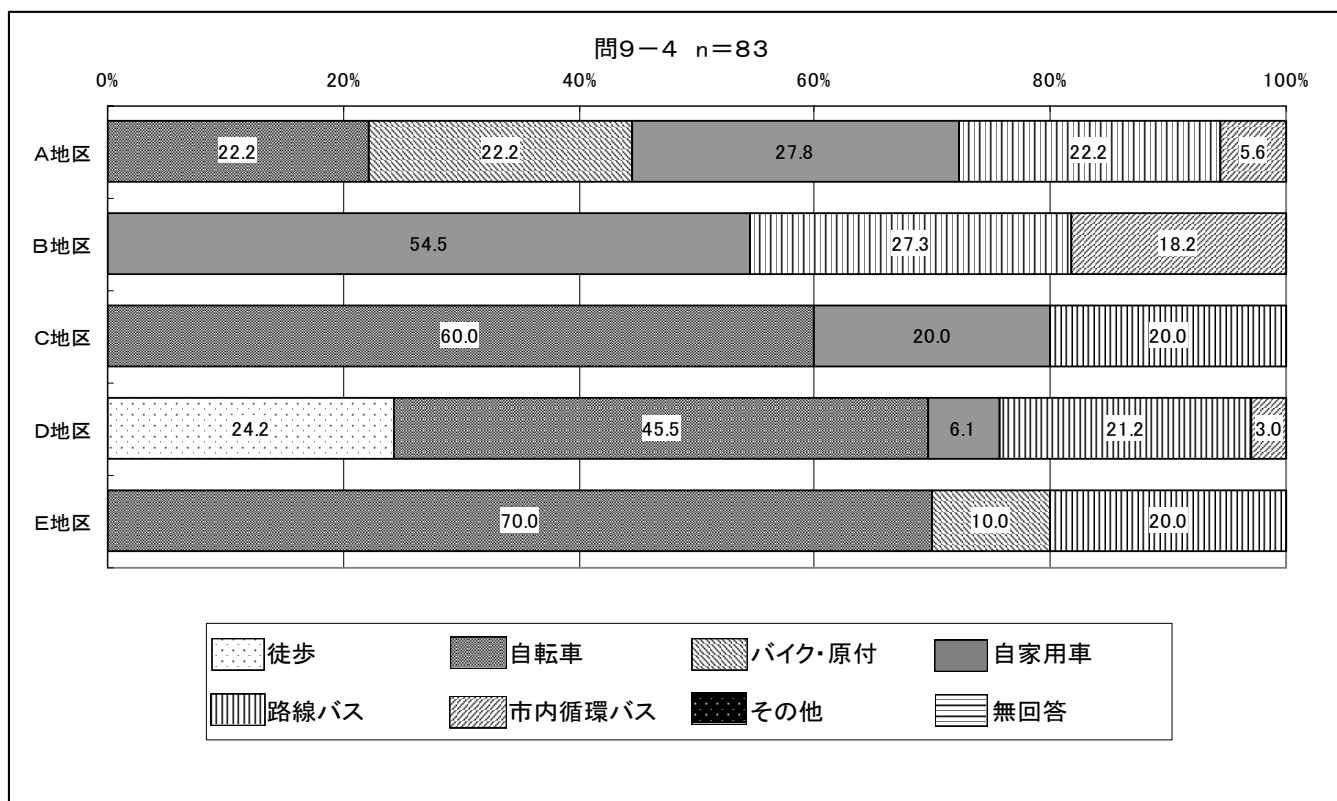
問9-4 問9-3で「1」と回答した方にお聞きします。最寄駅までの交通手段は。



○最寄の駅までの交通手段については、「自転車」が39.8%と高く、次に「路線バス」が21.7%で、以下「自家用車」が18.1%となっている。



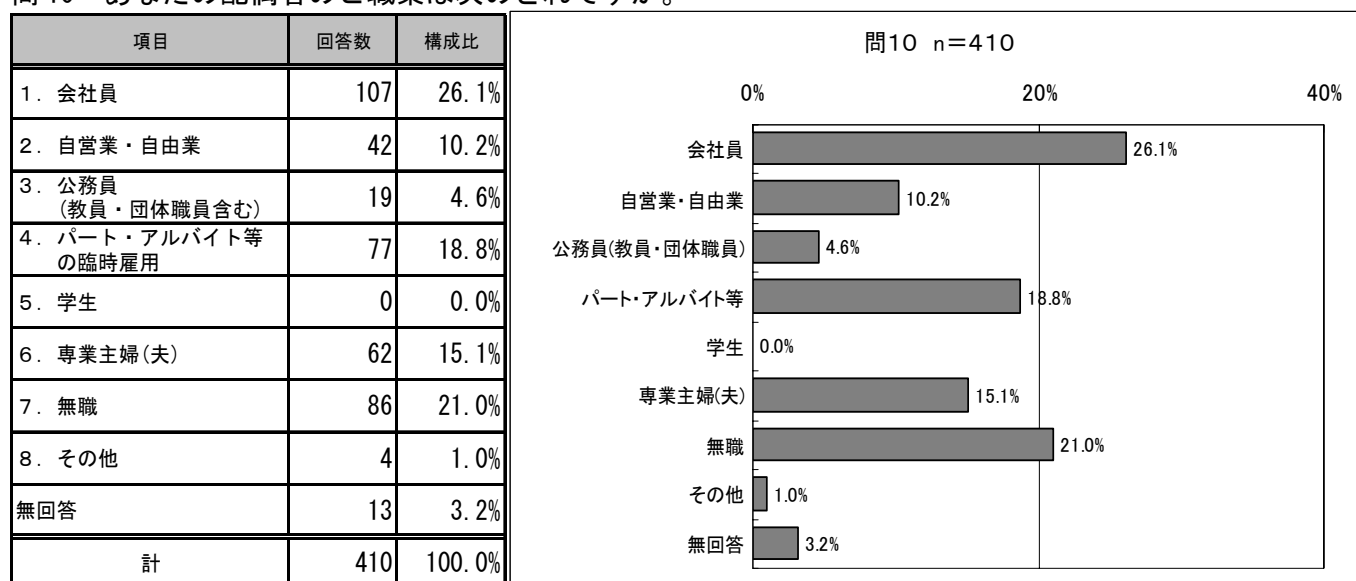
○主な交通手段については、地区別で「自家用車」の利用が高い値となっているが、E地区では、「鉄道・モノレール」が40.0%と高い値となっている。



○最寄駅までの交通手段については、E地区とC地区で「自転車」の利用が70.0%～60.0%と高い一方、B地区での「自家用車」54.5%の利用が高い値となっている。

【結婚している方のみお答えください】

問10 あなたの配偶者のご職業は次のどれですか。



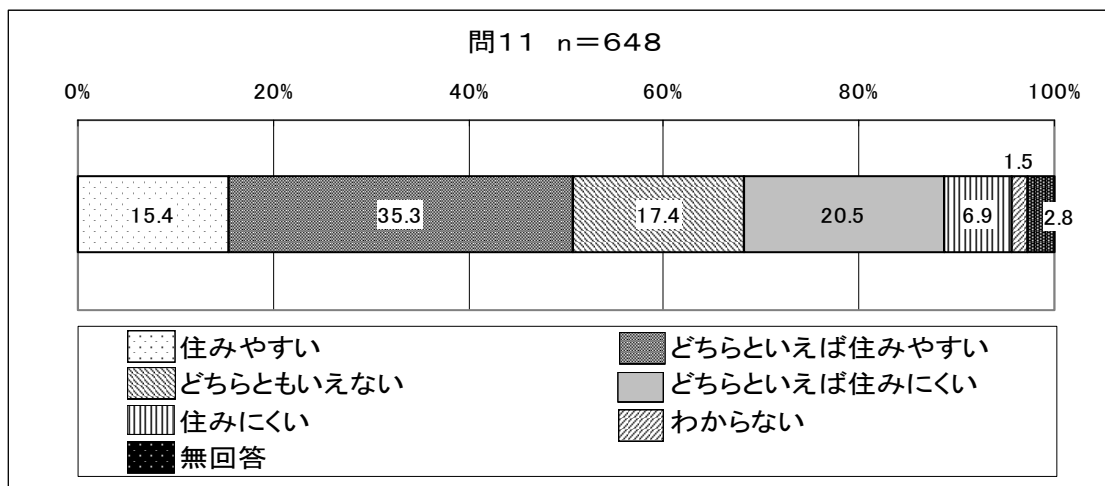
○配偶者の職業については、「会社員」が26.1%と高く、次に「無職」が21.0%で、以下「パート・アルバイト等」が18.86%となっている。

1. 武蔵村山市に住んで感じたこと

(1) 市の住みやすさ

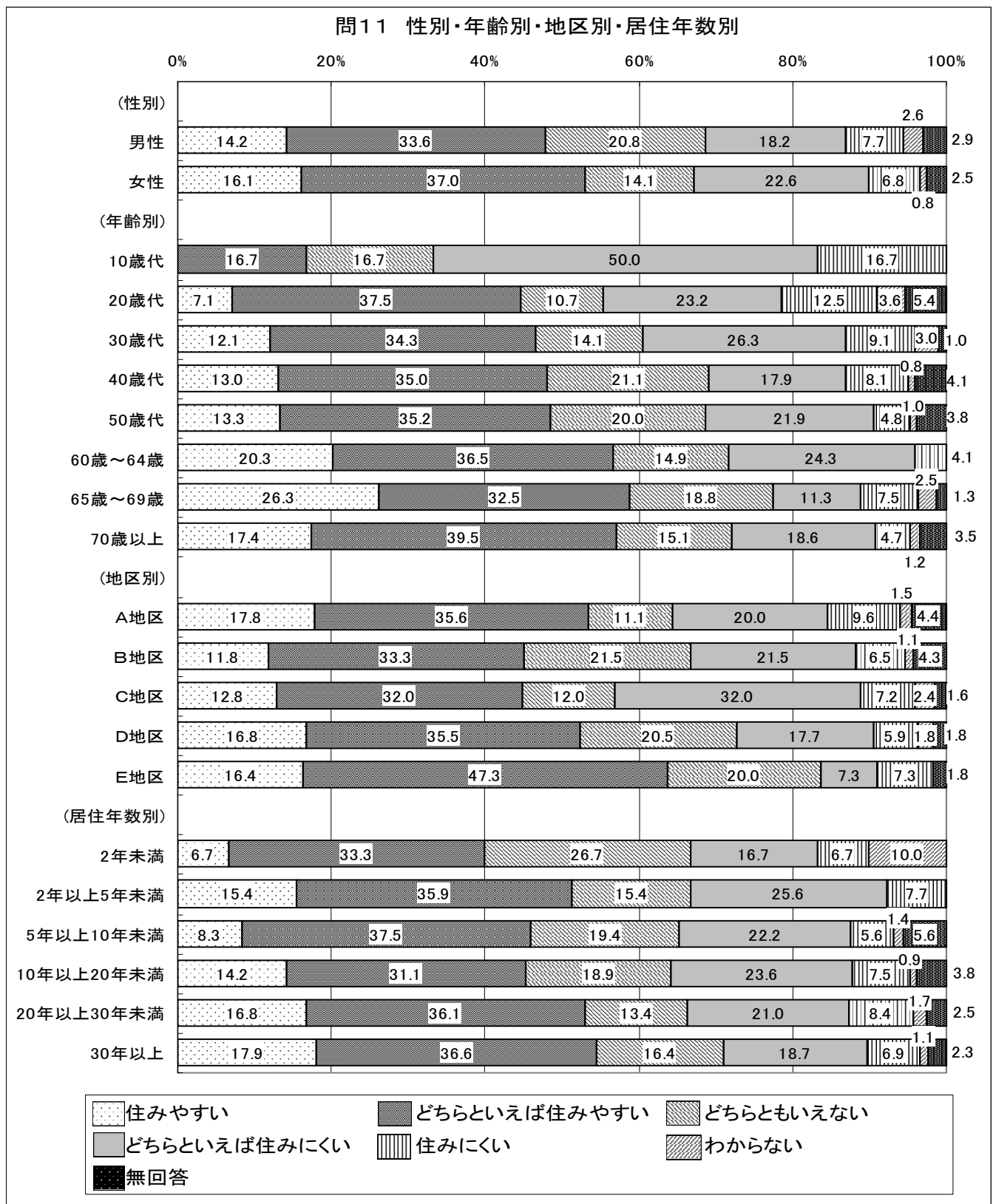
問11 武蔵村山市は住みやすいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」が 35.3%と多く、次に「どちらかといえば住みにくい」が 20.5%となっている。

○「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を含めると 50.7%となっている。



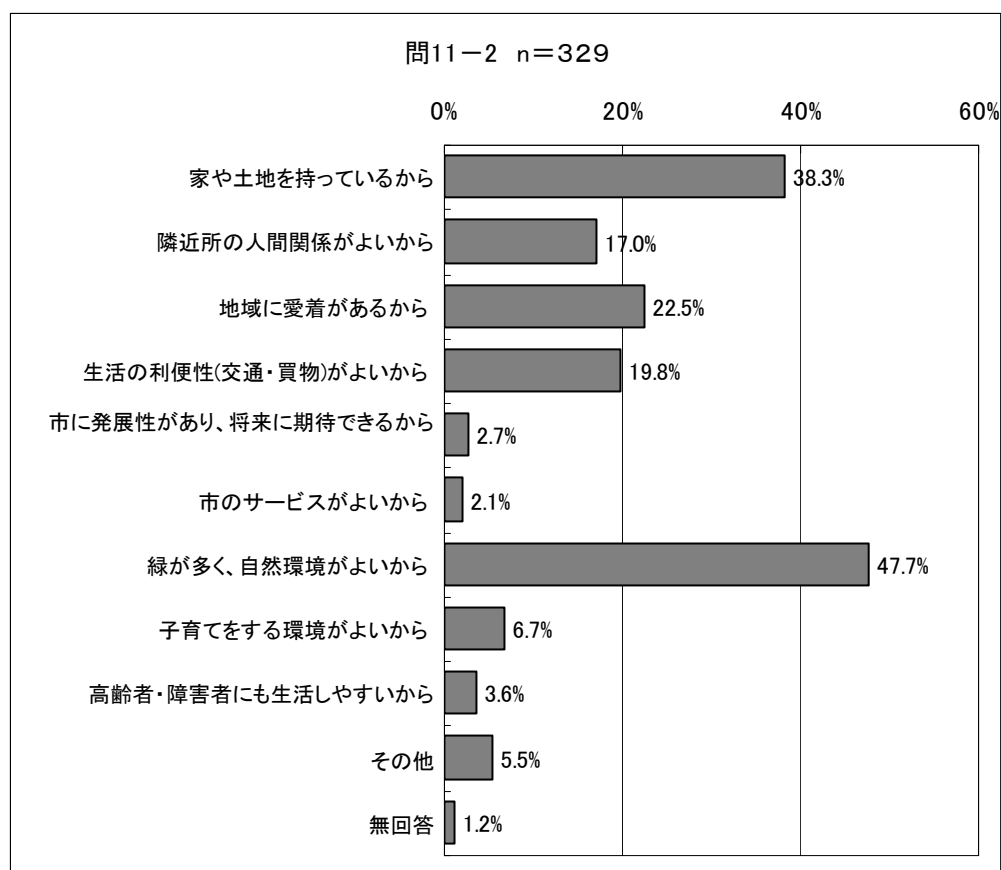
○性別では、「住みやすい」と回答した女性が16.1%と男性を上回っている。

○年齢別では、65歳～69歳で26.3%と高く、地区別では、A地区で17.8%と高く、居住年数別では、30年以上で17.9%と高い値となっている。

○「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を含めると、年代が高く、居住年数が長い人の割合が約60%と高い値となっている。

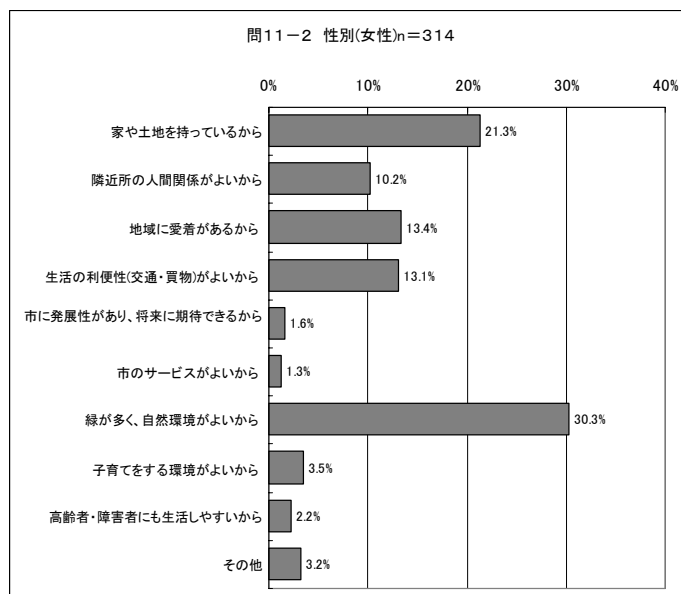
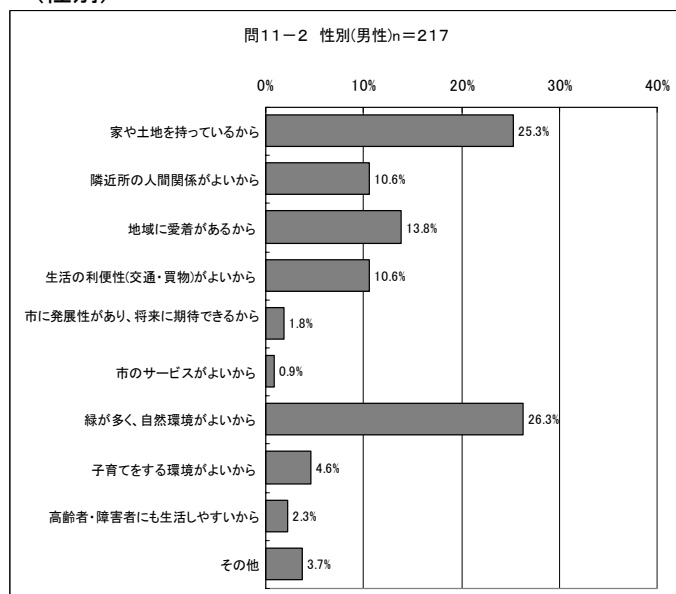
問11-2 問11で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。その理由は。(〇は2つまで)

- 1 家や土地を持っているから
- 2 隣近所の人間関係がよいから
- 3 地域に愛着があるから
- 4 生活の利便性(交通・買物)がよいから
- 5 市に発展性があり、将来に期待できるから
- 6 市のサービスがよいから
- 7 緑が多く、自然環境がよいから
- 8 子育てをする環境がよいから
- 9 高齢者・障害者にも生活しやすいから
- 10 その他 ()

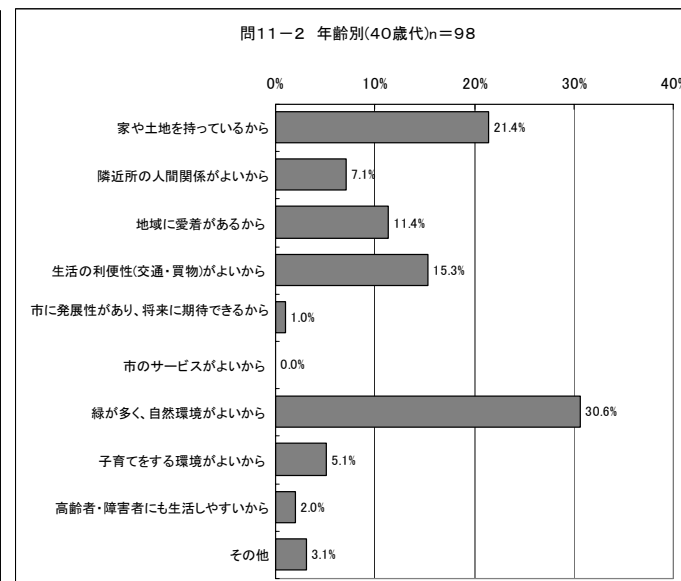
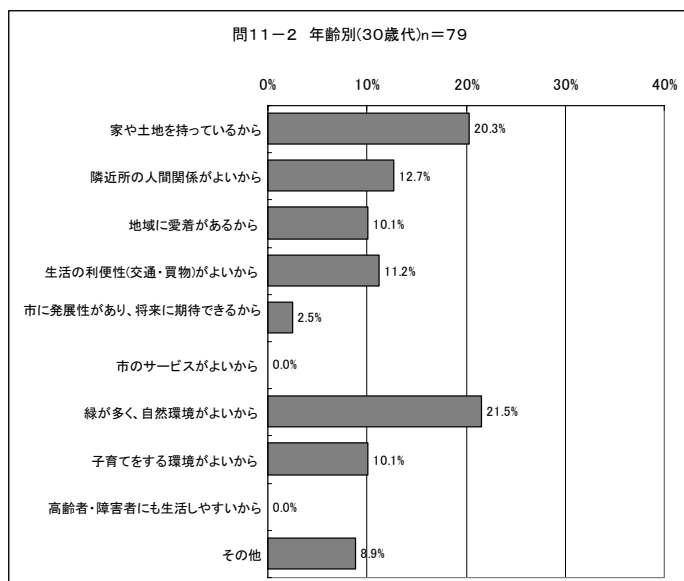
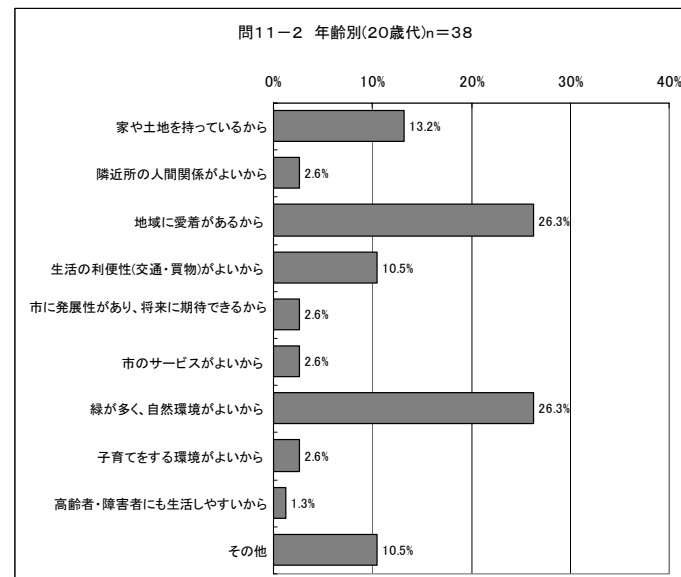
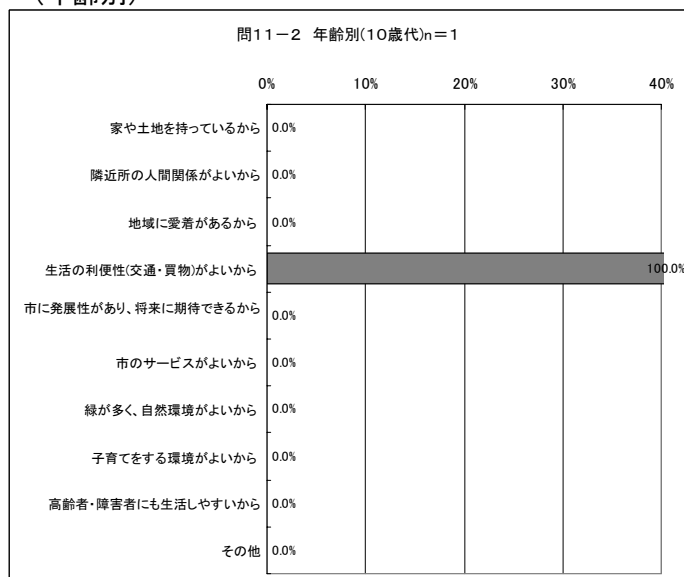


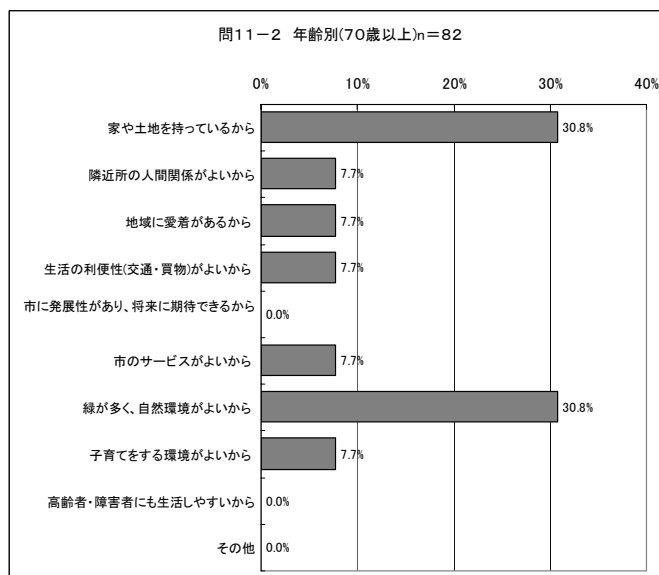
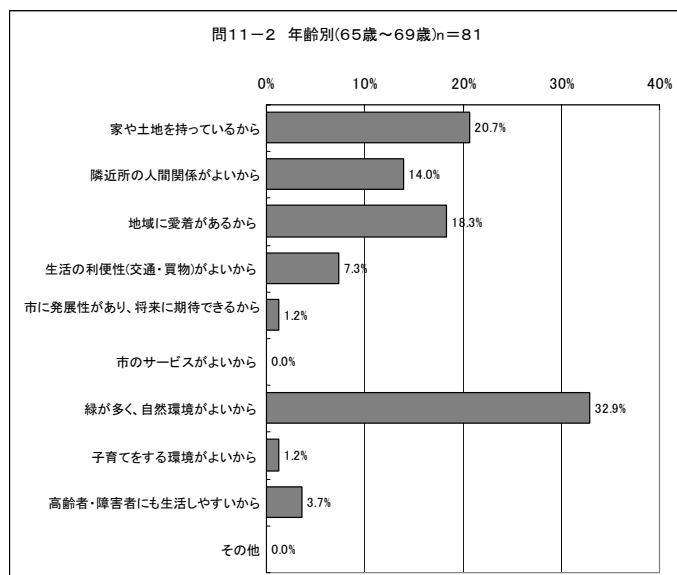
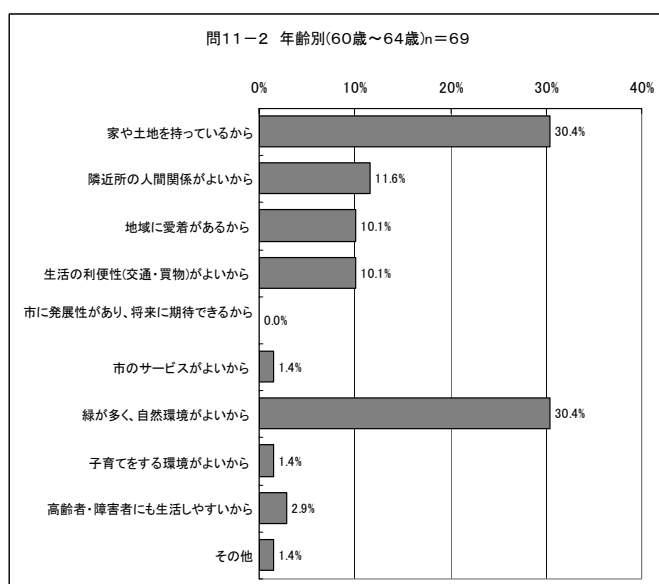
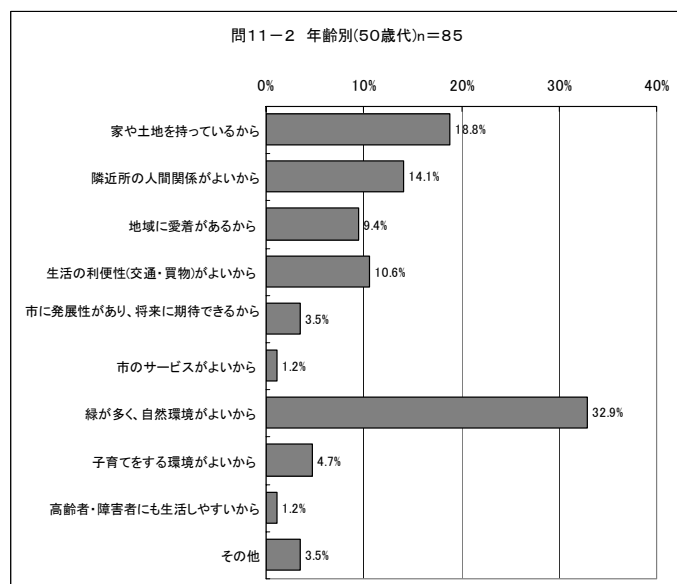
- 武蔵村山市の住みやすさの理由として、「緑が多く、自然環境がよいから」が47.7%と高く、次に「家や土地を持っているから」が38.3%となっている。
- 「緑が多く、自然環境がよいから」と「家や土地を持っているから」は、性別・年齢別・地区別・居住年数別でのいずれも高い値となっているのに対し、地区別では、E地区の「生活の利便性(交通・買物)がよいから」が高い値となっている。

(性別)

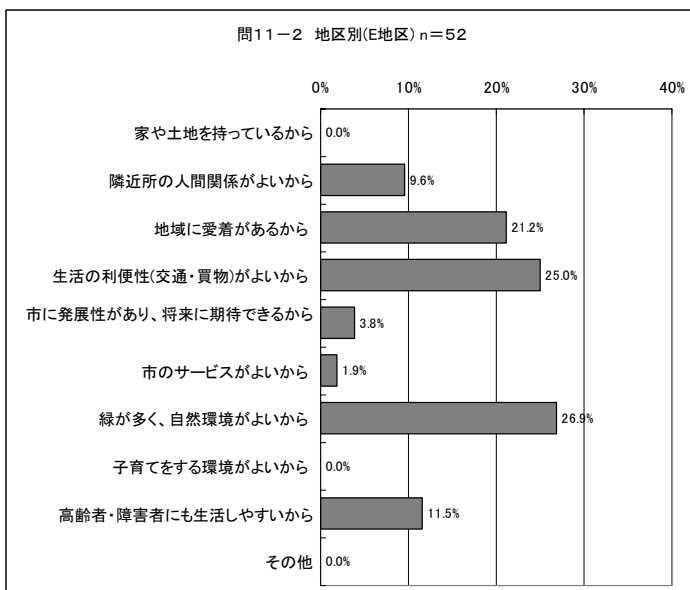
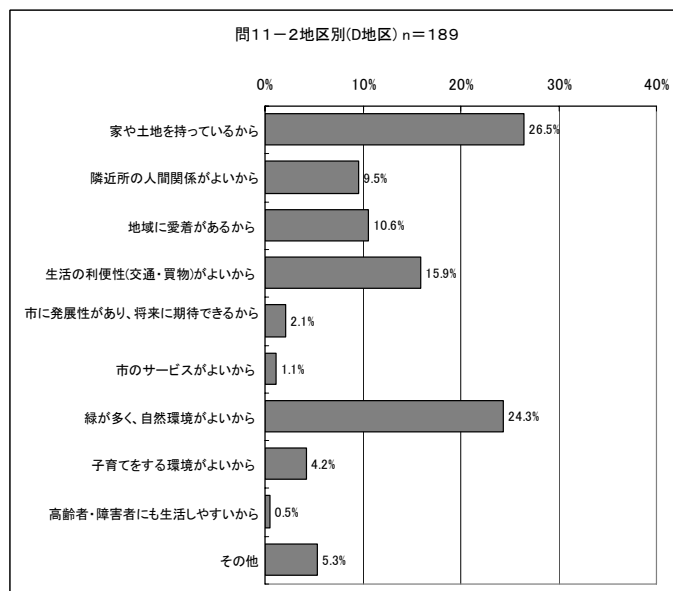
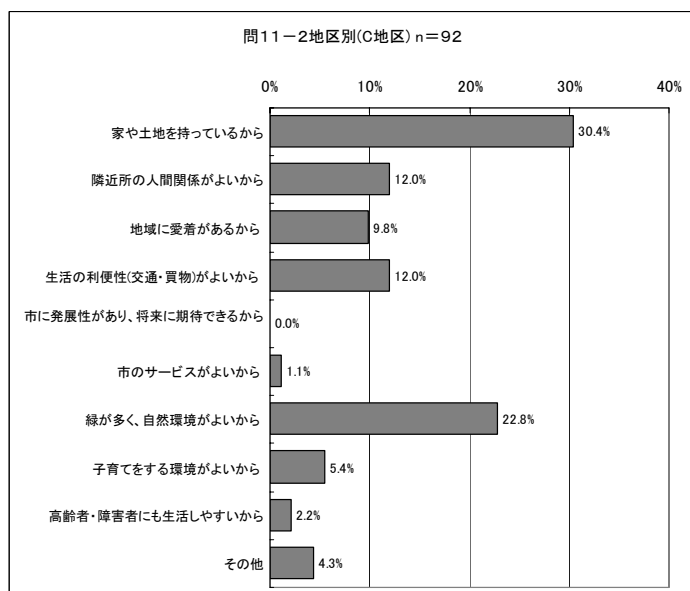
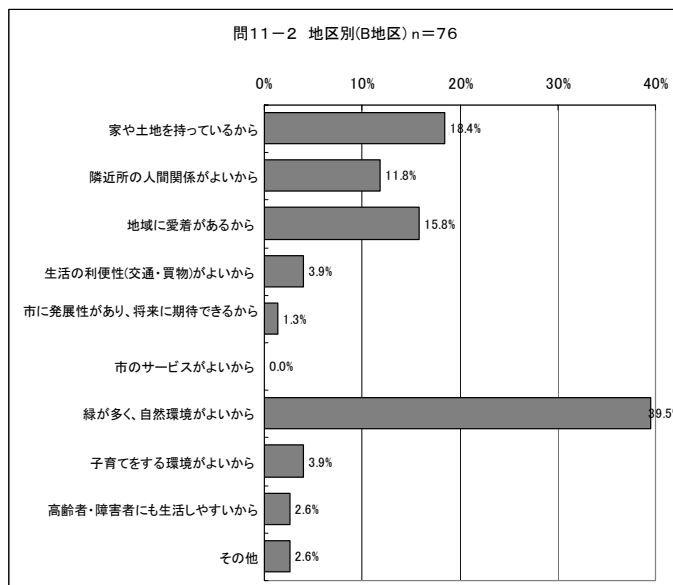
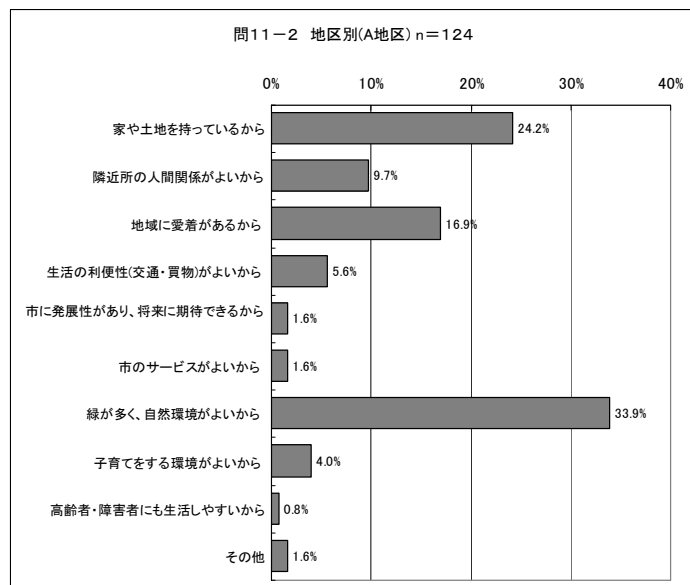


(年齢別)

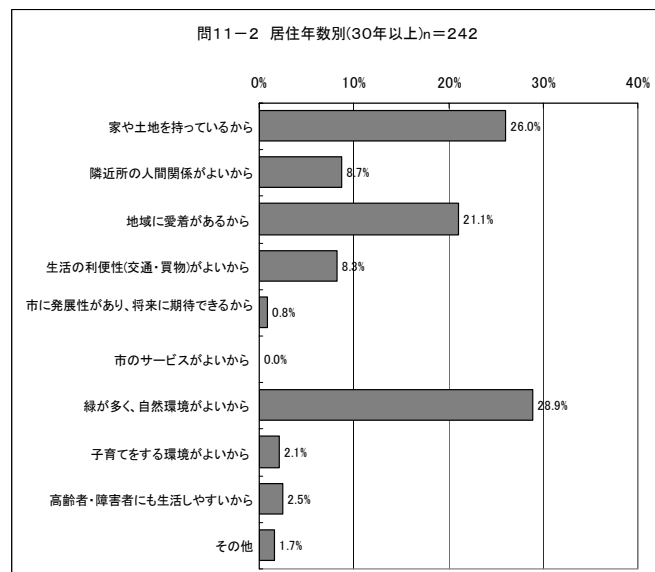
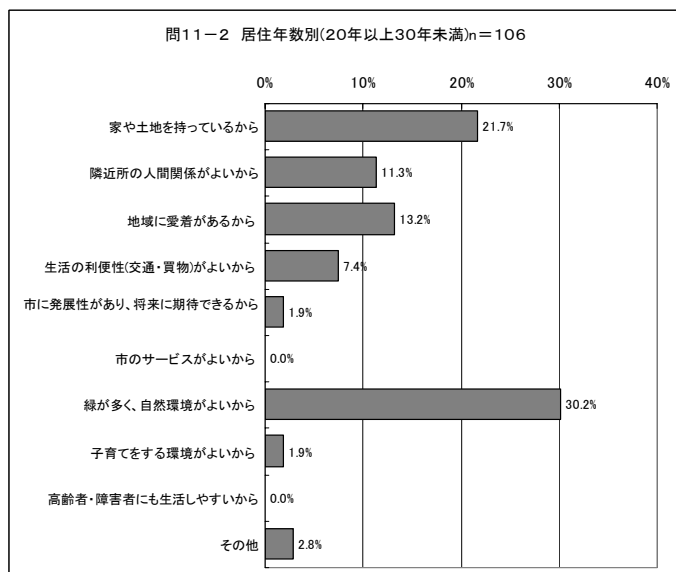
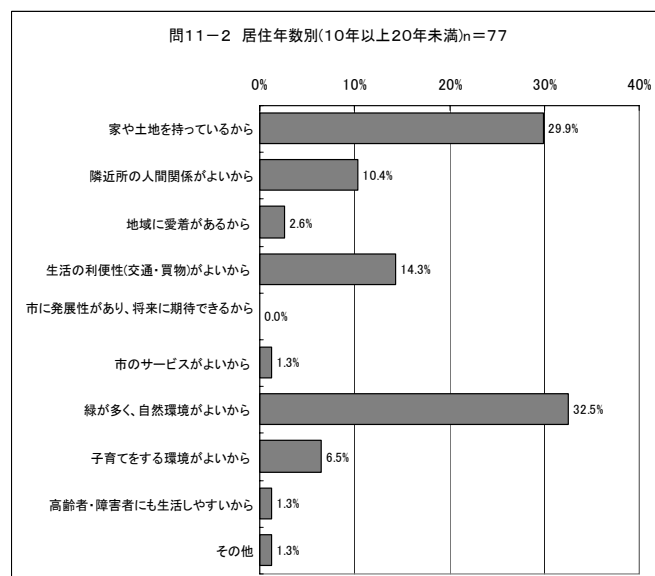
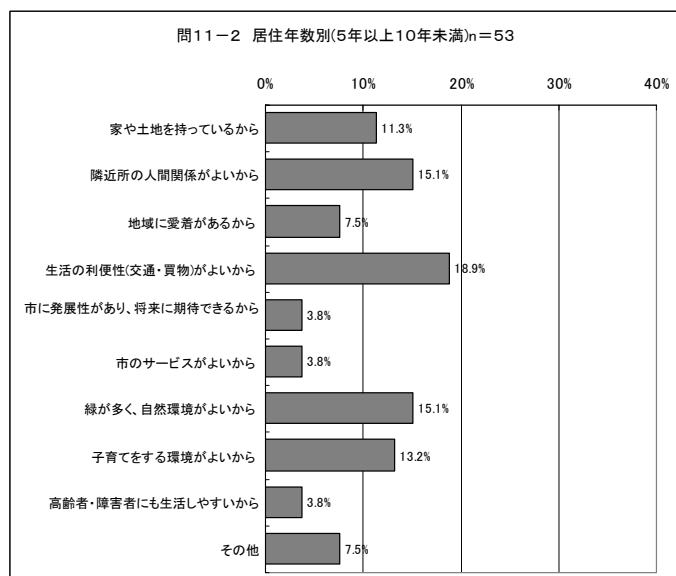
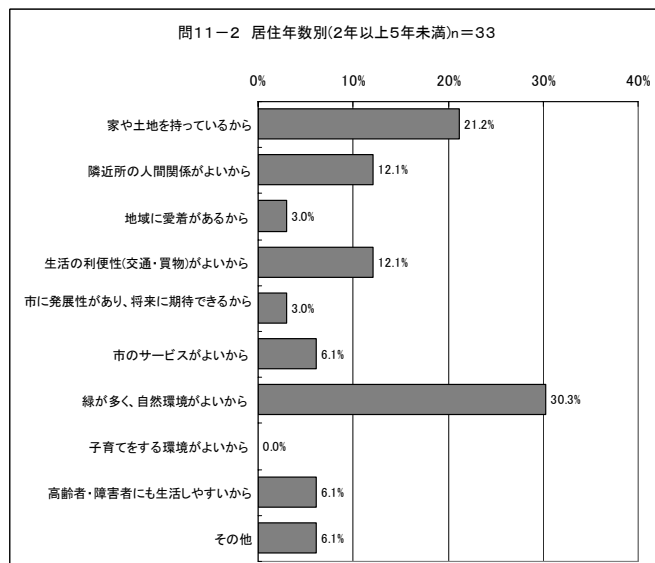
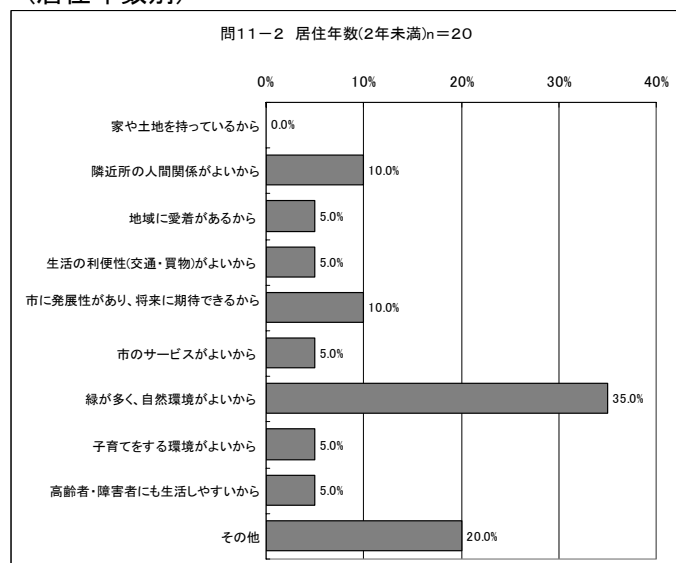




(地区別)

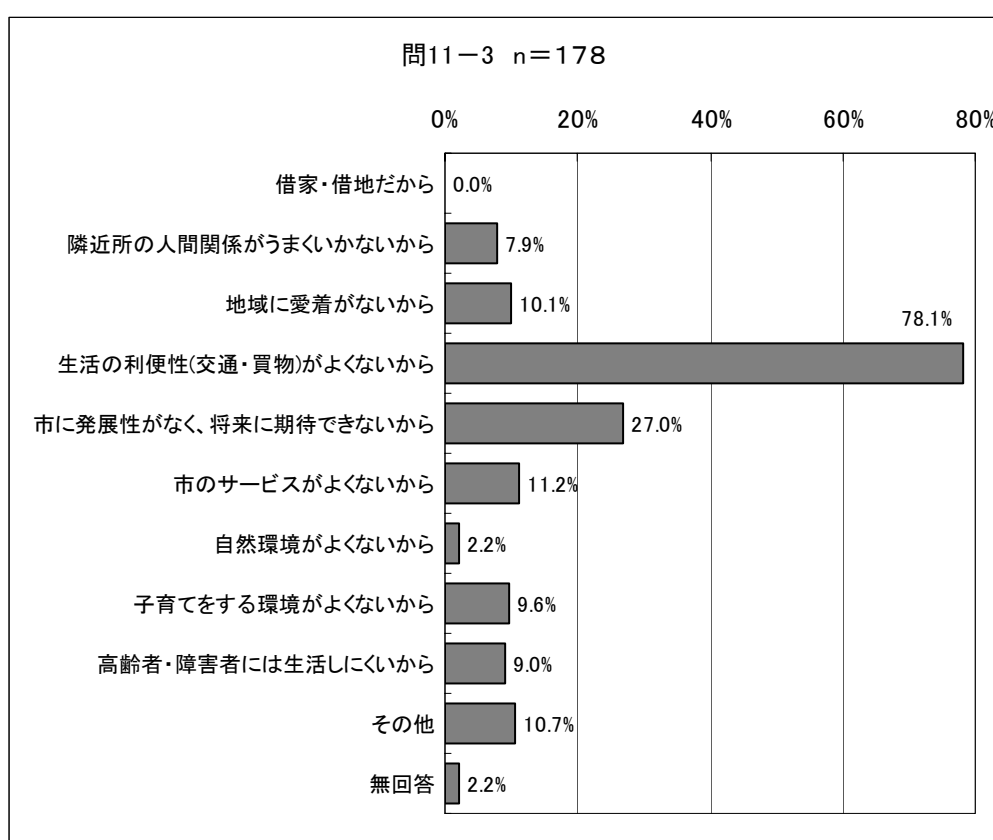


(居住年数別)



問11-3 問11で「4」又は「5」と回答した方にお聞きます。その理由は。(〇は2つまで)

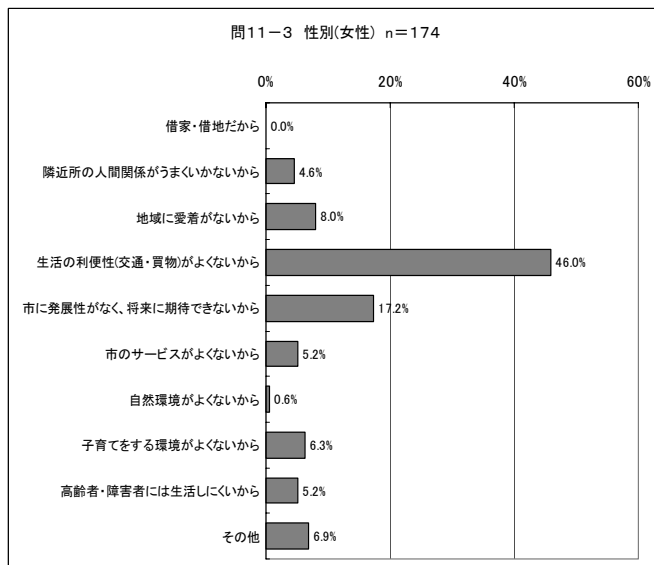
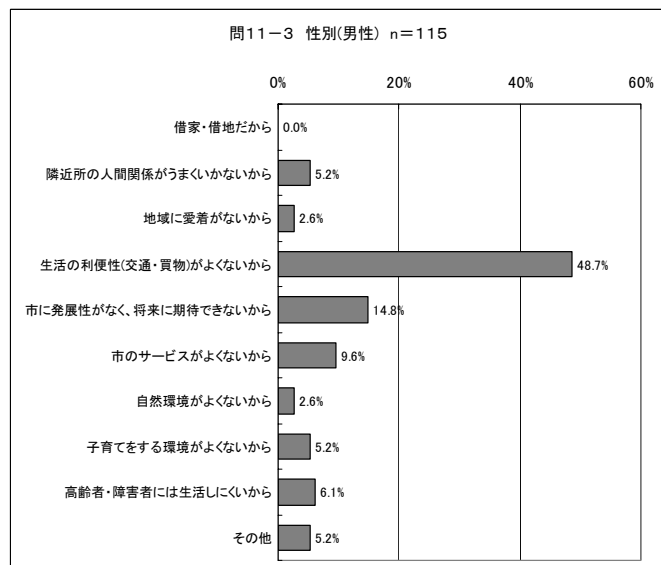
- 1 借家・借地だから
- 2 隣近所の人間関係がうまくいかないから
- 3 地域に愛着がないから
- 4 生活の利便性(交通・買物)がよくないから
- 5 市に発展性がなく、将来に期待できないから
- 6 市のサービスがよくないから
- 7 自然環境がよくないから
- 8 子育てをする環境がよくないから
- 9 高齢者・障害者には生活しにくいから
- 10 その他 ()



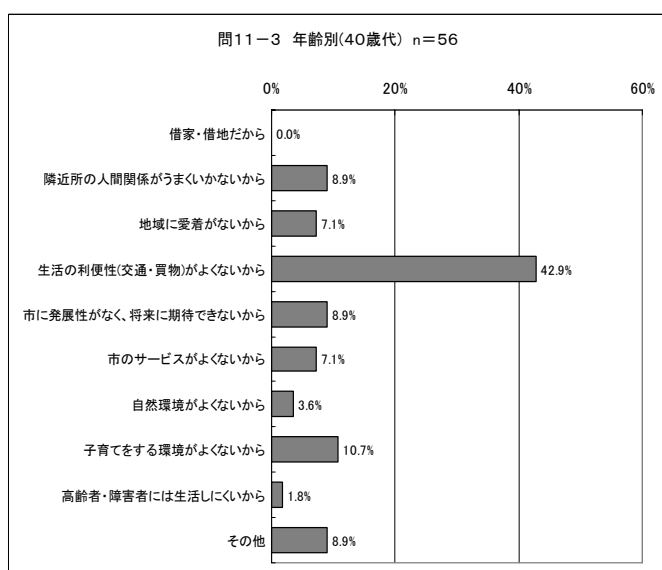
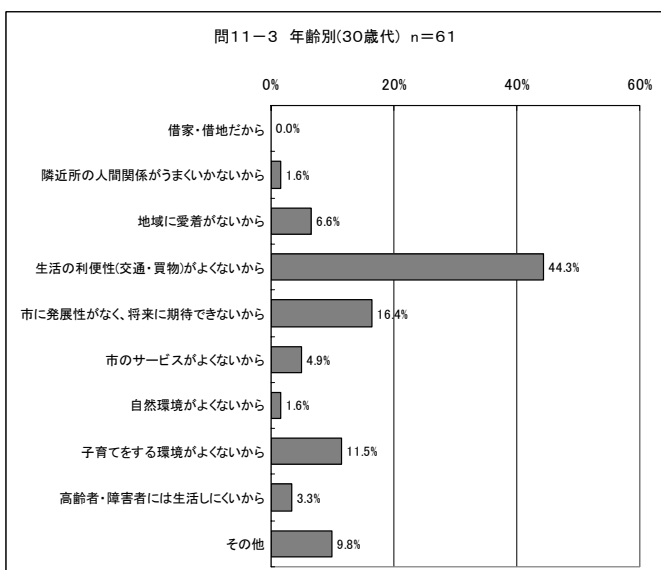
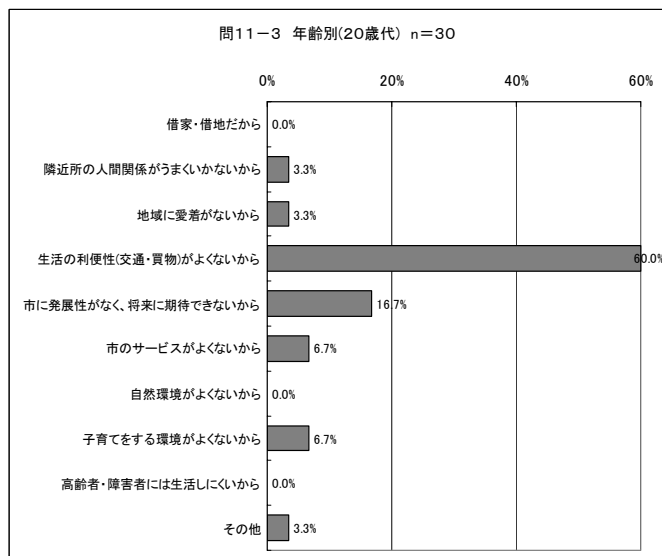
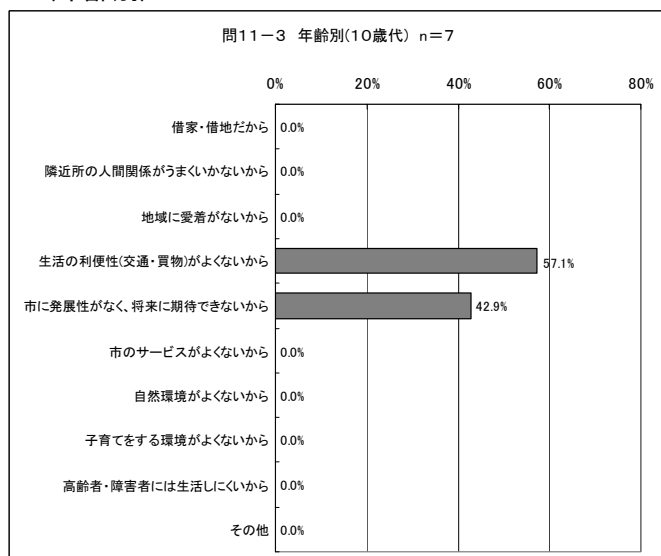
○「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」と回答した理由は、「生活の利便性（交通・買物）がよくないから」が78.1%と高く、次に「市の発展性がなく、将来に期待できないから」が27.0%となっている。

○性別・年齢別・地区別・居住年数別の全てで、「生活の利便性（交通・買物）がよくないから」が突出しているのに対し、地区別では、E地区の「市のサービスがよくないから」と「生活の利便性（交通・買物）がよくないから」が28.6%と同じ値となっている。

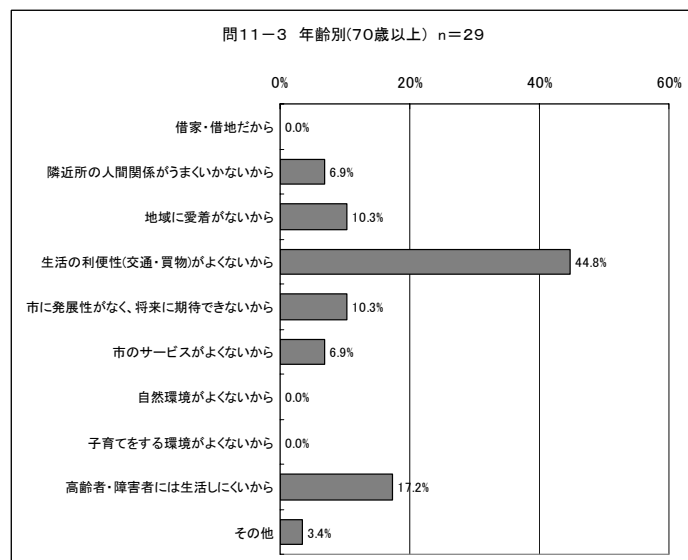
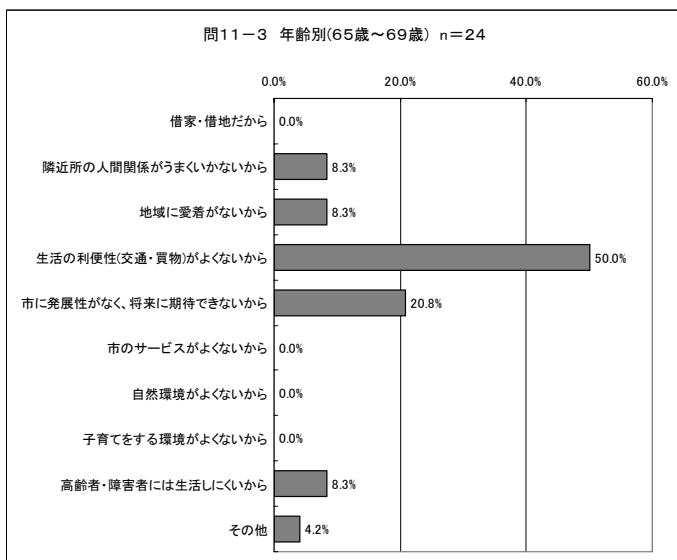
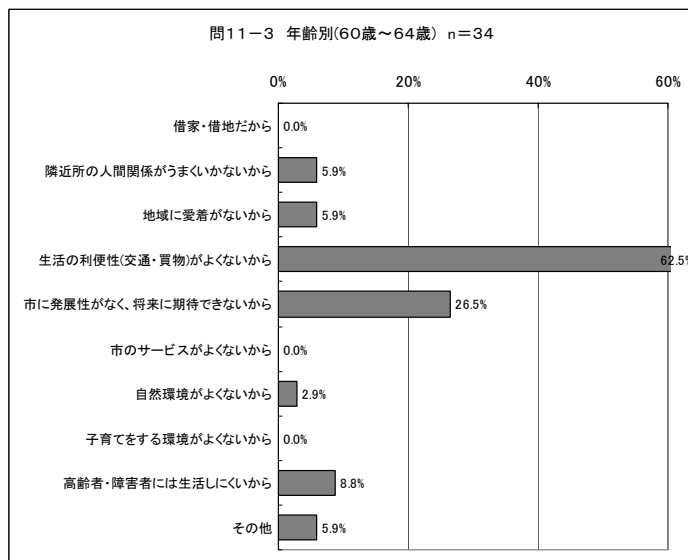
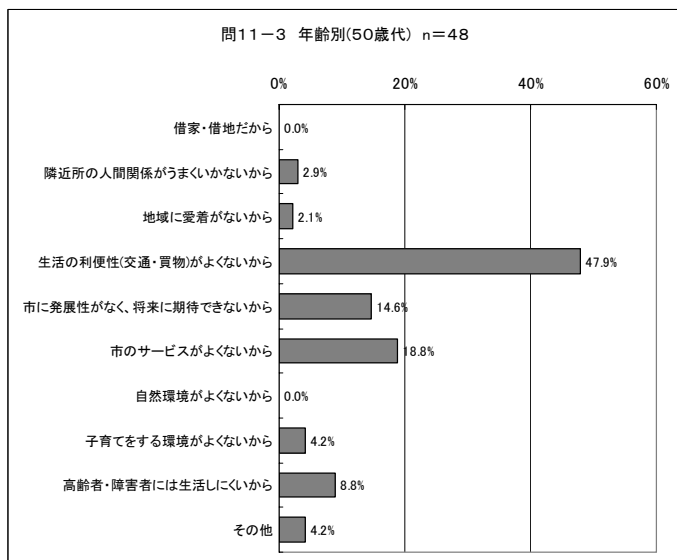
(性別)



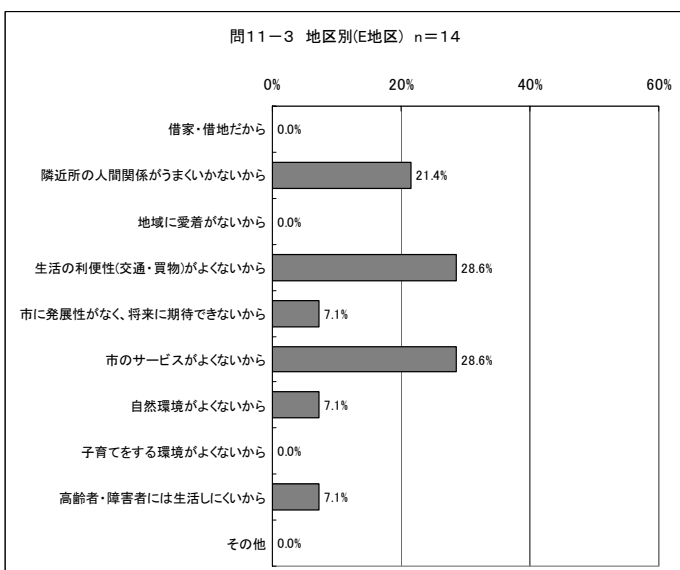
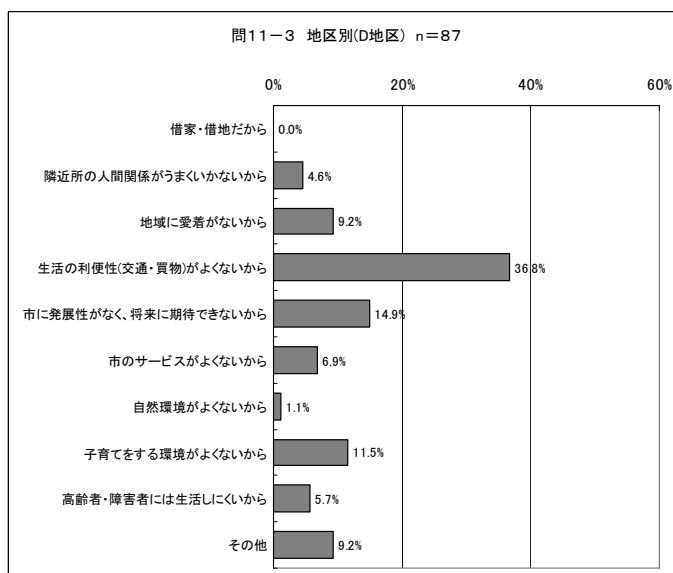
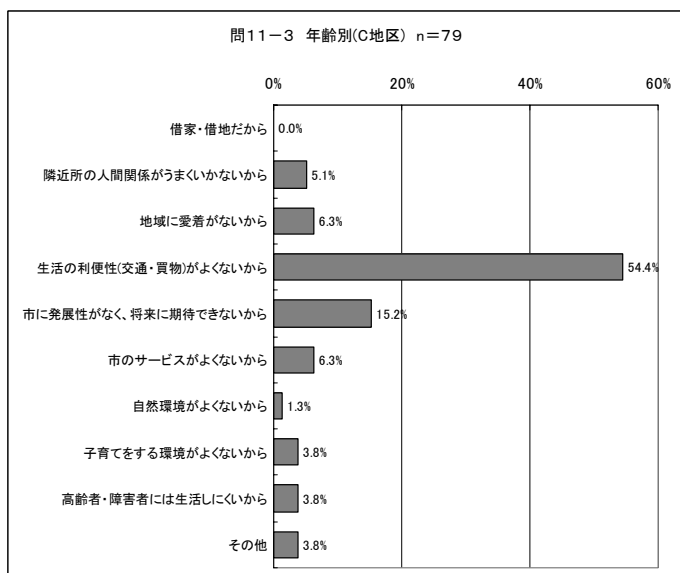
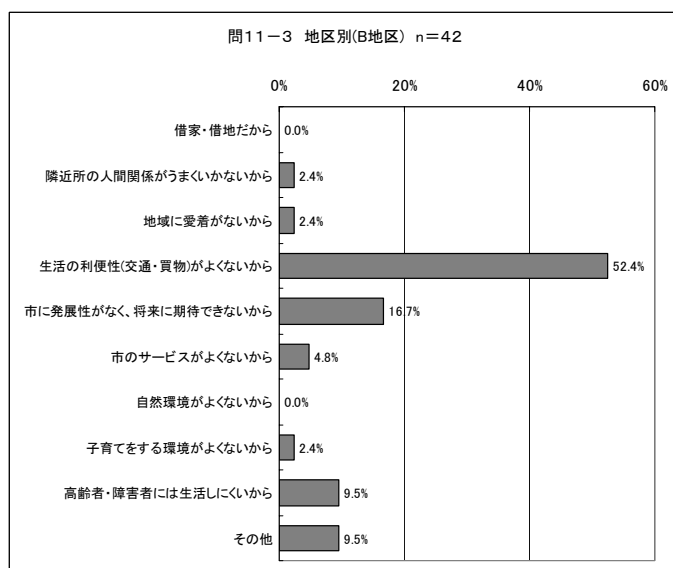
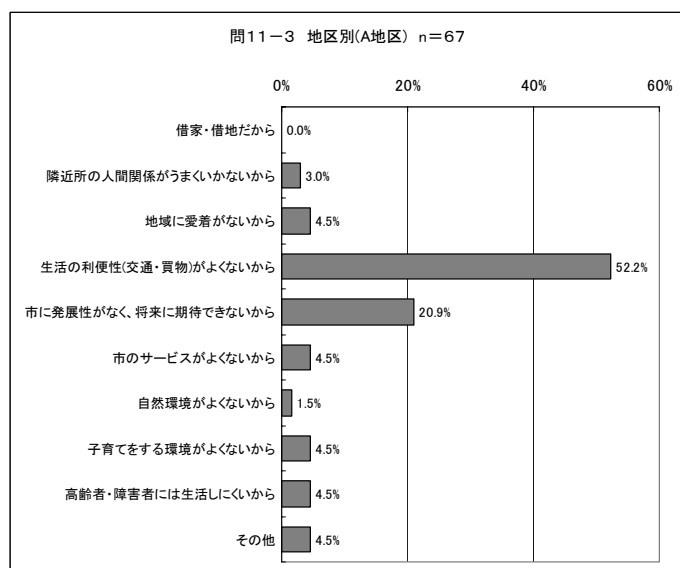
(年齢別)



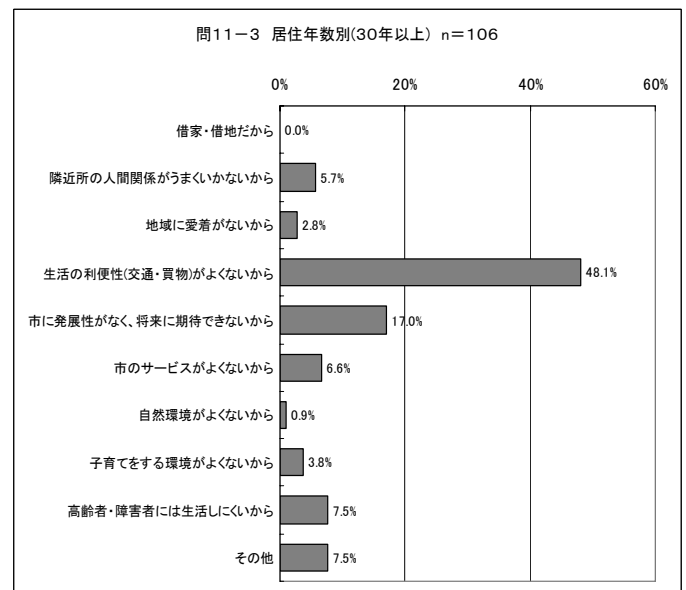
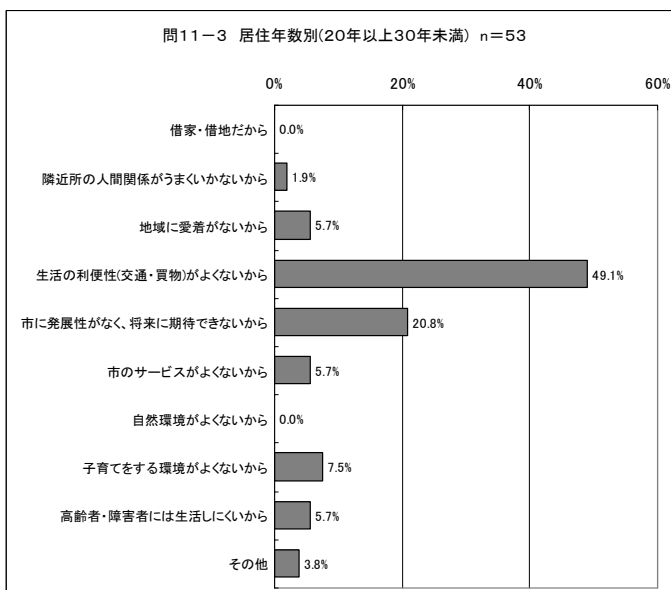
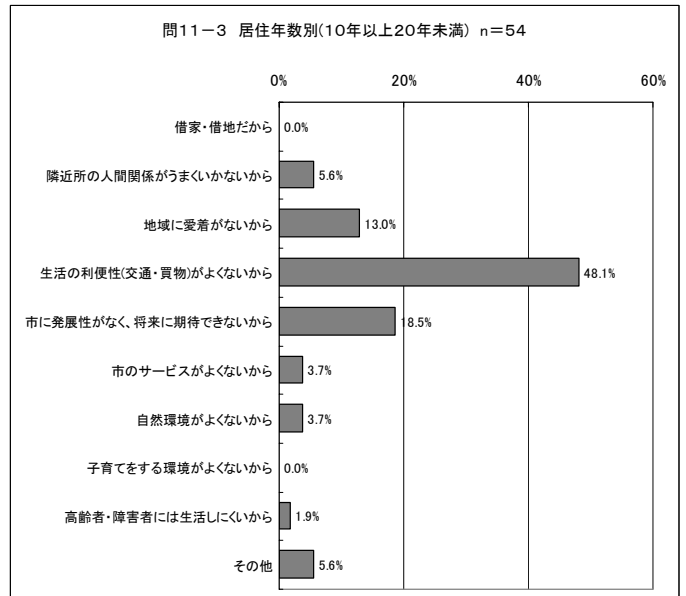
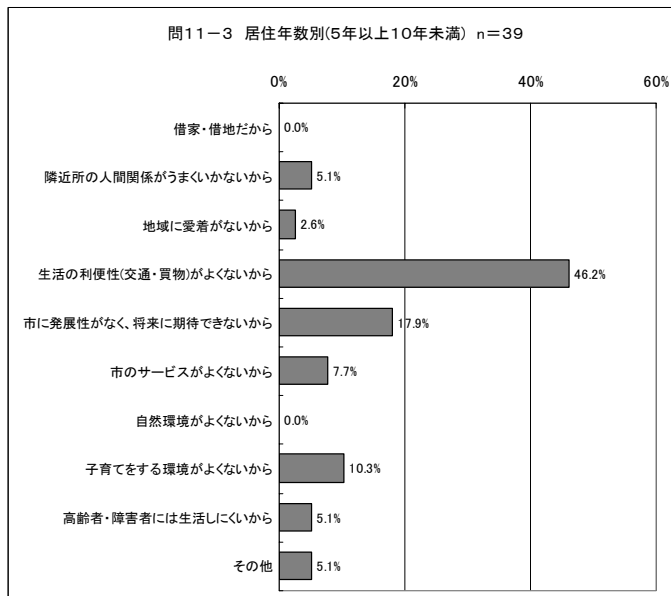
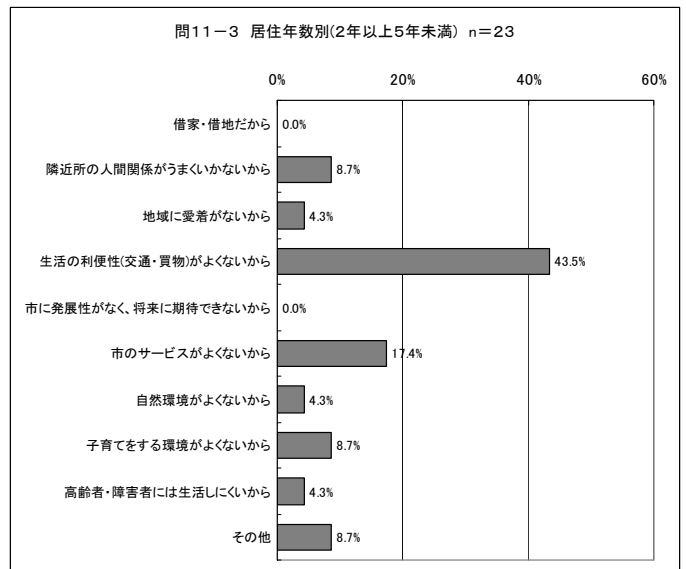
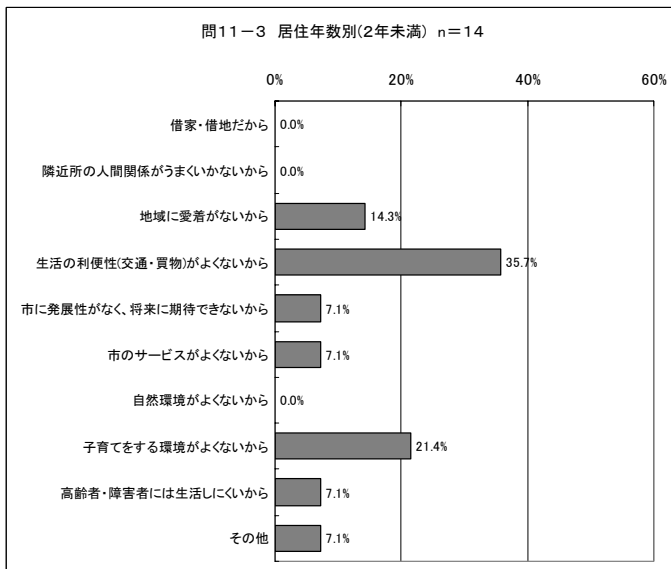
第3章 市民意識調査の集計結果



(地区別)

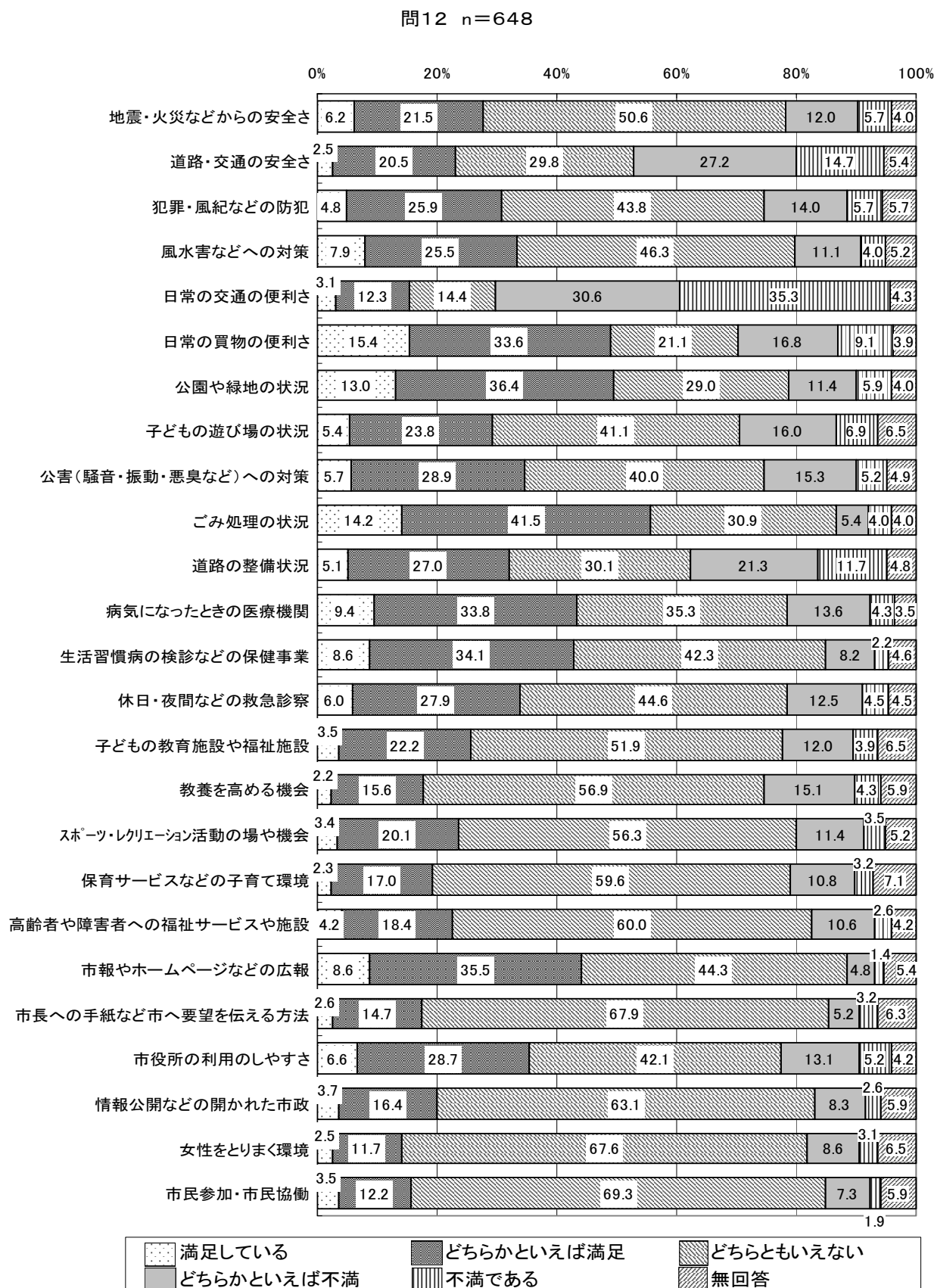


(居住年数別)



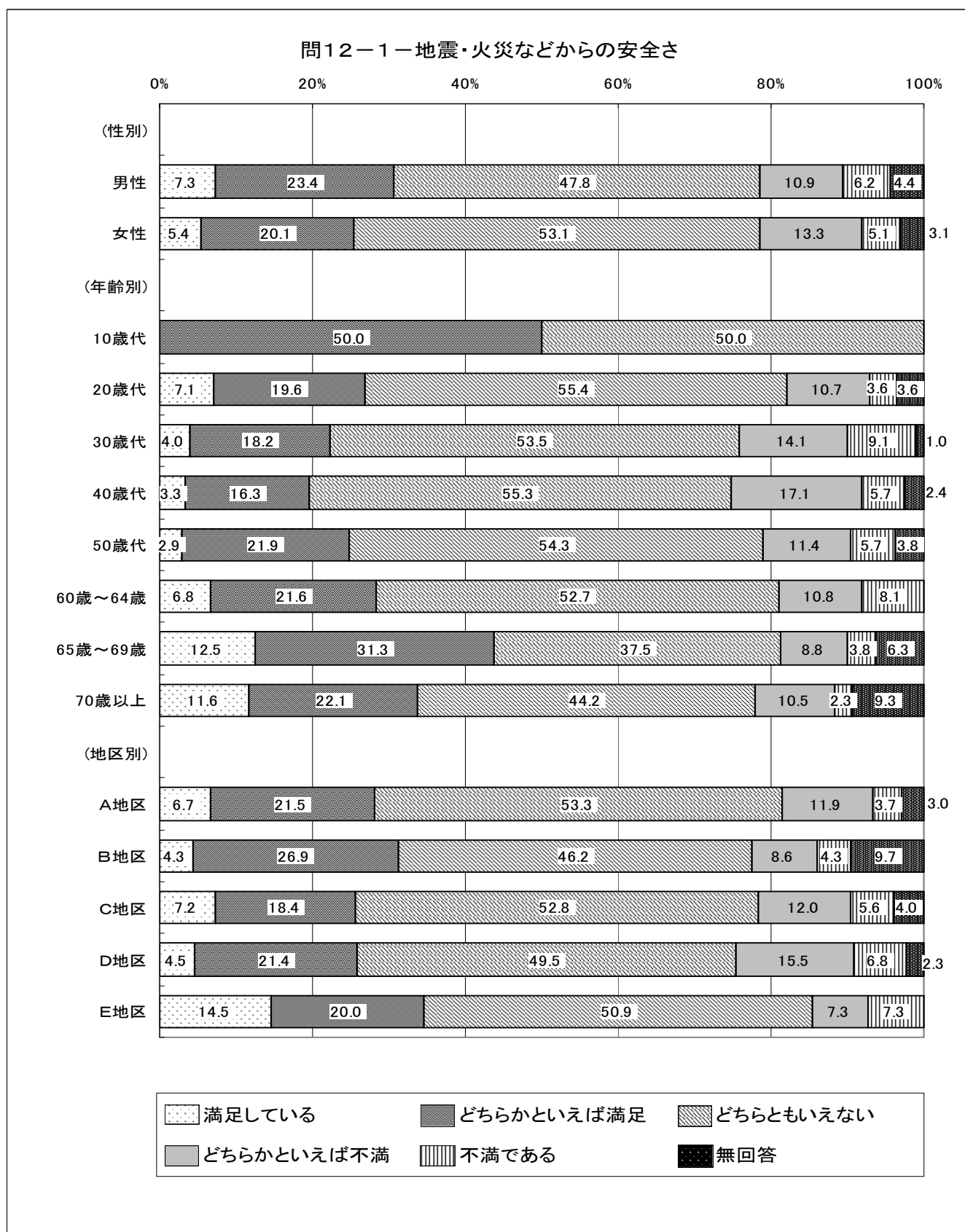
(2) 生活環境の満足度

問12 あなたの暮らしをとりまく身近な生活環境について、どのように感じていますか。



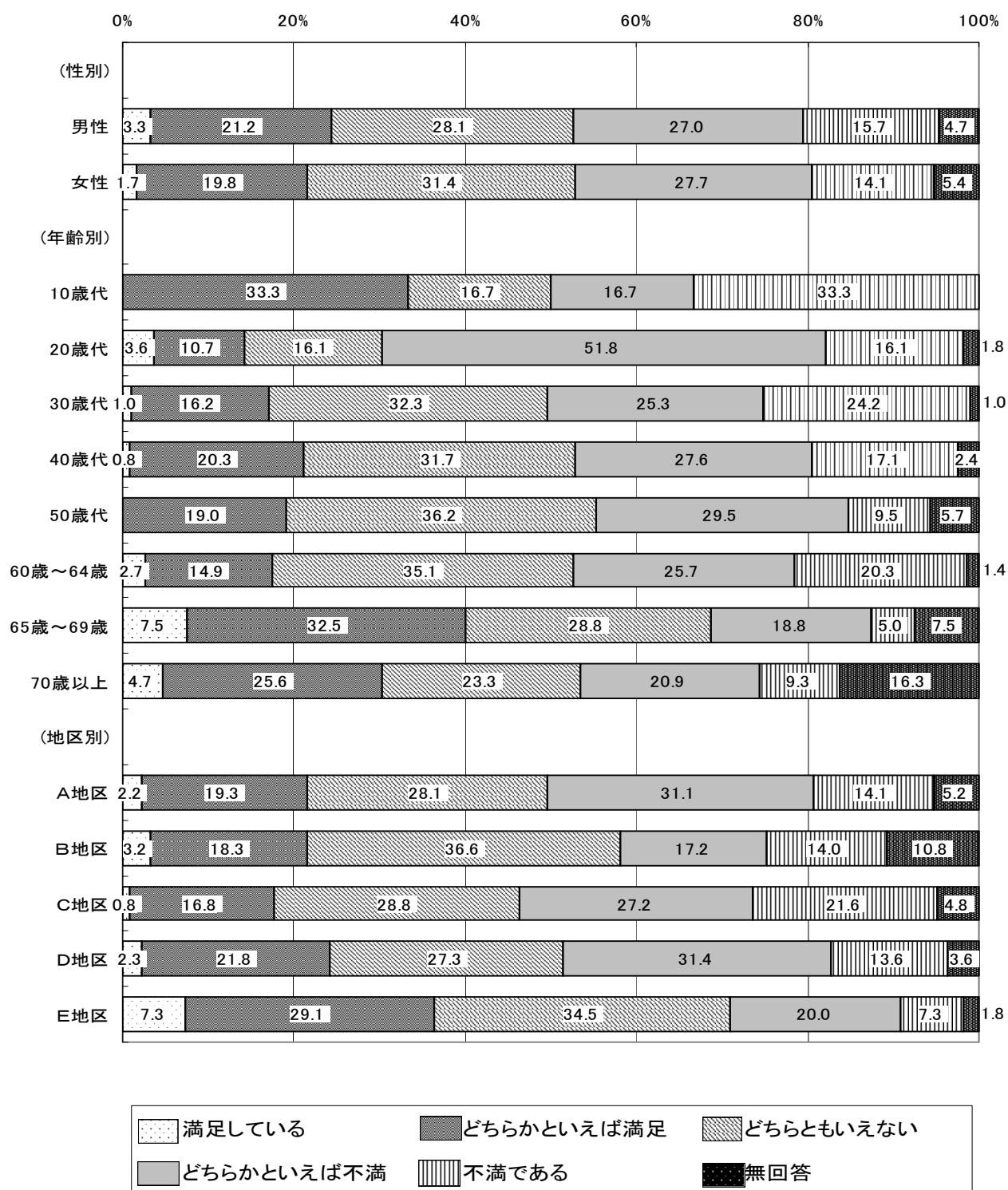
- 「満足している」「どちらかといえば満足」とする項目では、「ごみ処理の状況」が55.7%と高く、次に「公園や緑地の状況」が49.4%で、以下「日常の買物の利便さ」が49.0%となっている。
- 「ごみ処理の状況」については、「満足している」「どちらかといえば満足している」は、性別では、男性が59.1%と女性の52.9%を上回っている。年齢別では、65歳～69歳で68.8%と最も高い値となっている。地区別では、E地区で63.7%と高い値となっている。
- 「公園や緑地の状況」については、「満足している」「どちらかといえば満足している」は、性別で女性が50.6%と男性が47.5%を上回っている。年齢別では、65歳～69歳で58.8%と最も高い値を占め、地区別では、E地区の67.3%となっている。
- 「どちらかといえば不満」「不満である」では、「日常の交通の便利さ」が65.9%と高い値を占めており、次に「道路・交通の安全さ」が41.9%、「道路の整備状況」が33.0%となっている。
- 地震・火災などからの安全さについては、「どちらともいえない」が50.6%と高く、次に「どちらかといえば満足」が21.5%となっている。
- 道路・交通の安全さについては、「どちらともいえない」が29.8%と高く、次に「どちらかといえば不満」が27.2%となっている。
- 犯罪・風紀などの防犯については、「どちらともいえない」が43.8%と高く、次に「どちらかといえば満足している」が25.9%となっている。
- 風水害などへの対策については、「どちらともいえない」が46.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が25.5%となっている。
- 日常の交通の便利さについては、「不満である」が35.3%と高く、次に「どちらかといえば不満」が30.6%となっており、全体的に「不満である」「どちらかといえば不満」が多くなっている。
- 日常の買物の便利さについては、「どちらかといえば満足」が33.6%と高く、次に「どちらともいえない」が21.1%となっている。
- 公園や緑地の状況については、「どちらかといえば満足」が36.4%と高く、次に「どちらともいえない」が29.0%となっている。
- 子どもの遊び場の状況については、「どちらともいえない」が41.4%と高く、次に「どちらかといえば満足」が23.8%となっている。
- 公害(騒音・振動・悪臭など)への対応については、「どちらともいえない」が40.0%と高く、次に「どちらかといえば満足」が28.9%となっている。
- ごみ処理の状況については、「どちらかといえば満足」が41.5%と高く、次に「どちらともいえない」が30.9%となっている。
- 道路の整備状況については、「どちらともいえない」が30.1%と高く、次に「どちらかといえば満足」が27.0%となっている。
- 病気になったときの医療機関については、「どちらともいえない」が35.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が33.8%となっている。
- 生活慣習病の検診などの保健事業については、「どちらともいえない」が42.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が34.1%となっている。
- 休日・夜間など救急診察については、「どちらともいえない」が44.6%と高く、次に「どちらかといえば満足」が27.9%となっている。
- 子どもの教育施設や福祉施設については、「どちらともいえない」が51.9%と高く、次に「どちらかといえば満足」が22.2%となっている。
- 教養を高める機会については、「どちらともいえない」が56.9%と高く、次に「どちらかといえば満足」が15.6%となっている。
- スポーツ・レクリエーション活動の場の機会については、「どちらともいえない」が56.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が20.1%となっている。

- 保育サービスなどの子育て環境については、「どちらともいえない」が 59.6%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 17.0%となっている。
- 高齢者や障害者への福祉サービスや施設については、「どちらともいえない」が 60.0%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 18.4%となっている。
- 市報やホームページなどの広報については、「どちらともいえない」が 44.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 35.5%となっている。
- 市長への手紙など市へ要望を伝える方法については、「どちらともいえない」が 67.9%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 14.7%となっている。
- 市役所の利用のしやすさについては、「どちらともいえない」が 42.1%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 28.7%となっている。
- 情報公開などの開かれた市政については、「どちらともいえない」が 63.1%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 16.4%となっている。
- 女性をとりまく環境については、「どちらともいえない」が 67.6%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 11.7%となっている。
- 市民参加・市民協働については、「どちらともいえない」が 69.3%と高く、次に「どちらかといえば満足」が 12.2%となっている。

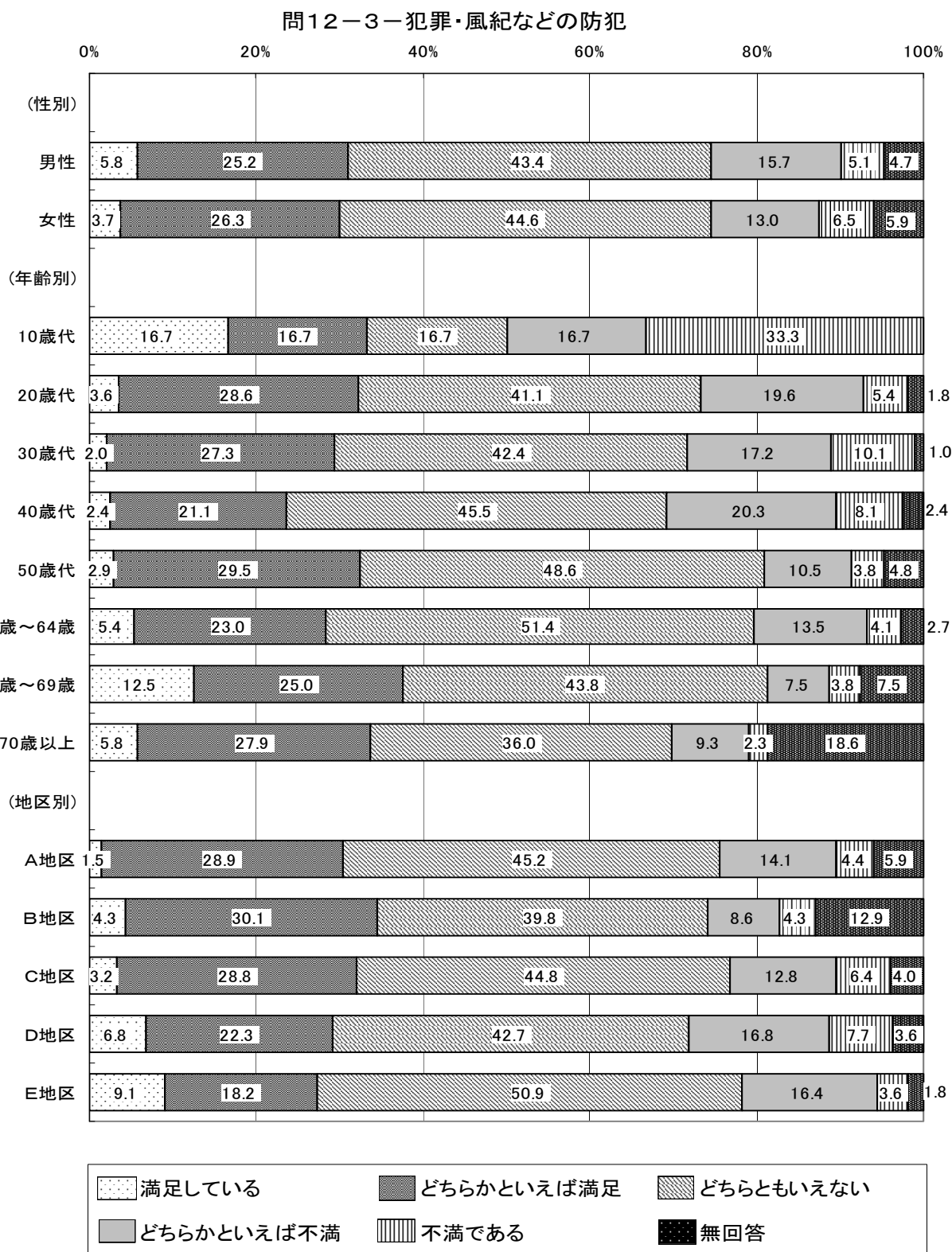


○「満足している」のは、性別では、男性が7.3%と高く、年齢別では、65歳～69歳と70歳以上で10%を超えている。地区別では、E地区が14.5%と高い値となっている。

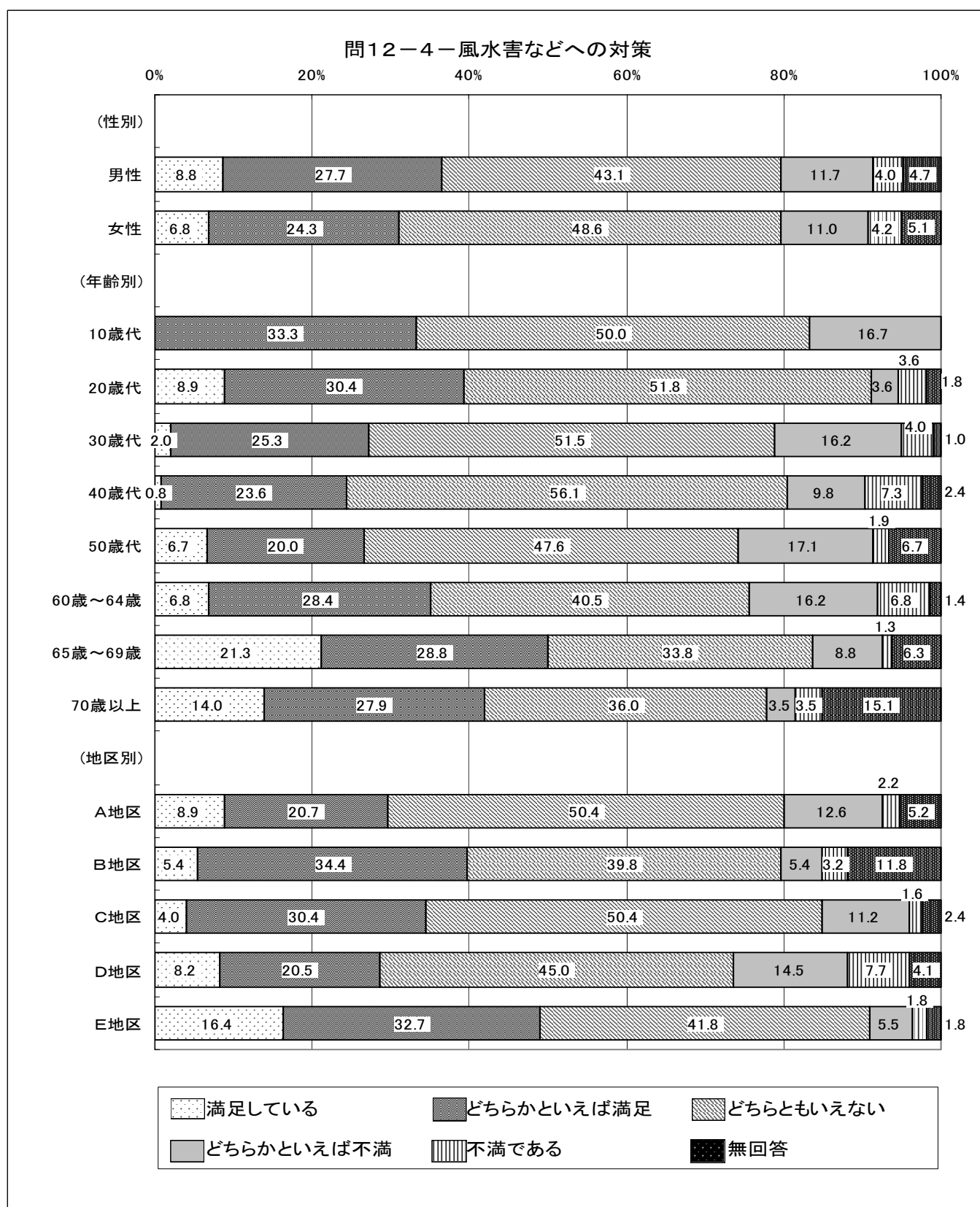
問12-2-道路・交通の安全さ



○年齢別では、65歳～69歳で「満足している」が7.5%、「どちらかといえば満足している」が32.5%と高い値となっている。地区別では、E地区の「満足している」が7.3%と高い値となっている。

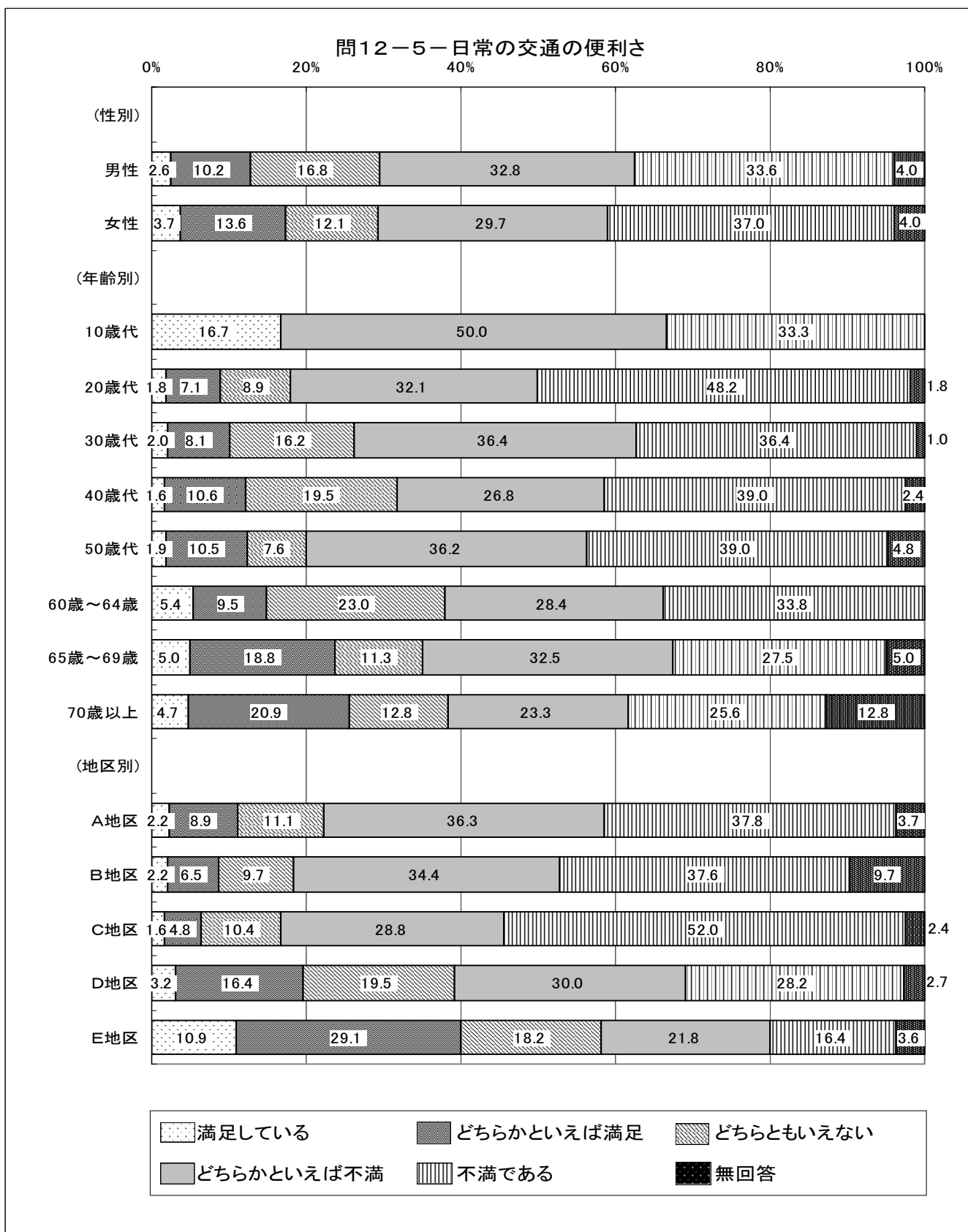


○「満足している」の回答数が少なく、年齢別では、65歳～69歳の12.5%が最も高い値となっている。
 ○地区別では、E地区の9.1%が高い値となっている。

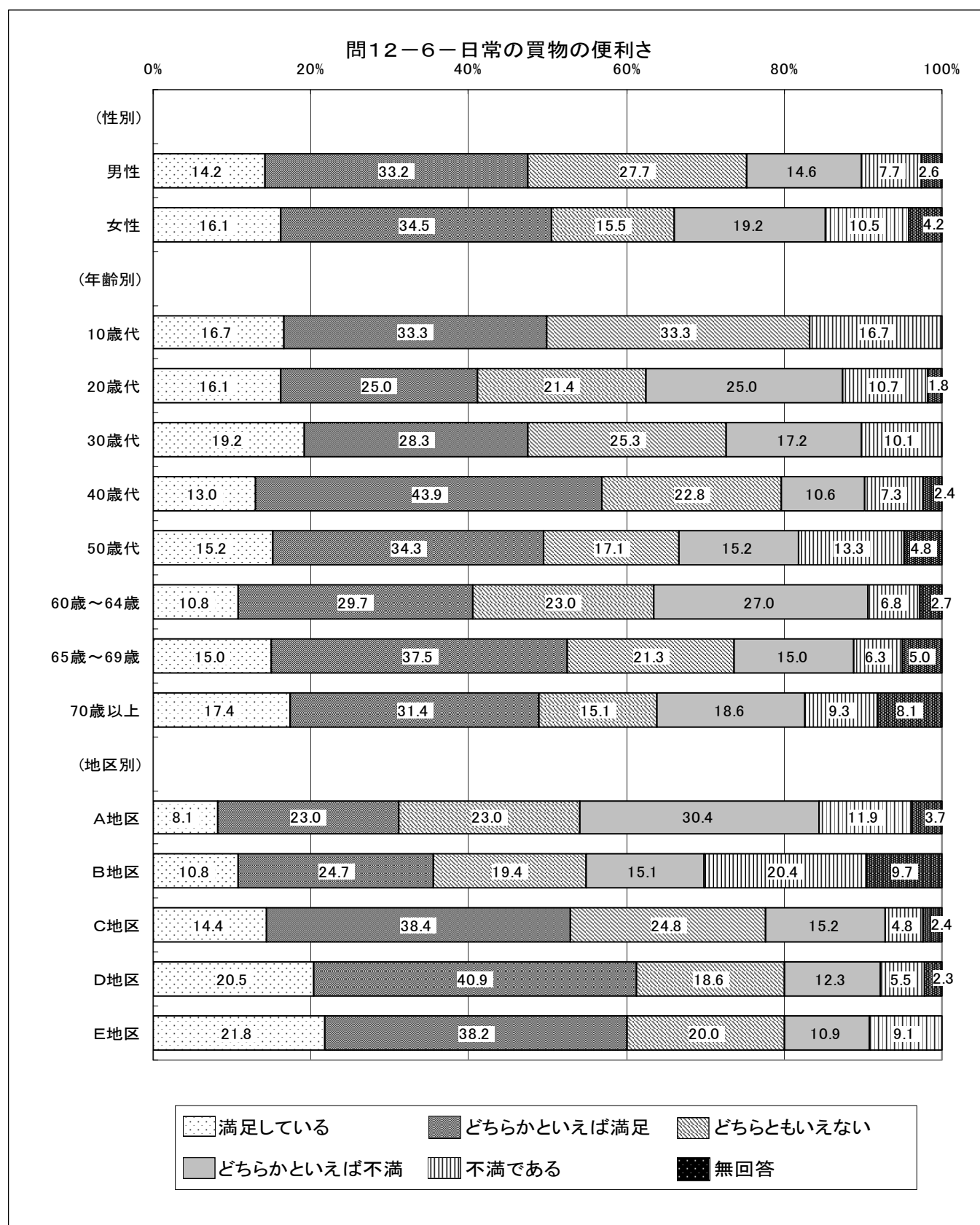


○「満足している」では、性別では、男性が女性より高く、年齢別では、65歳～69歳で「満足している」と「どちらかといえば満足」を加えると約50%が概ね満足している。

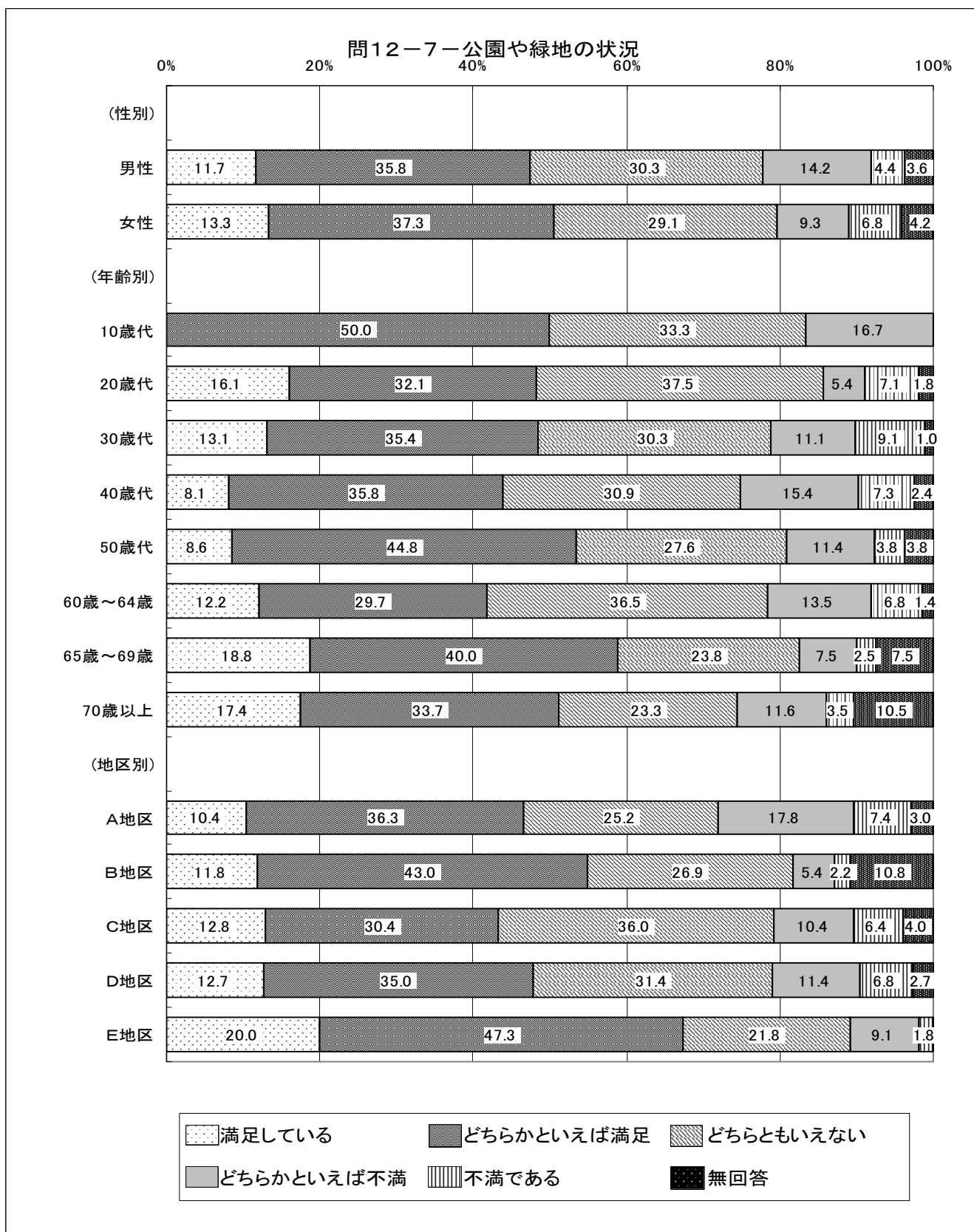
○地区別では、E地区の「満足している」が16.4%と高い値となっている。



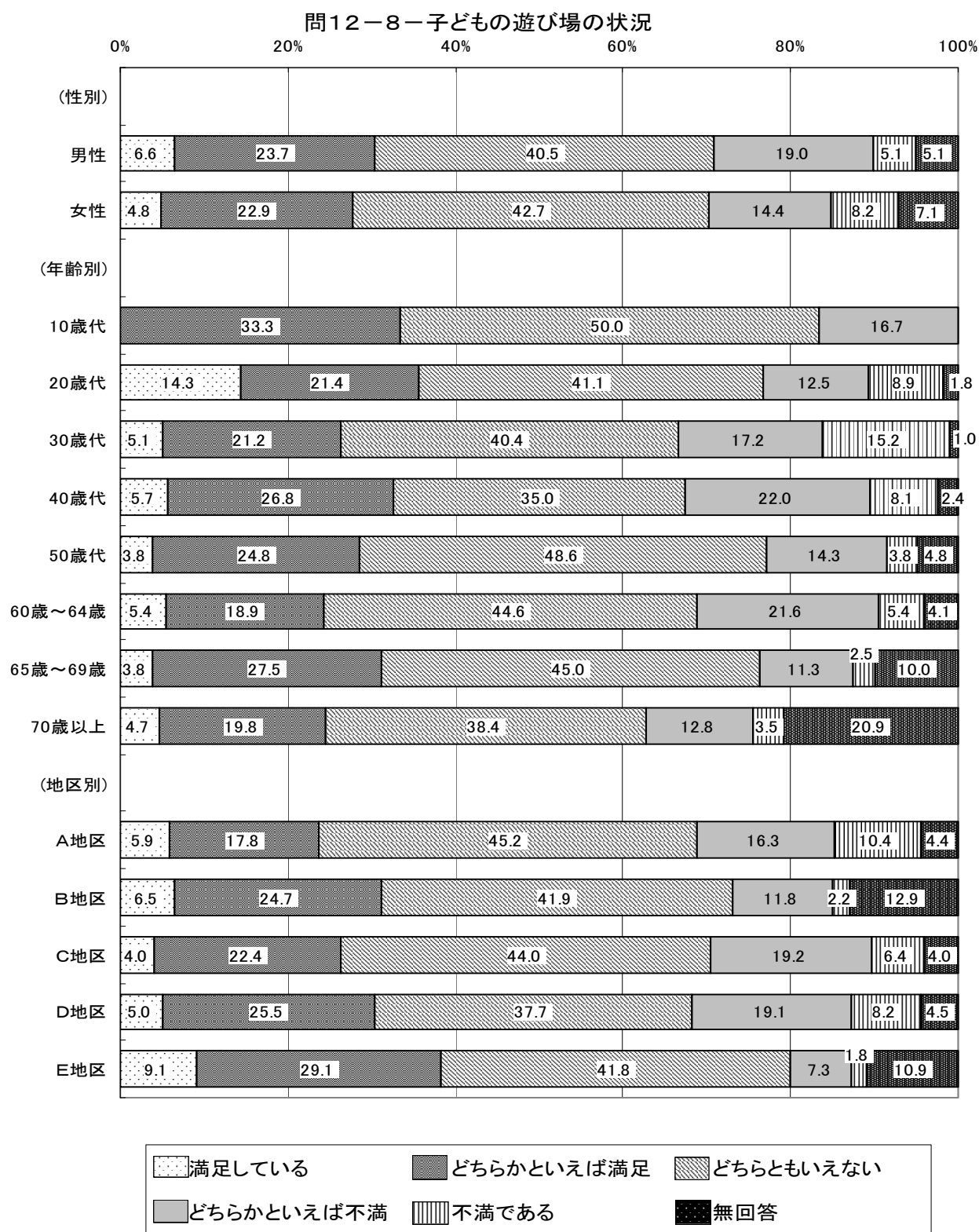
○地区別では、E地区の「満足している」と「どちらかといえば満足」を加えると約40%が概ね満足している。



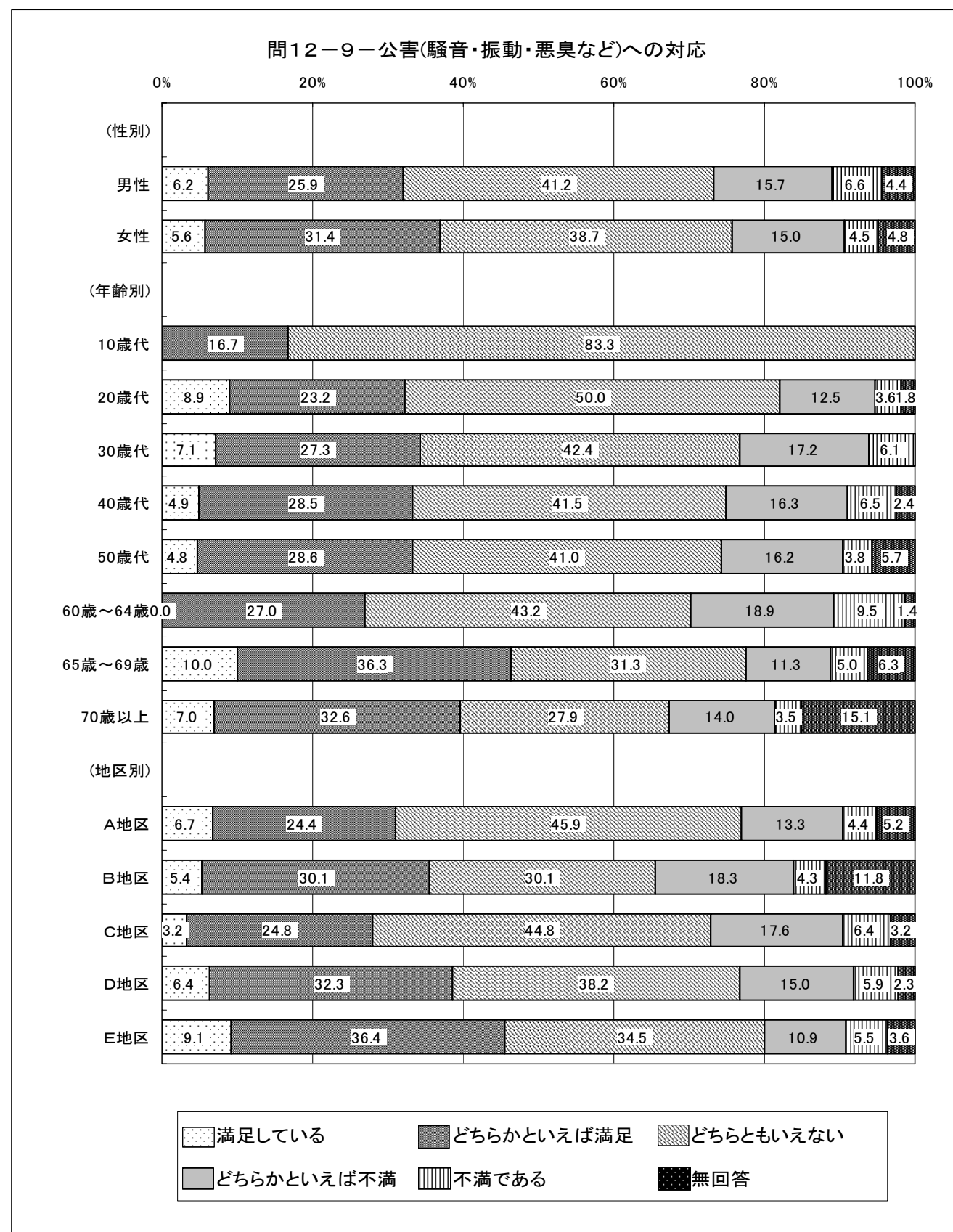
○「満足している」が、性別・年齢別・地区別の全てにおいて、10～20%と高い値を示している。



○「満足している」「どちらかといえば満足」を加えると、性別・年齢別・地区別において約 50%と高い値となっている。

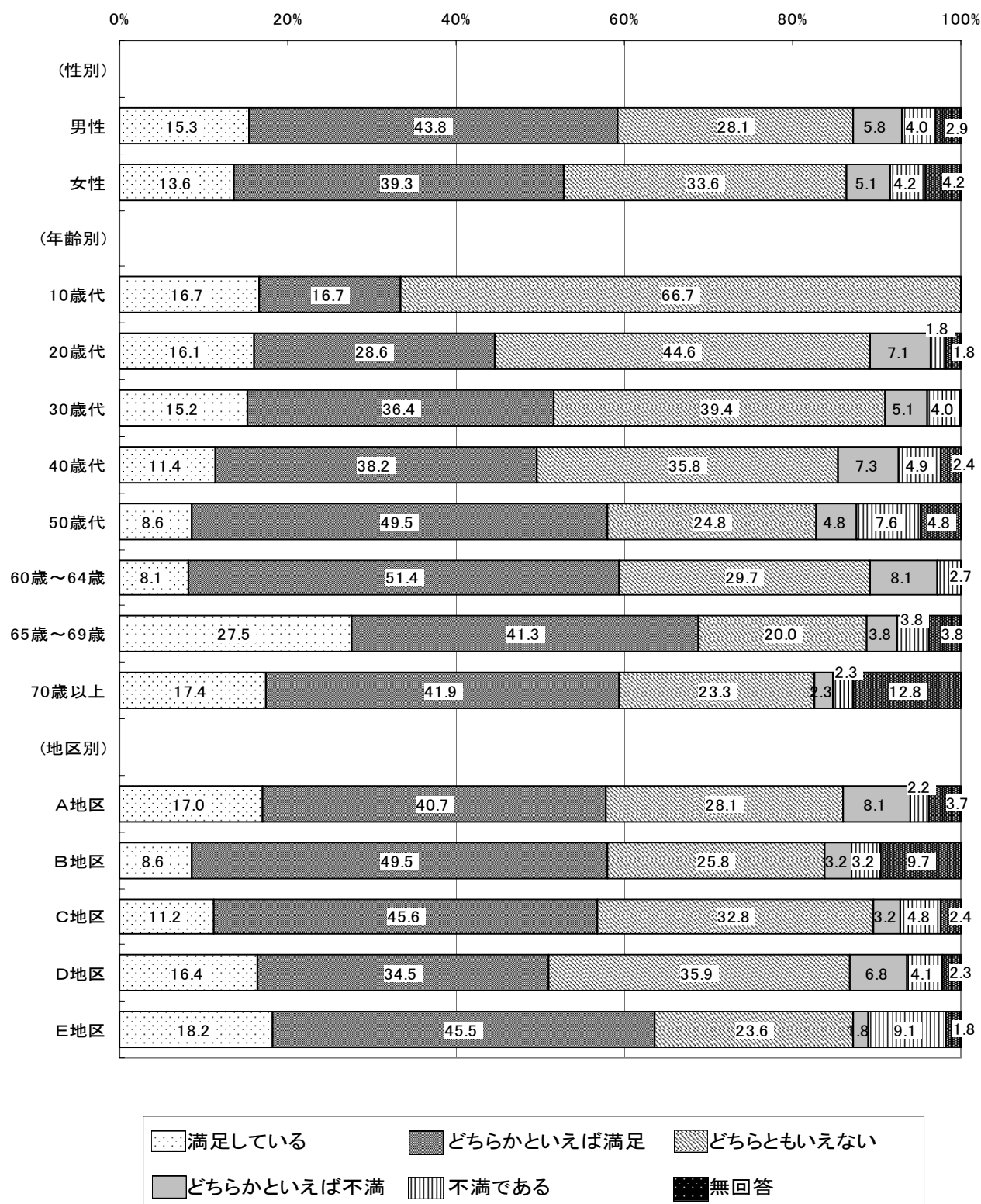


○「満足している」では、20歳代の14.3%が最も高い値となっている。



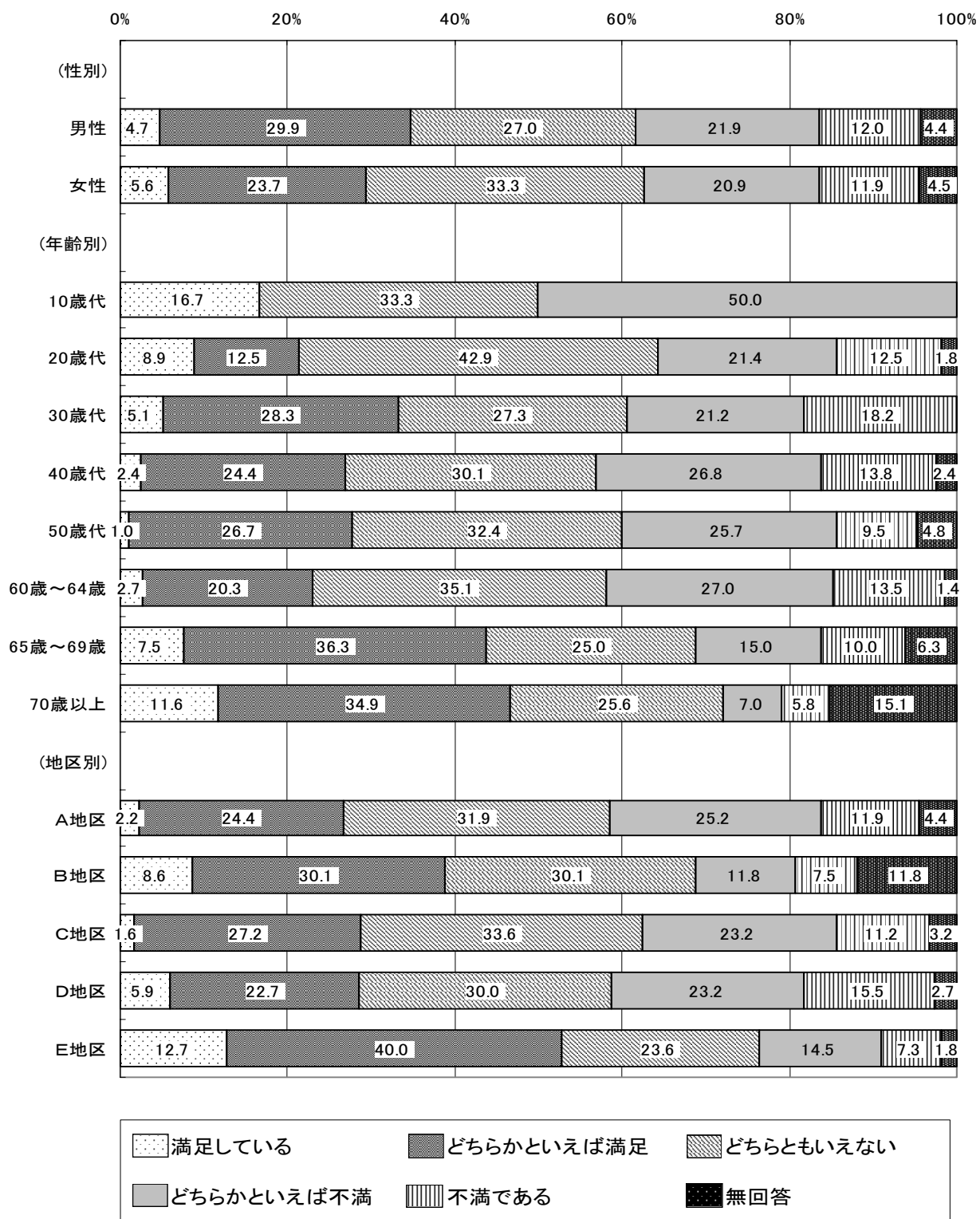
○年齢別の65歳～69歳と70歳以上、地区別では、E地区の「どちらかといえば満足」が「どちらともいえない」を上回っている。

問12-10-ごみ処理の状況

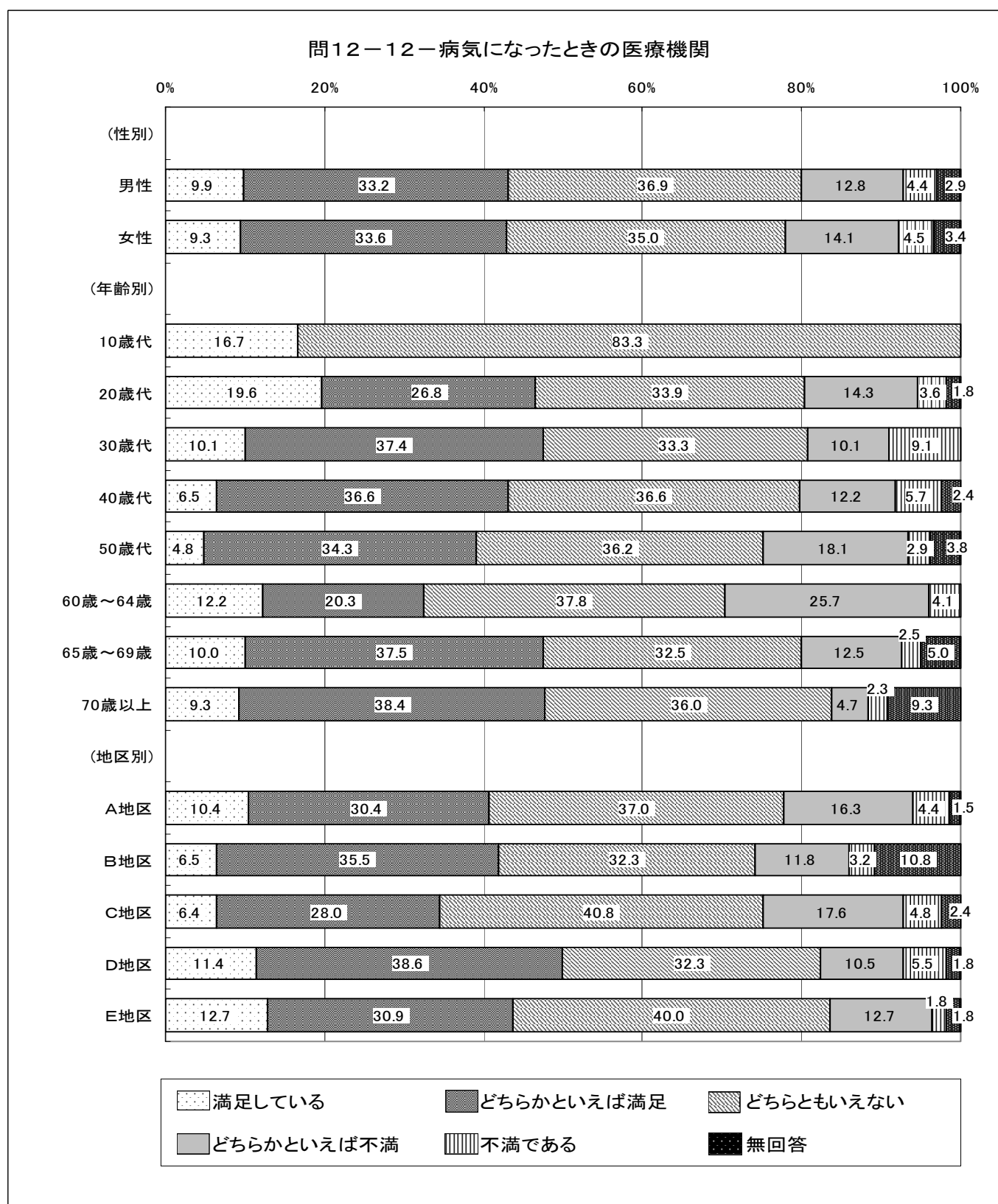


○全体的に「満足している」が高く、年齢別では、65歳～69歳の27.5%と高い値となっている。

問12-11-道路の整備状況

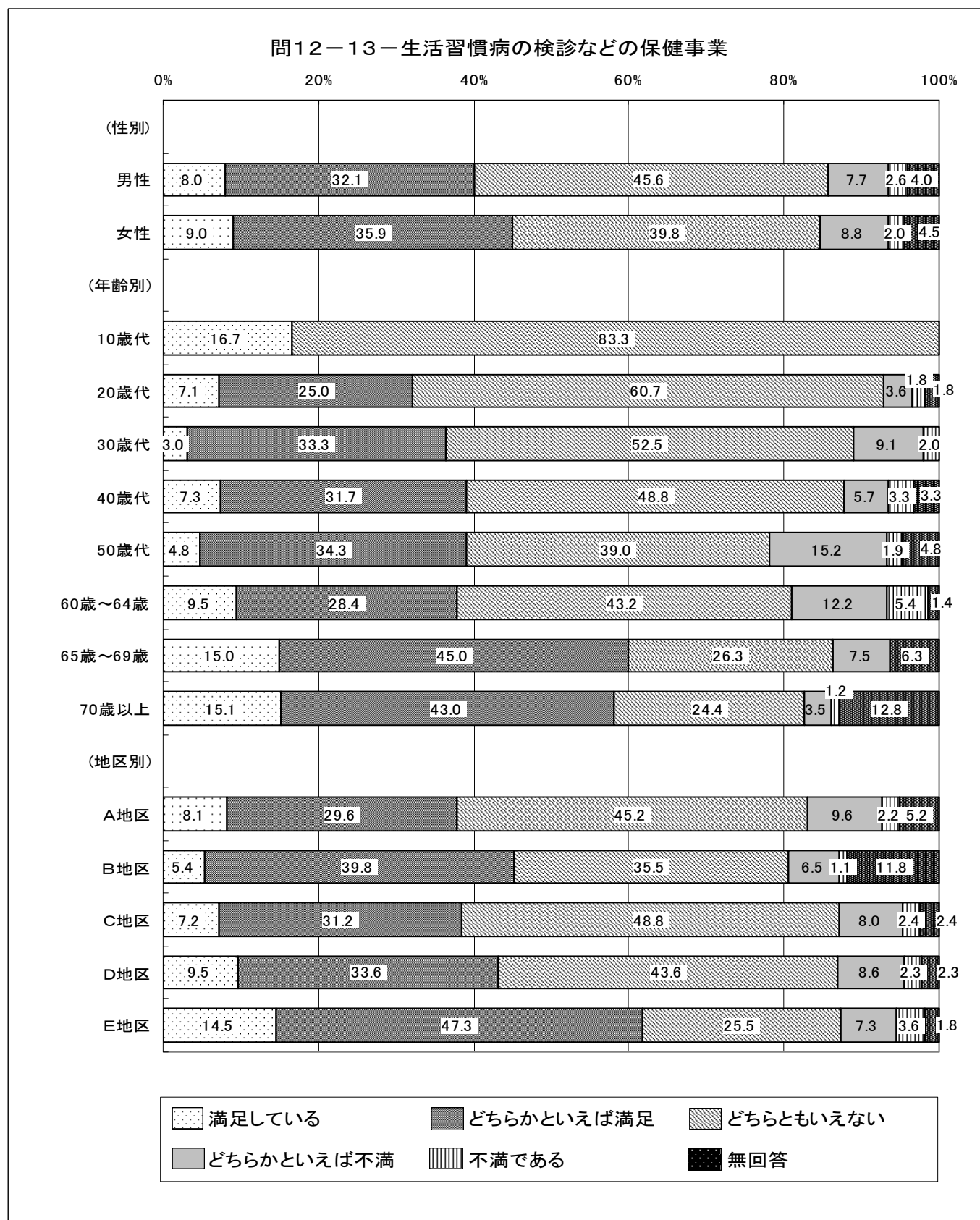


○性別では、男性の「どちらかといえば満足」が「どちらともいえない」を上回っており、年齢別では、65歳以上と地区別では、E地区で同様の傾向になっている。



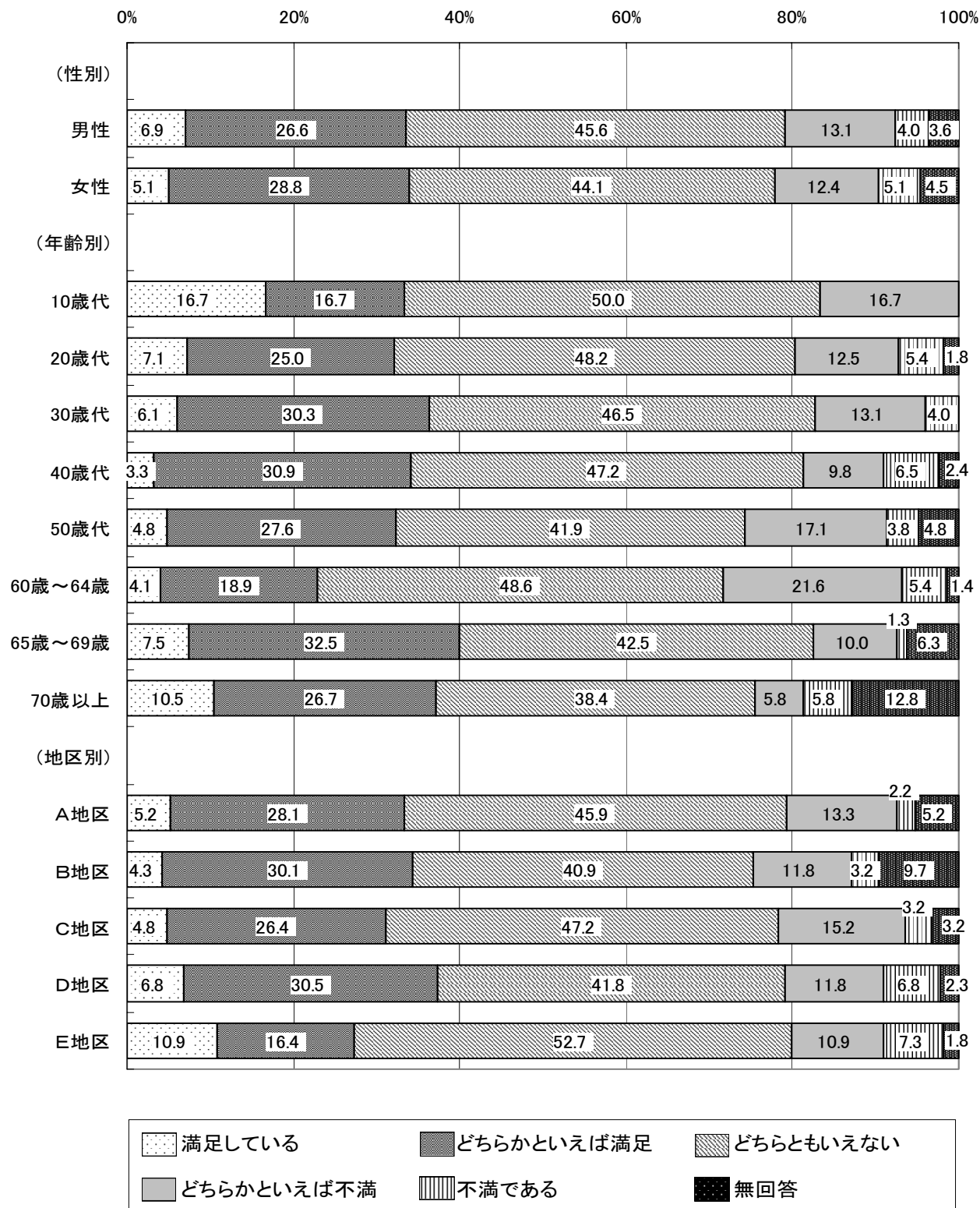
○「満足している」で、性別では、男性・女性とも10%弱であり、年齢別では、20歳代の19.6%が最も高い値となっている。

○年齢別では、60歳以上と地区別のA地区とD地区とE地区で10%を超えている。



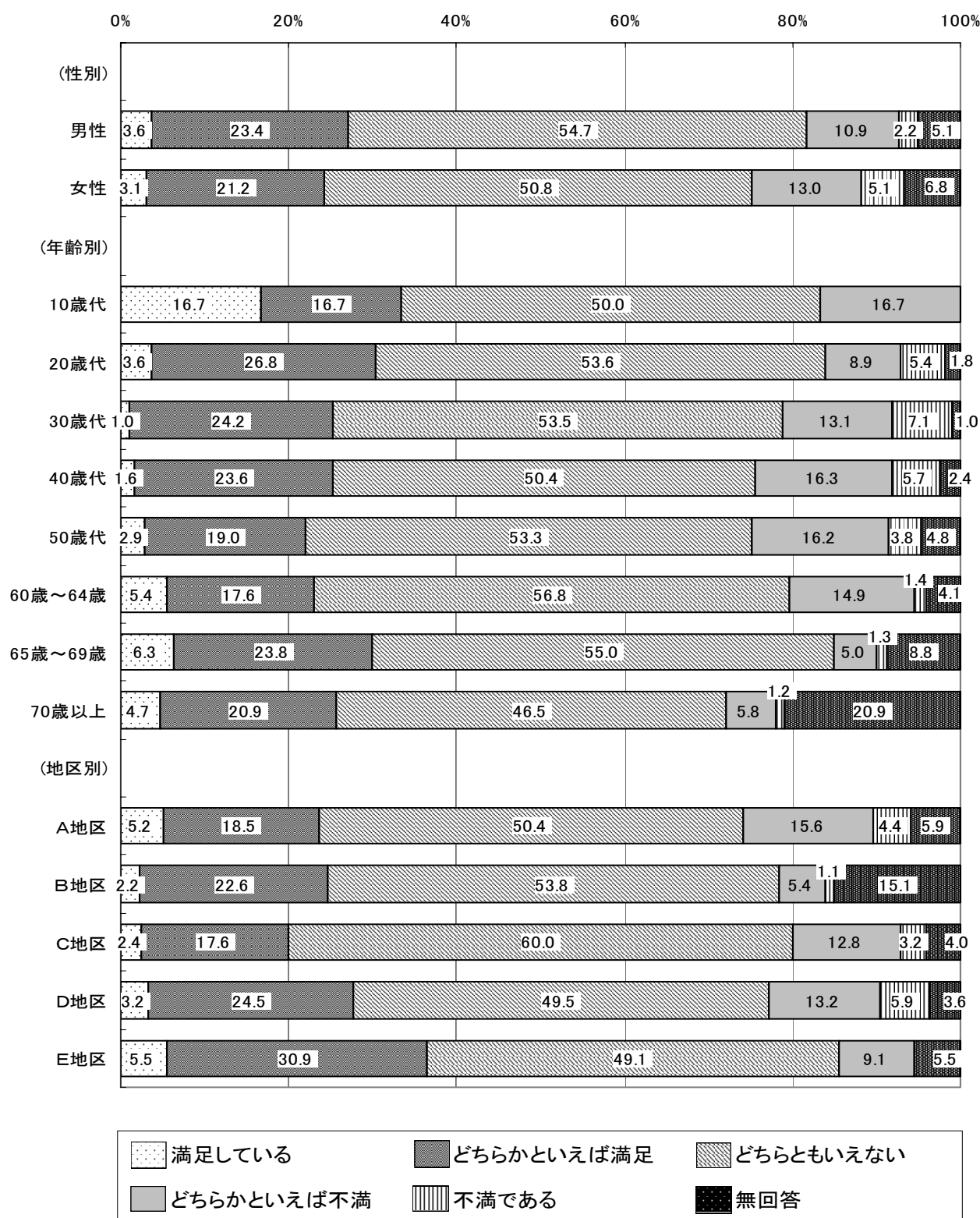
○年齢別では、65歳～69歳の「どちらかといえば満足」が45.0%と高く、次に70歳以上が43.0%となっており、「満足している」も15.1%となっている。地区別では、E地区の「満足している」が14.5%と高く、「どちらかといえば満足」も47.3%と高い値となっている。

問12-14-休日・夜間など救急診察



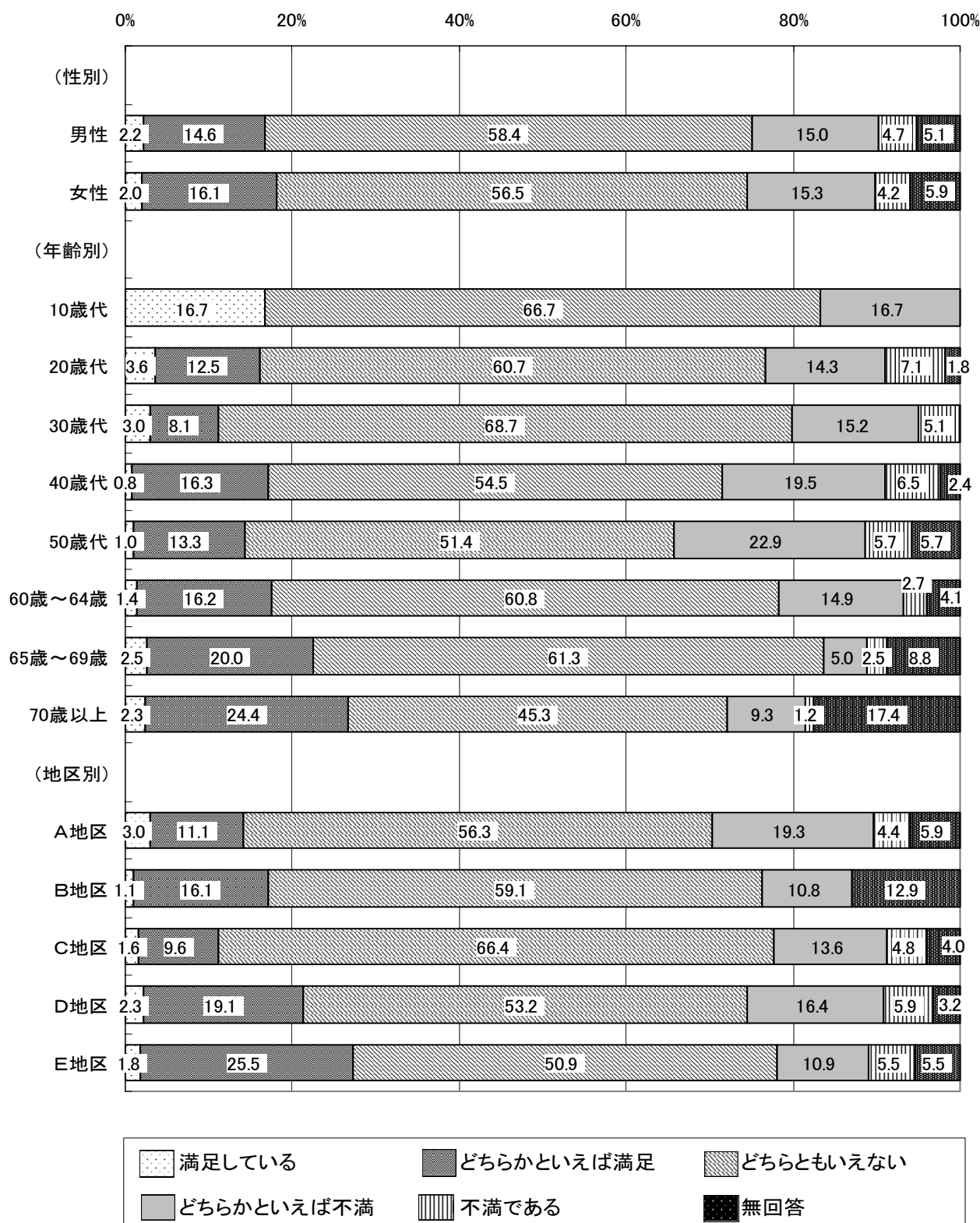
○「満足している」で、年齢別では、70歳以上の10.5%と高く、地区別では、E地区の10.9%が高い値となっている。

問12-15-子どもの教育施設や福祉施設

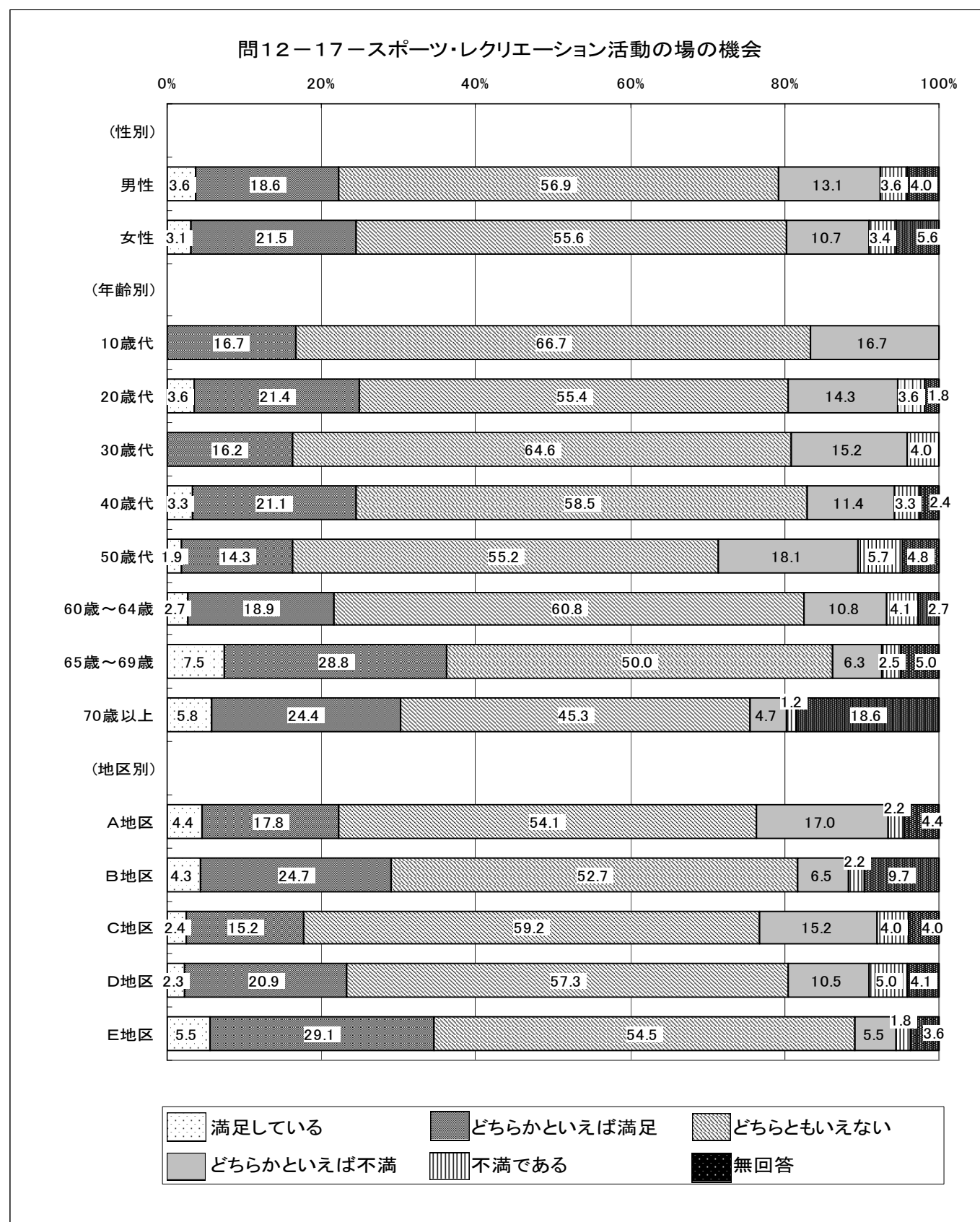


○「満足している」で、全て低い値となっている。地区別では、E地区の「どちらかといえば満足」が30.9%と最も高い値となっている。

問12-16-教養を高める機会

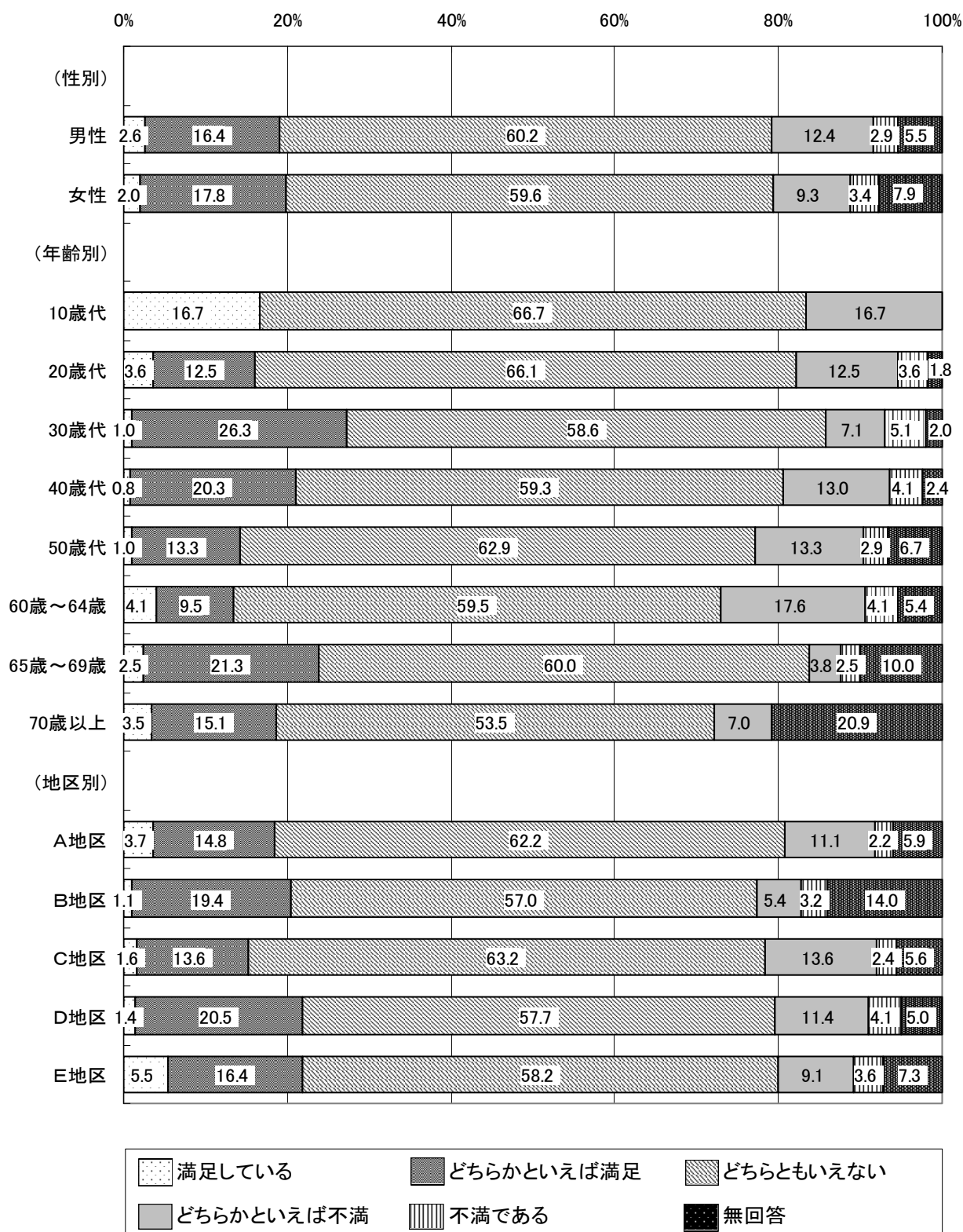


○年齢別では、65歳～69歳と70歳以上で「どちらかといえば満足」が20%を超え、E地区では、25.5%と最も高い値となっている。

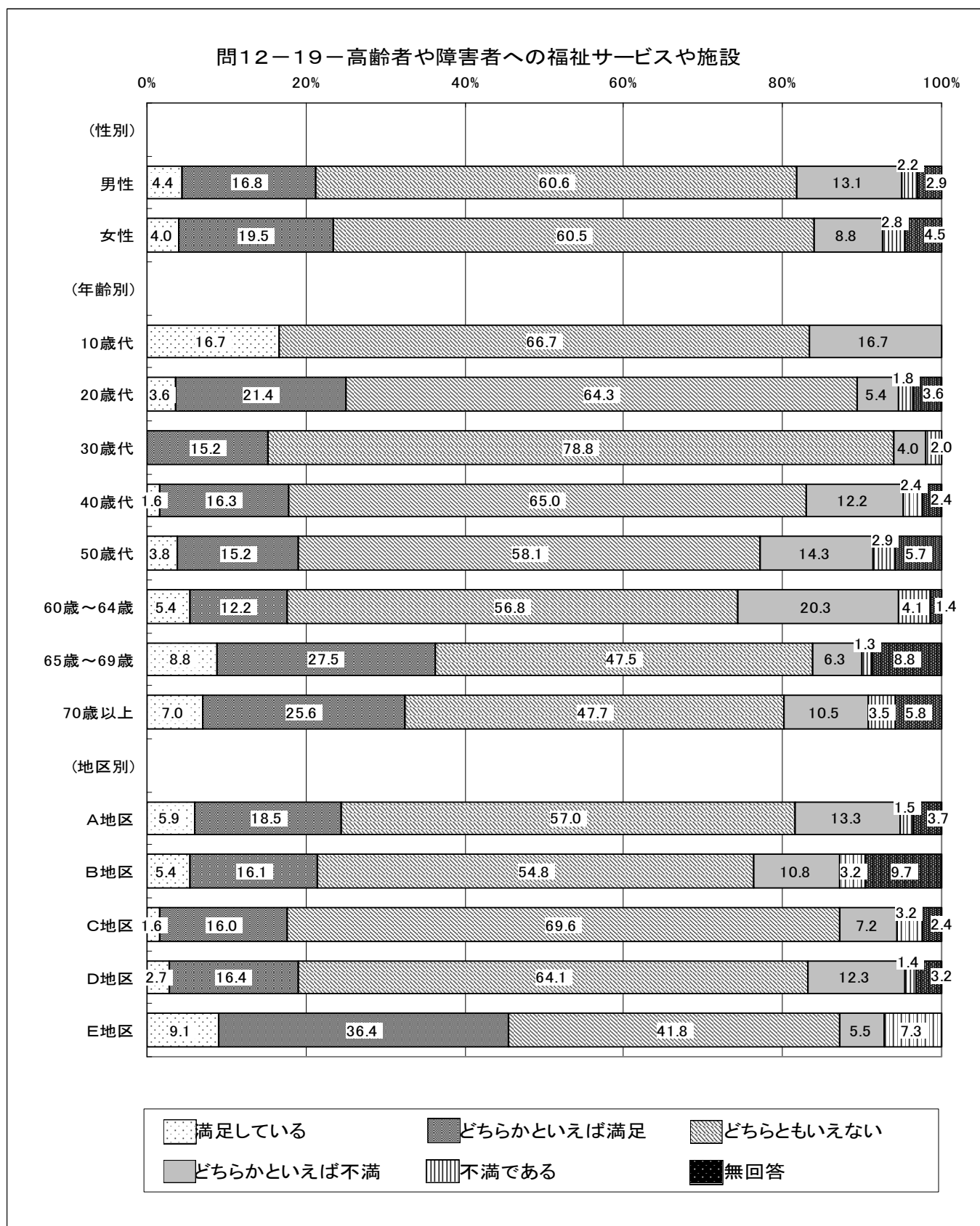


○年齢別では、65歳～69歳の「どちらかといえば満足」が28.8%と高く、地区別では、E地区の29.1%が最も高い値となっている。

問12-18-保育サービスなどの子育て環境



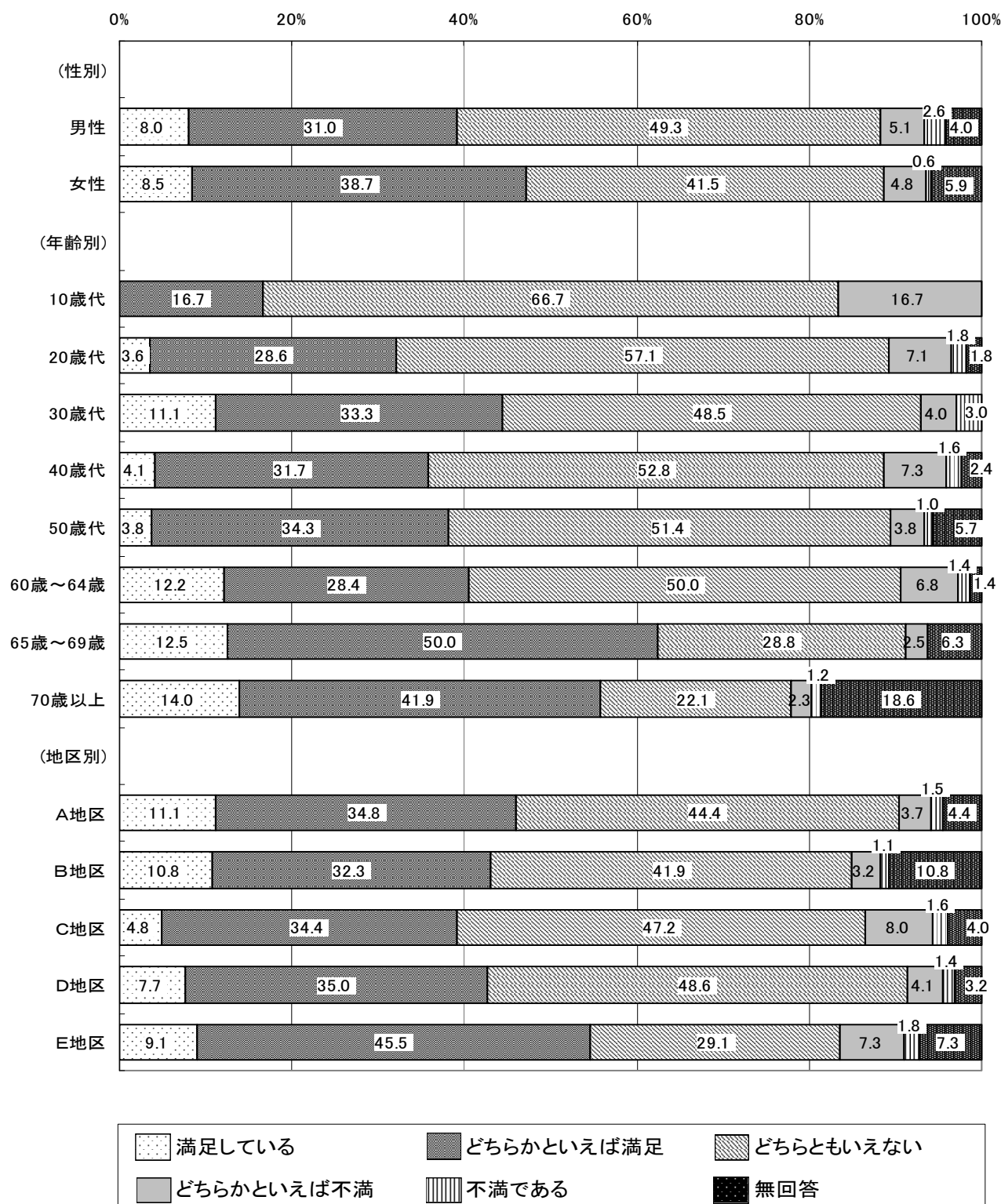
○年齢別では、30歳代の「どちらかといえば満足」が26.3%と最も高い値となっている。



○「満足している」で、地区別では、E地区で9.1%と高くなっている。

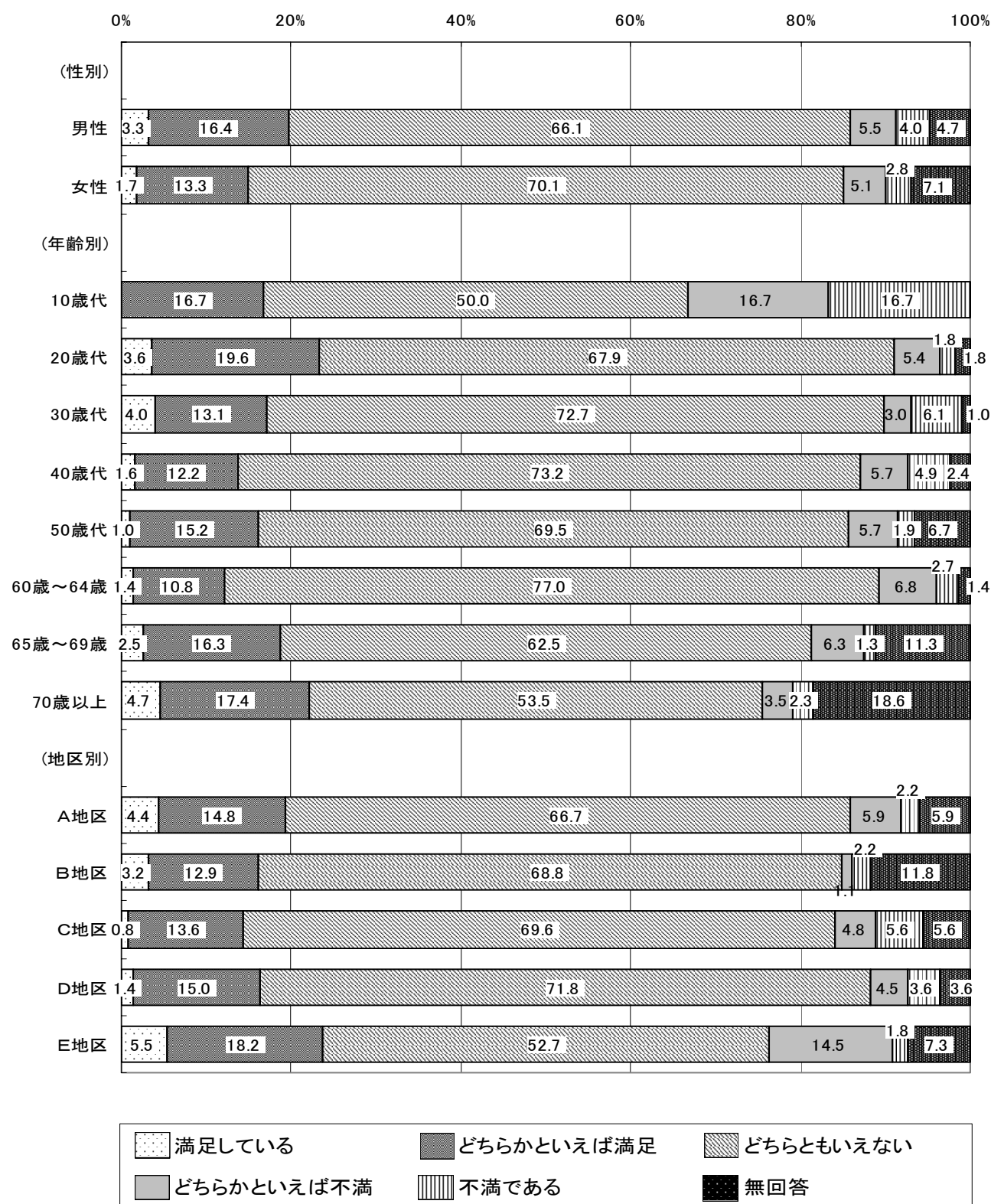
○「どちらかといえば満足」で、年齢別では、65歳～69歳の27.5%と70歳以上の25.6%で、地区別では、E地区の36.4%が最も高い値となっている。

問12-20-市報やホームページなどの広報



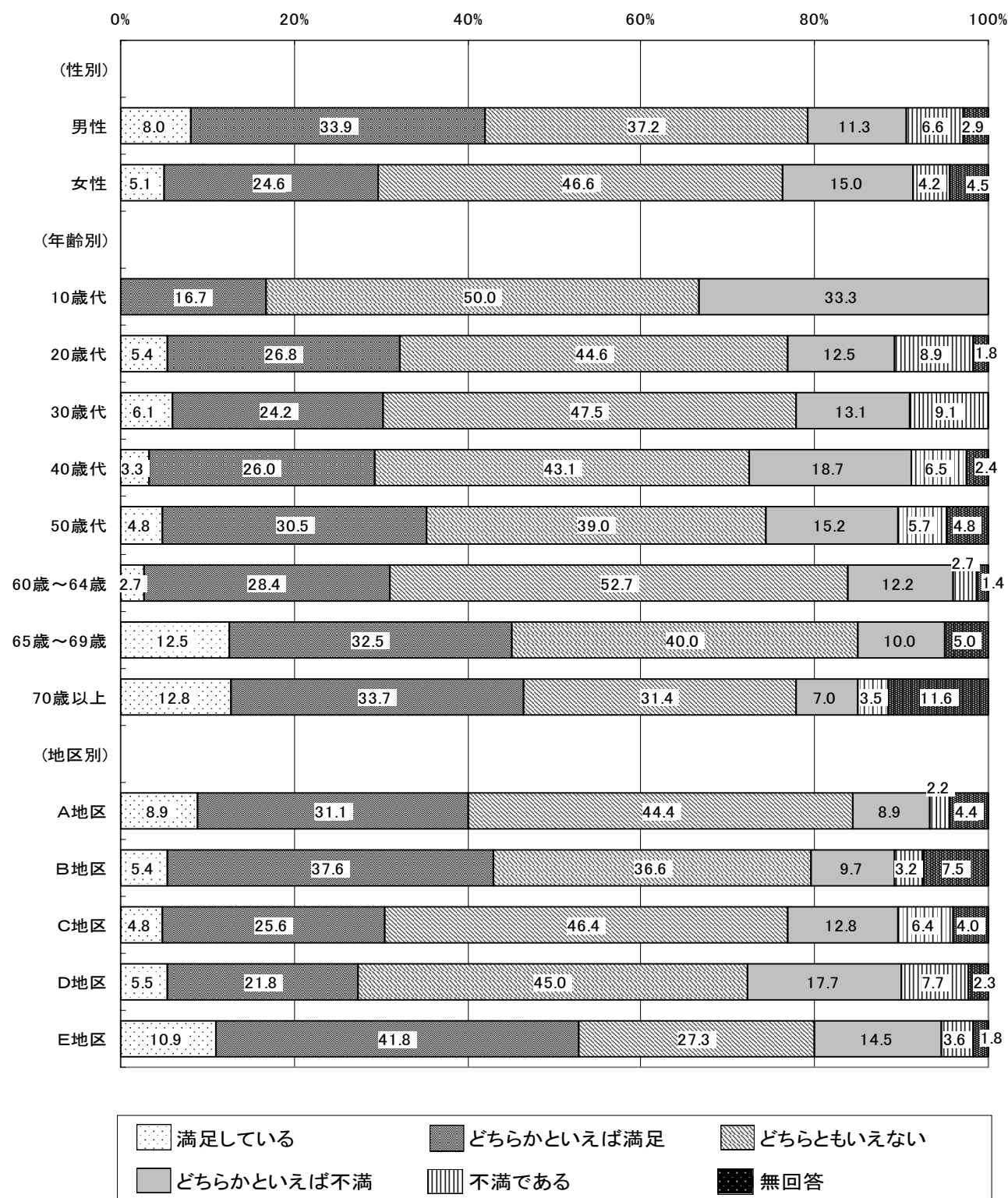
○「満足している」で、年齢別と地区別では、10%を超える回答もあり、「どちらかといえば満足」で、65歳～69歳の50.0%が最も高い値となっている。

問12-21-市長への手紙など市へ要望を伝える方法

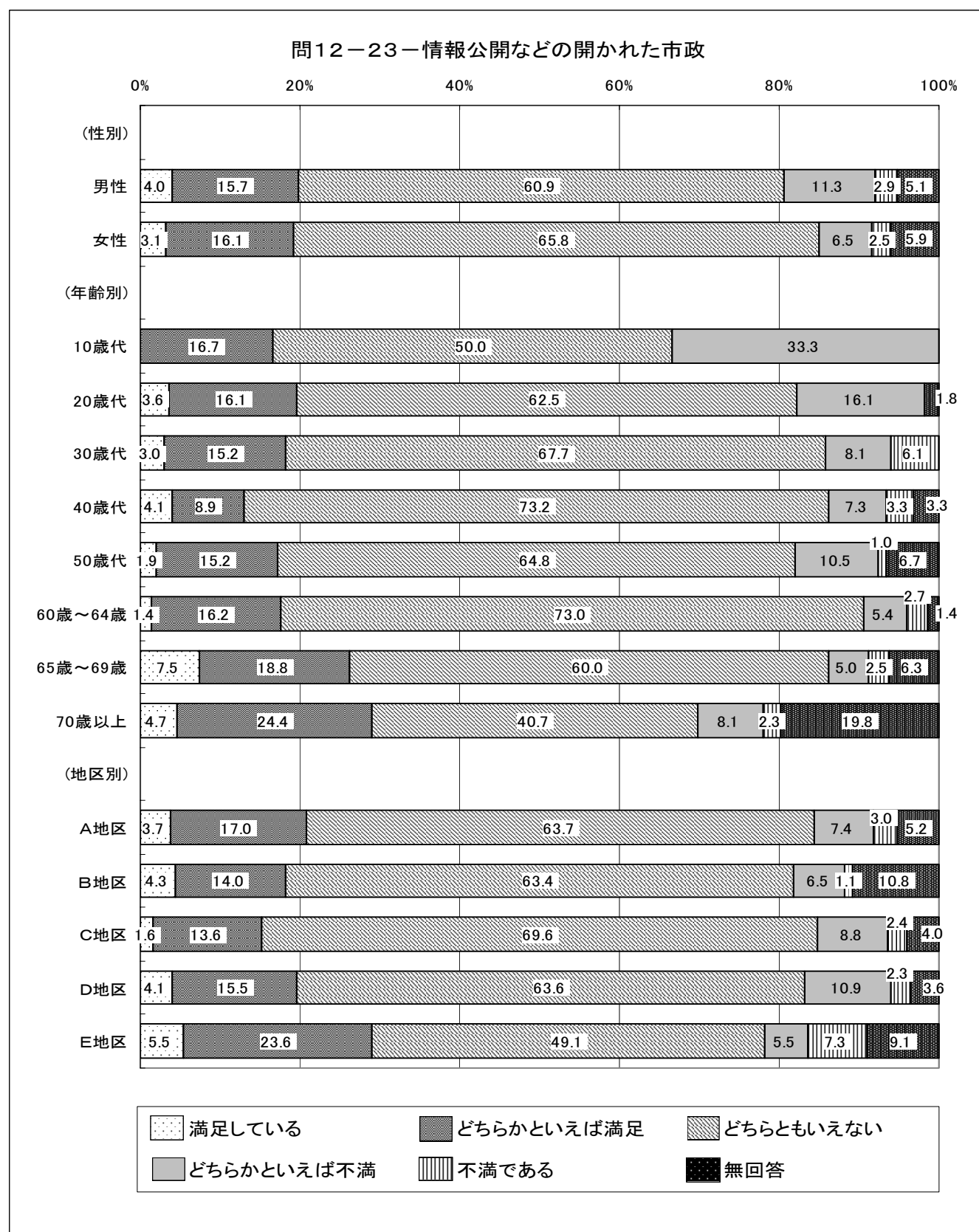


○「どちらかといえば満足」で、年齢別では、20歳代の19.6%が高く、地区別では、E地区の18.2%が高い値となっている。

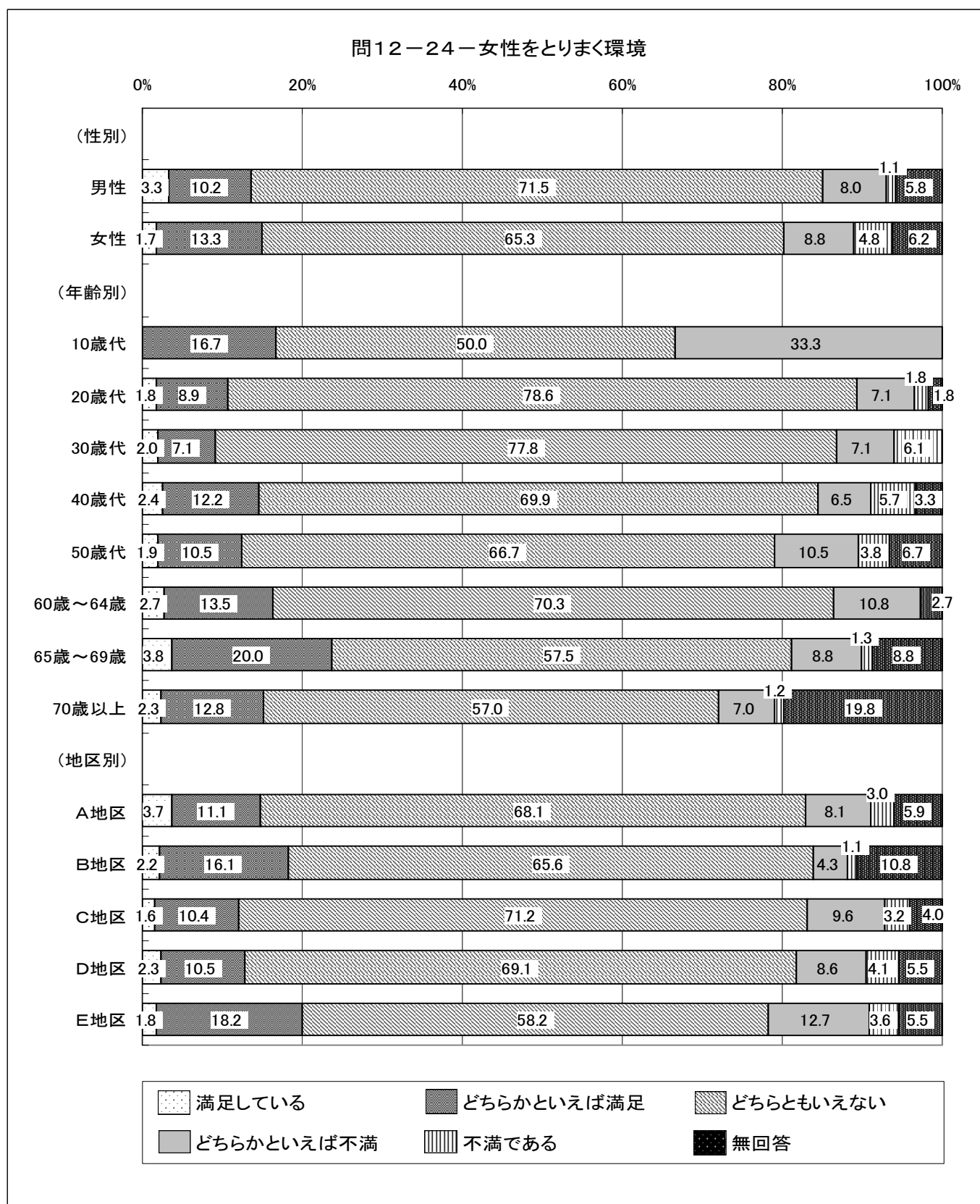
問12-22-市役所の利用のしやすさ



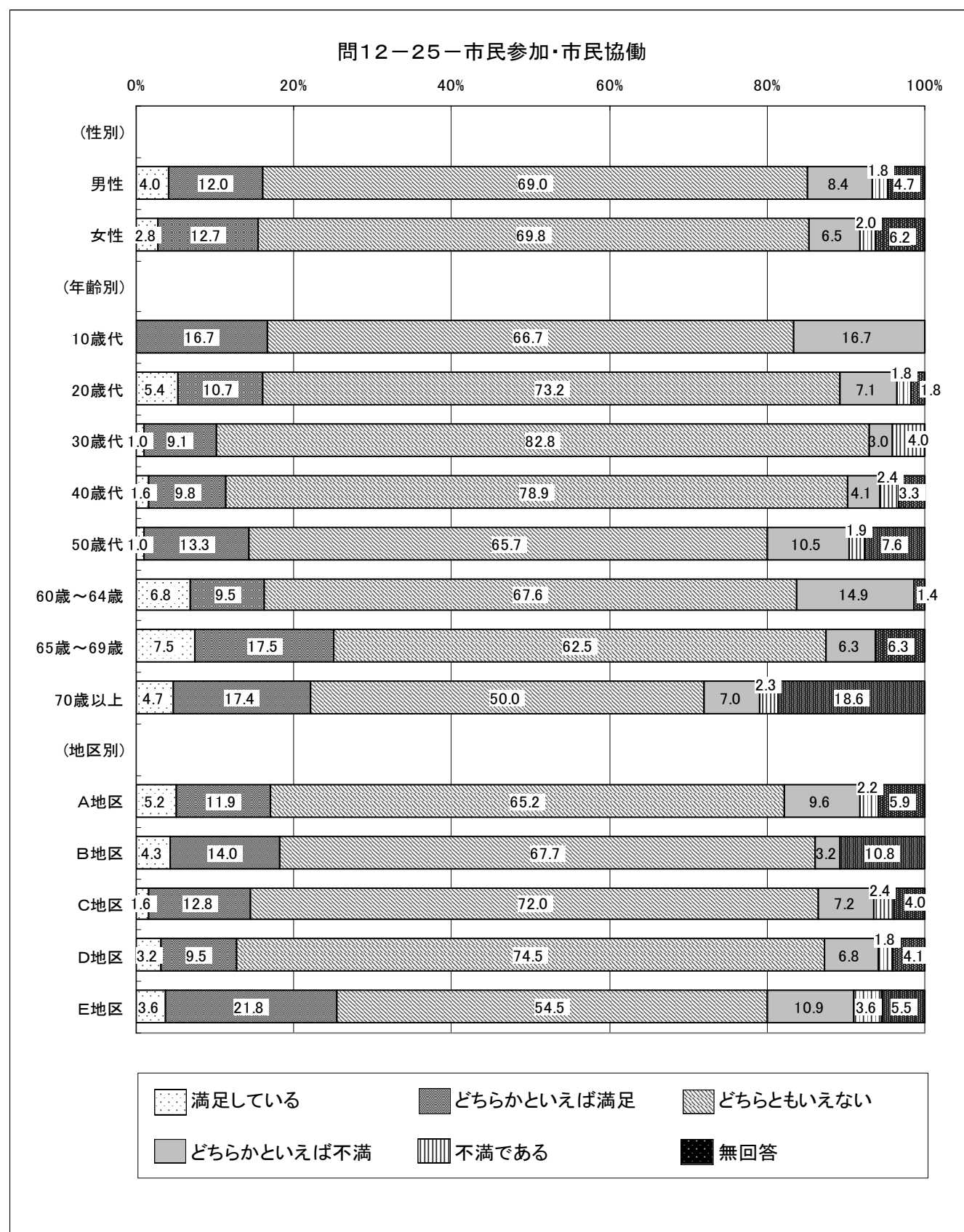
○「どちらかといえば満足」で、地区別では、E地区が41.8%と高く、「満足している」を加えると52.7%と高い値となっている。



○「どちらかといえば満足」で、年齢別では、70歳以上の24.4%と高く、地区別では、E地区の23.6%が高い値となっている。



○「どちらかといえば満足」で、年齢別では、65歳～69歳が20.0%と最も高い値となっている。



○「どちらかといえば満足」で、地区別では、E地区が21.8%と最も高い値となっている。

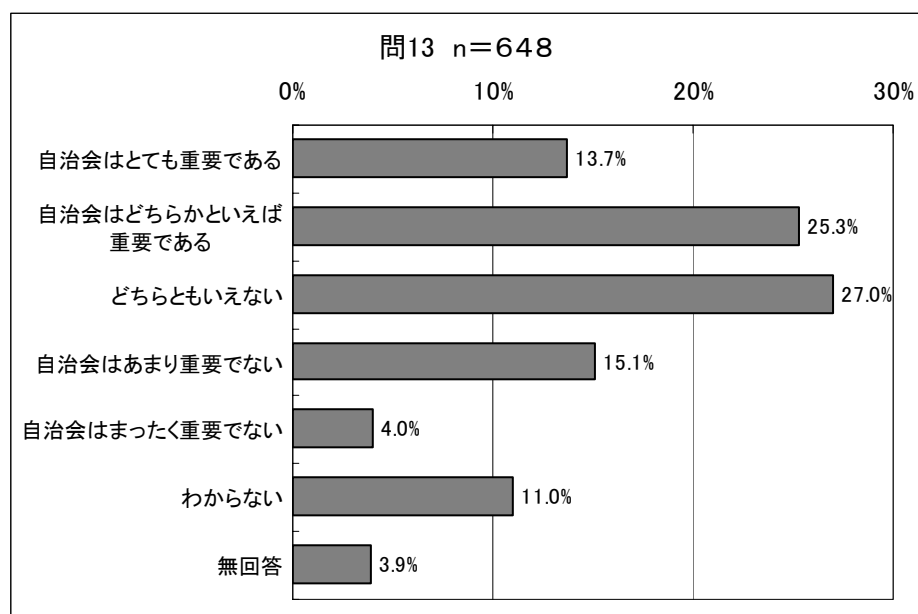
2. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

3-1. 市民自ら考え行動するまちづくり

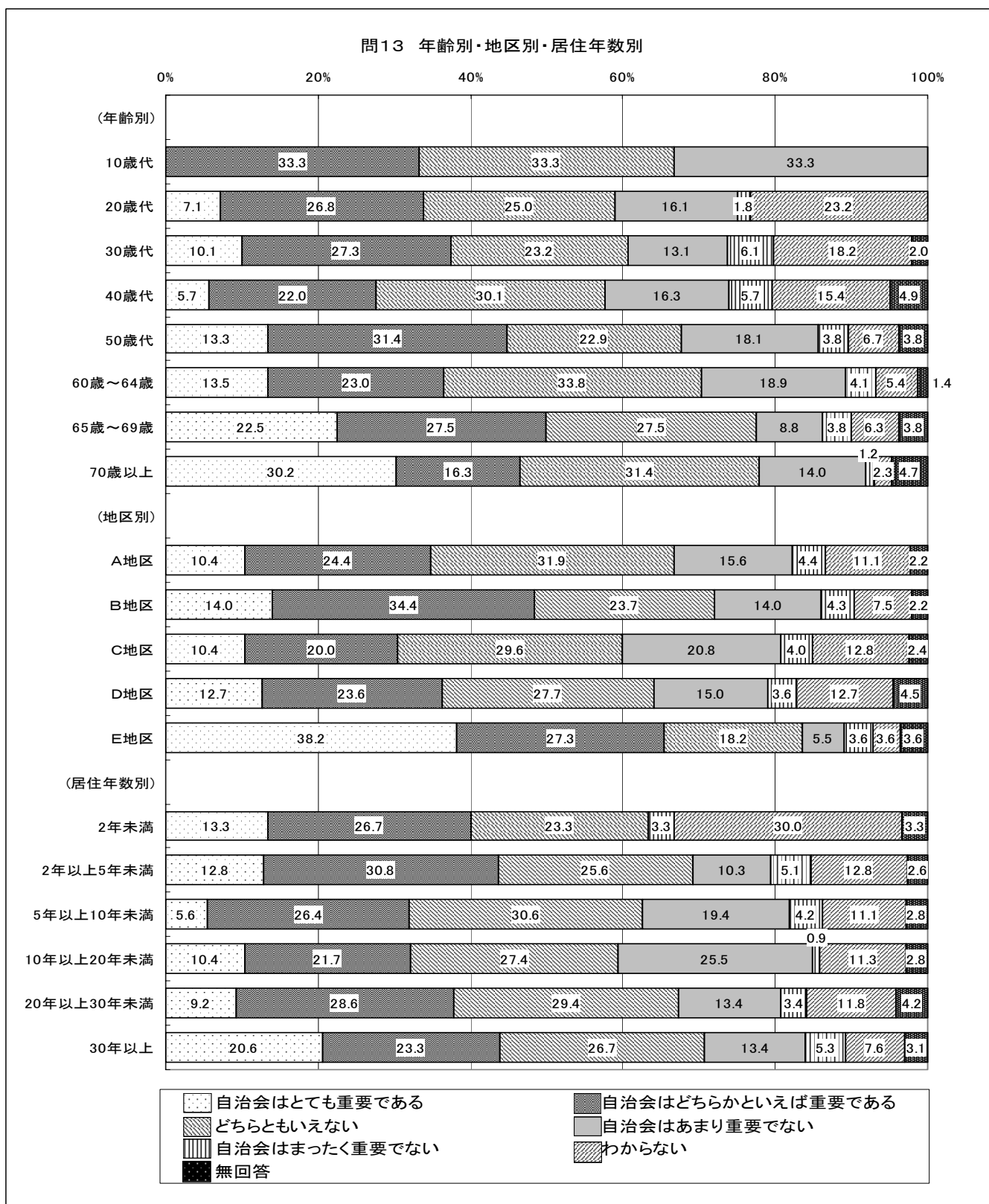
(1) コミュニティ

問13 あなたは、地域の自治会は重要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 自治会はとても重要である | 4 自治会はあまり重要でない |
| 2 自治会はどちらかといえば重要である | 5 自治会はまったく重要でない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○「どちらともいえない」が 27.0%と高く、「重要である」と「どちらかといえば重要である」を含めると 39.0%となっている。



○「重要である」では、年齢別の70歳以上が、30.2%、地区別のE地区が、38.2%、居住年数別の30年以上が、20.6%と最も高い値となっている。

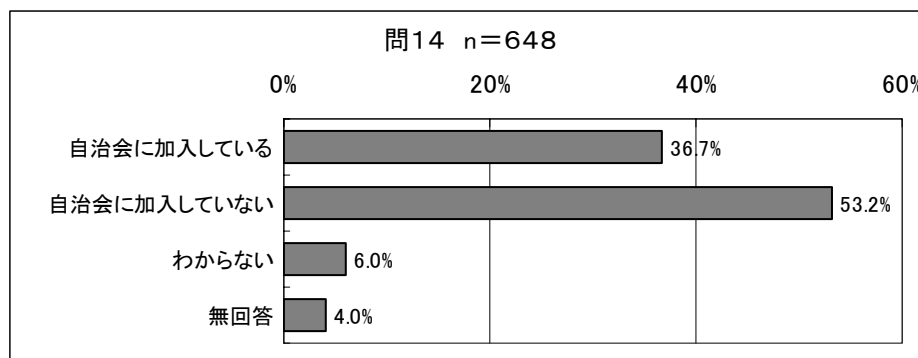
○「重要である」と「どちらかといえば重要である」を含めると年齢別の65歳～69歳が、50.0%と高く、次に70歳以上が46.5%となっている。地区別では、E地区が、65.5%、次にB地区が48.4%となっている。居住年数別では、30年以上が、43.9%、次に2年以上5年未満が43.6%となっている。

問14 あなたは、地域の自治会に加入していますか。(〇は1つ)

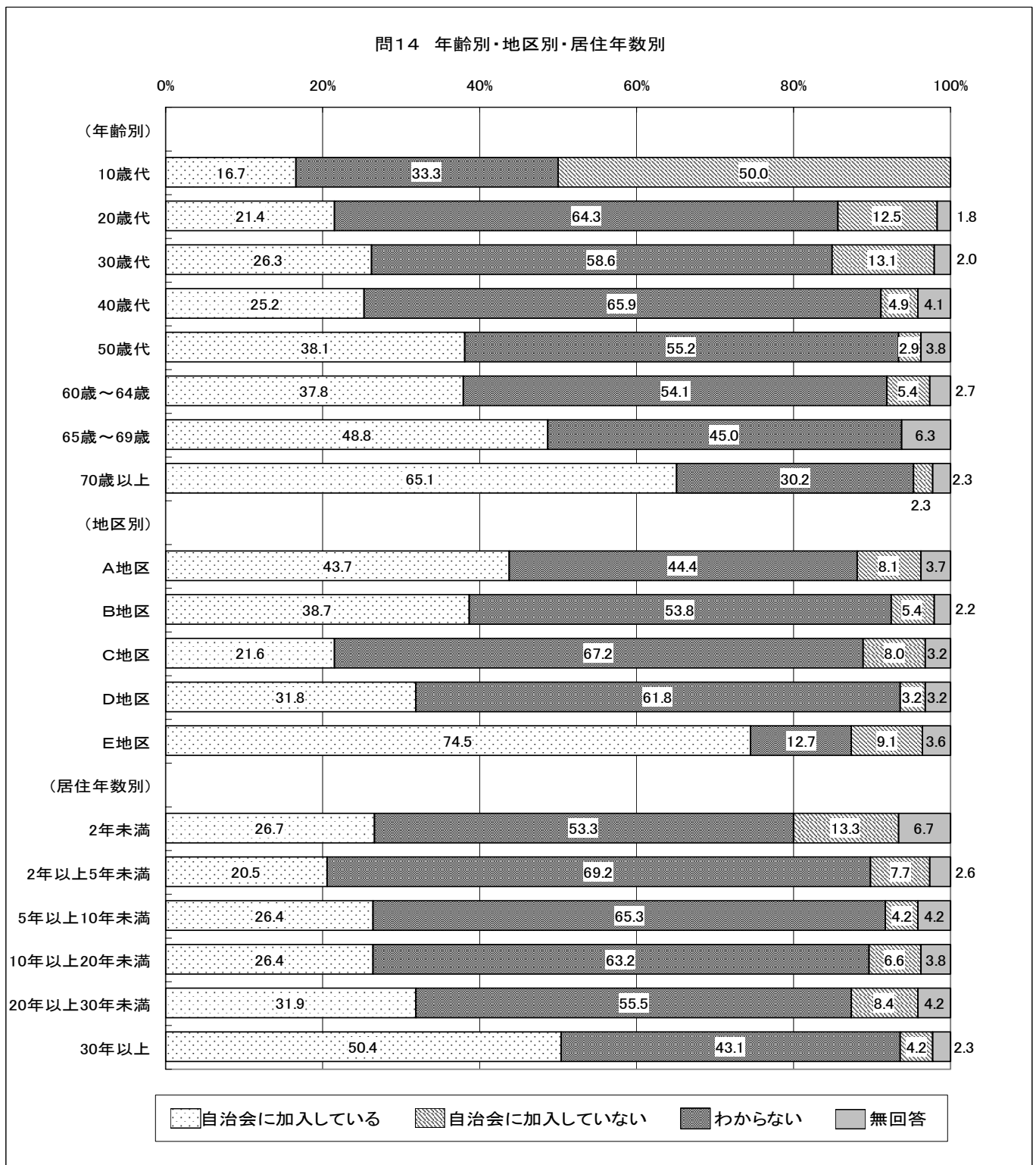
1 自治会に加入している

2 自治会に加入していない

3 わからない



○「加入していない」が53.2%と高く、次に「加入している」が36.7%となっている。



○「加入している」では、年齢別の70歳以上が、65.1%と高く、次に65歳～69歳が48.8%となっている。

○地区別では、E地区が74.5%と高く、次にA地区が43.7%となっている。

○居住年数別では、30年以上が50.4%と高く、次に20年以上30年未満の31.9%となっている。

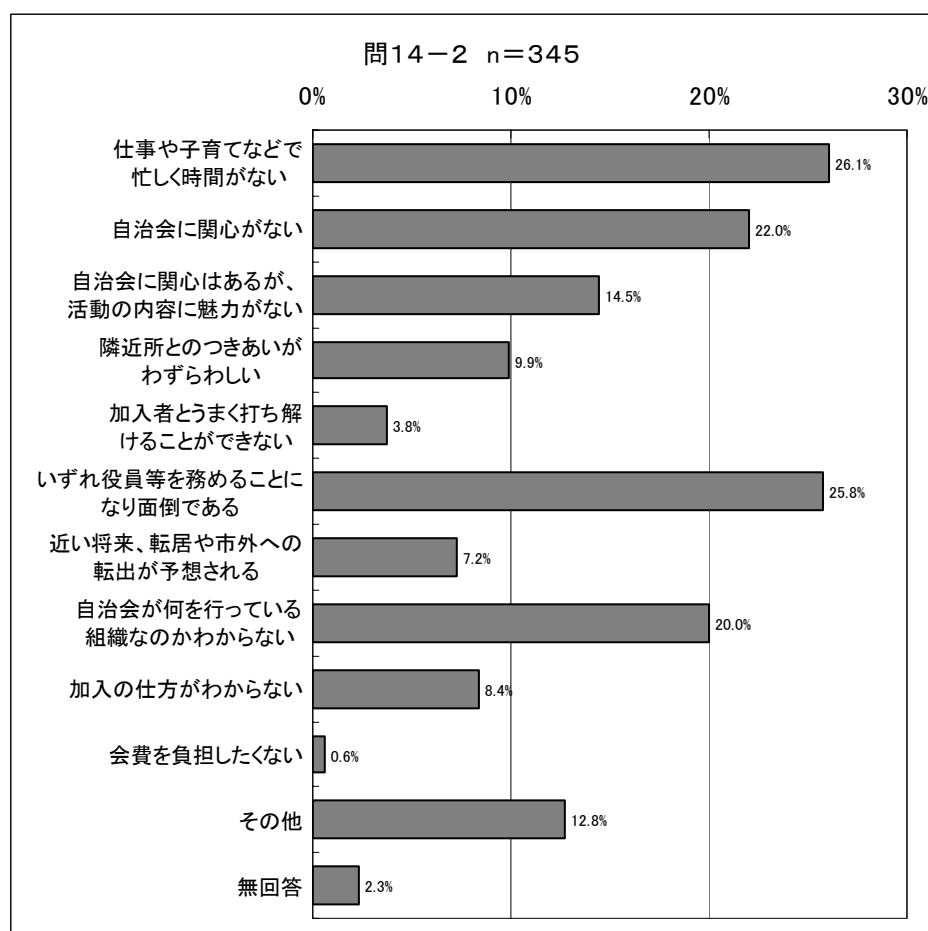
○「加入していない」の年齢別では、40歳代が65.9%と高く、次に20歳代が64.3%となっている。

○地区別では、C地区が67.2%と高く、次にD地区の61.8%となっている。

○居住年数別では、2年以上5年未満が69.2%と高く、次に5年以上10年未満が65.3%となっている。

問14-2 問14で「2」と回答した方にお聞きます。自治会に加入していない理由は。(〇は2つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 仕事や子育てなどで忙しく時間がない | 6 いずれ役員等を務めることになり面倒である |
| 2 自治会に関心がない | 7 近い将来、転居や市外への転出が予想される |
| 3 自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない | 8 自治会が何を行っている組織なのかわからない |
| 4 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 9 加入の仕方がわからない |
| 5 加入者とうまく打ち解けることができない | 10 会費を負担したくない |
| | 11 その他 () |



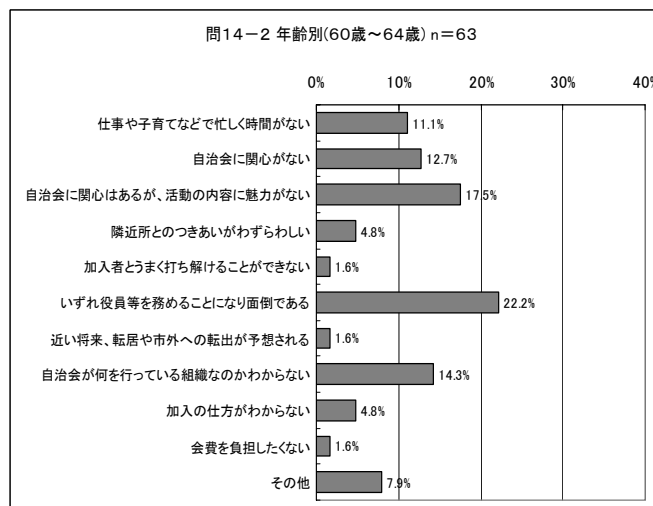
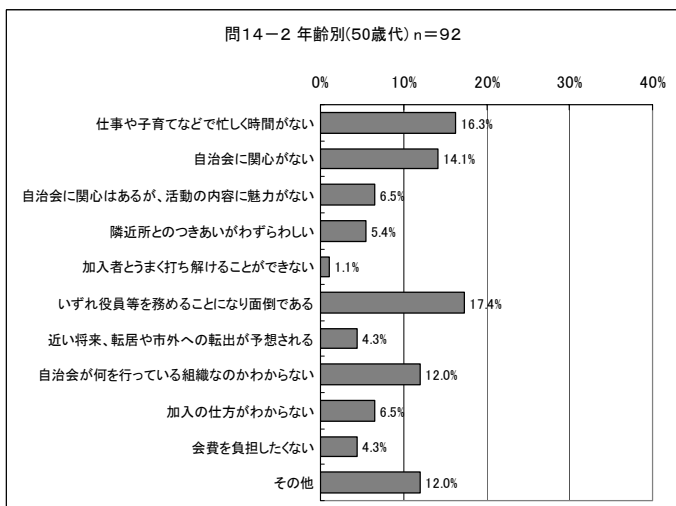
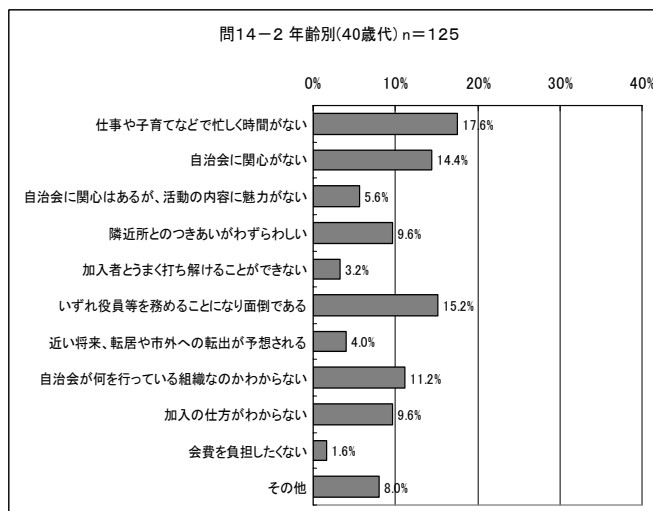
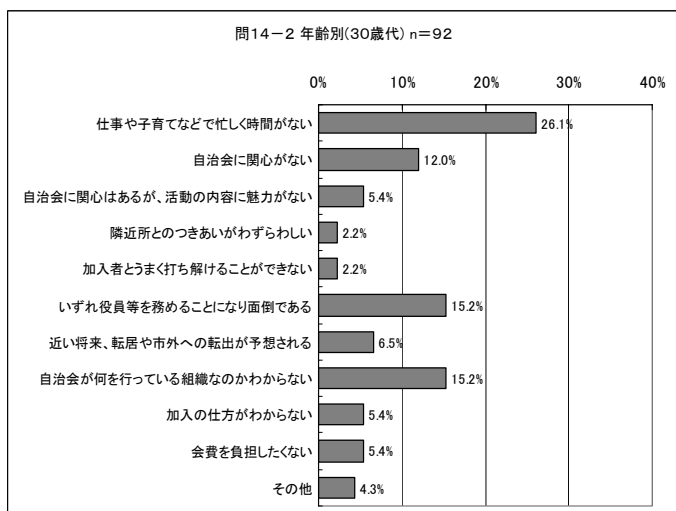
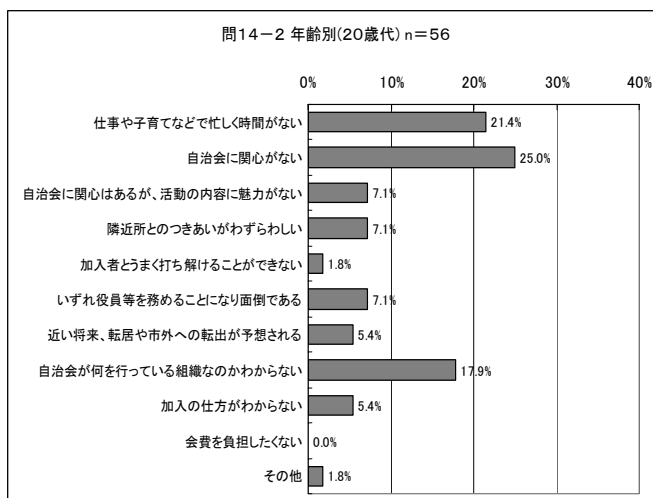
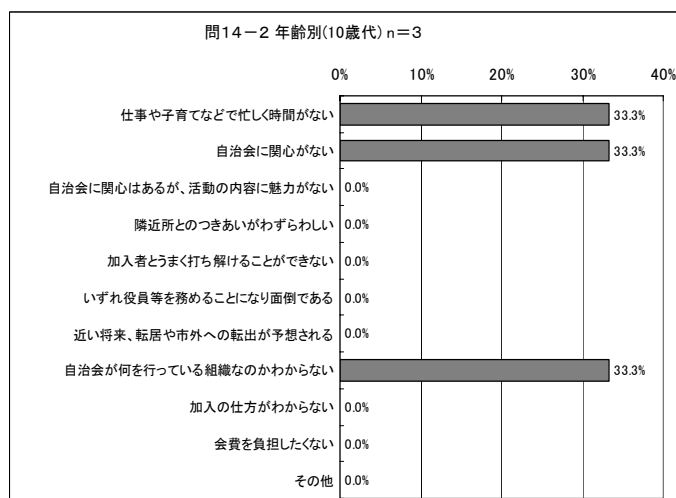
○「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」が26.1%と高く、次に「いずれ役員などを務めることになり面倒である」が25.8%で、以下「自治会に関心がない」が22.0%、「自治会が何を行っている組織なのかわからない」が20.0%となっている。

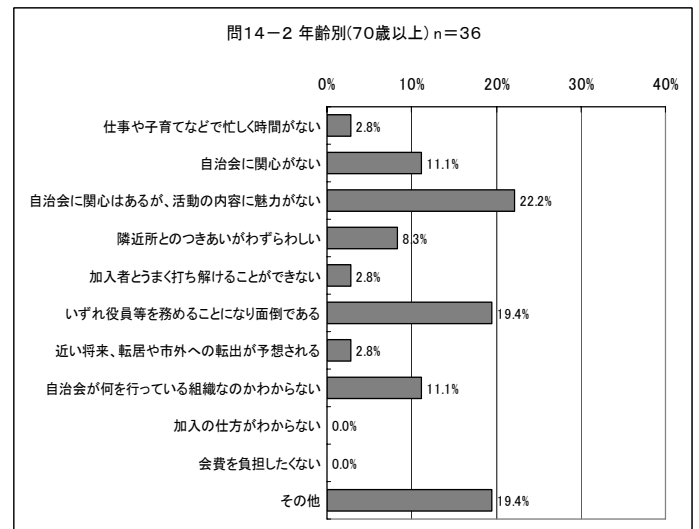
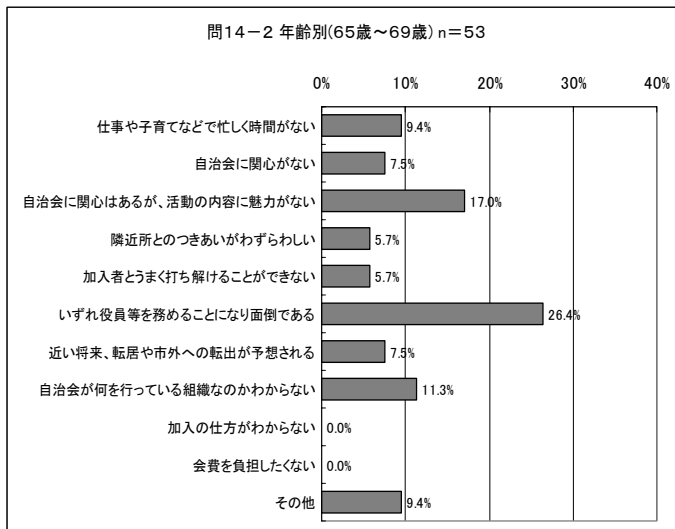
○年齢別では、年代が若いほど「自治会に関心がない」や「時間がない」が高く、年代が高いと「面倒である」が高い値となっている。

○居住年数別でも、年数が短ければ「自治会に関心がない」や「時間がない」が高く、年数が長ければ「面倒である」が高い値となっている。

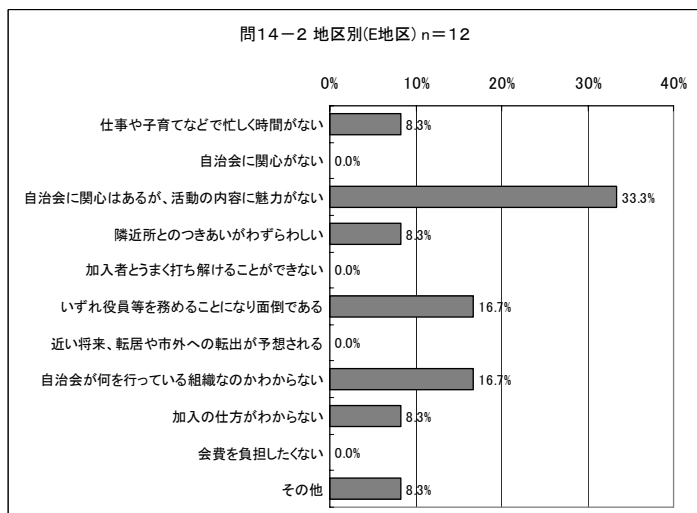
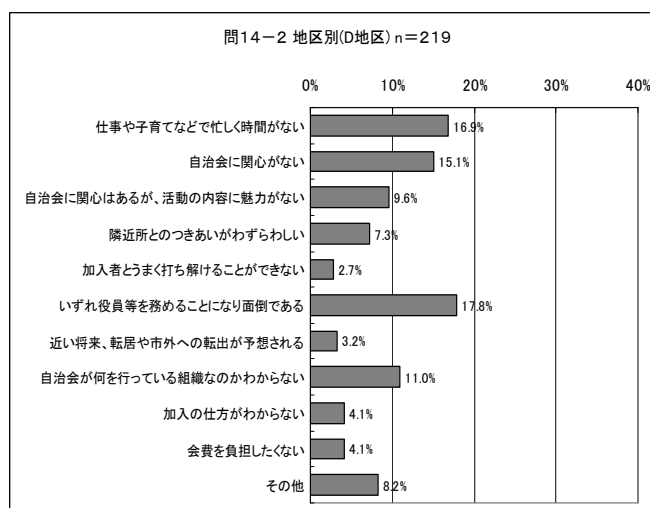
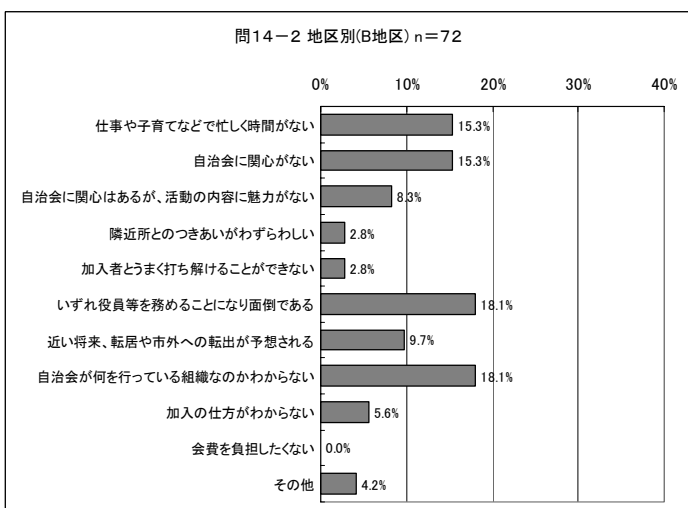
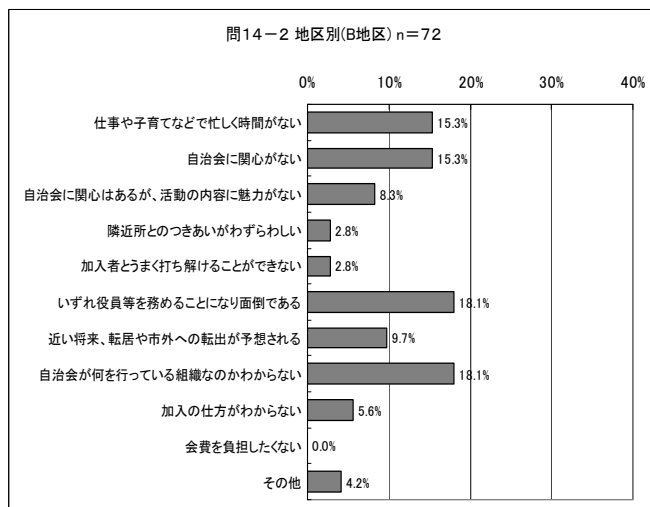
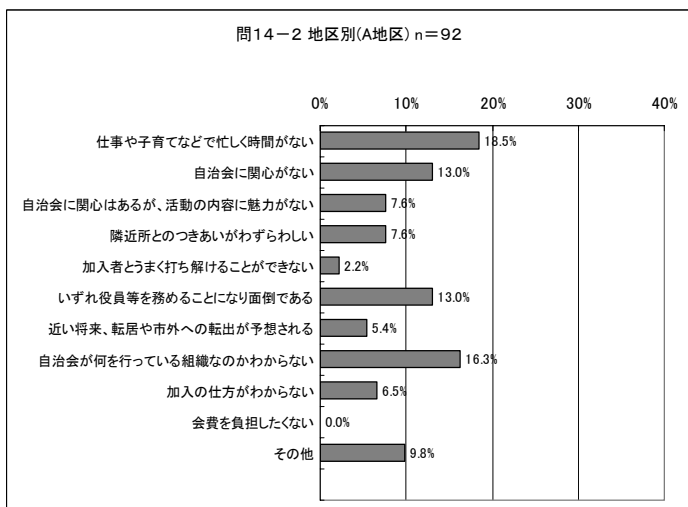
○地区別では、一般に「面倒」や「時間がない」が多いが、E地区の「関心はあるが、内容に魅力がない」が33.3%と最も高い値となっている。

(年齢別)

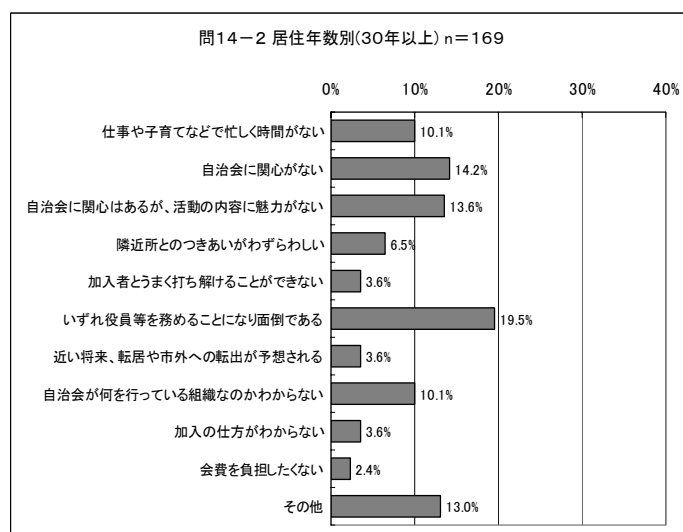
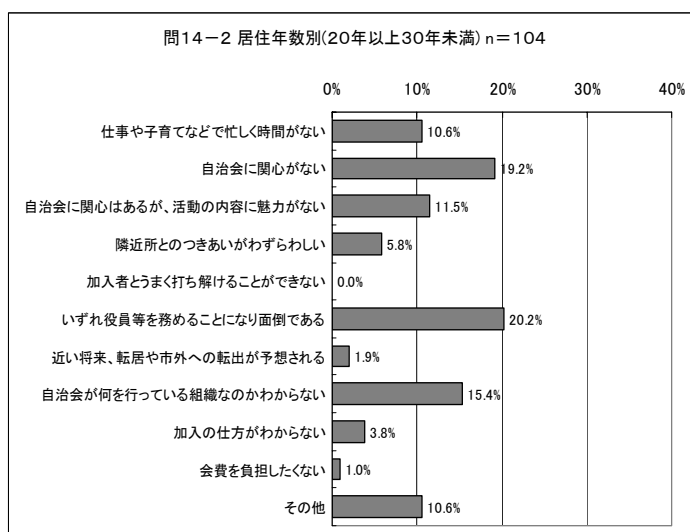
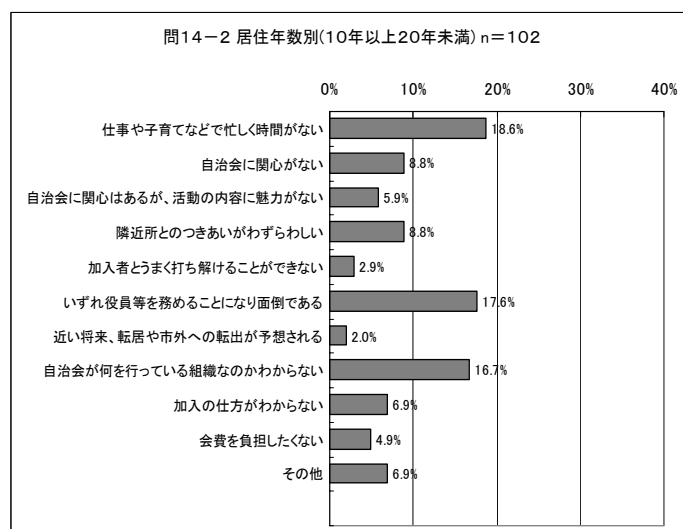
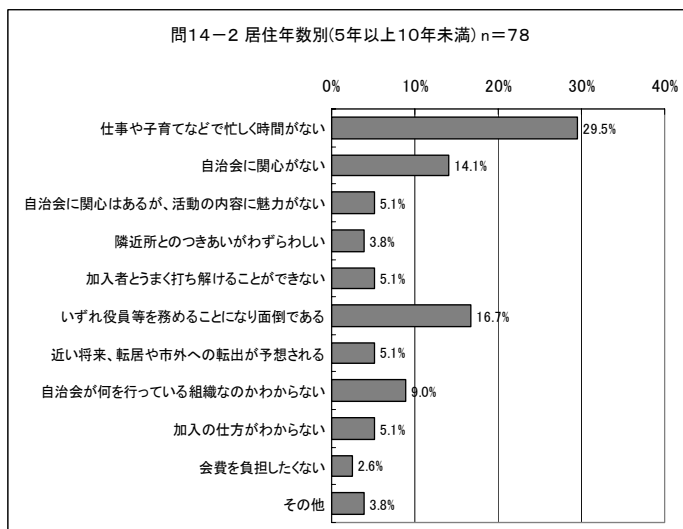
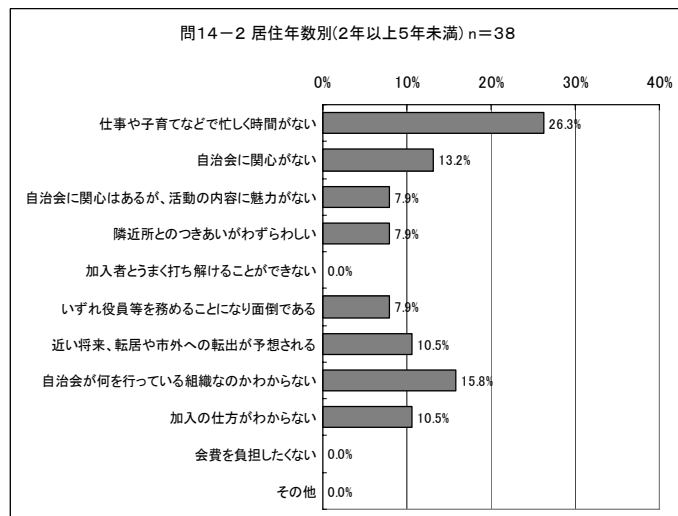
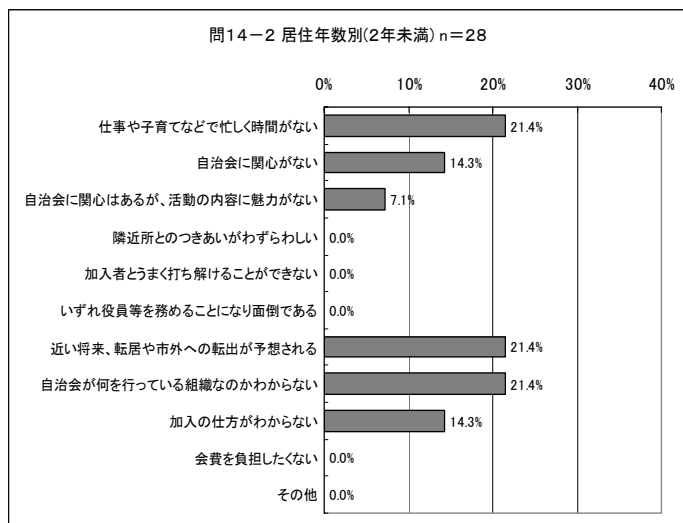




(地区別)



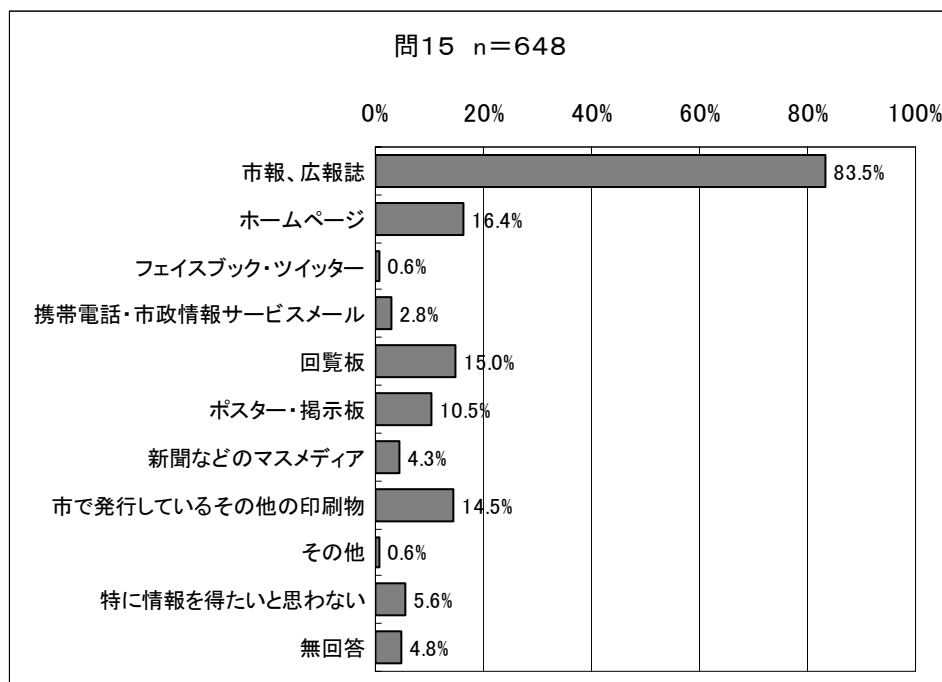
(居住年数別)



(2) パートナースhip

問15 あなたは、市政に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。(〇は2つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 市報、広報誌 | 6 ポスター・掲示板 |
| 2 ホームページ | 7 新聞などのマスメディア |
| 3 フェイスブック・ツイッター | 8 市で発行しているその他の印刷物 |
| 4 携帯電話・市政情報サービスメール | 9 その他 () |
| 5 回覧板 | 10 特に情報を得たいと思わない |

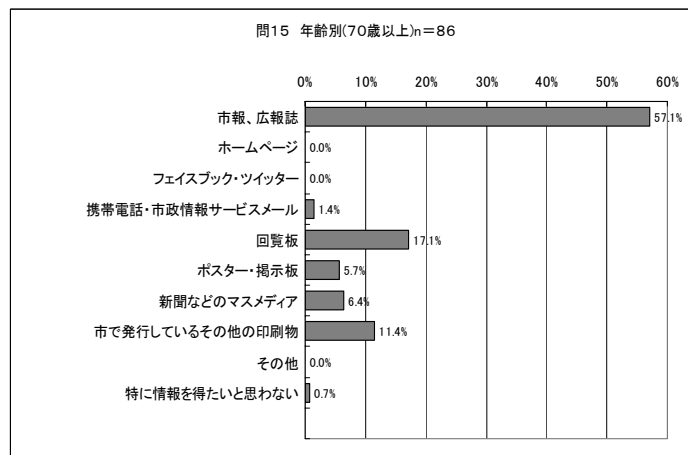
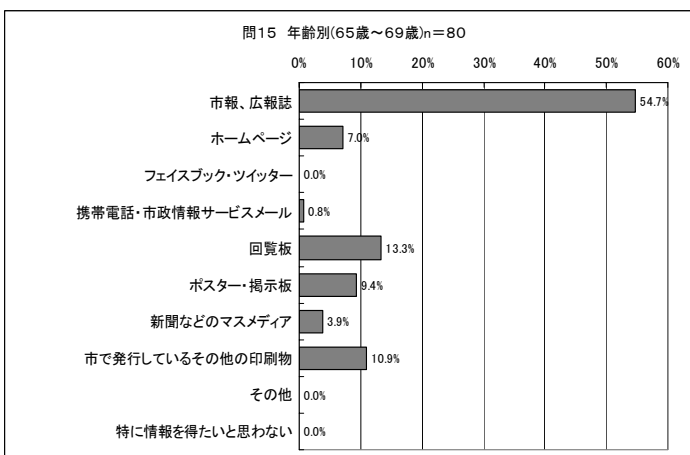
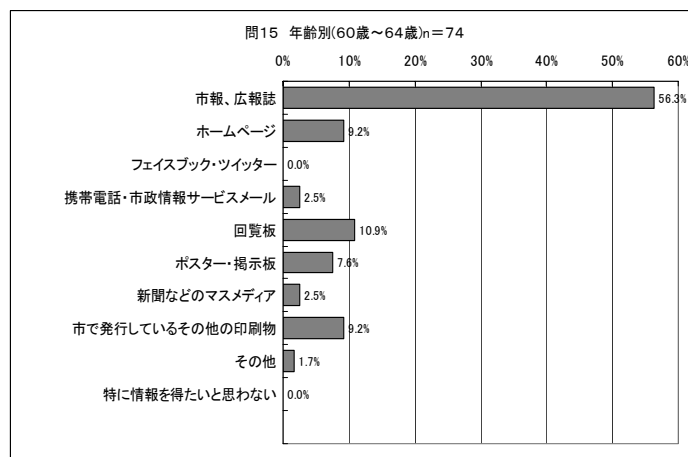
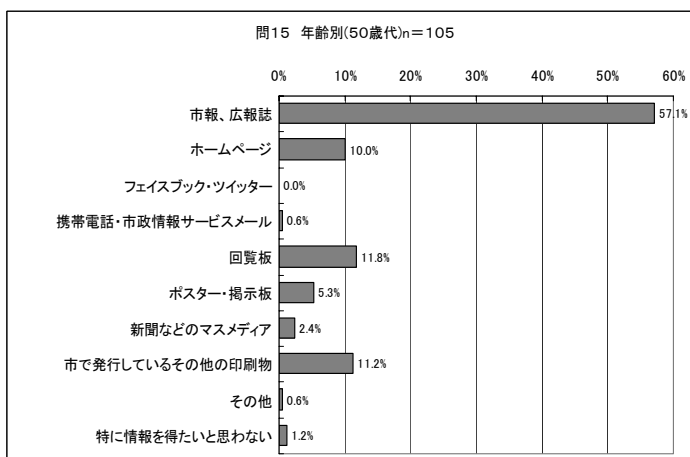
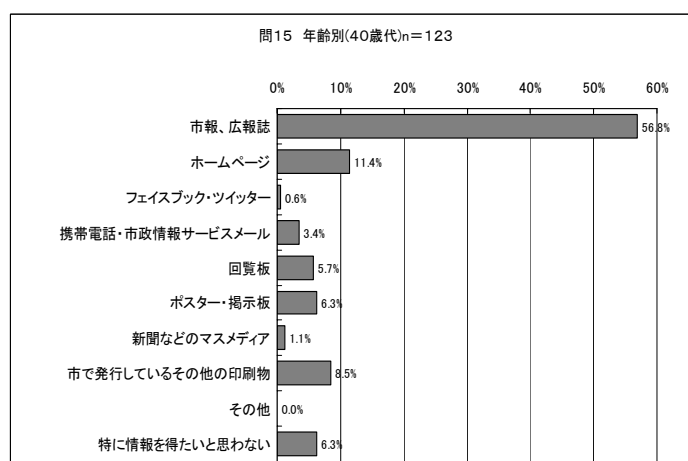
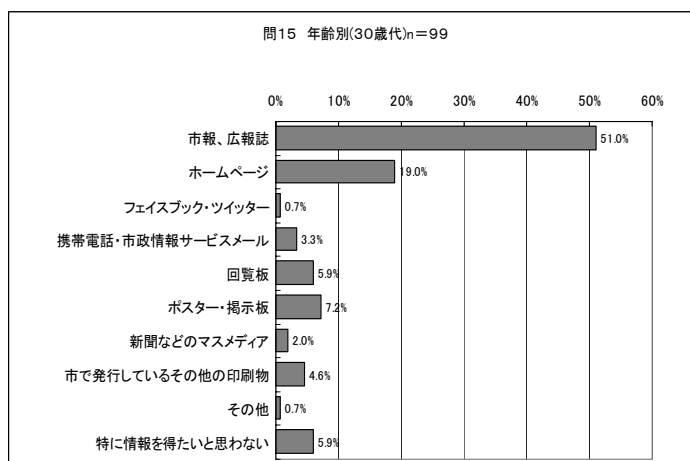
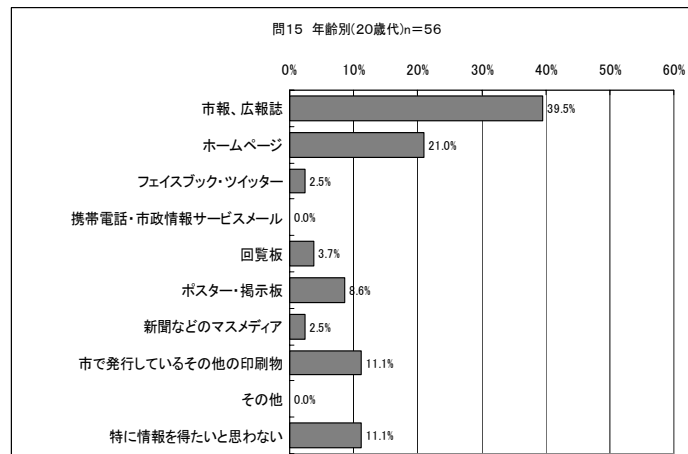
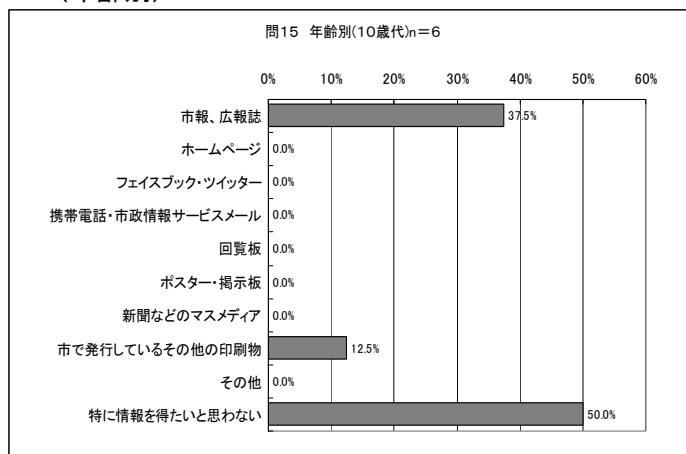


○情報の入手方法については、「市報、広報誌」が 83.5%と高く、次に「ホームページ」が 16.4%で、以下「回覧板」が 15.0%となっている。

○年齢別においても「市報、広報誌」が 39.5%～57.1%と高い値となっている。

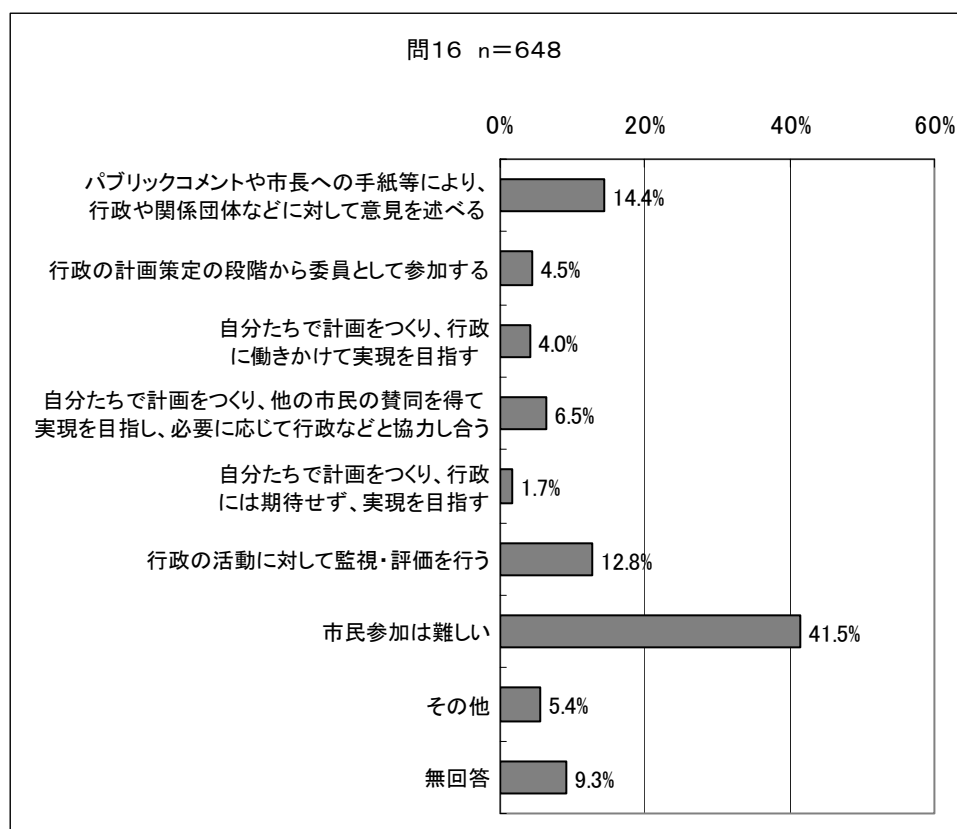
○若い年齢では、「ホームページ」の値が高く、高い年齢では、「回覧板」が高い値となっている。

(年齢別)

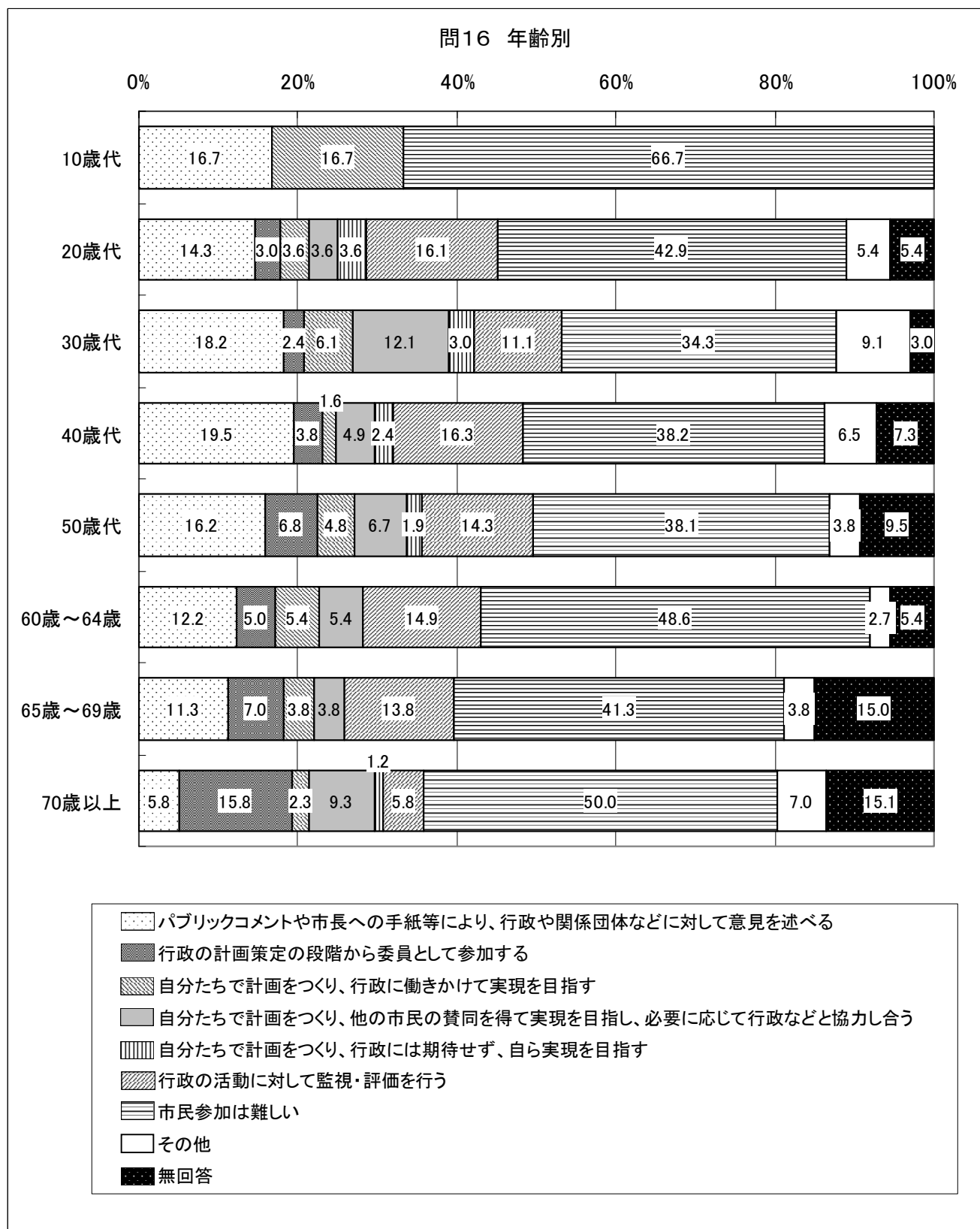


問16 あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。(〇は1つ)

- 1 パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる
- 2 行政の計画策定の段階から委員として参加する
- 3 自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す
- 4 自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う
- 5 自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す
- 6 行政の活動に対して監視・評価を行う
- 7 市民参加は難しい
- 8 その他 ()



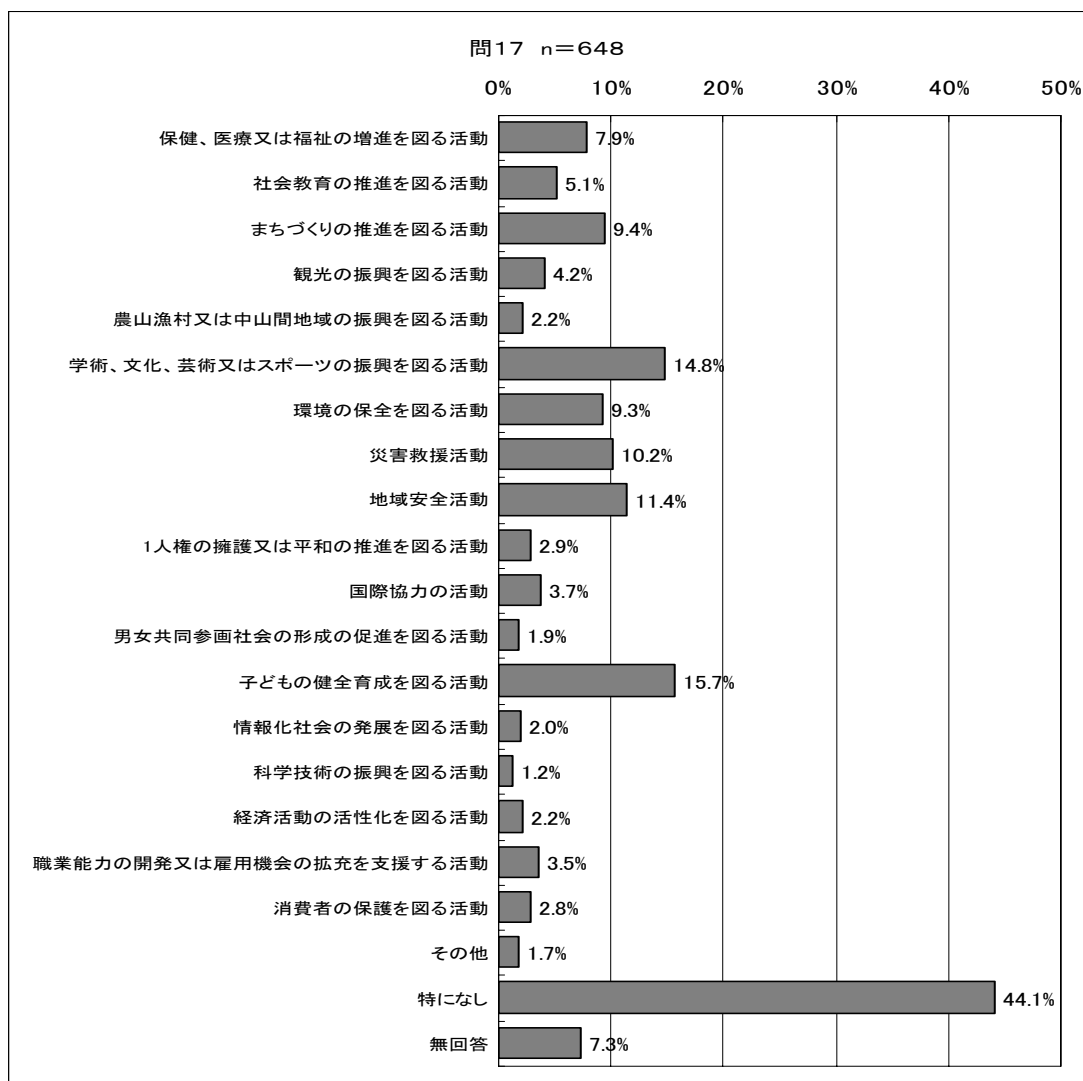
○市民参加の形については、「市民参加は難しい」が 41.5%と高く、次に「行政や関係団体などに対しての意見」が 14.4%で、以下「監視・評価」が 12.8%となっている。



○年齢別においても同様の傾向となっており、約40%～50%の方が「市民参加は難しい」となっている。

問17 あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。(〇はいくつでも)

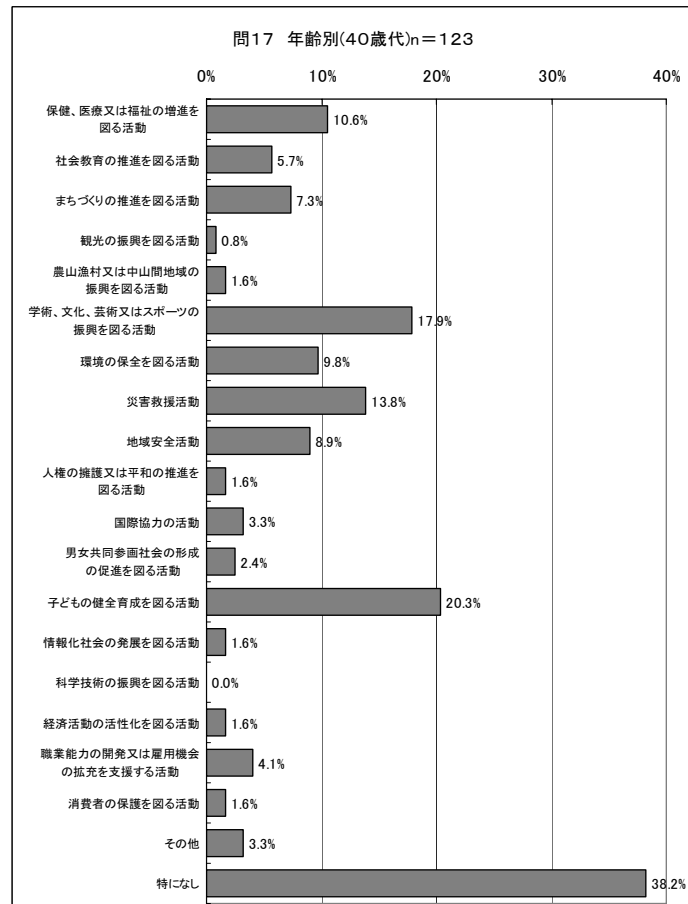
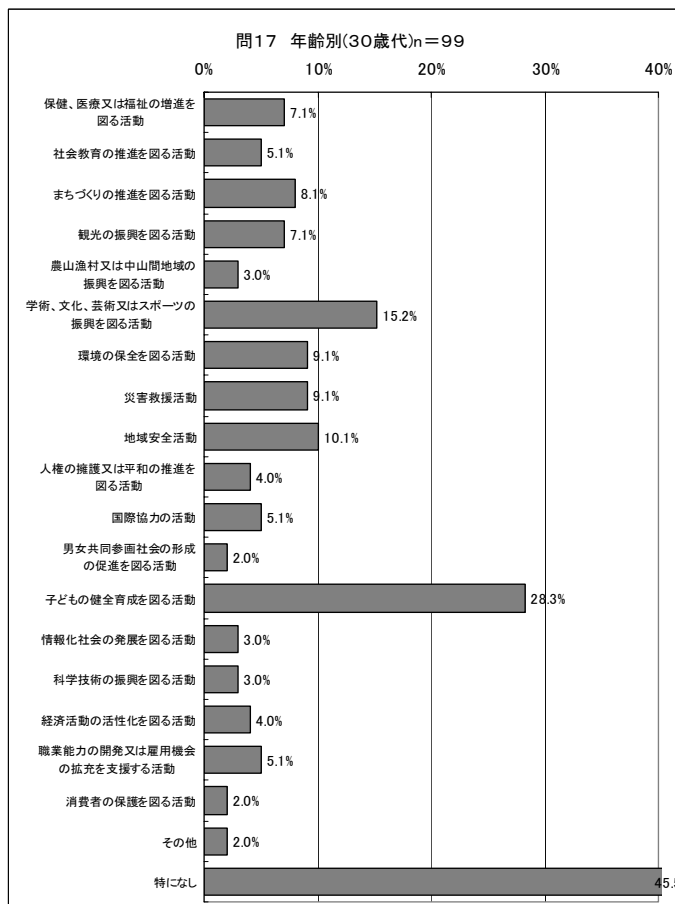
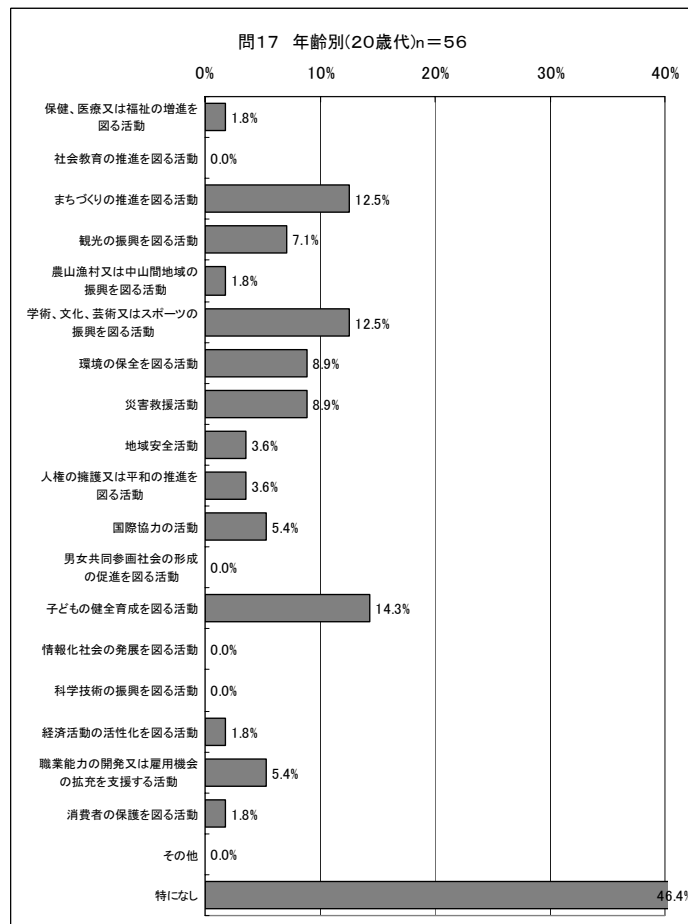
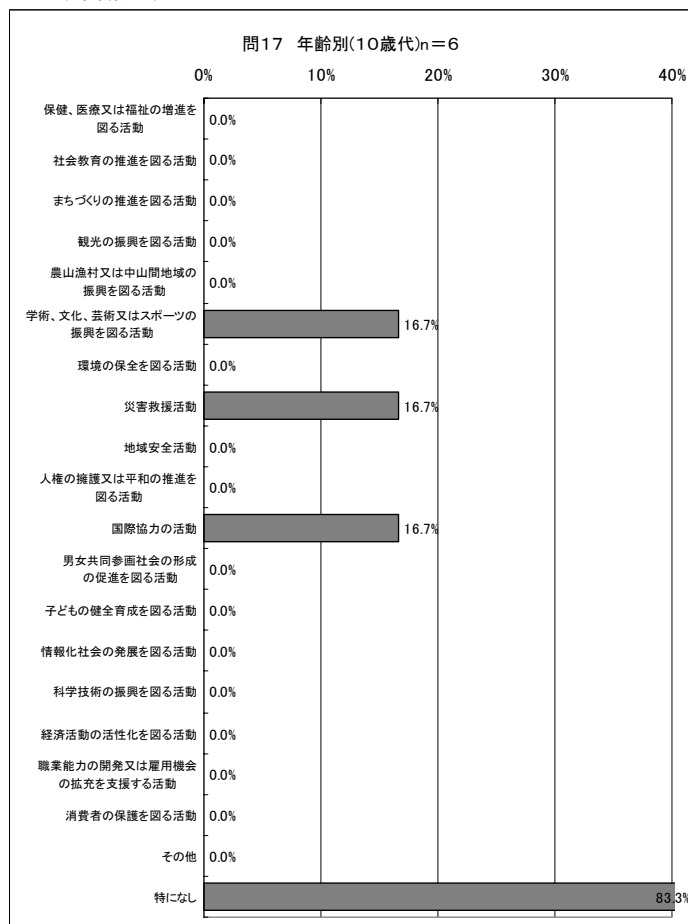
- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 | 11 国際協力の活動 |
| 2 社会教育の推進を図る活動 | 12 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 |
| 3 まちづくりの推進を図る活動 | 13 子どもの健全育成を図る活動 |
| 4 観光の振興を図る活動 | 14 情報化社会の発展を図る活動 |
| 5 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 | 15 科学技術の振興を図る活動 |
| 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 | 16 経済活動の活性化を図る活動 |
| 7 環境の保全を図る活動 | 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 |
| 8 災害救援活動 | 18 消費者の保護を図る活動 |
| 9 地域安全活動 | 19 その他 () |
| 10 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 | 20 特になし |



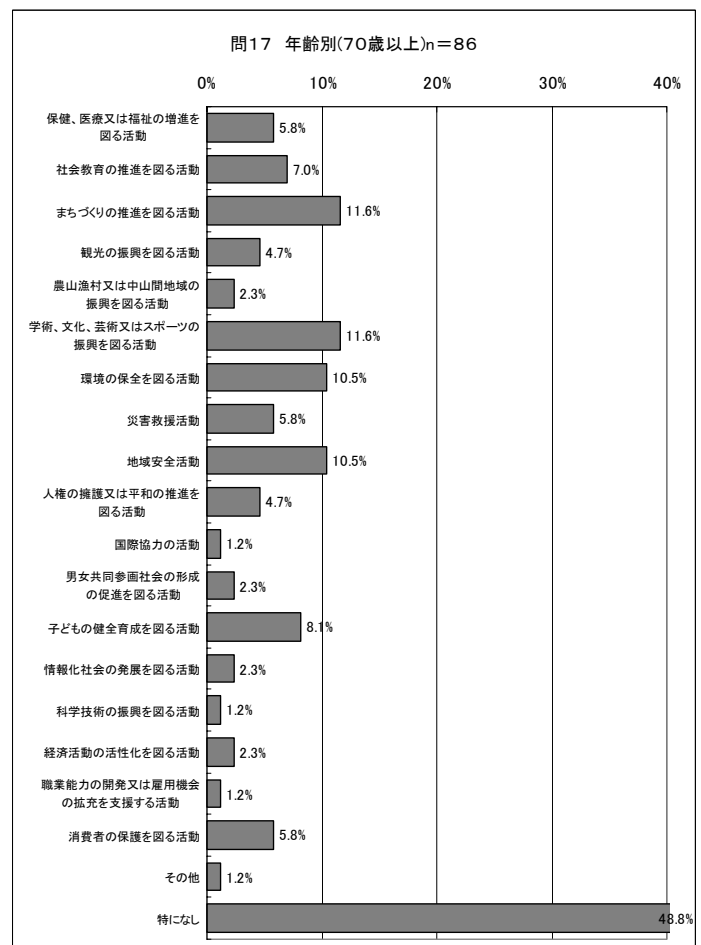
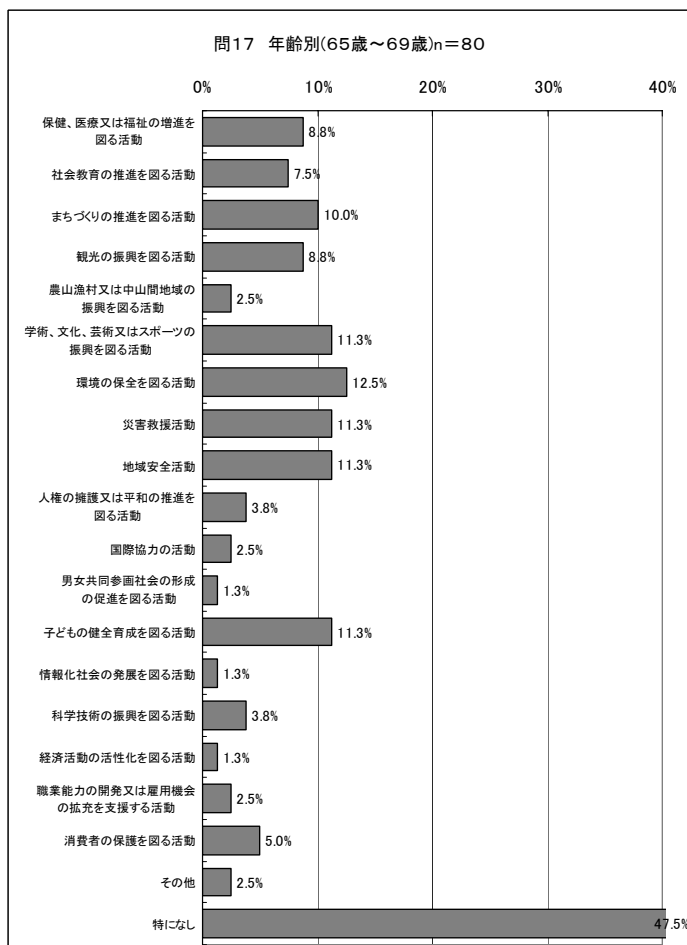
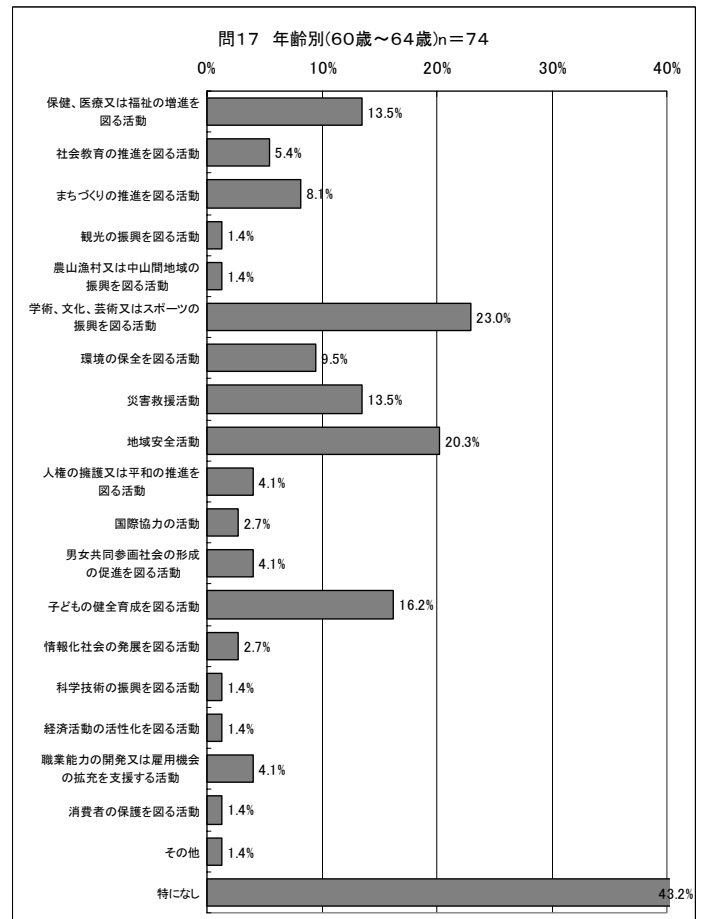
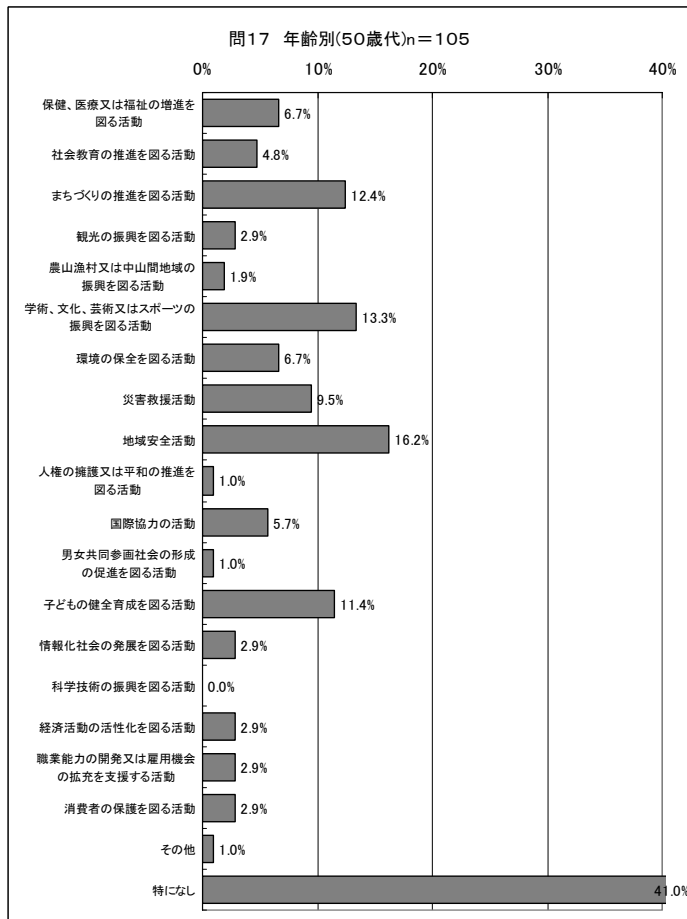
○参加が可能な活動については、「特になし」が 44.1%と高く、次に「子どもの健全育成を図る活動」が 15.7%で、以下「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」が 14.8%となっている。

○年齢別でも同様の傾向となっており、約 40%の方が「特になし」と回答している。

(年齢別)



第3章 市民意識調査の集計結果

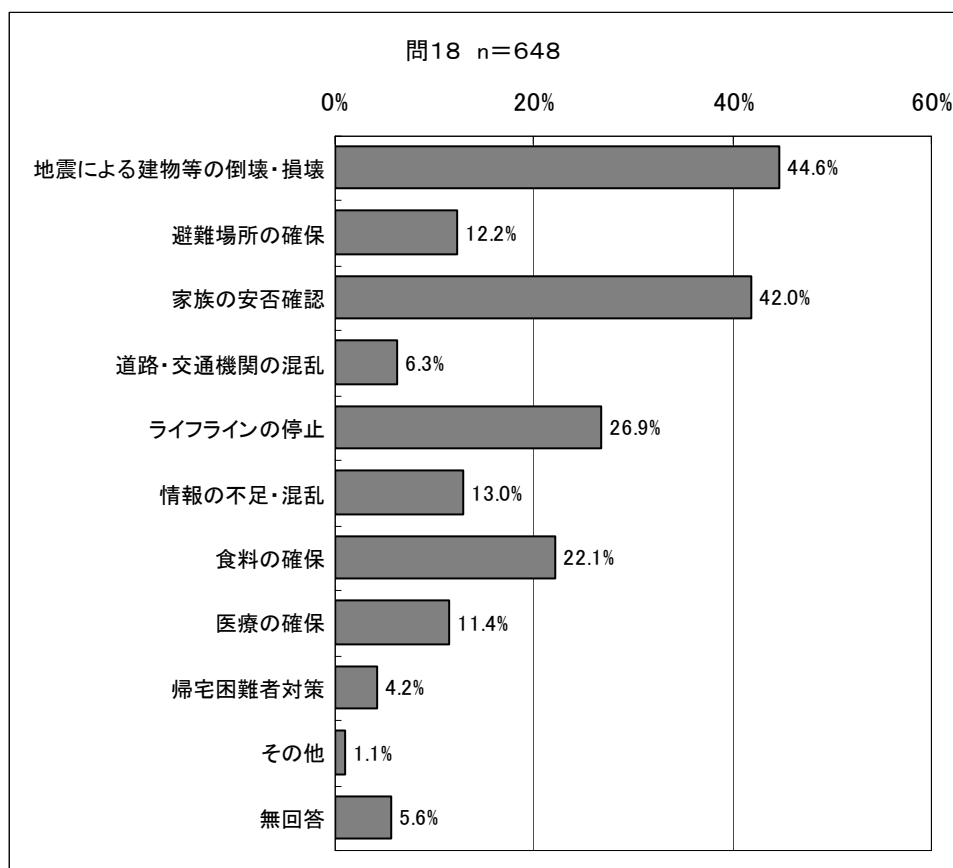


3-2. 安心していきいきと暮らせるまちづくり

(3) 安全安心

問18 首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。(〇は2つまで)

- | | |
|------------------|------------|
| 1 地震による建物等の倒壊・損壊 | 6 情報の不足・混乱 |
| 2 避難場所の確保 | 7 食料の確保 |
| 3 家族の安否確認 | 8 医療の確保 |
| 4 道路・交通機関の混乱 | 9 帰宅困難者対策 |
| 5 ライフラインの停止 | 10 その他() |

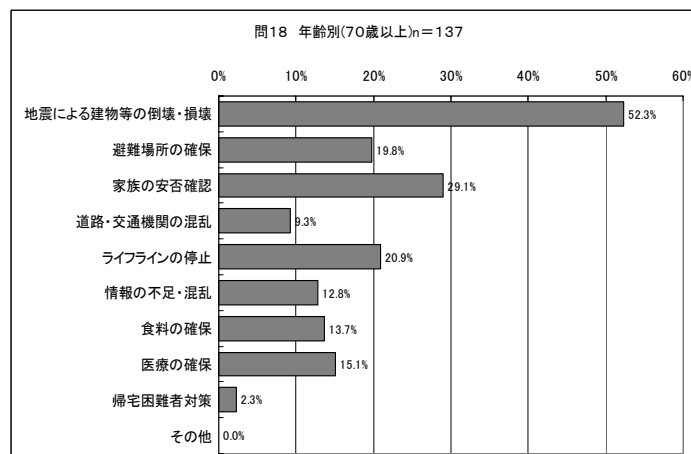
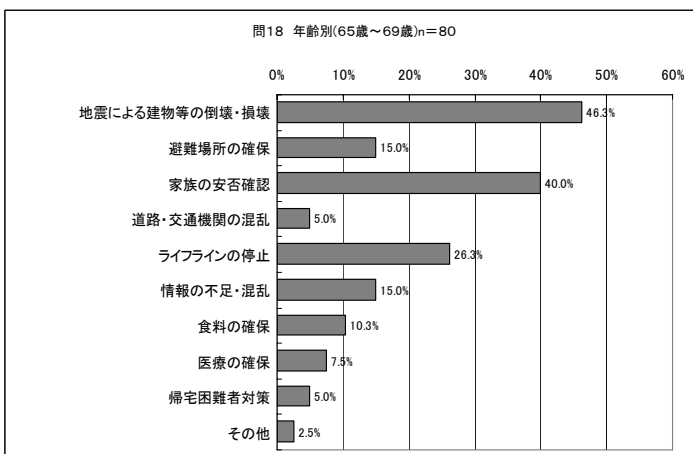
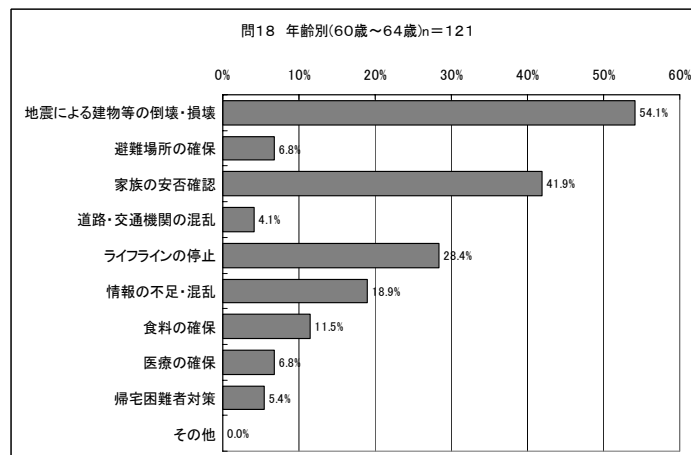
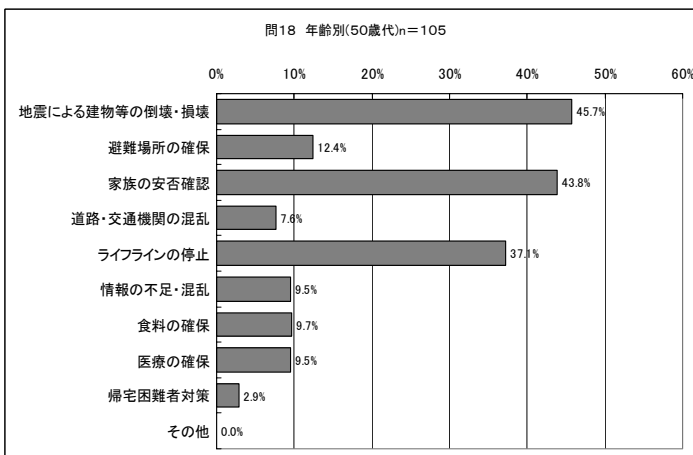
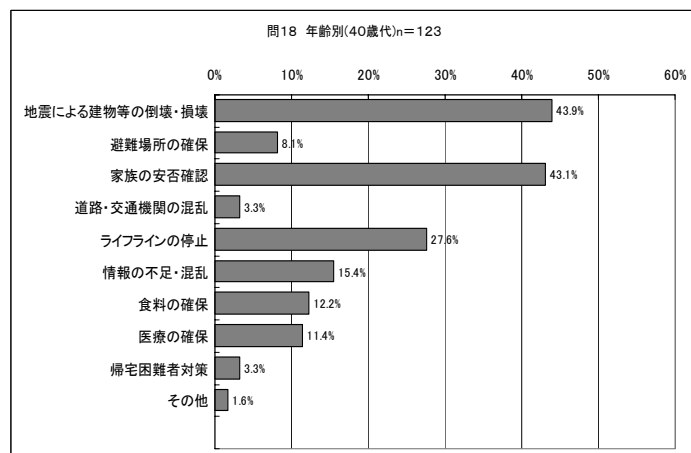
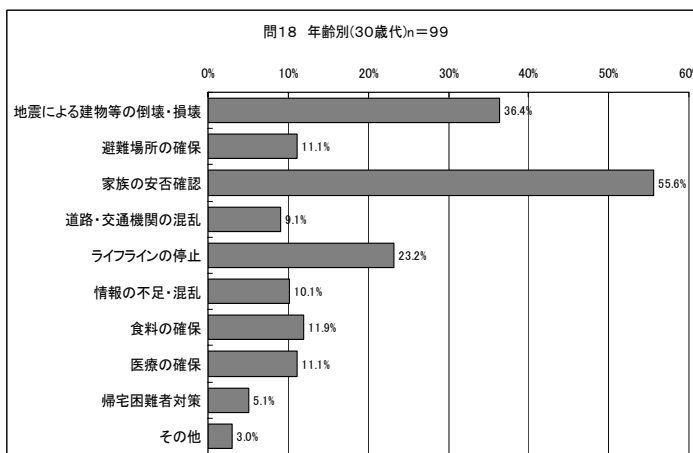
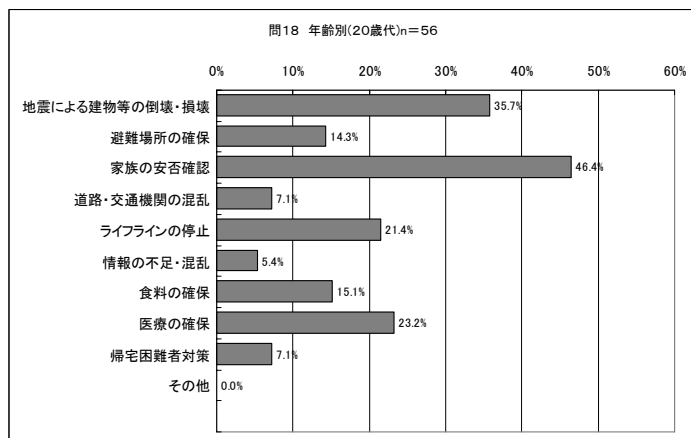
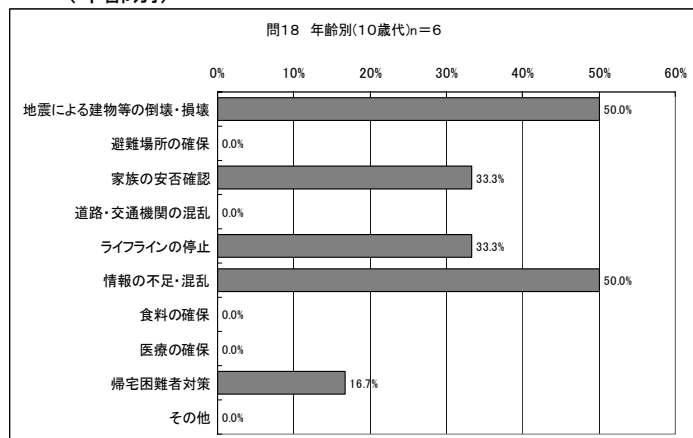


○大きな地震が起こった場合、特に心配に思うのは、「地震による建物等の倒壊・損壊」が44.6%と高く、次に「家族の安否確認」が42.0%で、以下「ライフラインの停止」が26.9%となっている。

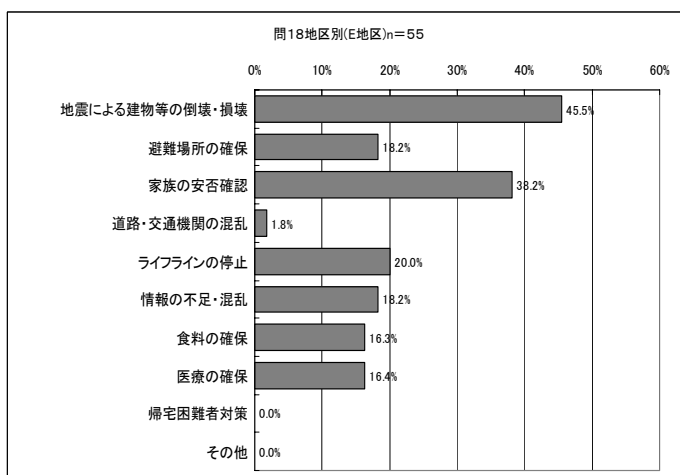
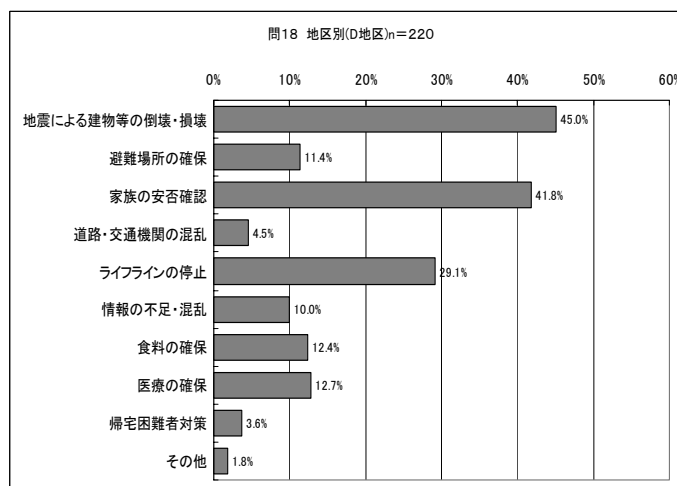
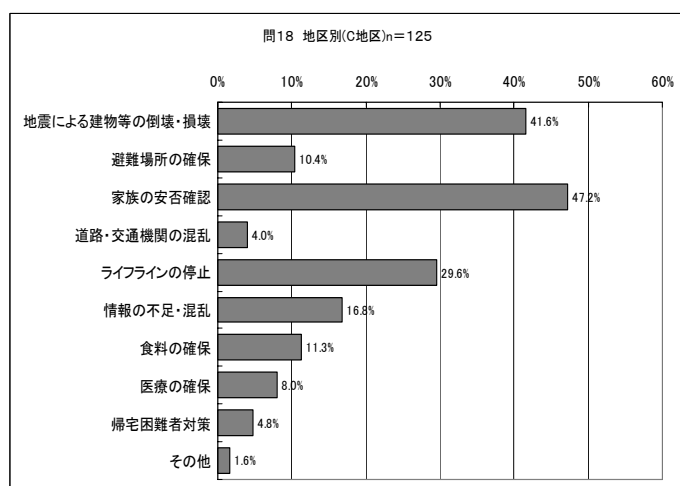
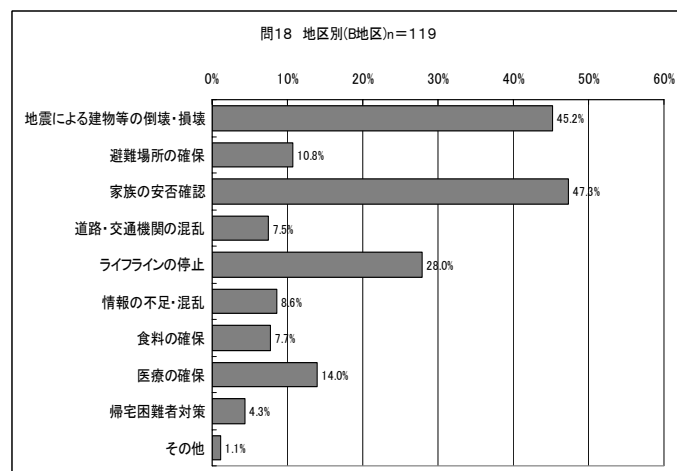
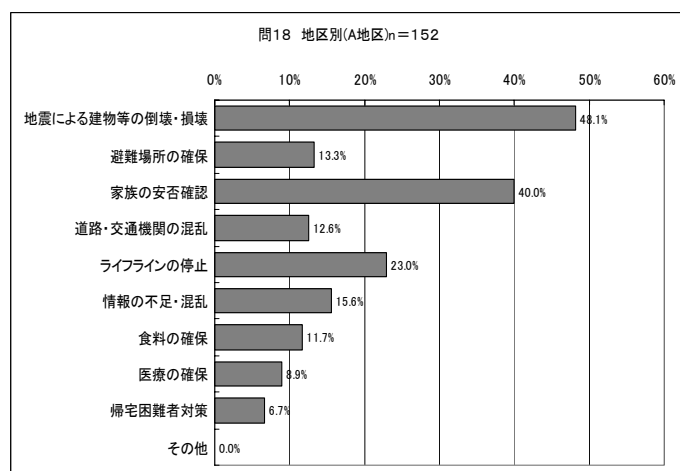
○年齢別では、20歳代と30歳代で「家族の安否確認」が最も高く、60歳以上で「地震による倒壊・損壊」が高い値となっている。

○地区別では、A地区とD地区とE地区で「地震による建物等の倒壊・損壊」が高い値を占め、B地区とC地区で「家族の安否確認」が高い値となっている。

(年齢別)



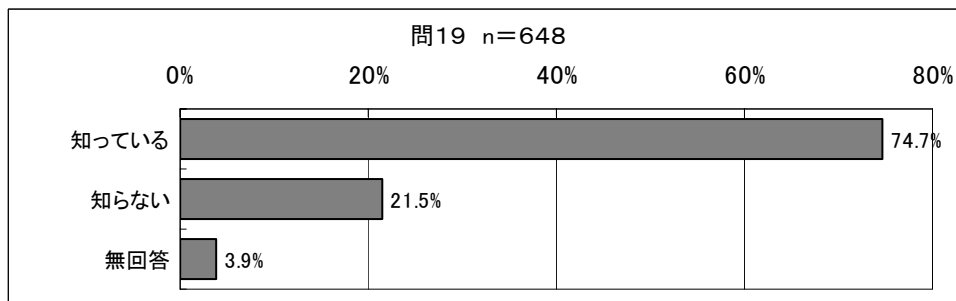
(地区別)



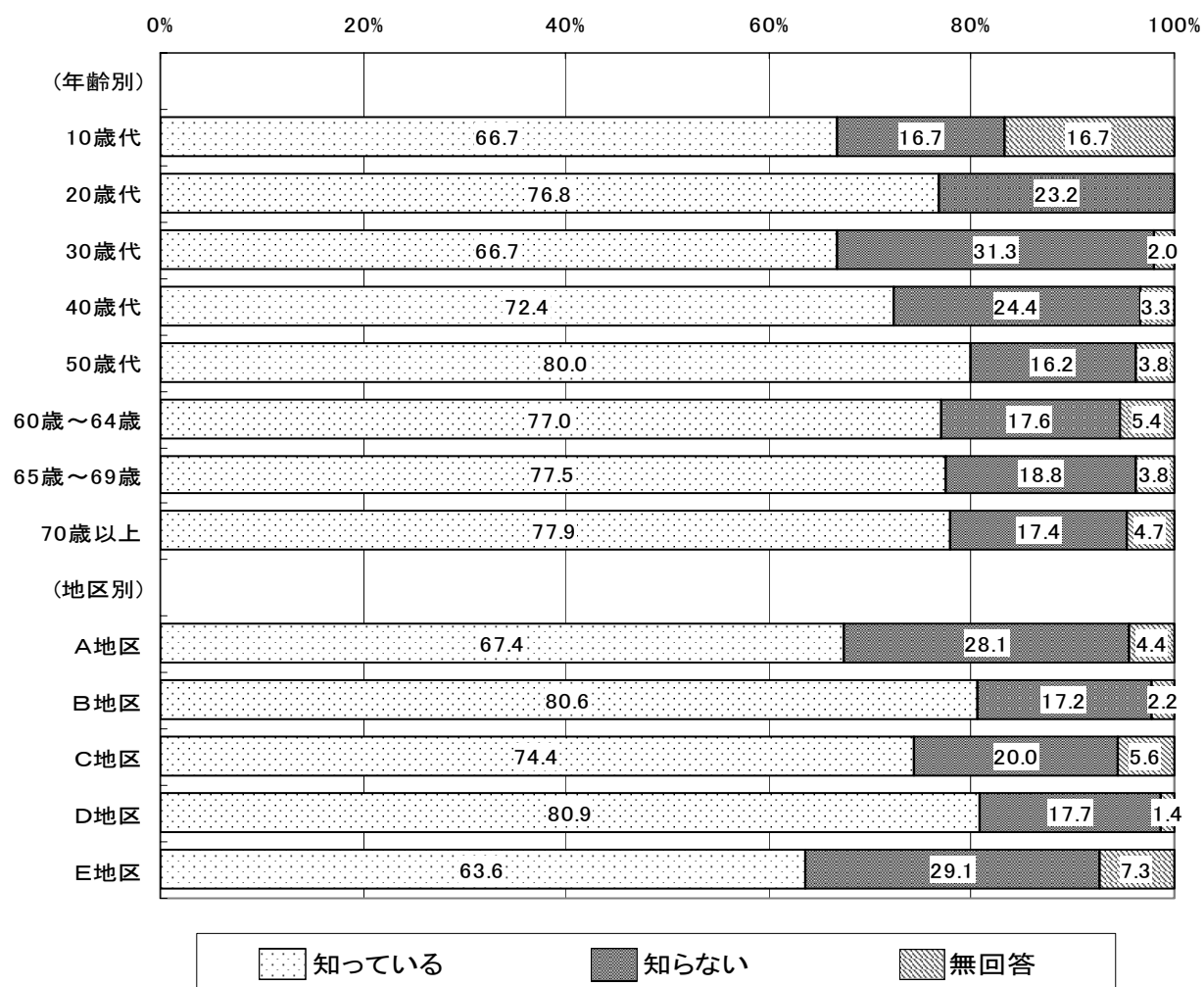
問19 あなたは、災害時に避難する場所を知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない



問19 年齢別・地区別

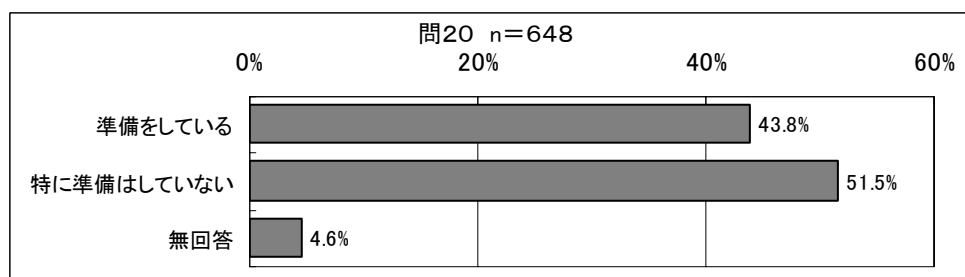


○避難する場所については、「知っている」が74.7%と高く、次に「知らない」が21.5%となっている。
○年齢別・地区別においても「知っている」が約60%～80%と高い値となっている。

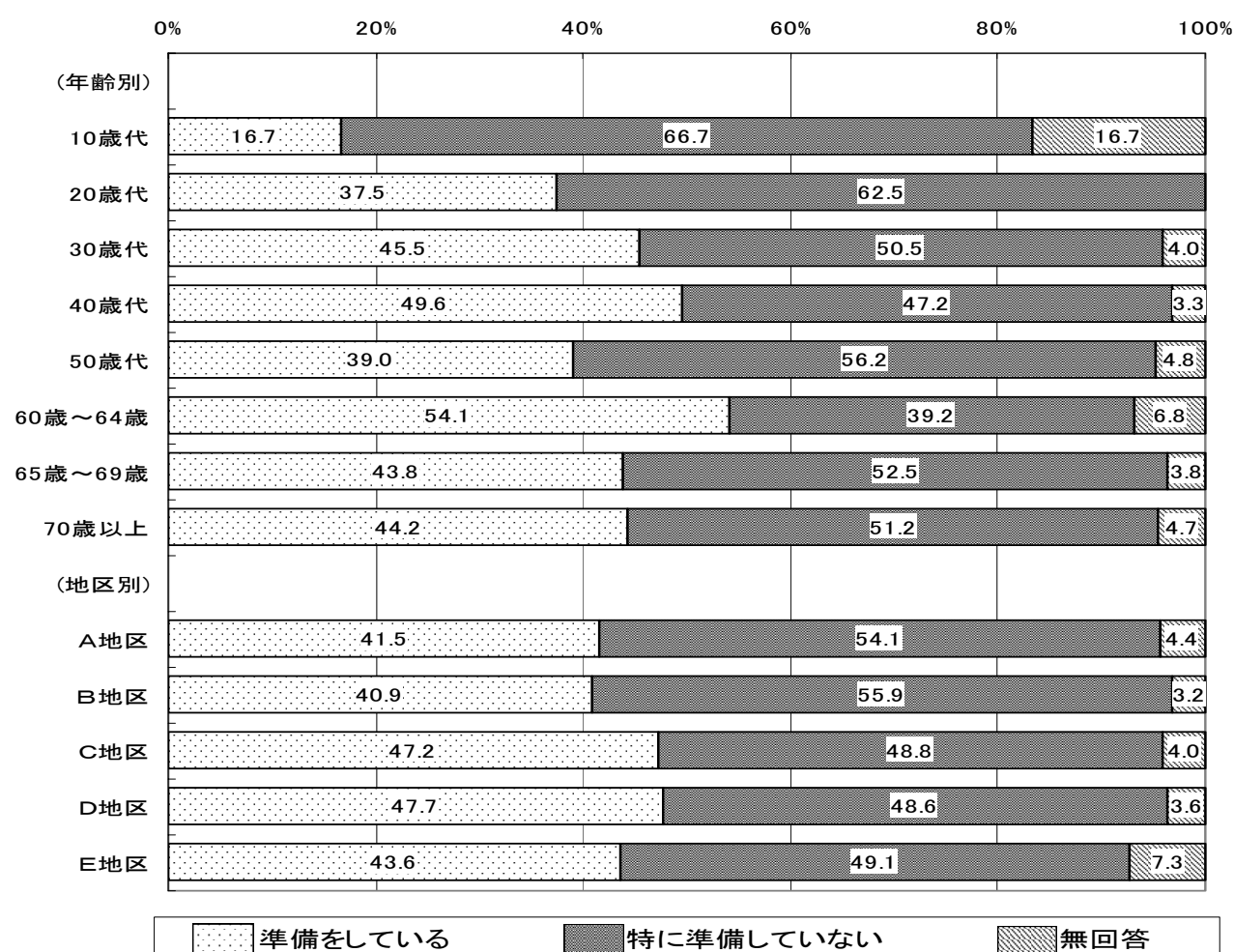
問20 あなたは、日頃、防災の準備をしていますか。(〇は1つ)

1 準備をしている

2 特に準備はしていない



問20 年齢別・地区別



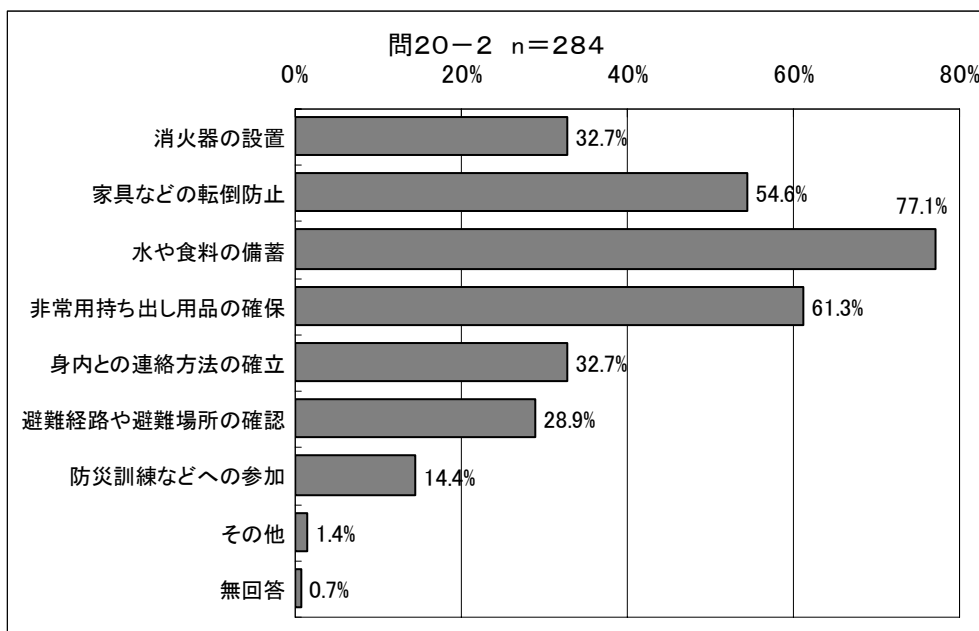
○防災の準備については、「特に準備はしていない」が51.5%と高く、次に「準備をしている」が43.8%となっている。

○年齢別では、年代の若い10、20歳代で「特に準備はしていない」が約60%と高く、「準備をしている」では、60歳～64歳が54.1%となっており、高齢者の方の意識が高いと言える。

○地区別では、「準備をしている」がC地区とD地区で約47%と高く、「特に準備はしていない」がA地区とB地区で約50%と高くなっている。

問20-2 問20で「1」と回答した方にお聞きします。どのような準備を行っていますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 消火器の設置 | 5 身内との連絡方法の確立 |
| 2 家具などの転倒防止 | 6 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 水や食料の備蓄 | 7 防災訓練などへの参加 |
| 4 非常用持ち出し用品の確保 | 8 その他() |

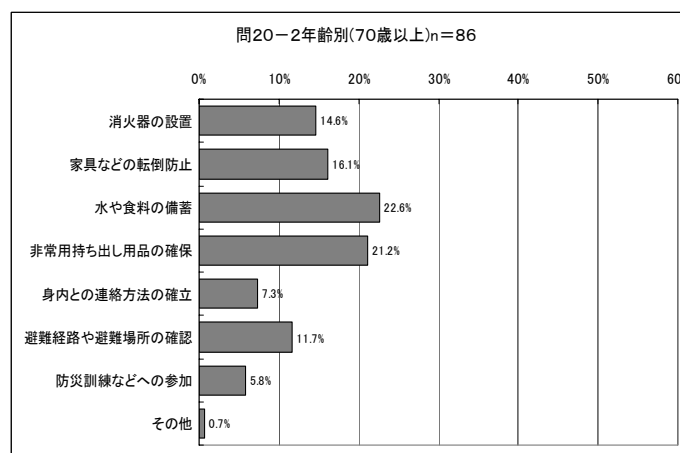
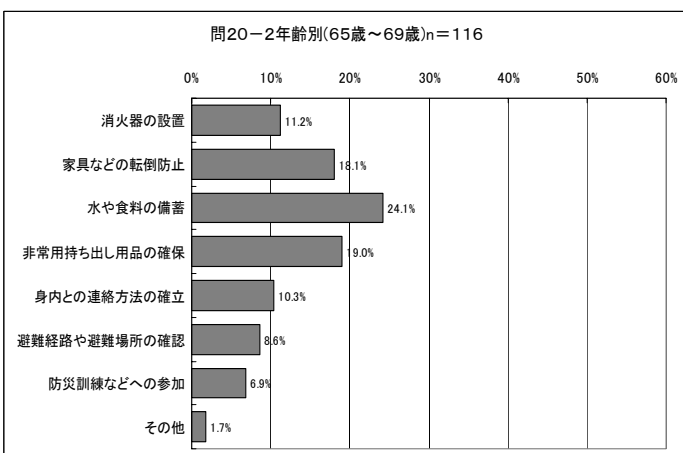
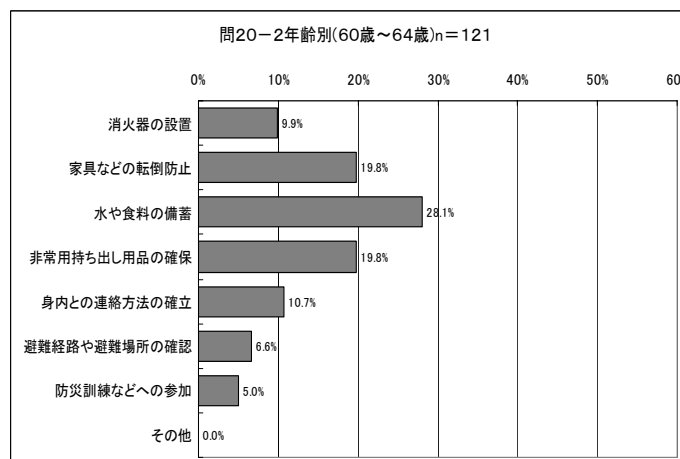
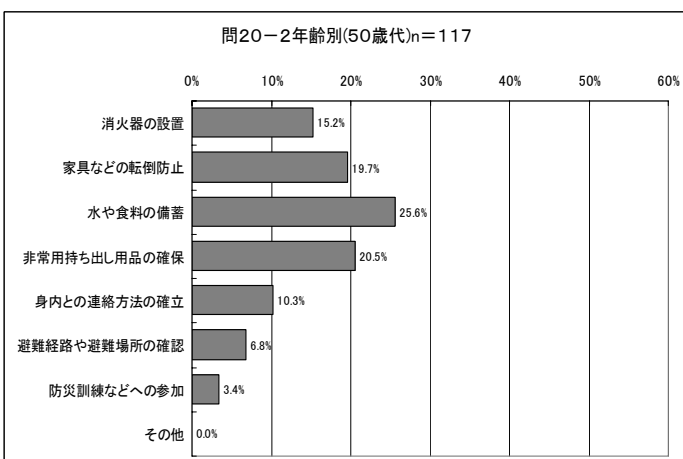
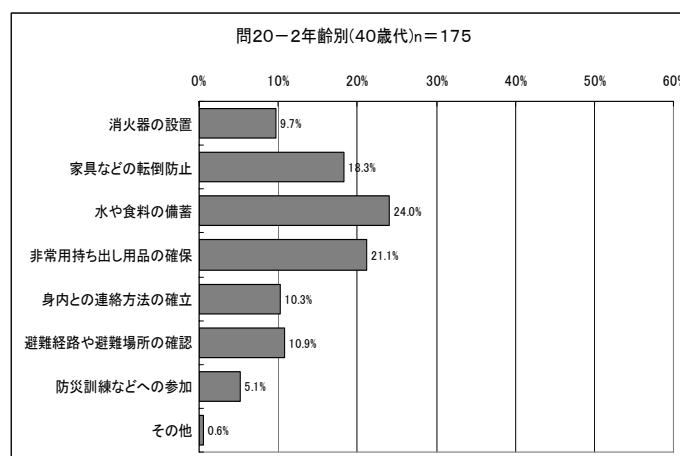
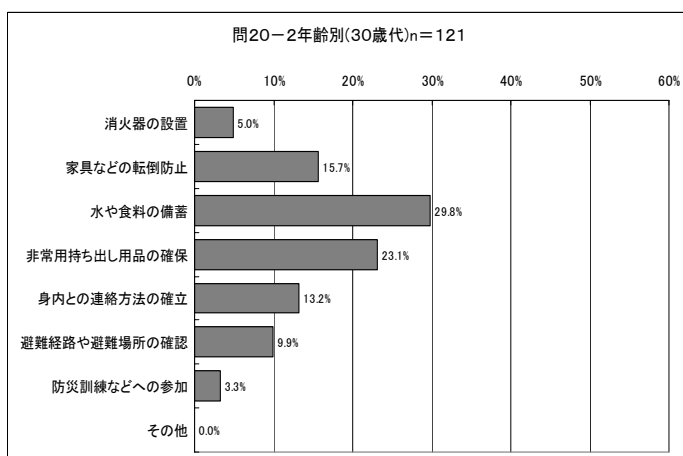
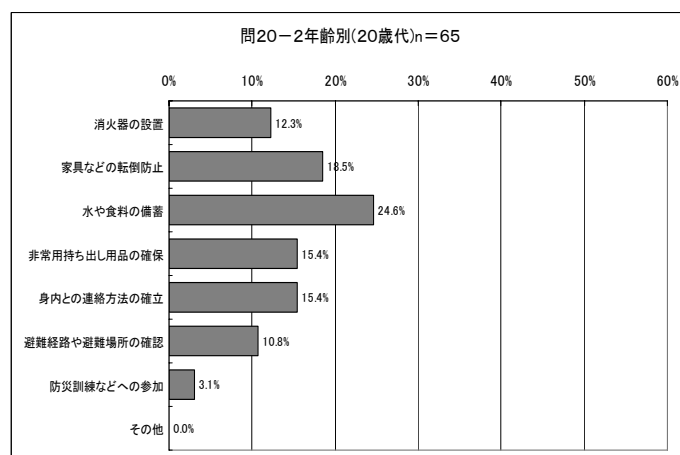
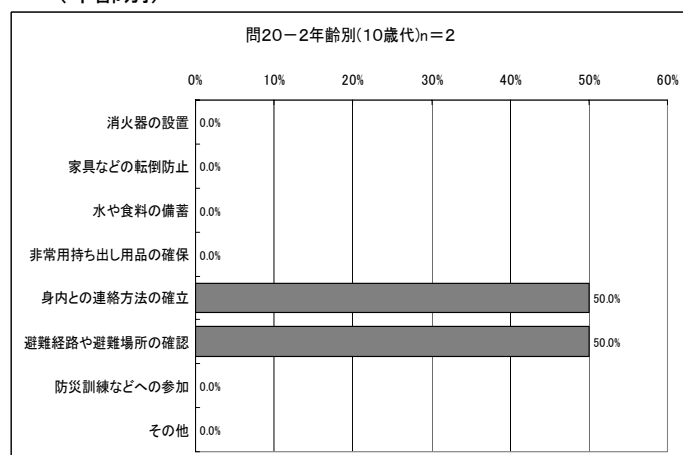


○防災の準備については、「水や食品の備蓄」が 77.1%と高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」が 61.3%で、以下「家具などの転倒防止」が 54.6%となっている。

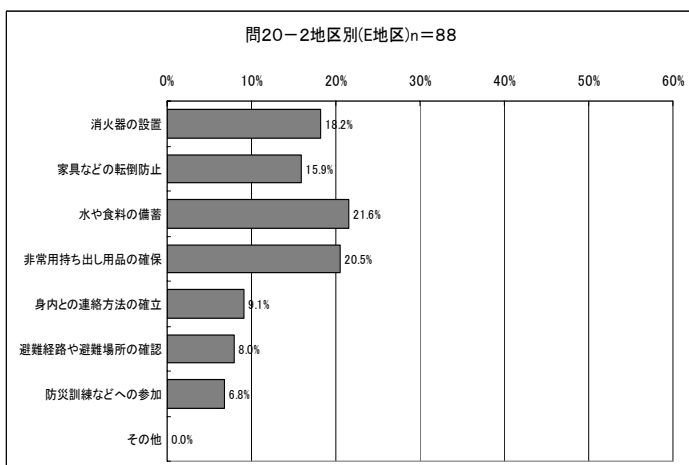
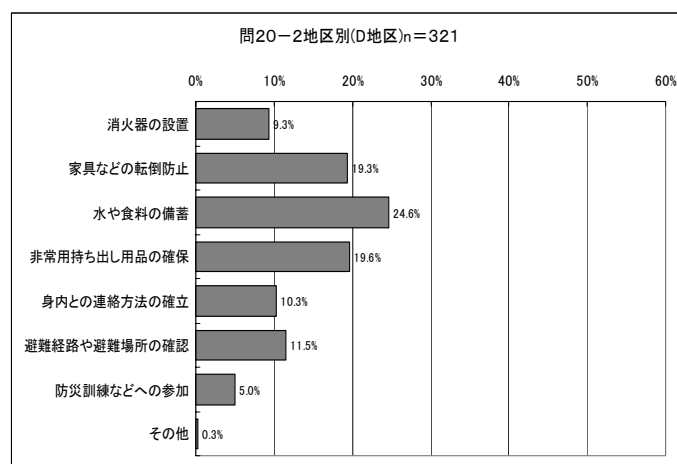
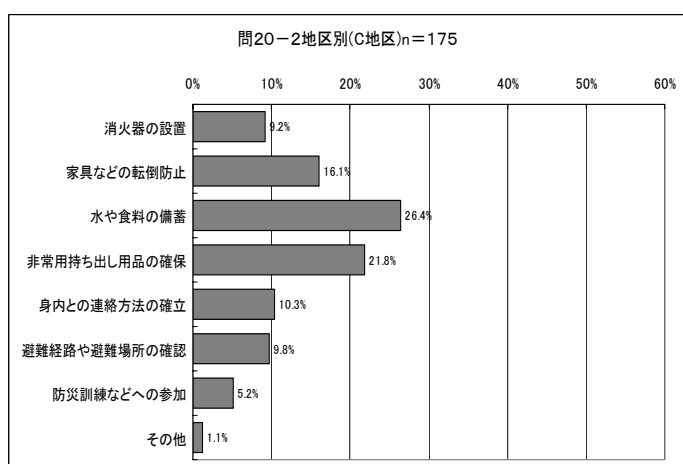
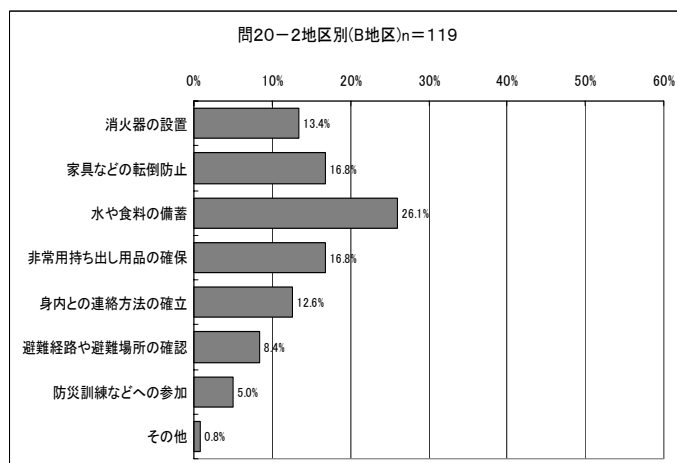
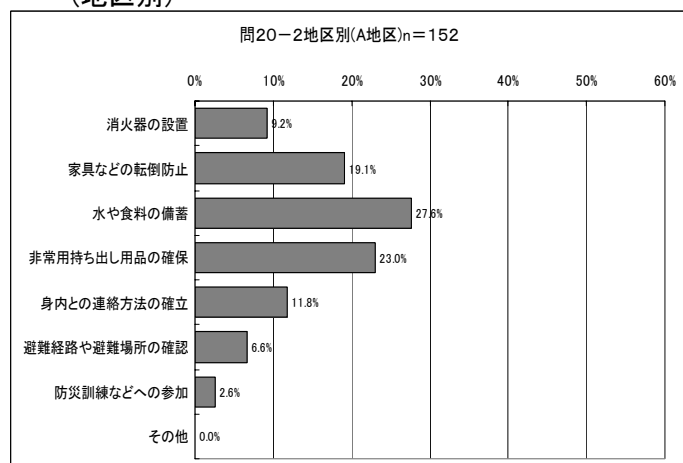
○年齢別でも、「水や食品の備蓄」が一番高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」と「家具などの転倒防止」が続いている。

○地区別でも、「水や食品の備蓄」が一番高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」と「家具などの転倒防止」が続いているが、E地区では、「消火器の設置」が他の地区より、高い値となっている。

(年齢別)

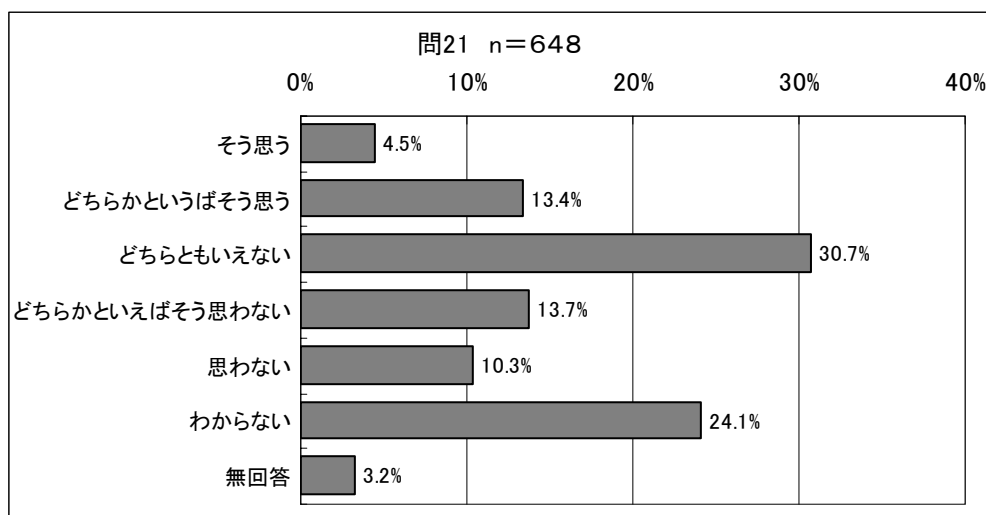


(地区別)



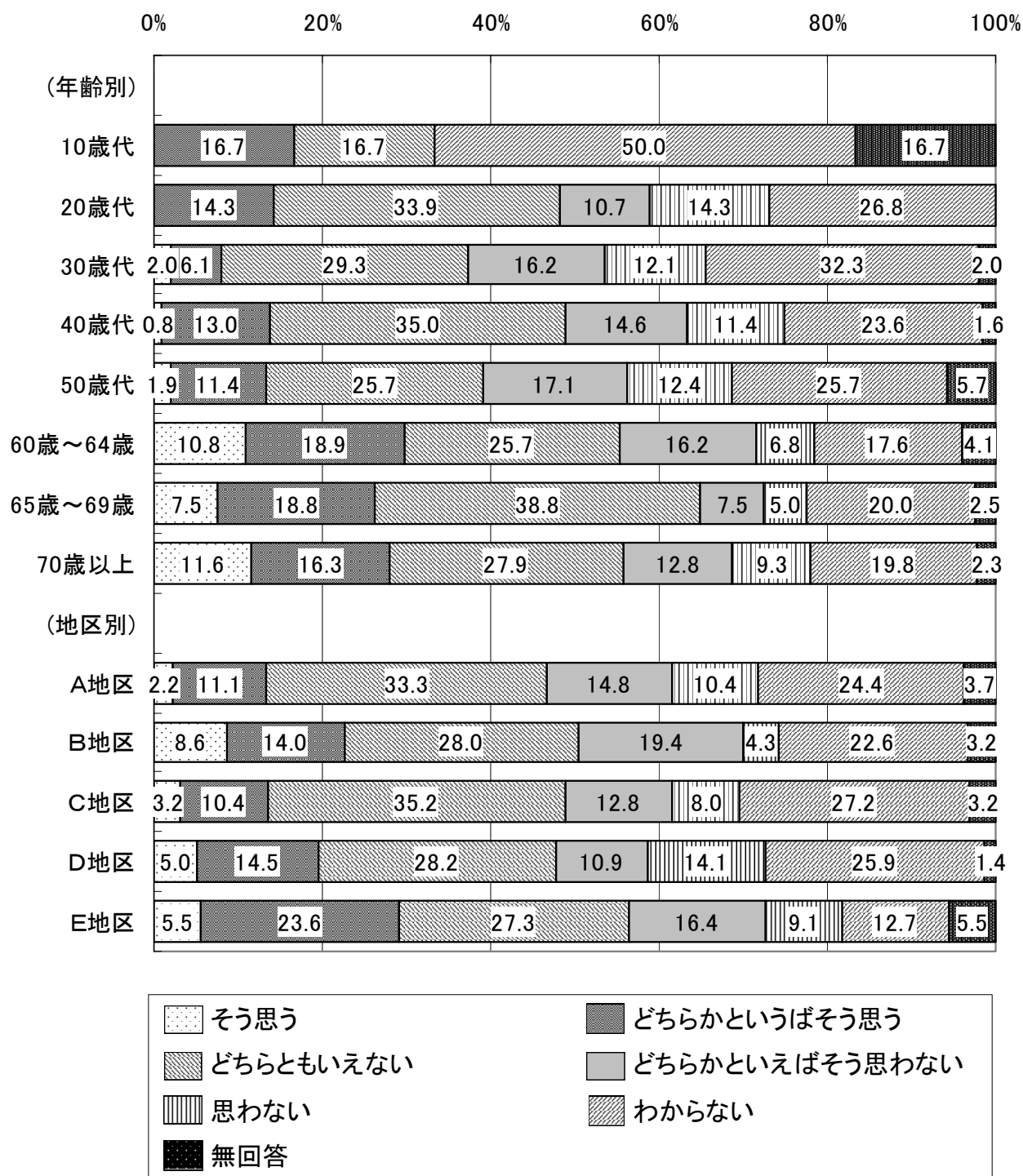
問21 あなたは、本市が災害に強いまちづくりに取り組んでいると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○災害への取組については、「どちらともいえない」が 30.7%と高く、次に「わからない」が 24.1%であり、あわせると約 50%以上が災害への取組について、わからないでいる。

問21 年齢別・地区別

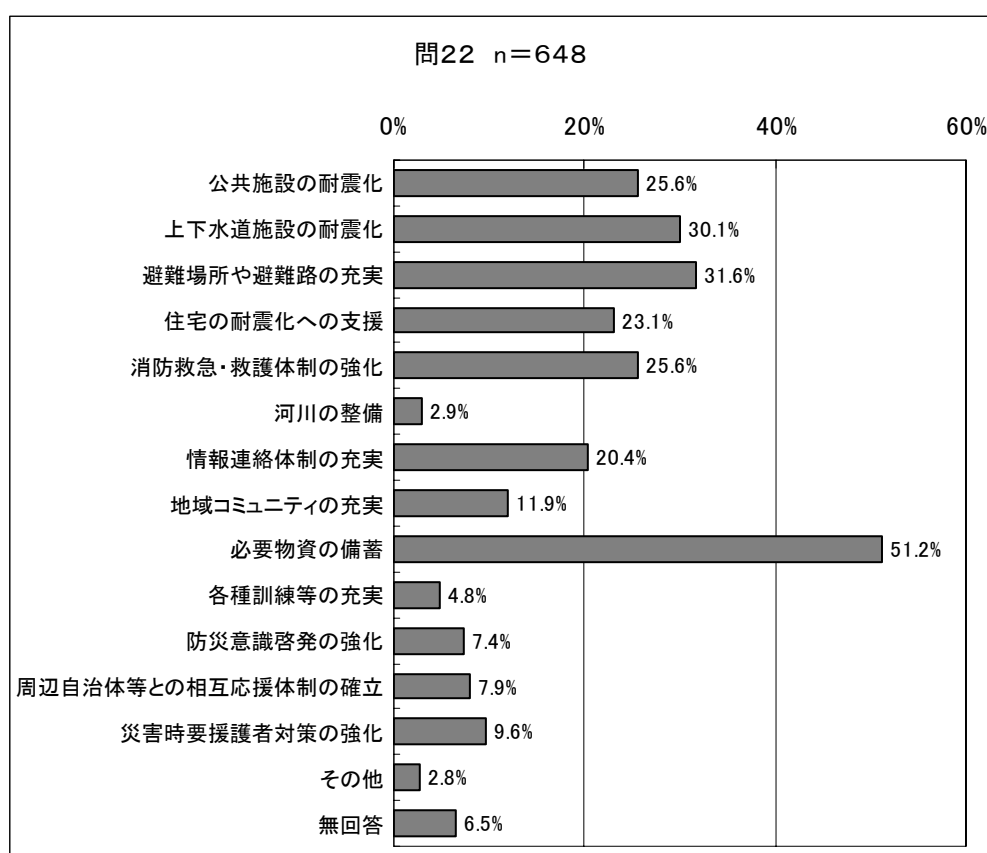


○年齢別では、60歳～64歳での「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が29.7%と高く、高い年齢で約30%弱となっている。

○地区別では、E地区の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が29.1%と高く、次にB地区の22.6%となっている。

問22 災害に強いまちづくりのため、本市は、今後どのように取り組んでいく必要があると思いますか。
(〇は3つまで)

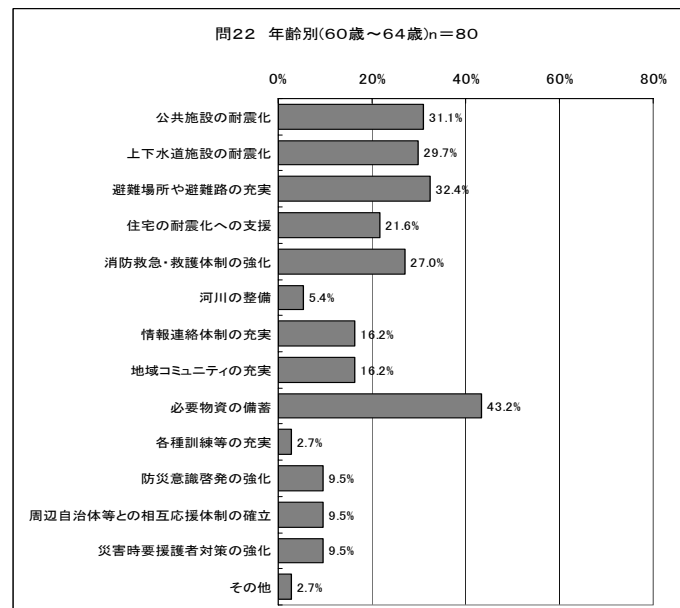
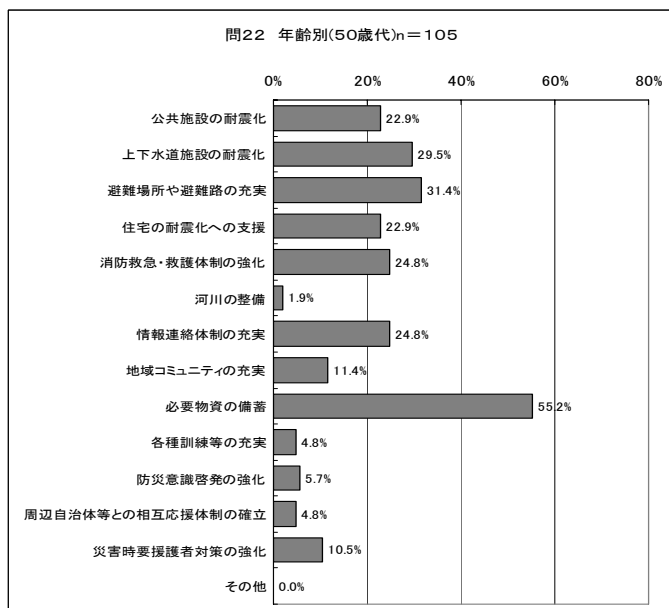
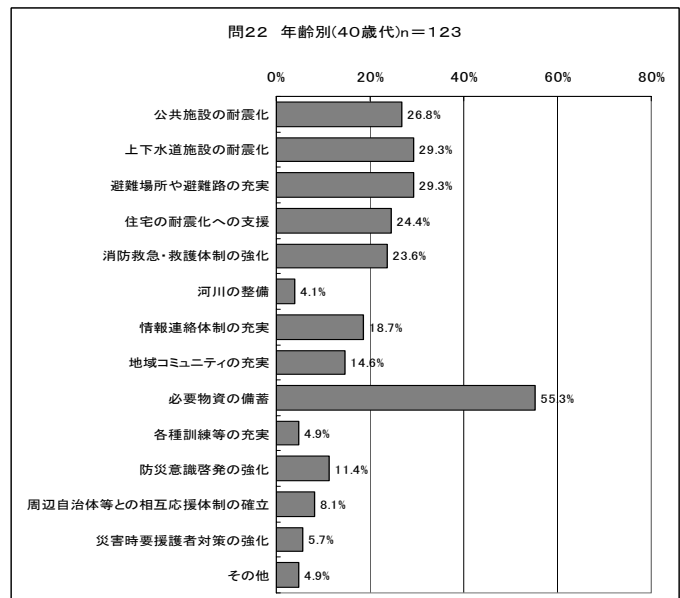
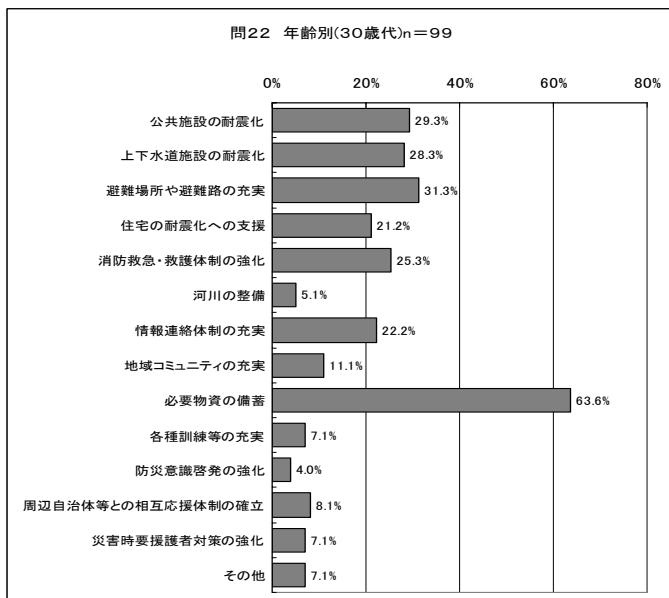
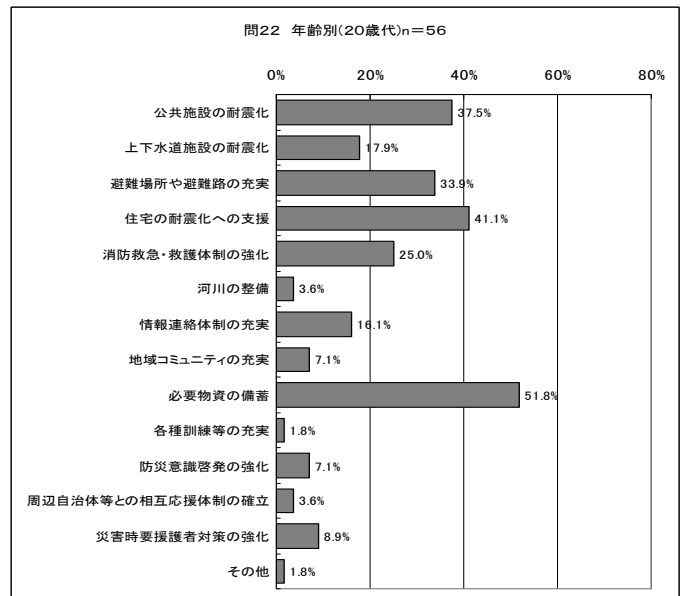
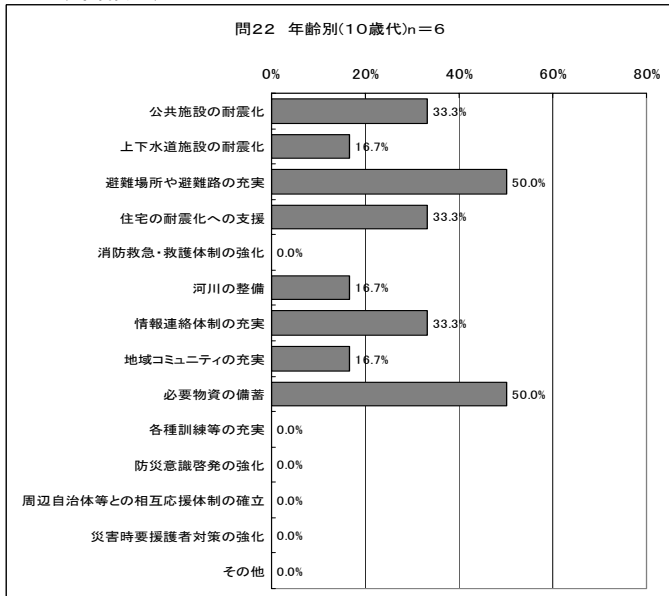
- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 公共施設の耐震化 | 8 地域コミュニティの充実 |
| 2 上下水道施設の耐震化 | 9 必要物資の備蓄 |
| 3 避難場所や避難路の充実 | 10 各種訓練等の充実 |
| 4 住宅の耐震化への支援 | 11 防災意識啓発の強化 |
| 5 消防救急・救護体制の強化 | 12 周辺自治体等との相互応援体制の確立 |
| 6 河川の整備 | 13 災害時要援護者対策の強化 |
| 7 情報連絡体制の充実 | 14 その他() |

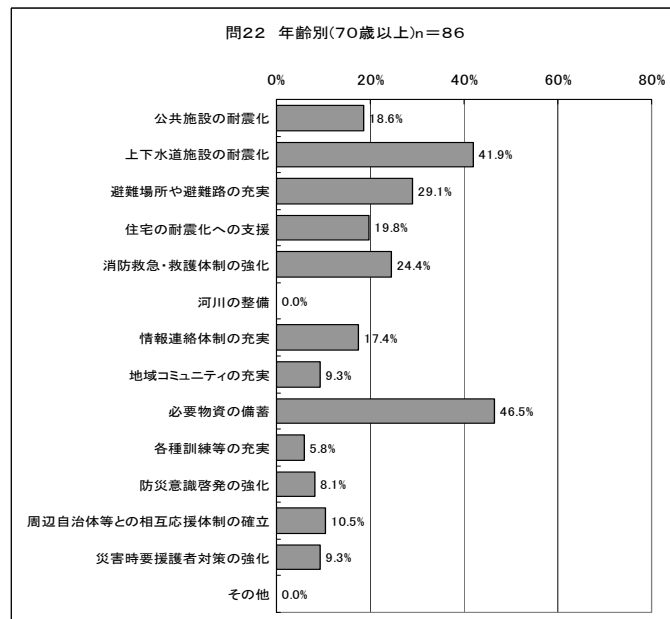
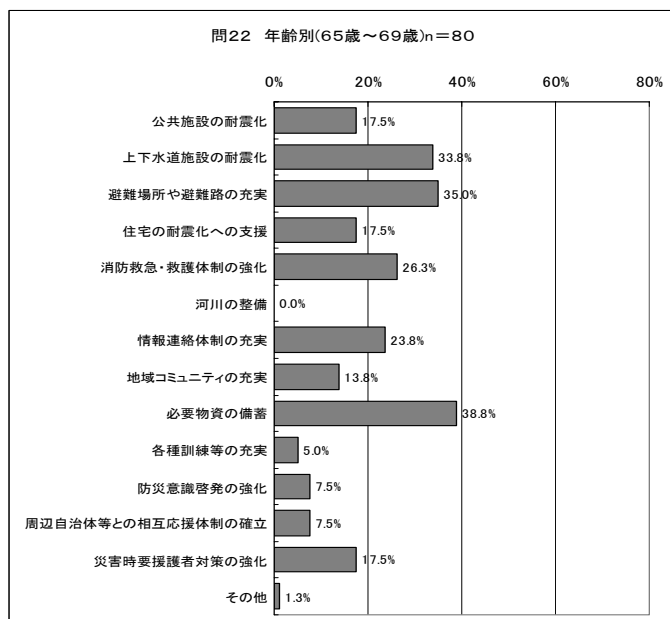


○今後の取組として必要なことについては、「必要物資の備蓄」が 51.2%と高く、次に「避難場所や避難路の充実」が 31.6%で、以下「上下水道施設の耐震化」が 30.1%となっている。

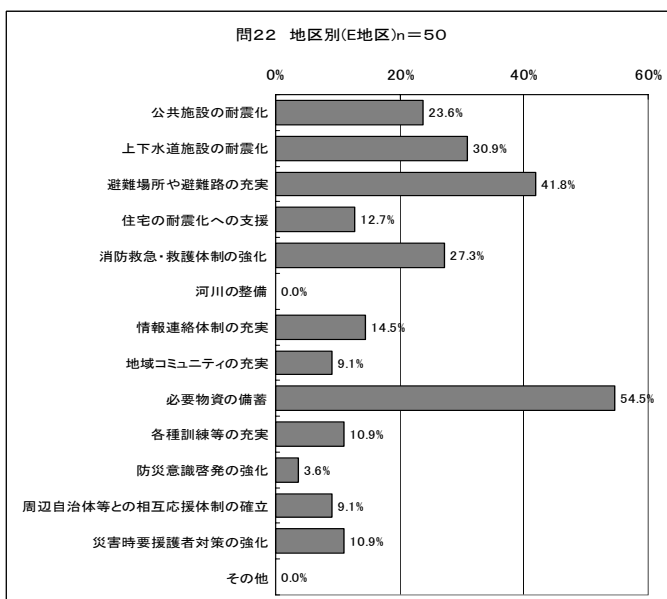
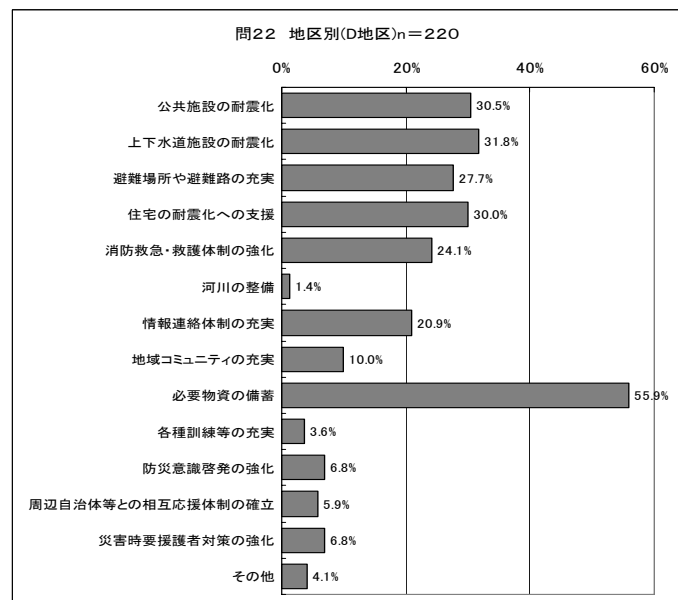
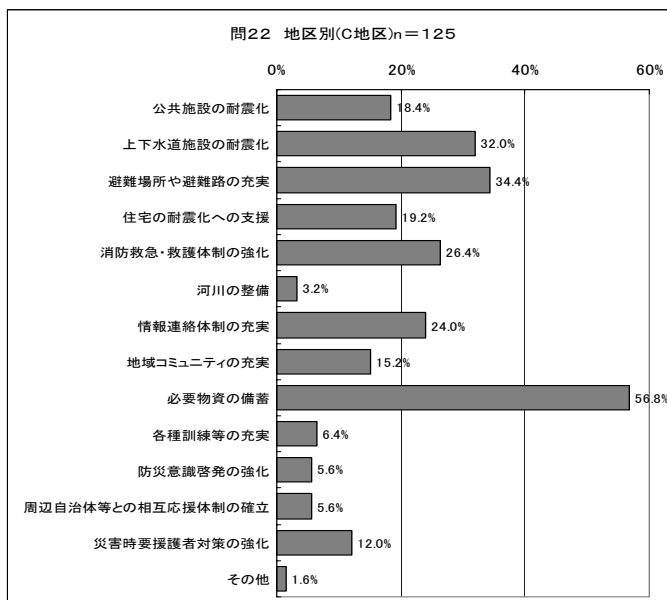
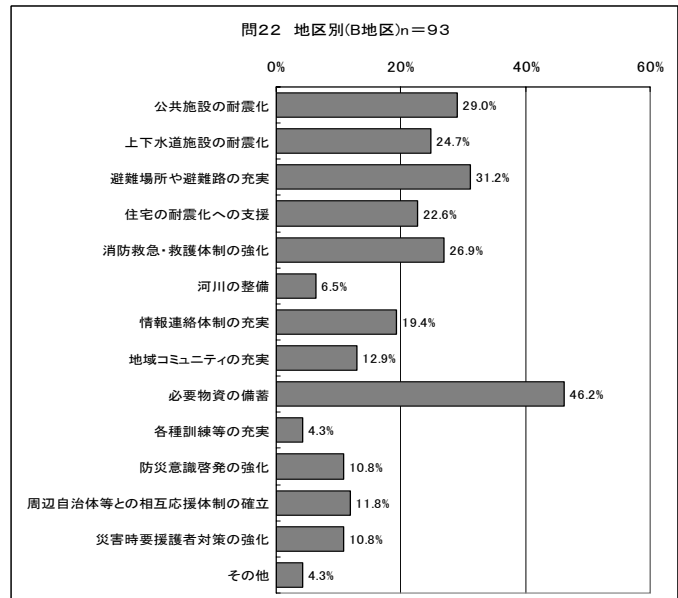
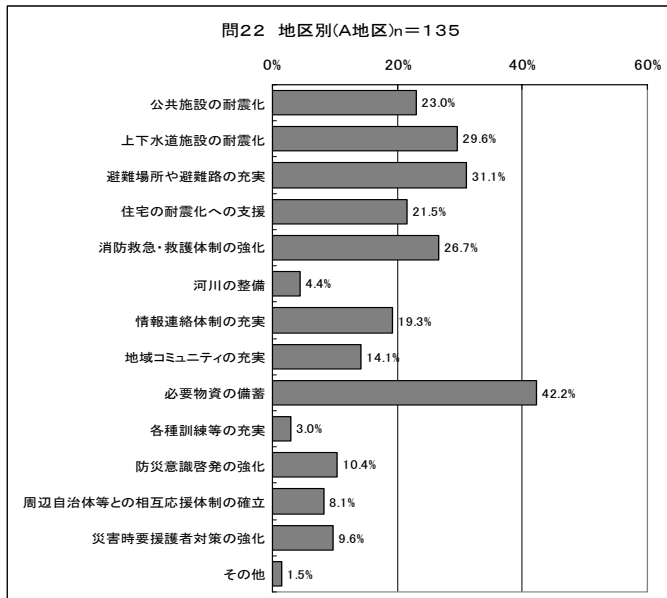
○年齢別・地区別でも、同様の傾向で「必要物資の備蓄」が高く、次に「避難場所や避難路の充実」で、以下「上下水道施設の耐震化」となっている。

(年齢別)





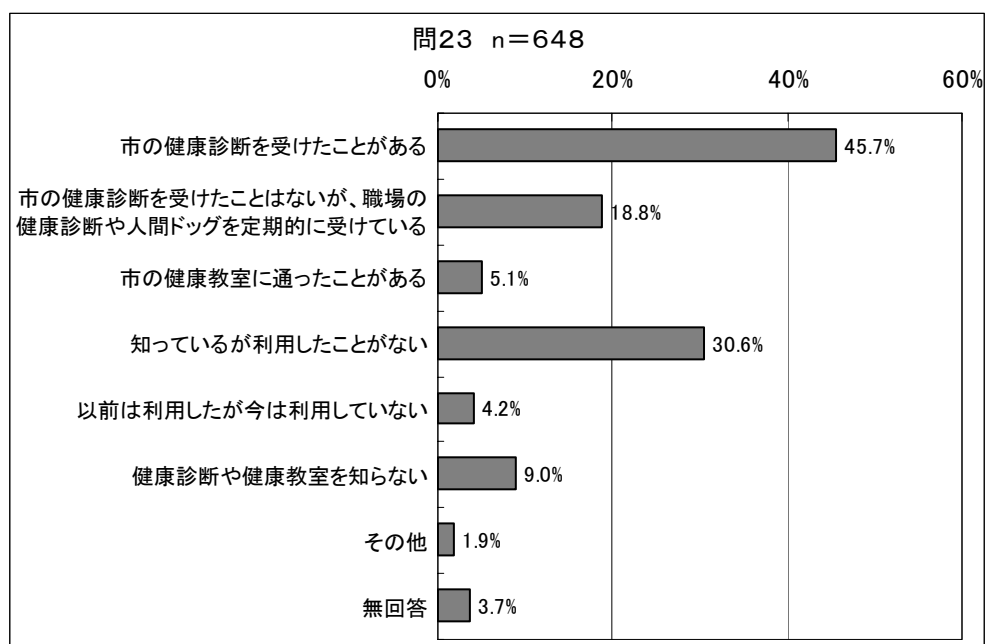
(地区別)



(4) 健康・医療

問23 あなたは、市が行っている健康診断や健康教室を利用したことがありますか。(○は2つまで)

- | | |
|--|---------------------|
| 1 市の健康診断を受けたことがある | 4 知っているが利用したことがない |
| 2 市の健康診断を受けたことはないが、職場の健康診断や人間ドッグを定期的に受けている | 5 以前は利用したが今は利用していない |
| 3 市の健康教室に通ったことがある | 6 健康診断や健康教室を知らない |
| | 7 その他 () |



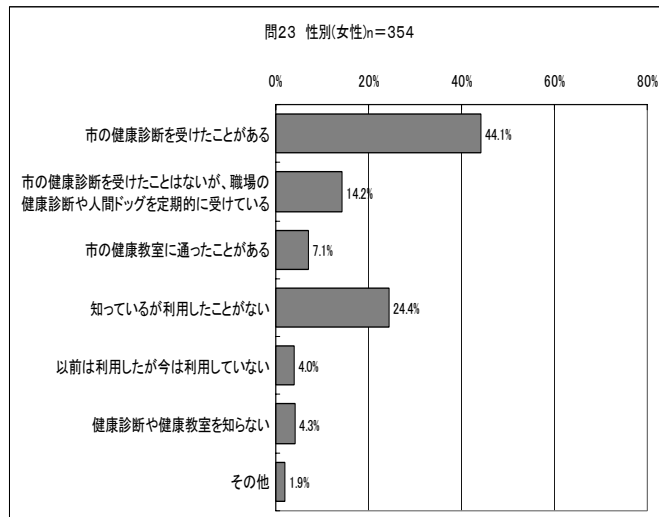
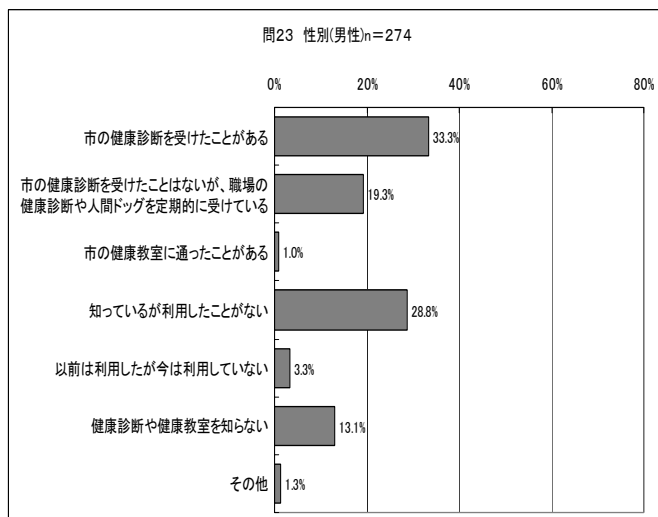
○健康診断や健康教室の利用については、「市の健康診断を受けたことがある」が45.7%と高く、次に「知っているが利用したことがない」が30.6%で、以下「市の健康診断を受けたことがないが、職場の健康診断や人間ドッグを定期的に受けている」が18.6%となっている。

○性別では、女性の「市の健康診断を受けたことがある」が52.5%と高く、男性は、37.1%と女性に比べ低い値となっている。

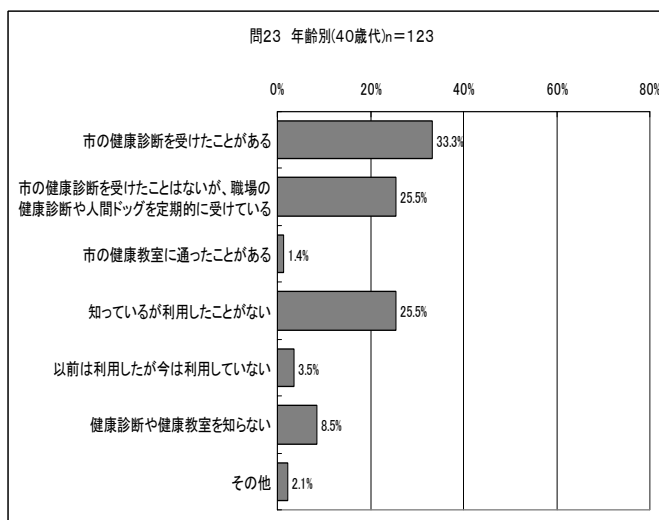
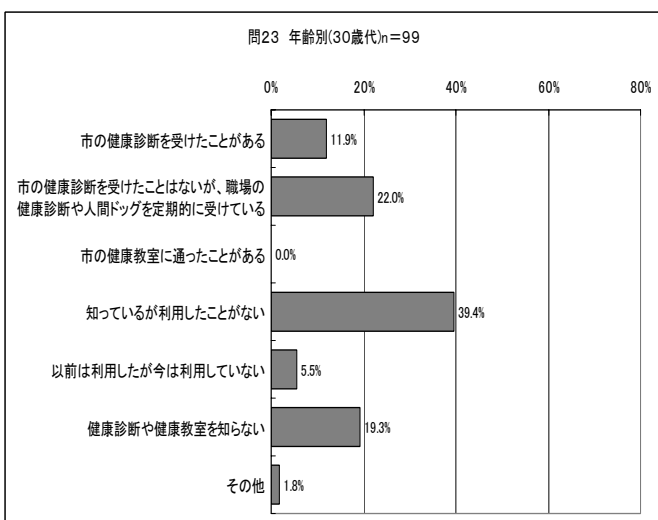
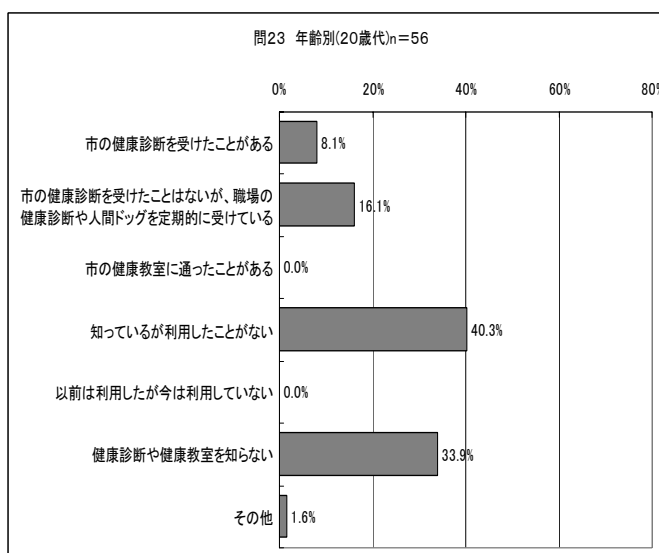
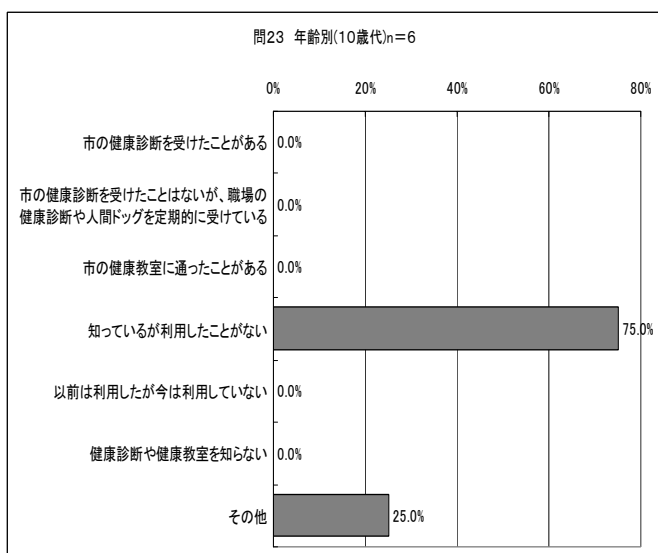
○年齢別では、50歳代から上の年代で「市の健康診断を受けたことがある」が高い値となっている。また、30歳代と40歳代で、他の年代より「市の健康診断を受けたことがないが、職場の健康診断や人間ドッグを定期的に受けている」の値が高い傾向となっている。

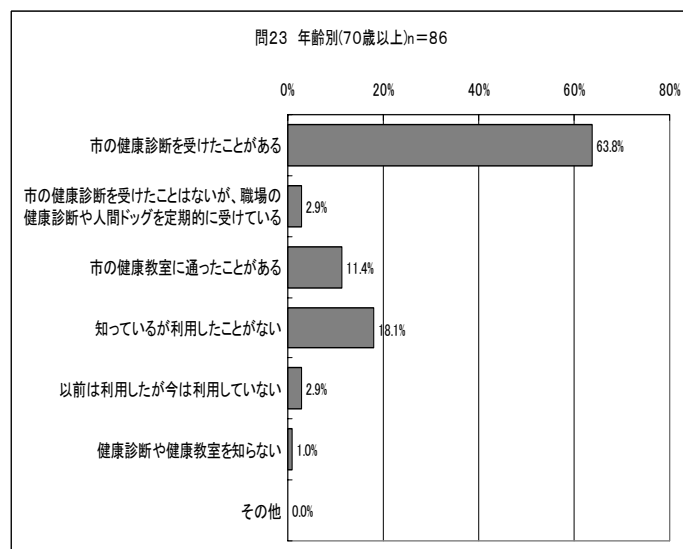
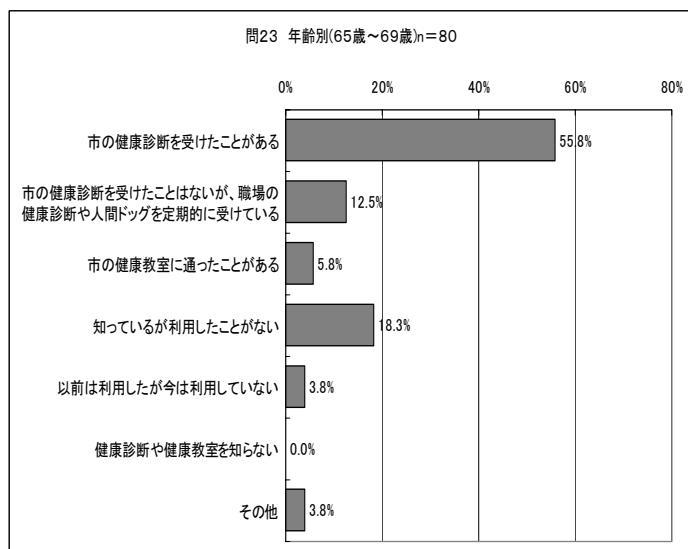
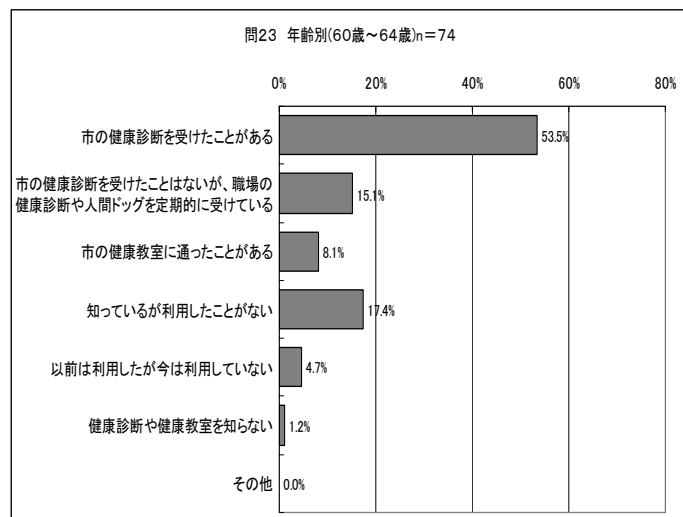
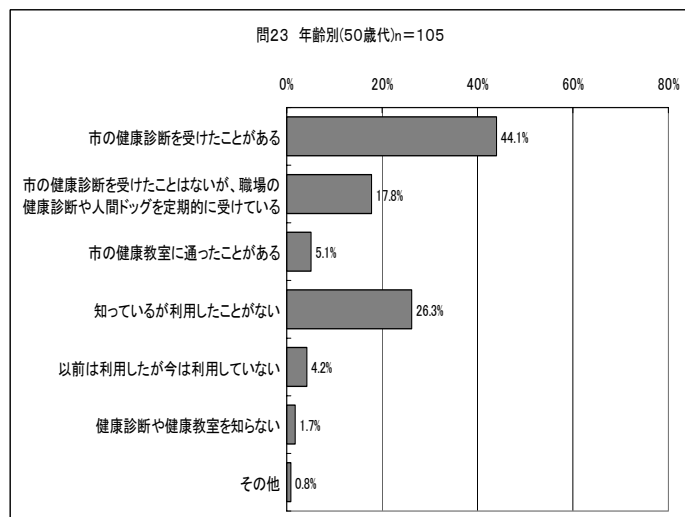
○地区別では、各地区とも「市の健康診断を受けたことがある」が高い値となっている。

(性別)

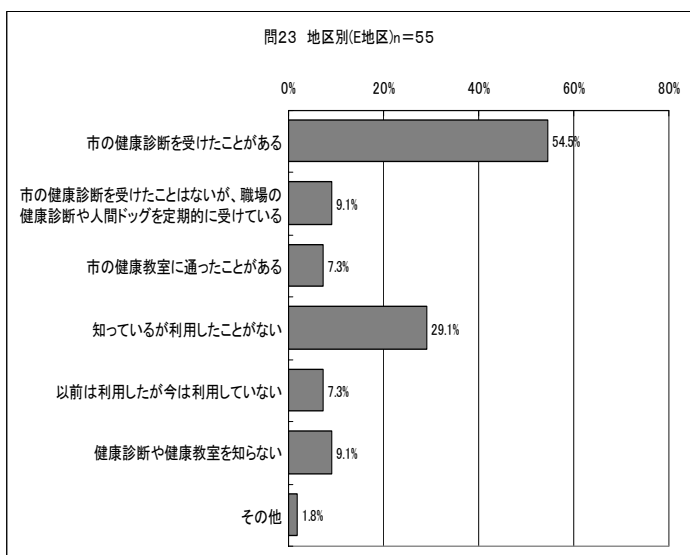
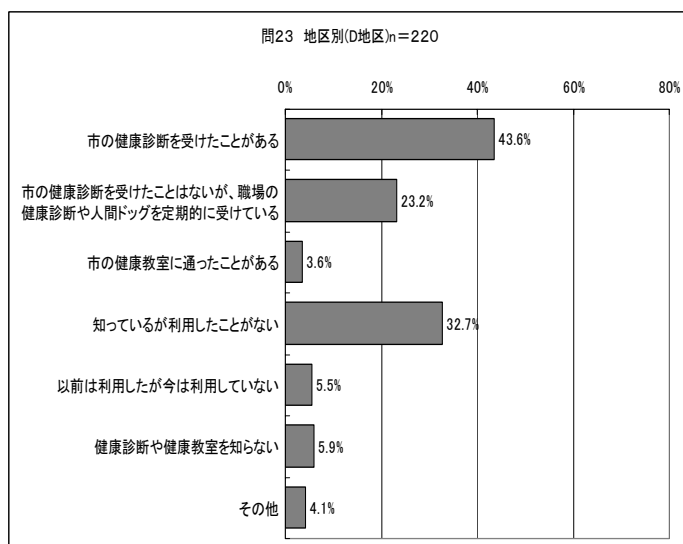
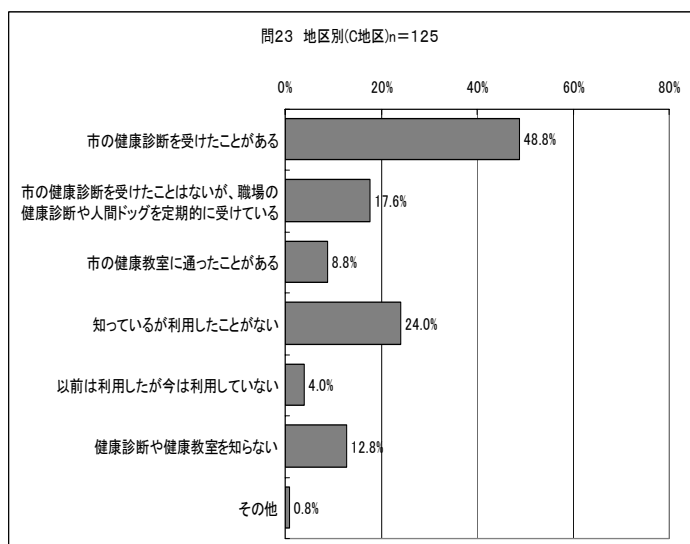
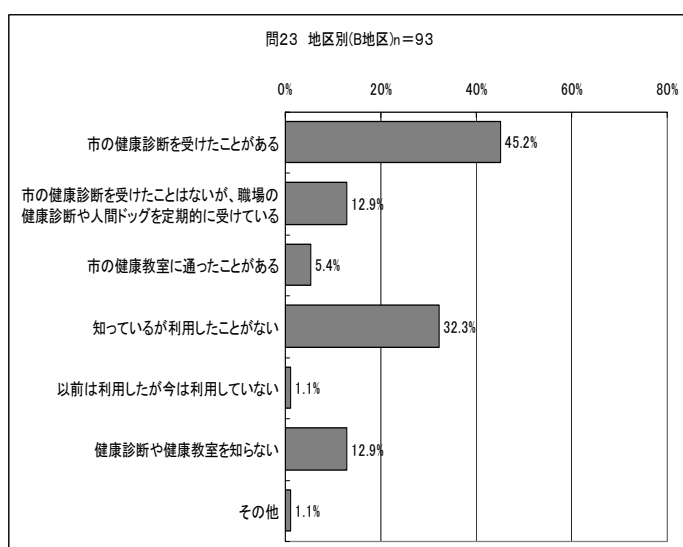
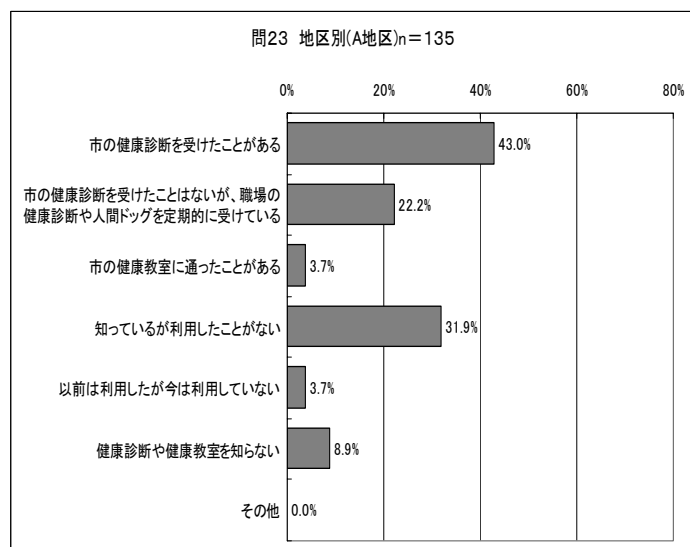


(年齢別)



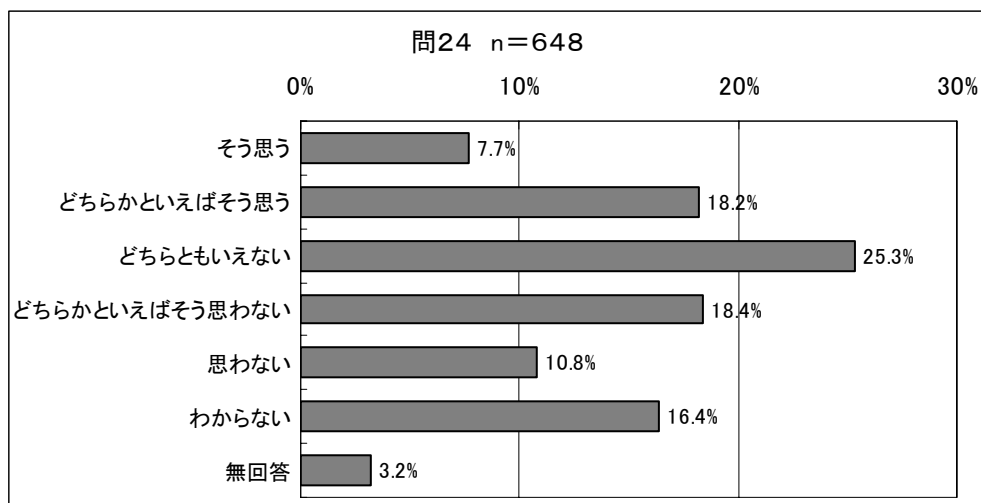


(地区別)

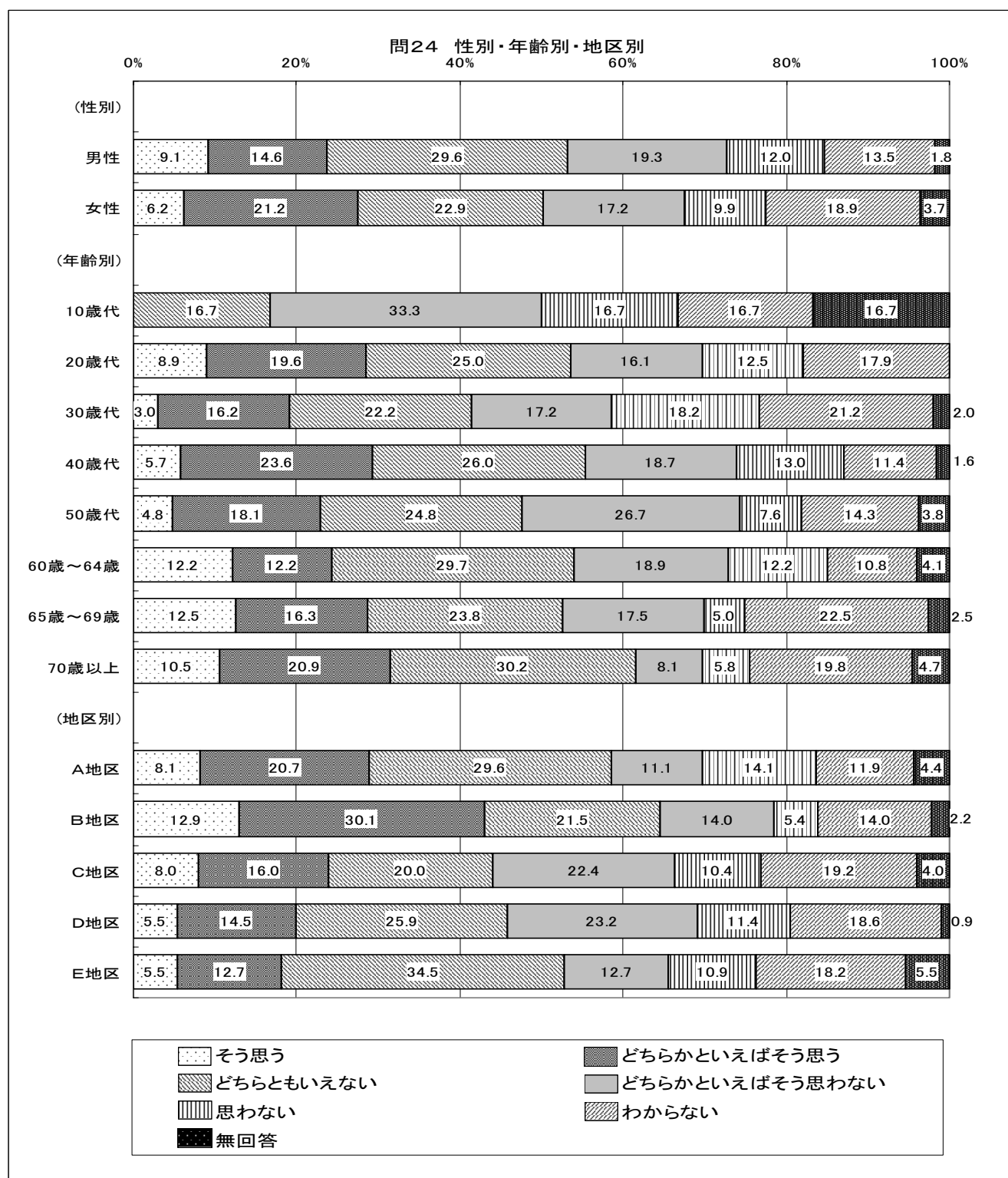


問24 あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



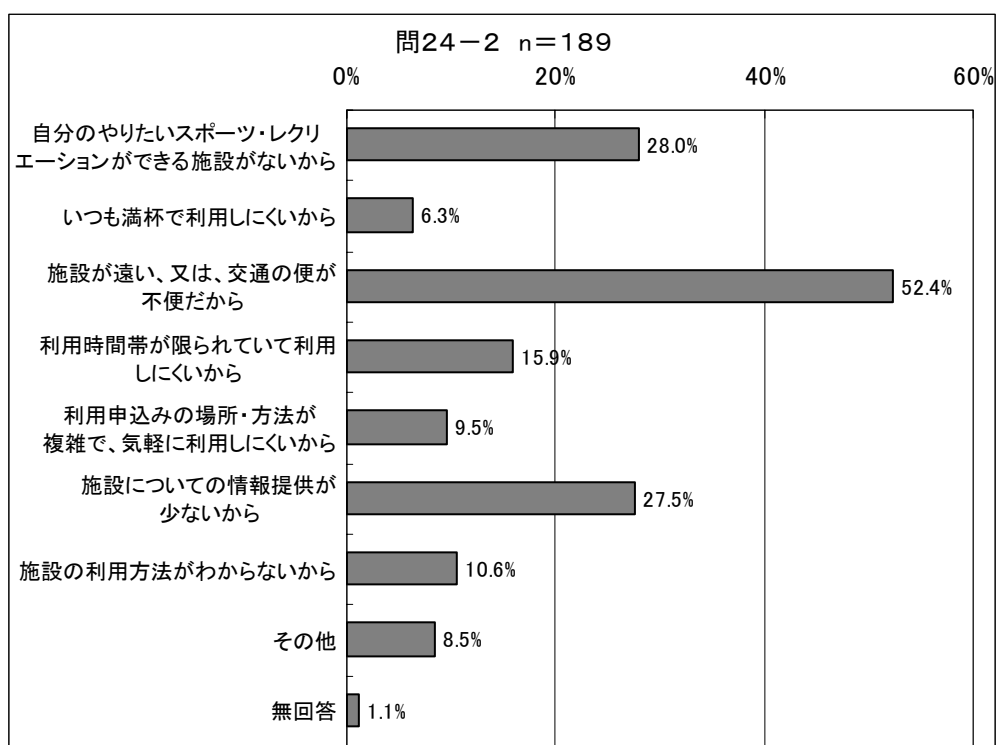
○スポーツ・レクリエーション施設については、「どちらともいえない」が 25.3%と高く、次に「どちらかといえばそう思わない」が 18.4%で、以下「どちらかといえばそう思う」が 18.2%、「わからない」が 16.4%となっている。



- 性別では、「そう思う」が、女性で6.2%と男性の9.1%に比べ低い値となっている。また、「どちらかといえばそう思う」が、女性で21.2%と男性の14.6%に比べ高くなっている。
- 年齢別では、20歳代と40歳代と60歳以上の年代が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると約30%となっている。
- 地区別では、B地区の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると43.0%と他の地区の約2倍となっている。また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」では、C地区の32.8%とD地区の34.6%が高い値となっている。

問24-2 問24で「4」又は「5」と回答した方にお聞きます。その理由は。(〇は2つまで)

- 1 自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから
- 2 いつも満杯で利用しにくいから
- 3 施設が遠い、又は、交通の便が不便だから
- 4 利用時間帯が限られていて利用しにくいから
- 5 利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから
- 6 施設についての情報提供が少ないから
- 7 施設の利用方法がわからないから
- 8 その他()

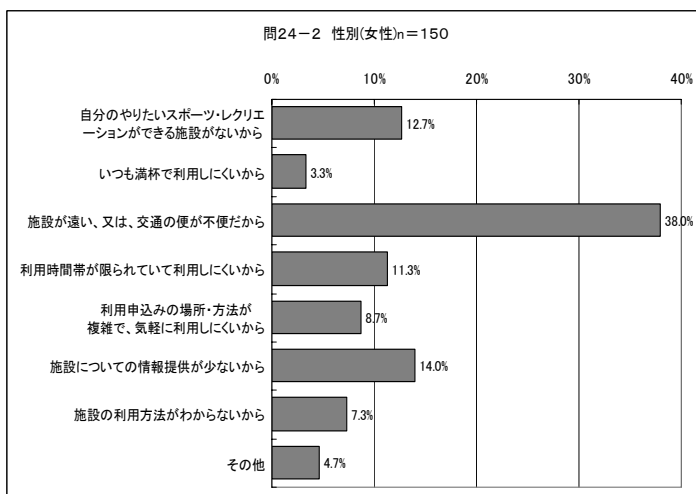
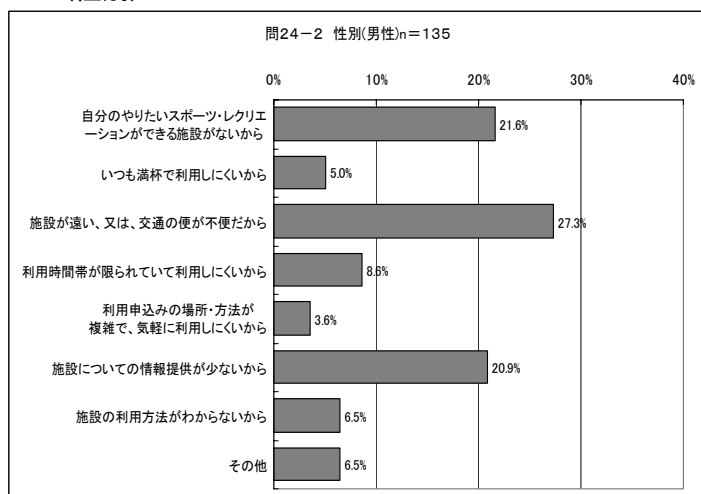


○スポーツ・レクリエーション施設が整っていると思わない理由については、「施設が遠い、又は、交通の便が不便だから」が52.4%と高く、次に「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」が28.0%で、以下「施設についての情報提供が少ないから」が27.5%となっている。

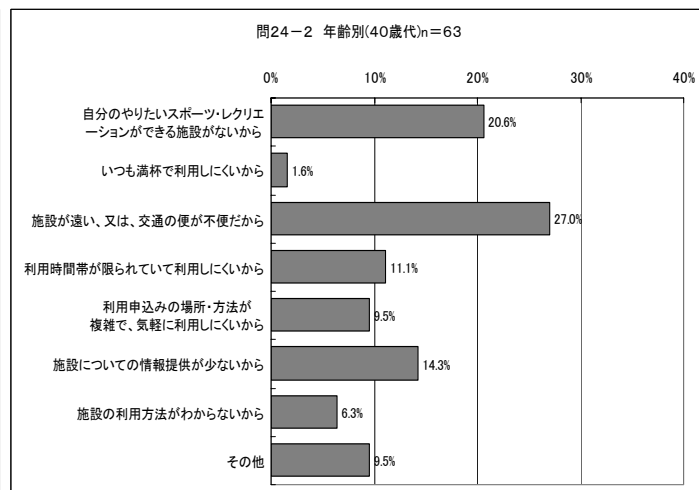
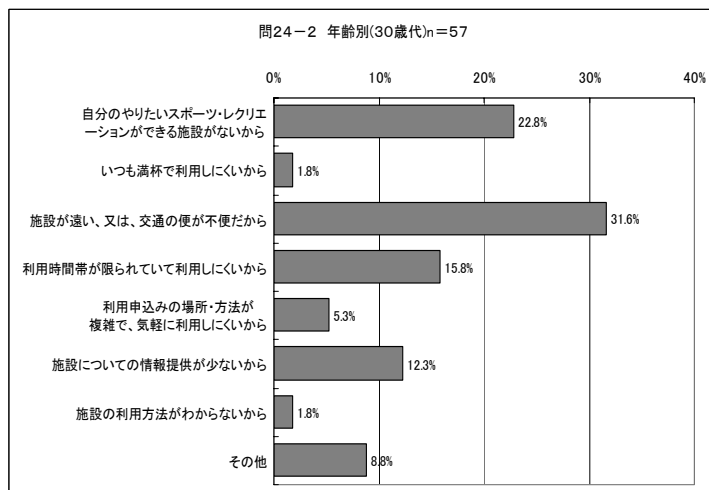
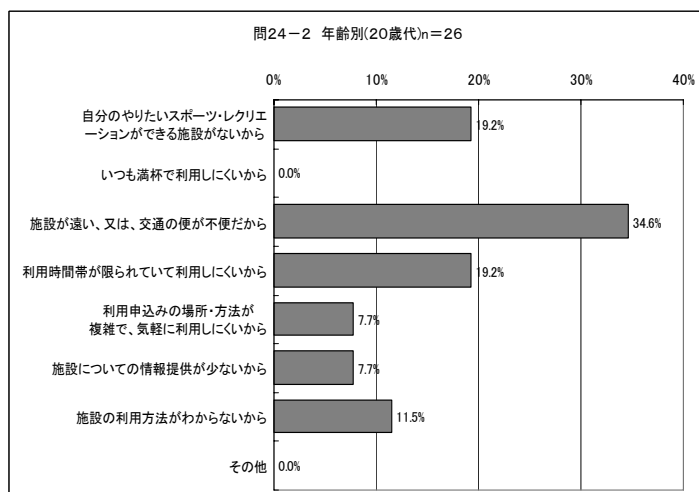
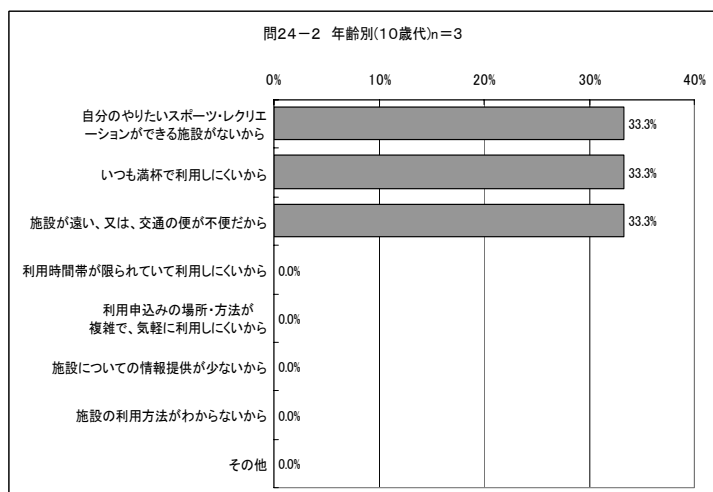
○性別・年齢別においても、同様の傾向となっている。

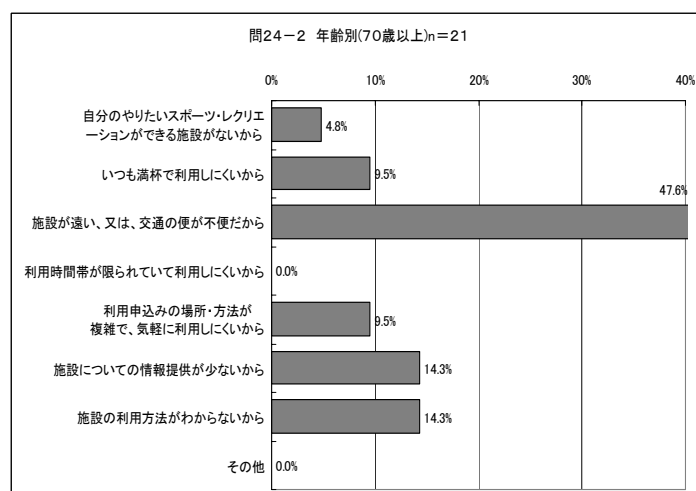
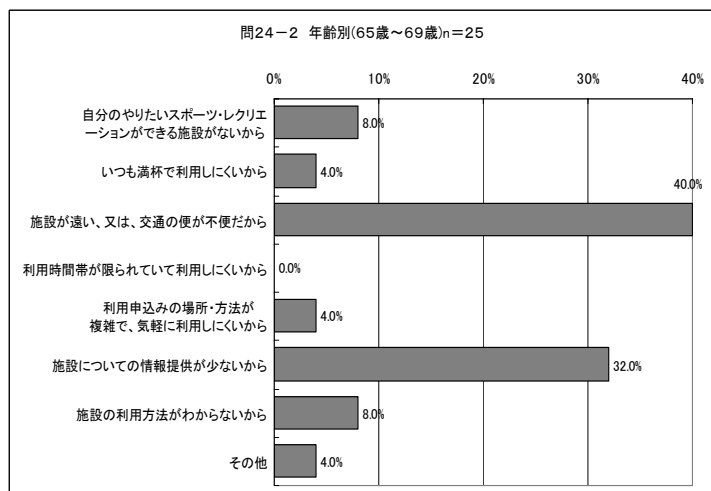
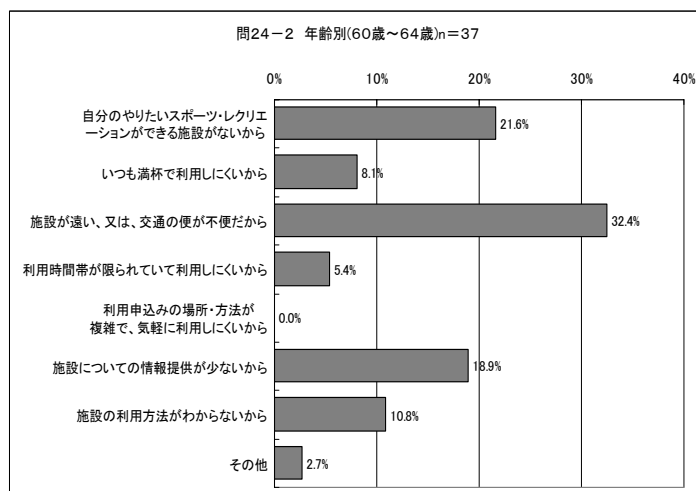
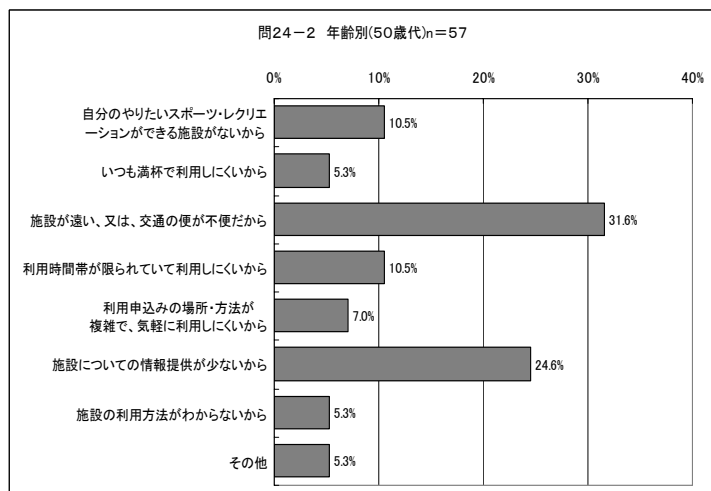
○地区別では、「施設が遠い、又は、交通の便が不便だから」がE地区の42.1%と高い値となっている。一方、B地区で、13.8%と低い値となっている。

(性別)

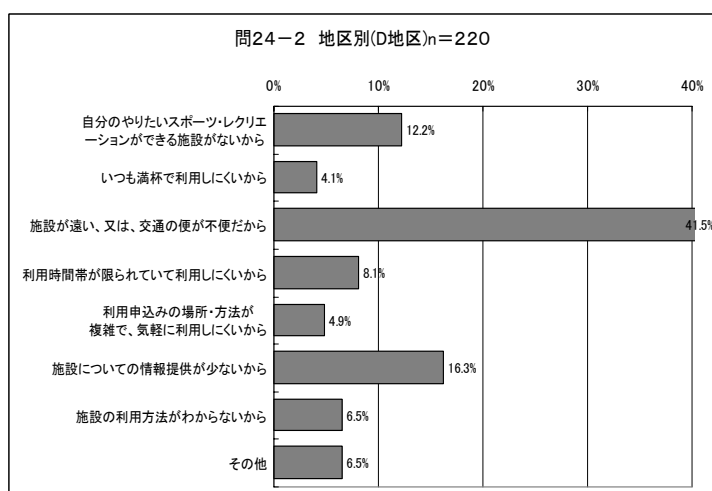
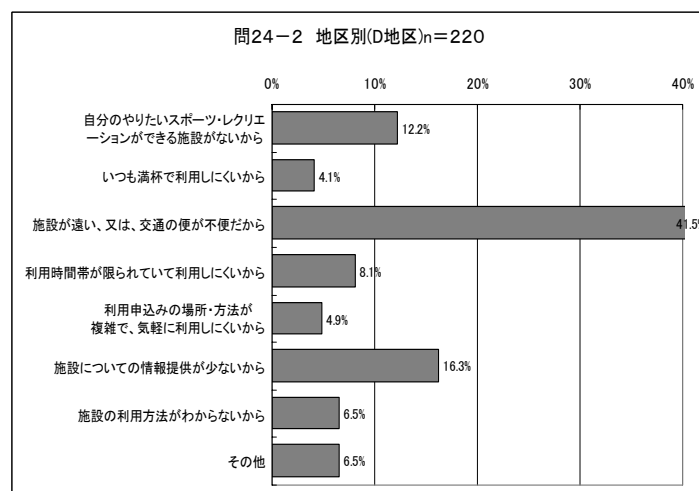
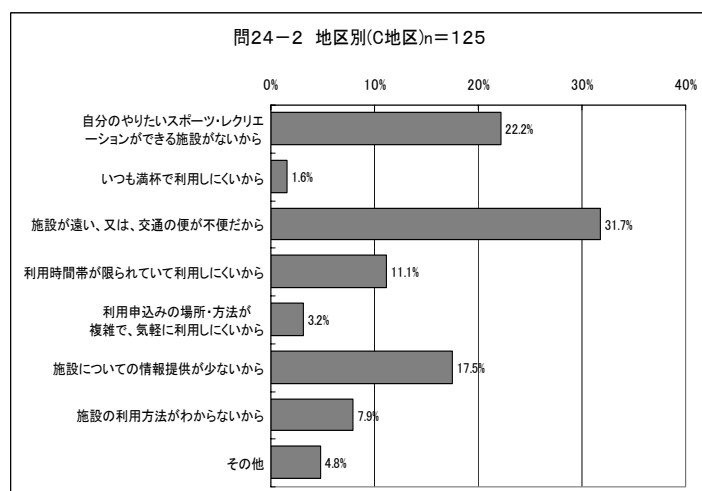
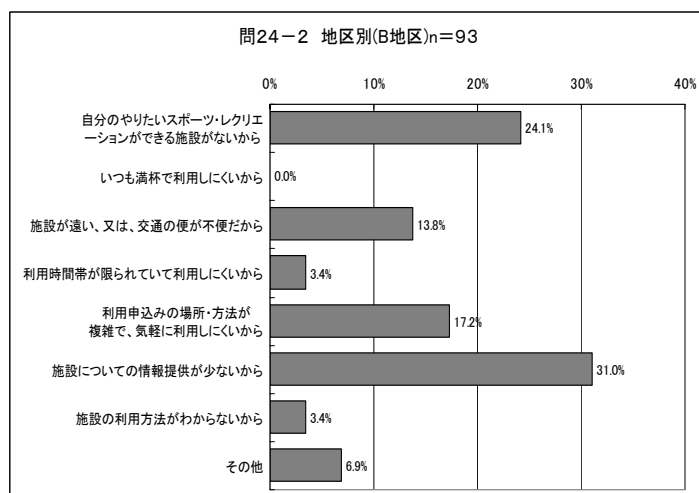
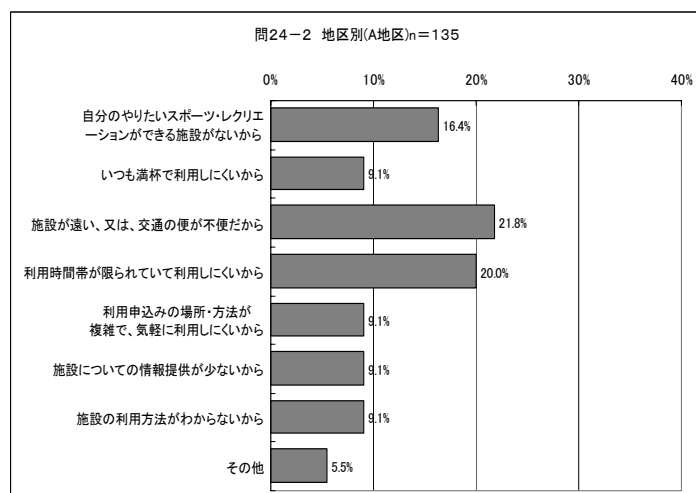


(年齢別)





(地区別)

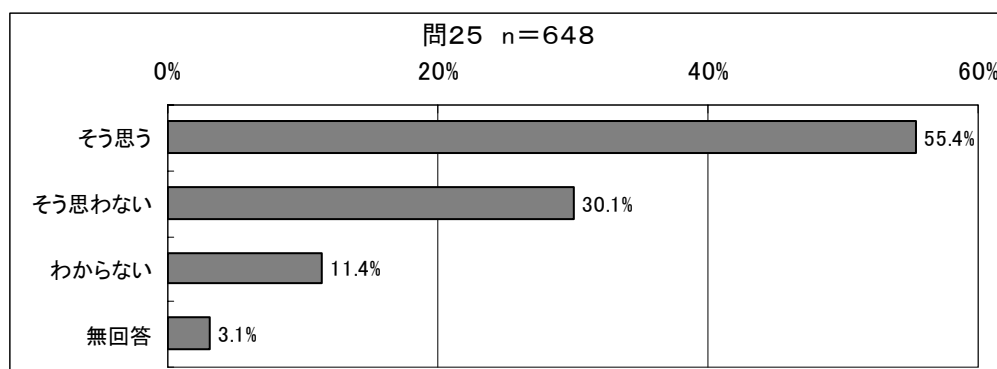


問25 あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。(〇は1つ)

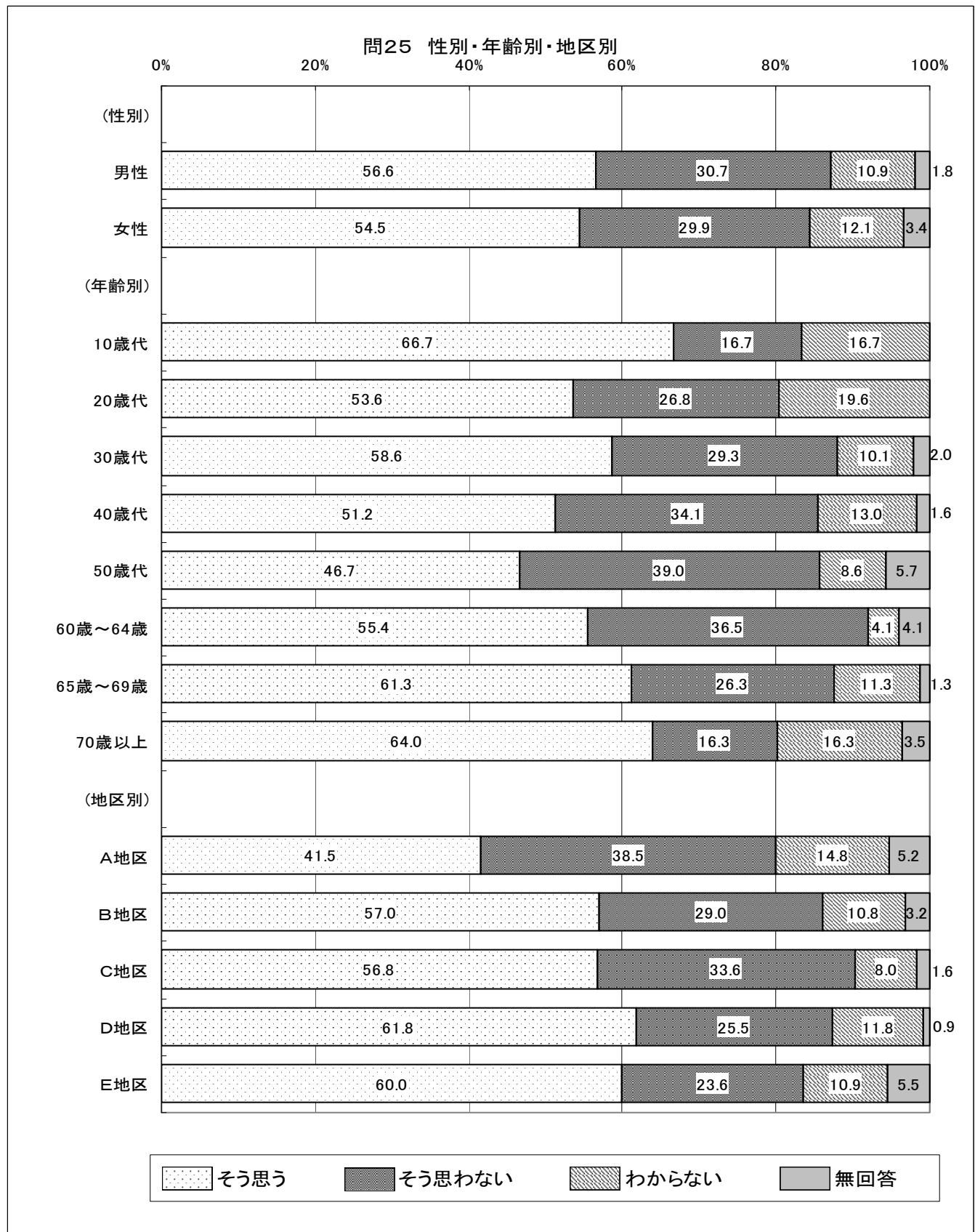
1 そう思う

2 そう思わない

3 わからない



○医療機関が身近に整っているかについては、「そう思う」が55.4%で、次に「そう思わない」が30.1%となっている。



○性別・年齢別、地区別においても、「そう思う」が約50%～60%となっているが、年齢別の50歳代が46.7%、地区別のA地区が41.5%と50%を下回っている。

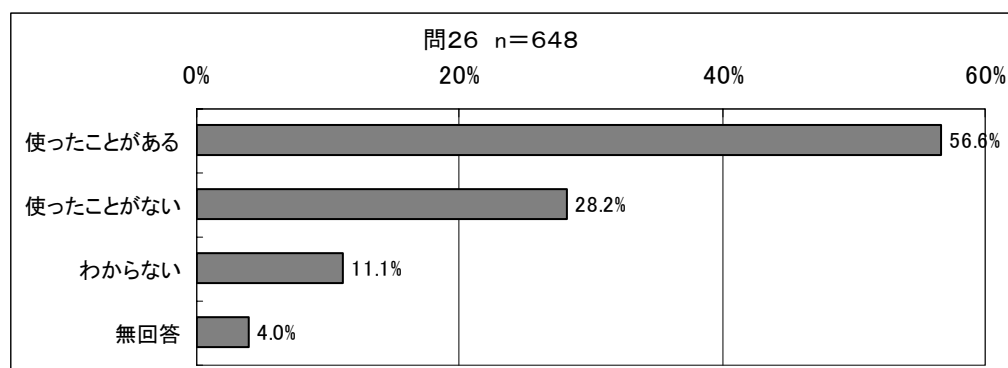
問26 あなたは、ジェネリック医薬品（後発医薬品）（※）を使ったことがありますか。（○は1つ）

1 使ったことがある

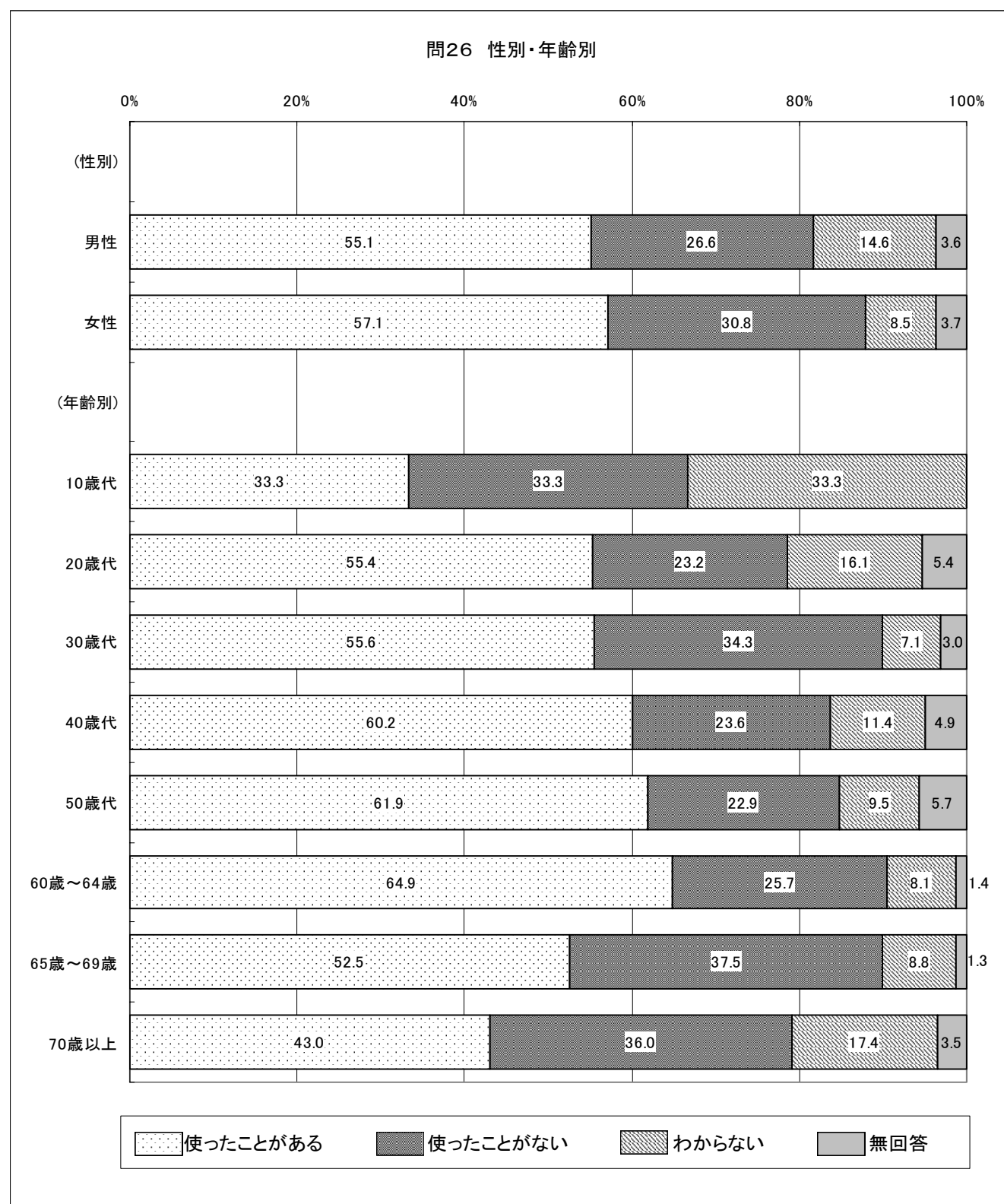
2 使ったことがない

3 わからない

※ ジェネリック医薬品：厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた医薬品です。先発医薬品の特許期間満了後に、有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同じ医薬品として新たに申請され、製造・販売される安価な医薬品です。



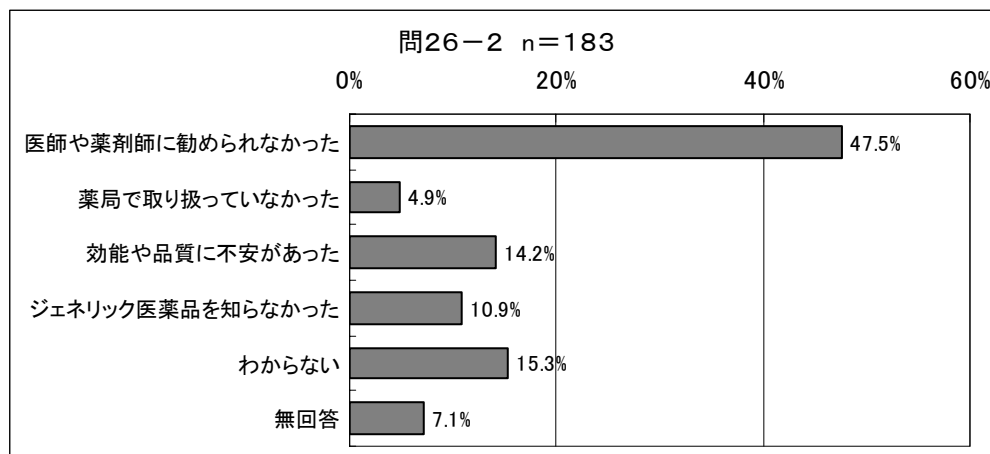
○ジェネリック医薬品の利用については、「使ったことがある」が56.6%で、次に「使ったことがない」が28.2%となっている。



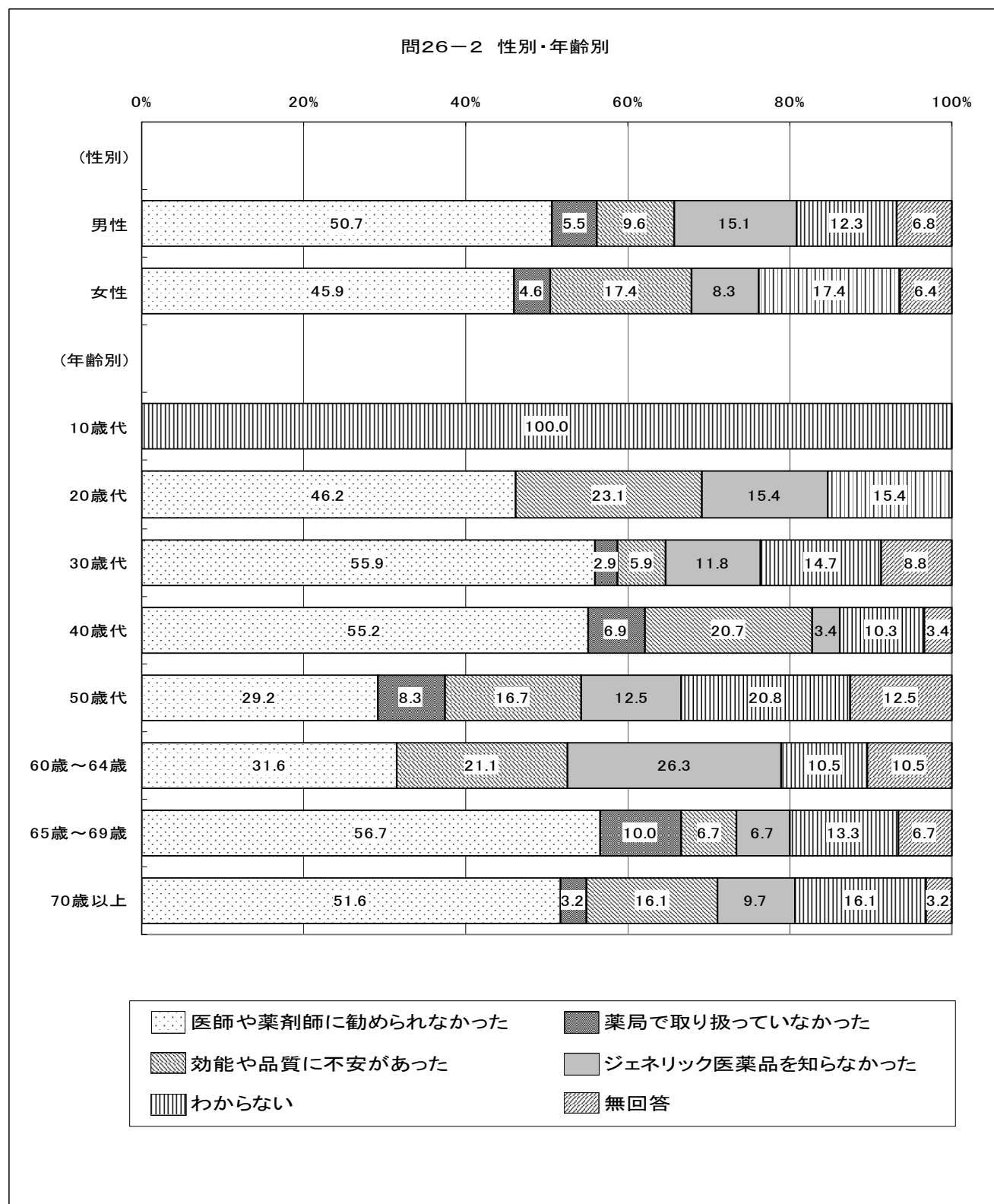
○性別・年齢別とも、「使ったことがある」が50%を超えているが、70歳以上で43.0%と低い値となっている。

問26-2 問26で「2」と回答した方にお聞きします。ジェネリック医薬品を使用しなかった理由は。
(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 医師や薬剤師に勧められなかった | 4 ジェネリック医薬品を知らなかった |
| 2 薬局で取り扱っていなかった | 5 わからない |
| 3 効能や品質に不安があった | |



○ジェネリック医薬品を使用しなかった理由については、「医師や薬剤師に勧められなかった」が47.5%と高く、次に「わからない」が15.3%で、以下「効能や品質に不安があった」が14.2%となっている。

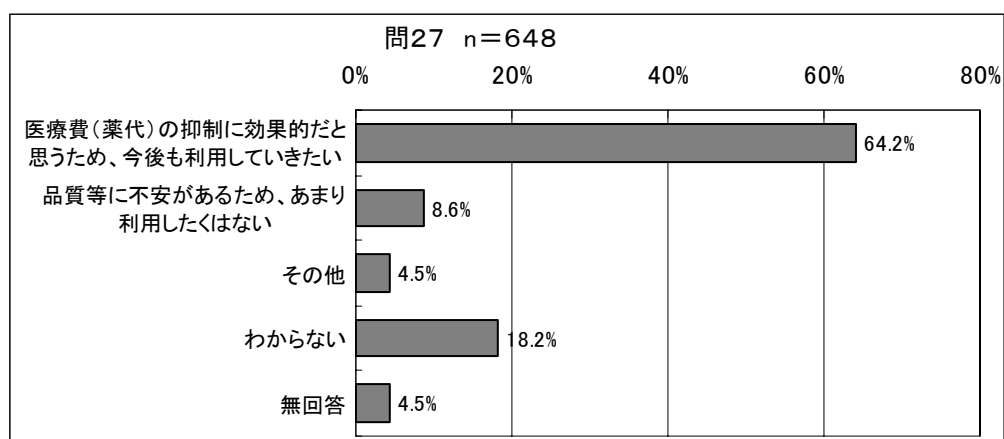


○性別では、男性・女性とも「医師や薬剤師に勧められなかった」が高い値となっている。しかし、男性では、「ジェネリック医薬品を知らなかった」が15.1%となっているのに対し、女性では、「わからない」と「効能や品質に不安があった」が17.4%で、男女間に相違が見られる。

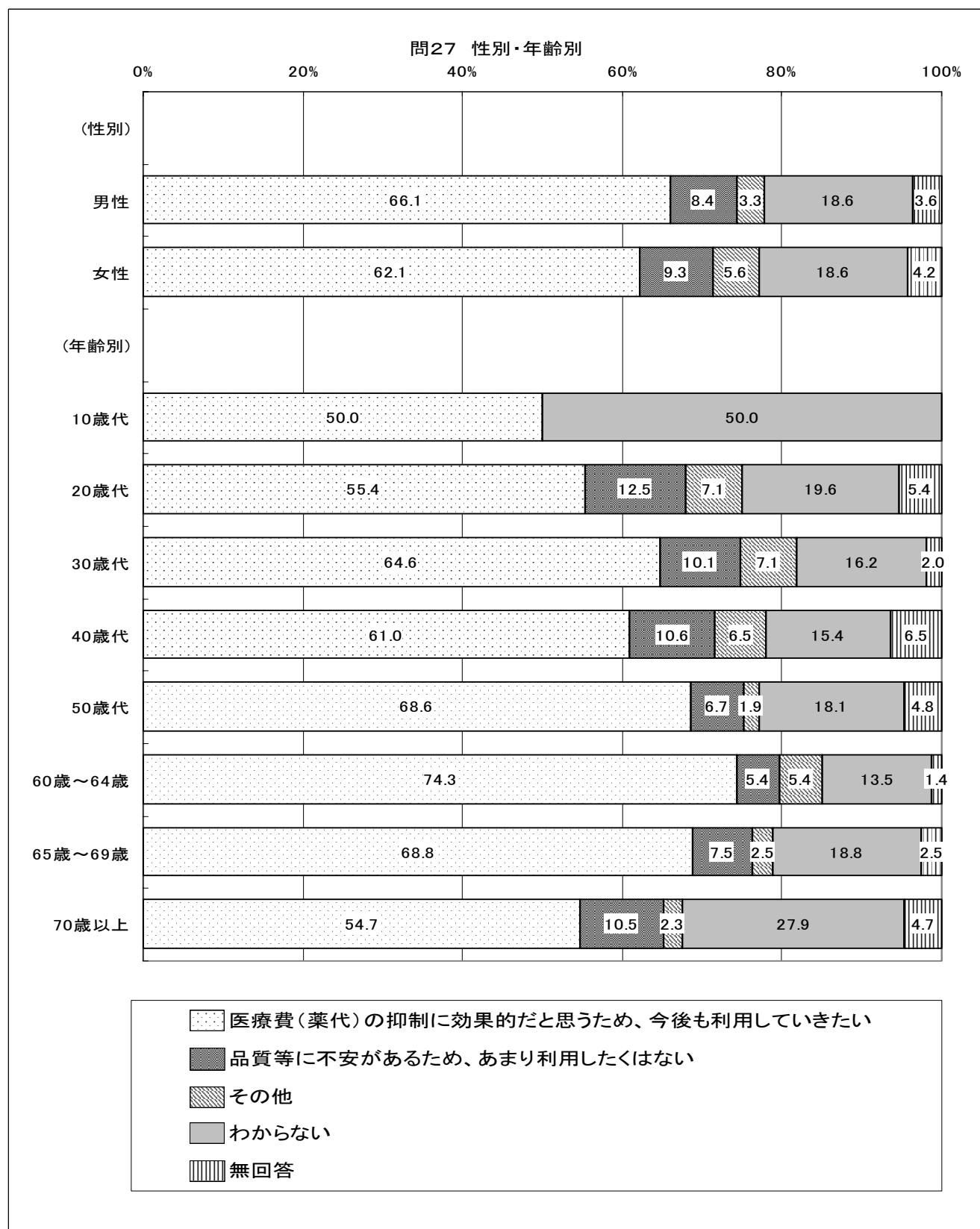
○年齢別では、全体的に「医師や薬剤師に勧められなかった」が高い値となっているが、50歳代の「わからない」が20.8%、60歳～64歳の「ジェネリック医薬品を知らなかった」が26.3%となっている。

問27 市では、ジェネリック医薬品の普及促進に努めていますが、あなたは、これについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1 医療費（薬代）の抑制に効果的だと思うため、今後も利用していきたい | 3 その他（ ） |
| 2 品質等に不安があるため、あまり利用したくはない | 4 わからない |



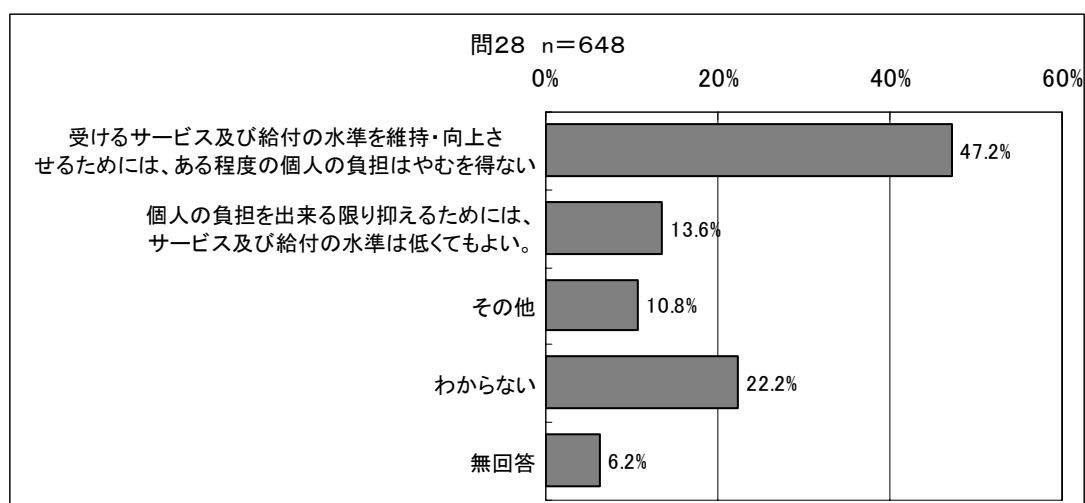
○ジェネリック医薬品については、「医療費（薬代）の抑制に効果的だと思うため、今後も利用していきたい」が64.2%と高く、次に「わからない」が18.2%で、以下「品質等に不安があるため、あまり利用したくない」が8.6%となっている。



○性別・年齢別ともに同様の傾向となっているが、70歳以上の「わからない」が27.9%と他の年齢別より高い値となっている。

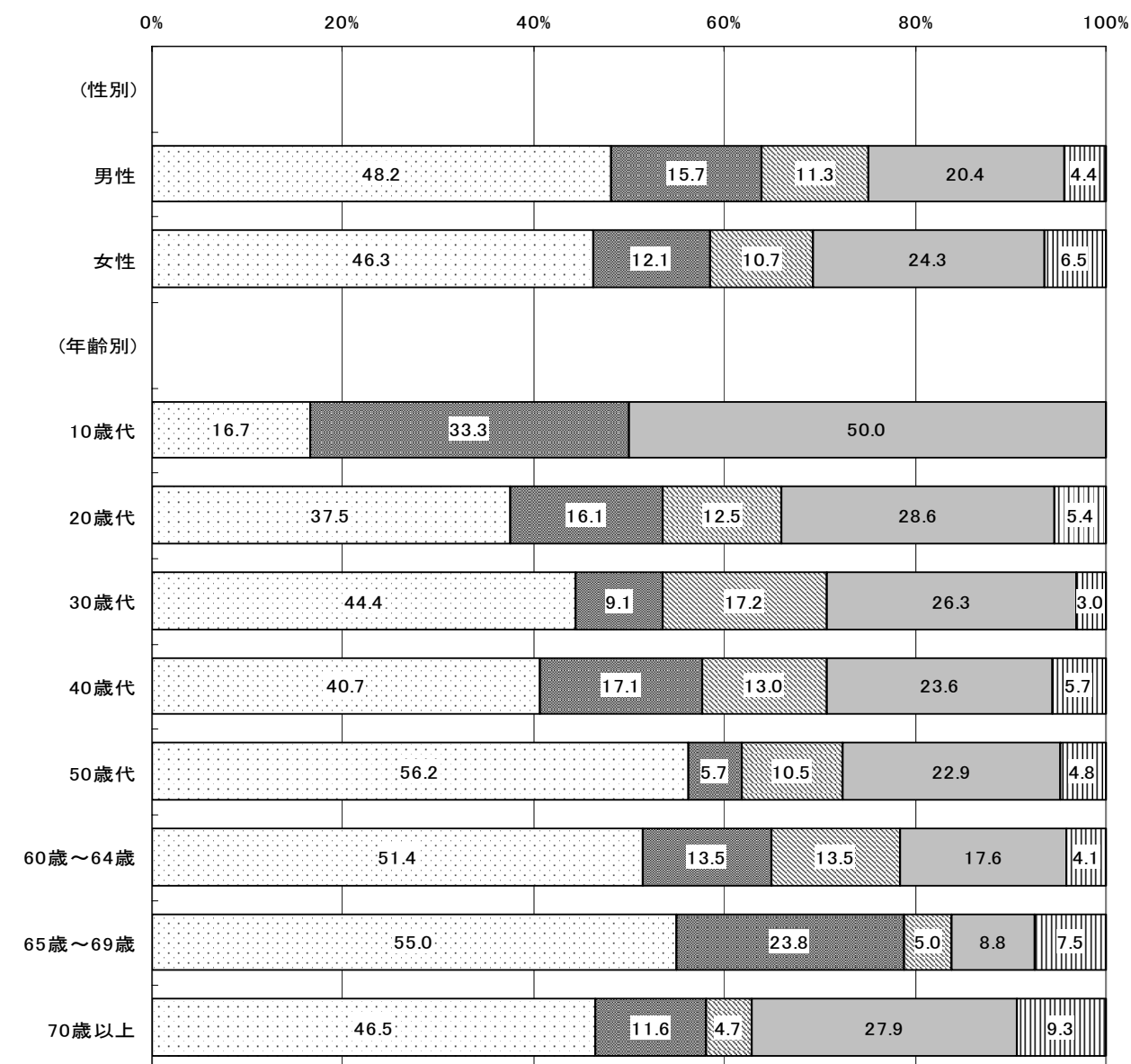
問 28 現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、次の社会保障制度（年金・医療・介護保険など）の今後についてどのように思いますか。（〇は1つ）

- 1 受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない
- 2 個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい
- 3 その他（ ）
- 4 わからない



○社会保障制度については、「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」が47.2%と高く、次に「わからない」が22.2%となっている。

問28 性別・年齢別

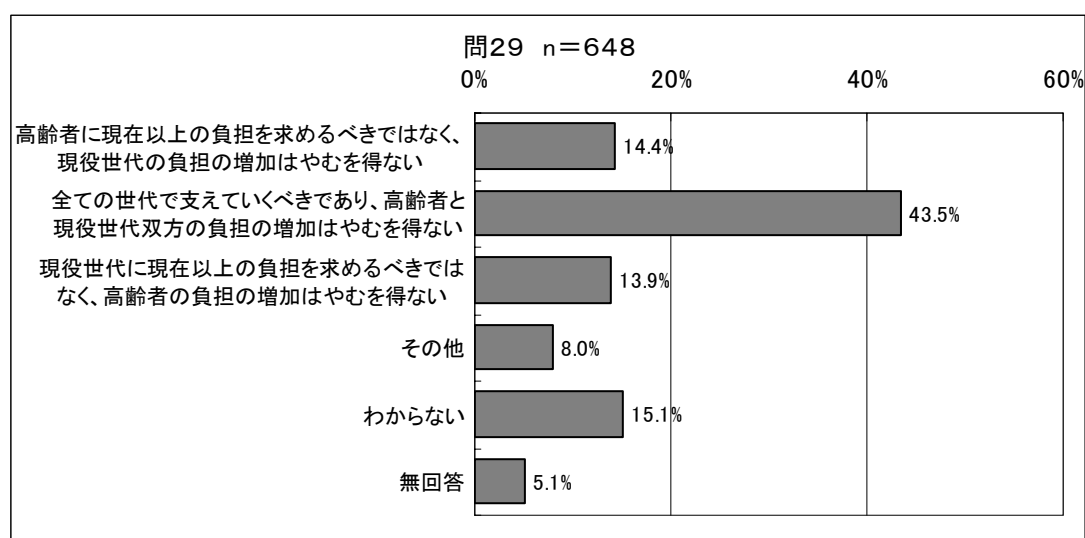


- 受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない
 個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい。
 その他
 わからない
 無回答

○性別・年齢別とも同様の傾向となっているが、65歳～69歳の「個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい」が23.8%で、70歳以上の「わからない」が27.9%となっている。

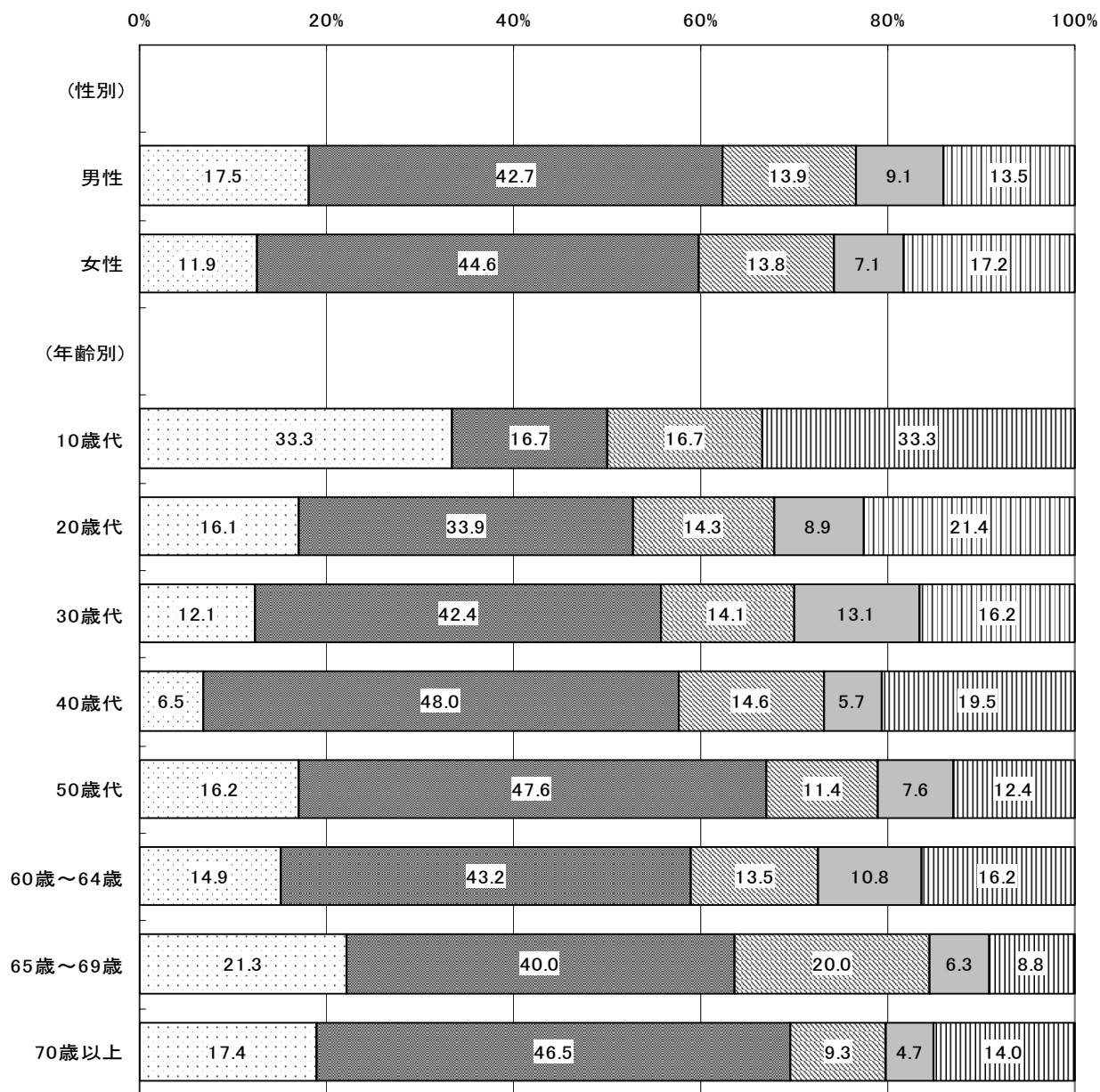
問 29 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない
- 2 全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない
- 3 現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない
- 4 その他 ()
- 5 わからない



○社会保障制度における負担のあり方については、「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」が43.5%と高く、次に「わからない」が15.1%で、以下「高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない」が14.4%、「現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない」が13.9%となっている。

問29 性別・年齢別



- 高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない
- 全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない
- 現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない
- その他
- わからない

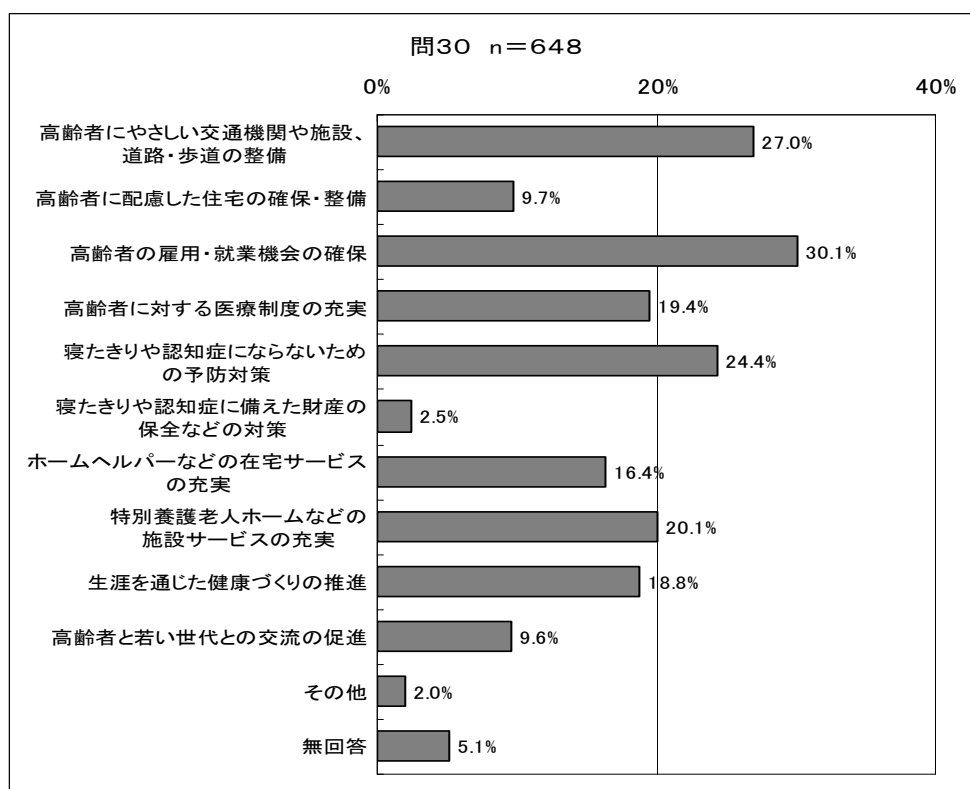
○性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○年齢別では、40歳代の「高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない」が6.5%と低く、65歳～69歳では21.3%と高い値となっている。

(5) 福祉

問30 本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 高齢者に配慮した住宅の確保・整備
- 3 高齢者の雇用・就業機会の確保
- 4 高齢者に対する医療制度の充実
- 5 寝たきりや認知症にならないための予防対策
- 6 寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策
- 7 ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実
- 8 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 9 生涯を通じた健康づくりの推進
- 10 高齢者と若い世代との交流の促進
- 11 その他 ()



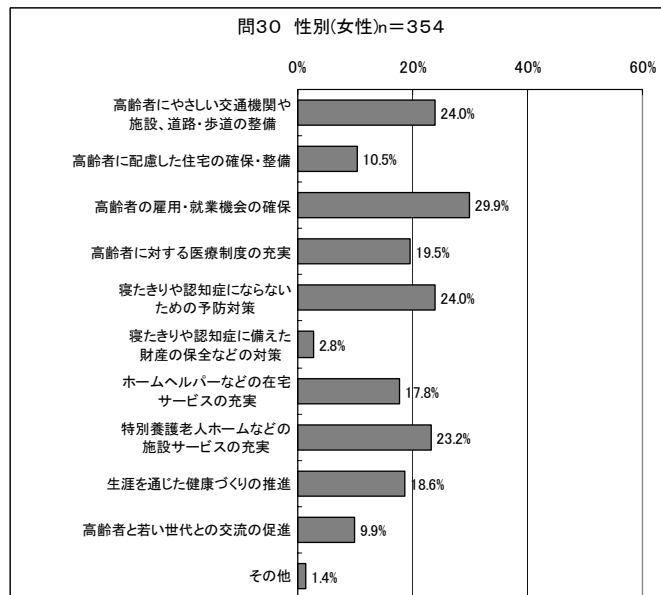
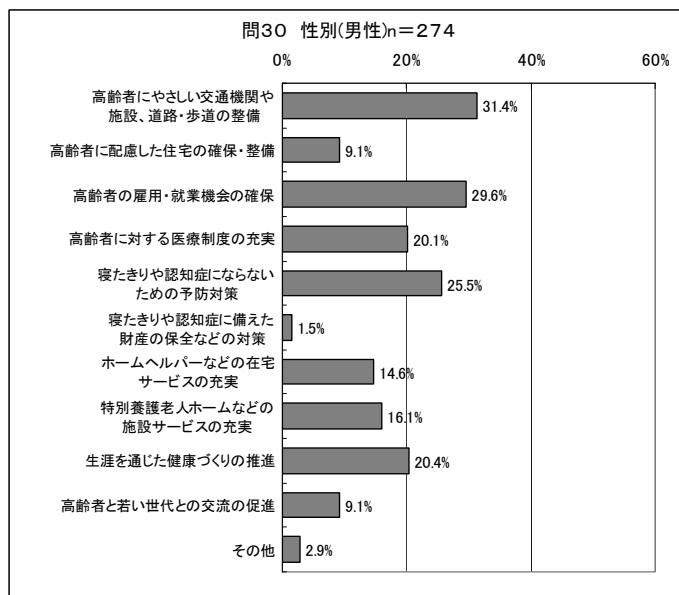
○高齢社会に向けた施策については、「高齢者の雇用・就業機会の確保」が30.1%と高く、次に「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が27.0%で、以下「寝たきりや認知症にならないための予防対策」が24.4%となっている。

○性別では、同様の傾向となっているが、年齢別では、65歳～69歳の「生涯を通じた健康づくりの推進」が31.3%と高く、70歳以上の「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」と「高齢者に対する医療制度の充実」が32.6%と高い値となっている。

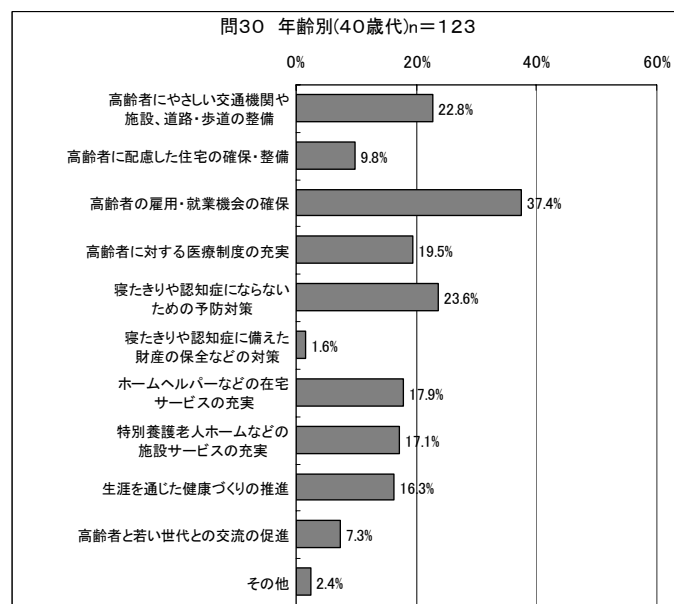
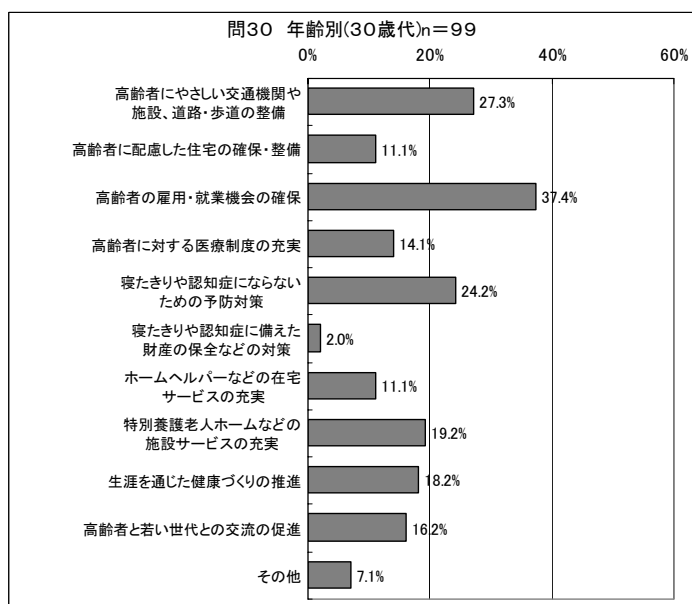
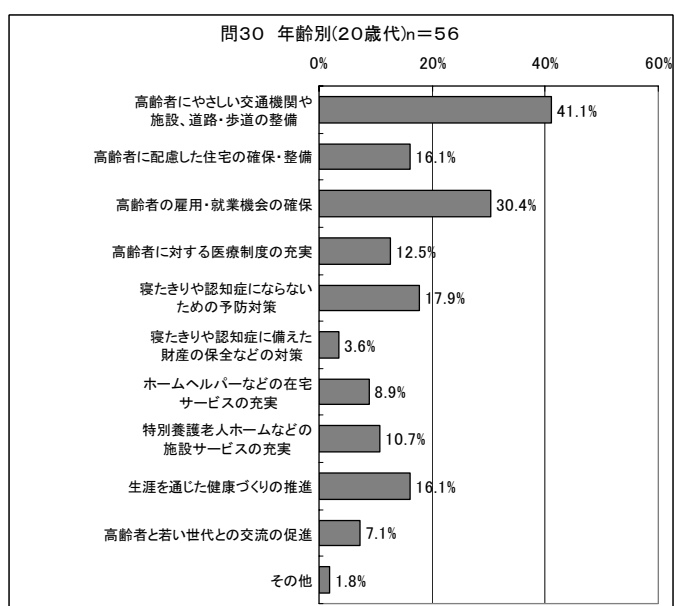
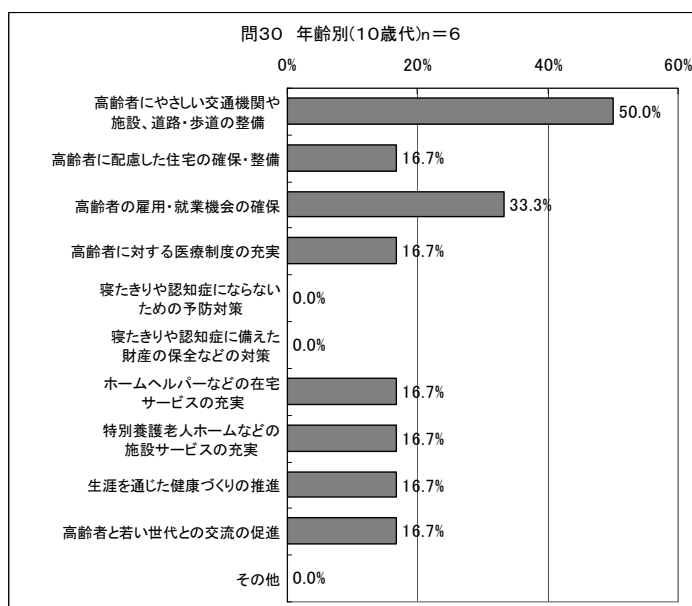
○地区別では、E地区の「高齢者に対する医療制度の充実」が29.1%とC地区の「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が31.2%と高い値となっている。

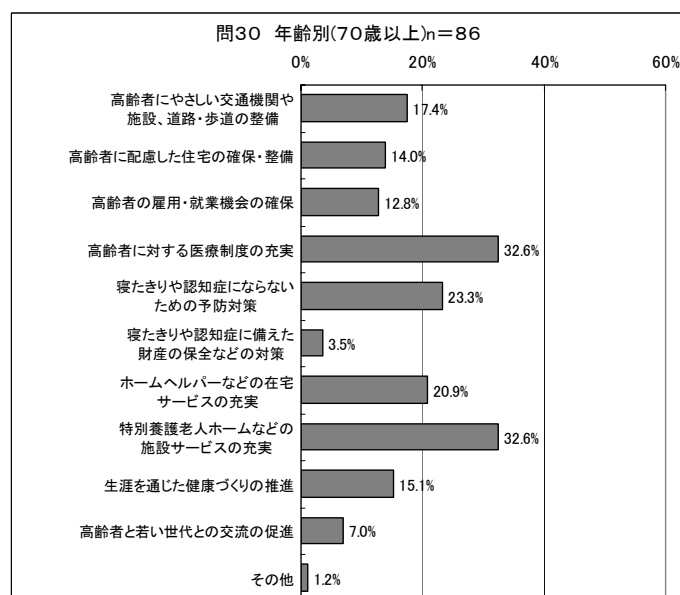
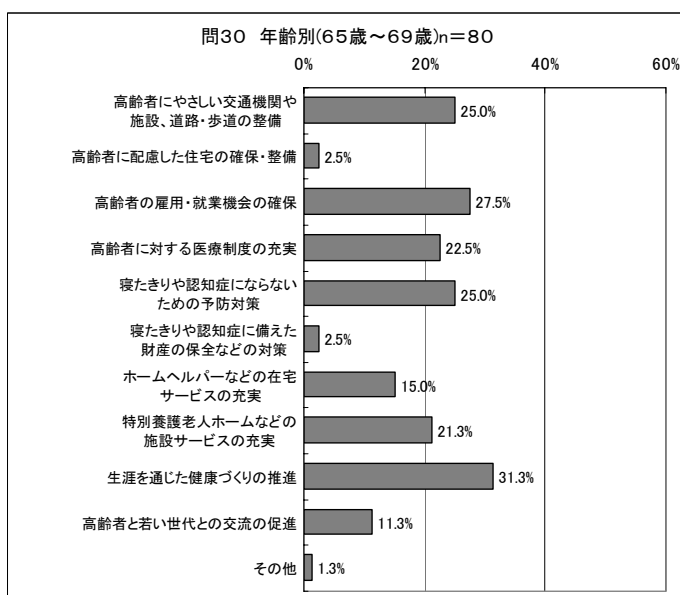
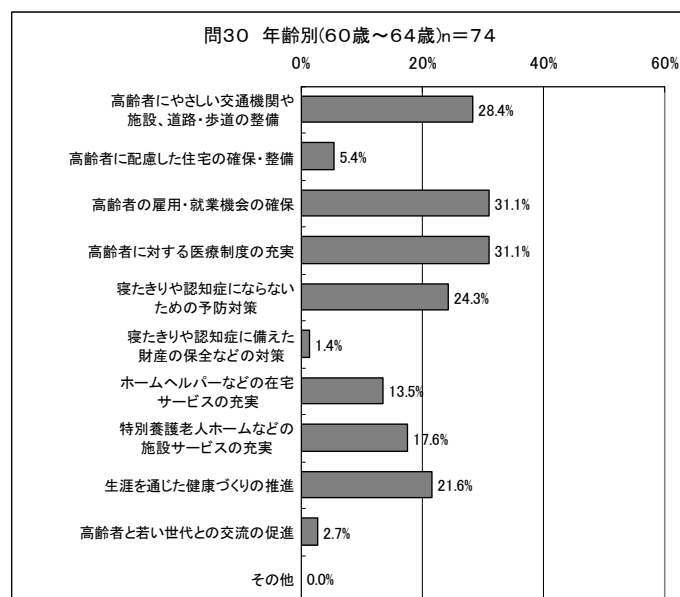
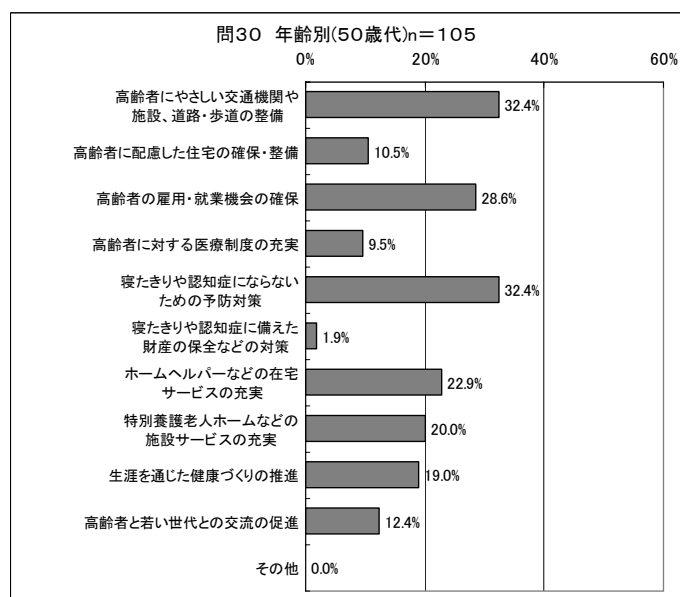
第3章 市民意識調査の集計結果

(性別)

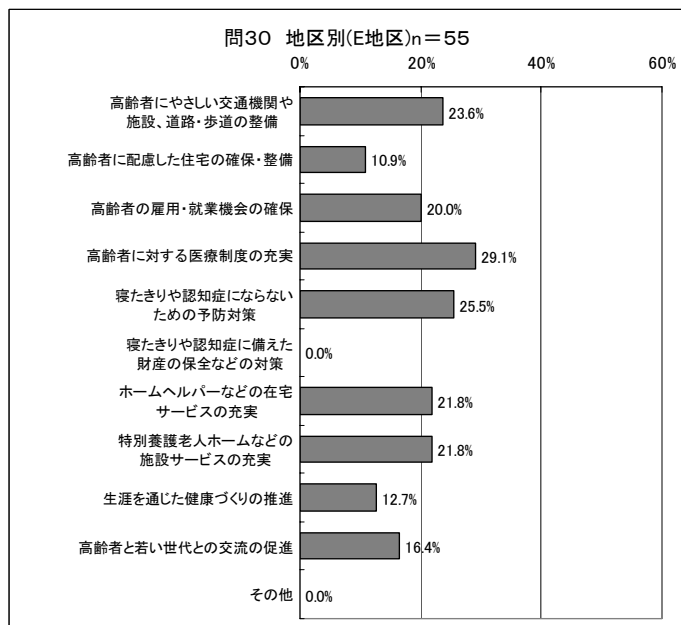
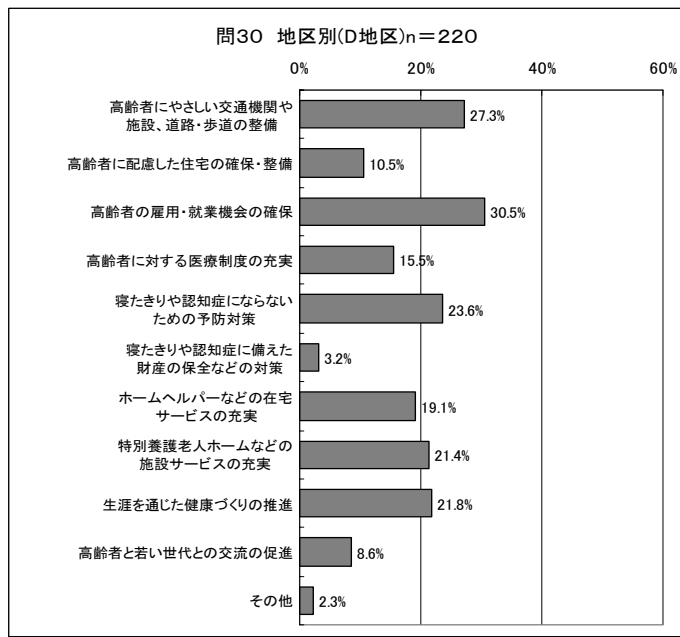
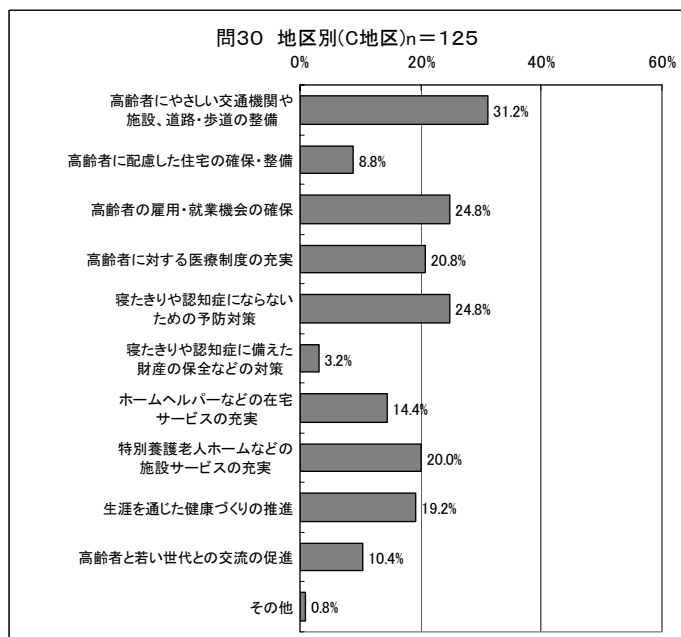
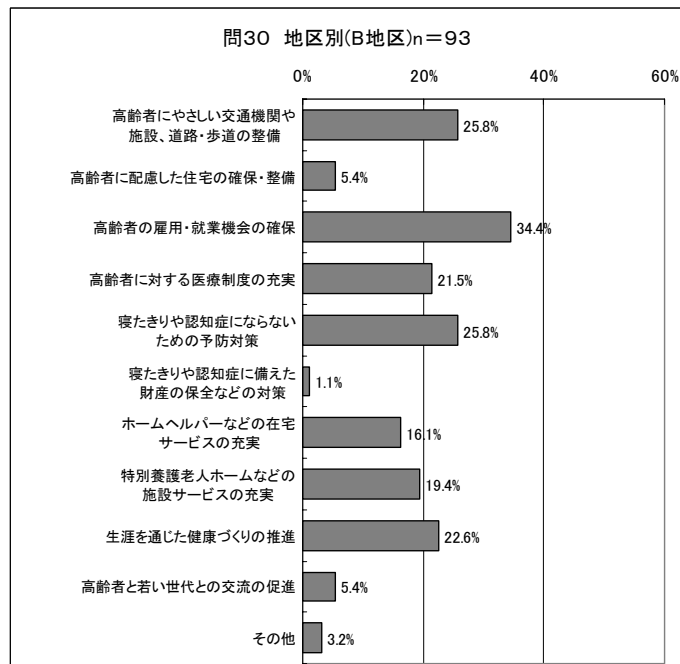
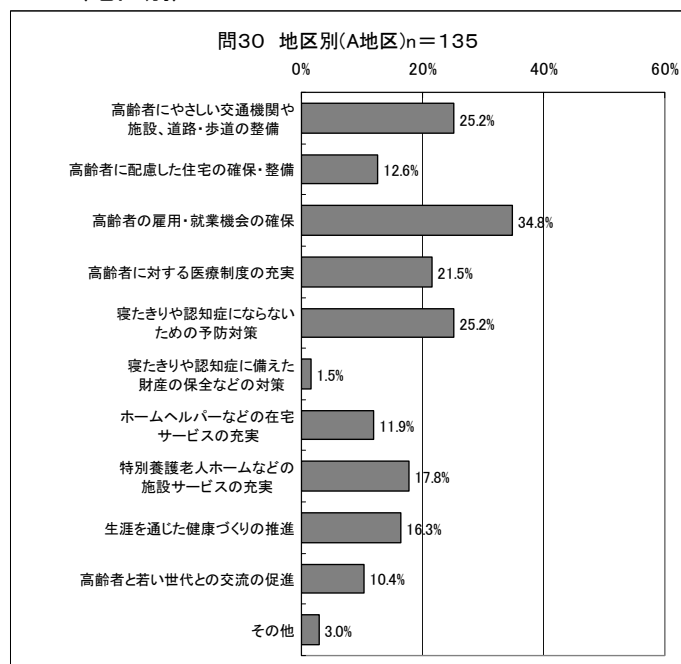


(年齢別)



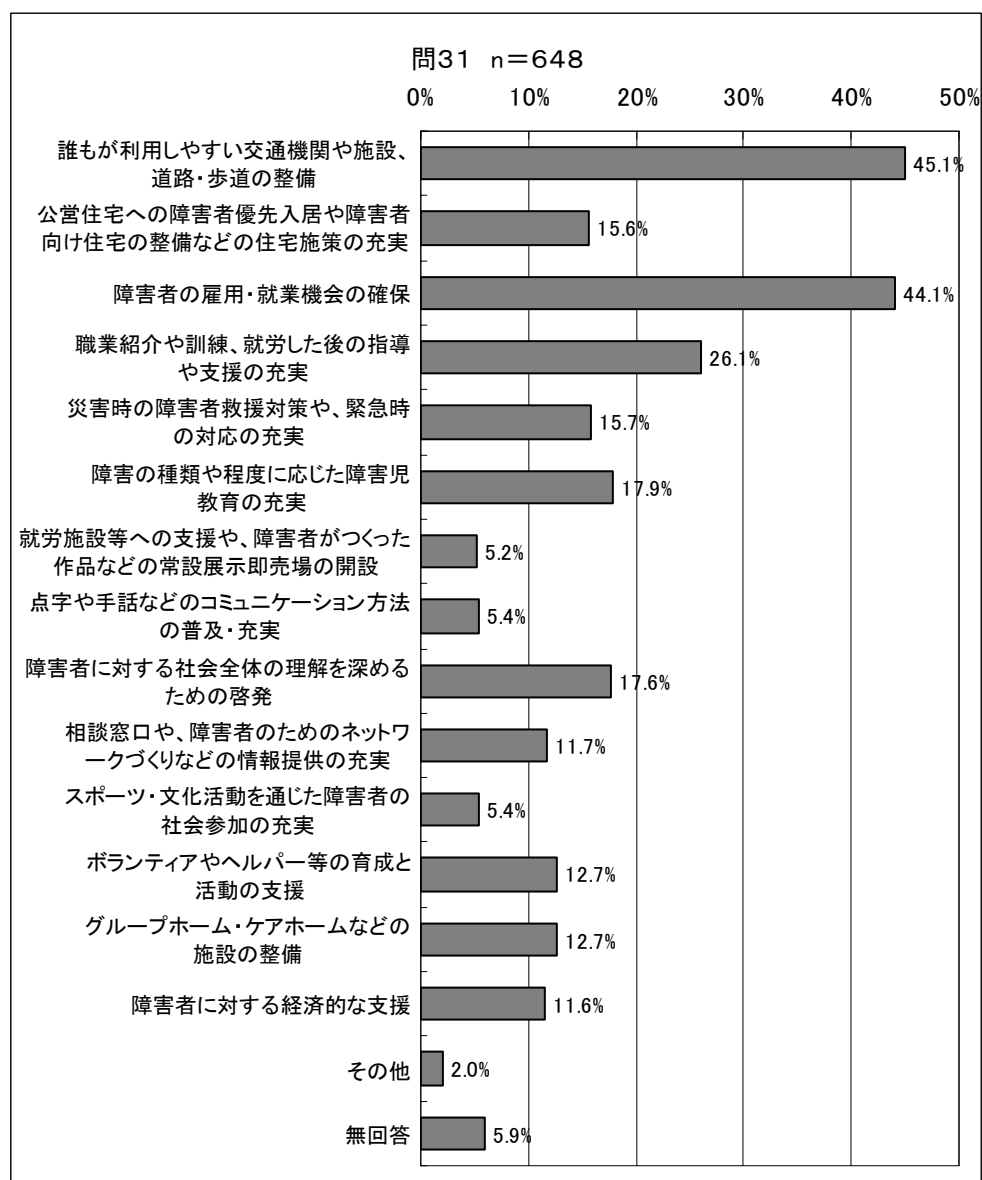


(地区別)



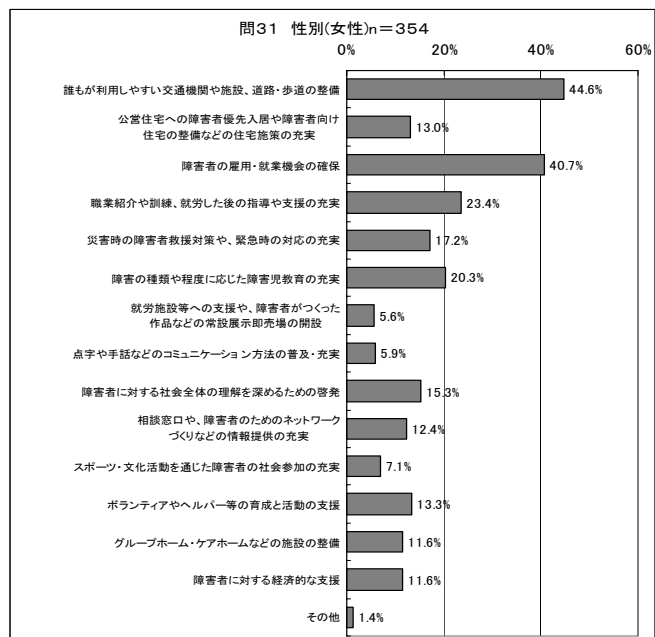
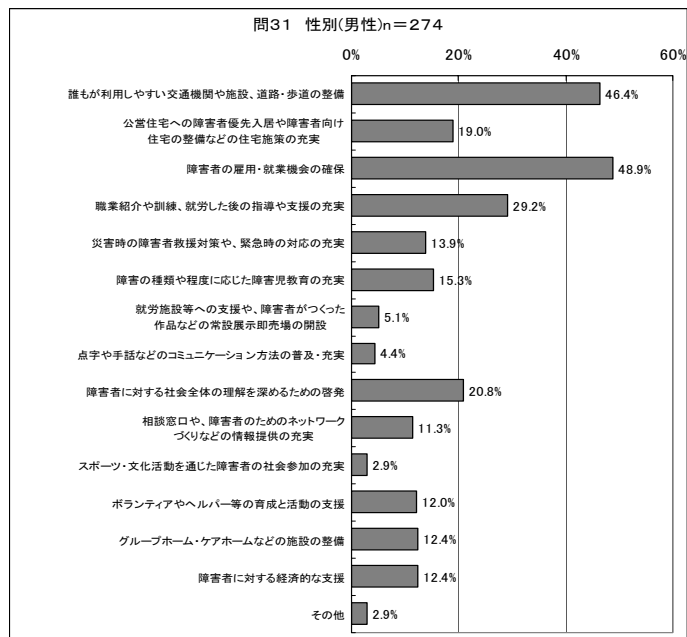
問31 今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。(〇は3つまで)

- 1 誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実
- 3 障害者の雇用・就業機会の確保
- 4 職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実
- 5 災害時の障害者救援対策や、緊急時の対応の充実
- 6 障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実
- 7 就労施設等への支援や、障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設
- 8 点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実
- 9 障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発
- 10 相談窓口や、障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実
- 11 スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実
- 12 ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援
- 13 グループホーム・ケアホームなどの施設の整備
- 14 障害者に対する経済的な支援
- 15 その他 ()

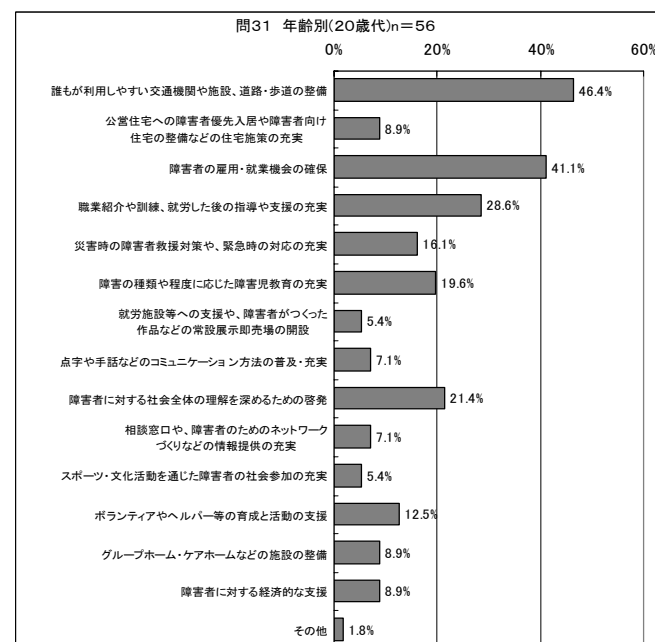
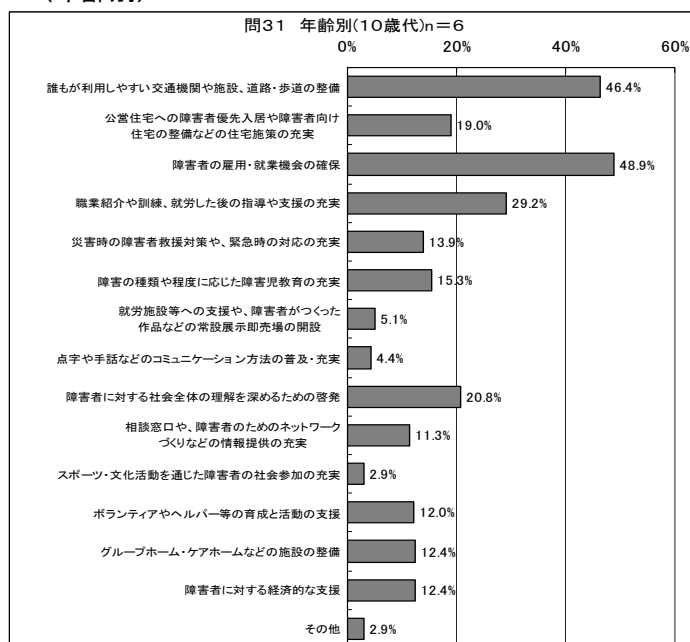


- 障害のある人の自立のための支援については、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が45.1%と高く、次に「障害者の雇用・就業機会の確保」が44.1%で、以下「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」が26.1%となっている。
- 性別・年齢別・地区別では、同様な傾向が見られるものの、年齢別では、65歳～69歳の「災害時の障害者救援対策や、緊急時の対応の充実」が28.8%と高く、70歳以上の「ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援」が23.3%と高い値となっている。
- 地区別では、E地区で他の地区と比べ「公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実」が、30.9%と高い値となっている。

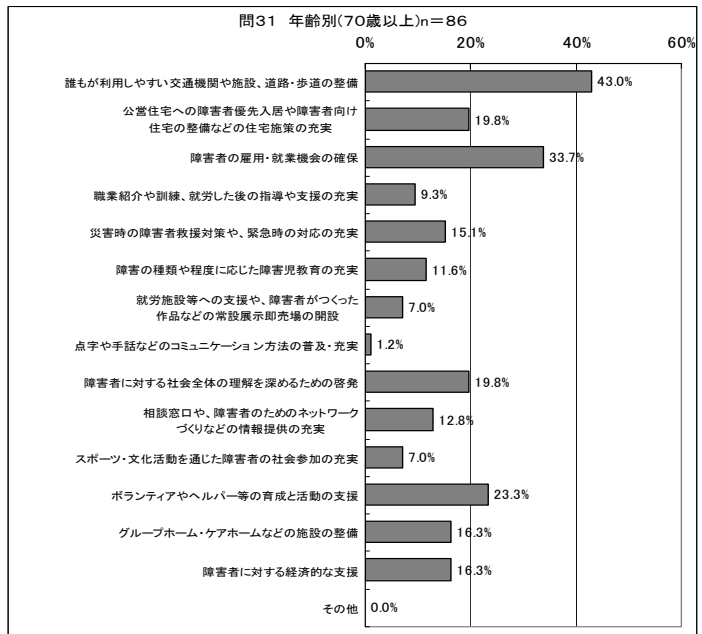
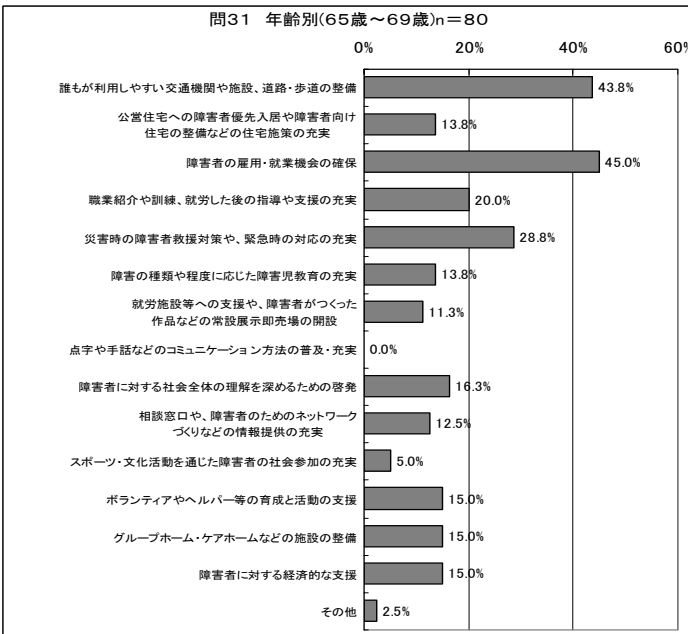
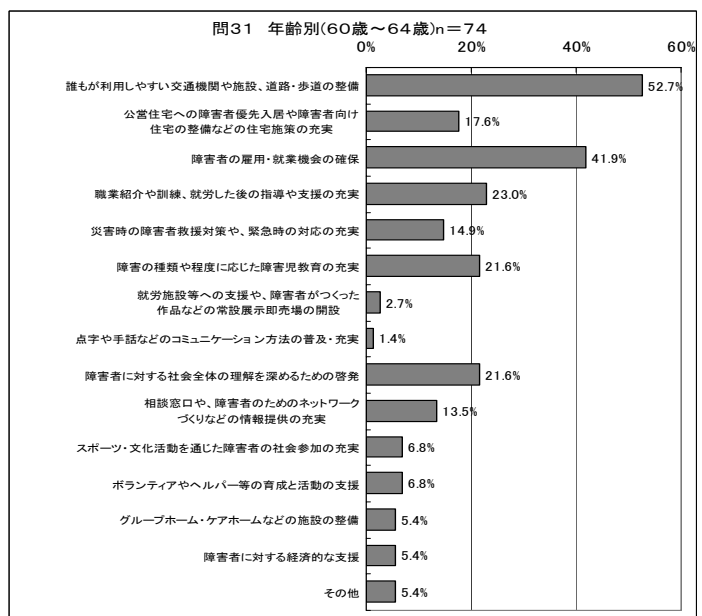
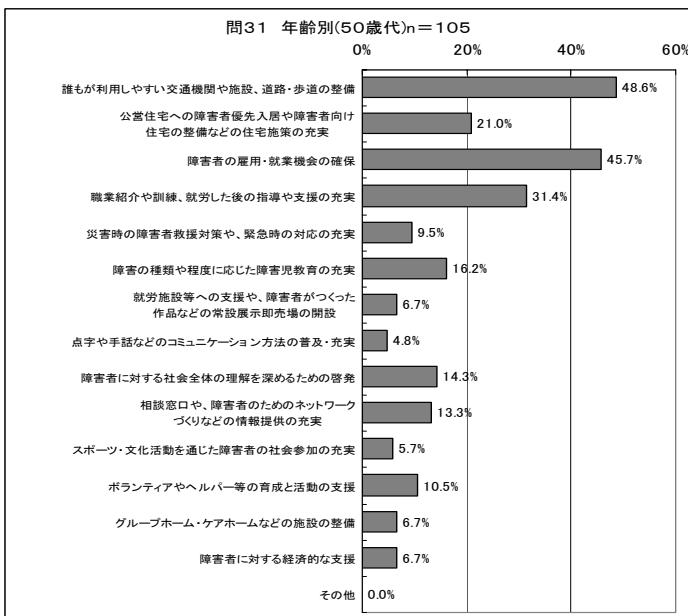
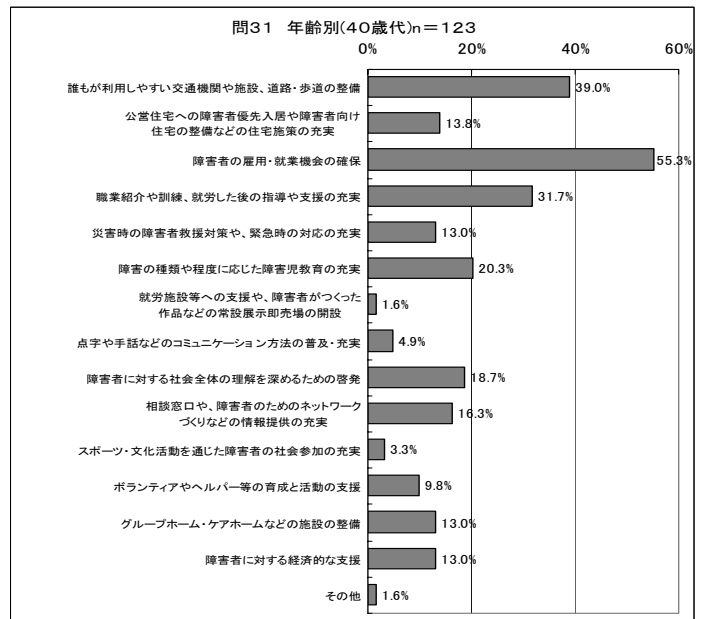
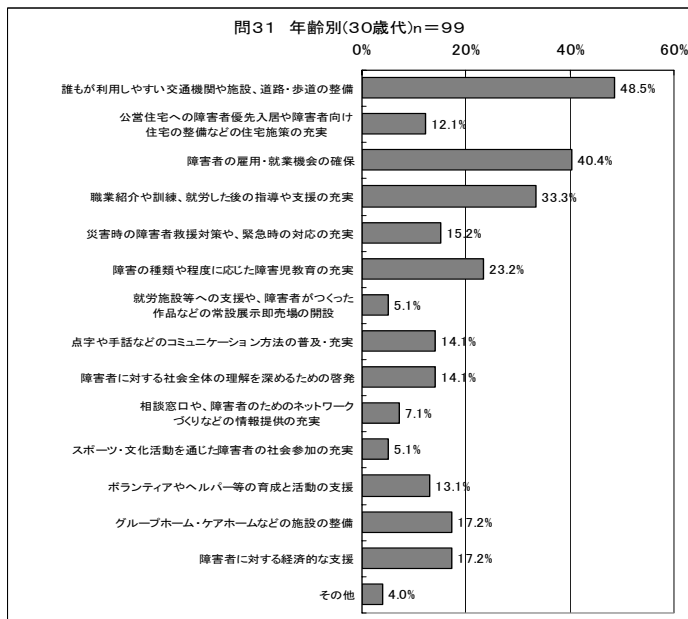
(性別)



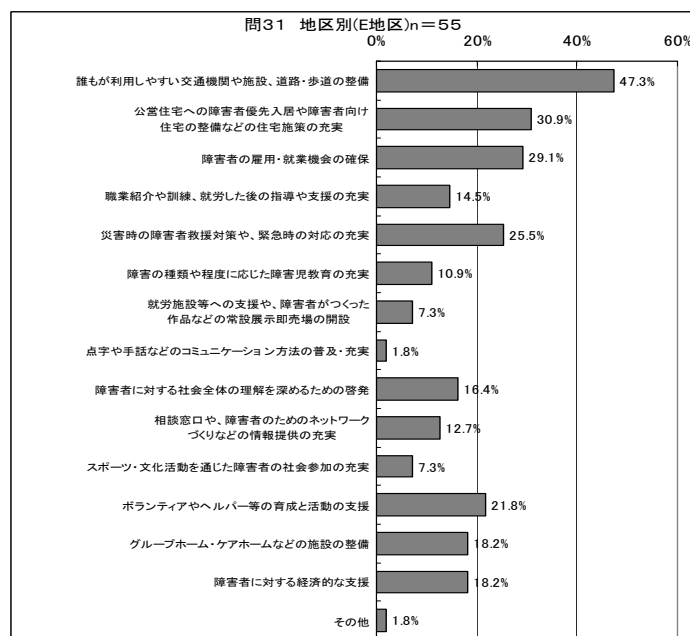
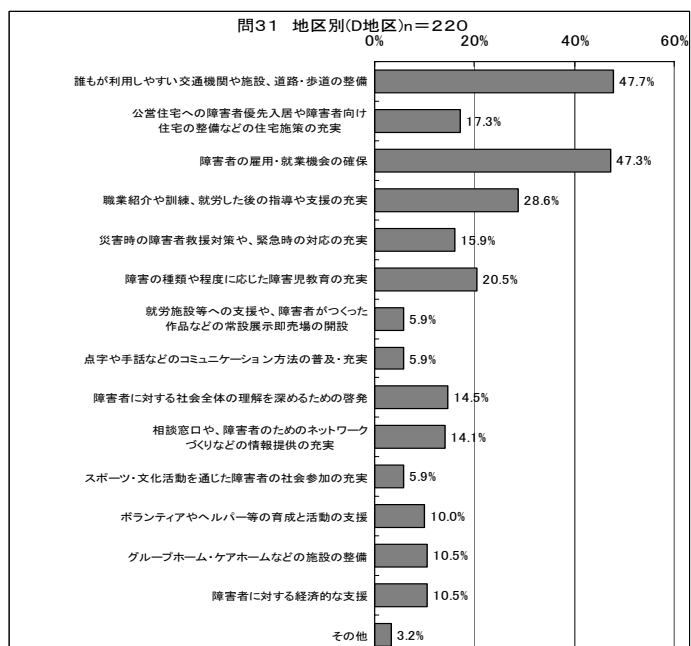
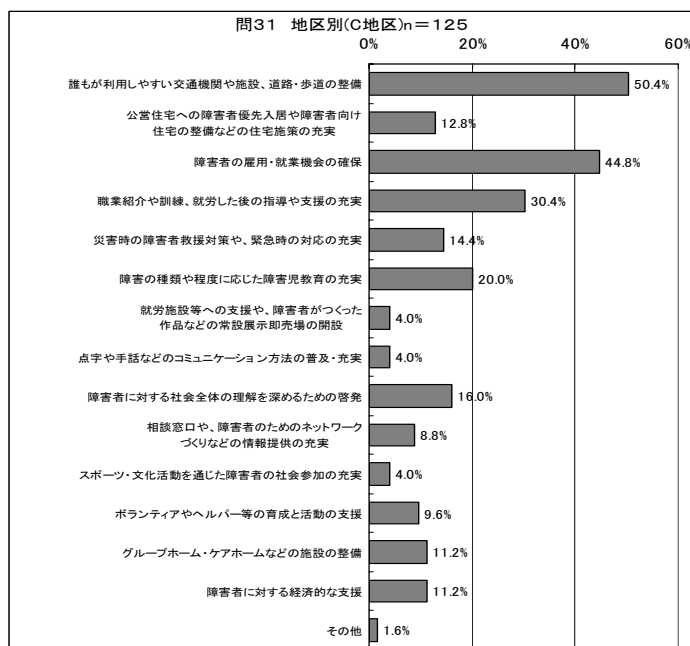
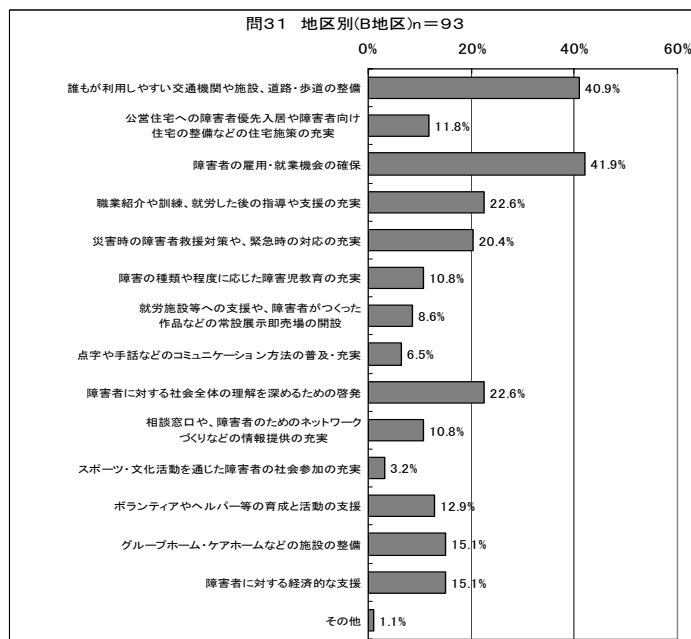
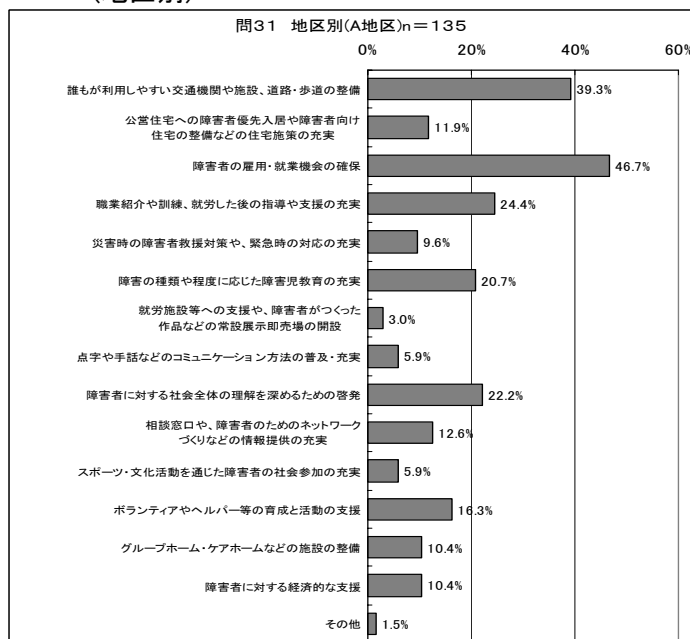
(年齢別)



第3章 市民意識調査の集計結果



(地区別)

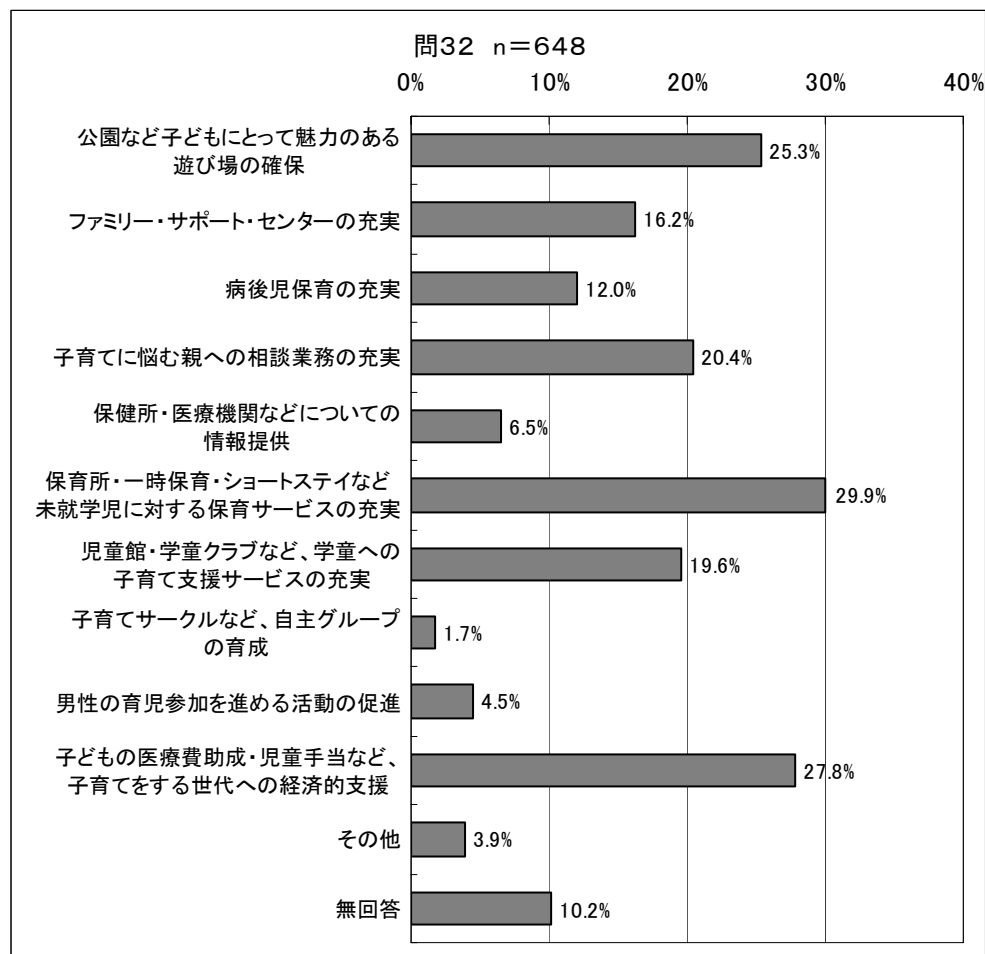


問32 あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。
(〇は2つまで)

- 1 公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保
- 2 ファミリー・サポート・センター（※）の充実
- 3 病後児保育（※）の充実
- 4 子育てに悩む親への相談業務の充実
- 5 保健所・医療機関などについての情報提供
- 6 保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実
- 7 児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実
- 8 子育てサークルなど、自主グループの育成
- 9 男性の育児参加を進める活動の促進
- 10 子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
- 11 その他（ ）

※ ファミリー・サポート・センター：働く人々の仕事と子育てを支援するために、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人を会員として登録し、援助活動の調整等の事業を行うもの。

※ 病後児保育：子どもが病気の回復期にあり、まだ保育所での集団保育が難しいと思われる場合で、かつ保護者の就労などの理由により家庭保育ができない場合に、専用の保育室で看護師等の専門スタッフが預かるサービス

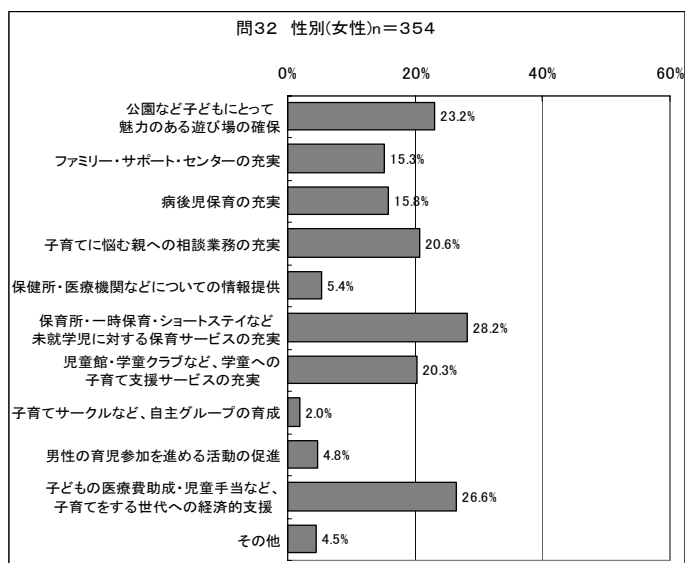
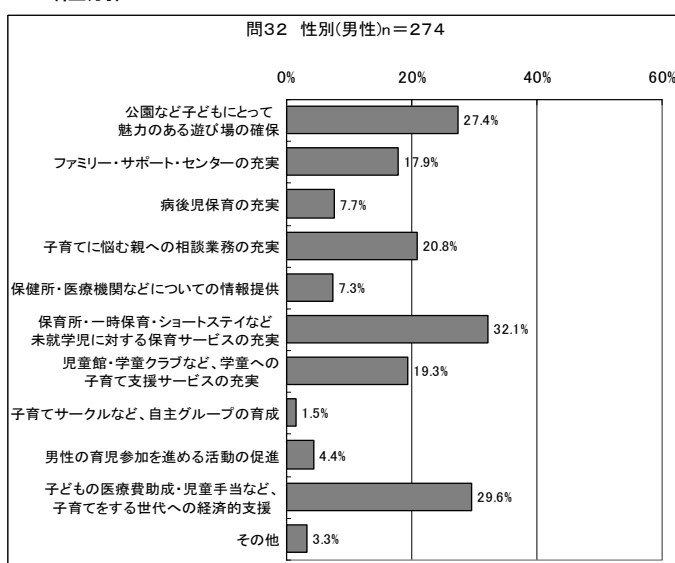


○安心して子育てを行うための施策については、「保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実」が29.9%と高く、次に「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が27.8%で、以下「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が25.3%となっている。

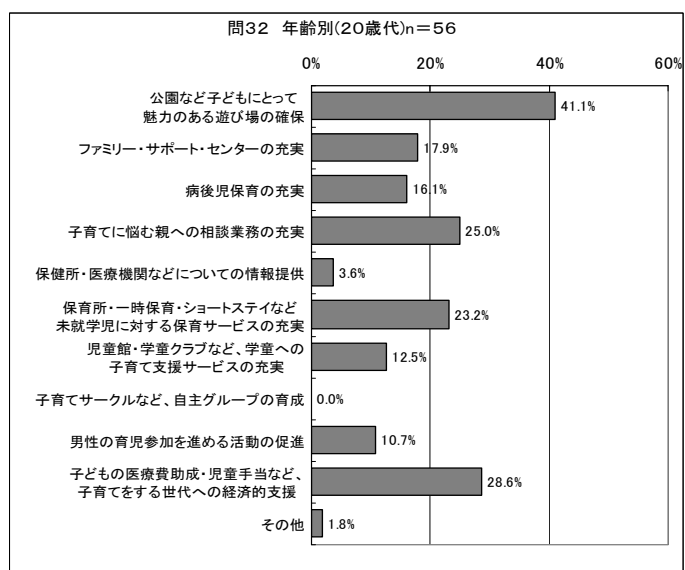
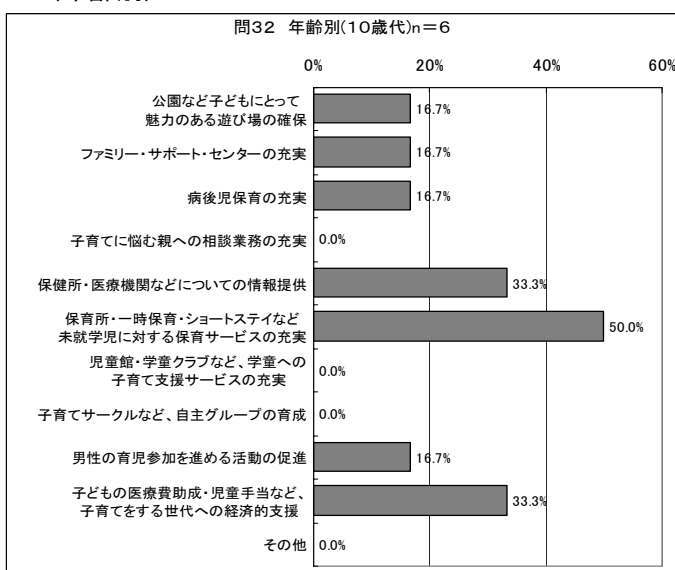
○性別では、同様な傾向となっているが、年代毎に差異が見られ、20歳代の「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が41.1%と高く、40歳代の「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が35.8%となっている。

○地区別では、E地区で他の地区と比べ「子育てに悩む親への相談業務の充実」が29.1%と高い値となっている。

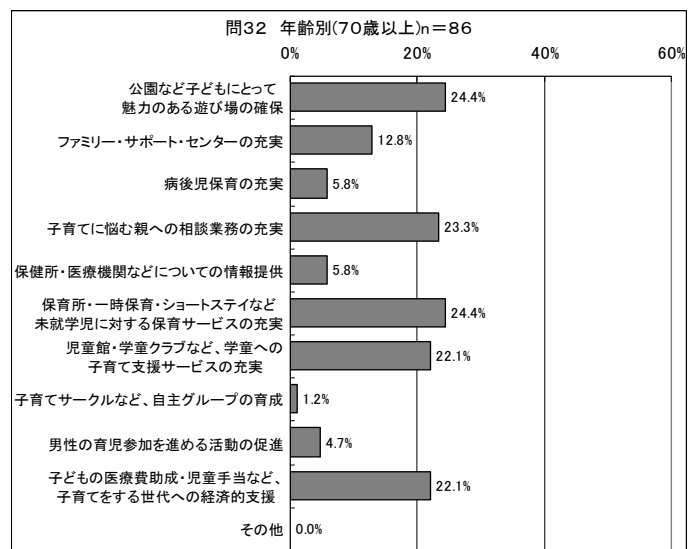
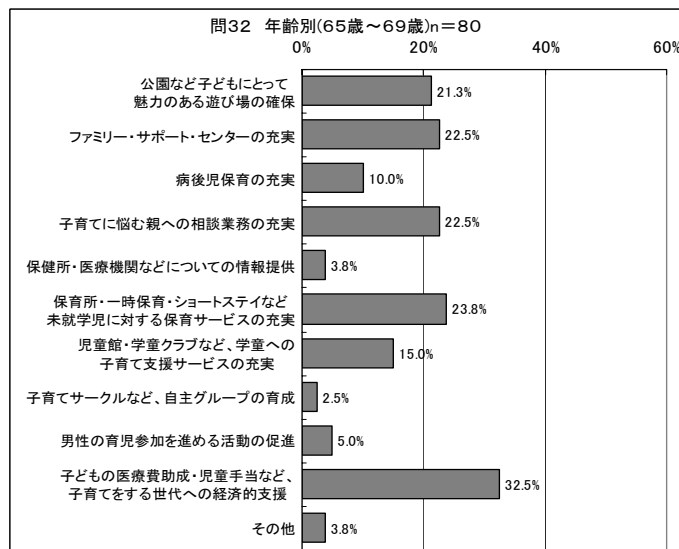
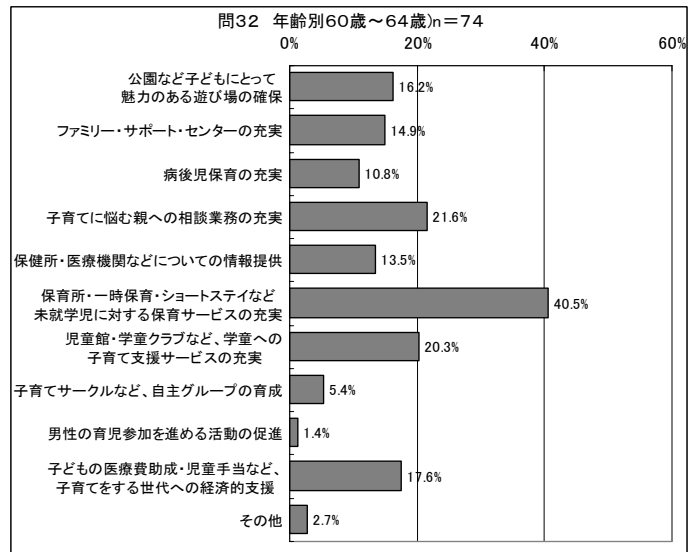
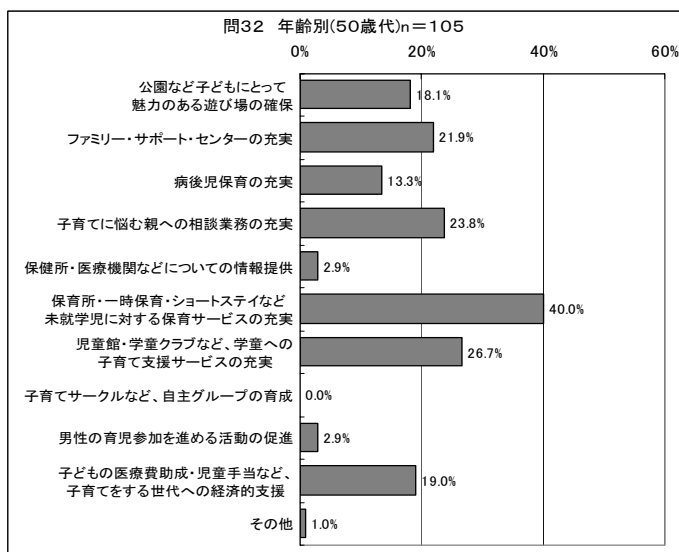
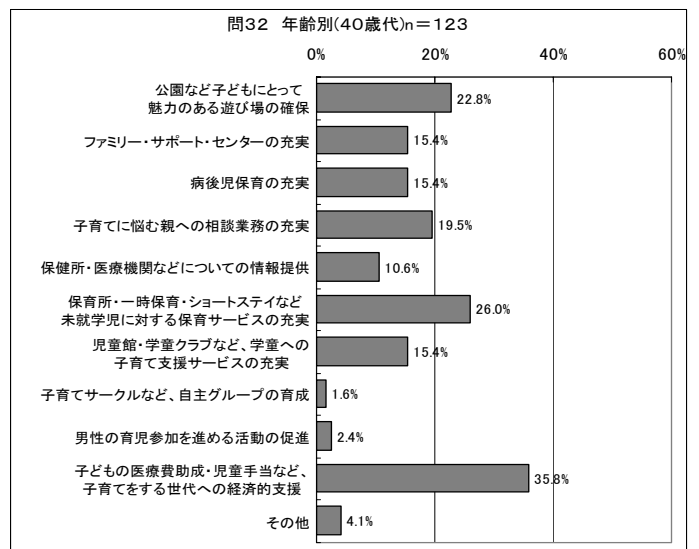
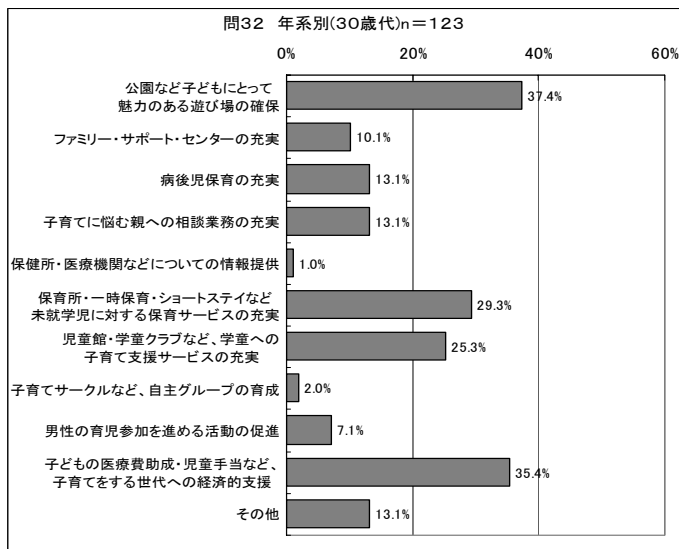
(性別)



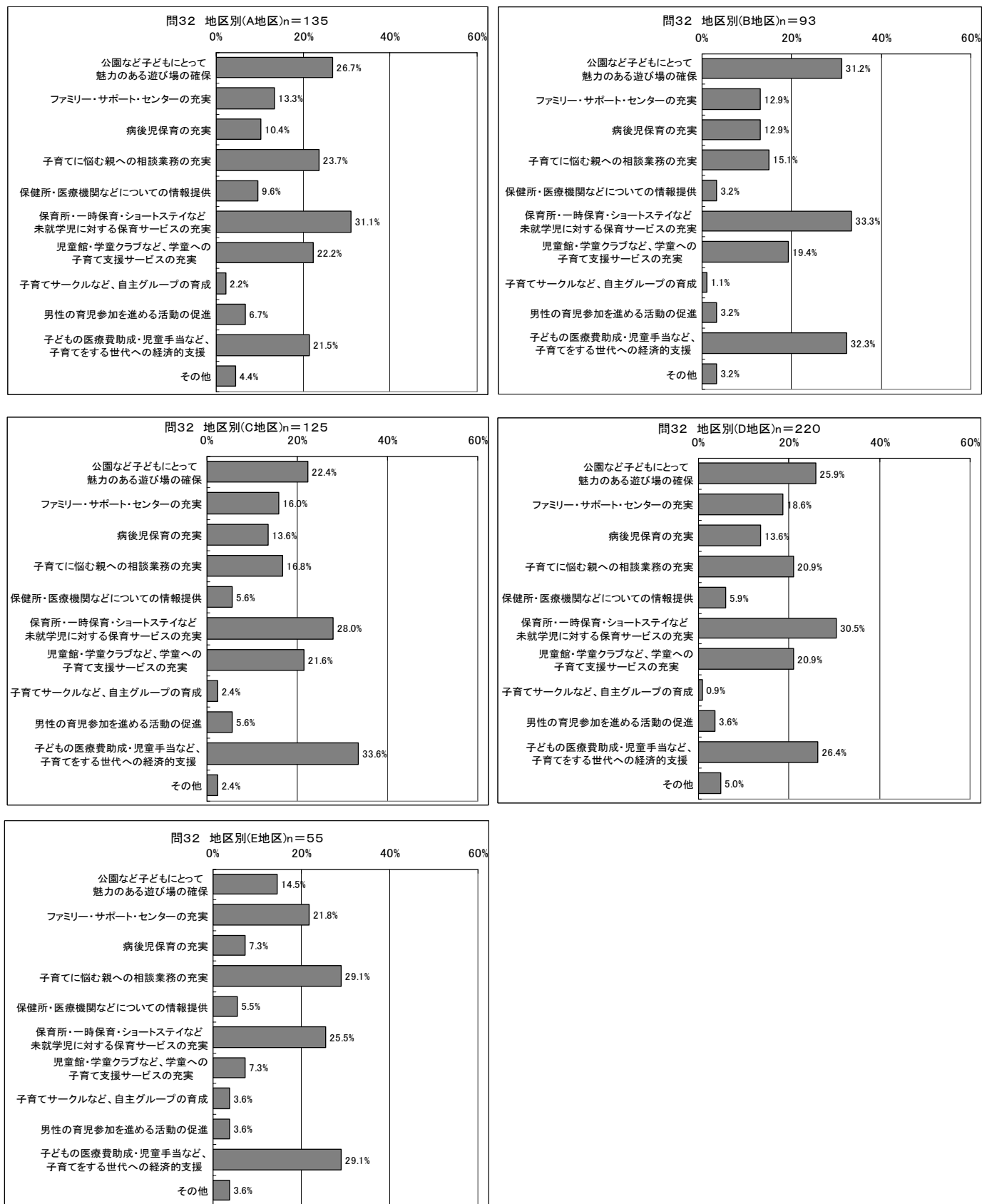
(年齢別)



第3章 市民意識調査の集計結果

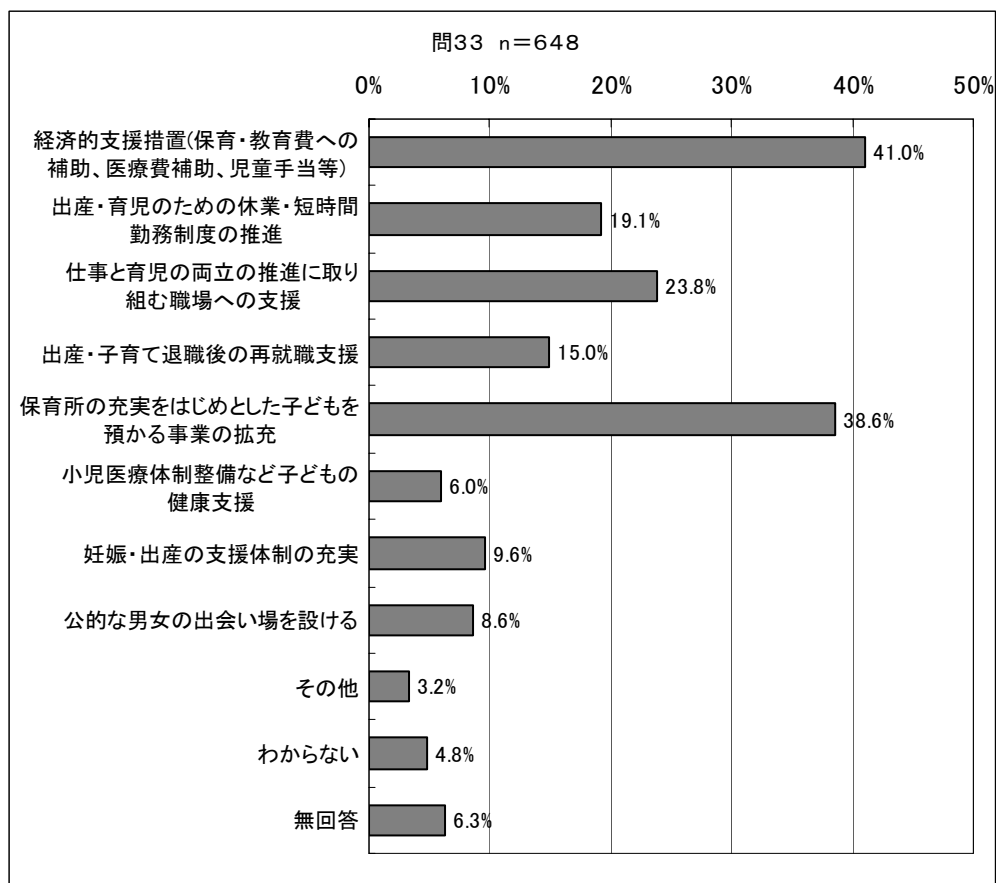


(地区別)



問33 あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。
(〇は2つまで)

- 1 経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)
- 2 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進
- 3 仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援
- 4 出産・子育て退職後の再就職支援
- 5 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
- 6 小児医療体制整備など子どもの健康支援
- 7 妊娠・出産の支援体制の充実
- 8 公的な男女の出会い場を設ける
- 9 その他()
- 10 わからない

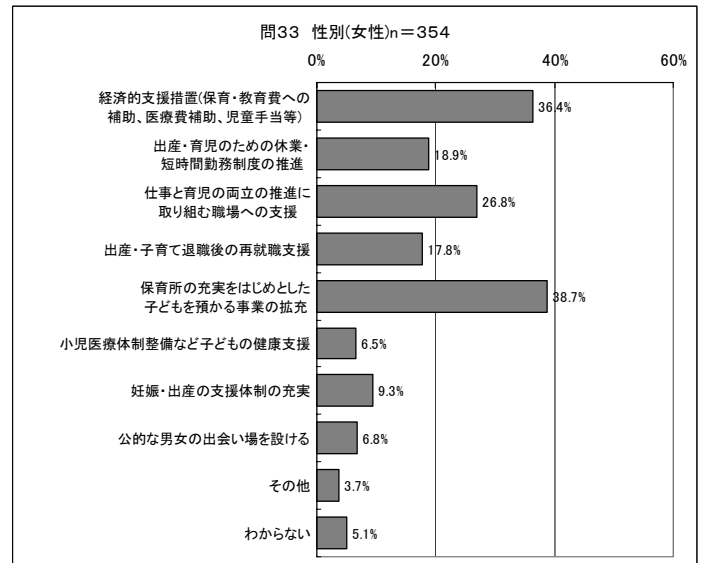
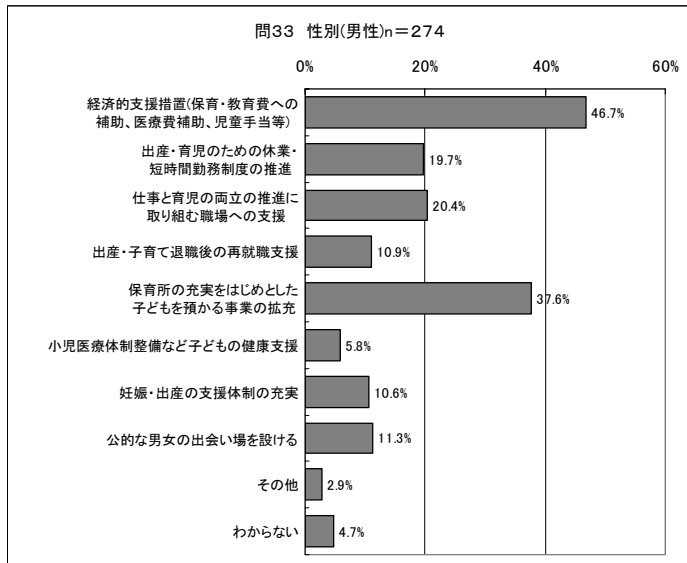


○少子化対策については、「経済的支援措置」が 41.0%と高く、次に「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」が 38.6%で、以下「仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援」が 23.8%となっている。

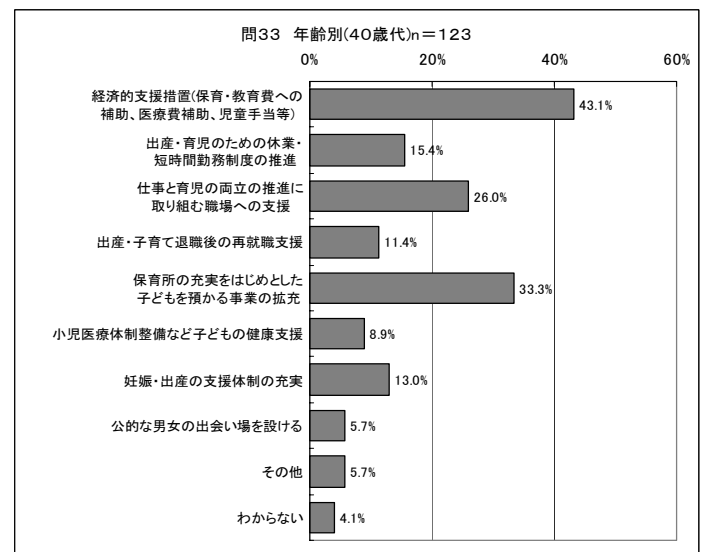
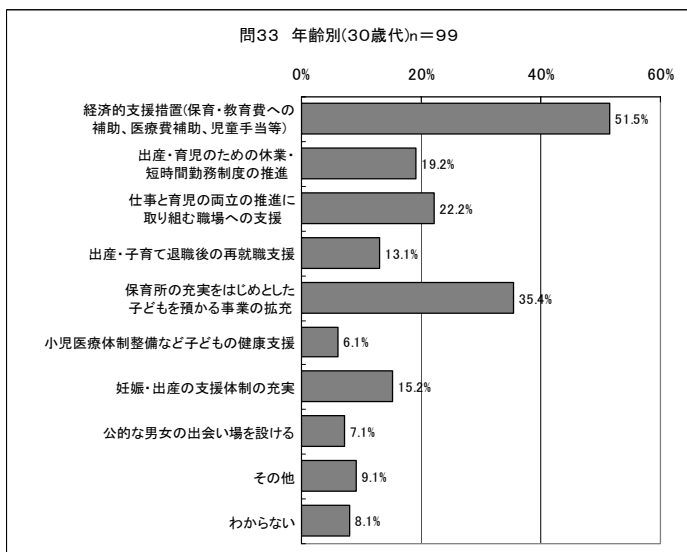
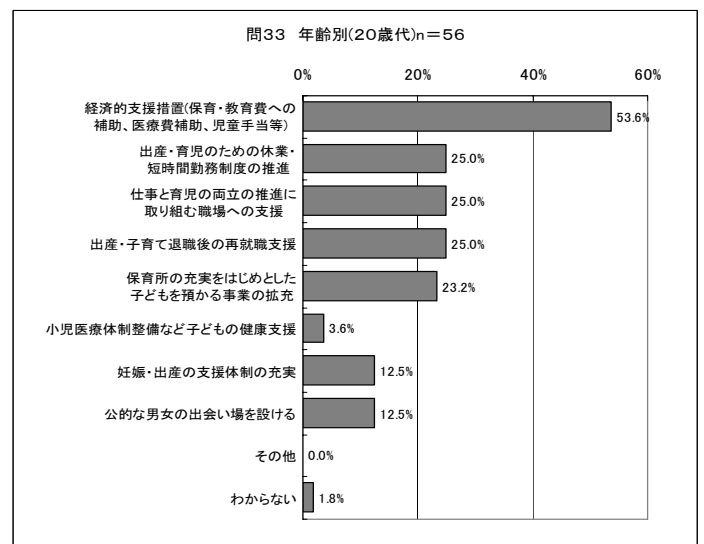
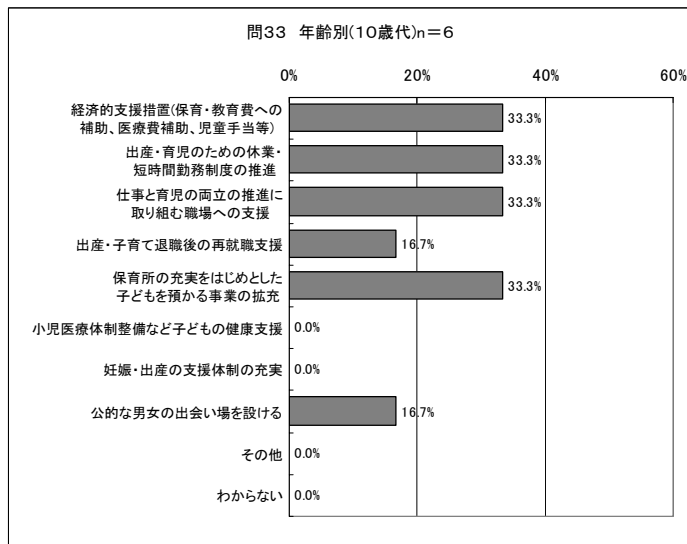
○性別・地区別においても同様の傾向となっている。

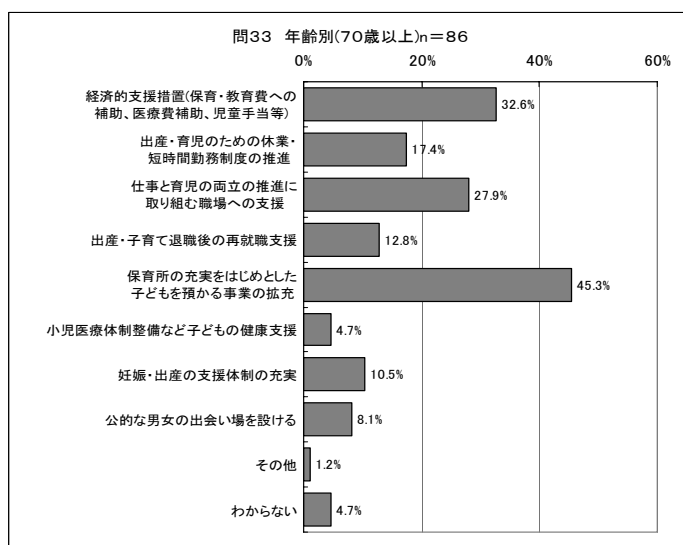
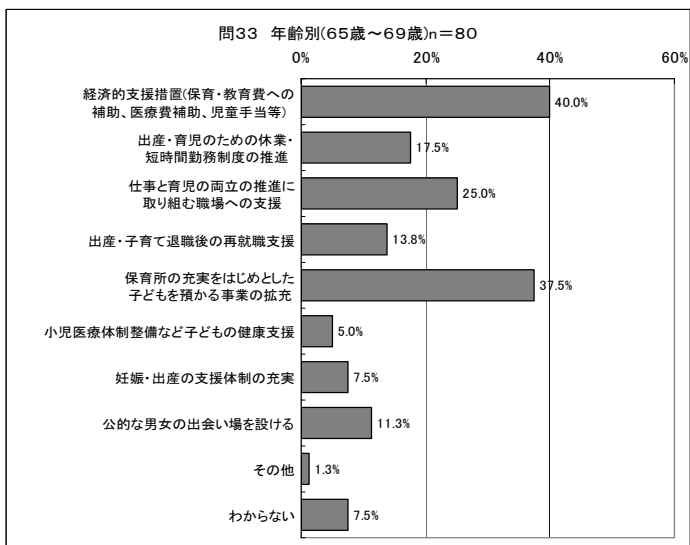
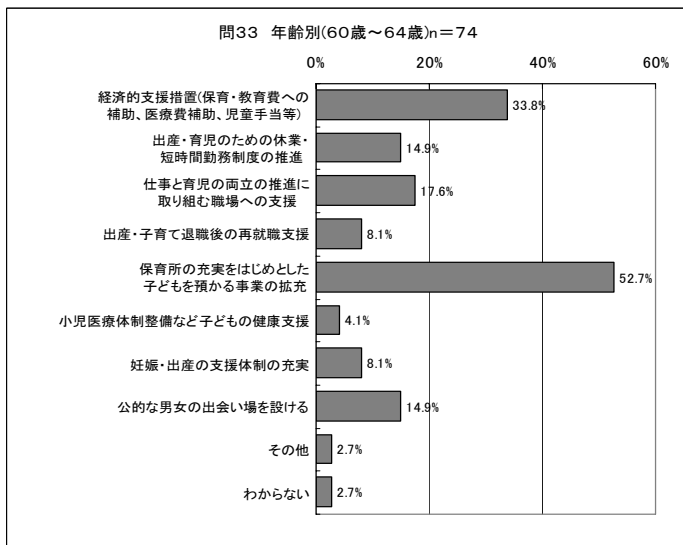
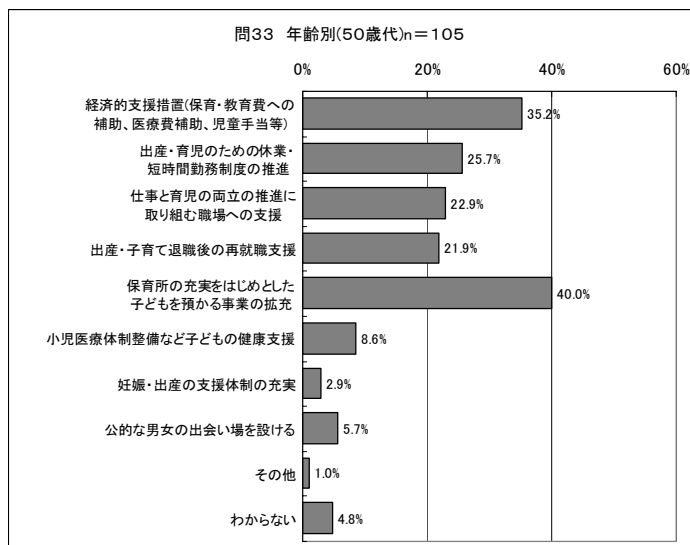
○年齢別では、50歳代以上の「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」で高い値となっている。

(性別)

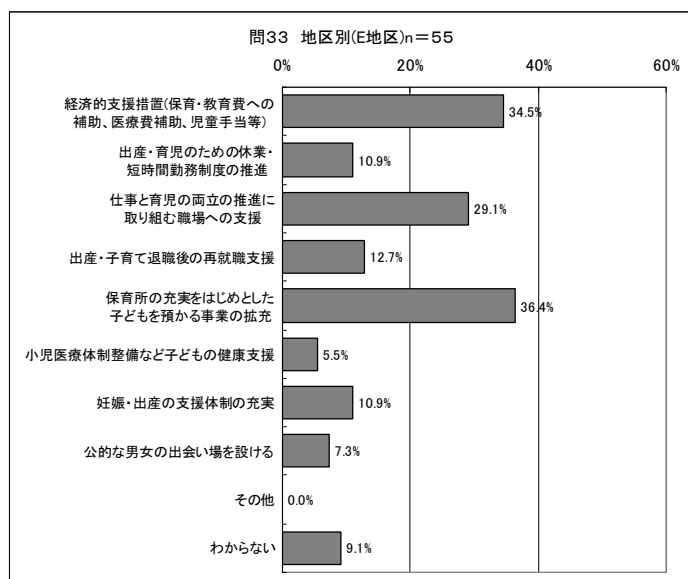
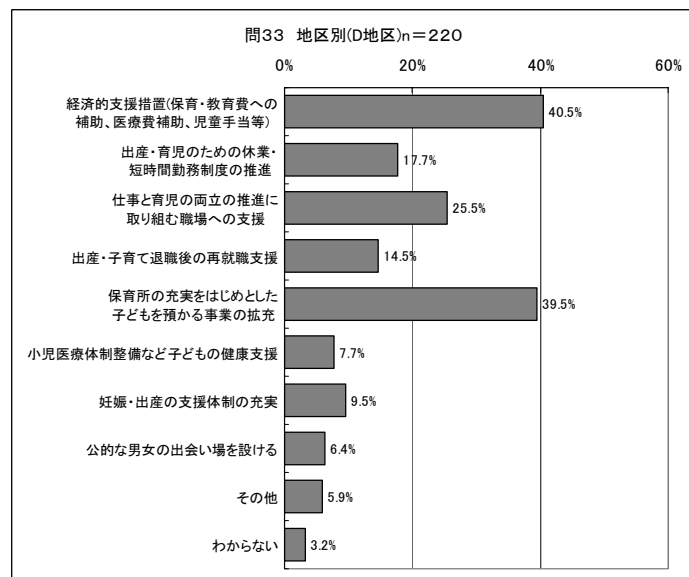
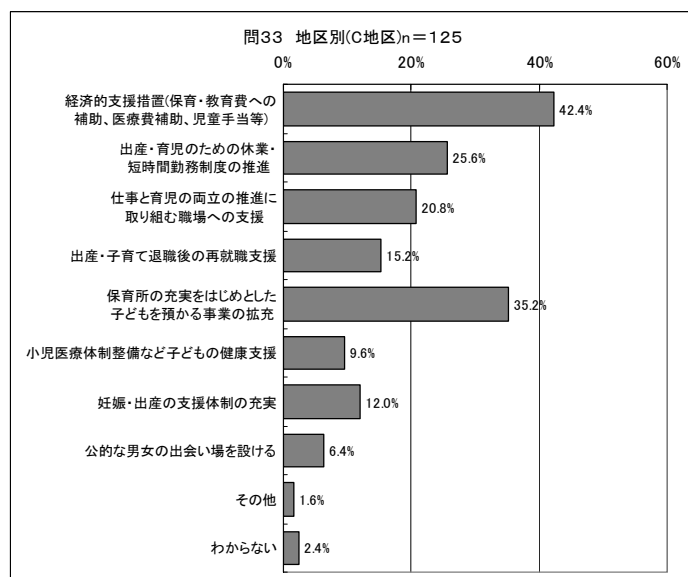
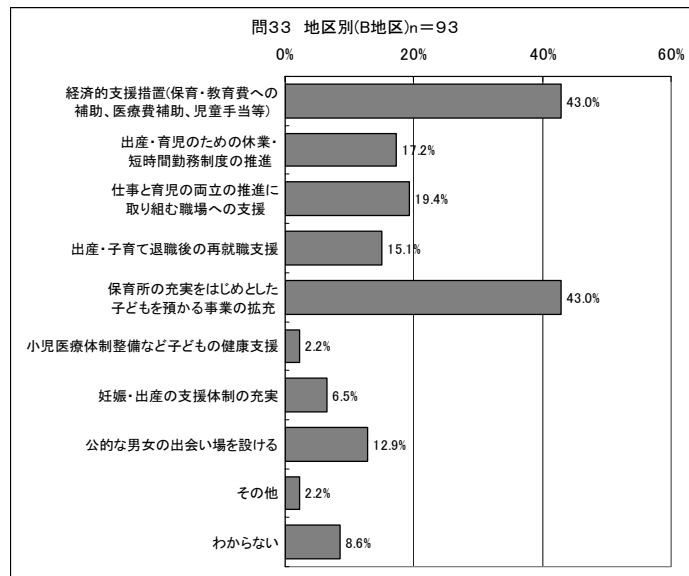
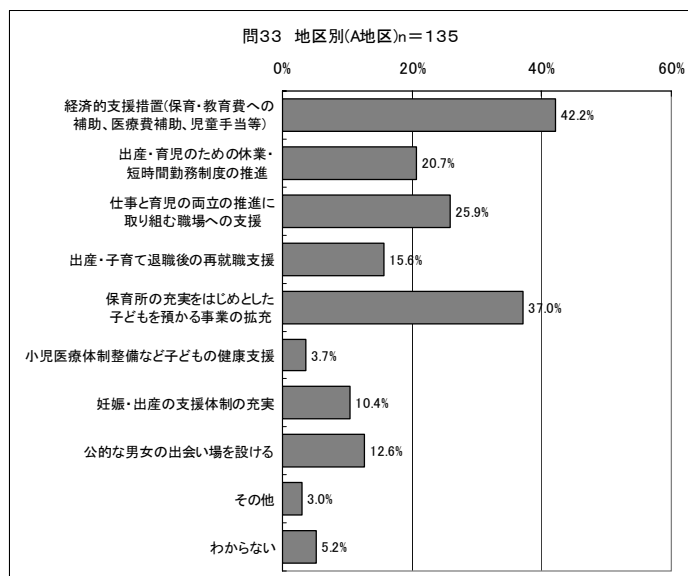


(年齢別)





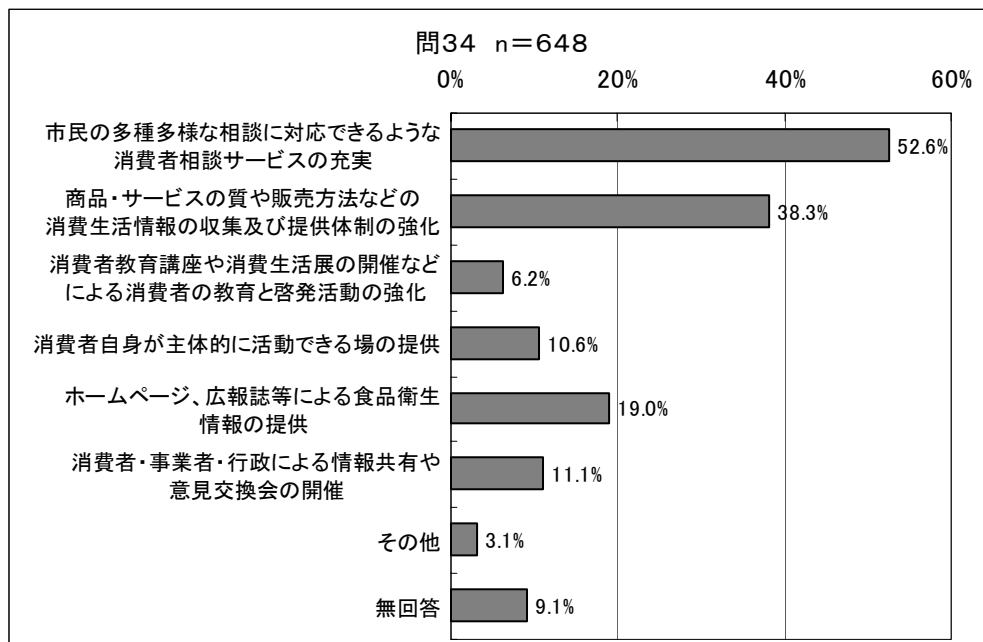
(地区別)



(6) 暮 ら し

問 34 消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(〇は2つまで)

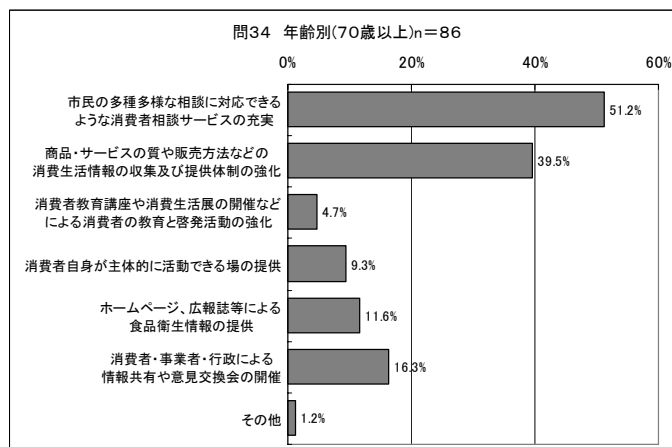
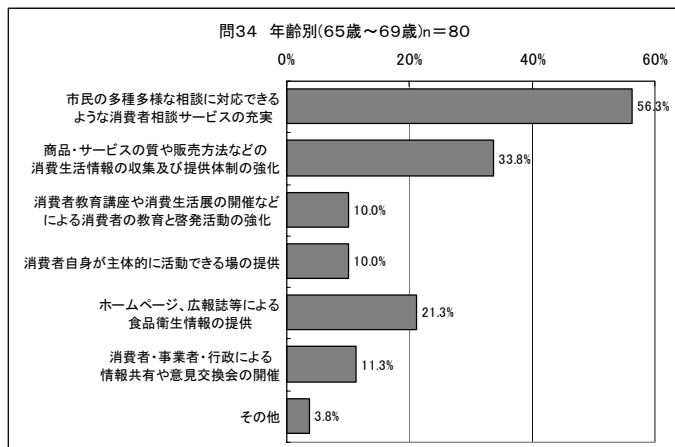
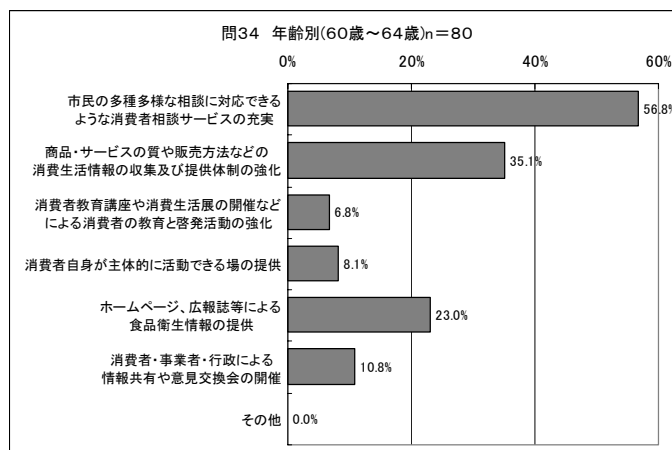
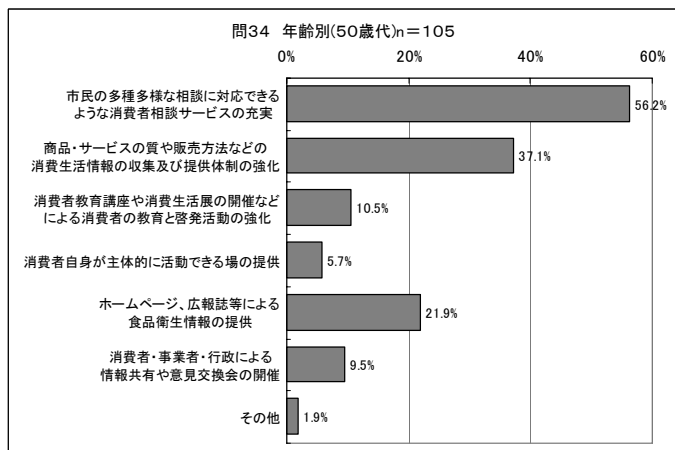
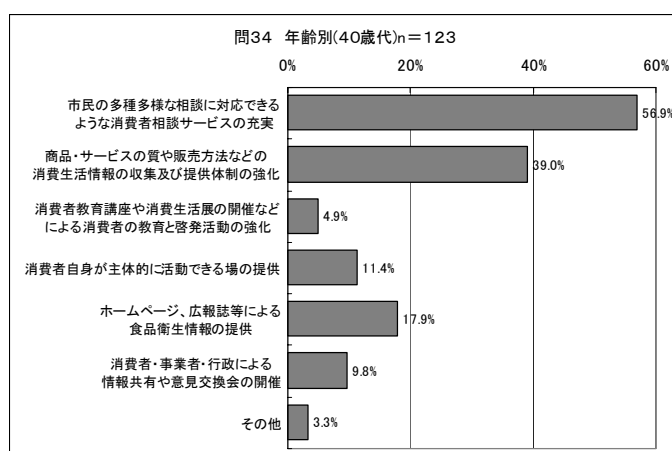
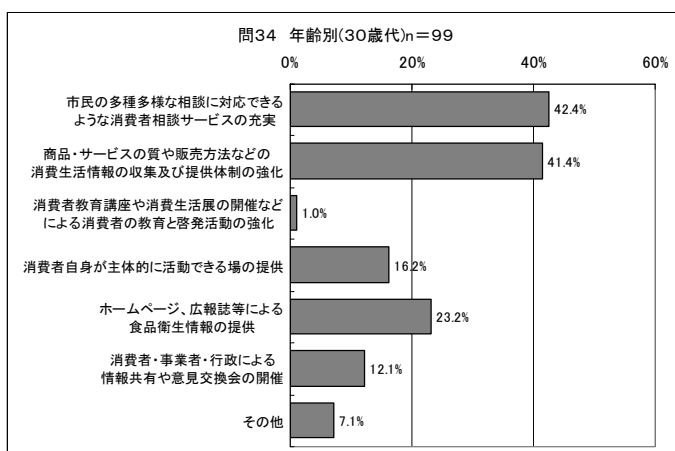
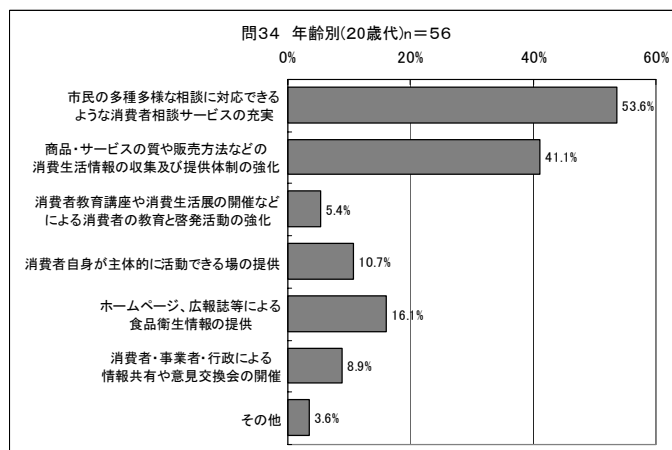
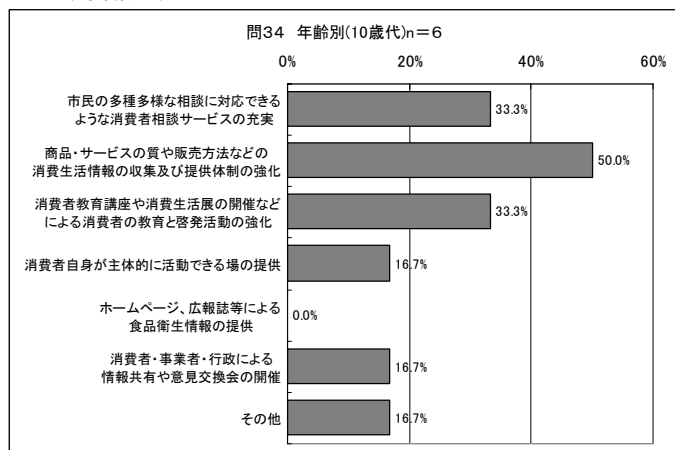
- 1 市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実
- 2 商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化
- 3 消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化
- 4 消費者自身が主体的に活動できる場の提供
- 5 ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供
- 6 消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催
- 7 その他 ()



○消費者支援については、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が52.6%と高く、次に「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」が38.3%で、以下「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」が19.0%となっている。

○年齢別においても同様の傾向となっているが、70歳以上の「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」で、他の年齢より低い値となっている。

(年齢別)

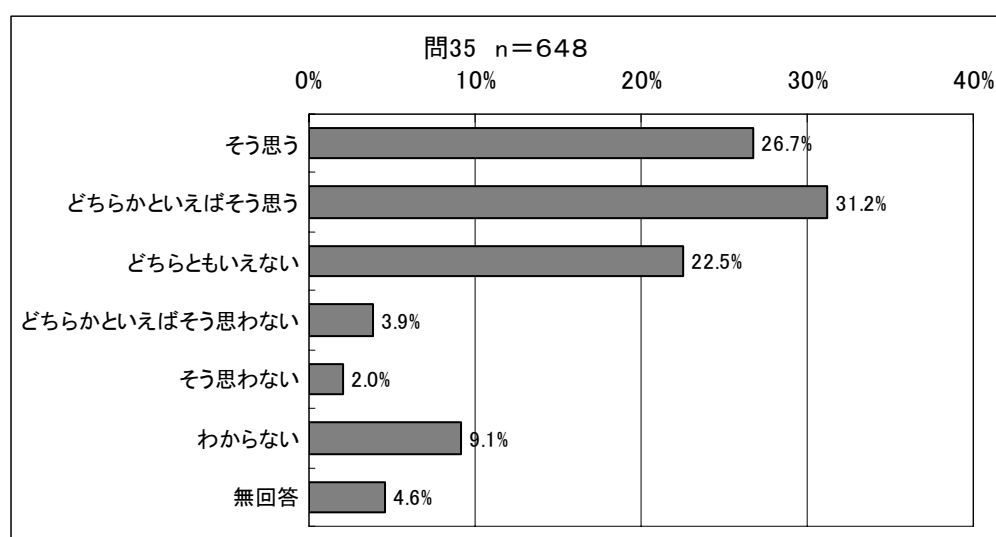


3-3. 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

(7) 人権・平和

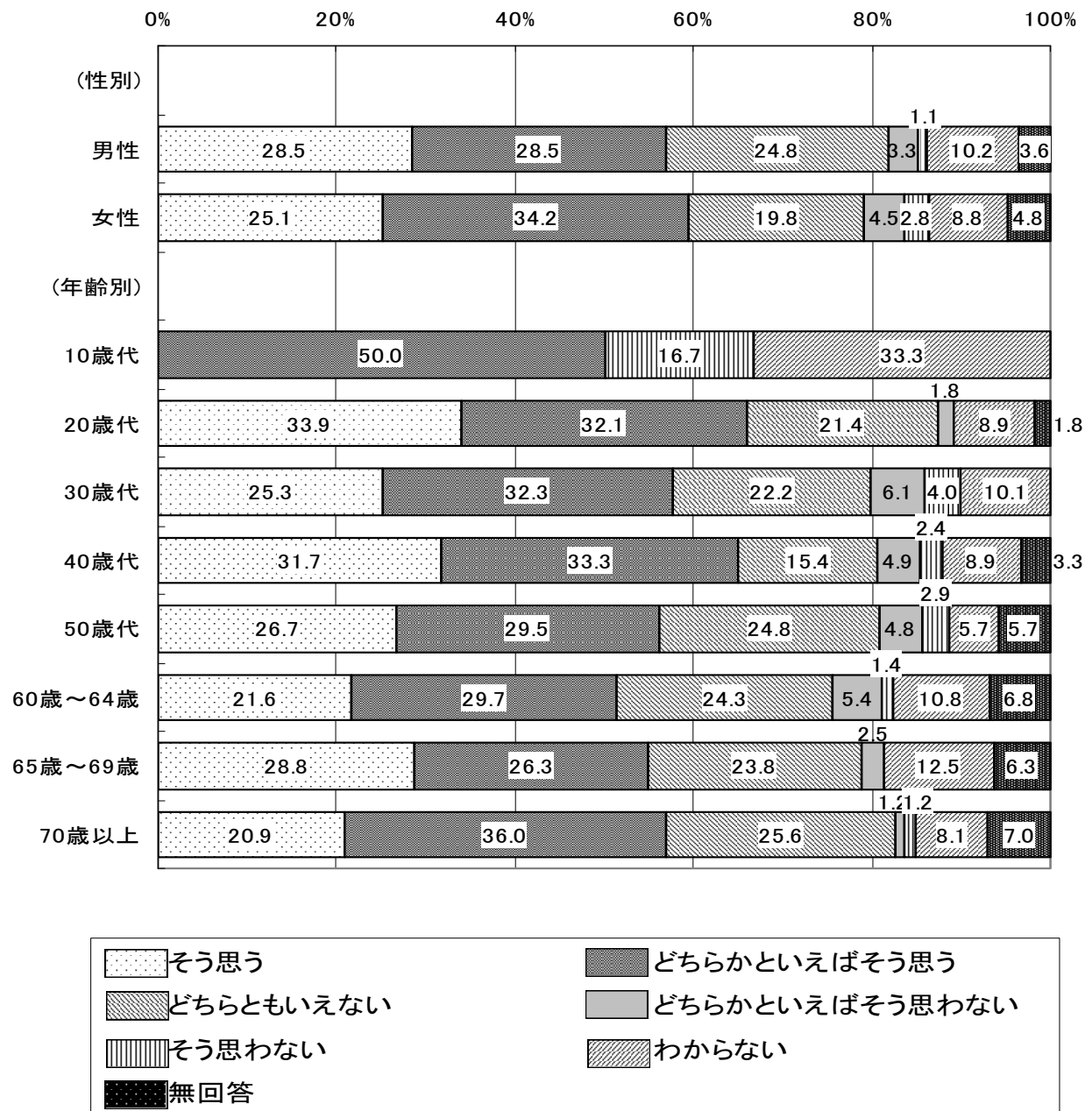
問35 あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、(人権が)尊重されていると思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○人権の尊重については、「どちらかといえばそう思う」が 31.2%と高く、次に「そう思う」が 26.7%で、以下「どちらともいえない」が 22.5%となっている。

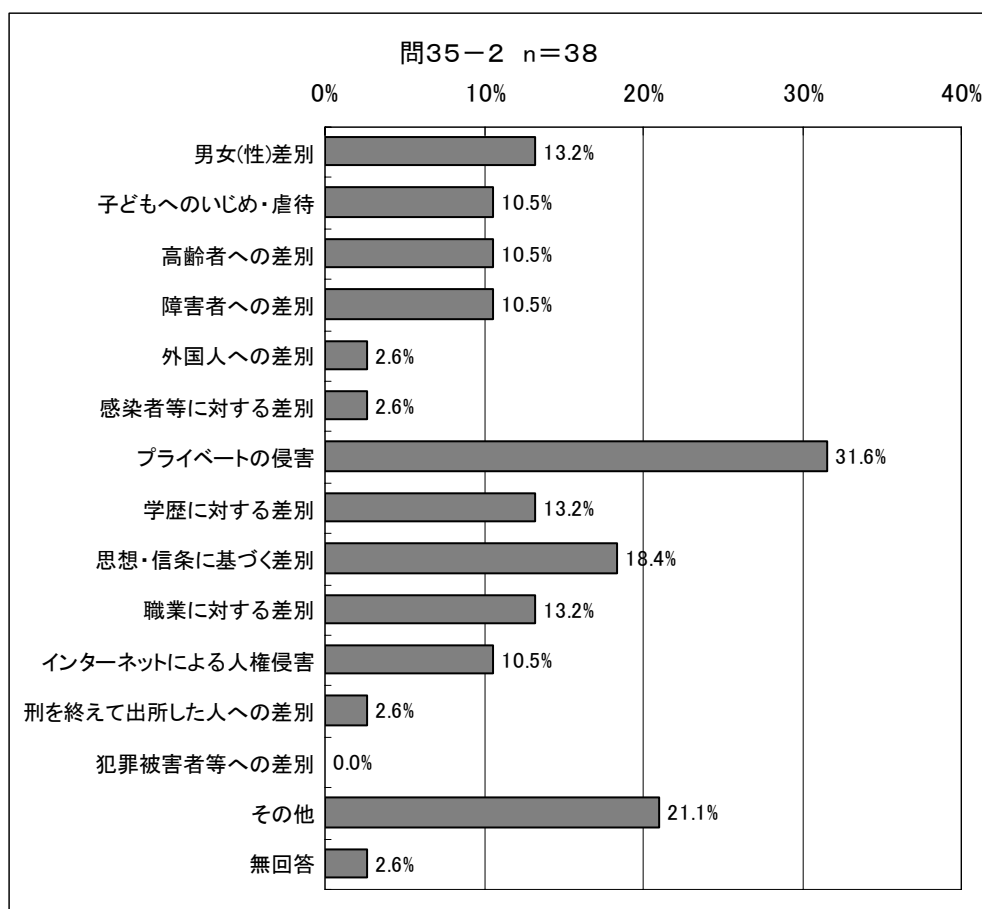
問35 性別・年齢別



○性別・年齢別とも、同様の傾向となっている。

問35-2 問35で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。そう思わない理由。(〇は2つまで)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 男女(性)差別 | 8 学歴に対する差別 |
| 2 子どもへのいじめ・虐待 | 9 思想・信条に基づく差別 |
| 3 高齢者への差別 | 10 職業に対する差別 |
| 4 障害者への差別 | 11 インターネットによる人権侵害 |
| 5 外国人への差別 | 12 刑を終えて出所した人への差別 |
| 6 感染者等に対する差別 | 13 犯罪被害者等への差別 |
| 7 プライベートの侵害 | 14 その他の差別() |

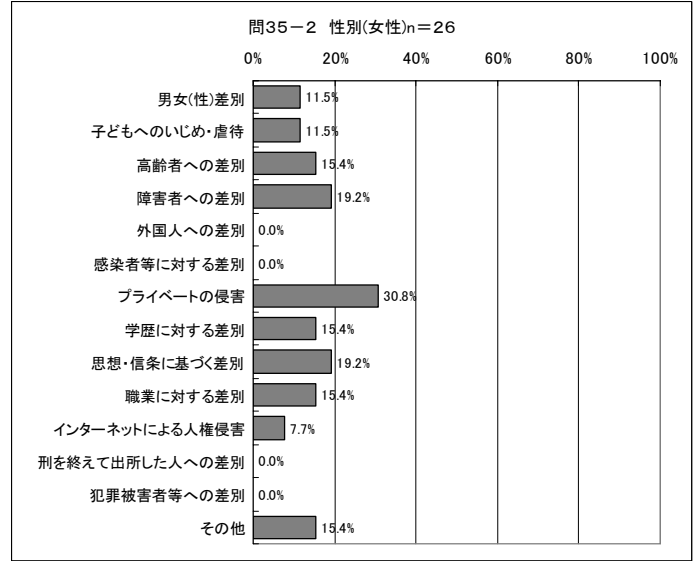
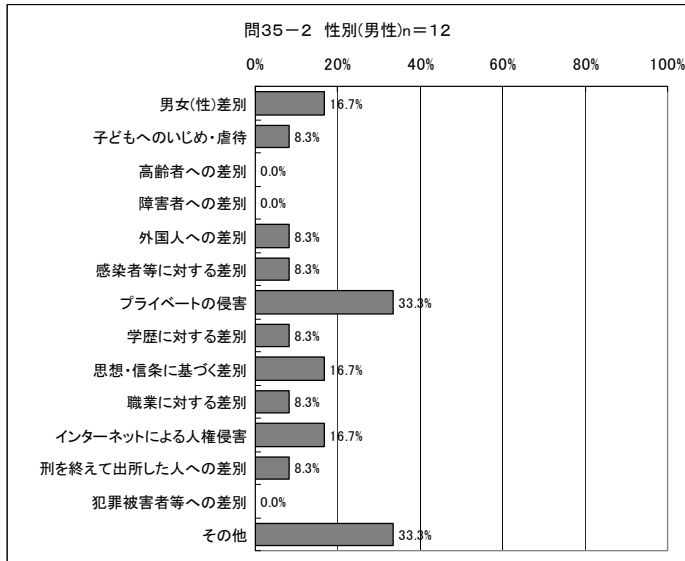


○人権が尊重されていると思わない理由については、「プライベートの侵害」が31.6%と高く、次に「その他」が21.1%で、以下「思想・信条に基づく差別」が18.4%となっている。

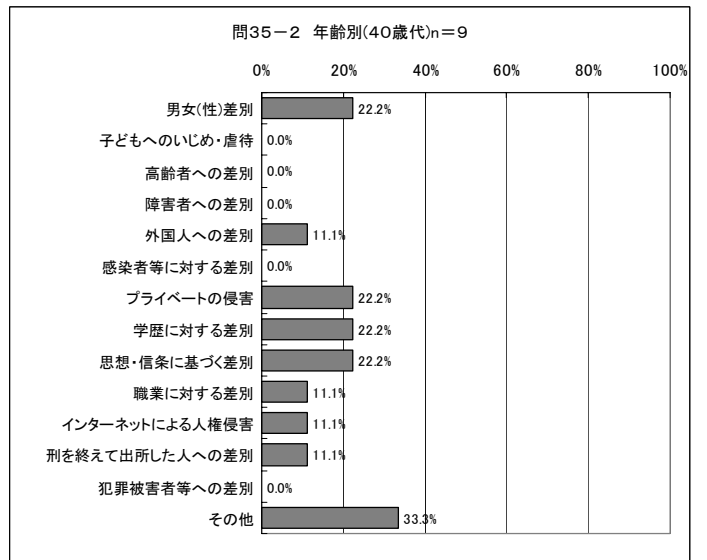
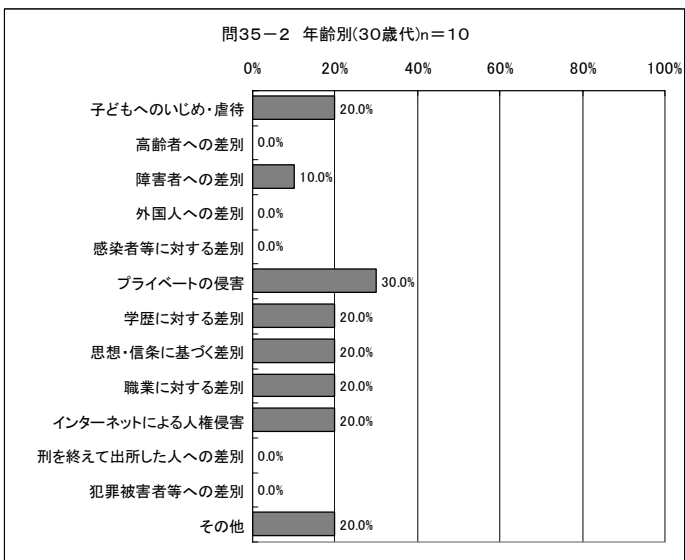
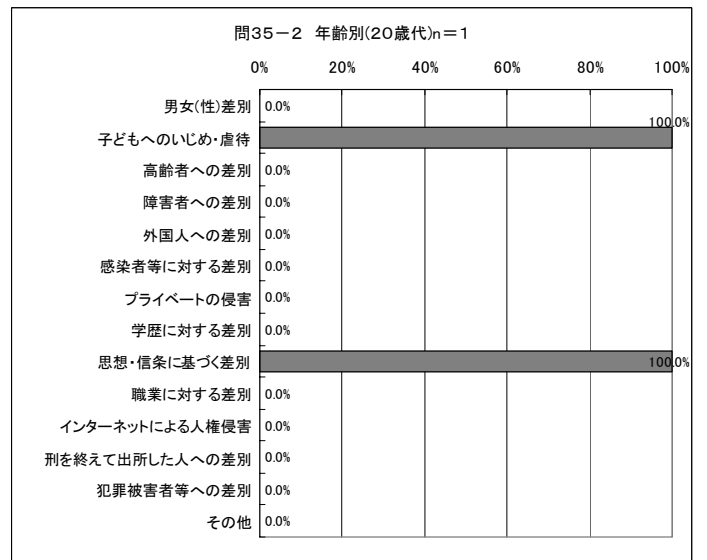
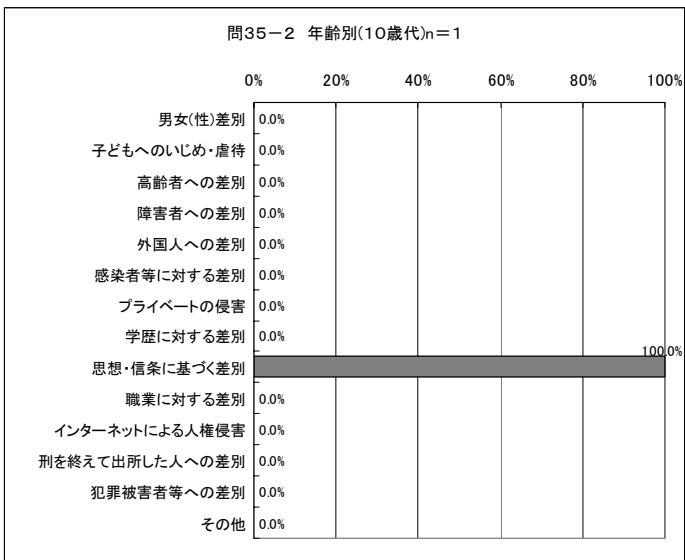
○性別では、女性の「障害者への差別」が19.2%と高い値となっているが、男性は、「インターネットによる人権侵害」と「男女(性)差別」が16.7%と高い値となっている。

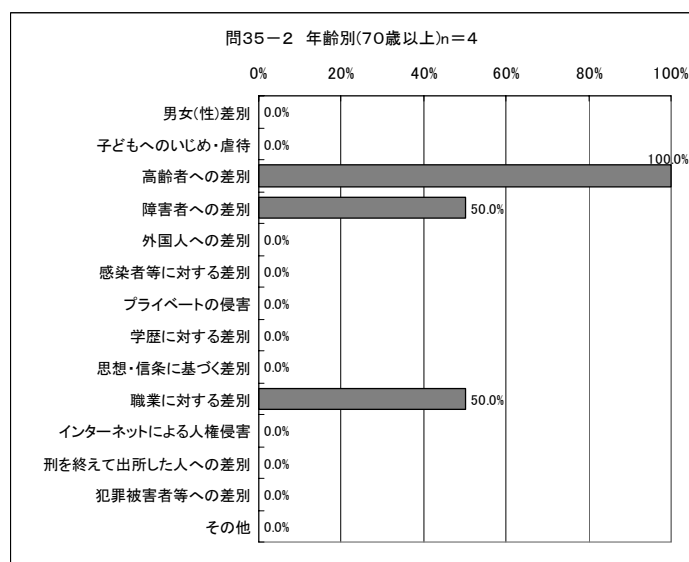
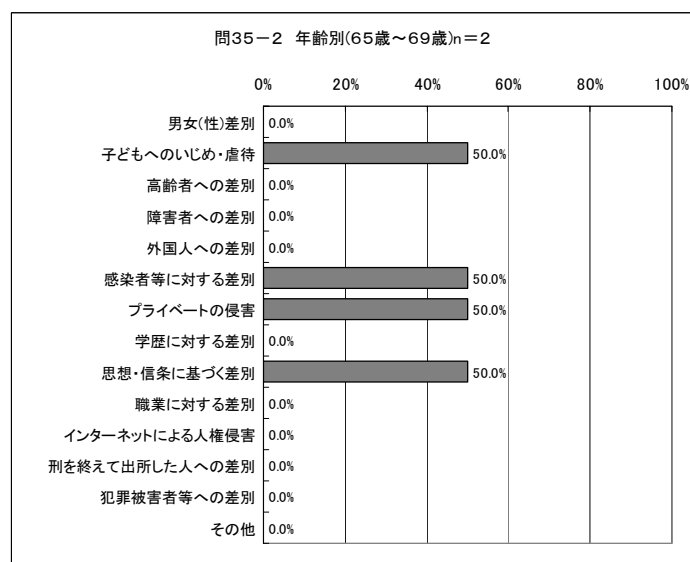
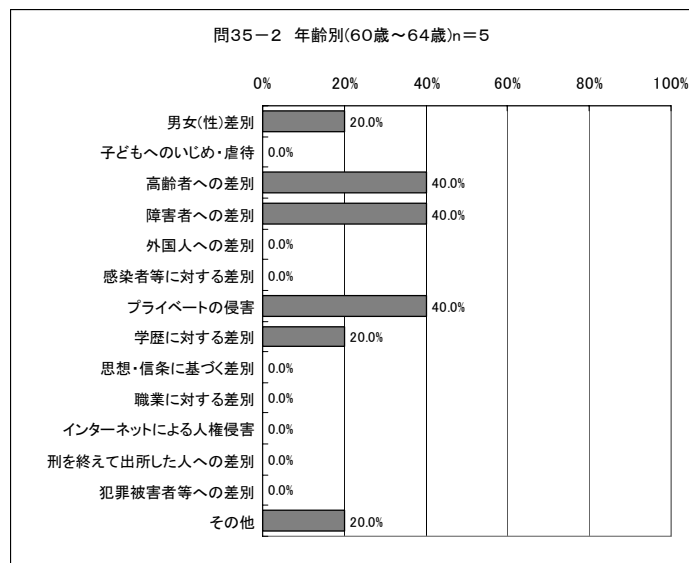
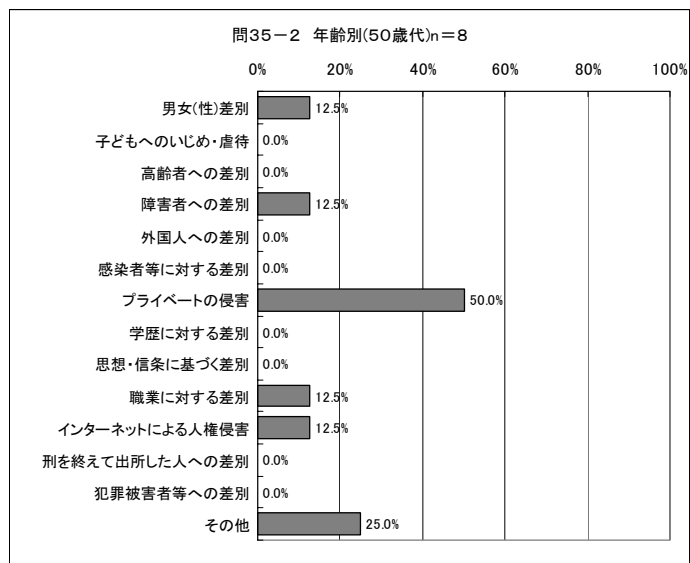
○「その他の差別」では、震災被害者への差別、母子世帯差別、貧困への人権侵害差別等が挙げられている。

(性別)



(年齢別)

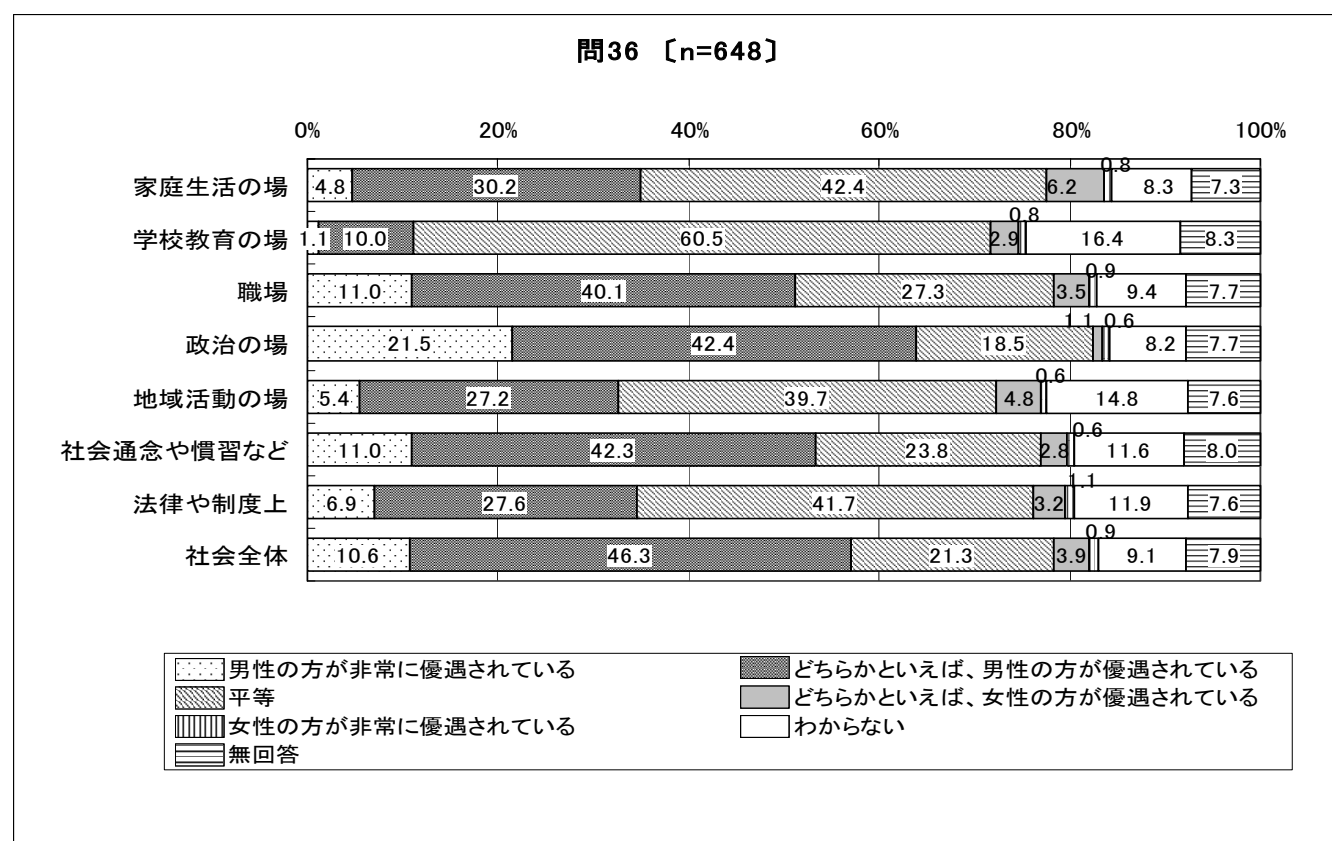




(8) 男女共同参画

問36 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

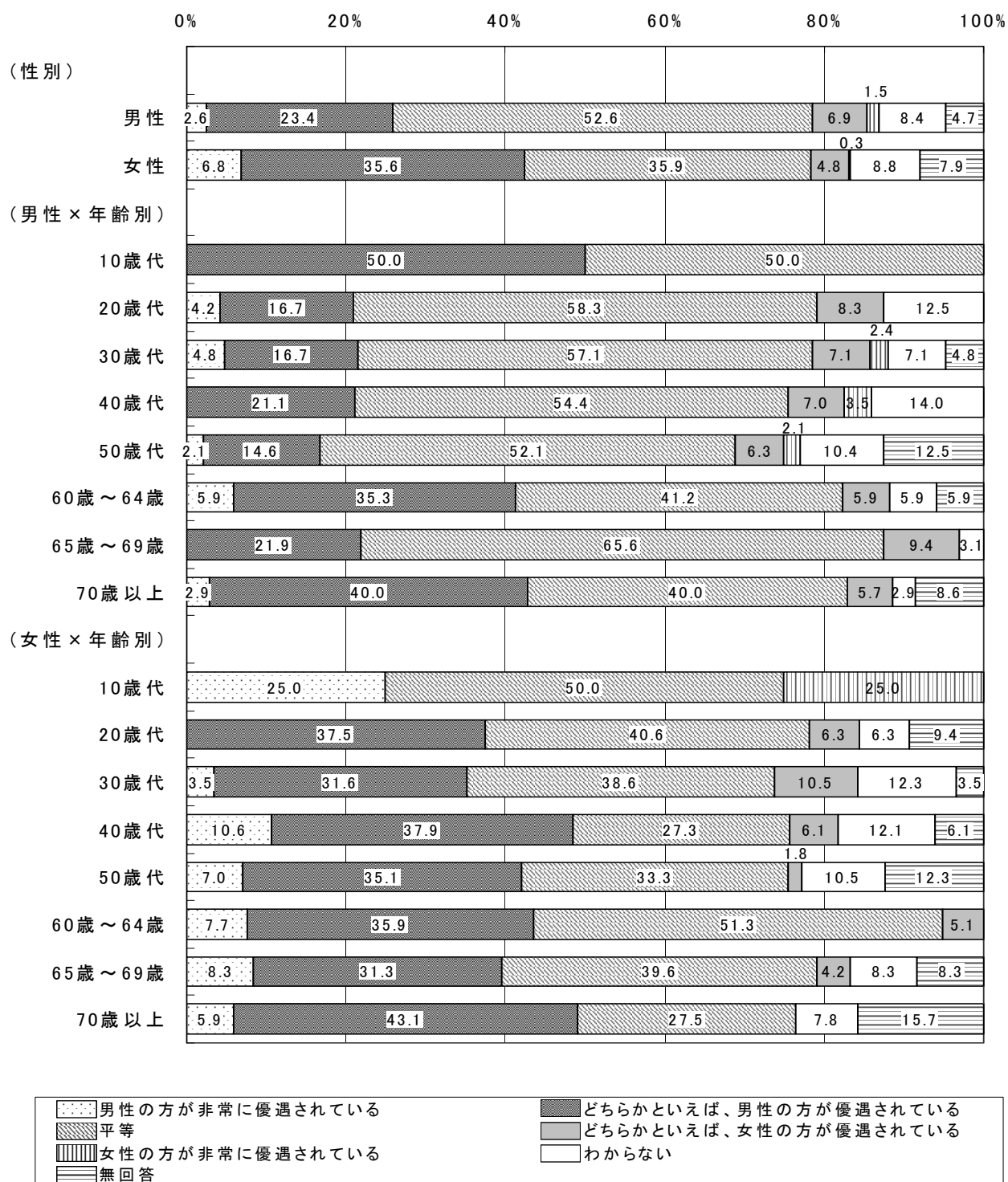
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア 家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
イ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
ウ 職場	1	2	3	4	5	6
エ 政治の場	1	2	3	4	5	6
オ 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念や慣習など	1	2	3	4	5	6
キ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体	1	2	3	4	5	6



○男女の地位が平等と思われる分野で高い割合を占めているのは、「学校教育の場」が 60.5%と高く、次に「家庭生活の場」が 42.4%で、以下「法律や制度上」が 41.7%となっている。

○「どちらかといえば、男性の方が優遇」で高い割合を占めているのは「社会全体」46.3%で、次に「政治の場」が 42.4%、「社会通念や習慣など」が 42.3%となっている。全体的に女性の優遇を感じている割合が低い結果となっている。

問36－家庭生活の場

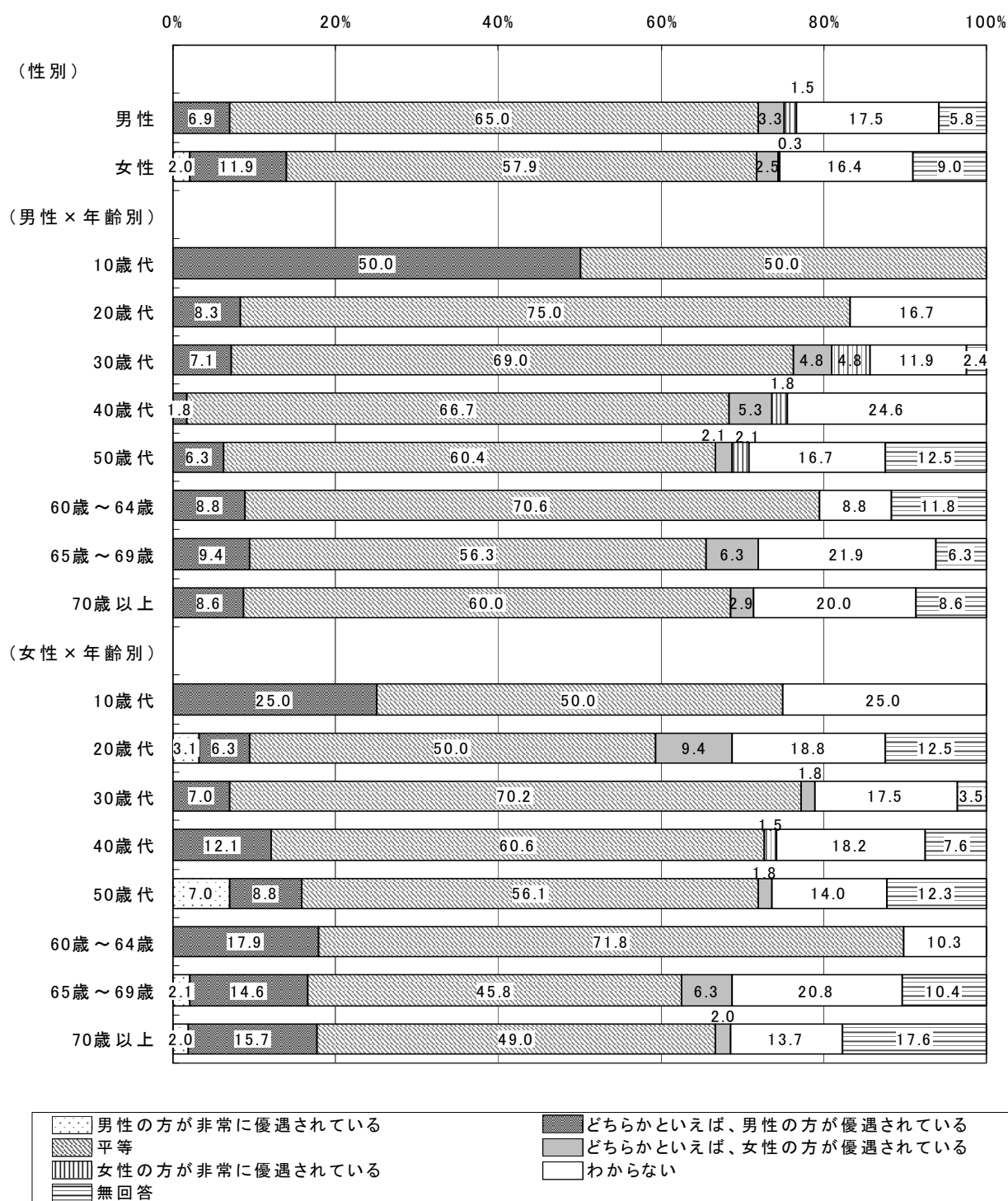


○性別では、男性が52.6%と女性の35.9%を上回っている。

○性・年齢別では、男性のほとんどが50～60%を示し、65歳～69歳で65.6%と高い値となっている。

また、女性の60歳～64歳で「平等」が51.3%と高いものの、他の年齢は20～40%台を示しており、「男性が優遇」とする人が「平等」を上回っている。

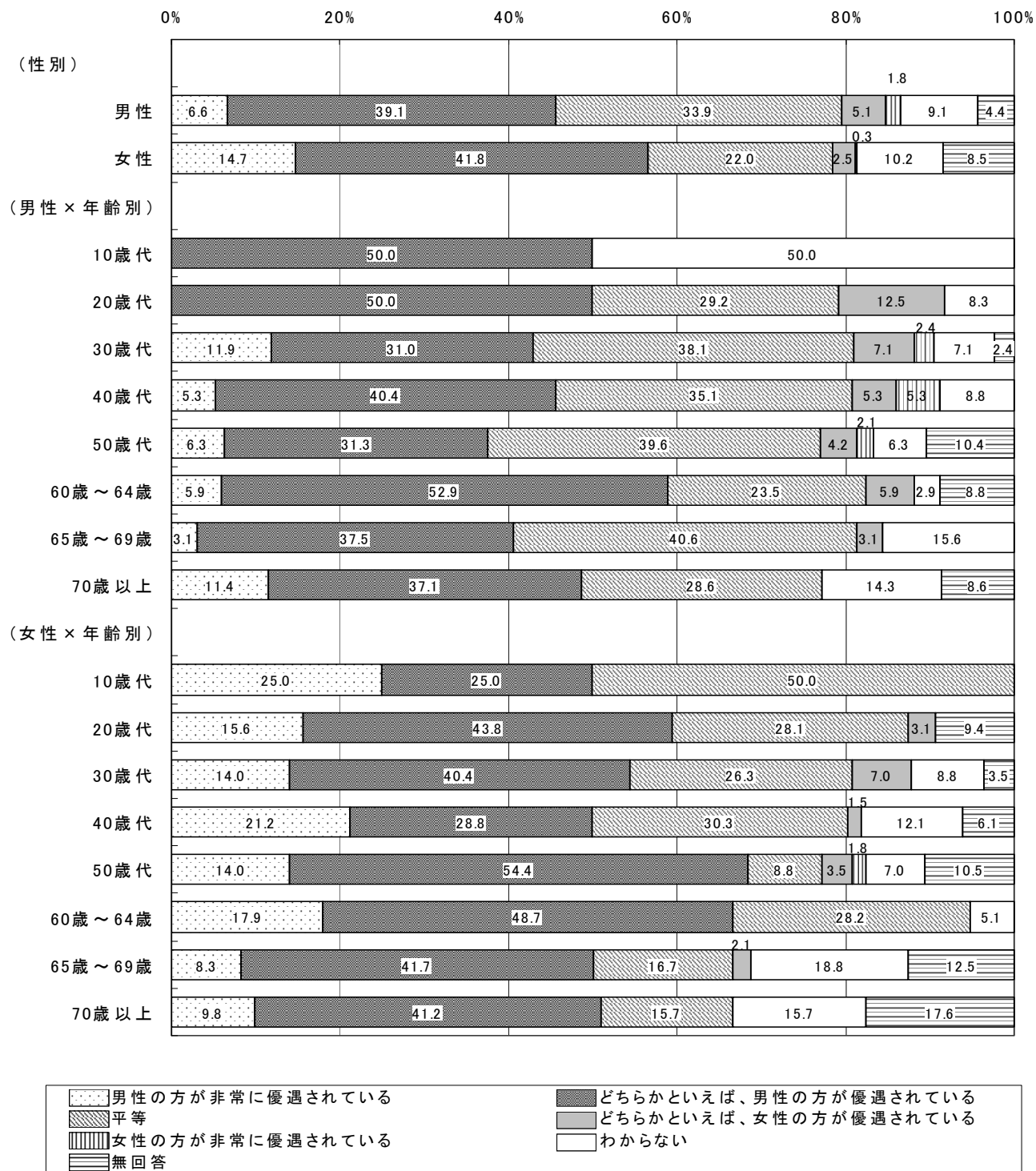
問36－学校教育の場



○性別では、「平等である」が男性 65.0%、女性 57.9%と高い割合となっており、女性の「男性の方が非常に優遇」が2.0%となっている。

○性・年齢別では、「平等である」が70%以上を占めているのが、女性の年齢別で20歳代と50歳代と65歳～69歳と70歳以上で、「男性の方が非常に優遇」が2%～7%となっている。

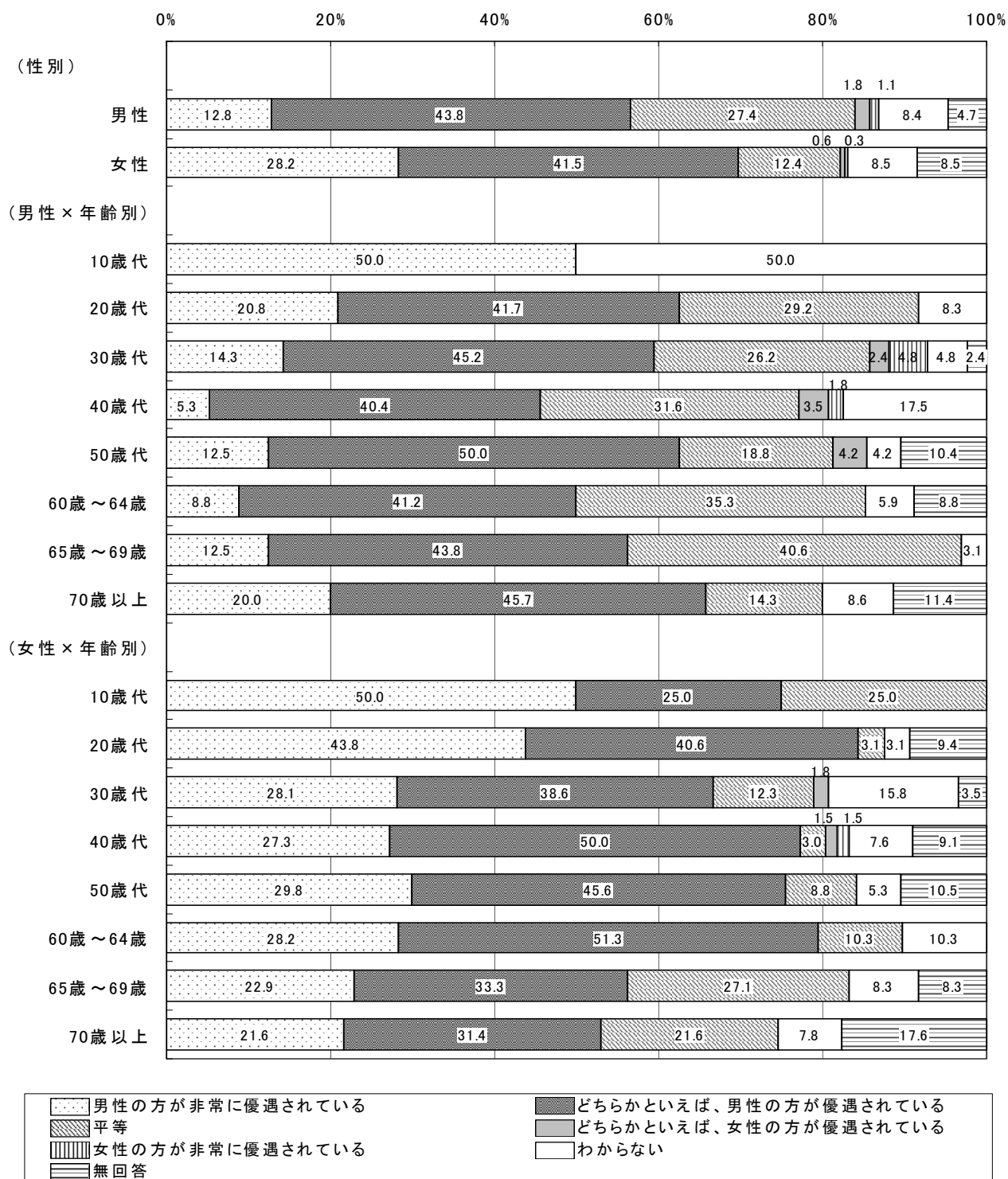
問36－職場



○性別では、男性・女性とも「男性の方が優遇」との回答が高くなっている。特に女性で、「男性の方が非常に優遇」の回答が各年代共に多くなっている。

○性・年齢別では、女性の40歳代で21.2%と高い値となっている。

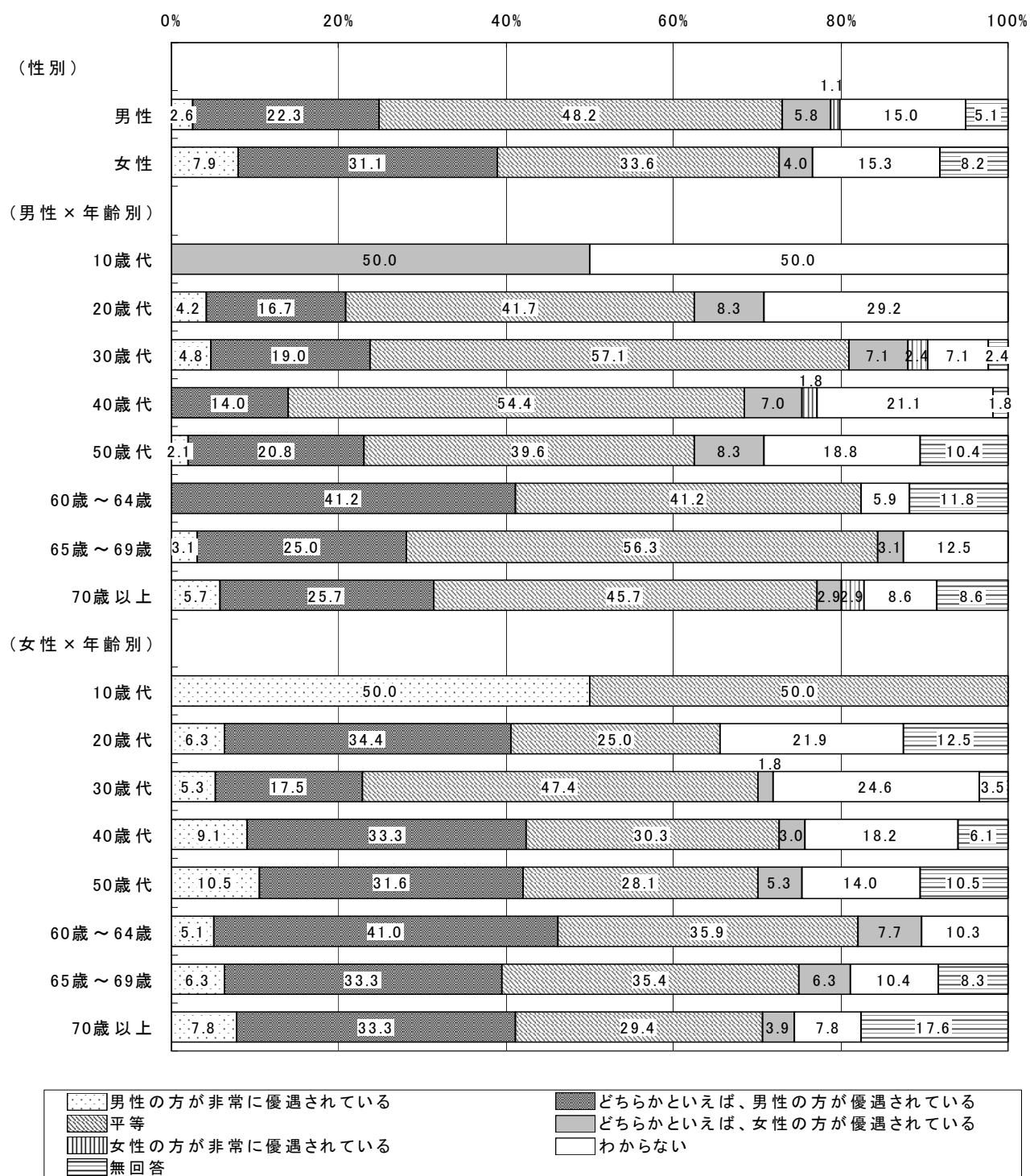
問36－政治の場



○性別では、男性・女性とも「男性の方が優遇」との回答が高い値となっている。

○性・年齢別においても、高い値を占めており、特に女性の20歳代と60歳～64歳では、約80%と高い値となっている。

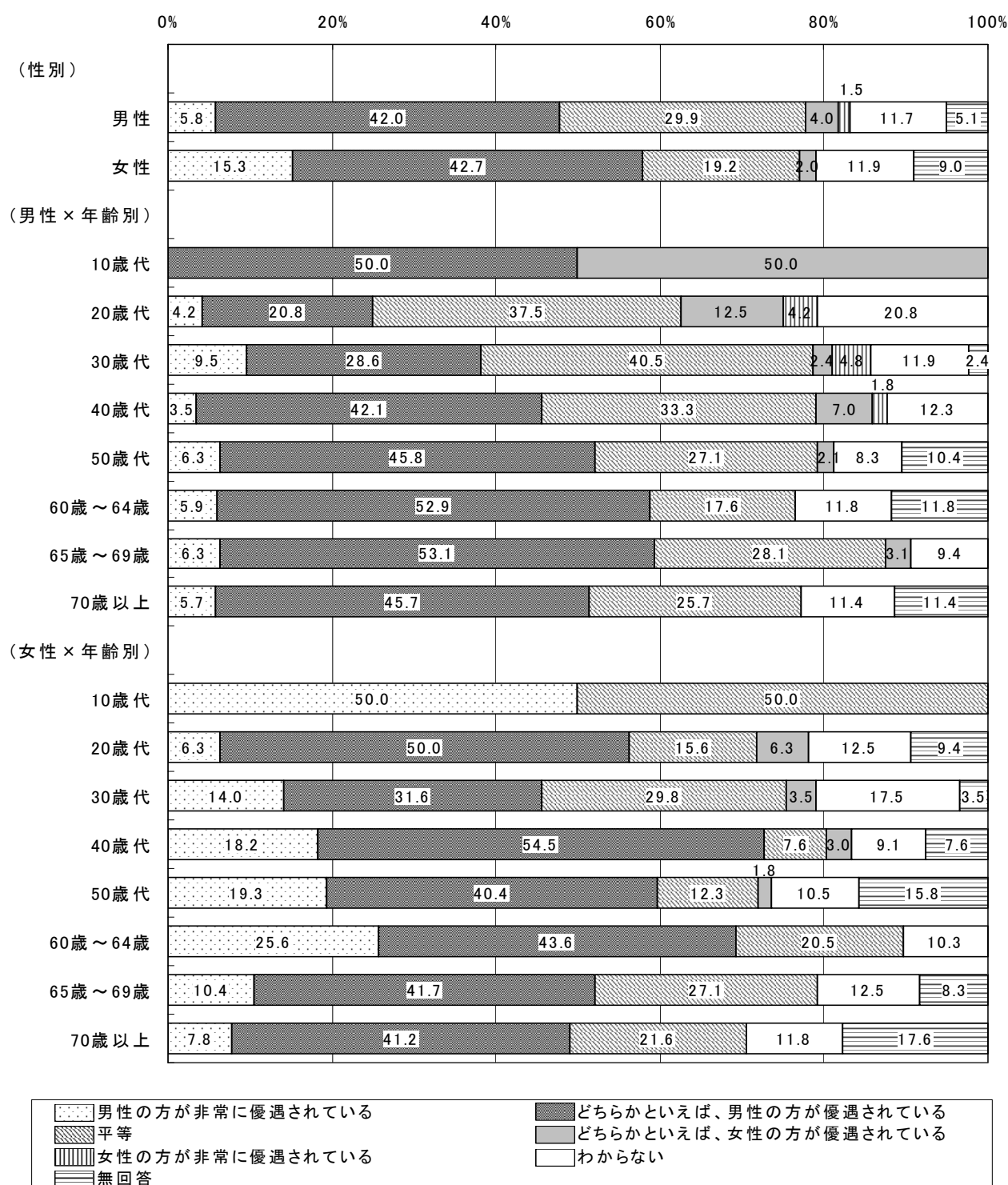
問36－地域活動の場



○性別では、男性の「平等である」が48.2%と高い割合となっているものの、女性は33.6%と男性より低い値となっている。

○性・年齢別においても同様の傾向となっている。

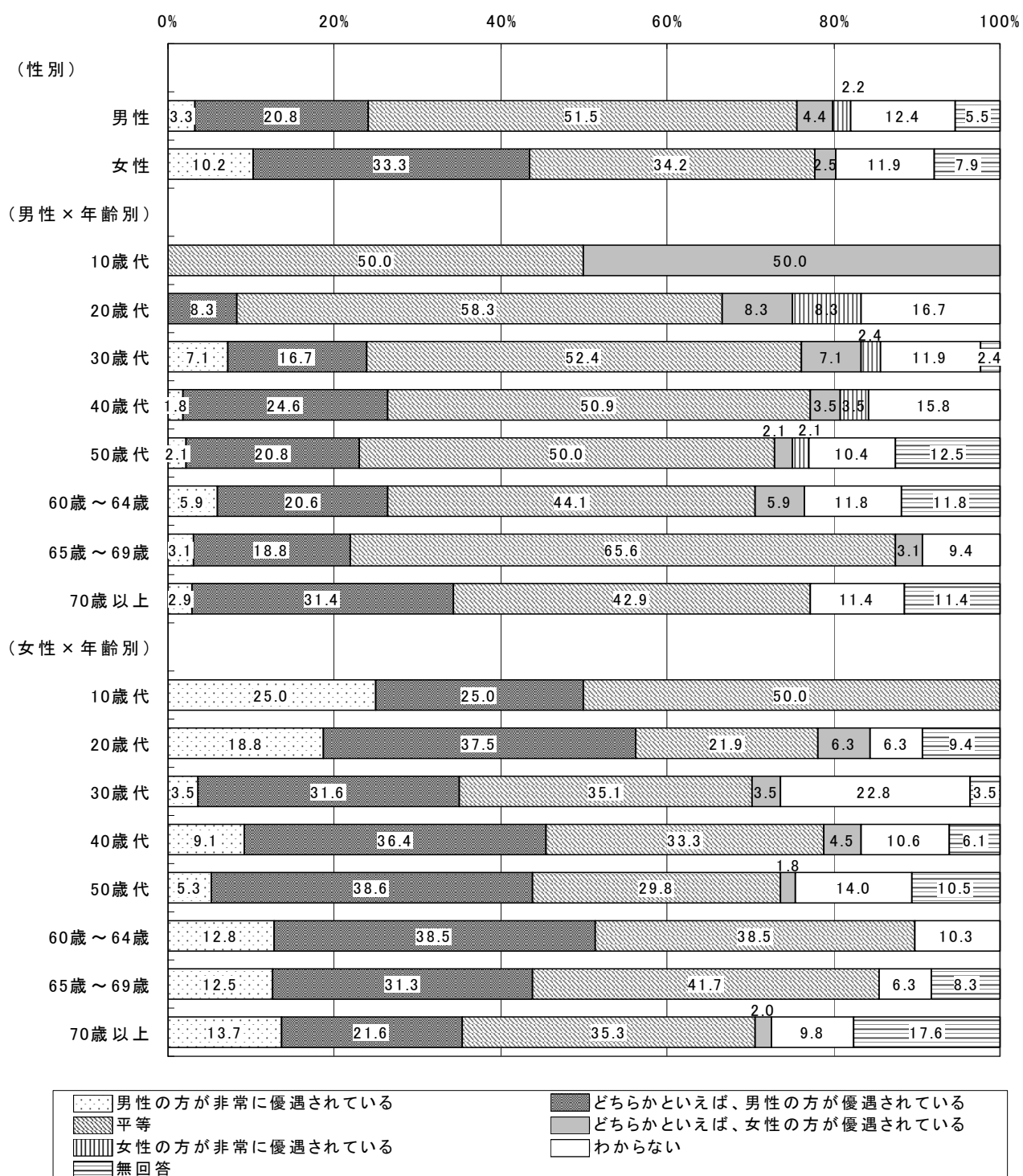
問36－社会通念や習慣など



○性別では、「男性の方が非常に優遇」との回答が男性の5.8%に対し女性は15.3%と約3倍の値となっている。

○性・年齢別では、女性の年齢別においても同様の傾向となっており、特に女性の60歳～64歳で25.6%となっている。

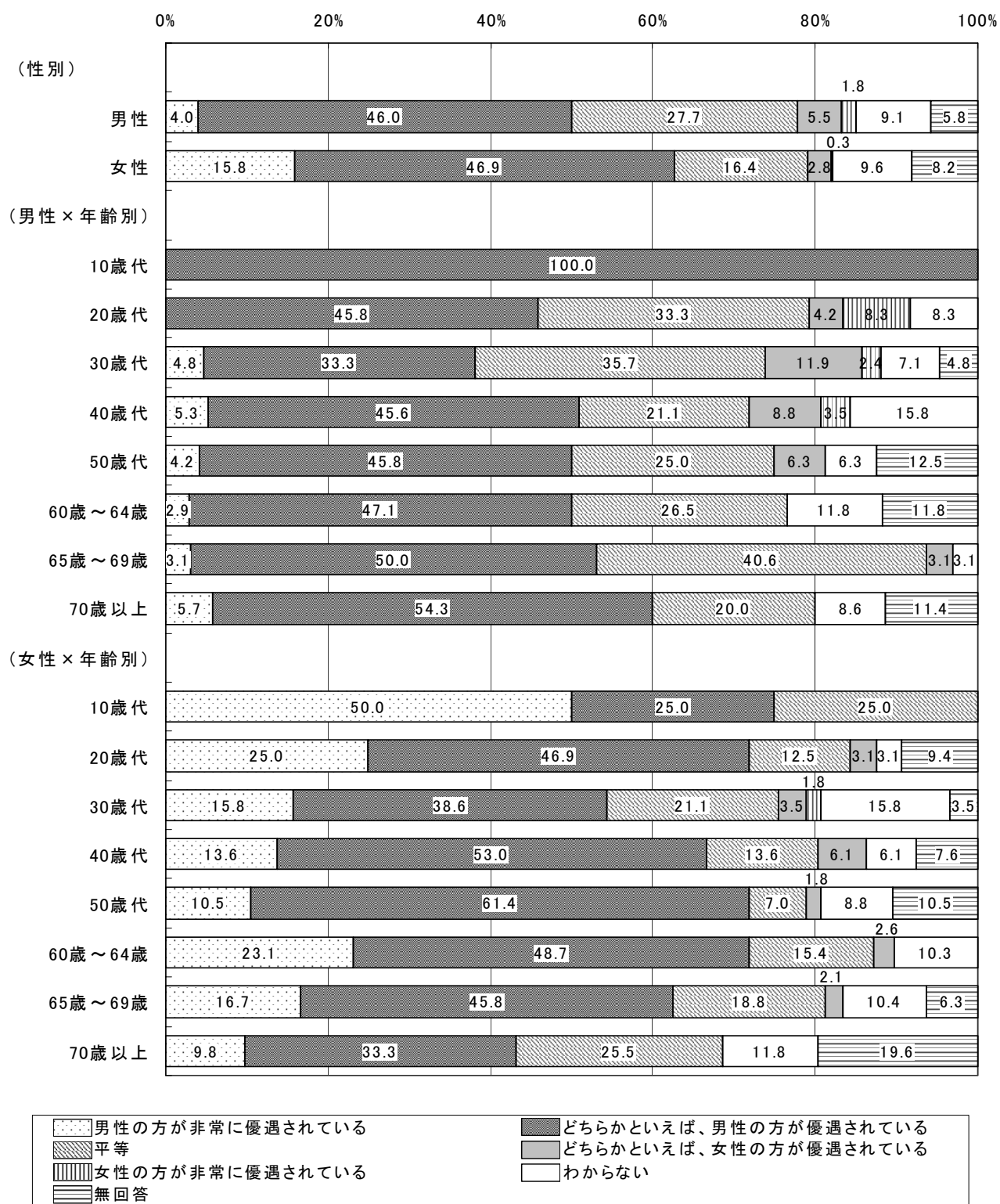
問36－法律や制度上



○性別では、女性で「男性の方が優遇」33.3%が「平等である」34.2%とほぼ同じ値となっているが、男性は「平等である」が51.5%、「男性の方が優遇」が20.8%となっている。

○性・年齢別においても同じ傾向となっている。また、女性の30歳代で「わからない」が22.8%と他の性・年齢別と差異が見られる。

問36－社会全体



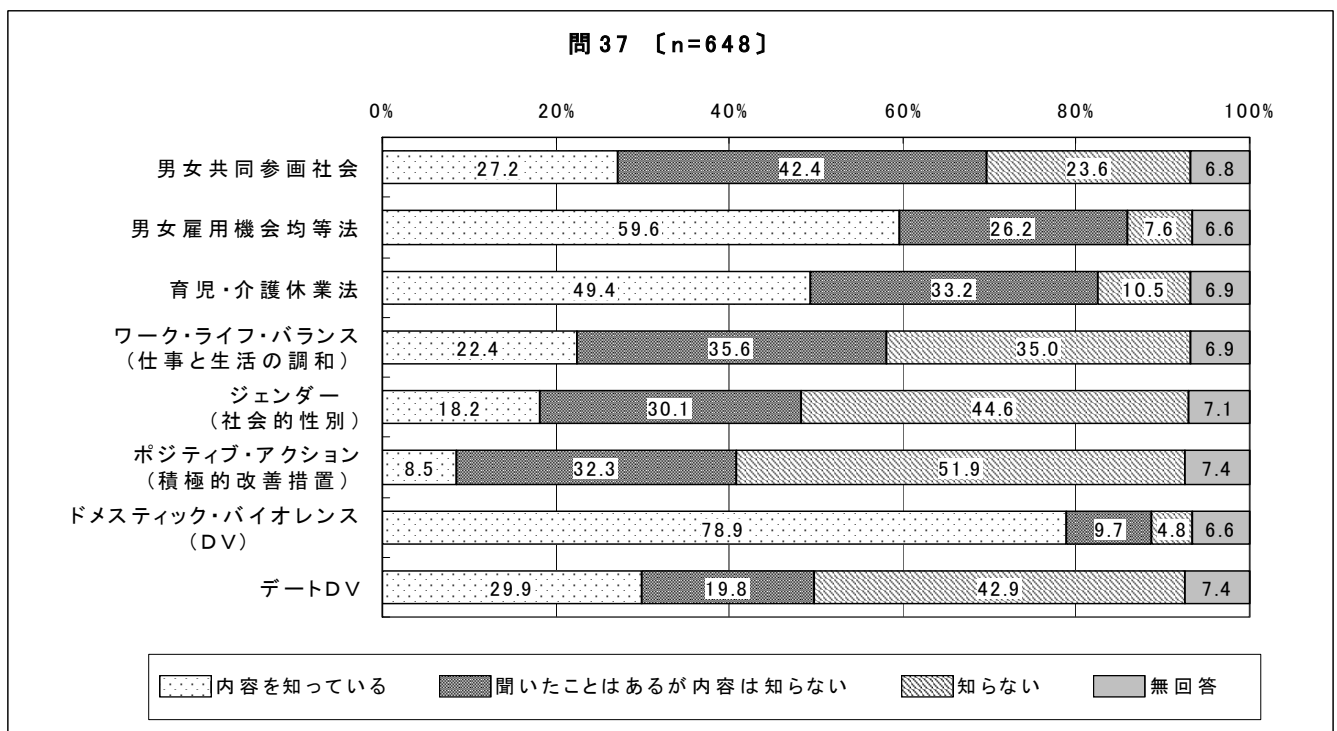
の回答が各年代共に多くなっている。

○性・年齢別では、女性の20歳代で25.0%、60歳～64歳で23.1%と高い値となっている。

問37 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

(〇はそれぞれ1つ)

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
ア 男女共同参画社会	1	2	3
イ 男女雇用機会均等法	1	2	3
ウ 育児・介護休業法	1	2	3
エ ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
オ ジェンダー (社会的性別)	1	2	3
カ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
キ ドメスティック・バイオレンス (DV)	1	2	3
ク デートDV	1	2	3

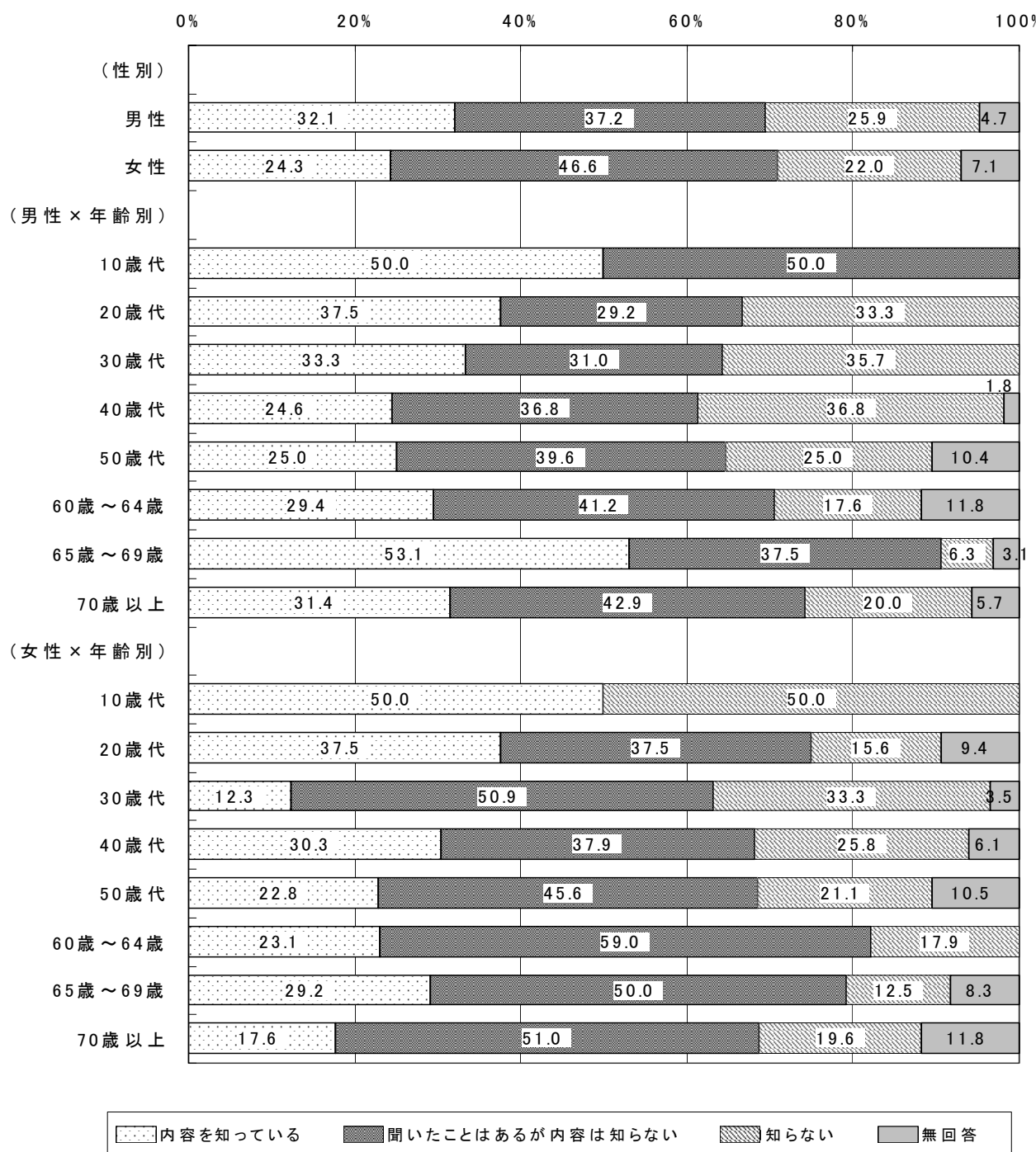


○男女共同に関する言葉の内容については、「ドメスティック・バイオレンス」が78.9%と非常に認知度が高く、次に「男女雇用機会均等法」が59.6%で、以下「育児・介護休業法」が49.4%となっている。

○「聞いたことはあるが、内容は知らない」では、「男女共同参画社会」が42.4%と高く、次に「ワーク・ライフ・バランス」35.6%、以下「育児・介護休業法」が33.2%となっている。

○また、「知らない」では、「ポジティブ・アクション」が51.9%と高く、次に「ジェンダー」が44.6%で、以下「デートDV」が42.9%となっている。

問37－男女共同参画社会

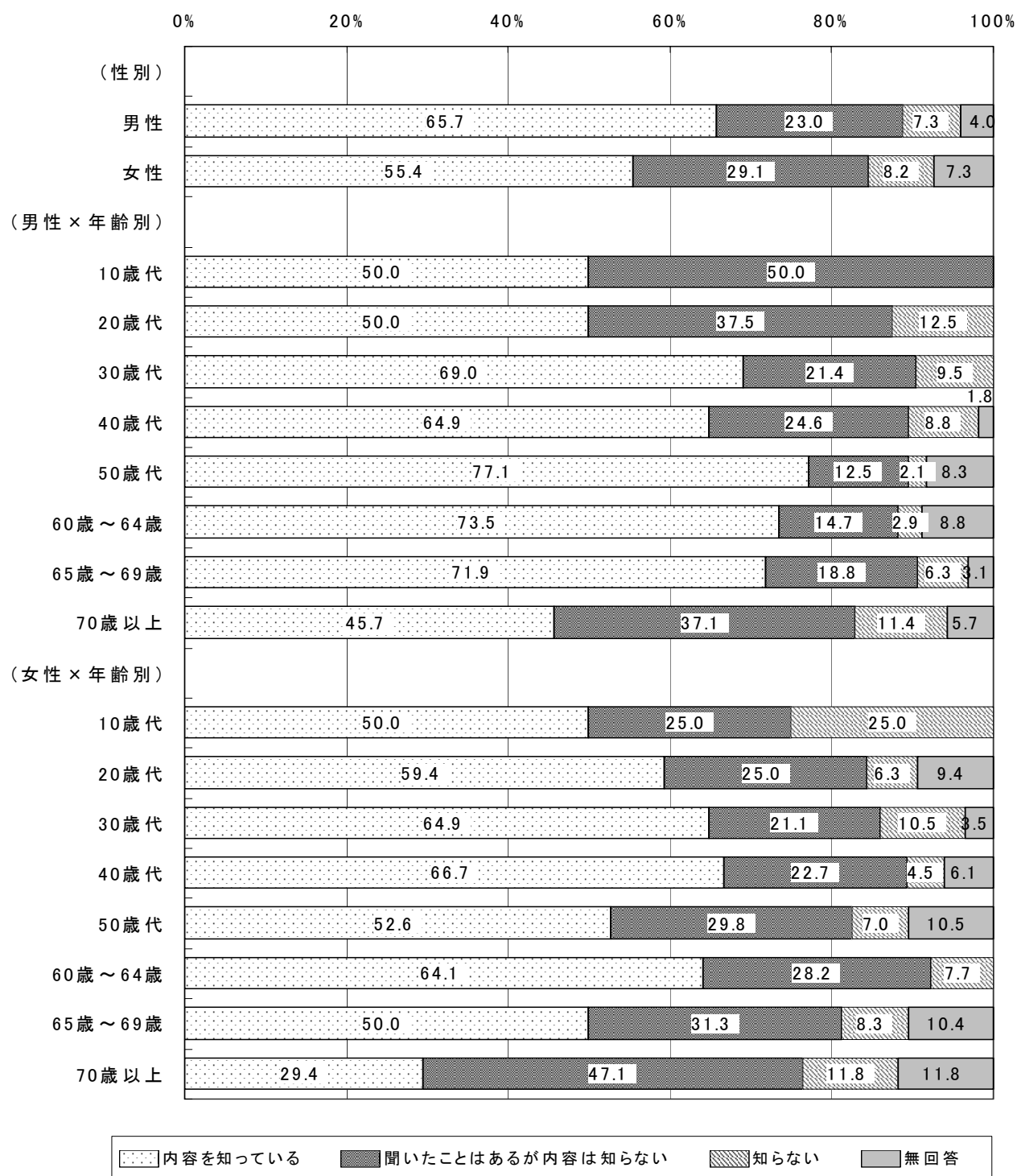


○「聞いたことはあるが、内容は知らない」が42.4%と高く、次に「内容を知っている」が27.2%となっている。

○性・年齢別では、男性の65歳～69歳で「内容を知っている」が53.1%と高く、他の年齢では20～30%となっている。

○女性で「聞いたことはあるが、内容は知らない」が比較的高く、50%を超えているのが30歳代と60歳～64歳と65歳～69歳と70歳以上となっている。

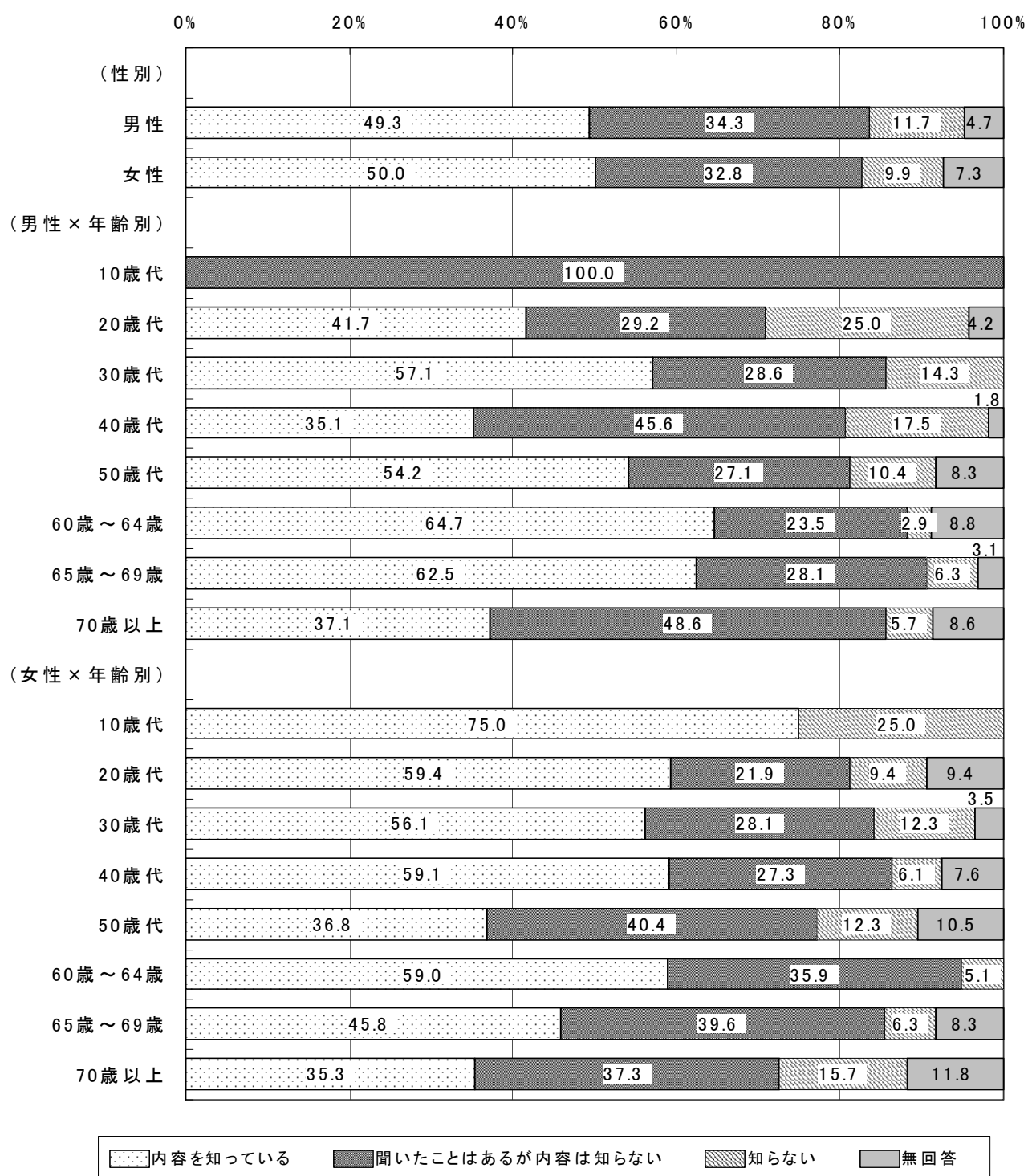
問37-男女雇用機会均等法



○「内容を知っている」が59.6%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.2%となっている。

○性・年齢別では、ほとんどの年代で「内容を知っている」約50%を超えているが、70歳以上の男性は45.7%、女性が29.4%と低い値となっている。

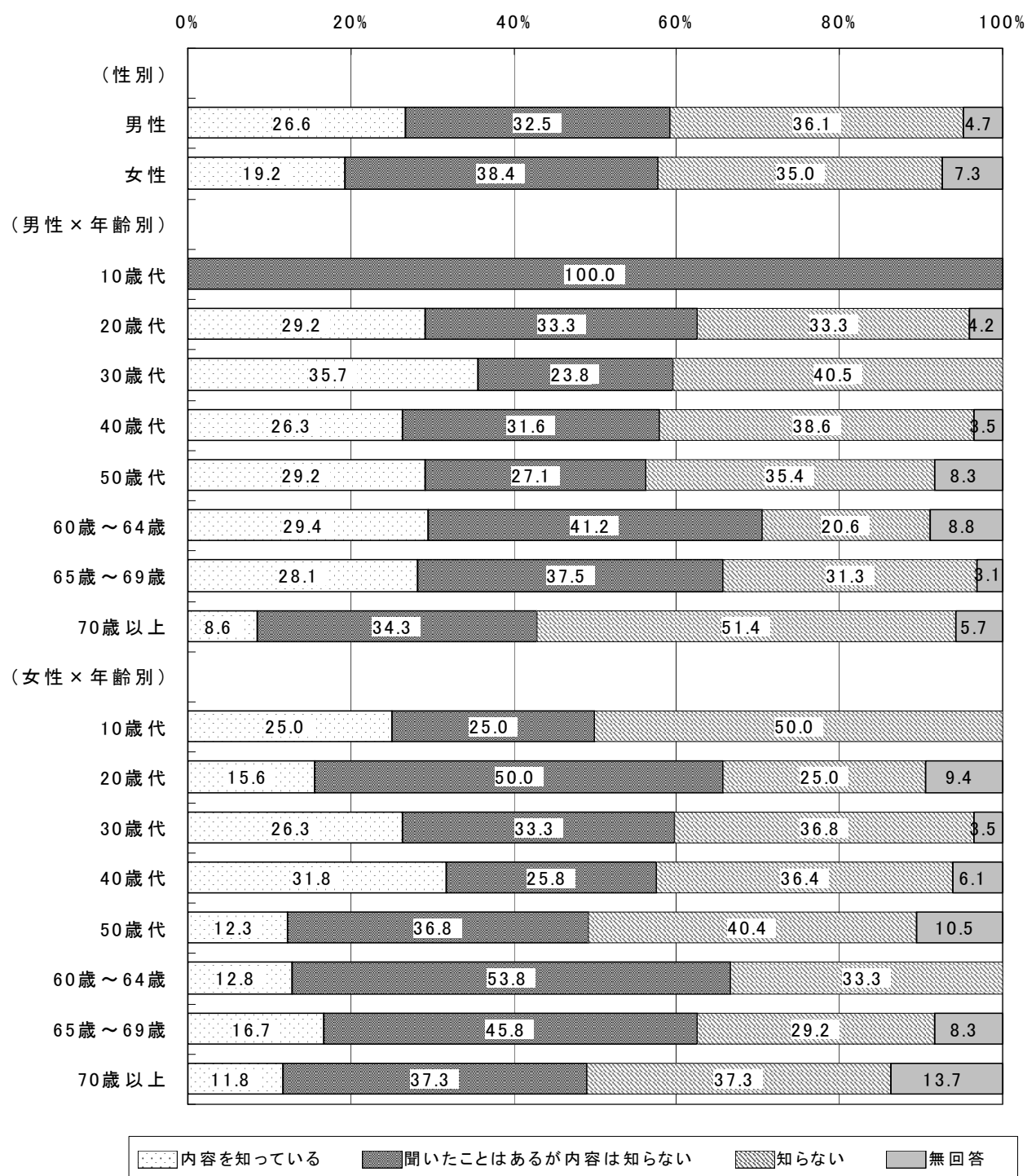
問37－育児・介護休業法



○「内容を知っている」が49.4%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.2%となっており、性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○「内容を知っている」について、一部の年代で50%を下回っているものの、全体的に認知度は高い。

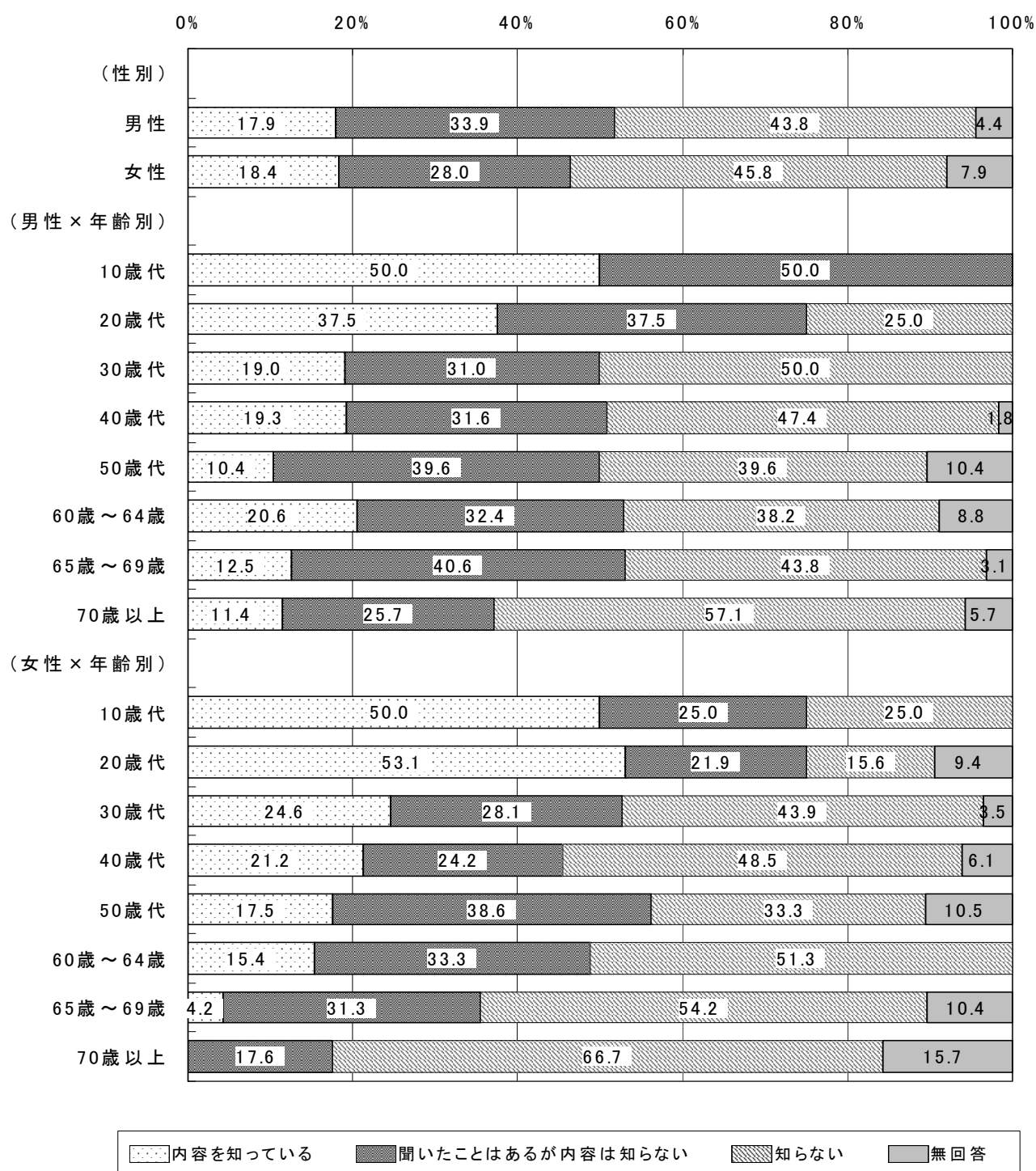
問37 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)



○「聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.6%と高く、次に「知らない」が35.0%で、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○性・年齢別では、「内容を知っている」で20～30%となっているが、男性の70歳以上で8.6%、女性の50歳代～70歳以上で10%台と低い値となっている。

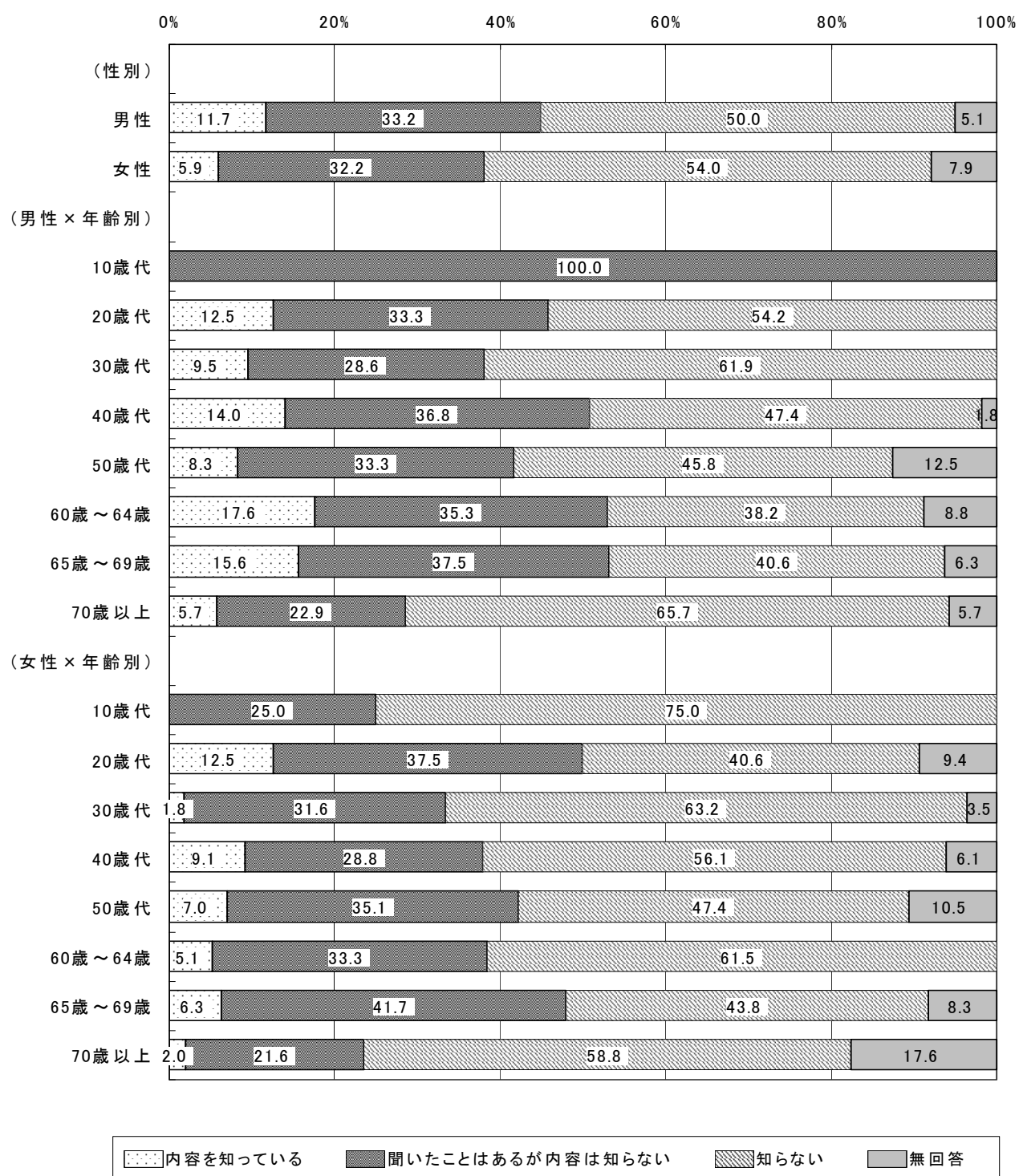
問37—ジェンダー(社会的性別)



○「知らない」が44.6%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が30.1%で、男性・女性とも同様の傾向となっている。

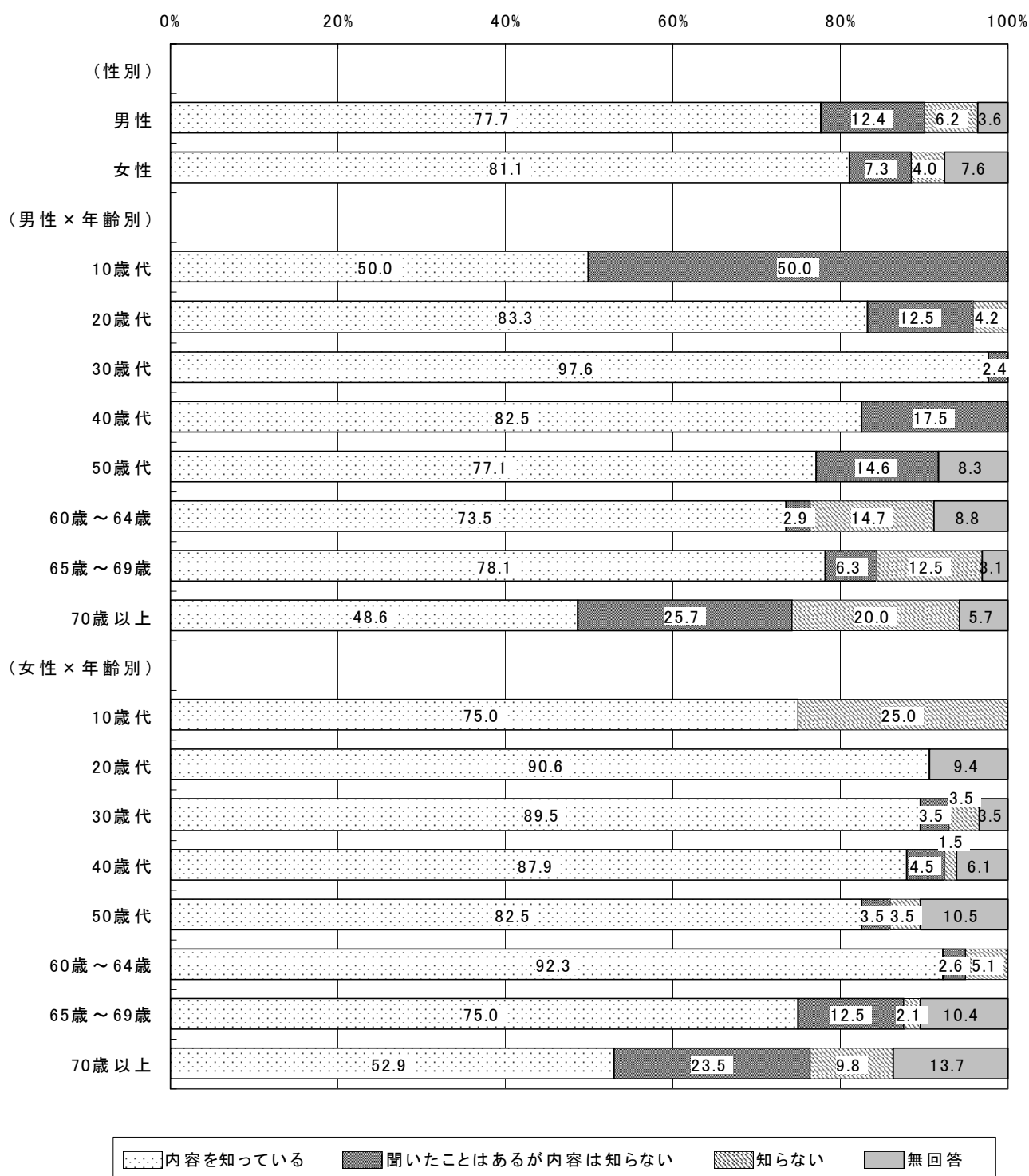
○性・年齢別では、男性・女性とも20歳代が高く、高齢になると認知度が低くなる傾向となっている。

問37ーポジティブ・アクション(積極的改善措置)



○「知らない」が51.9%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が32.3%となっている。
 ○性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。性・年齢別では、特に、30歳代と70歳以上で、男性・女性とも「知らない」が60%を超えている。

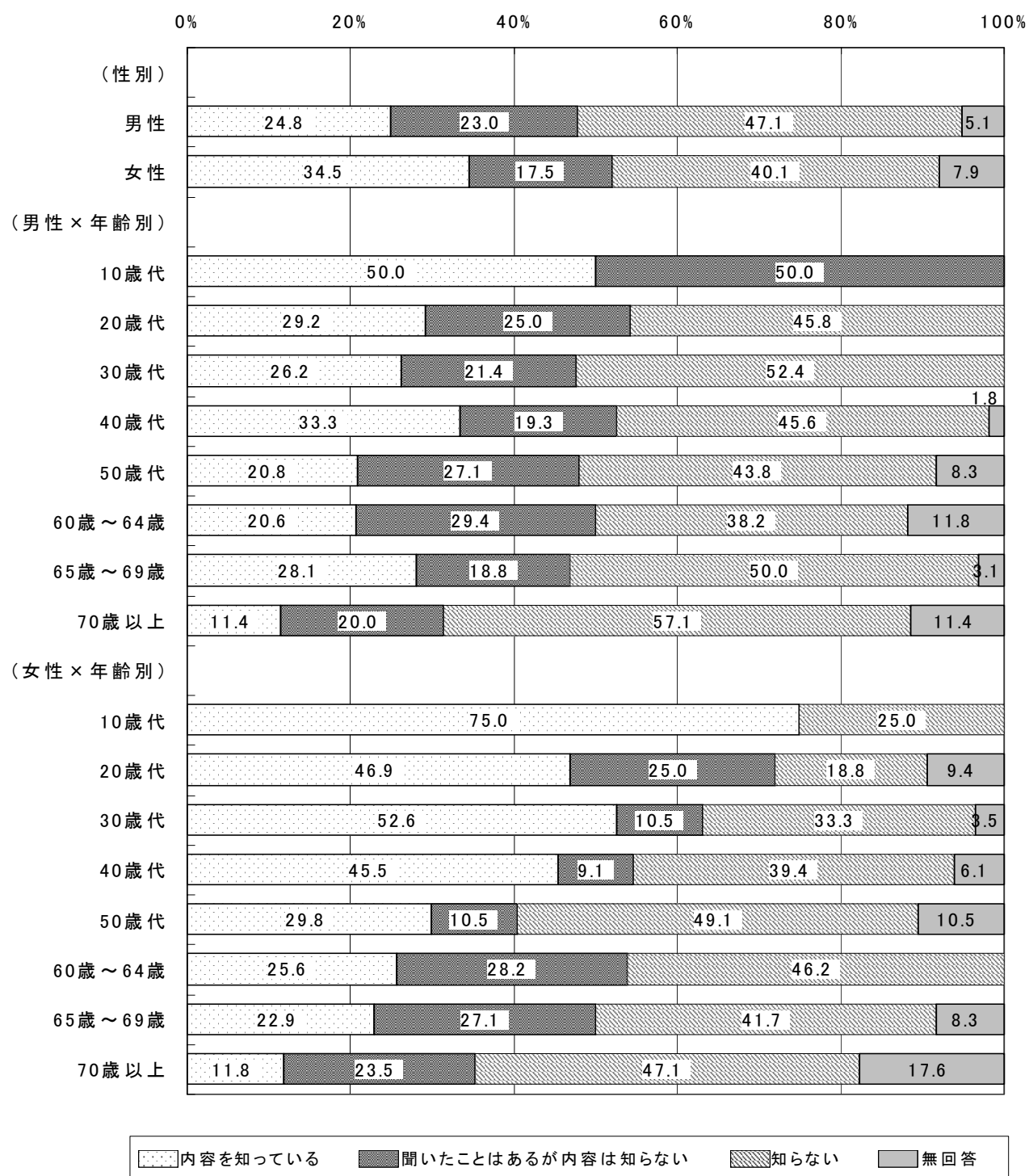
問37 ドメスティック・バイオレンス(DV)



○「内容を知っている」が78.9%と非常に認知度が高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が9.7%となっている。

○性・年齢別では、70歳未満で、約70%が「内容を知っている」としているが、70歳以上の男性・女性は50%程度となっている。

問37-デートDV



○「知らない」が42.9%と高く、次に「内容を知っている」が29.9%となっている。

○性別では、女性が男性より「内容を知っている」の割合が高く、20歳～40歳では約50%で、50歳～70歳では約10～20%と低い値となっている。

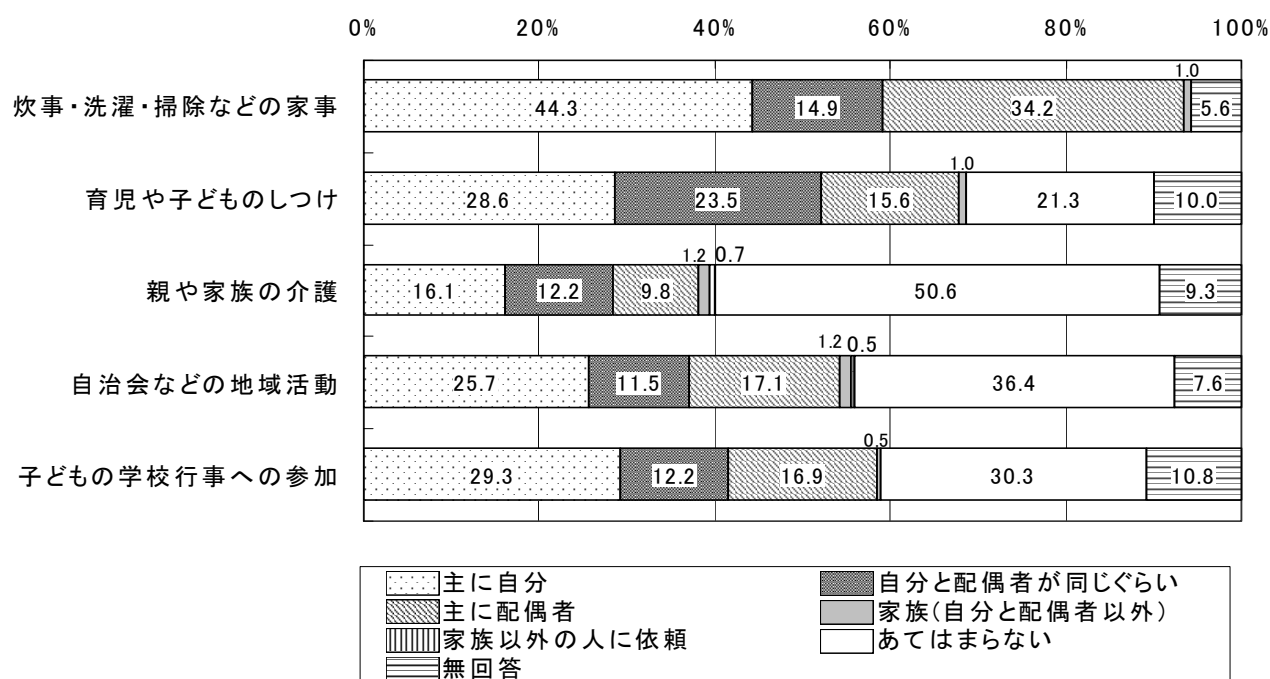
【配偶者と同居している方のみお答えください】

問38 あなたの家庭では、次のことがらを主にどなたが行っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	家族(自分と配偶者以外)	家族以外の人に依頼	あてはまらない
ア 炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6
イ 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
ウ 親や家族の介護	1	2	3	4	5	6
エ 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6
オ 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6

問38 [n=409]

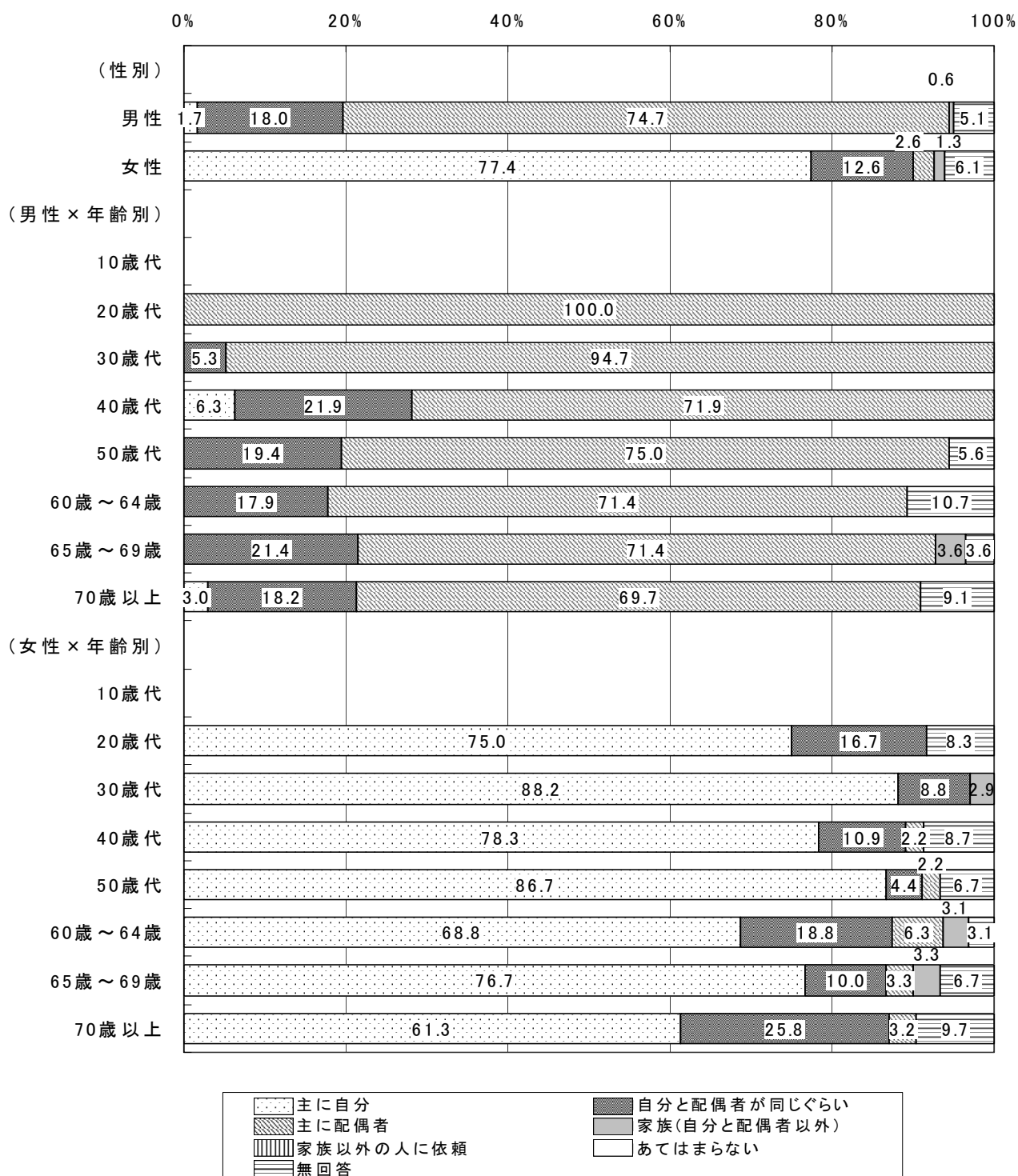


○家庭内における家事等の分担については、「主に自分」とする項目で、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が44.3%と高く、次に「子どもの学校行事への参加」が29.3%で、以下「育児や子どものしつけ」が28.6%となっている。

○「自分と配偶者が同じくらい」では、「育児や子どものしつけ」が23.5%と高く、次に「炊事・洗濯・掃除などの家事」が14.9%となっている。

○「主に配偶者」では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が34.2%と高く、次に「自治会などの地域活動」が17.1%となっている。

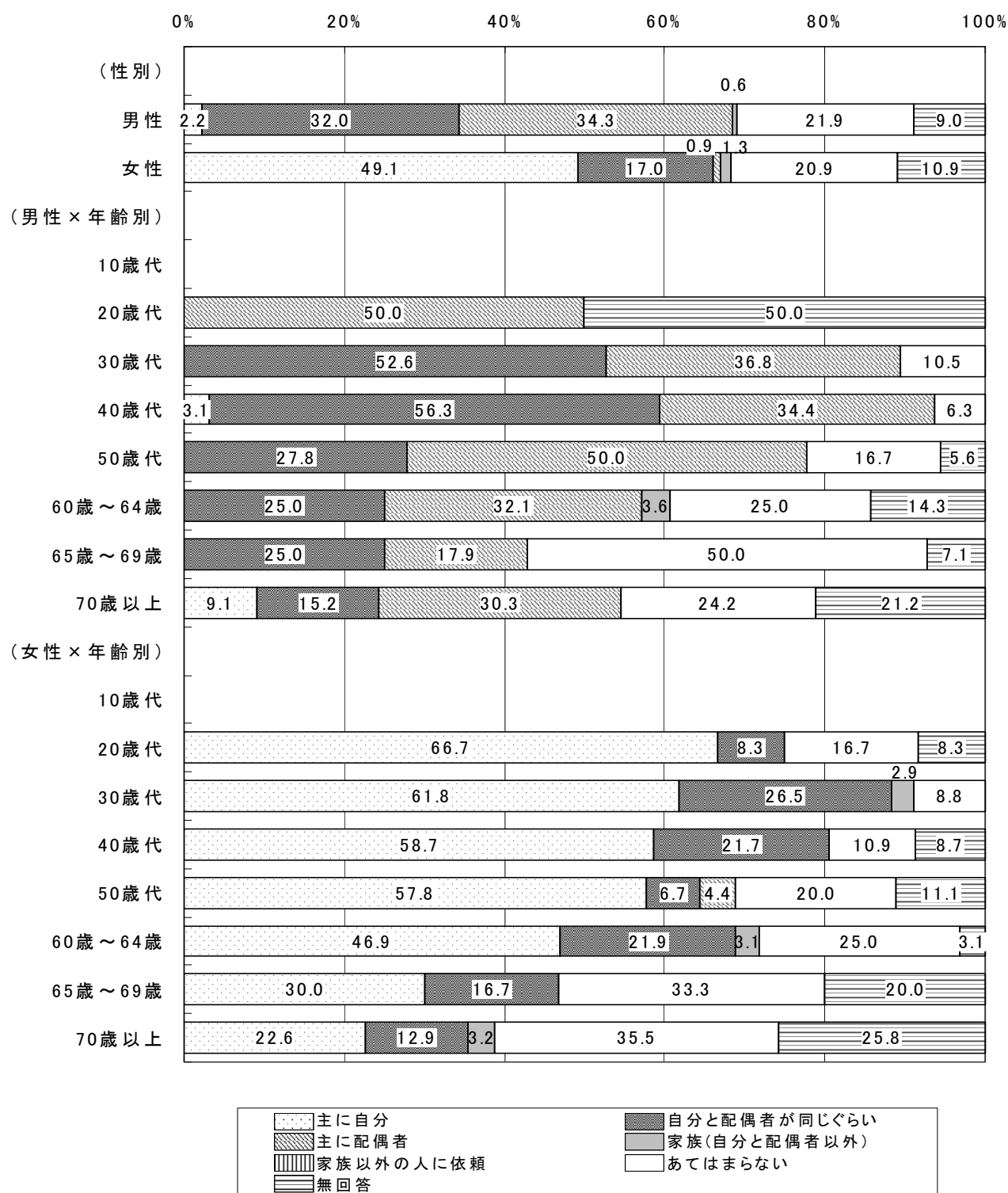
問38－炊事・洗濯・掃除などの家事



○「主に自分」が44.3%と高く、次に「主に配偶者」が34.2%で、以下「自分と配偶者が同じくらい」が14.9%となっている。

○性別では、男性は「主に配偶者」が74.7%と高く、女性は「主に自分」が77.4%となっており、次に男女とも「自分と配偶者が同じくらい」との回答が10%台と低い値となっている。

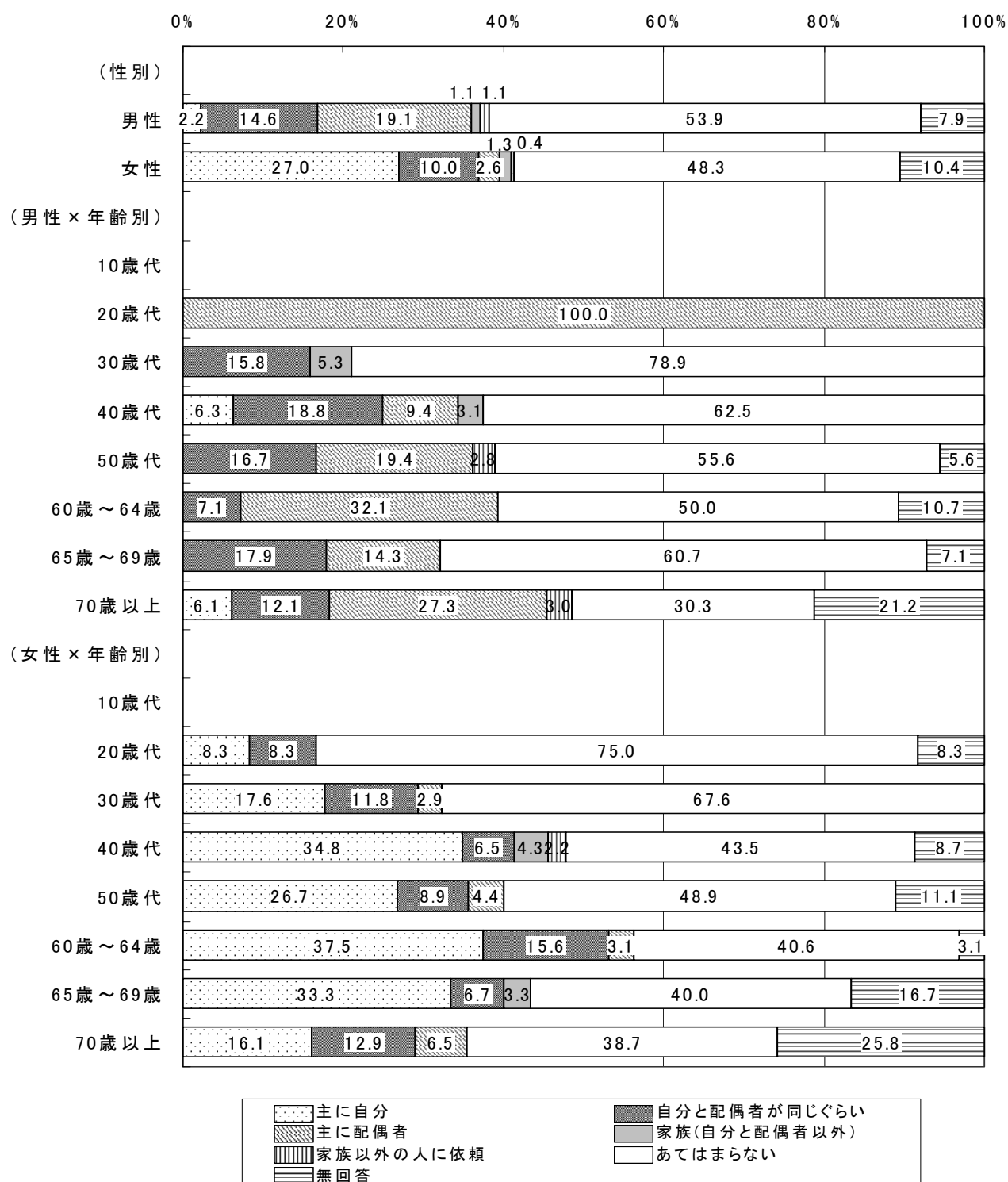
問38－育児や子どものしつけ



○「主に自分」が28.6%と高く、次に「自分と配偶者が同じくらい」が23.5%で、以下「あてはまらない」が21.3%となっている。

○性別では、男性は「主に配偶者」が34.3%と高く、女性の「主に自分」が49.1%と高い値となっている。

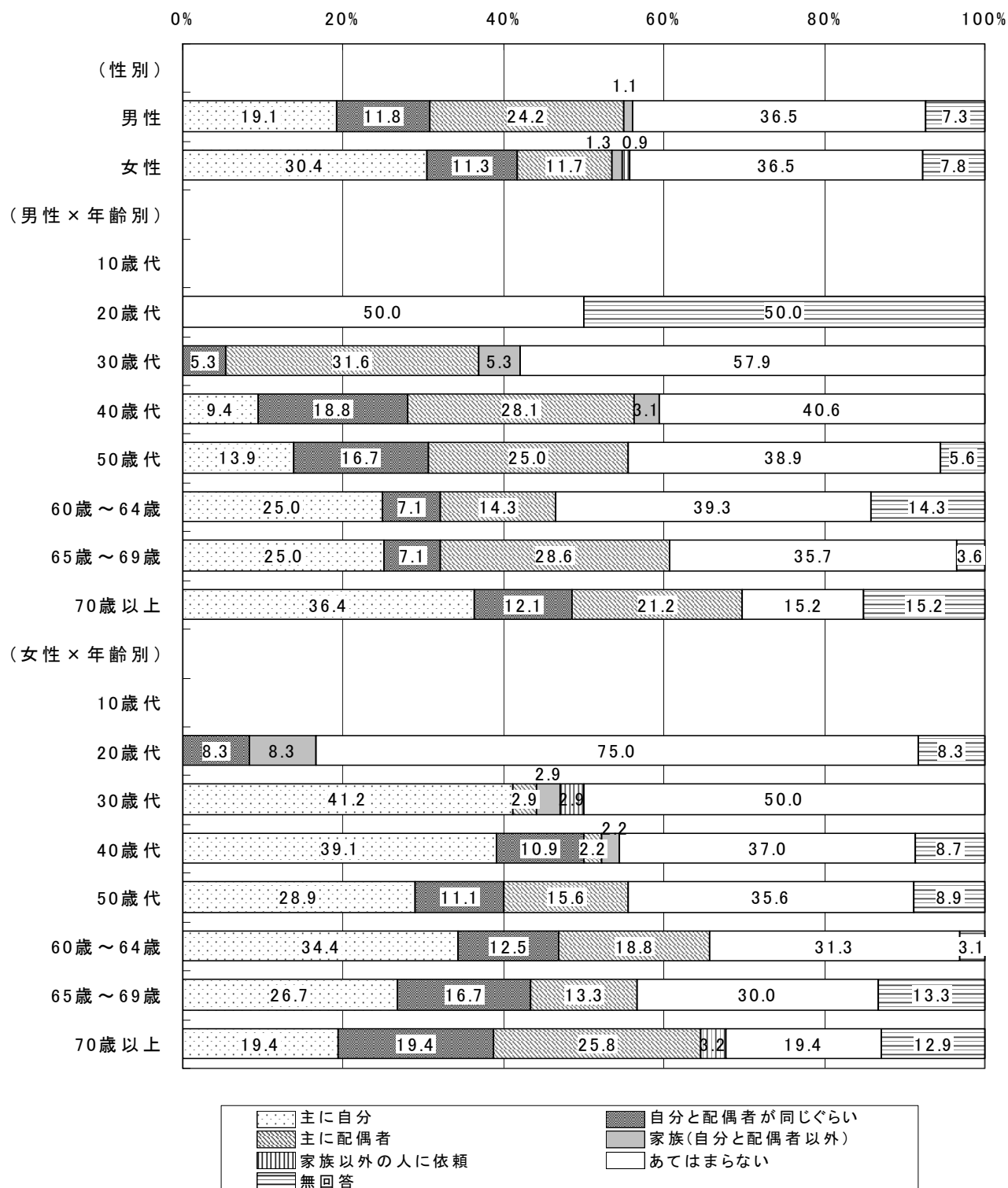
問38 親や家族の介護



○「主に自分」が16.1%、次に「自分と配偶者が同じくらい」が12.2%となっている。

○性・年齢別では、高齢になるとその傾向が高く、男性は「主に配偶者」、女性は「主に自分」の回答が高い値となっている。

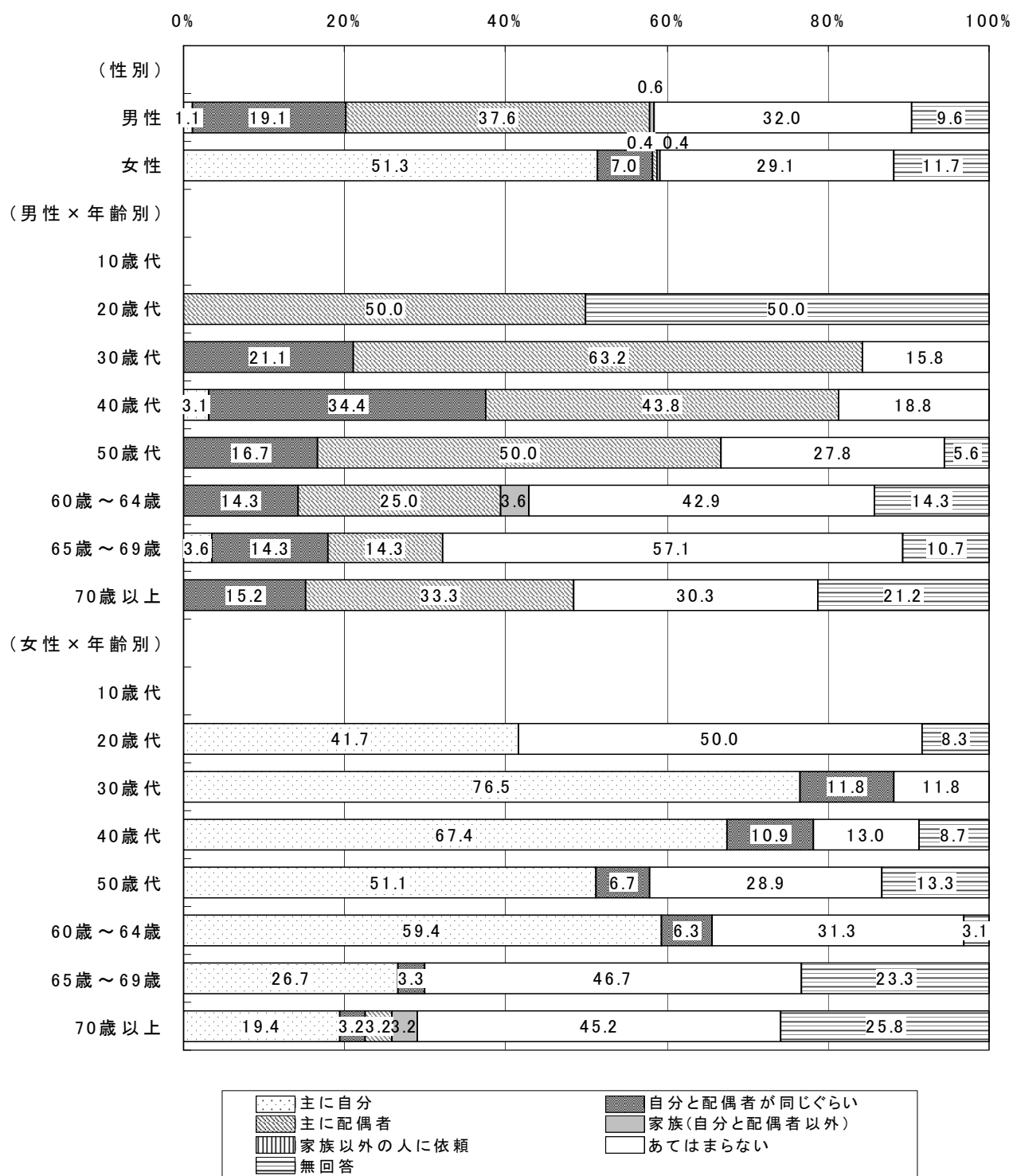
問38－自治会などの地域活動



○「主に自分」が25.7%、次に「主に配偶者」が17.1%となっている。

○性別では、男性は「主に配偶者」が、女性は「主に自分」が高い傾向となっている。

問38－子どもの学校行事への参加



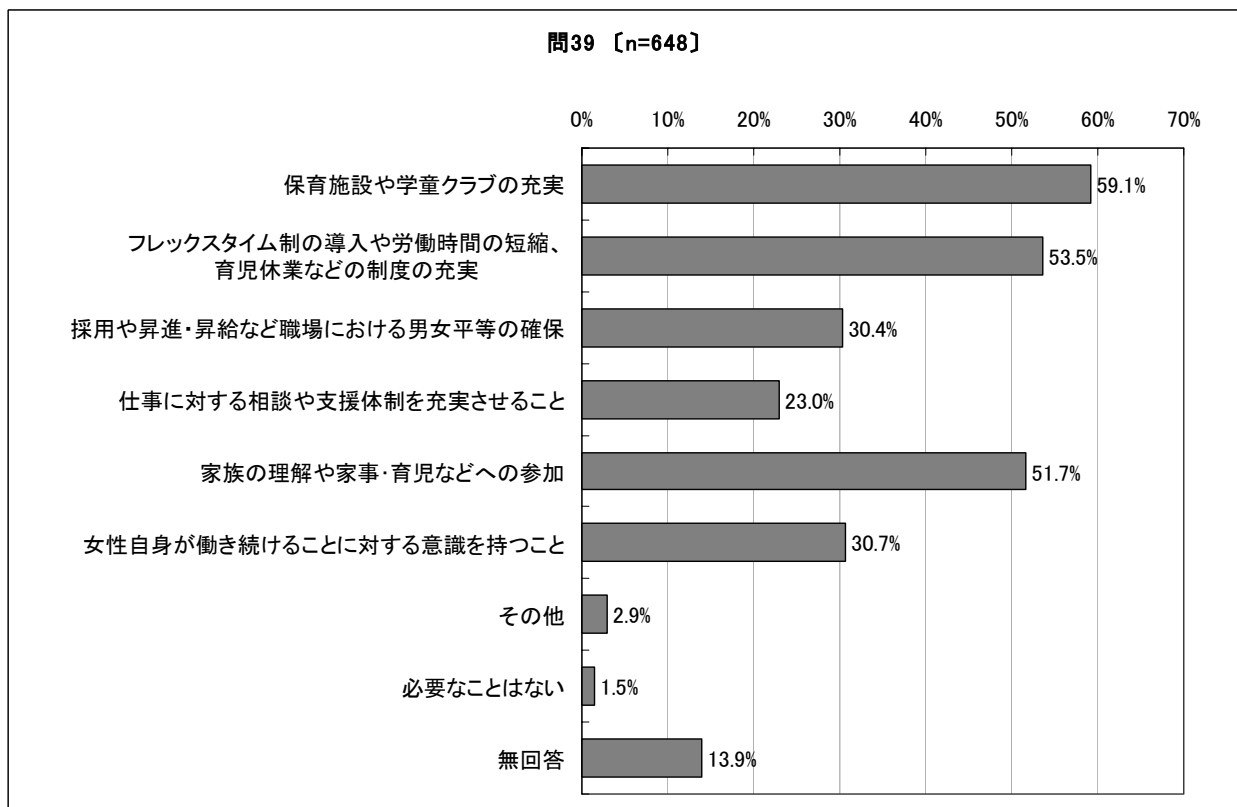
○「あてはまらない」が 30.3%と高く、次に「主に自分」が 29.3%で、以下「主に配偶者」が 16.9%となっている。

○性別では、男性は「主に配偶者」が、女性は「主に自分」が高い値となっている。

○性・年齢別では、女性は、「主に自分」が多く、年齢が高くなると減少傾向が見られる。男性は、「主に配偶者」が多く、年齢が高くなると減少傾向となっている。

問39 あなたは、女性が結婚・出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実
- 3 採用や昇進・昇給など職場における男女平等の確保
- 4 仕事に対する相談や支援体制を充実させること
- 5 家族の理解や家事・育児などへの参加
- 6 女性自身が働き続けることに対する意識を持つこと
- 7 その他 ()
- 8 必要なことはない

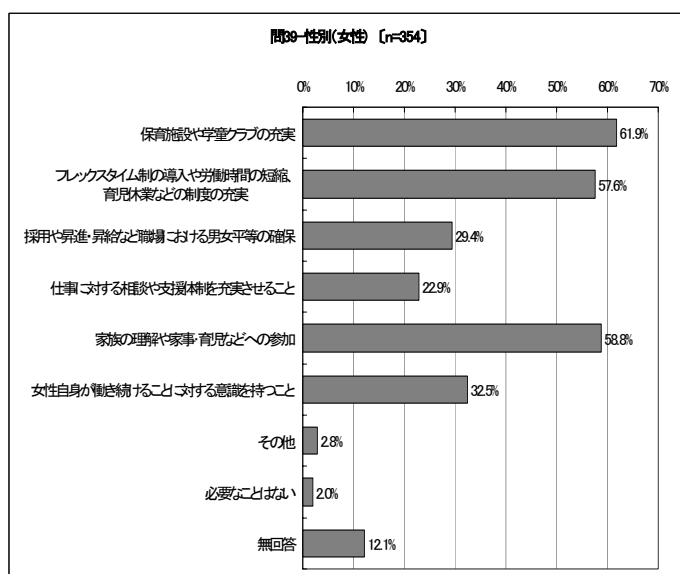
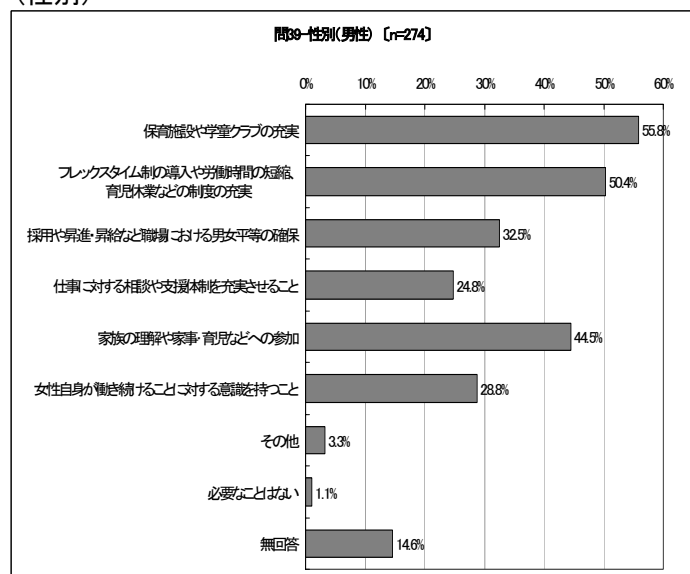


○女性が結婚・出産後も働き続けるために必要なことについては、「保育施設や学童クラブの充実」が59.1%と高く、次に「フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実」が53.5%で、以下「家族の理解や家事・育児などへの参加」が51.7%となっている。

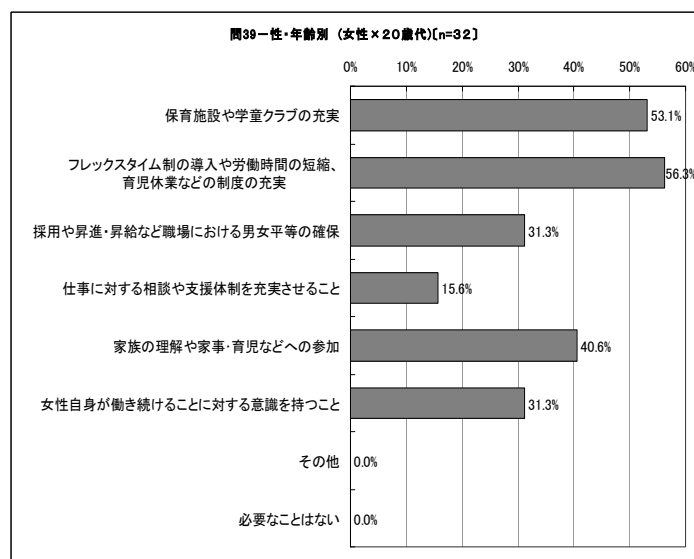
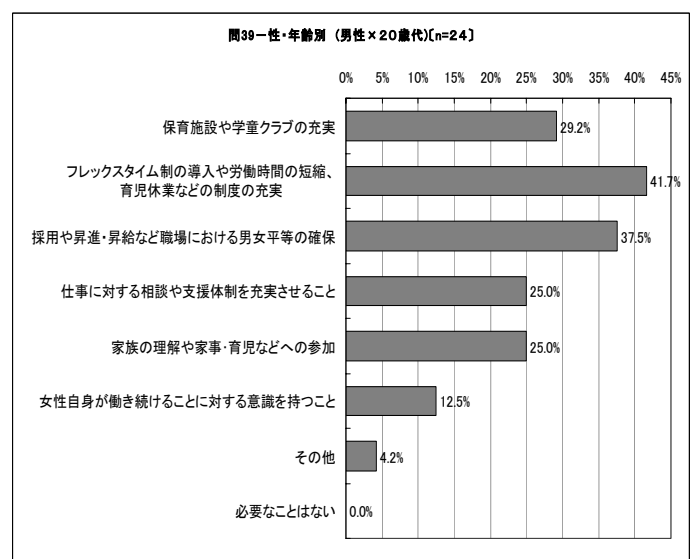
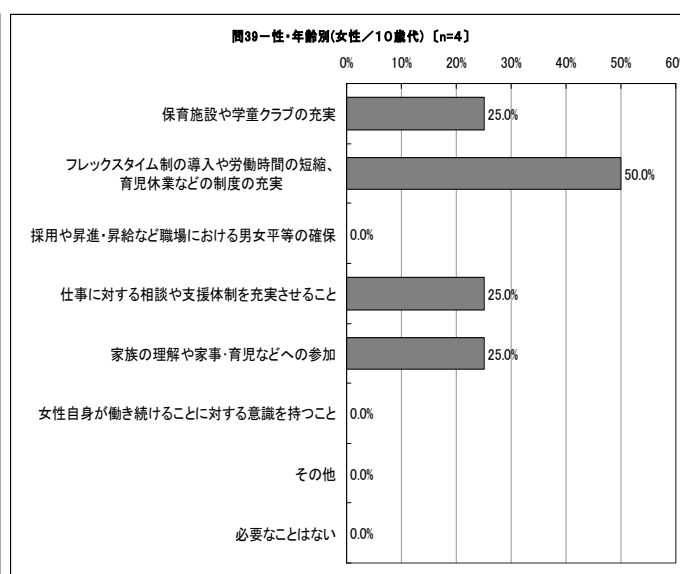
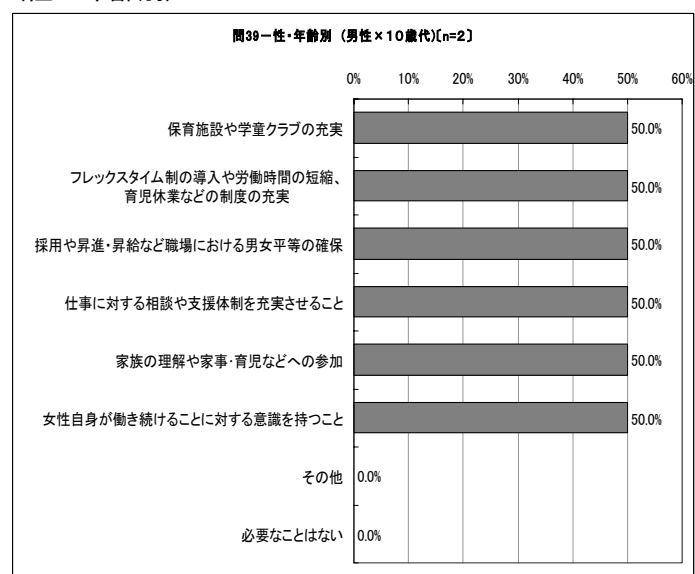
○性別では、男性・女性とも同様の傾向にあり、「保育施設や学童クラブの充実」が男性は55.8%、女性は61.9%と高い値となっている。

○性・年齢別では、女性の50歳代と60歳代、男性の60歳～64歳で「家族の理解や家事・育児などへの参加」が高い値となっている。

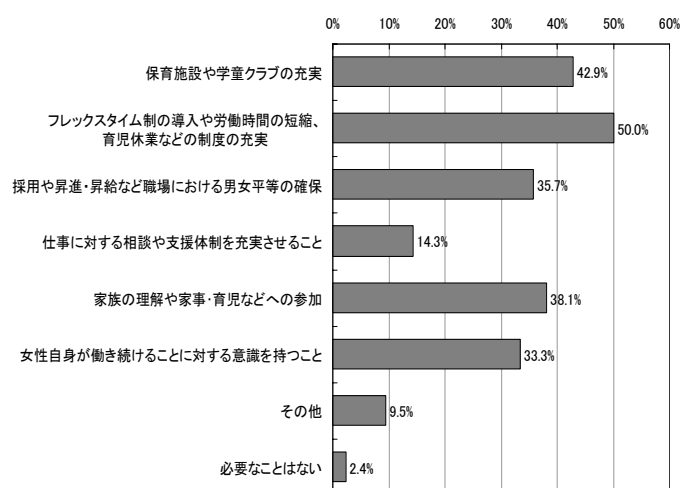
(性別)



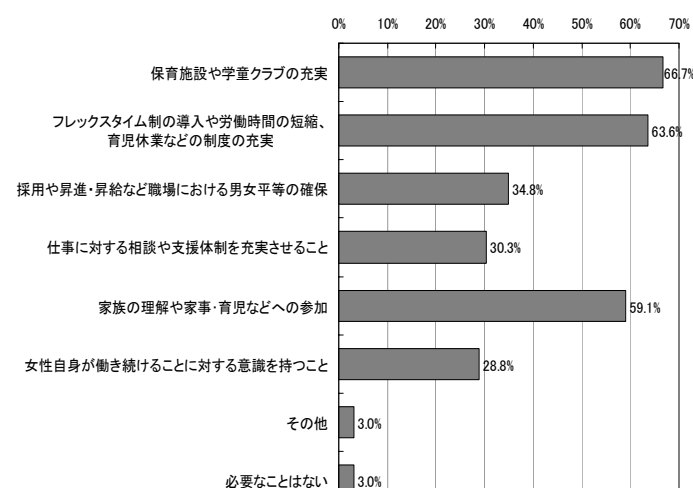
(性・年齢別)



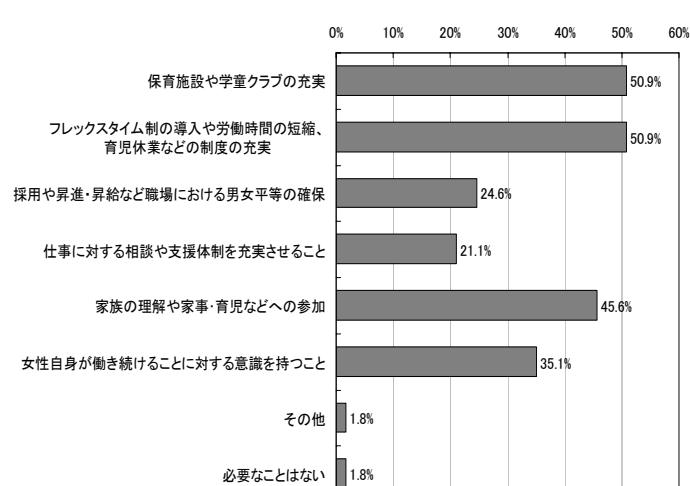
問39-性・年齢別（男性×30歳代）[n=42]



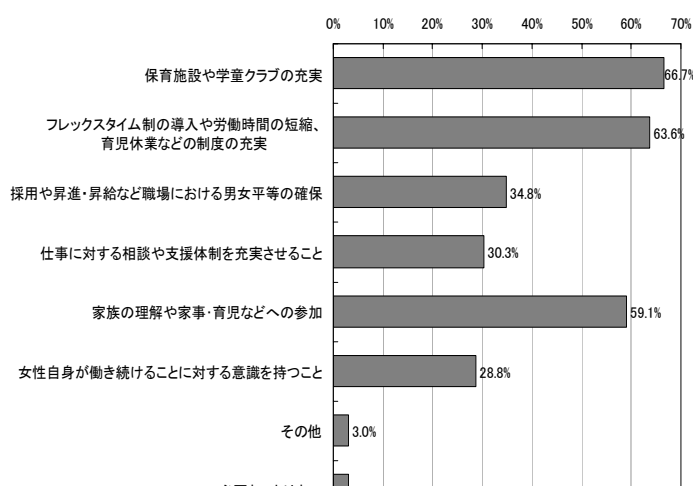
問39-性・年齢別（女性×30歳代）[n=57]



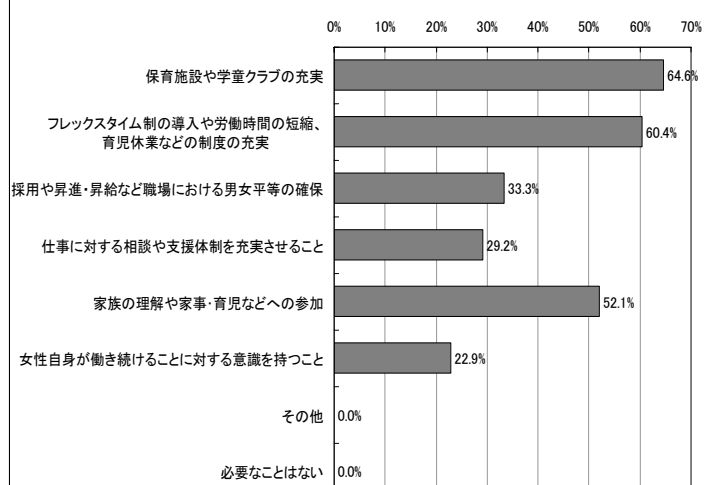
問39-性・年齢別（男性×40歳代）[n=57]



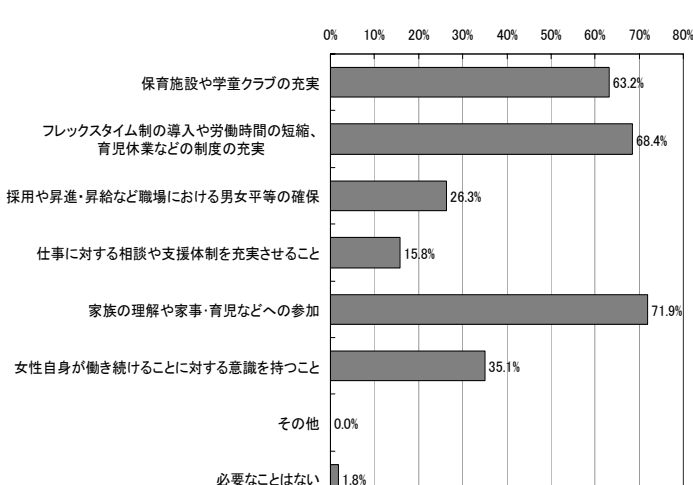
問39-性・年齢別（女性×40歳代）[n=66]



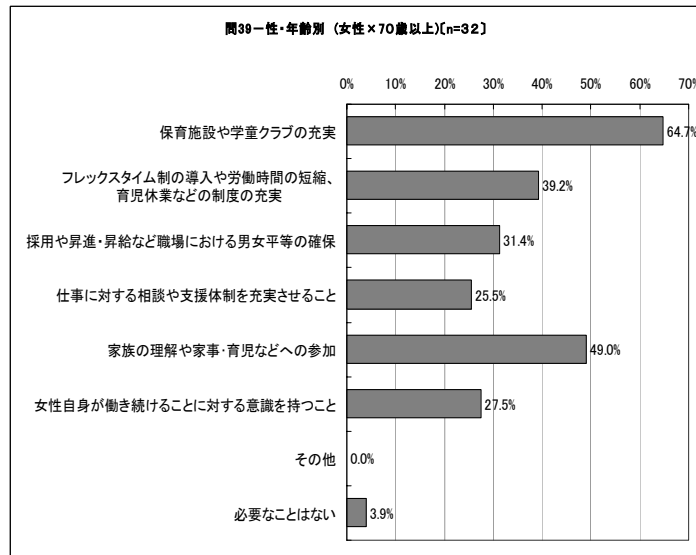
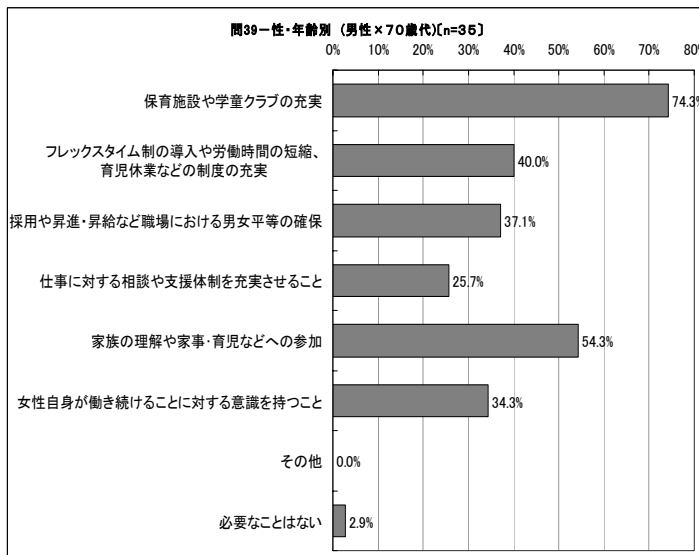
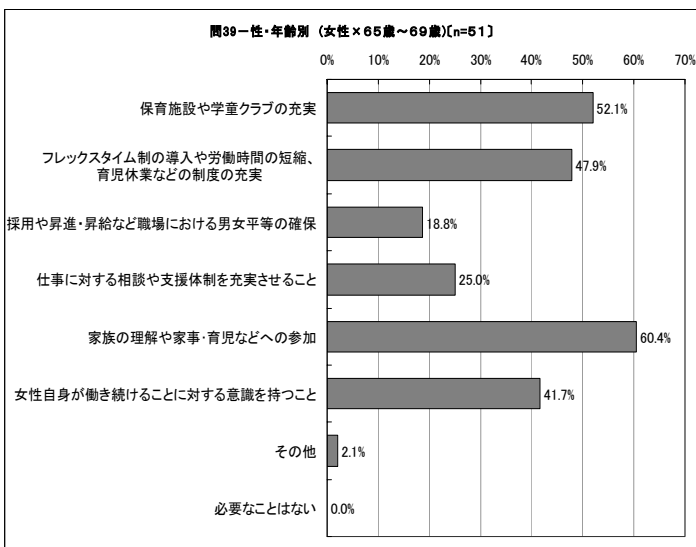
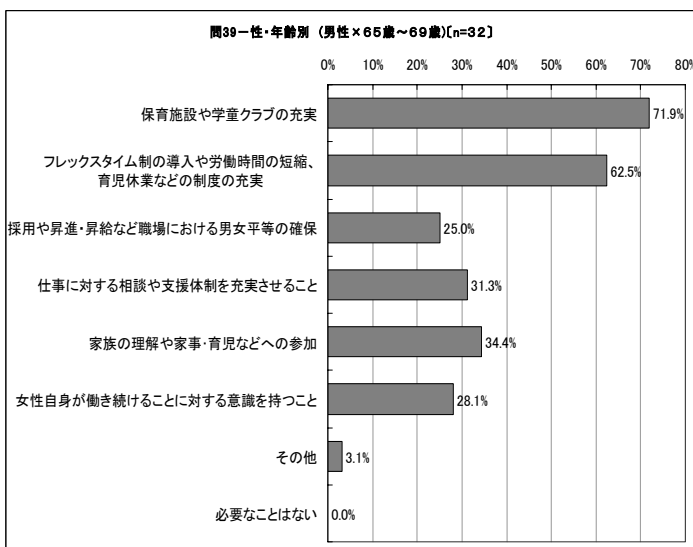
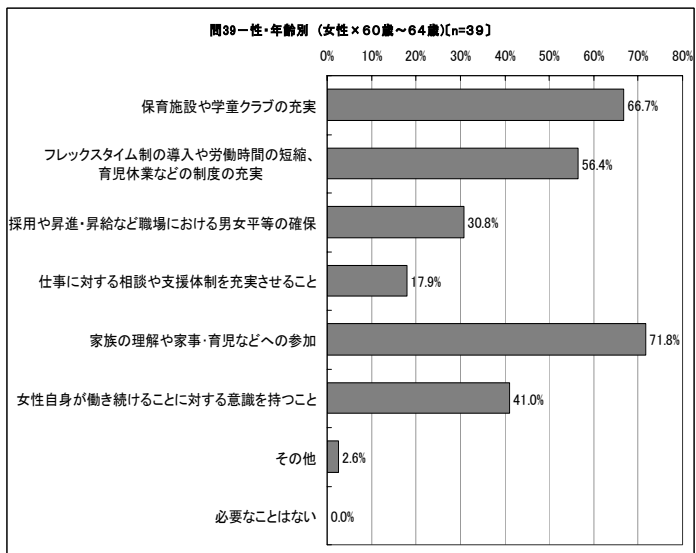
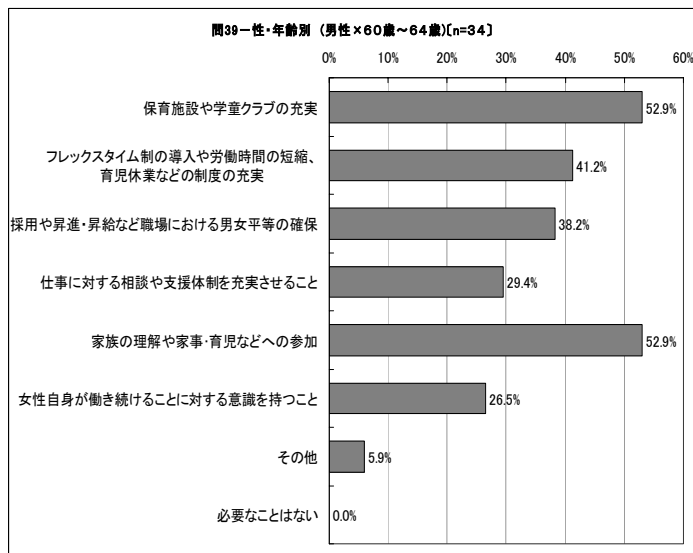
問39-性・年齢別（男性×50歳代）[n=48]



問39-性・年齢別（女性×50歳代）[n=57]

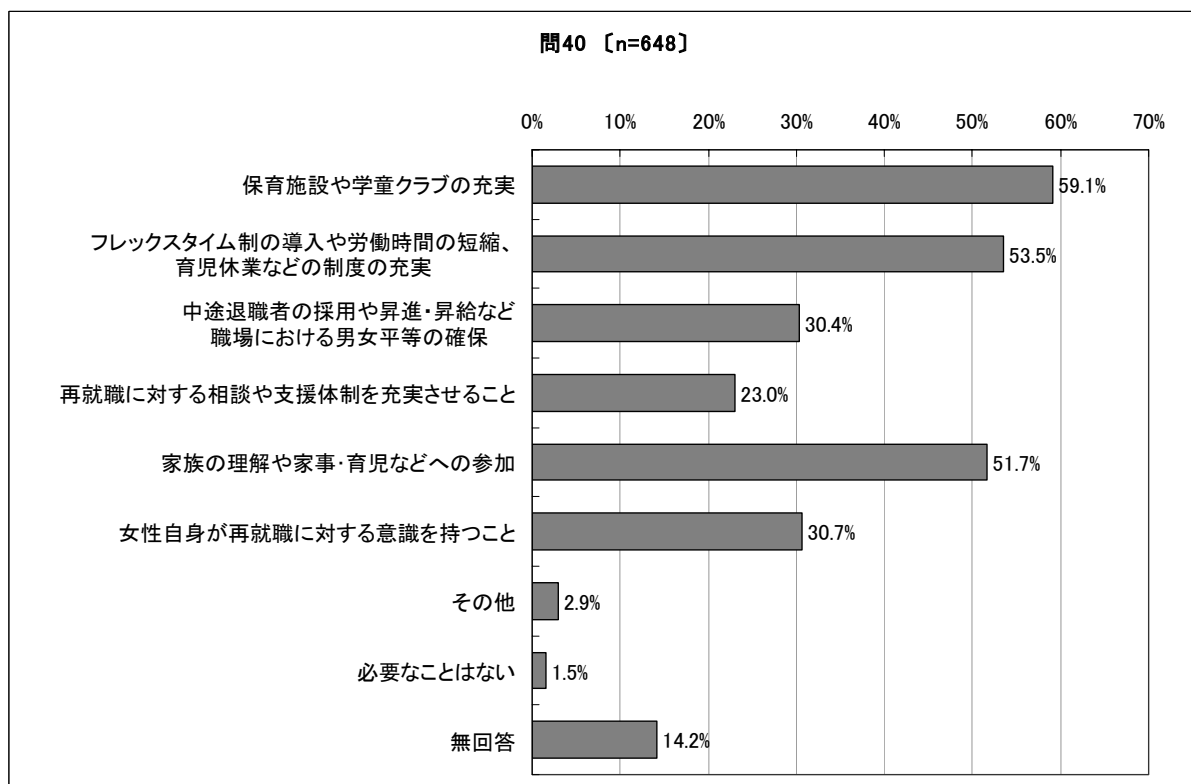


第3章 市民意識調査の集計結果



問40 あなたは、結婚や出産などを機会に退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実
- 3 中途退職者の採用や昇進・昇給など職場における男女平等の確保
- 4 再就職に対する相談や支援体制を充実させること
- 5 家族の理解や家事・育児などへの参加
- 6 女性自身が再就職に対する意識を持つこと
- 7 その他 ()
- 8 必要なことはない

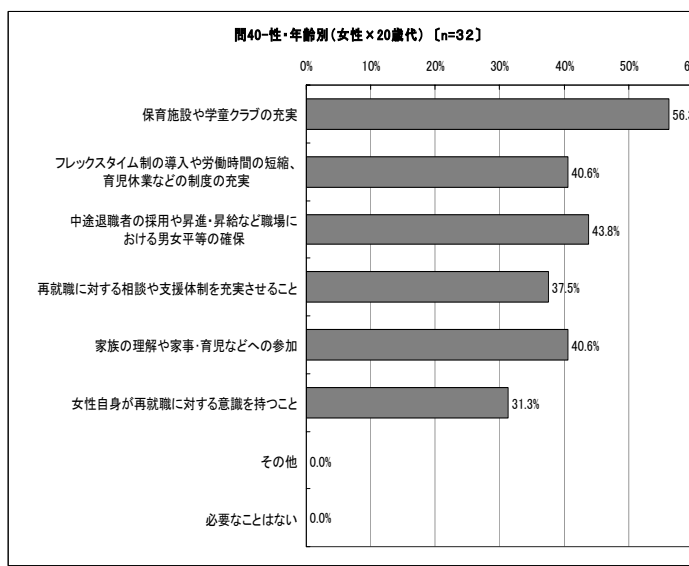
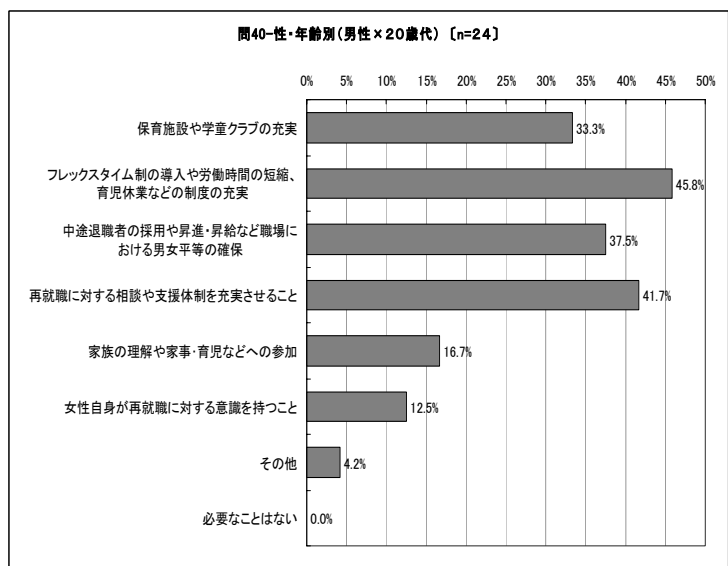
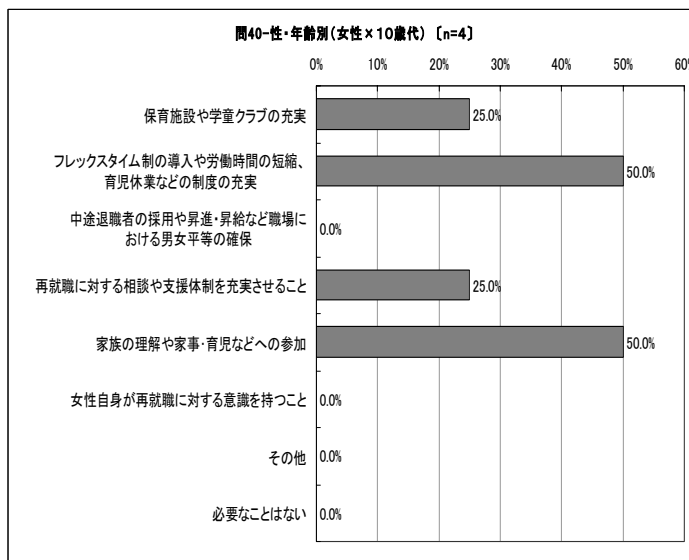
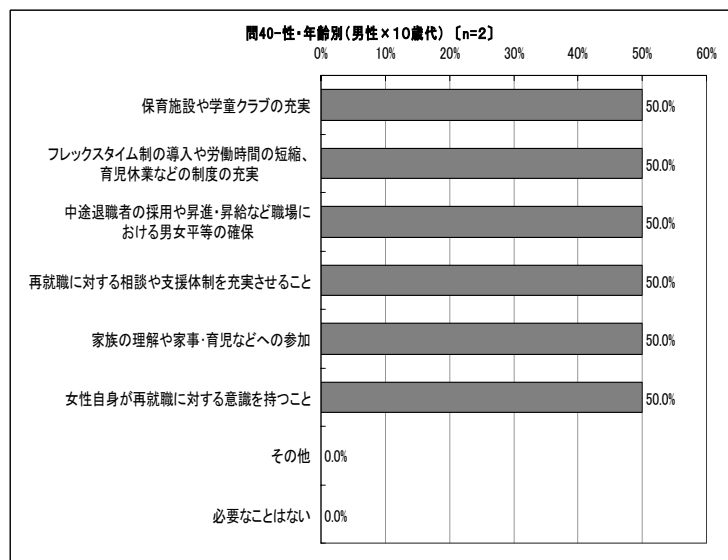
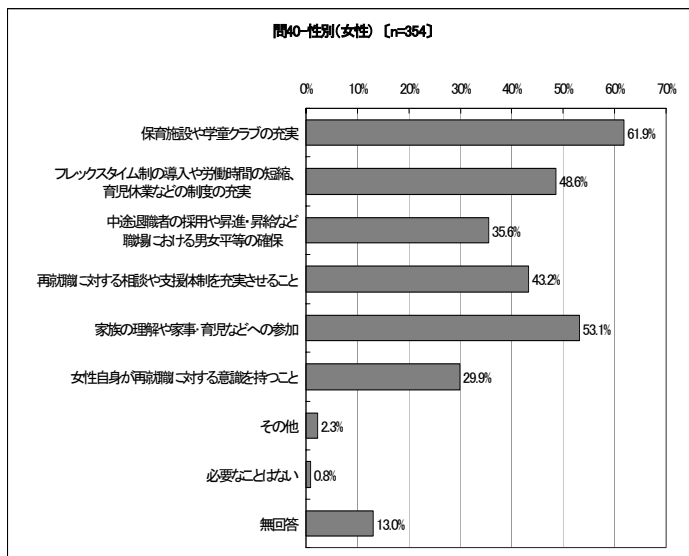
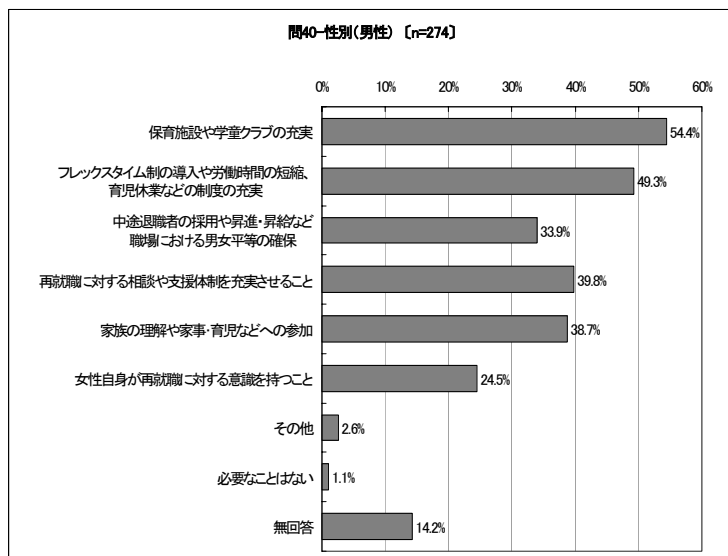


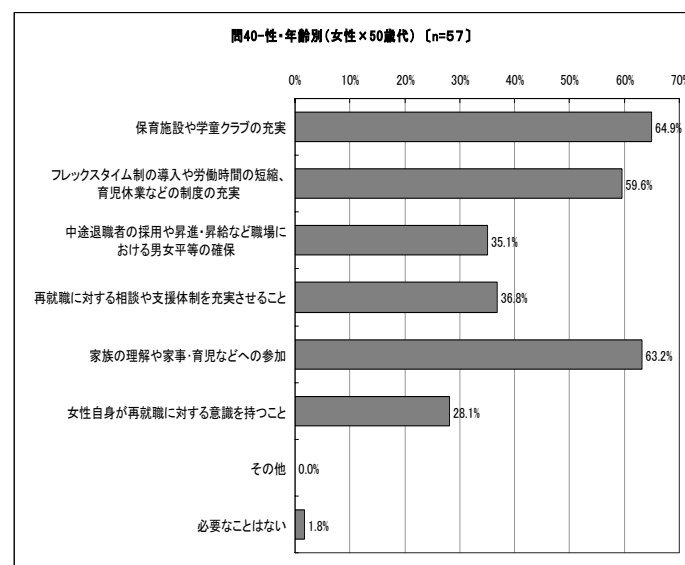
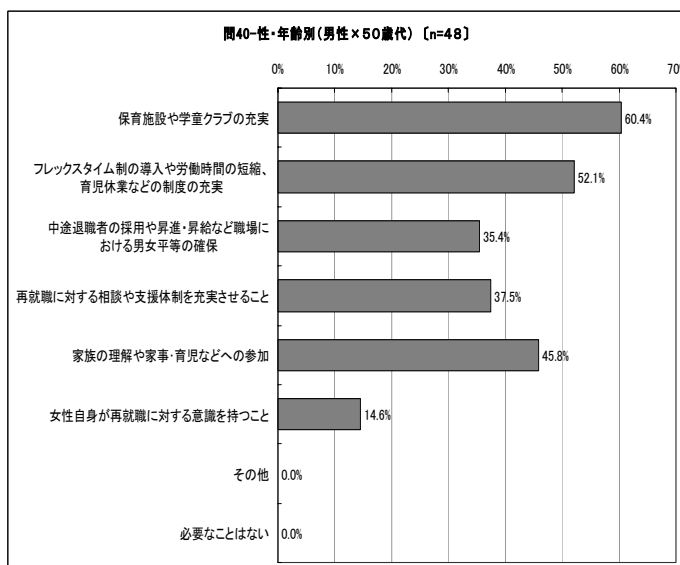
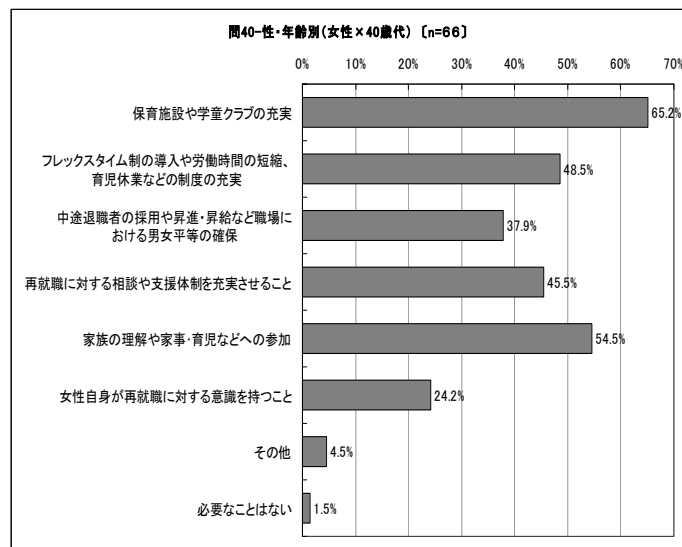
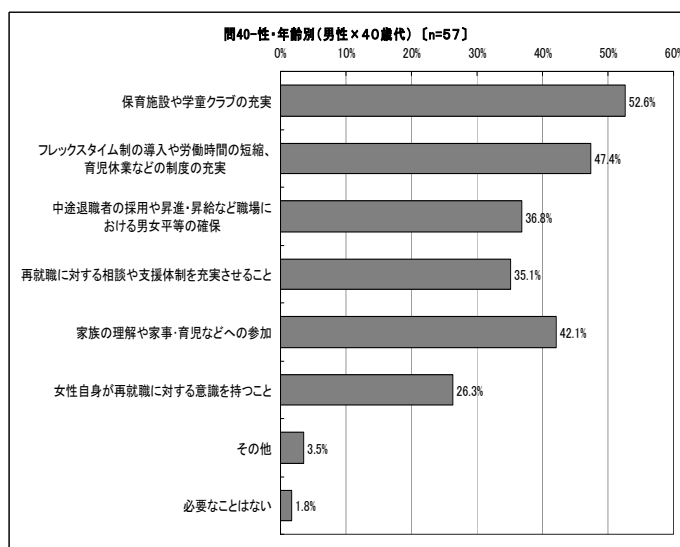
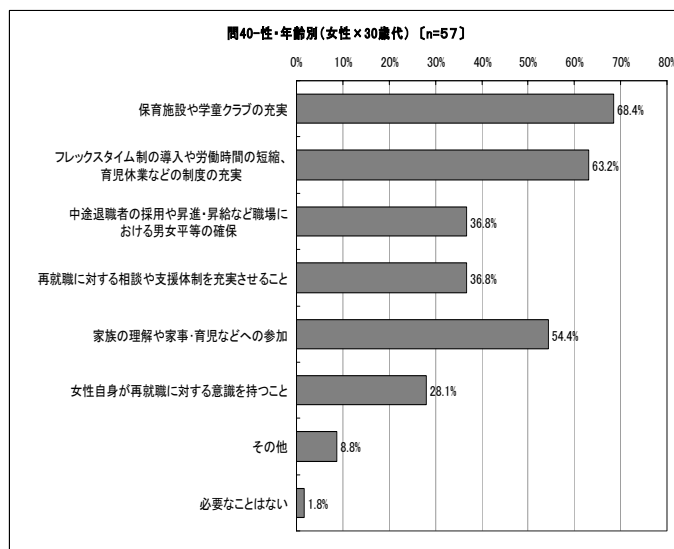
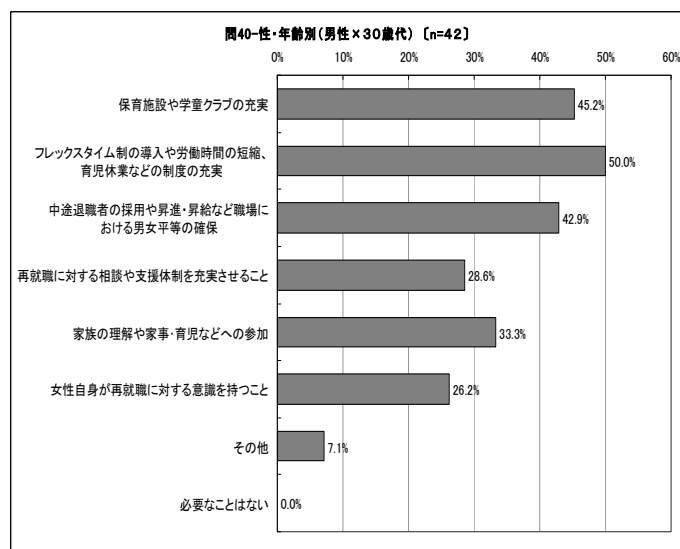
○結婚・出産後に退職した女性が再就職するために必要なことは、「保育施設や学童クラブの充実」が59.1%と高く、次に「フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実」が53.5%で、以下「家族の理解や家事・育児などへの参加」が51.7%となっている。

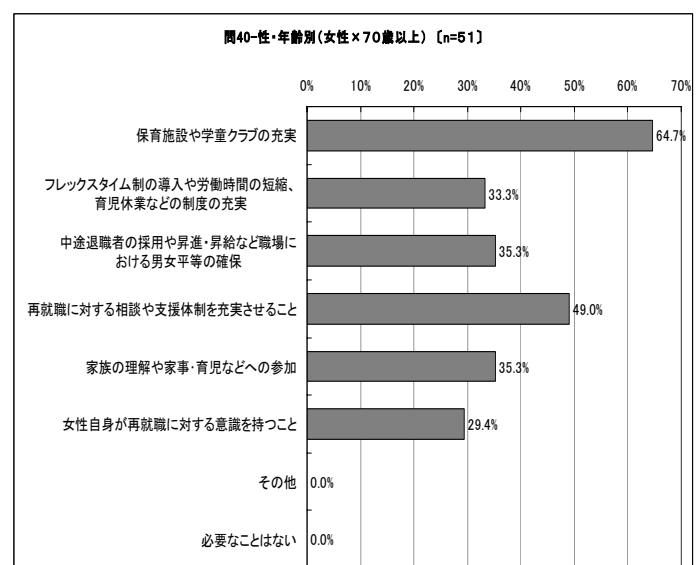
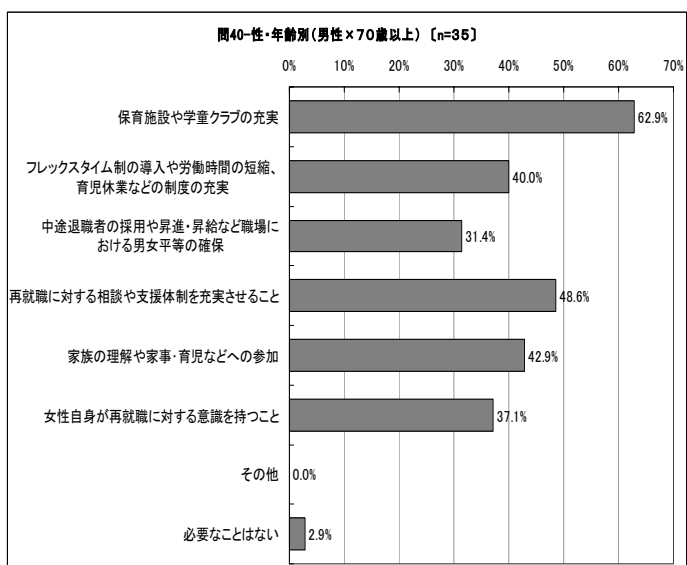
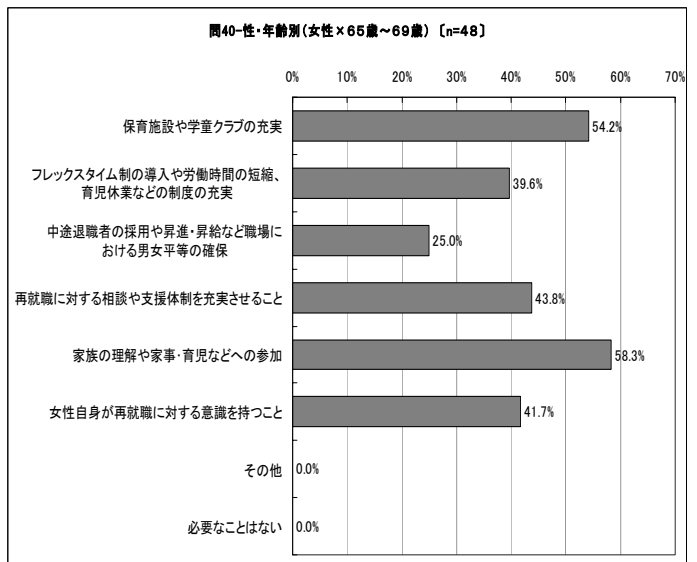
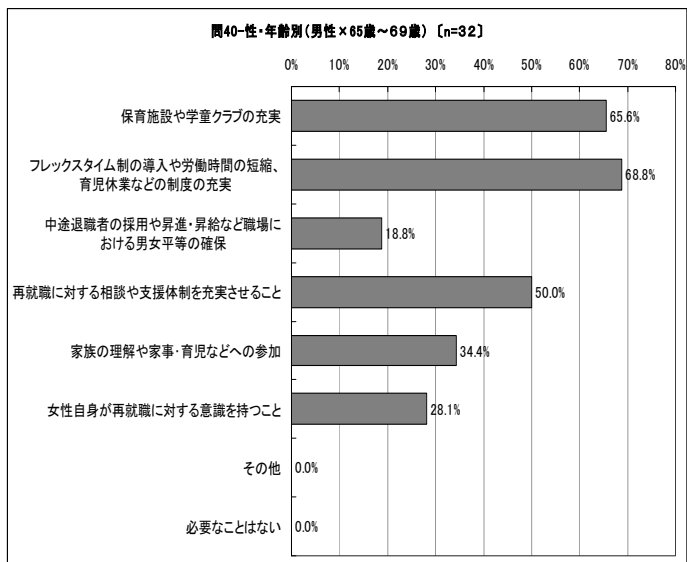
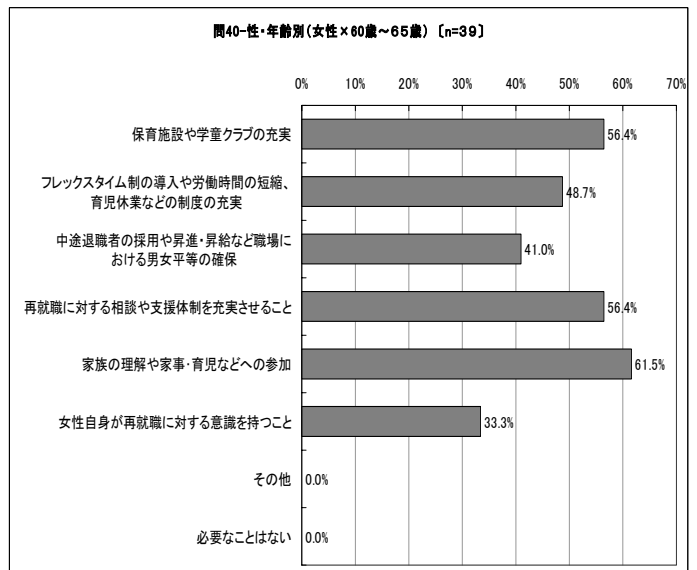
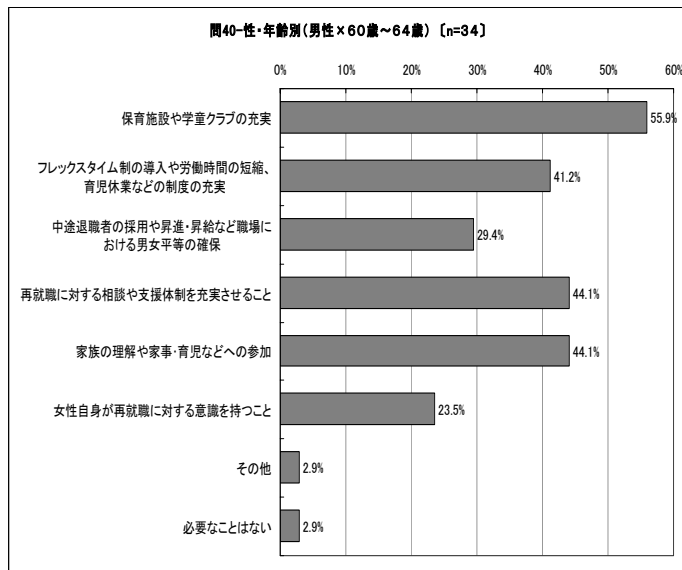
○性別では、男性・女性とも同様の傾向にあり、「保育施設や学童クラブの充実」が男性54.4%、女性61.9%と高い値となっている。

○性・年齢別では、女性の50歳代と60歳代で「家族の理解や家事・育児などへの参加」が高い値となっている。

(性別)







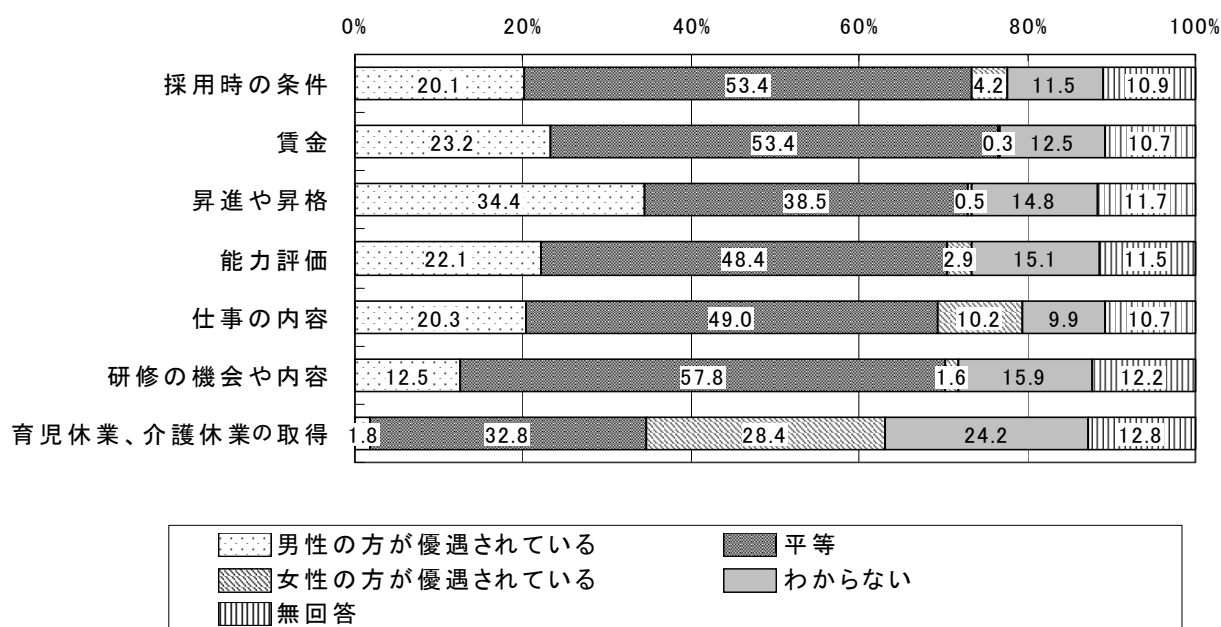
【現在働いている方のみお答えください】

問41 あなたの職場では次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が優遇されている	平等	女性の方が優遇されている	わからない
ア 採用時の条件	1	2	3	4
イ 賃金	1	2	3	4
ウ 昇進や昇格	1	2	3	4
エ 能力評価	1	2	3	4
オ 仕事の内容	1	2	3	4
カ 研修の機会や内容	1	2	3	4
キ 育児休業、介護休業の取得	1	2	3	4

問41 [n=384]



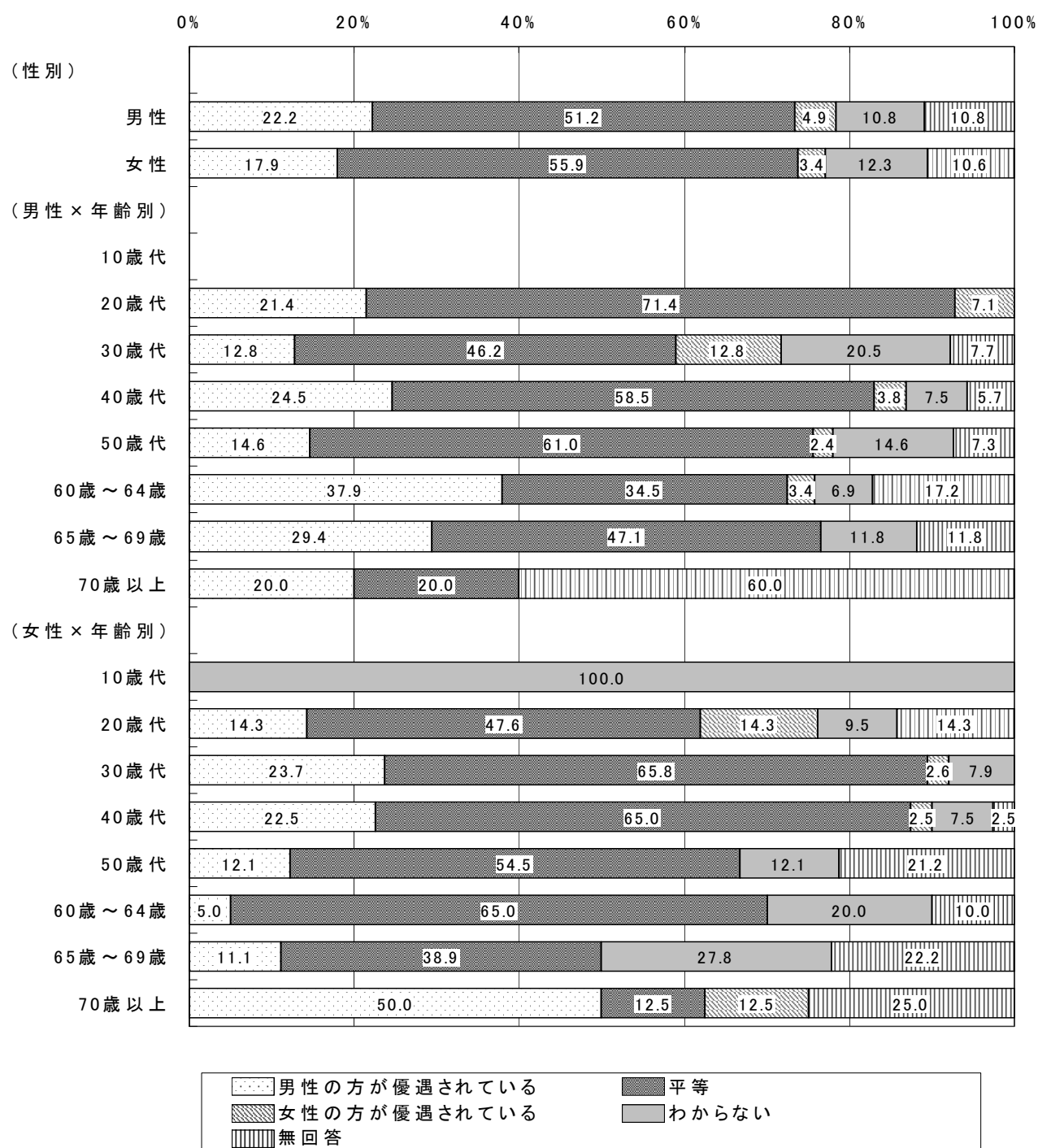
○職場における男女平等については、「男性が優遇」では「昇進や昇格」が 34.4%と高く、次に「賃金」が 23.2%で、以下「能力評価」22.1%となっている。

○「平等」では、「研修の機会や内容」が 57.8%と高く、次に「採用時の条件」と「賃金」が 53.4%で、以下「仕事の内容」が 49.0%となっている。

○「女性が優遇」では、「育児休業、介護休業の取得」が 28.4%と高く、次に「仕事の内容」10.2%となっている。

○項目別においても、「平等」が高く、次に「男性が優遇」と同様の傾向となっている。

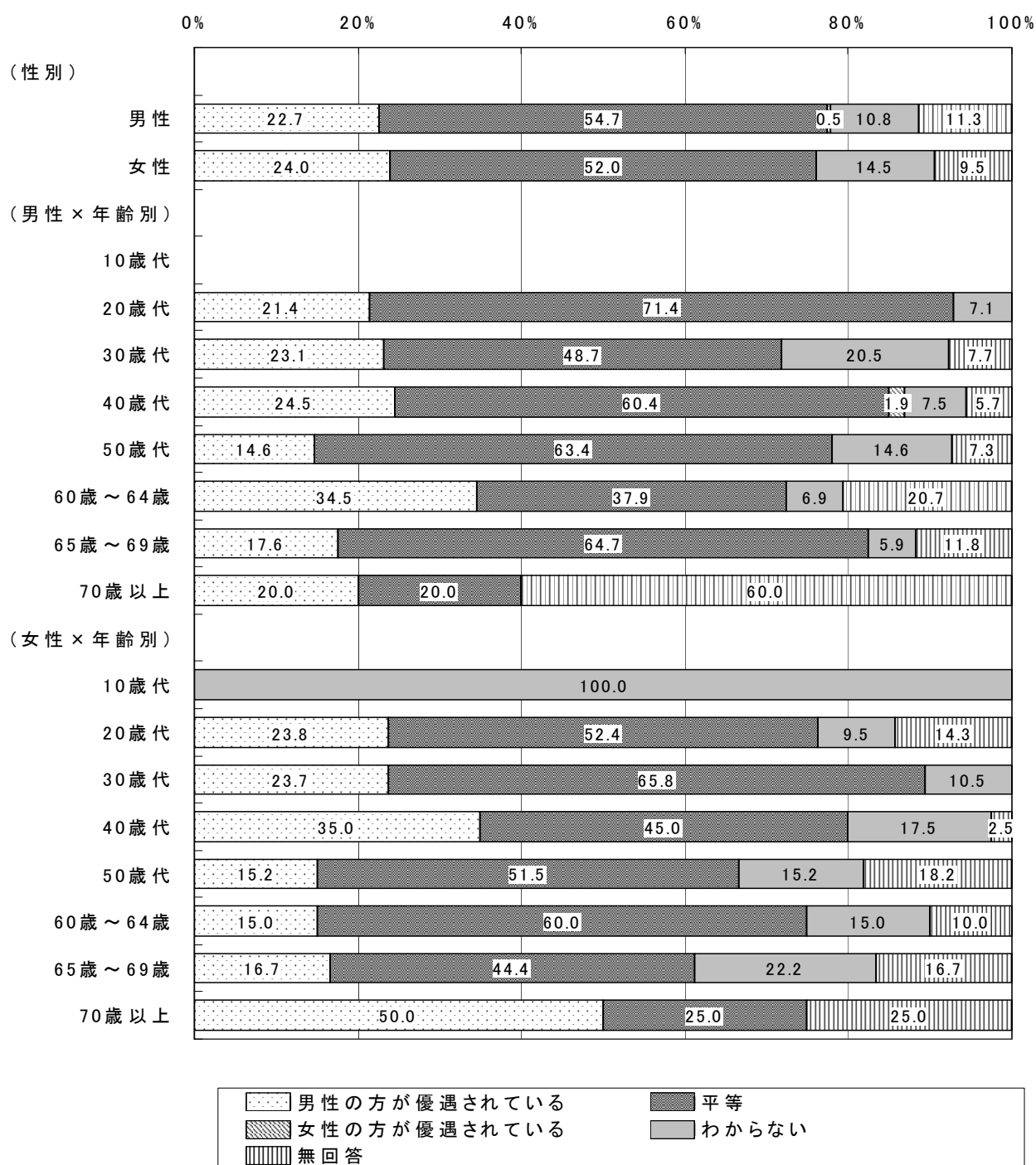
問4 1－採用時の条件



○性別では、男性・女性とも同じ傾向である。男性の年齢別では、「平等」が高い値となっているが、「男性が優遇」では、60歳～64歳が37.9%と高い値となっている。

○性・年齢別では、女性の年齢別でも男性と同様の傾向にあるが「男性が優遇」では、70歳以上で50%と高い値となっている。

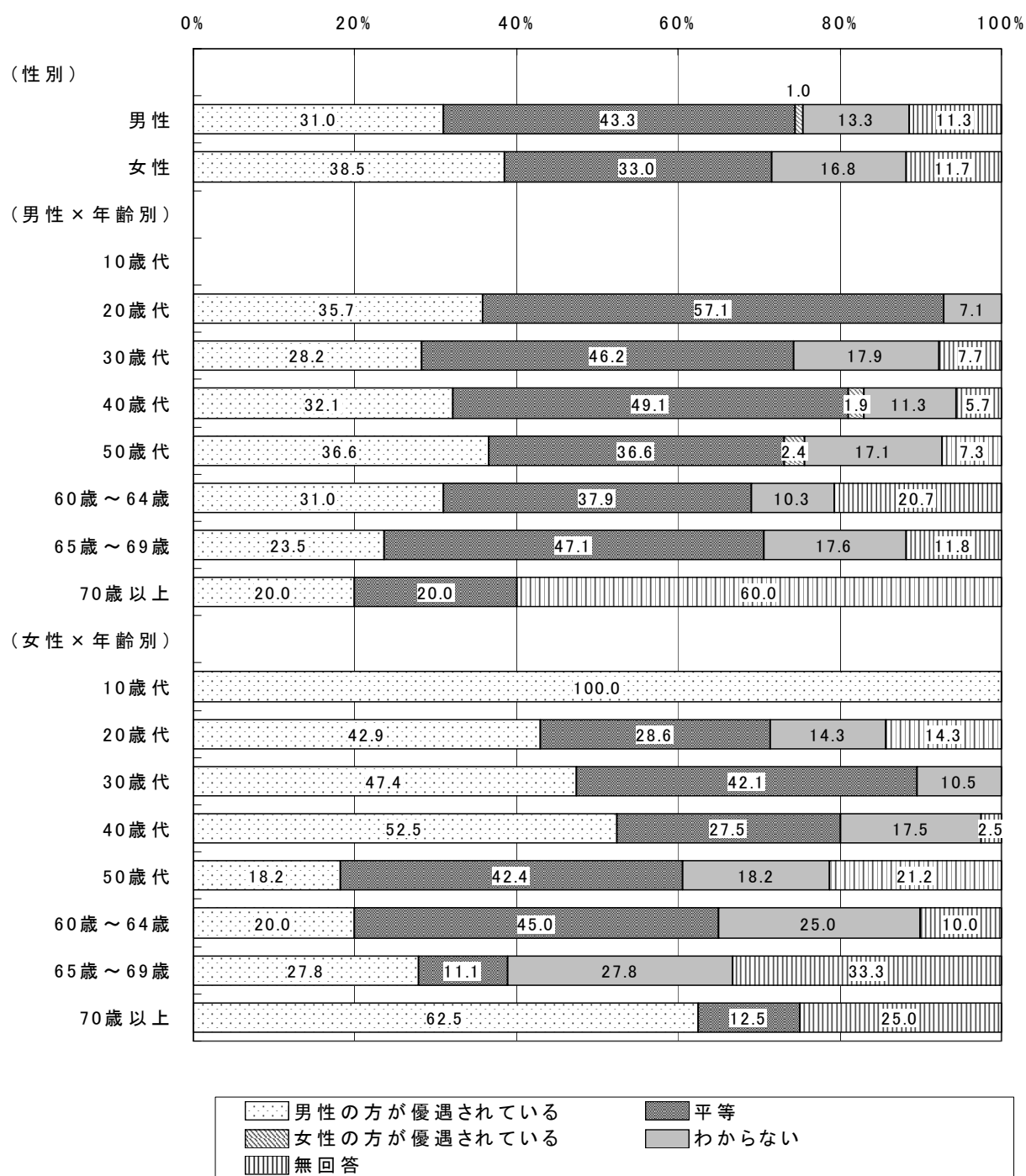
問4 1－賃金



○性別では、男性・女性とも同じ傾向となっている。

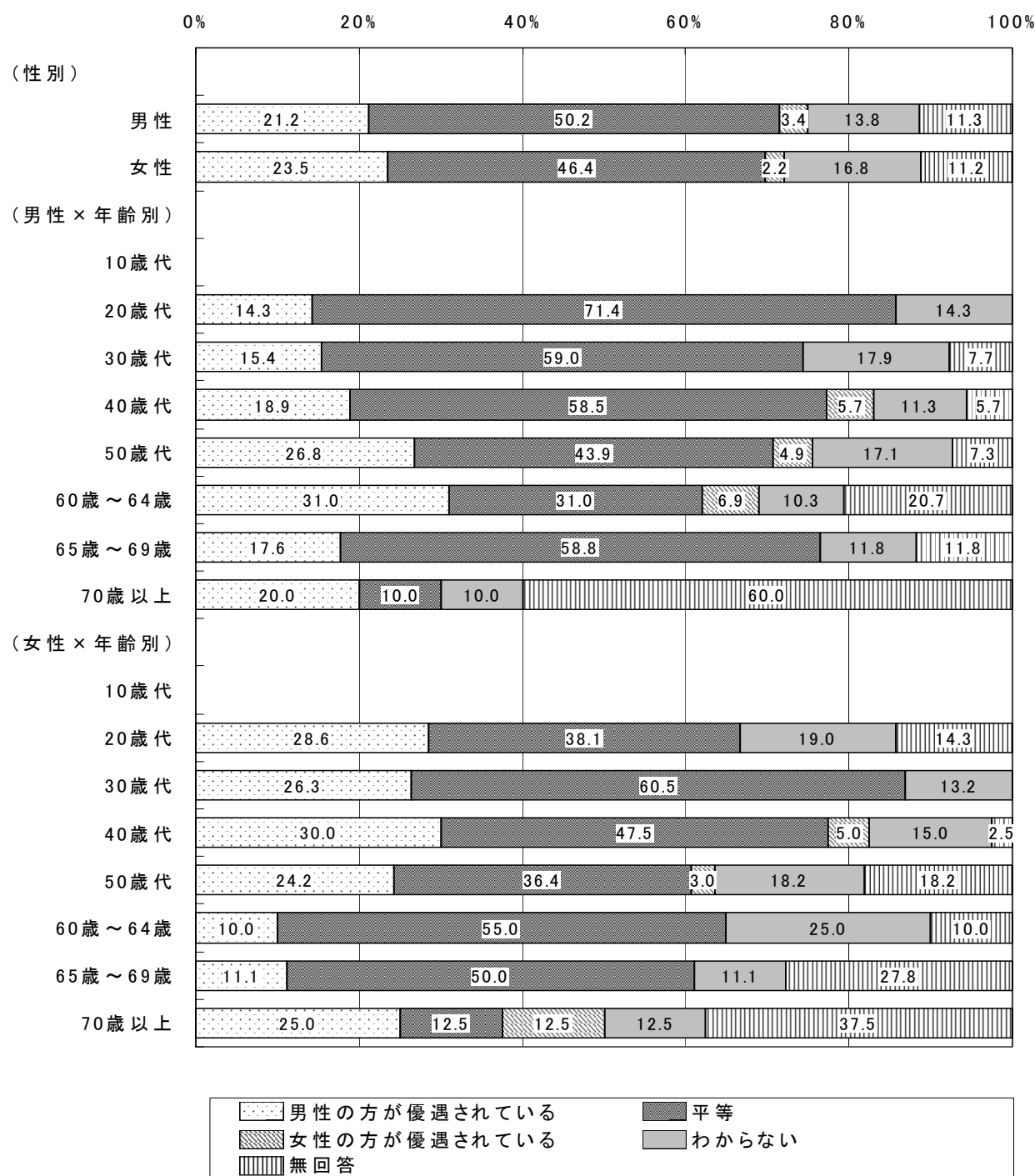
○性・年齢別の「男性が優遇」では、男性の60歳～64歳で34.5%、女性の40歳代で35.0%、70歳以上で50.0%となっている。また、「女性が優遇」とするのは男性の40歳代で1.9%となっている。

問4 1－昇進や昇格



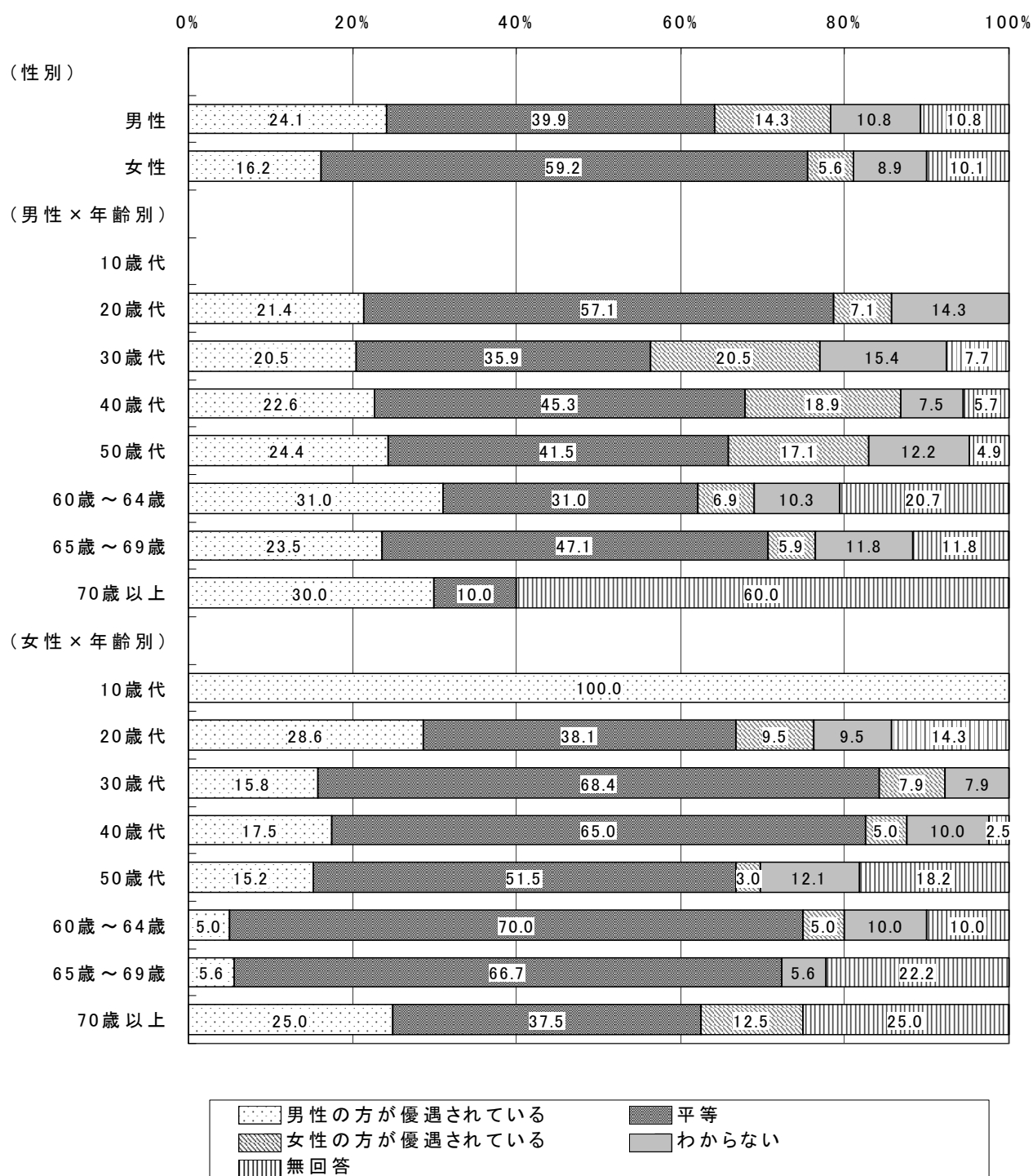
○「平等」が38.5%と高く、次に「男性が優遇」が34.4%となっている。性別では、女性の「男性が優遇」が38.5%、「平等」が33.0%となっている。性・年齢別では、男性の傾向と同様であるのに対し、女性の30歳代と50歳代及び60歳～64歳で「平等」の値が高くなっている。

問4-1 能力評価



○「平等」が48.4%と高く、次に「男性が優遇」が22.1%となっている。性別では、男性・女性とも同じ傾向となっている。性・年齢別では、「男性が優遇」が多くの年代で20～30%台となっているが、男性の20歳代～40歳代と65歳～69歳、女性の60歳～64歳と65歳～69歳で10%台となっている。

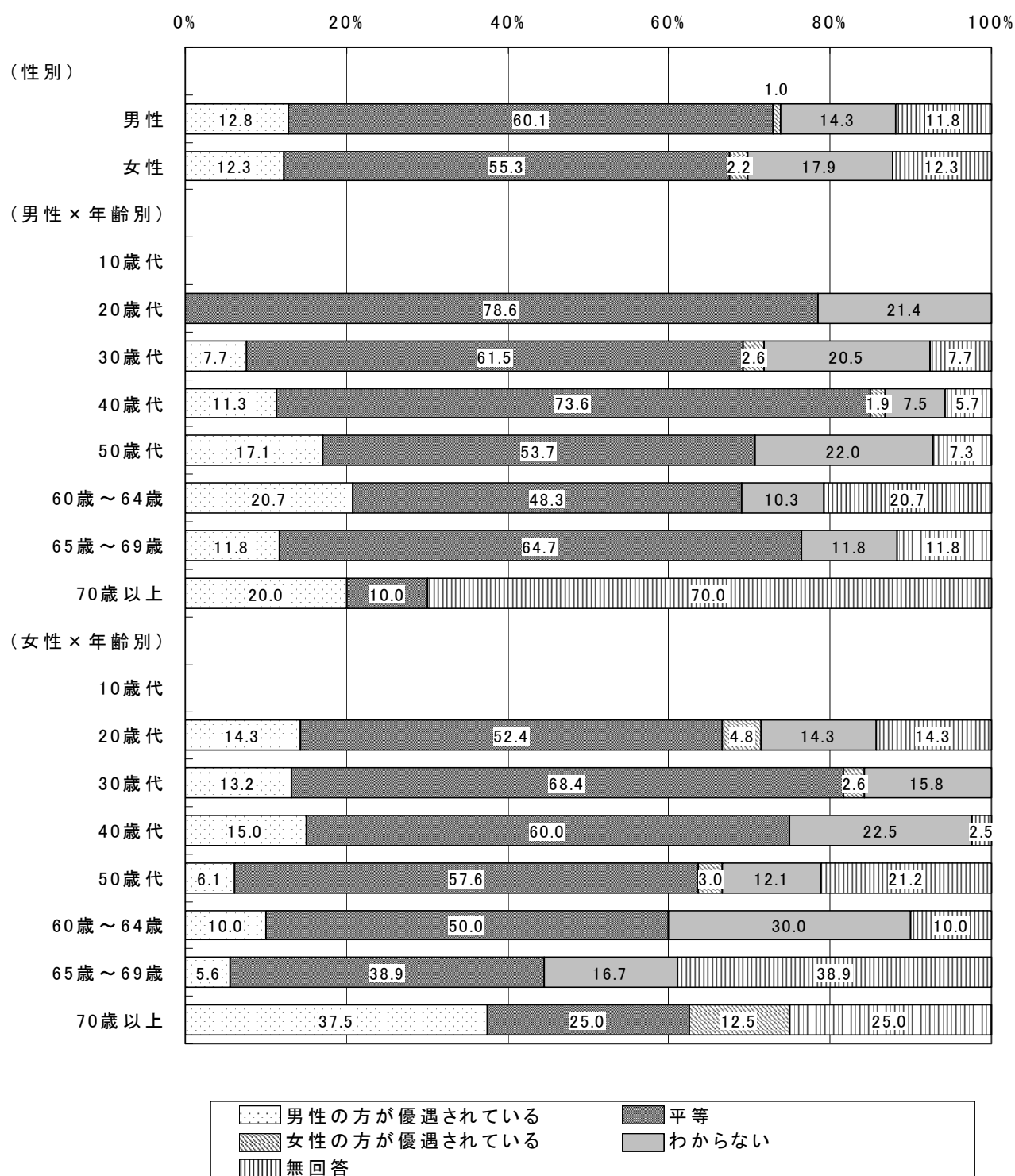
問4 1－仕事の内容



○性別では、男性は「女性が優遇」が14.3%と女性の約3倍近い値となっている。

○性・年齢別では、男性の30歳代～50歳代で「女性が優遇」が約20%弱となっている。女性の60歳～69歳では「男性が優遇」が5%台と低い値となっている。

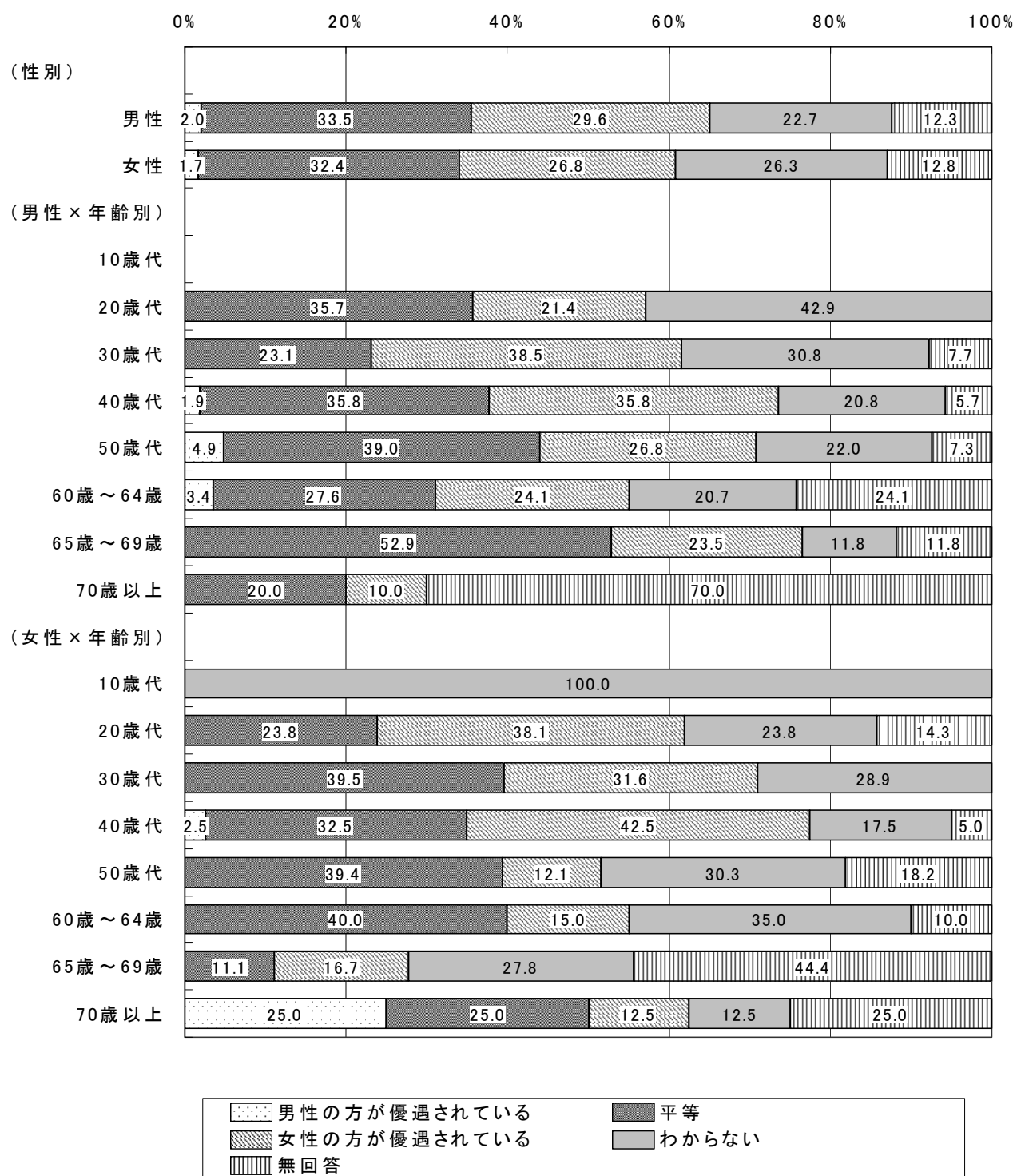
問4 1－研修の機会や内容



○性別では、男性・女性とも同じ傾向となっている。

○性・年齢別で、女性の70歳以上では「男性優遇」が37.5%と高い値を示している。

問41－育児休業、介護休業の取得



○性別では、男性・女性とも「平等」と「女性優遇」が同じ傾向となっている。

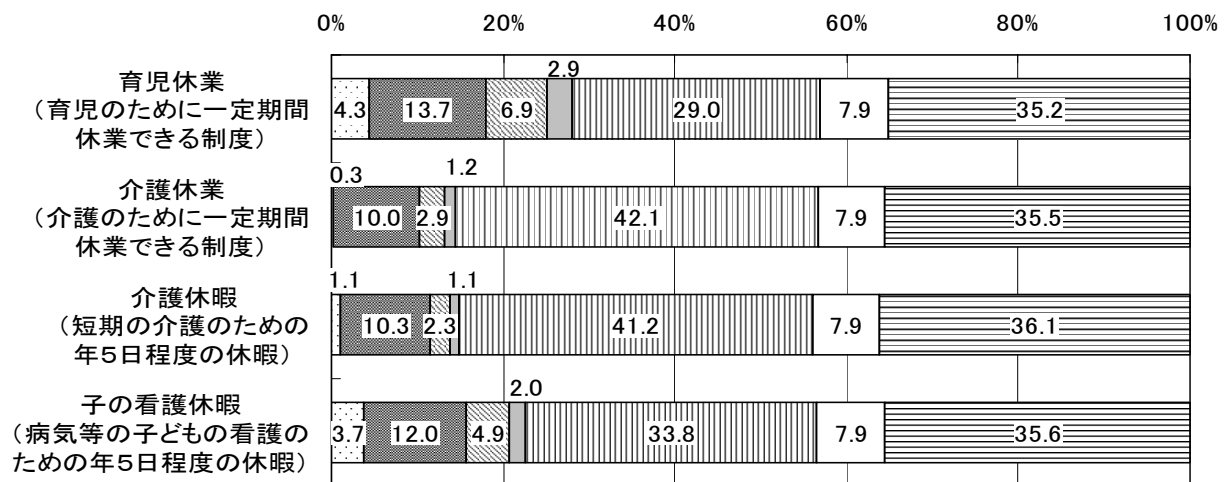
○性・年齢別で、女性の50歳代と60歳～64歳では「女性優遇」が低い値を示しており、女性の70歳以上では「男性優遇」が25.0%と高い値を示している。

問42 あなたは、育児休業・介護休業・介護休暇・子の看護休暇を取得したことがありますか。

(〇はそれぞれ1つ)

	取得したことがある	取得したことがない (取得したことがない理由を下の欄から選んでください)			在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった	働いたことがない
		職場にそのような休業・休暇の制度がなかった	在職中に育児・介護をしたが、休業・休暇を取得しなくても対応できた	休業・休暇を取得したかったが、周囲の事情などにより取得できなかった		
ア 育児休業 (育児のために一定期間休業できる制度)	1	2	3	4	5	6
イ 介護休業 (介護のために一定期間休業できる制度)	1	2	3	4	5	6
ウ 介護休暇 (短期の介護のための年5日程度の休暇)	1	2	3	4	5	6
エ 子の看護休暇 (病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇)	1	2	3	4	5	6

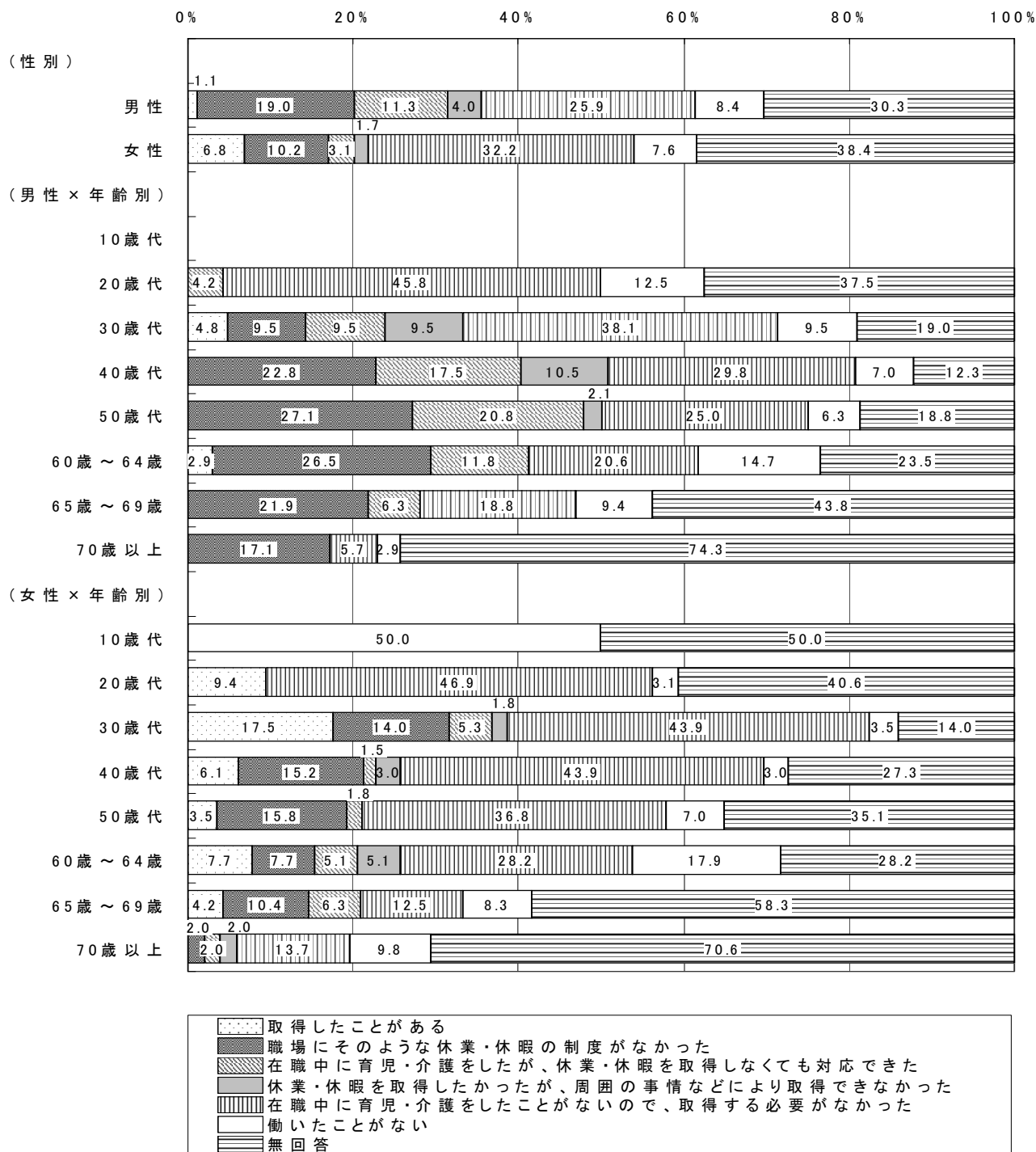
問42 [n=648]



- 取得したことがある
- 職場にそのような休業・休暇の制度がなかった
- 在職中に育児・介護をしたが、休業・休暇を取得しなくても対応できた
- 休業・休暇を取得したかったが、周囲の事情などにより取得できなかった
- 在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった
- 働いたことがない
- 無回答

- 各種休業・休暇の取得については、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」では、「介護休業」が42.1%と高く、次に「介護休暇」が41.2%で、以下「子の看護休暇」が33.8%となっている。
- 「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」では、「育児休業」が13.7%と高く、次に「子の看護休暇」が12.0%となっている。
- 育児休業については、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が29.0%と高く、次に「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」が13.7%で、以下「働いたことがない」が7.9%となっている。
- 介護休業については、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が42.1%と高く、次に「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」が10.0%、以下「働いたことがない」が7.9%となっている。
- 介護休暇については、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が41.2%と高く、次に「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」が10.3%、以下「働いたことがない」が7.9%となっている。
- 子の看護休暇については、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が33.8%と高く、次に「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」が12.0%、以下「働いたことがない」が7.9%となっている。

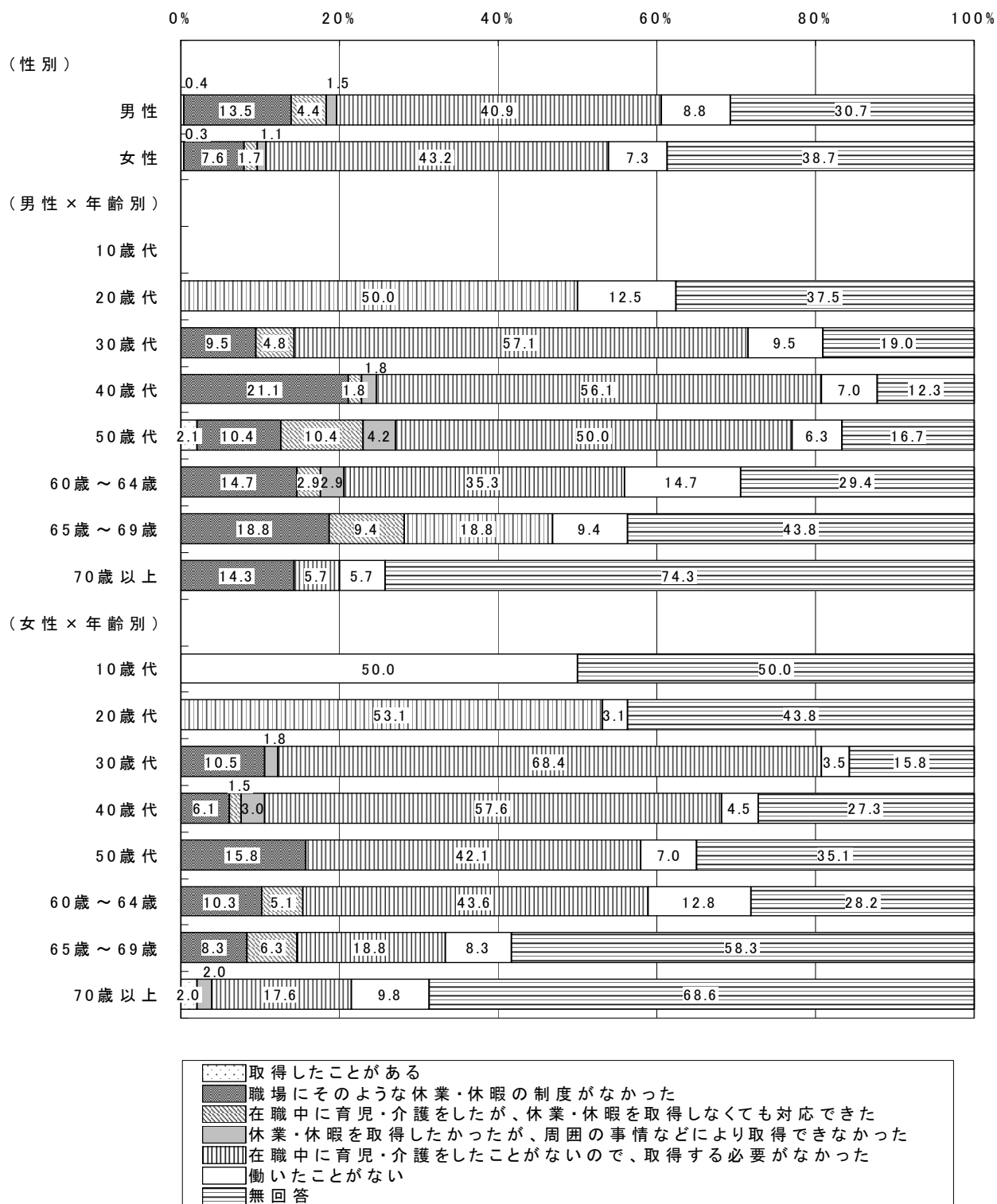
問4-2 育児休業



○性別では、男性・女性とも「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が高い傾向となっている。

○性・年齢別では、男性の40歳代～69歳で「職場にそのような休業・休暇の制度がなかった」が20%台と女性より高い値となっている。女性の20歳代～40歳代では「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」が40%台と高い値となっている。

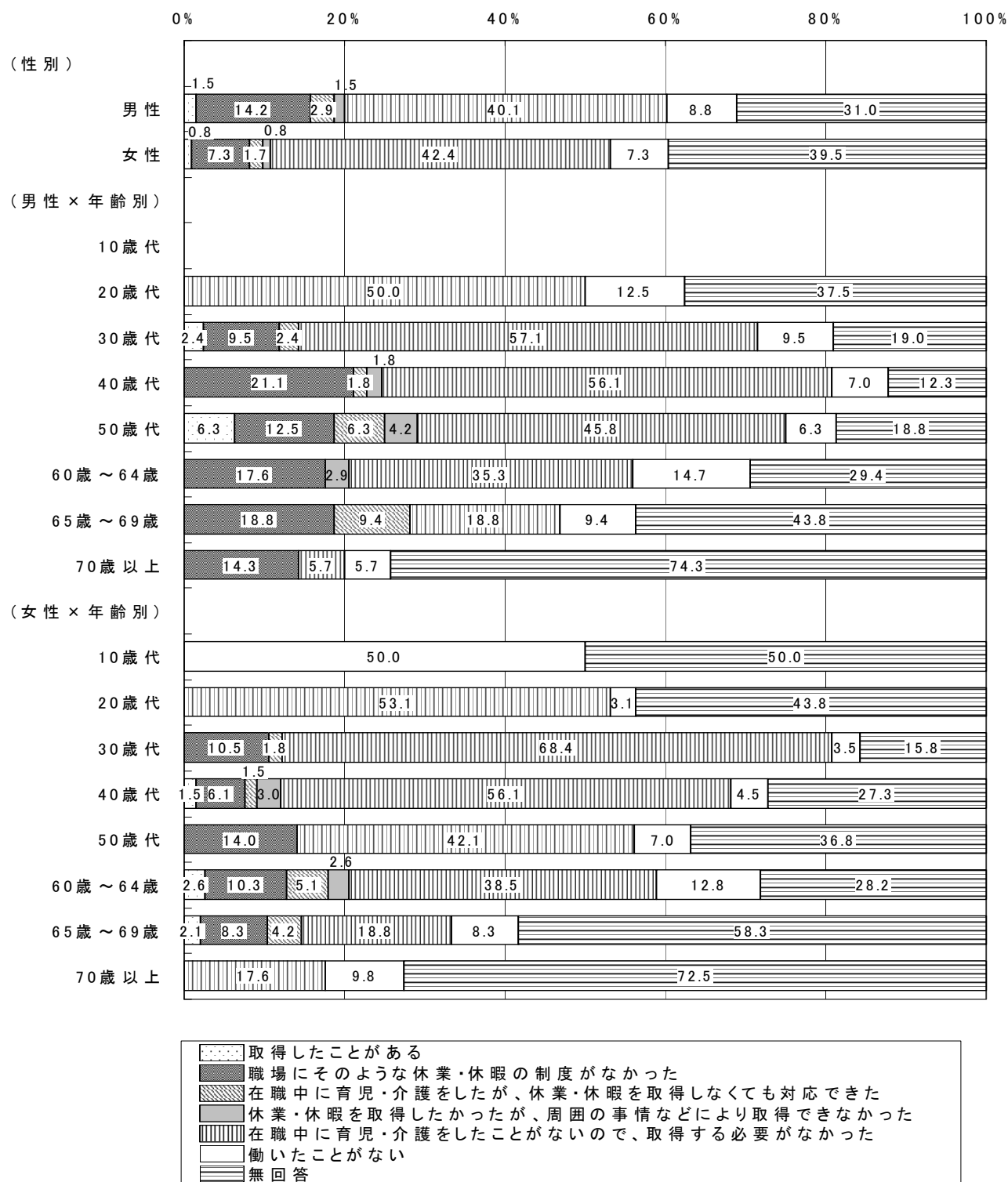
問42－介護休業



○性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○性・年齢別では、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」の年代が上がるほど減少傾向となっている。

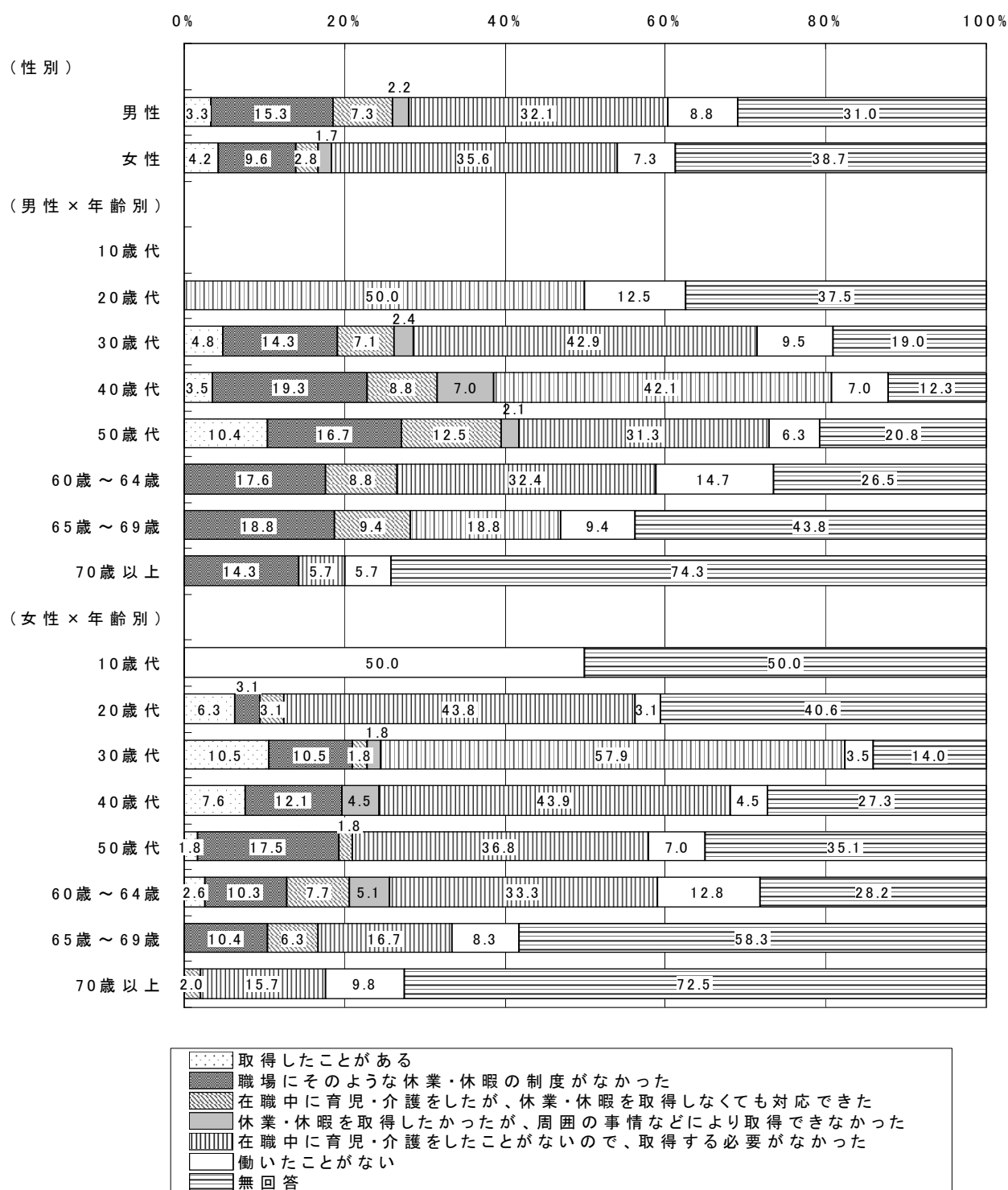
問4 2-介護休暇



○性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○性・年齢別では、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」の年代が上がるほど減少傾向になっている。

問42 一子の看護休暇

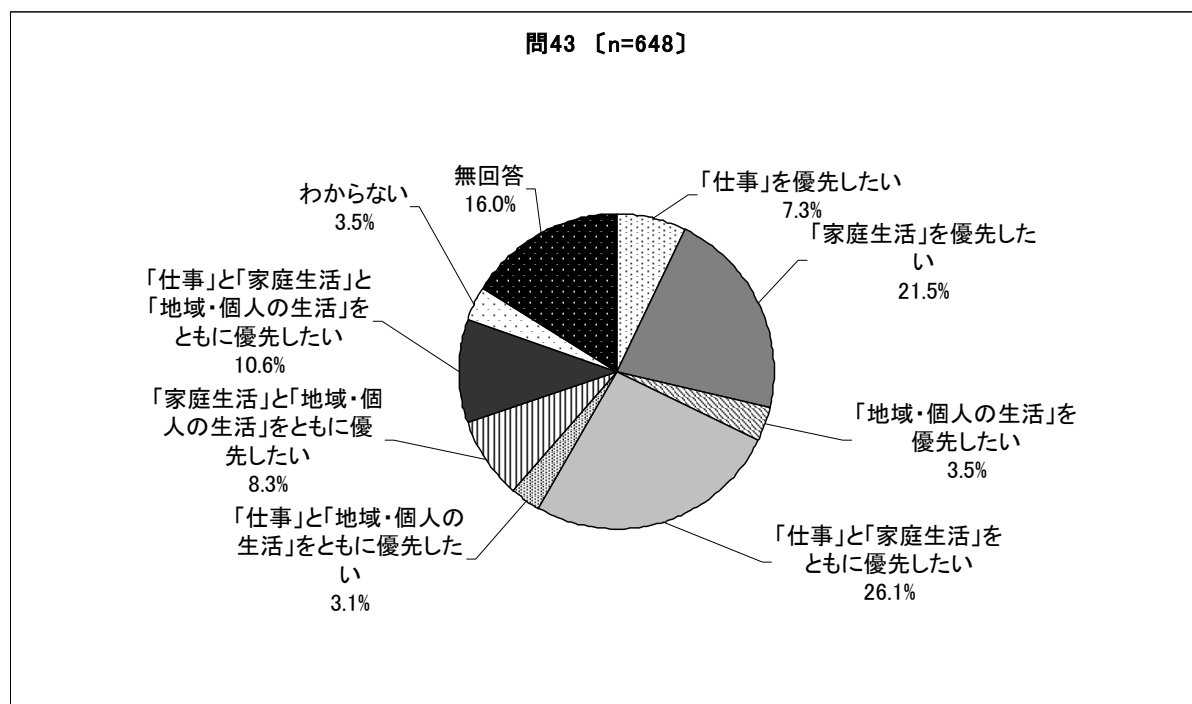


○性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

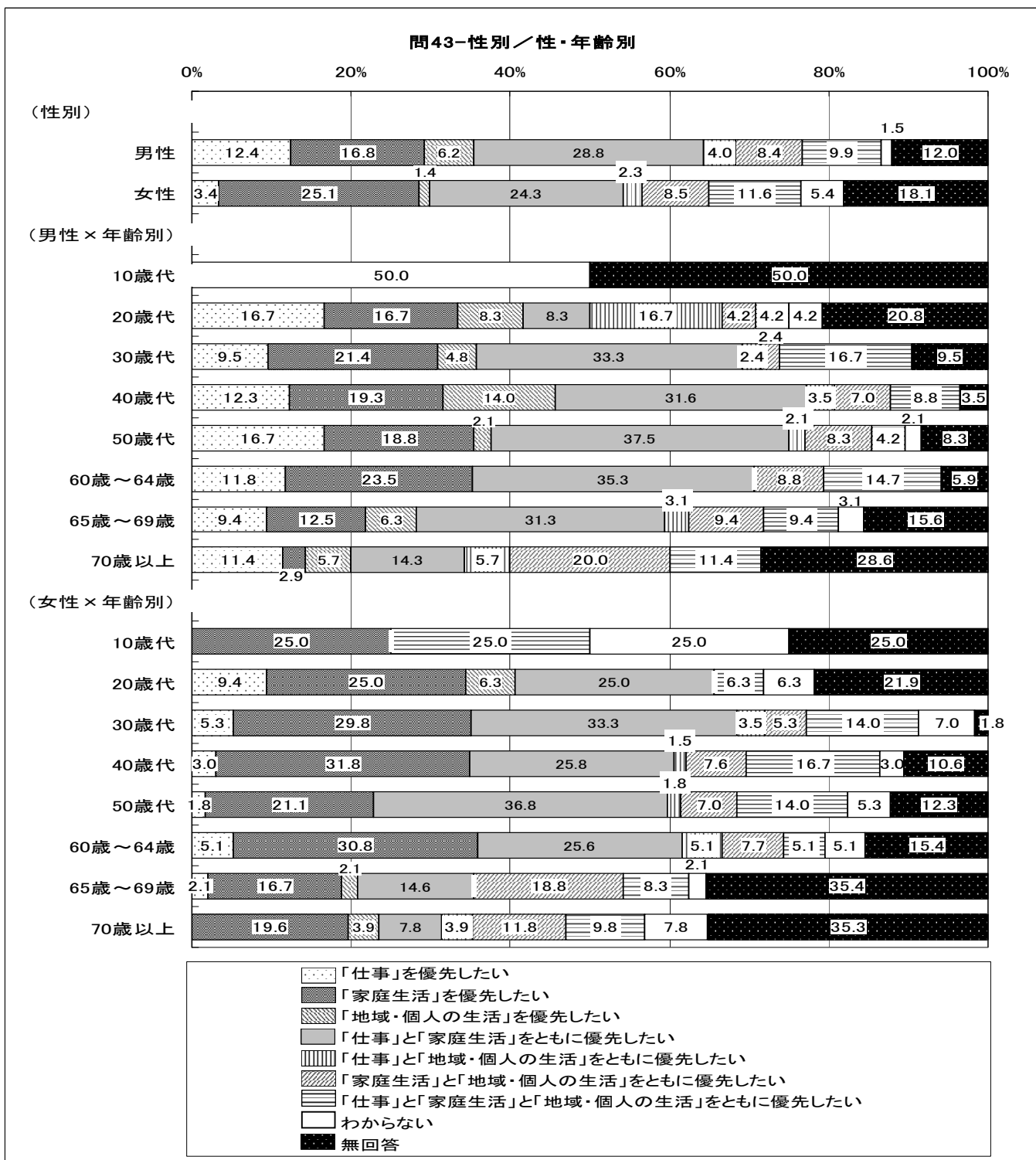
○性・年齢別では、「在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった」の年代が上がるほど減少傾向になっている。

問 43 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きます。あなたの希望に最も近いものはどれですか。（○は1つ）

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 8 わからない



○生活の中での優先度については、「仕事と家庭生活をともに優先したい」が 26.1%と高く、次に「家庭生活を優先したい」が 21.5%、以下「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が 10.6%となっている。



○性別では、男性は「仕事と家庭生活をともに優先したい」女性は「家庭生活を優先したい」が高い値となっている。

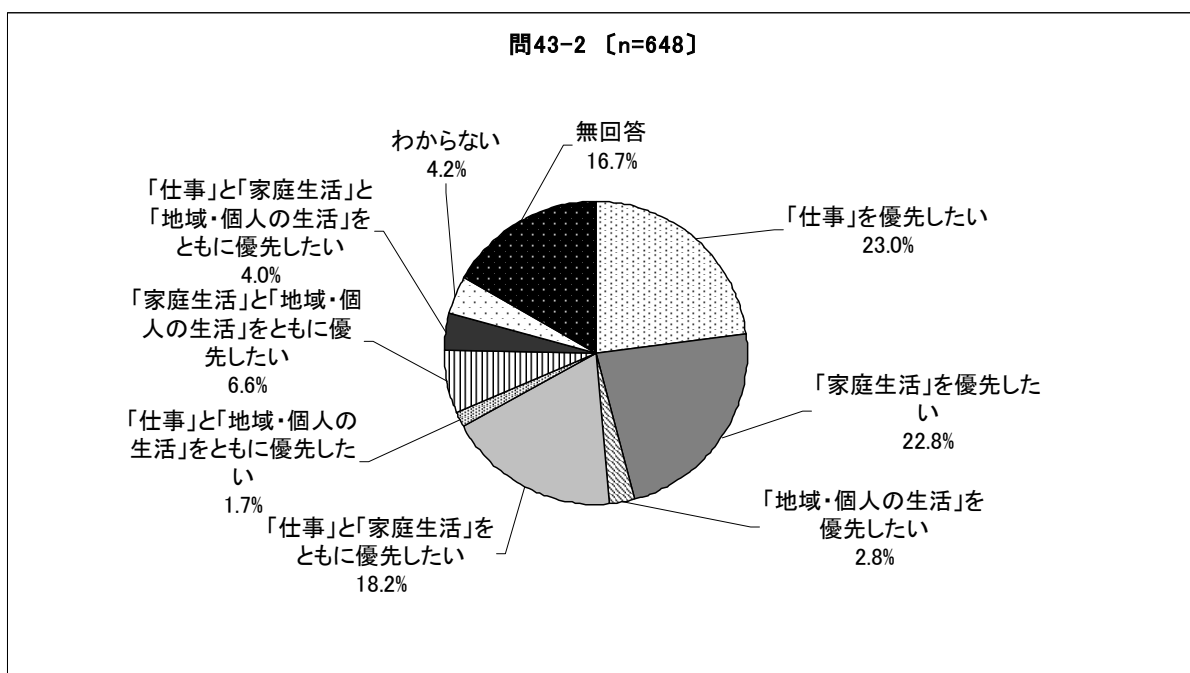
○性・年齢別では、男性は、いずれも「仕事と家庭生活をともに優先したい」が高い値となっているが、20歳代で「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が16.7%と高くなっているのが特徴的である。

○女性は、男性と比べ「仕事と家庭生活をともに優先したい」の割合が減少し、年代によっては「家庭生活を優先したい」とする人が増えている。

問43-2 あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。

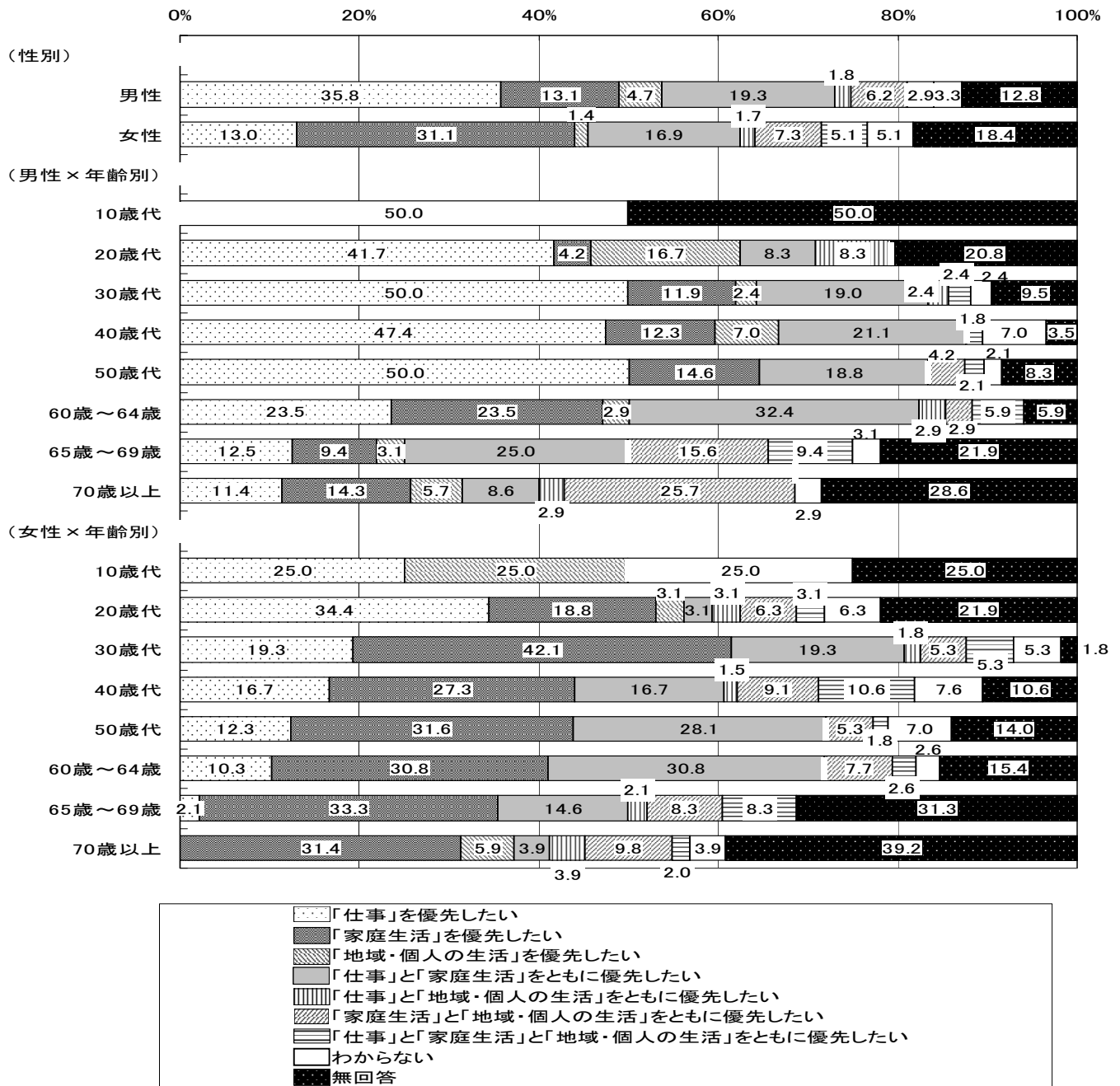
（○は1つ）

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない



○先の希望に対し、現実的には「仕事を優先している」が23.0%と高く、次に「家庭生活を優先している」が22.8%で、以下「仕事と家庭生活をともに優先している」が18.2%となっている。

問43-2-性別／性・年齢別



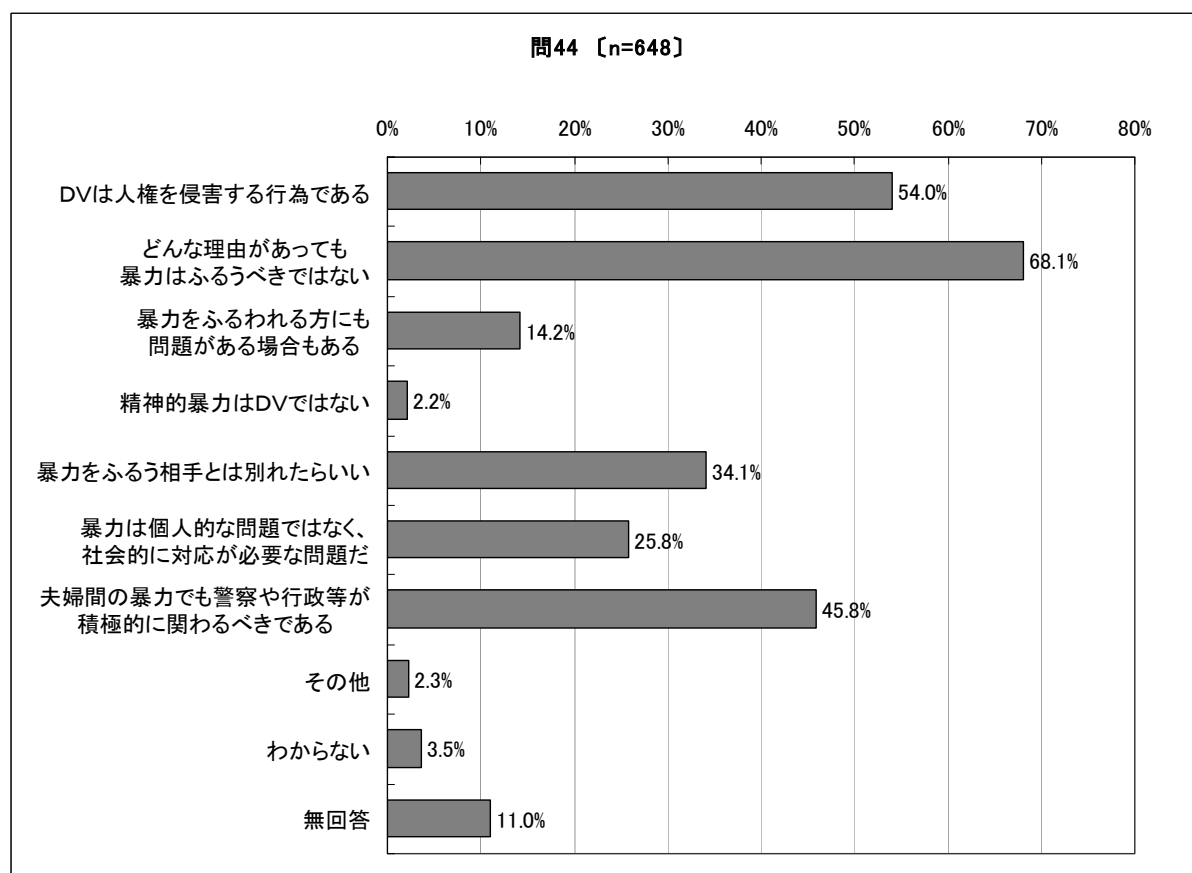
○性別では、男性は「仕事を優先している」が、女性は「家庭生活を優先している」が高い値となっている。

○性・年齢別では、男性の50歳代は「仕事を優先している」が50%程度と高いが、それ以上の年代では低くなる傾向となっており、代わりに「地域・個人の生活を優先している」が、増加の傾向にある。

○女性の30歳代より高齢になると「家庭生活を優先している」が高い値となっているが、20歳代は「仕事を優先している」が高く、50歳代と60歳～64歳は、「地域・個人の生活を優先している」傾向が見られる。

問 44 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV。配偶者などからの暴力。）について、どう思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

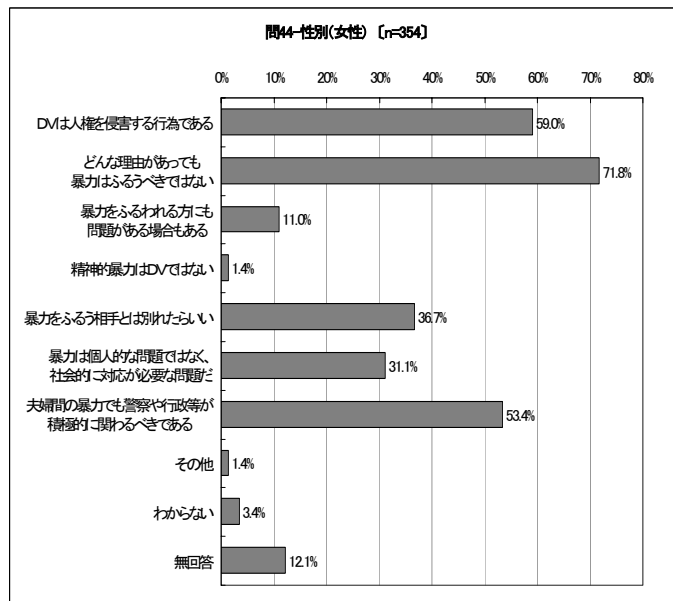
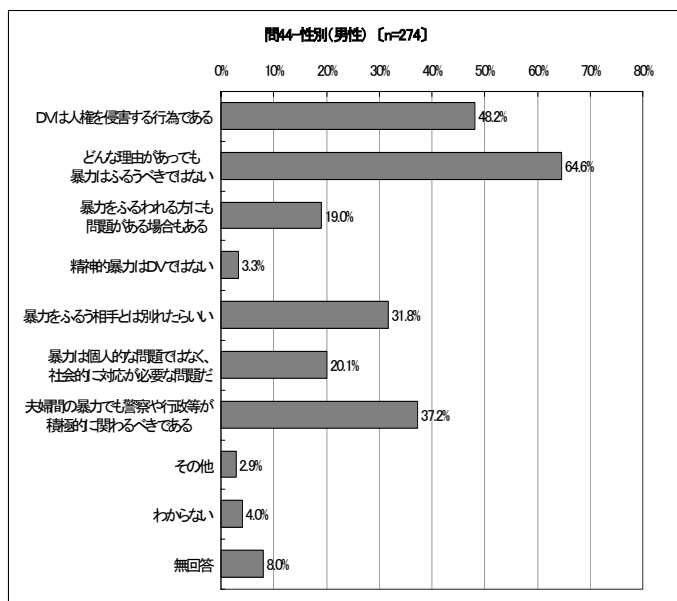
- 1 DVは人権を侵害する行為である
- 2 どんな理由があっても暴力はふるうべきではない
- 3 暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある
- 4 精神的暴力はDVではない
- 5 暴力をふるう相手とは別れたらいい
- 6 暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対応が必要な問題だ
- 7 夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである
- 8 その他()
- 9 わからない



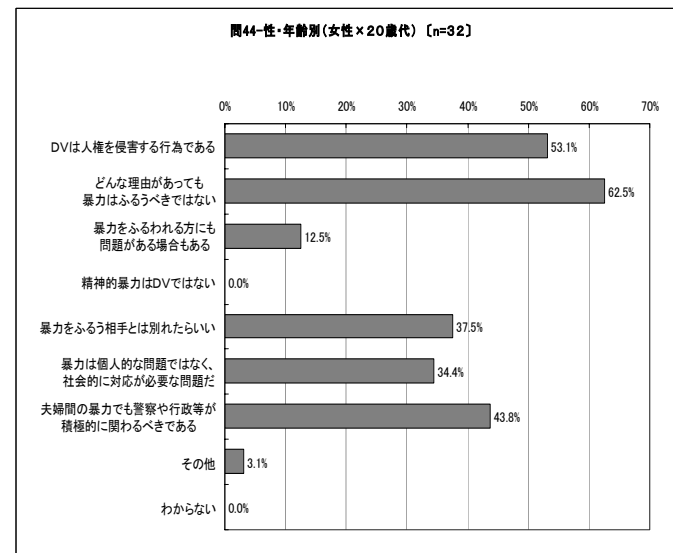
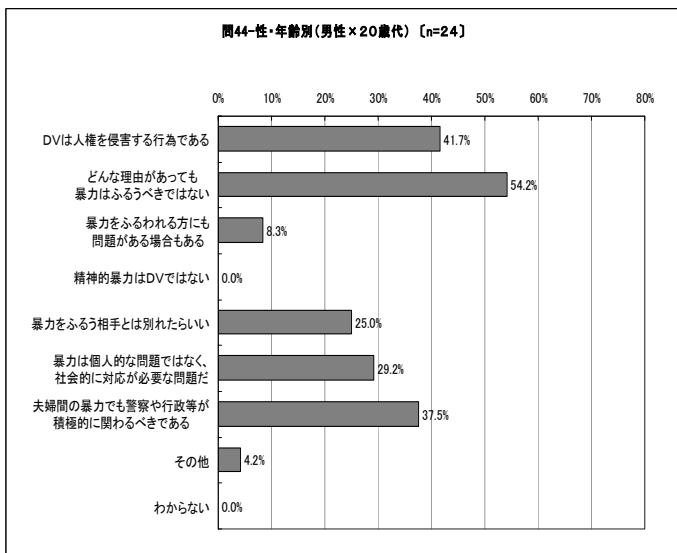
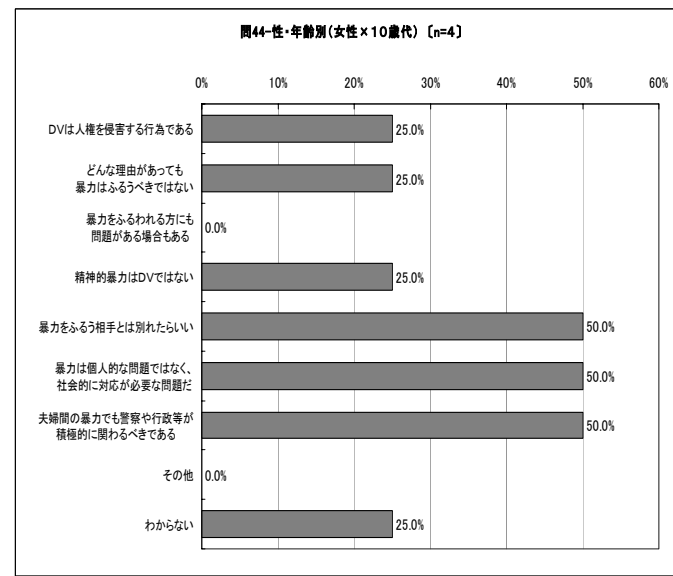
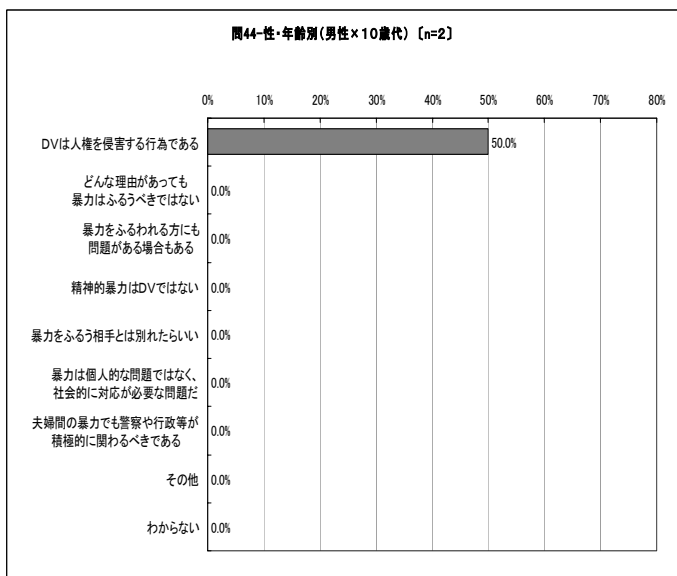
○ドメスティック・バイオレンスについては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきではない」が68.1%と高く、次に「DVは人権を侵害する行為である」が54.0%で、以下「夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである」が45.8%となっている。

○性別、性・年齢別においても同様の傾向となっている。

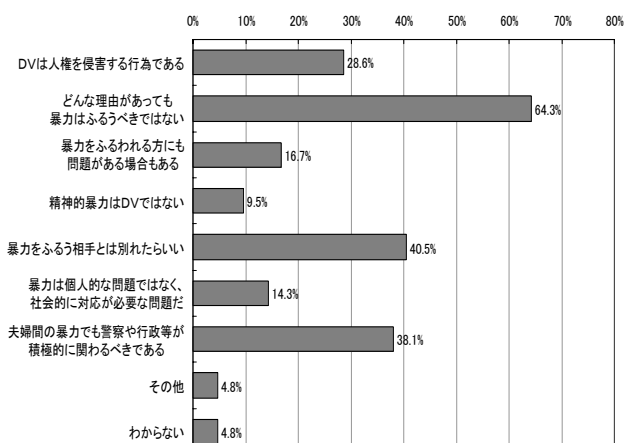
(性別)



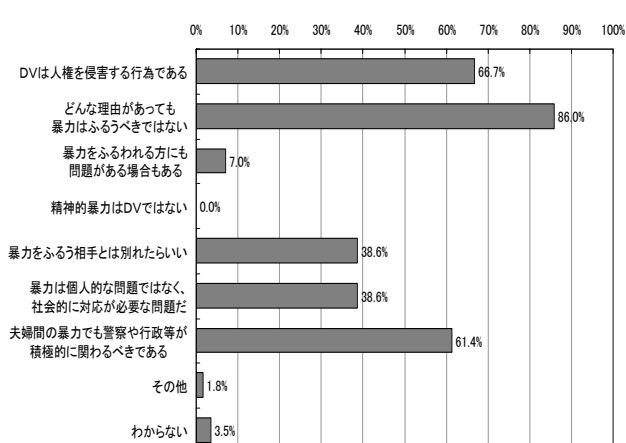
(性・年齢別)



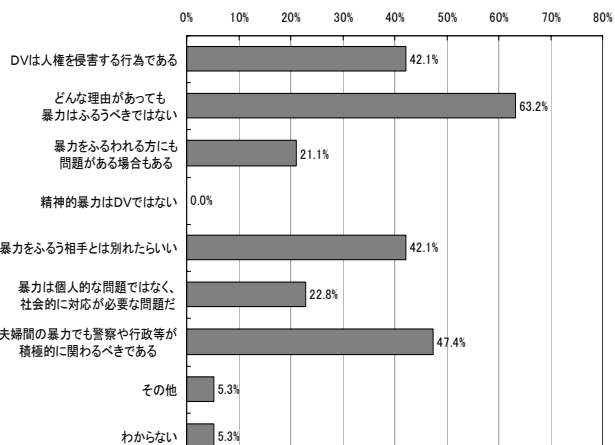
問44-性・年齢別(男性×30歳代) [n=42]



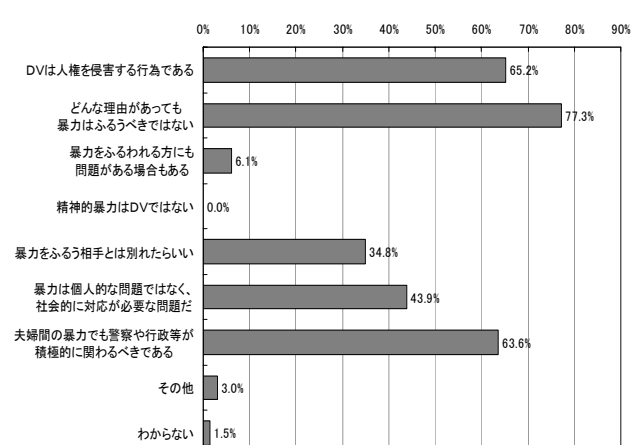
問44-性・年齢別(女性×30歳代) [n=57]



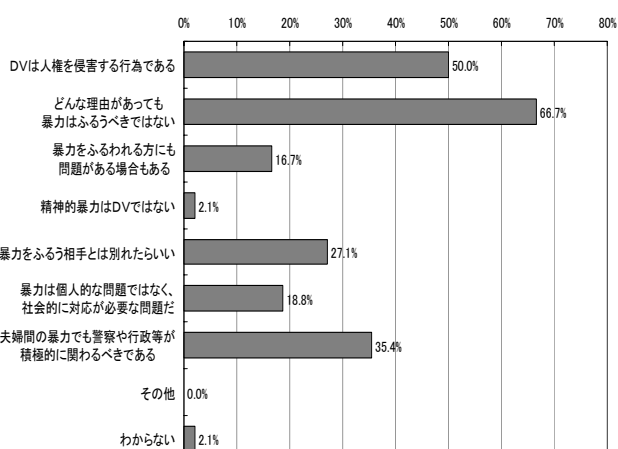
問44-性・年齢別(男性×40歳代) [n=57]



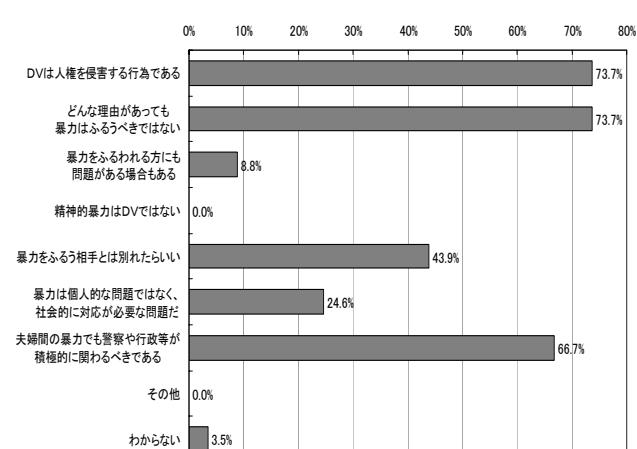
問44-性・年齢別(女性×40歳代) [n=66]



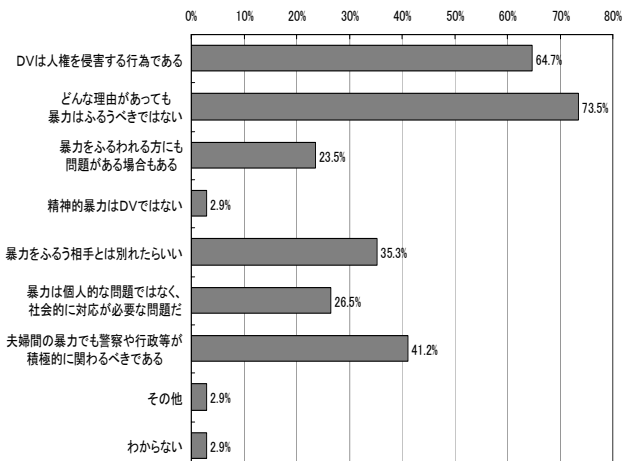
問44-性・年齢別(男性×50歳代) [n=48]



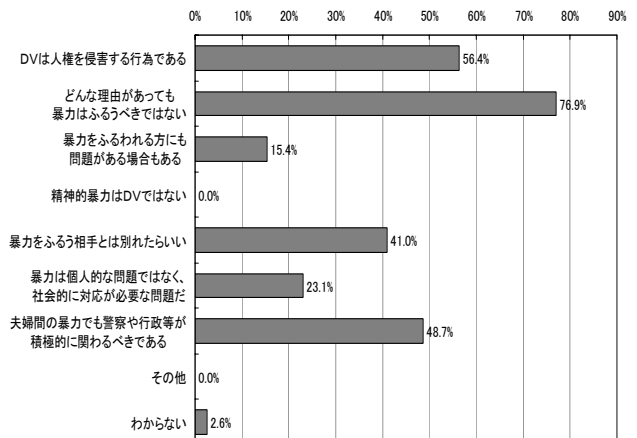
問44-性・年齢別(女性×50歳代) [n=57]



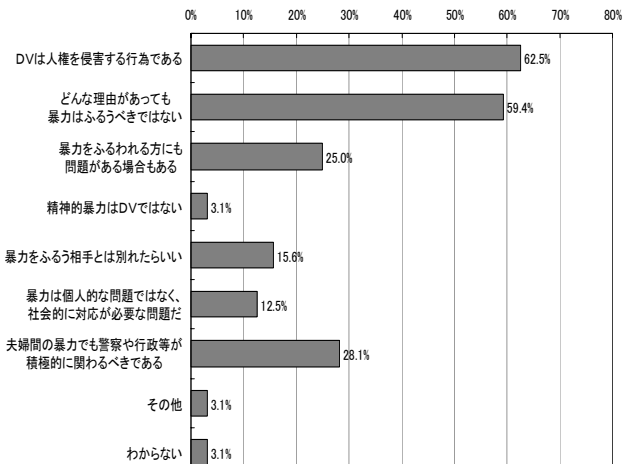
問44-性・年齢別(男性×60歳～64歳) [n=34]



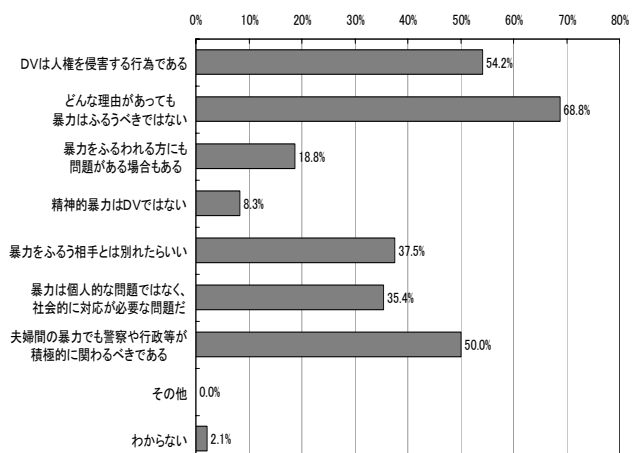
問44-性・年齢別(女性×60歳～64歳) [n=39]



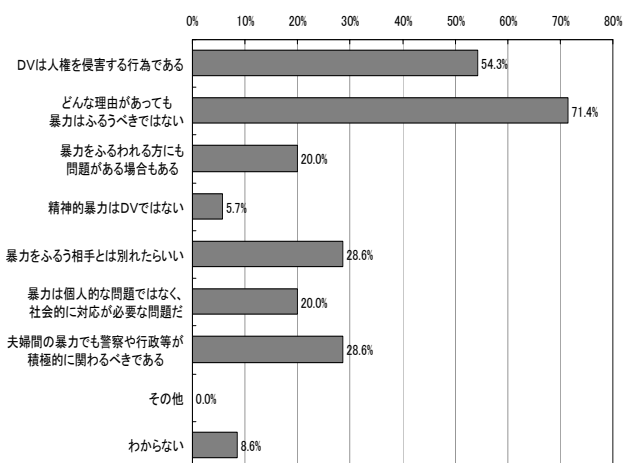
問44-性・年齢別(男性×65歳～69歳) [n=32]



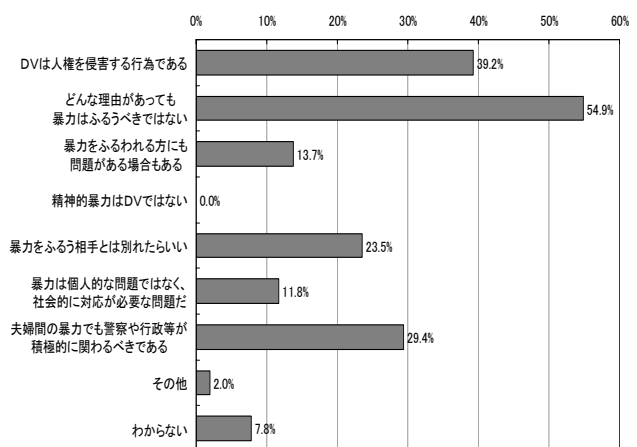
問44-性・年齢別(女性×65歳～69歳) [n=48]



問44-性・年齢別(男性×70歳以上) [n=35]



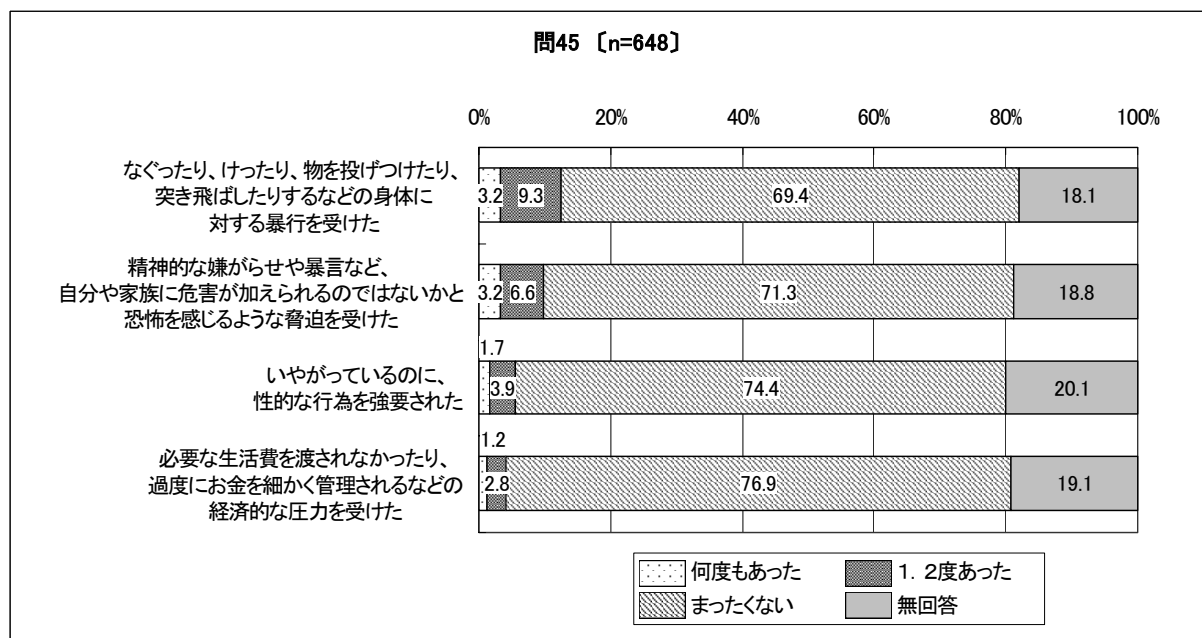
問44-性・年齢別(女性×70歳以上) [n=51]



問45 あなたはこれまでに、あなたの配偶者などから次のような行為をされたことがありますか。

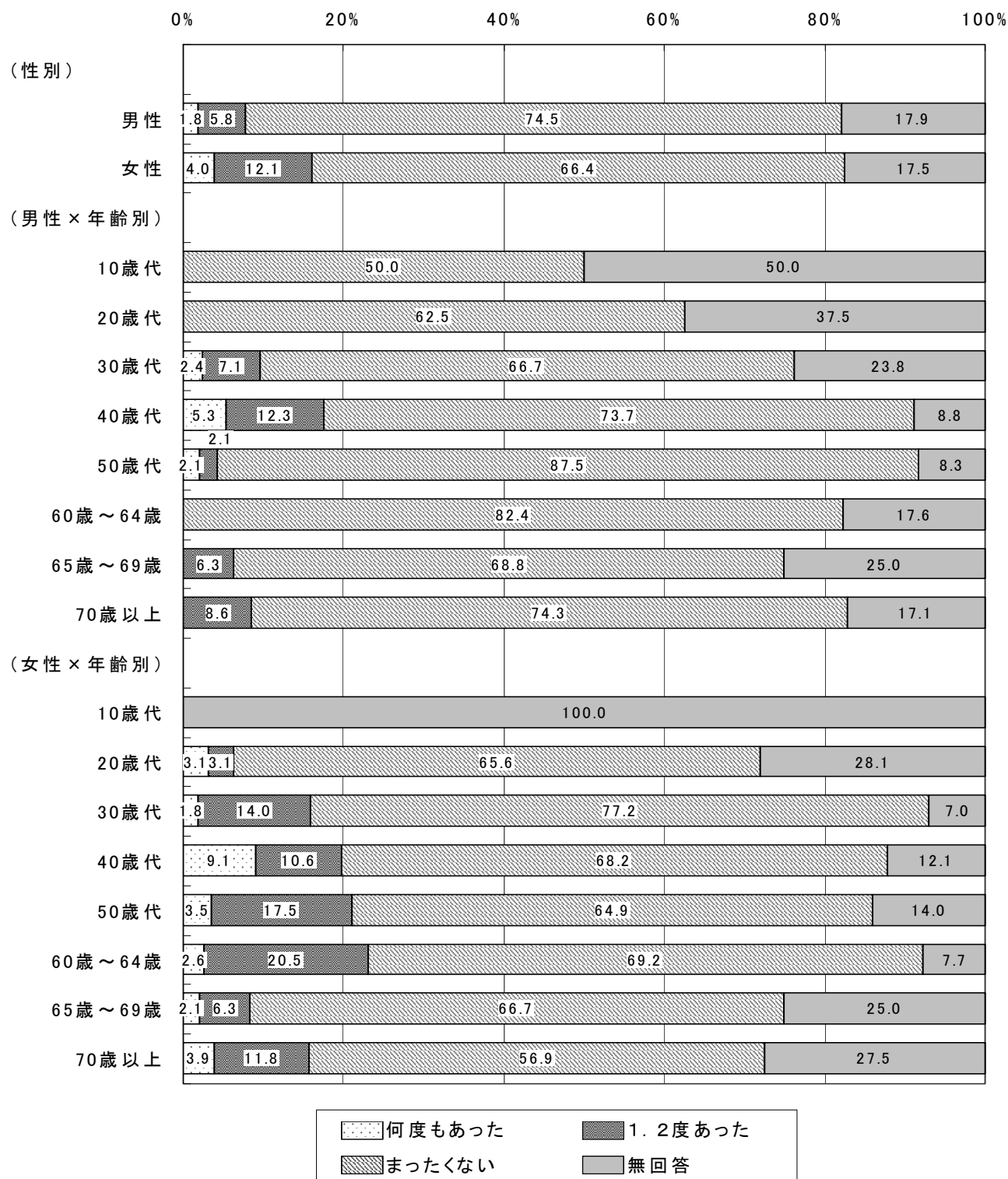
(○はそれぞれ1つ)

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ 精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
ウ いやがっているのに、性的な行為を強要された	1	2	3
エ 必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた	1	2	3



- 配偶者から受けた行為については、「まったくない」が全ての項目において約70%を占めており、「1、2度あった」、「何度もあった」は数%となっている。
- 身体に対する暴行を受けたについては、「まったくない」が69.4%と高く、次に「1、2度あった」が9.3%で、以下「何度もあった」が3.2%となっている。
- 恐怖を感じるような脅迫を受けたについては、「まったくない」が71.3%と高く、次に「1、2度あった」が6.6%、以下「何度もあった」が3.2%となっている。
- 性的な行為を強要されたについては、「まったくない」が74.4%と高く、次に「1、2度あった」が3.9%、以下「何度もあった」が1.7%となっている。
- 経済的な圧力を受けたについては、「まったくない」が76.9%と高く、次に「1、2度あった」が2.8%、以下「何度もあった」が1.2%となっている。

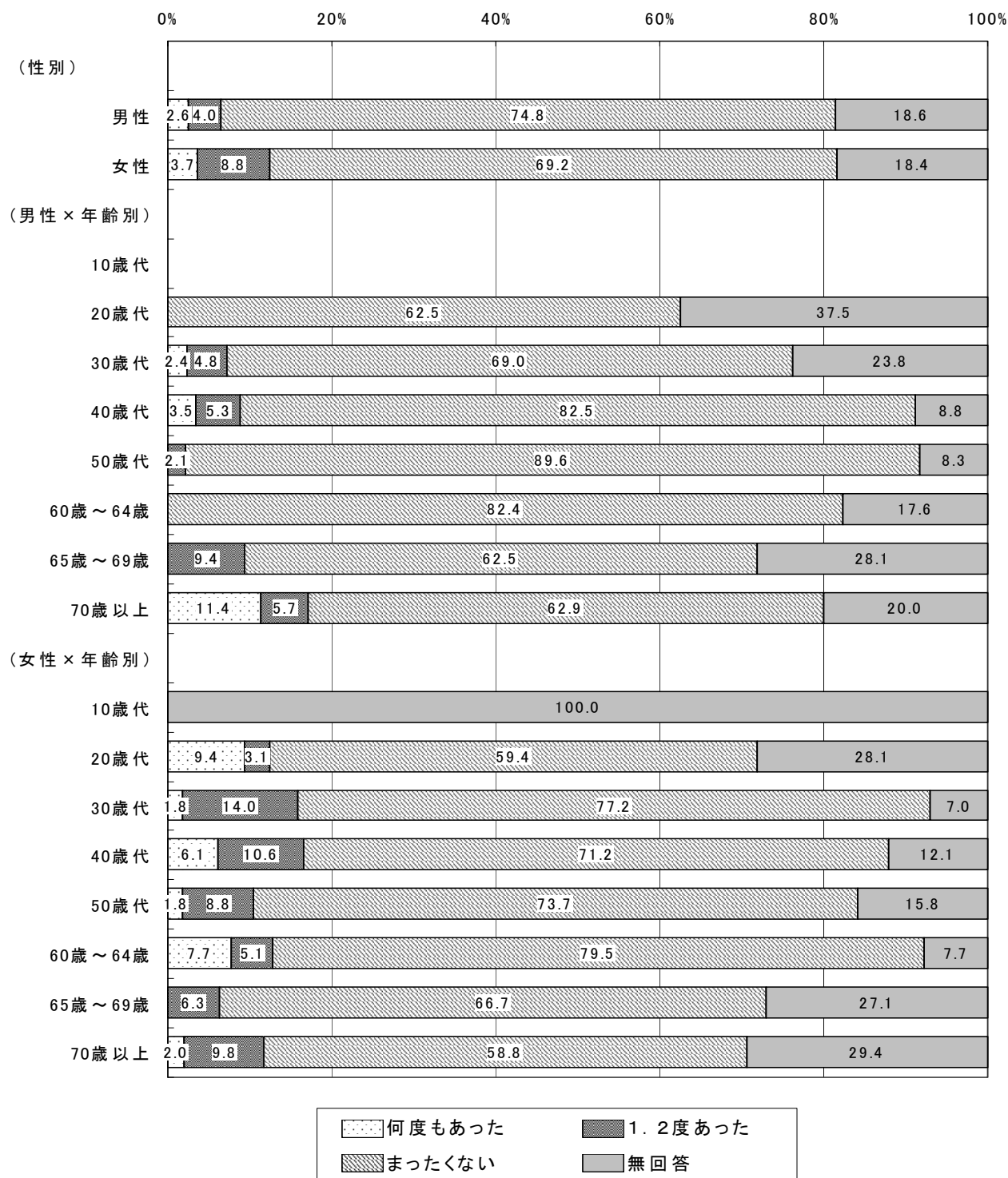
問45－身体に対する暴行を受けた



○性別では、女性の「1、2度あった」が12.1%と男性の2倍程度となっている。

○性・年齢別では、特に女性の60歳～64歳で20.5%と高い値を占めている。また、男性の40歳代が12.3%と高くなっている。さらに、女性の40歳代で「何度もあった」とする人が9.1%となっている。

問45－恐怖を感じるような脅迫を受けた

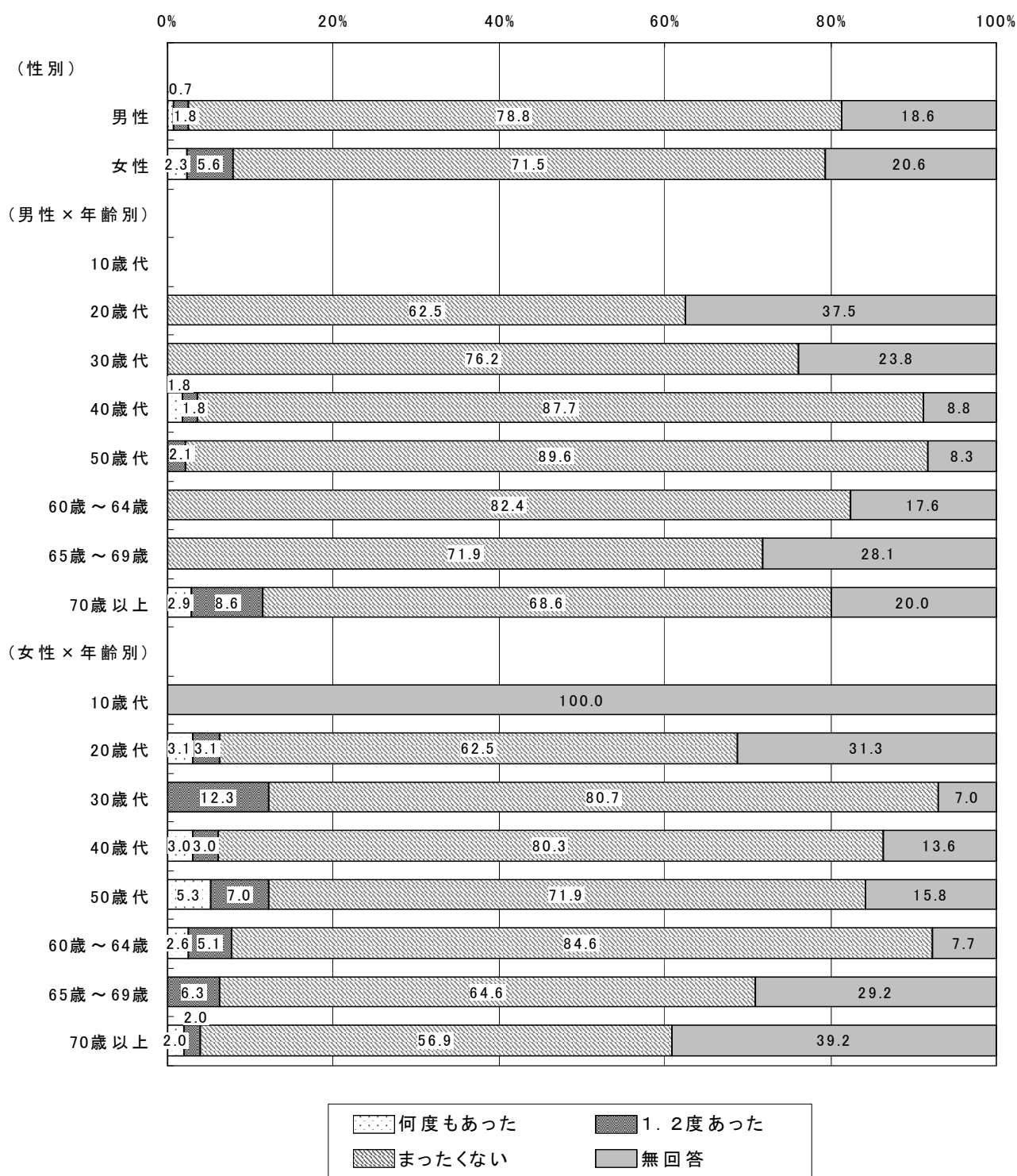


○性別では、女性の「1、2度あった」が8.8%と男性の2倍程度となっている。

○「1、2度あった」とする人は、性・年齢別では、女性の30歳代と40歳代で10%台、男性の65～69歳で9.4%と高くなっている。

○「何度もあった」とする人は、性・年齢別では、女性の20歳代と40歳代と60歳～64歳、男性の70歳以上で比較的高い値となっている。

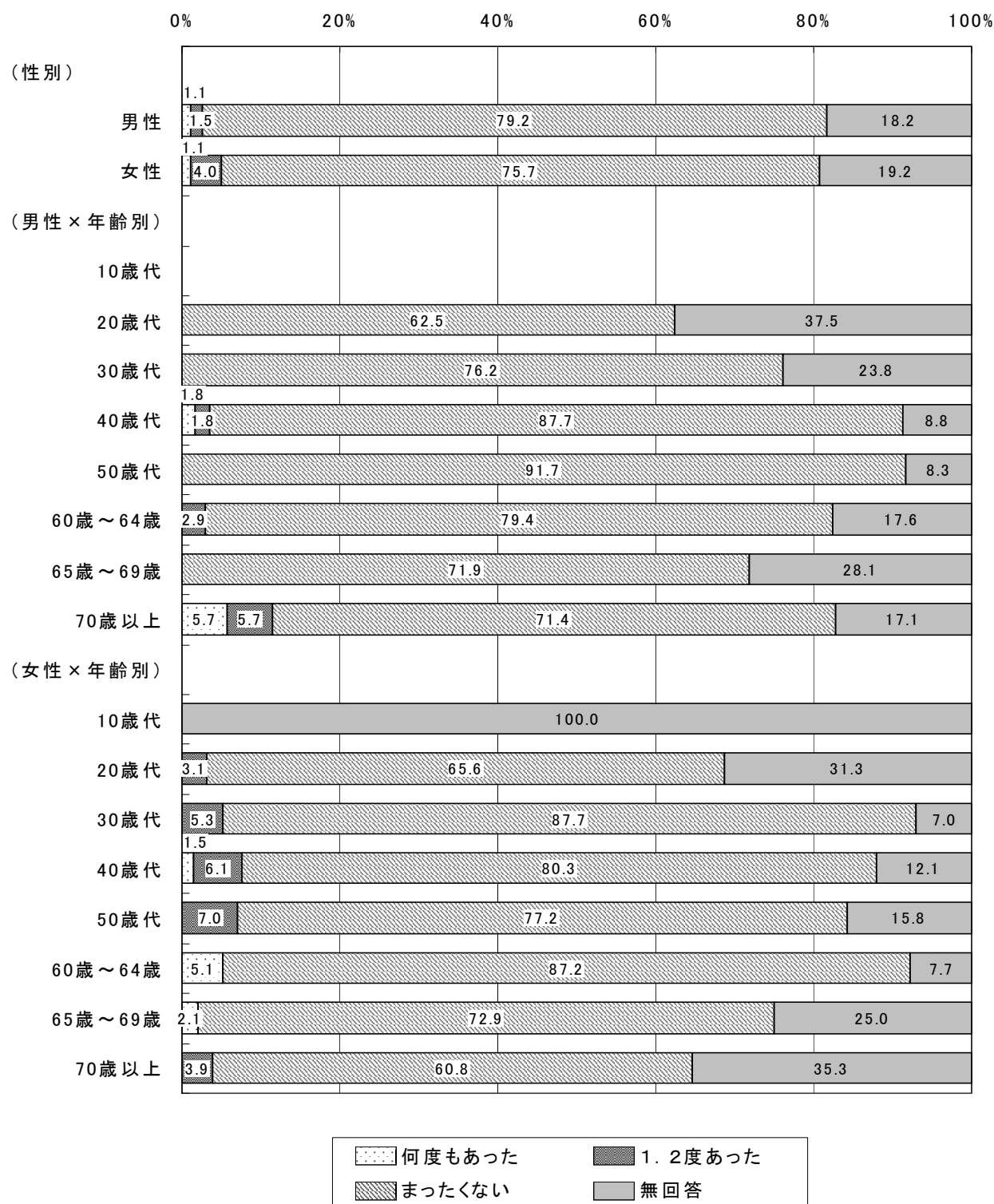
問45－性的な行為を強要された



○性別では、女性の「1、2度あった」は5.6%と、男性の3倍程度となっている。

○性・年齢別では、「何度もあった」「1、2度あった」をあわせると女性の50歳代で12.3%、男性の70歳以上が11.5%と高い値となっている。

問45－経済的な圧力を受けた



○性別では、女性の「1、2度あった」が4.0%と男性の2倍程度となっており、特に女性の40歳代と50歳代では6～7%と高い値になっている。

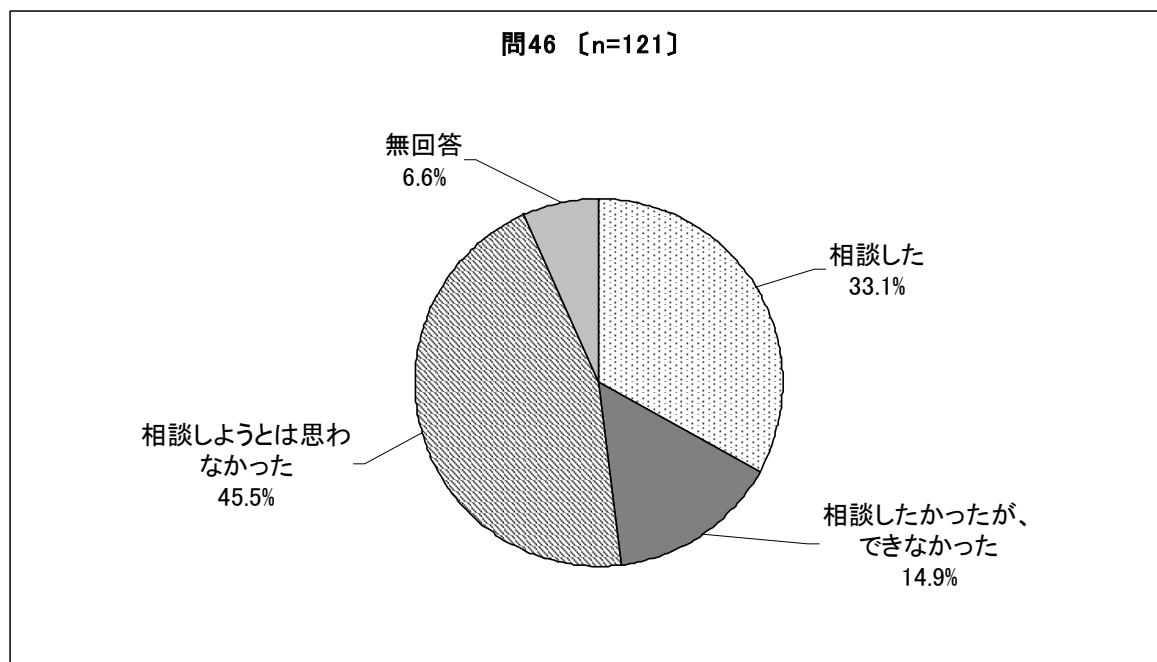
○性・年齢別では、「何度もあった」とするのは、女性の60歳～64歳と男性の70歳以上が比較的高い値となっている。

問 46 問 45 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇は1つ)

1 相談した

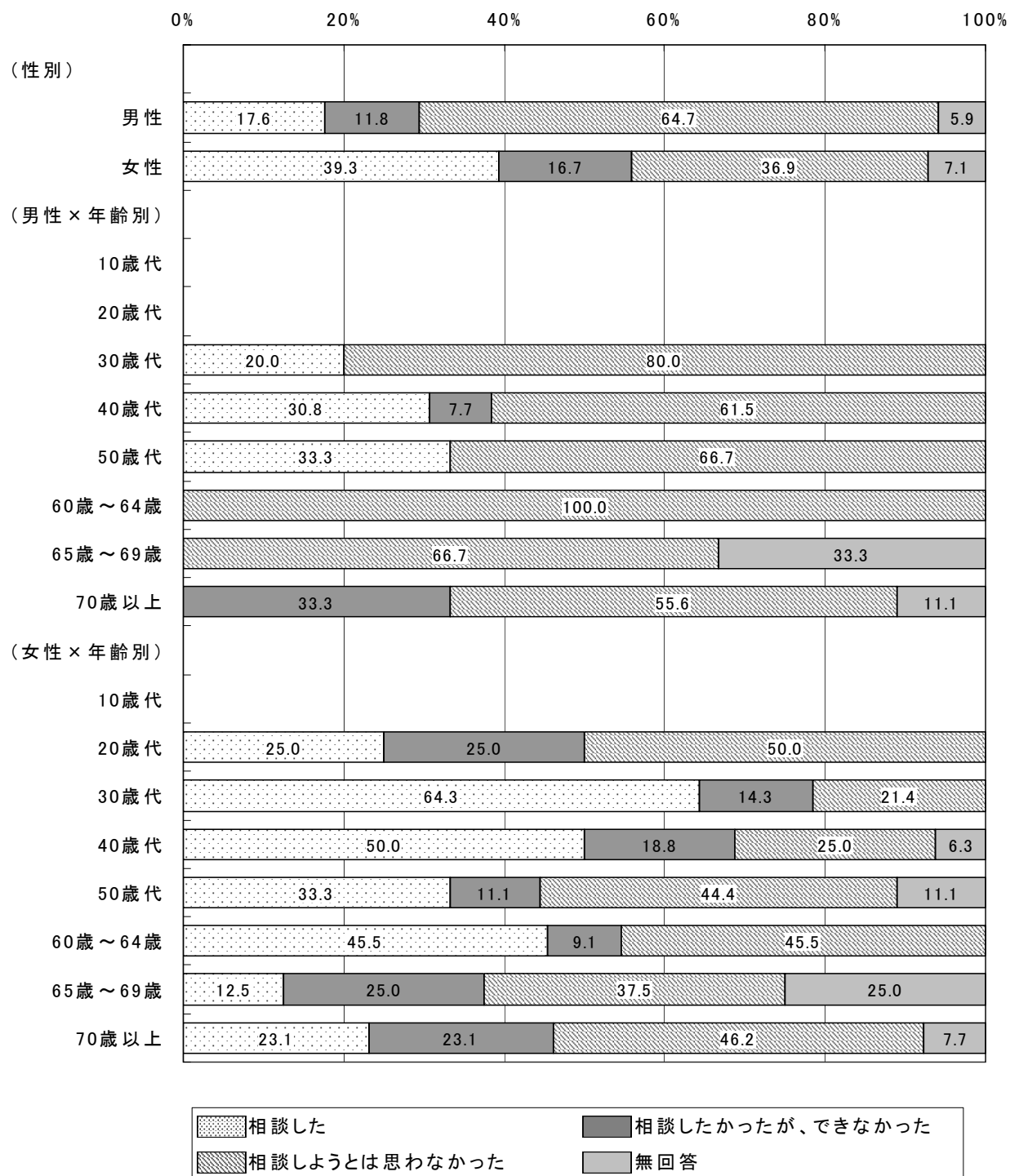
2 相談したかったが、できなかった

3 相談しようとは思わなかった



○配偶者からの暴力行為等を受けた経験のある人における相談等の有無については、「相談しようと思わなかった」が45.5%と高く、次に「相談した」が33.1%で、以下「相談したかったが、できなかった」が14.9%となっている。

問46-性別／性・年齢別

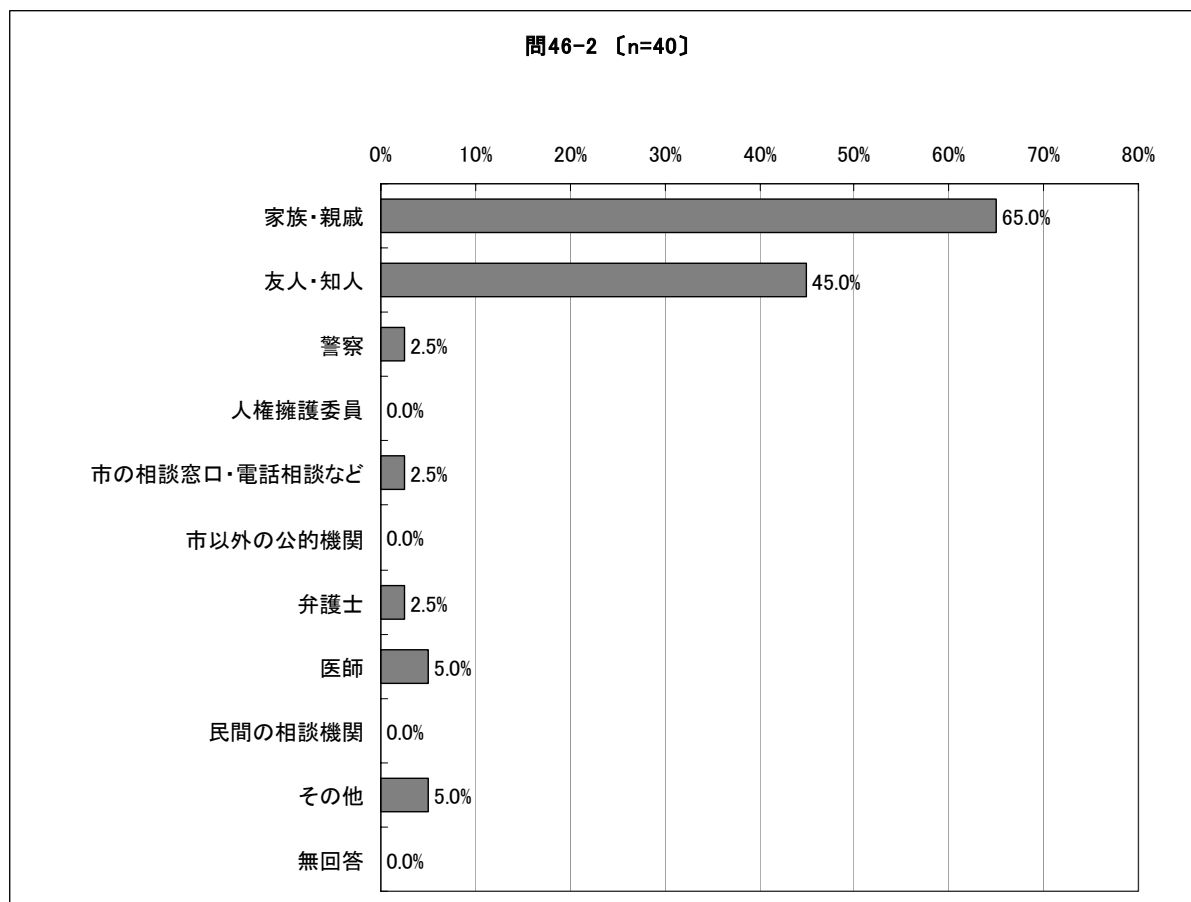


○性別では、男性の「相談しようとは思わなかった」が64.7%と高く、女性の36.9%を上回っている。また、女性の「相談した」が39.3%と高く、男性の17.6%を大きく上回っている。

○性・年齢別では、「相談した」人は、女性の30歳代で64.3%と高く、次に40歳代が50.0%、60歳～64歳が45.5%となっている。男性の50歳代までは「相談した」と回答した人も見られる。

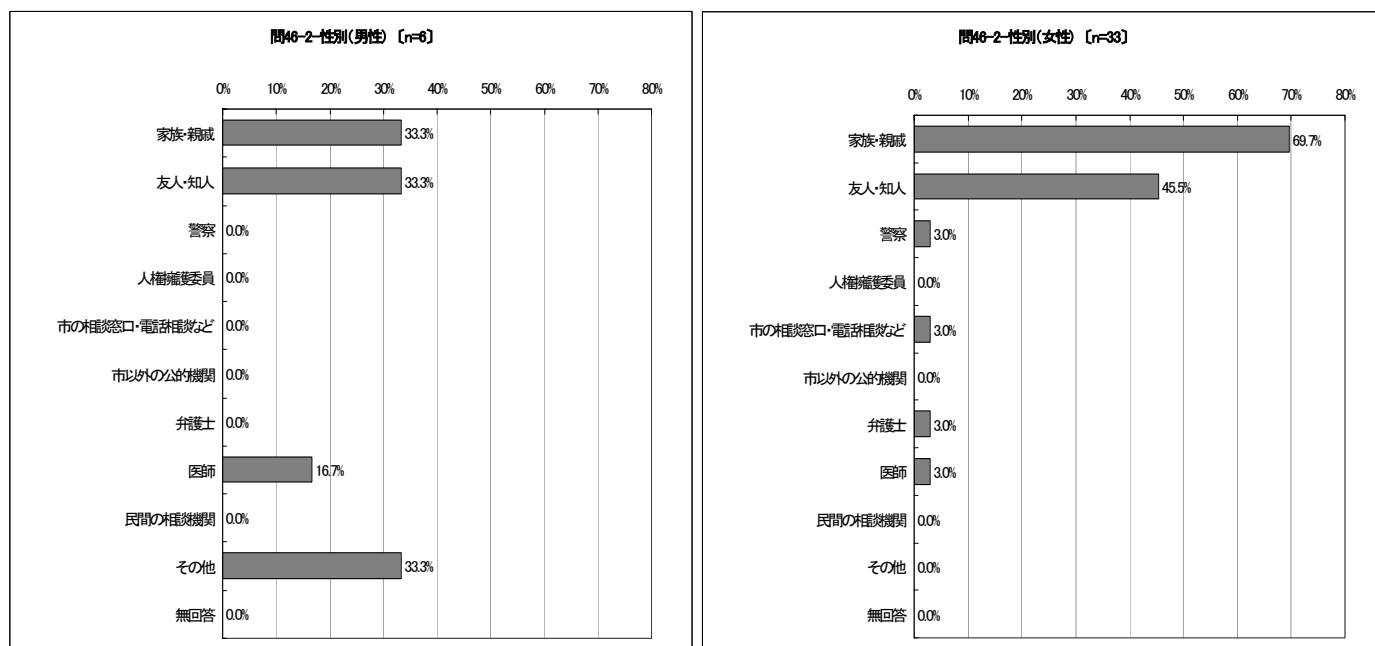
問46-2 問46で「1」と回答した方にお聞きします。その相談相手は。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| 1 家族・親戚 | 5 市の相談窓口・電話相談など | 9 民間の相談機関 |
| 2 友人・知人 | 6 市以外の公的機関 | 10 その他 () |
| 3 警察 | 7 弁護士 | |
| 4 人権擁護委員 | 8 医師 | |



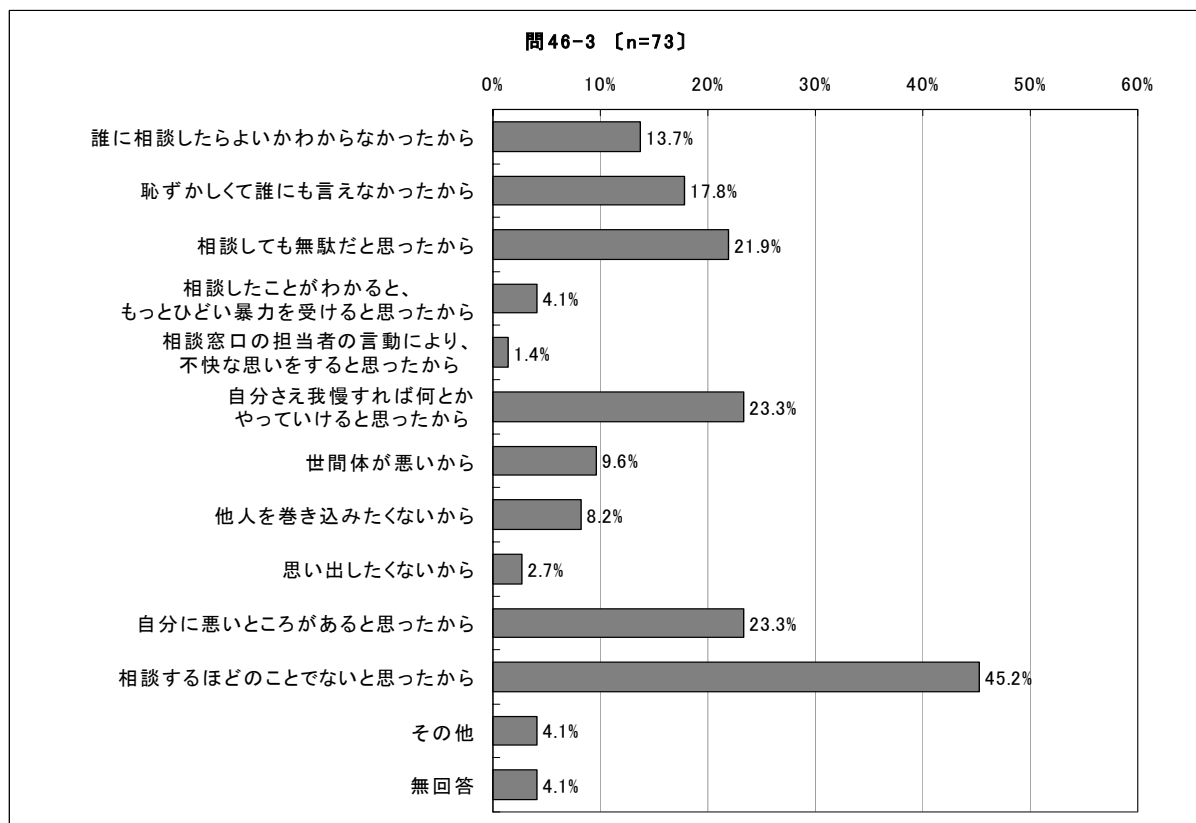
○相談相手については、「家族・親戚」が65.0%と高く、次に「友人・知人」が45.0%となっている。
 ○性別では、男性・女性とも、相談相手としては「家族・親戚」「友人・知人」が多く、男性はそれ以外に「医師」「その他」とする人が5.0%となっている。

(性別)



問46-3 問46で「2」又は「3」と回答した方にお聞きします。その理由は。(〇は3つまで)

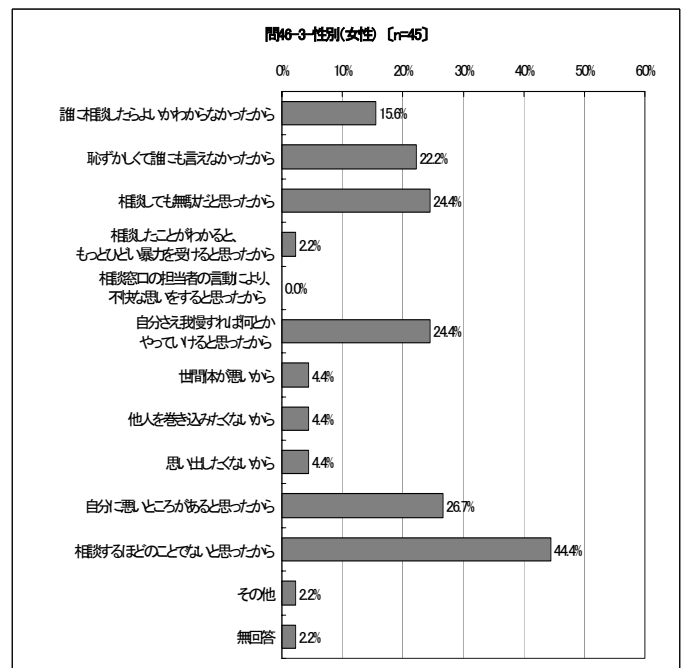
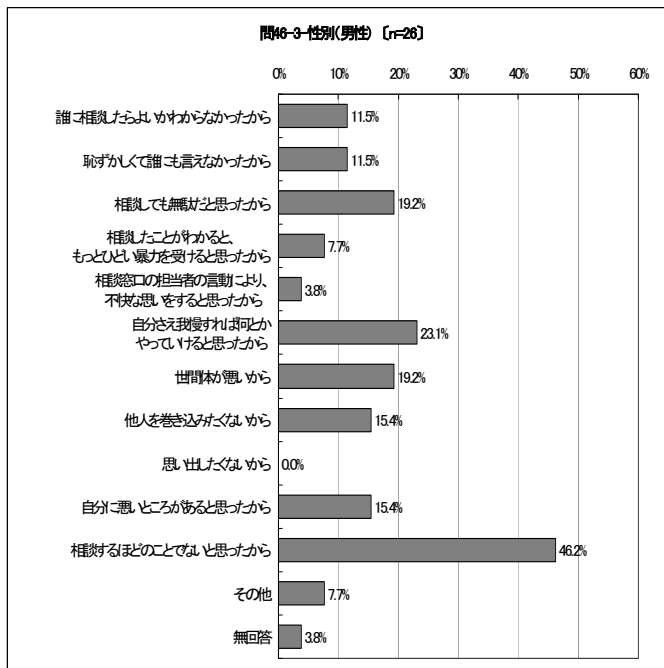
- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1 誰に相談したらよいかわからなかったから | 7 世間体が悪いから |
| 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから | 8 他人を巻き込みたくないから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから | 9 思い出したくないから |
| 4 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから | 10 自分に悪いところがあると思ったから |
| 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いを | 11 相談するほどのことでないと思ったから |
| すると思ったから | 12 その他 () |
| 6 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから | |



○「相談したかったが、できなかった」と「相談しようと思わなかった」の理由については、「相談するほどのことでないと思ったから」が45.2%と高く、次に「自分に悪いところがあると思ったから」と「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから」が23.3%となっている。

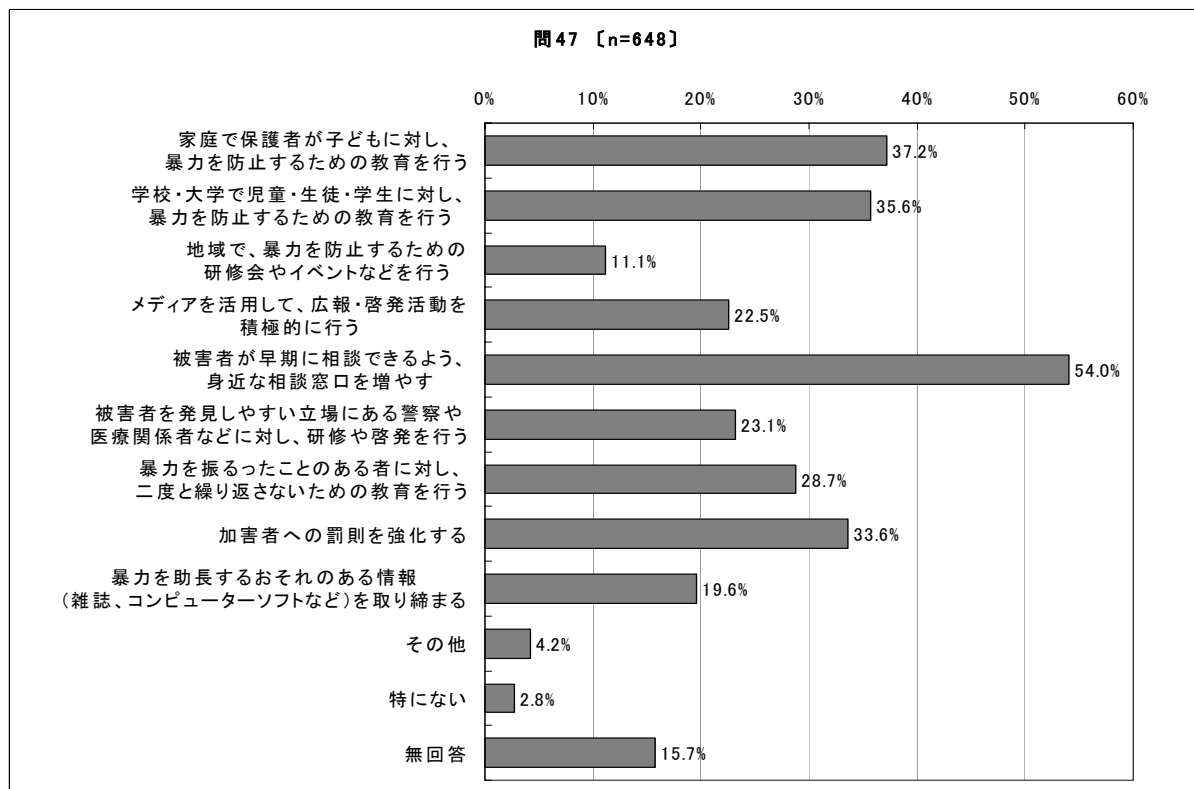
○性別では、男性・女性とも、同様な傾向であるが、「自分に悪いところがあると思ったから」は男性が15.4%に対し、女性は26.7%と高い値となっている。

(性別)



問 47 あなたは配偶者などの間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。
(〇はいくつでも)

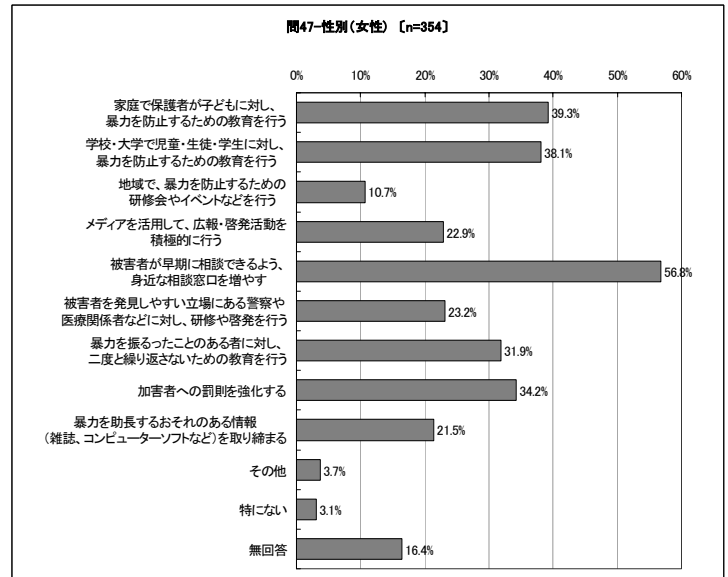
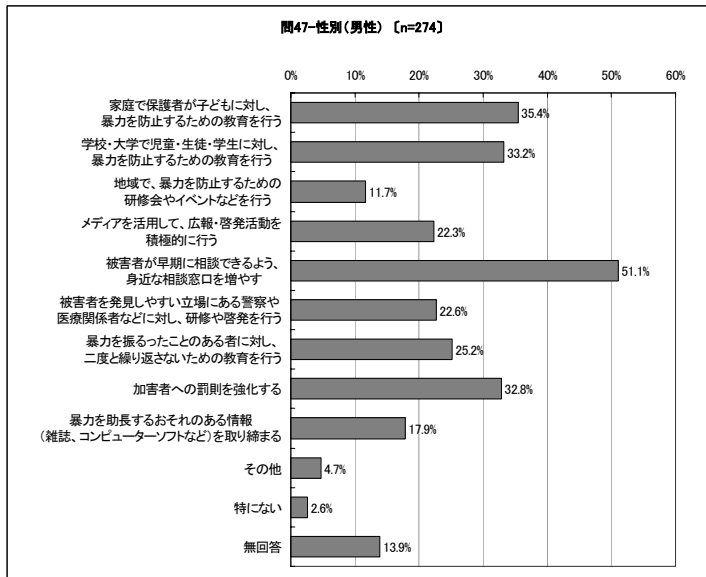
- 1 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
- 2 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
- 3 地域で、暴力を防止するための研修会やイベントなどを行う
- 4 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
- 5 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
- 6 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
- 7 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
- 8 加害者への罰則を強化する
- 9 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる
- 10 その他（ ）
- 11 特にない



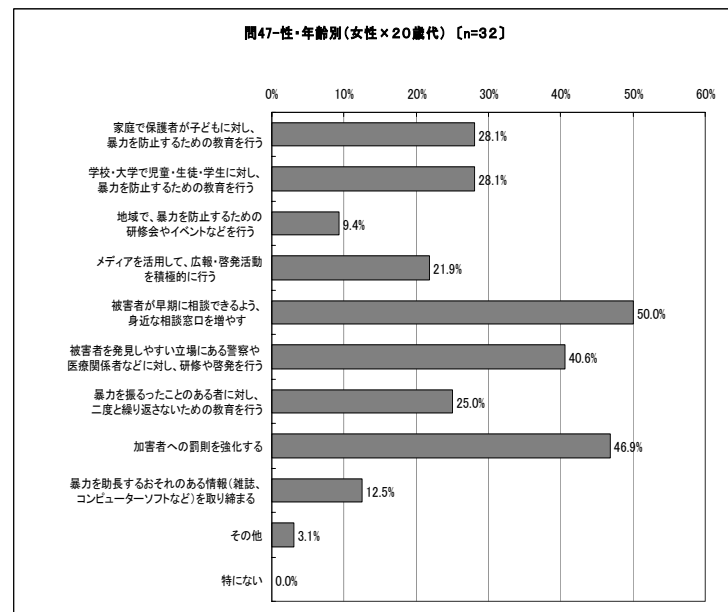
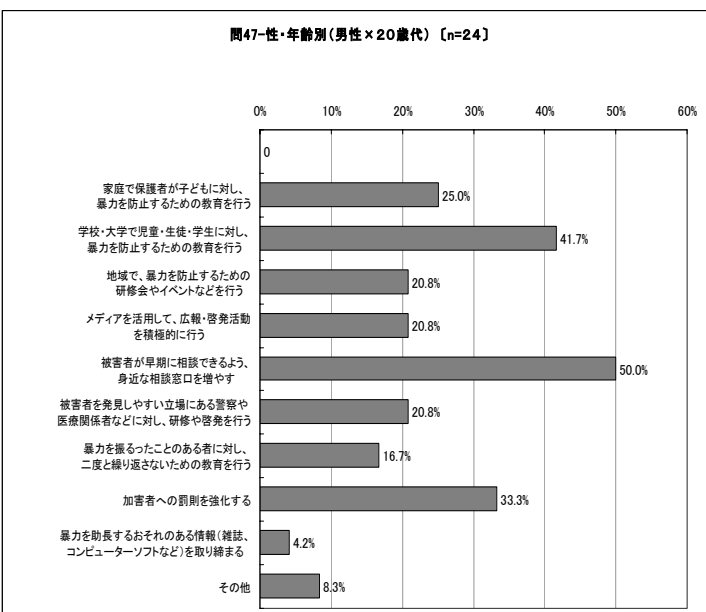
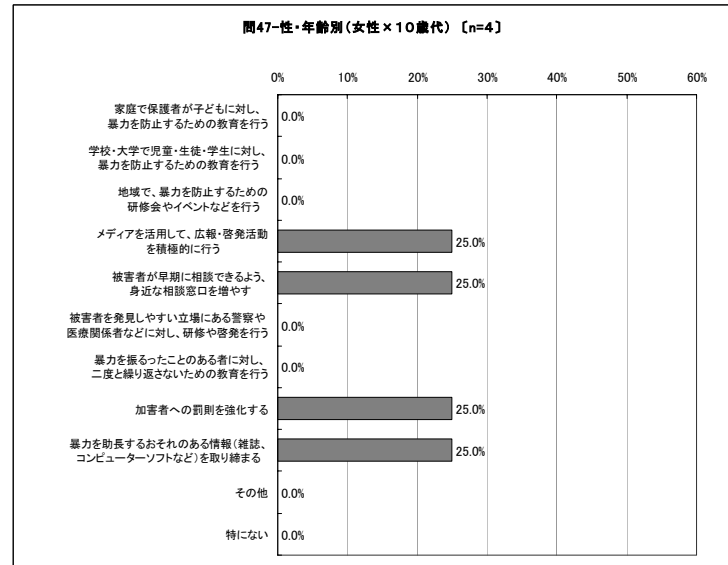
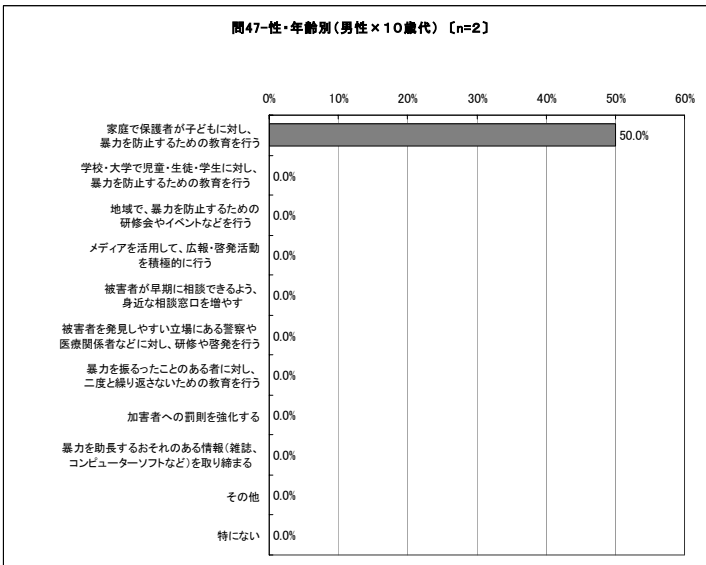
○暴力を防止するために必要なことについては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が 54.0%と高く、次に「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が 37.2%で、以下「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」が 35.6%となっており、性別では、男性・女性とも同様な傾向となっている。

○性・年齢別においても同様の傾向となっているが、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」で、特に男性の 50 歳代が 72.9%、女性の 30 歳代が 66.7%、女性の 50 歳代が 63.2%と高い値となっている。

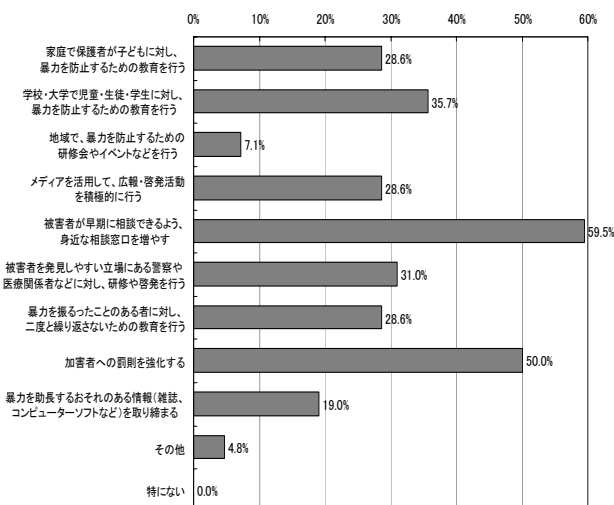
(性別)



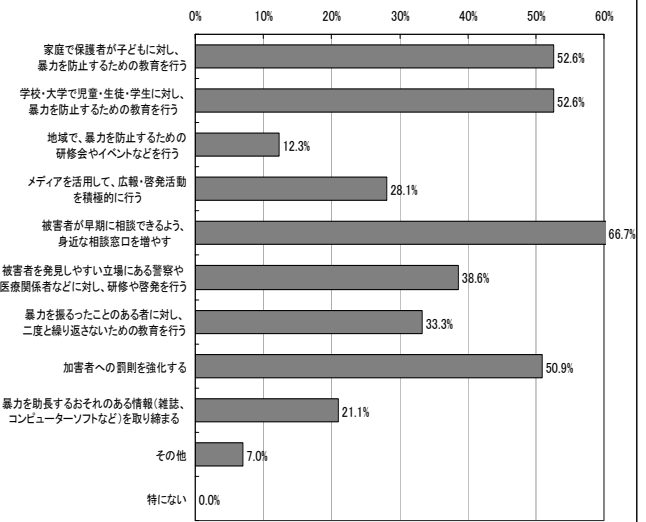
(性・年齢別)



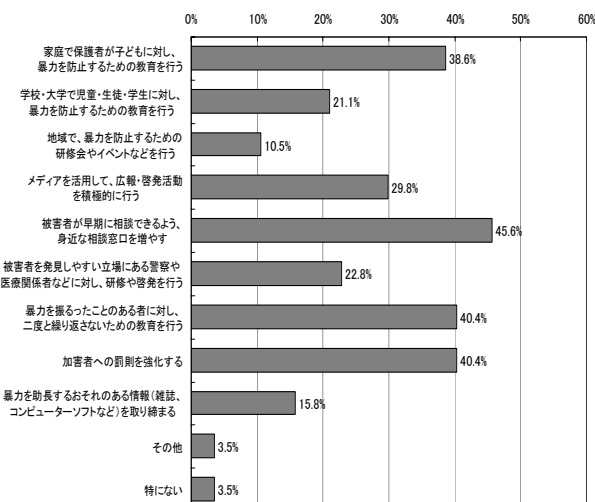
問47-性・年齢別(男性×30歳代) [n=42]



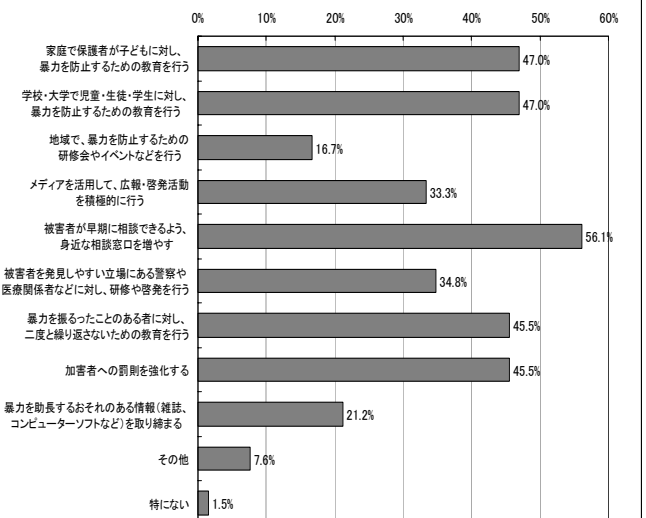
問47-性・年齢別(女性×30歳代) [n=57]



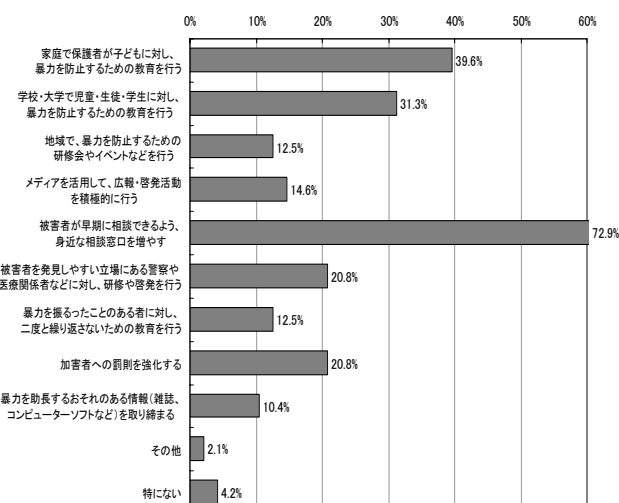
問47-性・年齢別(男性×40歳代) [n=57]



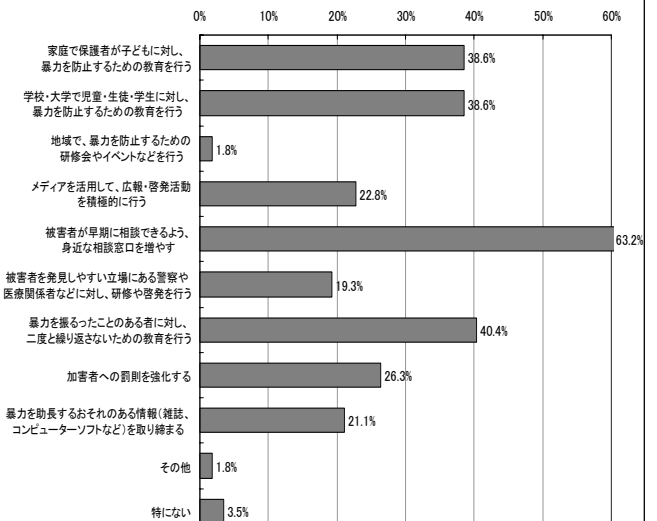
問47-性・年齢別(女性×40歳代) [n=66]



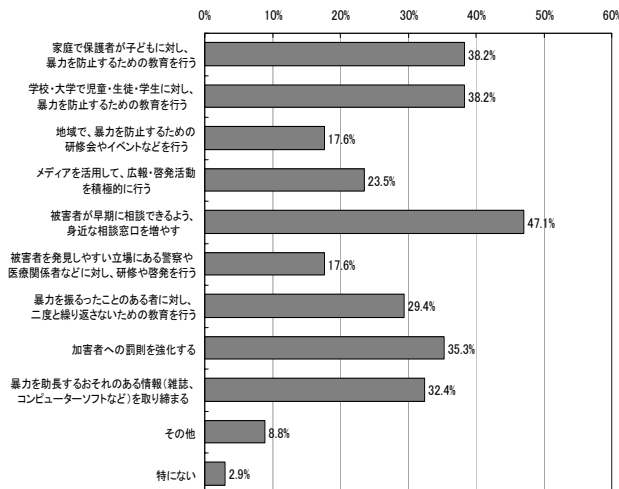
問47-性・年齢別(男性×50歳代) [n=48]



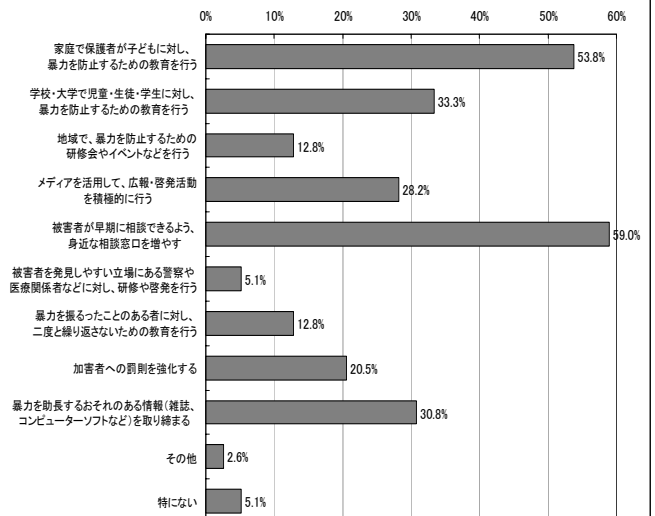
問47-性・年齢別(女性×50歳代) [n=57]



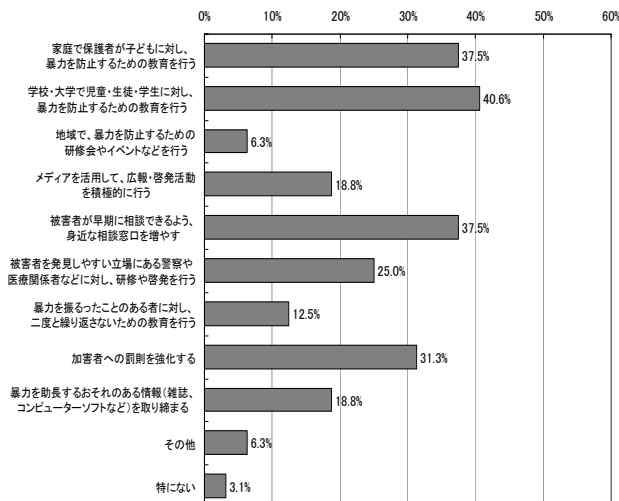
問47-性・年齢別(男性×60歳～64歳)【n=34】



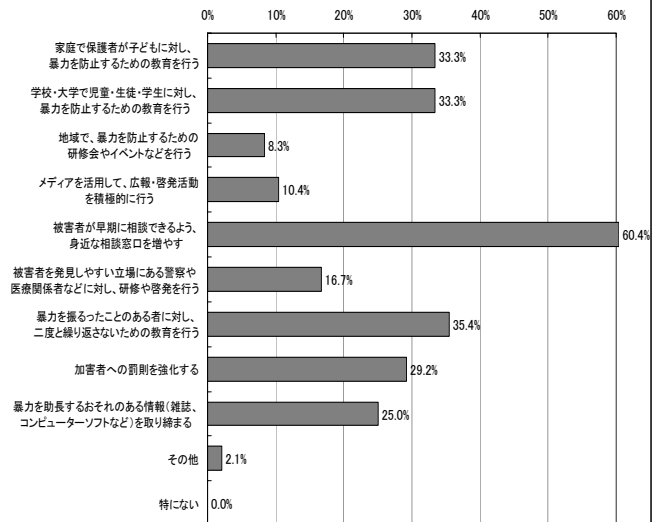
問47-性・年齢別(女性×60歳～64歳)【n=39】



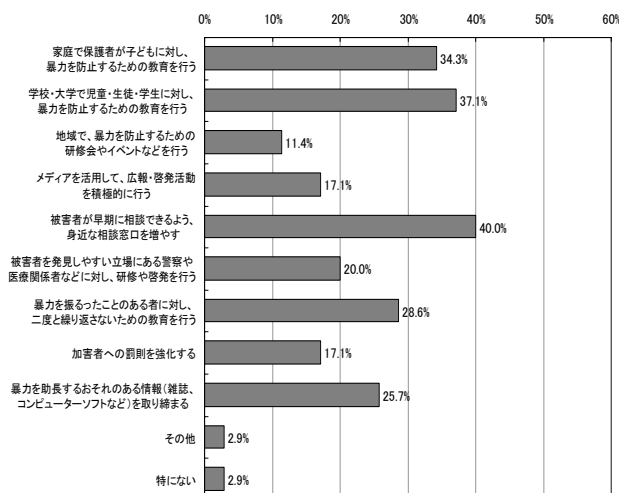
問47-性・年齢別(男性×65歳～69歳)【n=32】



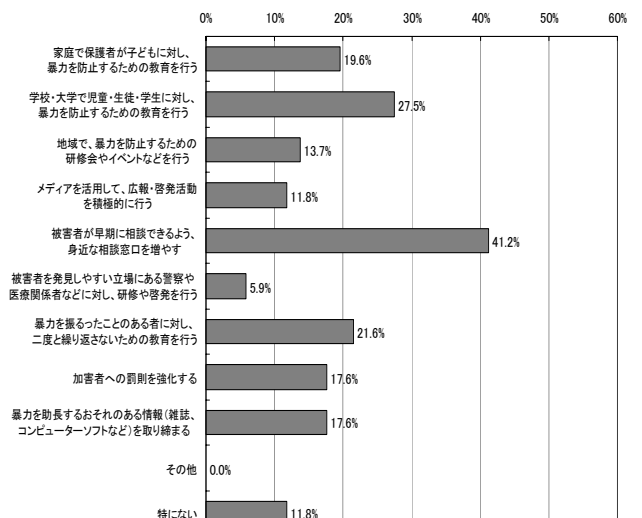
問47-性・年齢別(女性×65～69歳)【n=48】



問47-性・年齢別(男性×70歳以上)【n=35】

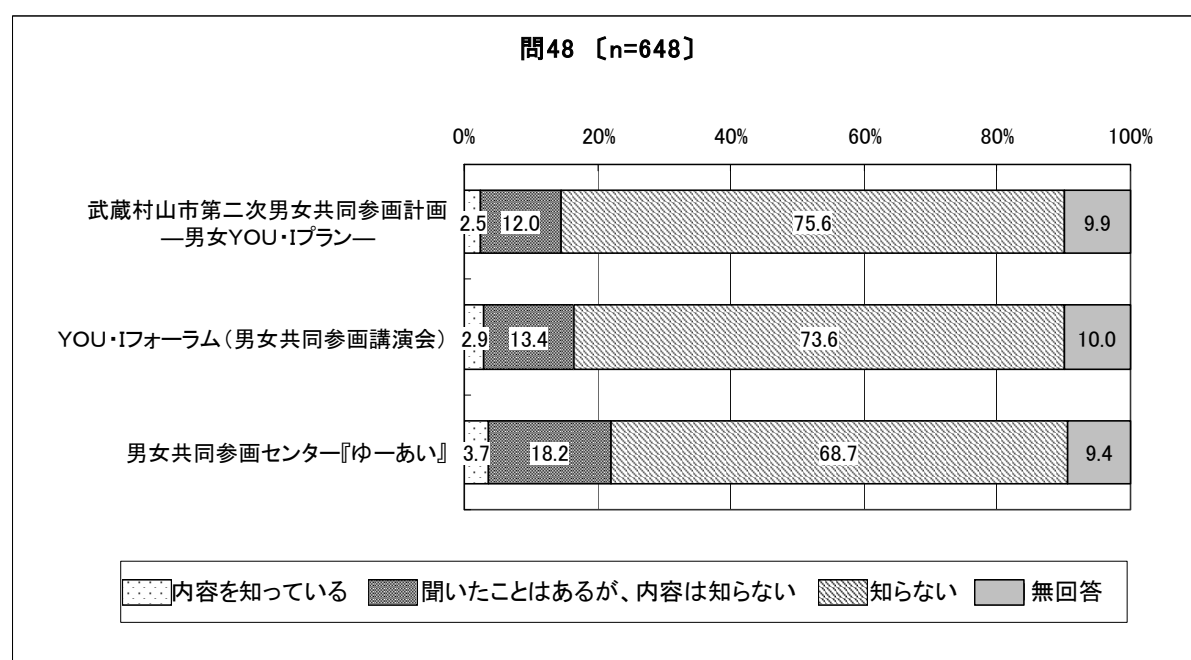


問47-性・年齢別(女性×70歳以上)【n=51】



問48 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
ア 武蔵村山市第二次男女共同参画計画 —男女YOU・Iプラン—	1	2	3
イ YOU・I フォーラム(男女共同参画講演会)	1	2	3
ウ 男女共同参画センター『ゆーあい』	1	2	3



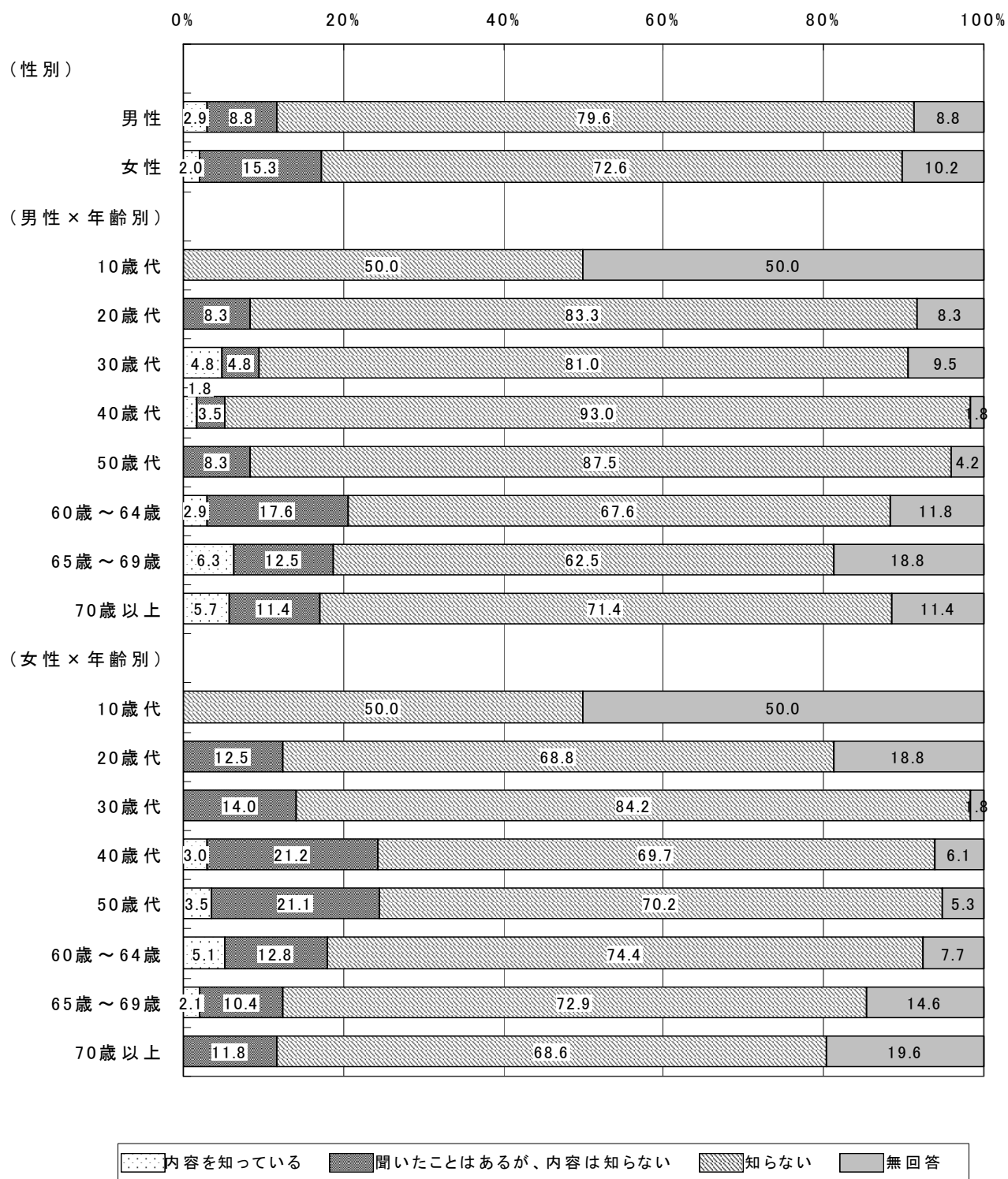
○上にあげる言葉については、「知らない」が70%前後と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が10%台、以下「内容を知っている」が3%前後と低い値となっている。

○「武蔵村山市第二次男女共同参画計画」については、「知らない」が75.6%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が12.0%で、以下「内容を知っている」は2.5%にとどまっている。

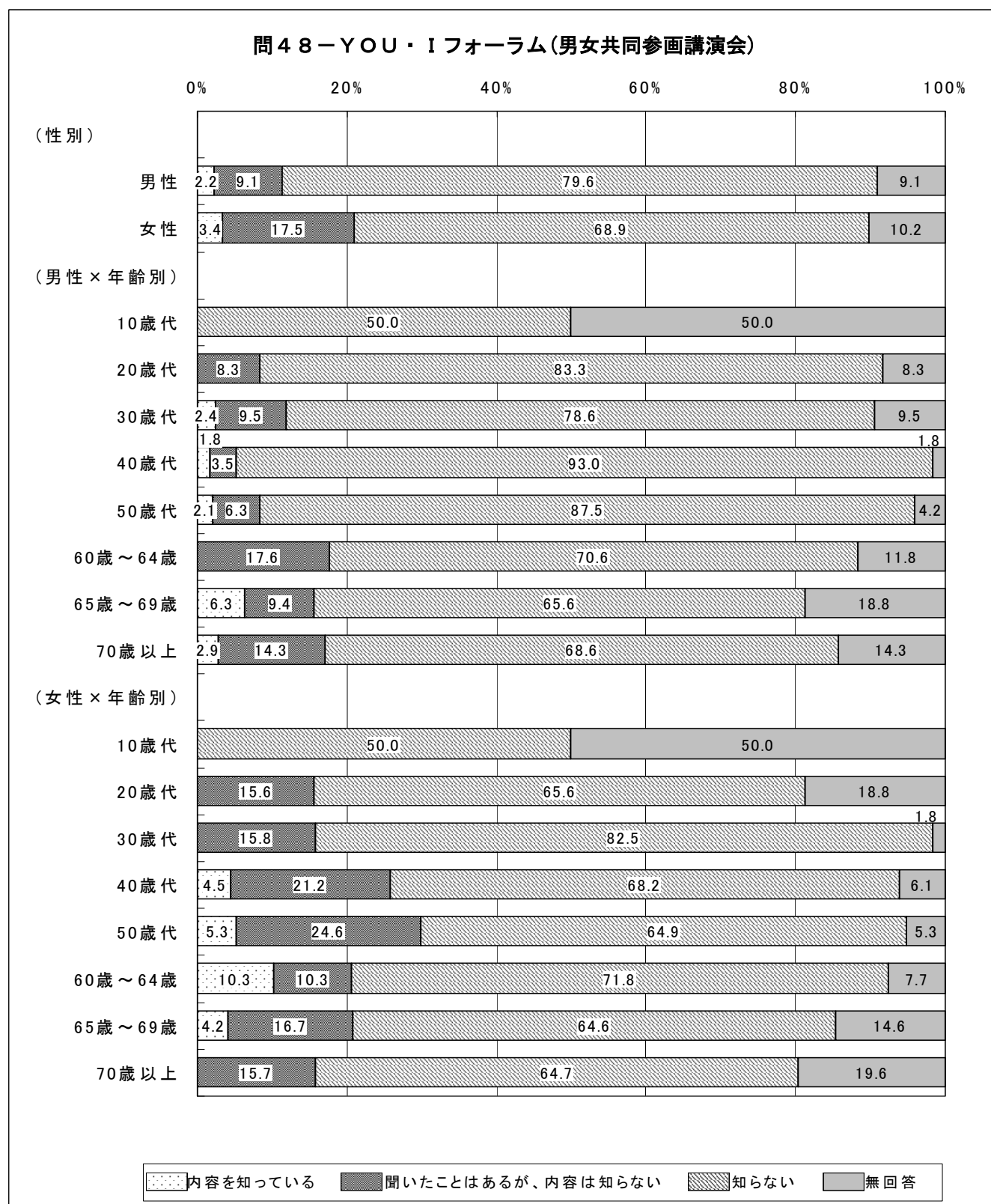
○「YOU・I フォーラム(男女共同参画講演会)」については、「知らない」が73.6%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が13.4%、以下「内容を知っている」が2.9%となっている。

○「男女共同参画センター『ゆーあい』」については、「知らない」が68.7%と高く、次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」が18.2%、以下「内容を知っている」が3.7%となり、3つの設問の中では、最も認知度が高くなっている。

問48－武蔵村山市第二次男女共同参画計画

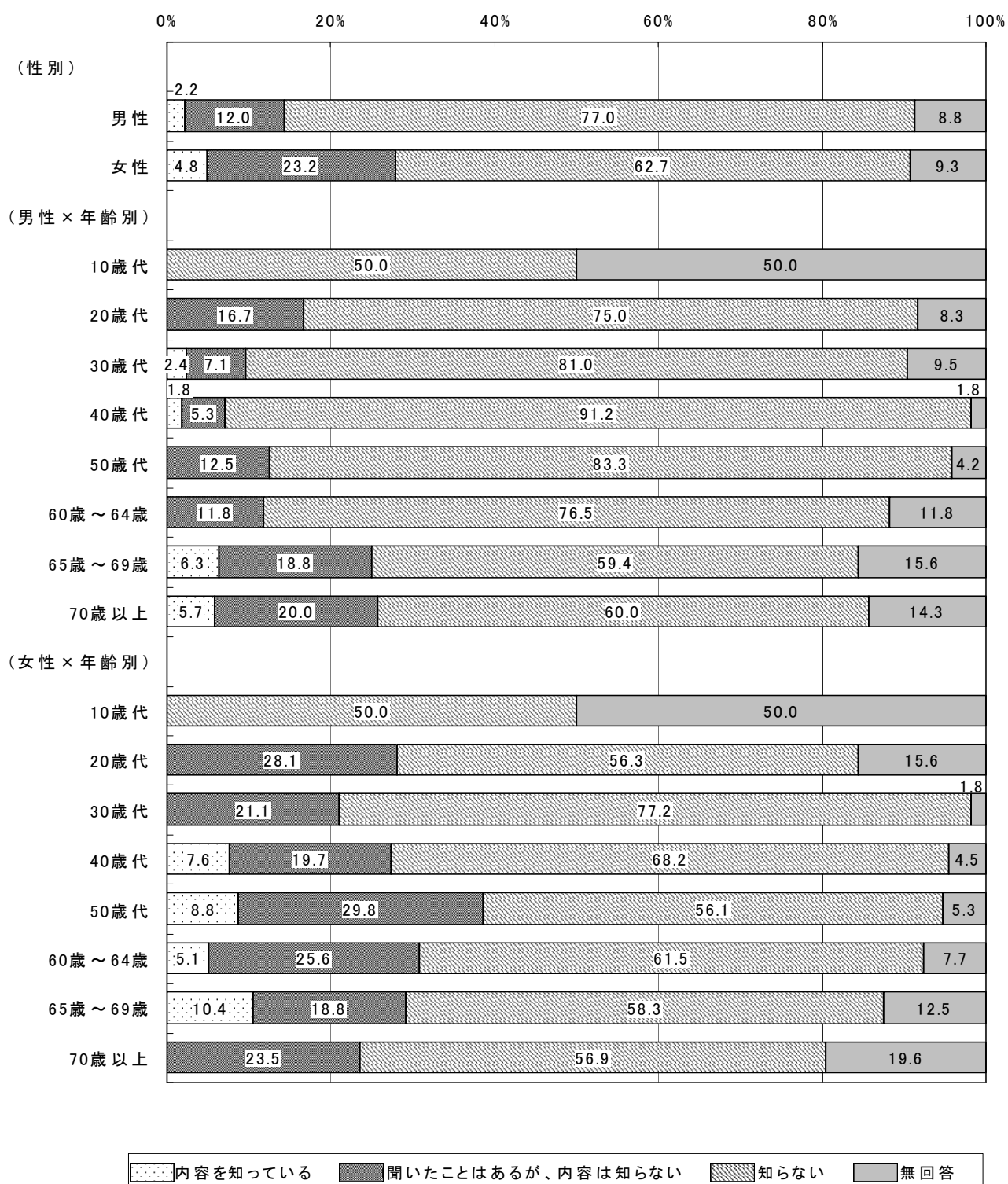


○性別、性・年齢別とも、同じ傾向となっており、全体的に、男性より女性の認知度が高い。



○性別、性・年齢別とも、同じ傾向となっており、全体的に、男性より女性の認知度が高い。

問48－男女共同参画センター『ゆーあい』

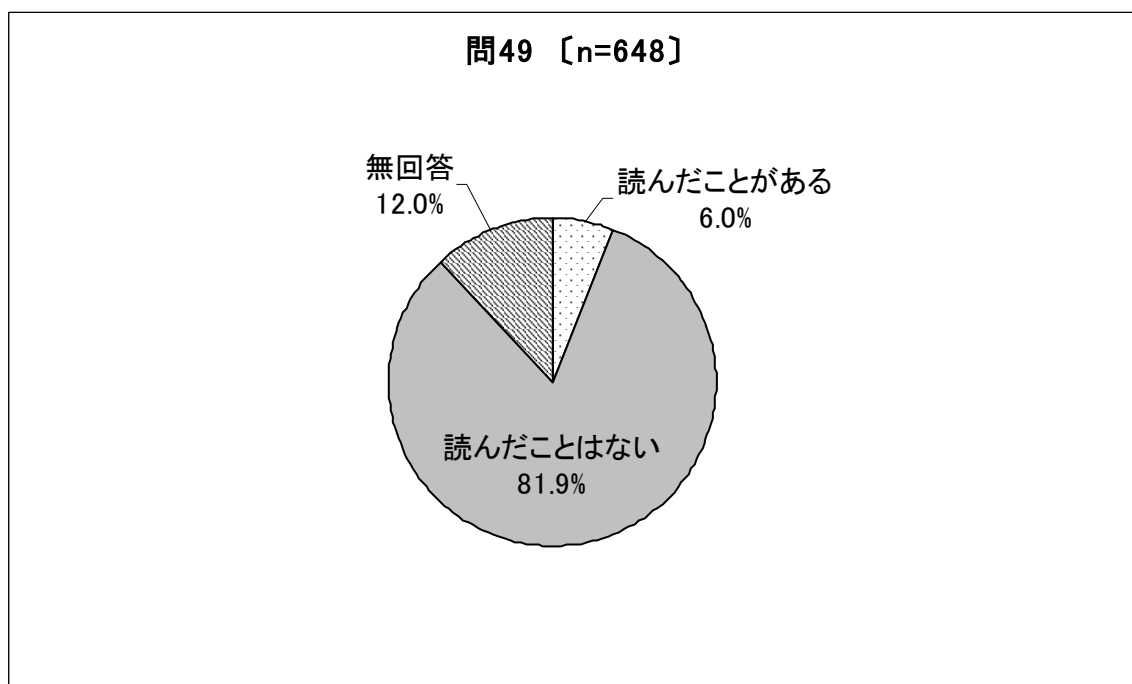


○性別、性・年齢別とも、同じ傾向となっており、全体的に、男性より女性の認知度が高い。

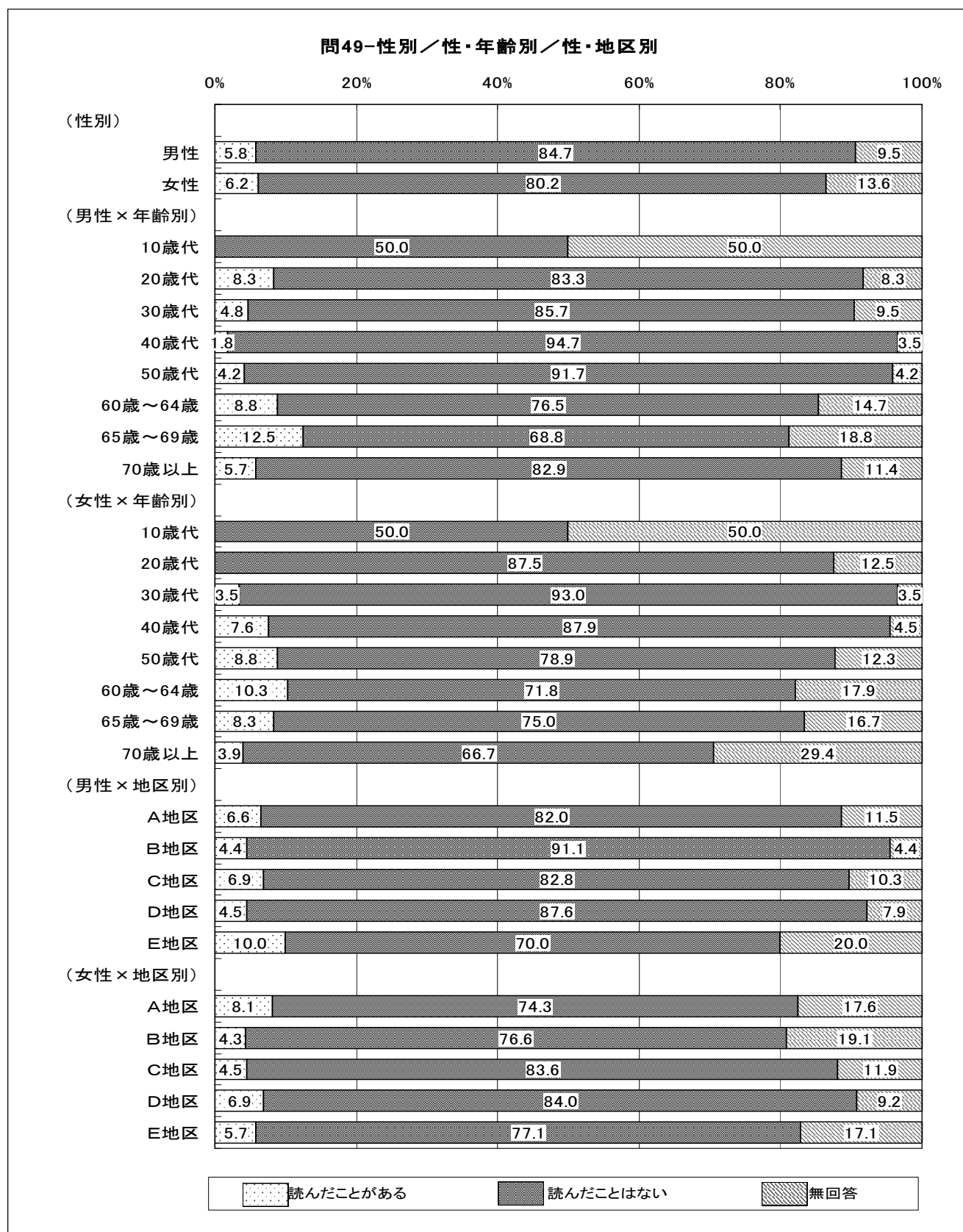
問 49 市では、男女共同参画推進市民委員会による企画、編集及び発行協力のもと、男女共同参画社会情報誌『YOU・I』を発行しています。あなたは、これまでにこの情報誌を読んだことがありますか。(○は1つ)

1 読んだことがある

2 読んだことはない



○情報誌については、「読んだことはない」が 81.9%と高く、「読んだことがある」は 6.0%にとどまっている。

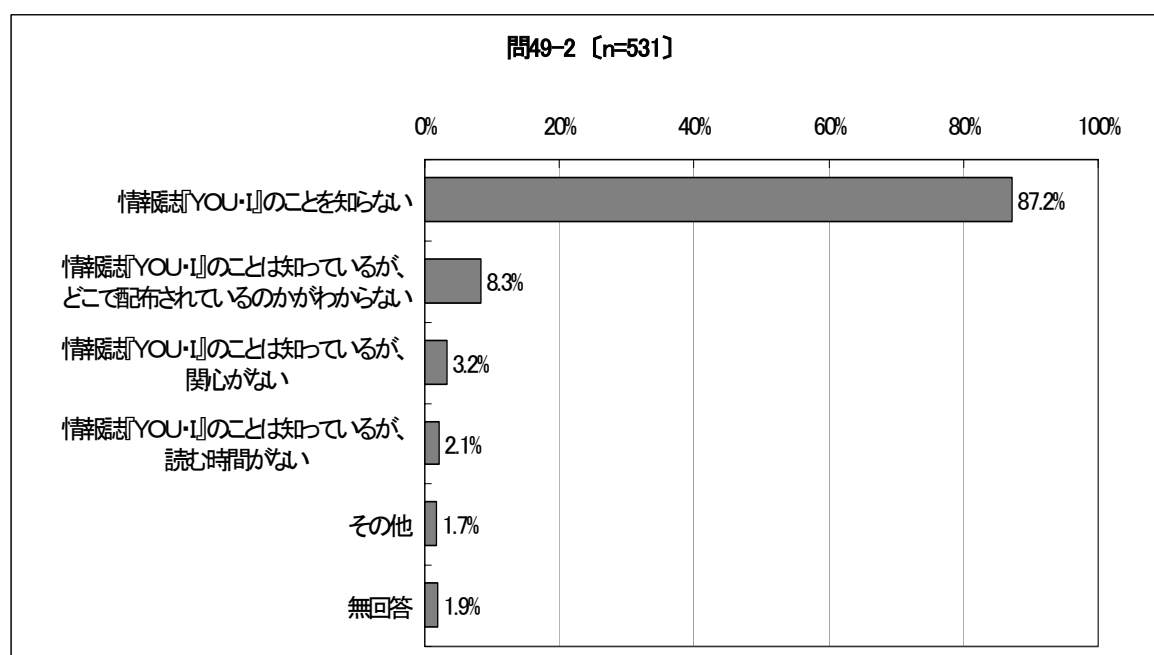


○性別、性・年齢別、性別・地区別とも、70%以上が「読んだことはない」と回答している。

○「読んだことがある」のは、性・年齢別では、男性の65歳～69歳で12.5%、女性の60歳～64歳で10.3%であり、比較的高齢者の方に多い。

問 49-2 問 49 で「2」と回答した方にお聞きします。読んだことがない理由は。(〇はいくつでも)

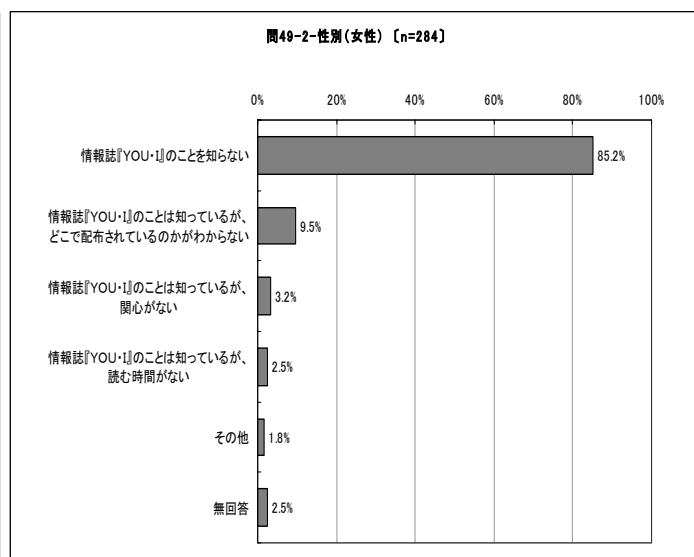
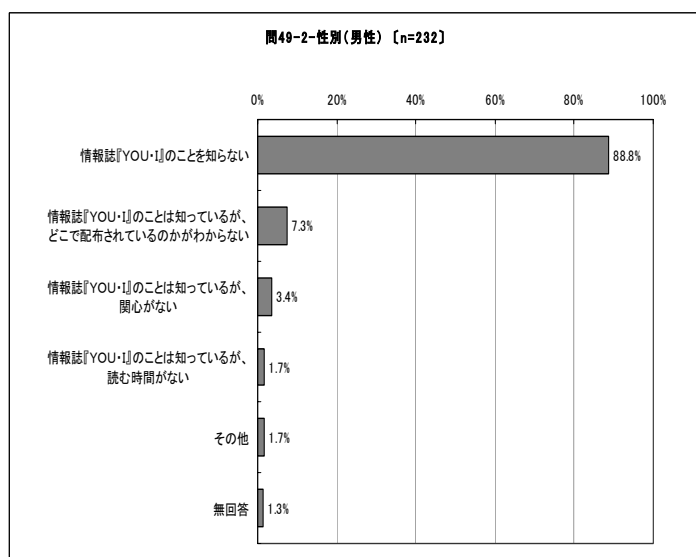
- 1 情報誌『YOU・I』のことを知らない
- 2 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、どこで配布されているのかわからない
- 3 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、関心がない
- 4 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、読む時間がない
- 5 その他 ()



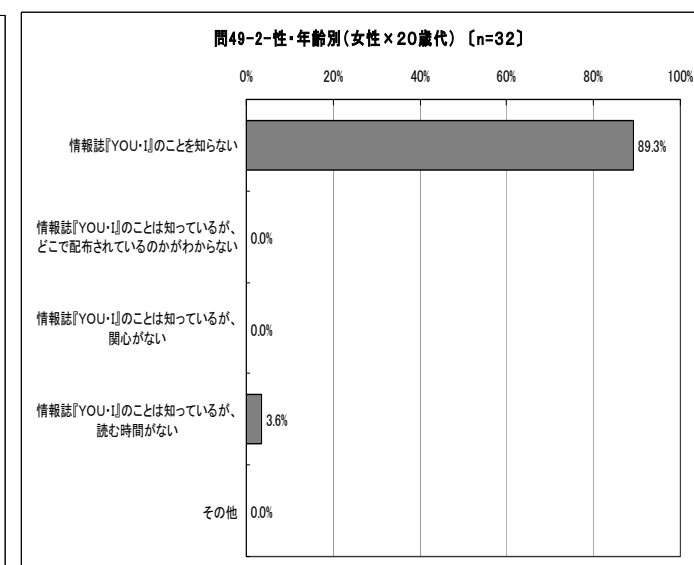
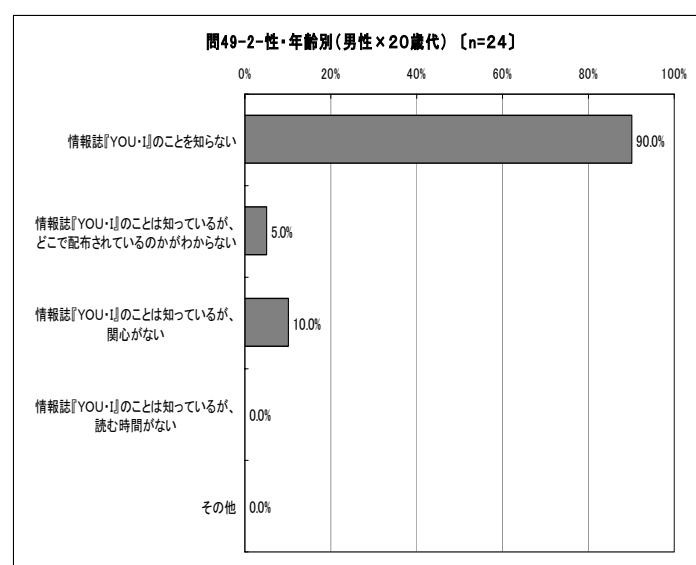
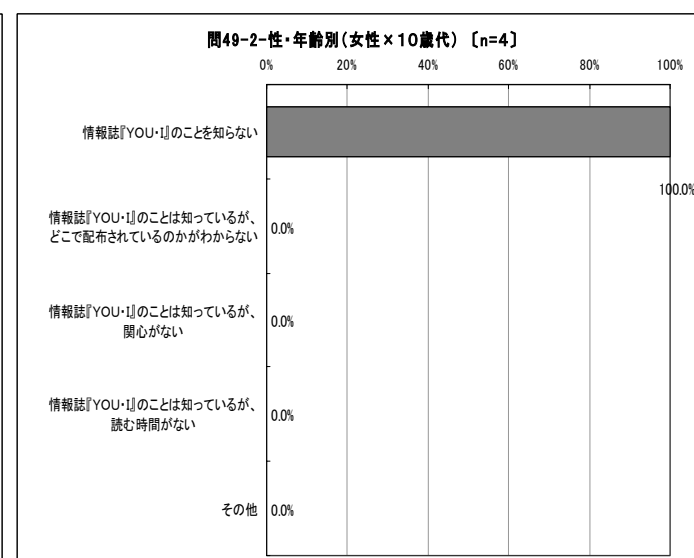
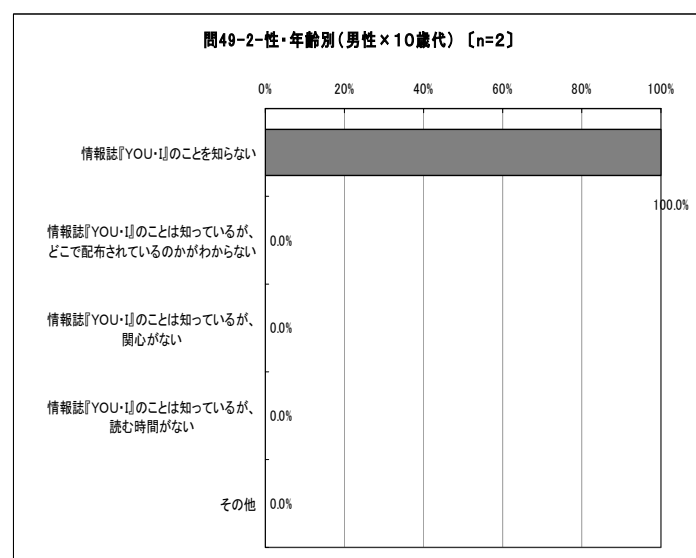
○読んだことがない理由については、「情報誌のことを知らない」が87.2%と高く、次に「情報誌は知っているが、どこで配布されているのかわからない」が8.3%で、以下「知っているが関心がない」が3.2%となっている。

○性別、性・年齢別ともに同様の傾向となっている。

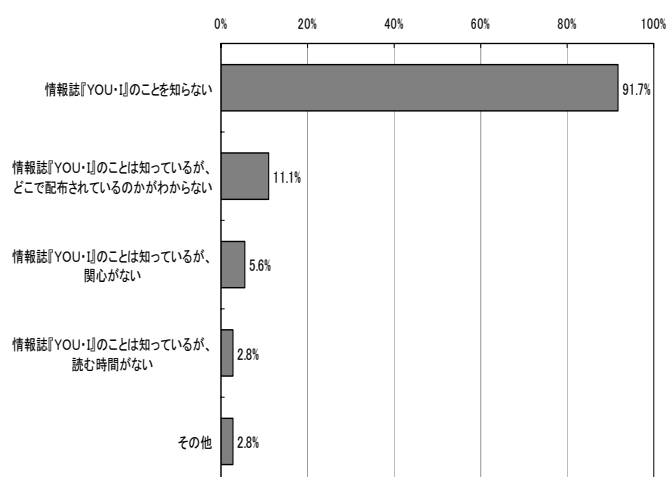
(性別)



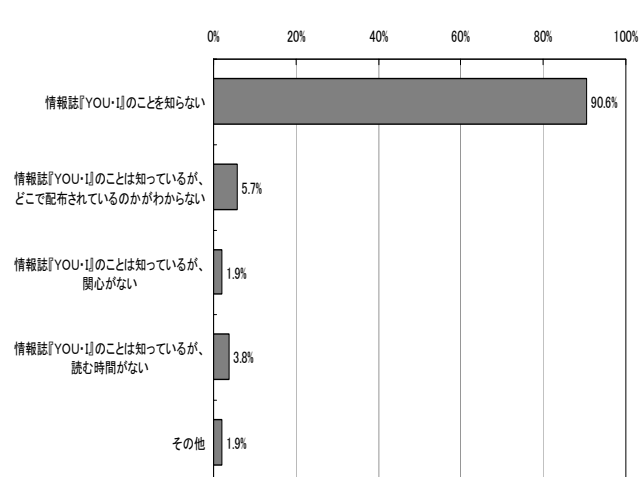
(性・年齢別)



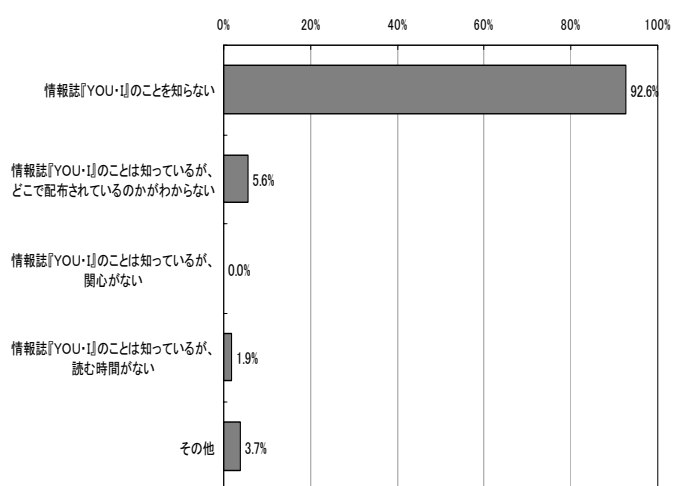
問49-2-性・年齢別(男性×30歳代) [n=42]



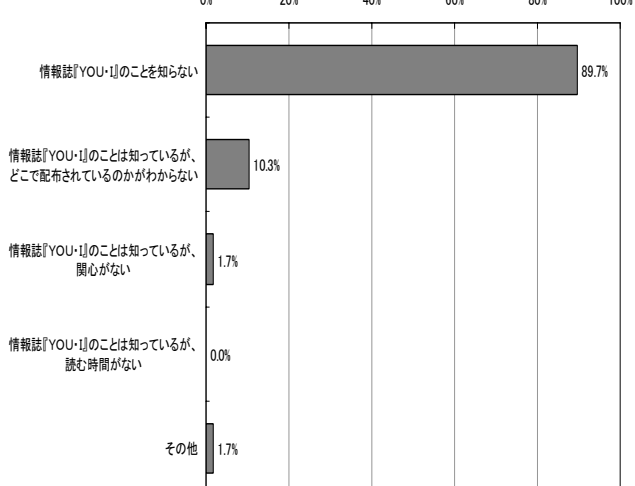
問49-2-性・年齢別(女性×30歳代) [n=57]



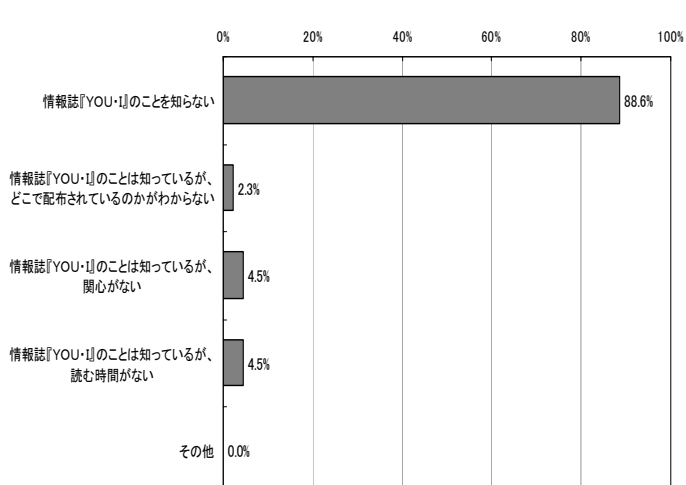
問49-2-性・年齢別(男性×40歳代) [n=57]



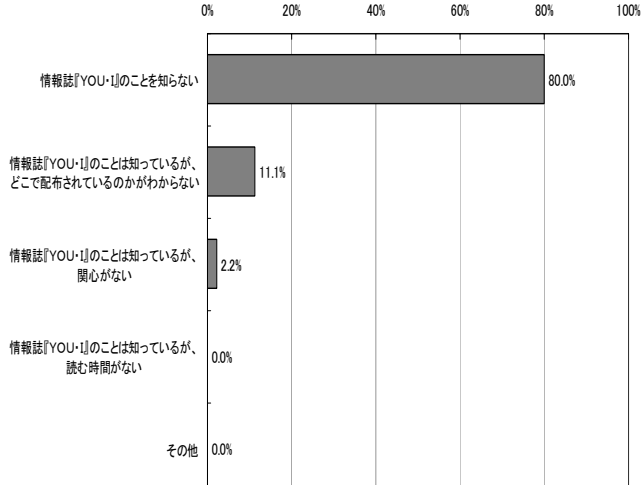
問49-2-性・年齢別(女性×40歳代) [n=66]



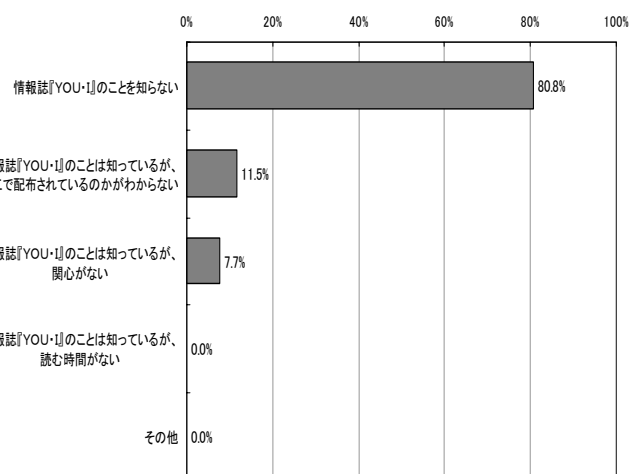
問49-2-性・年齢別(男性×50歳代) [n=48]



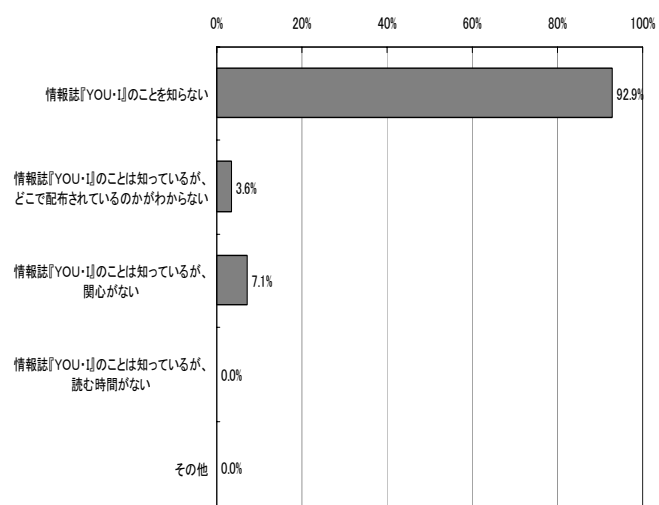
問49-2-性・年齢別(女性×50歳代) [n=57]



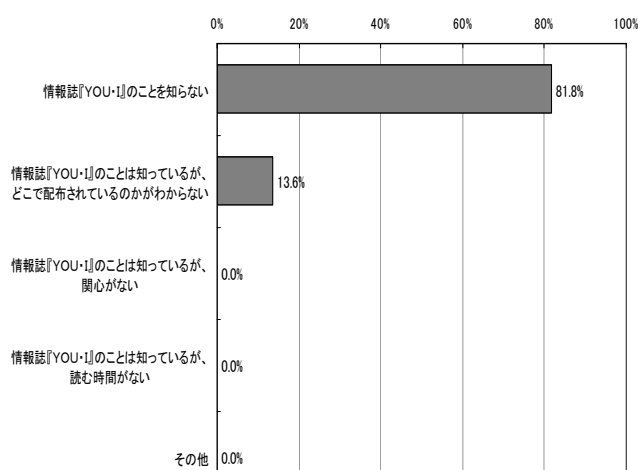
問49-2-性・年齢別(男性×60歳～64歳) [n=34]



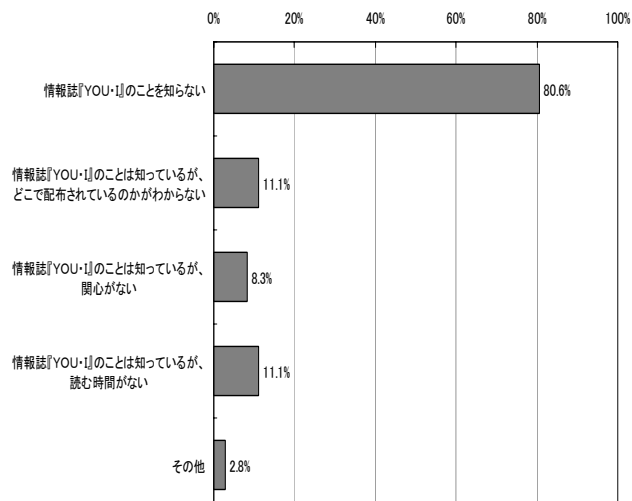
問49-2-性・年齢別(女性×60歳～64歳) [n=39]



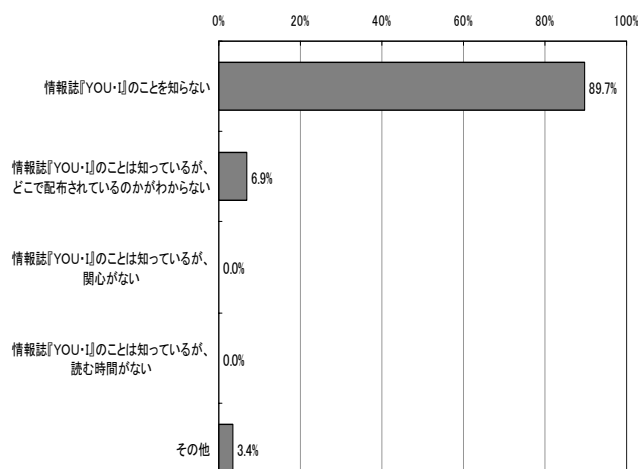
問49-2-性・年齢別(男性×65歳～69歳) [n=32]



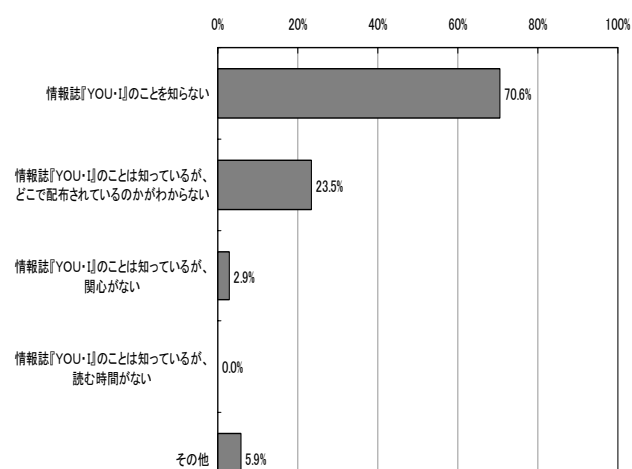
問49-2-性・年齢別(女性×65歳～69歳) [n=48]



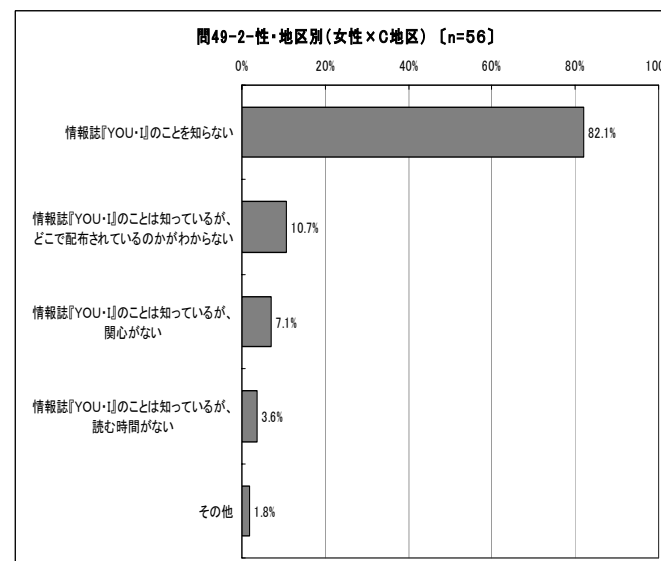
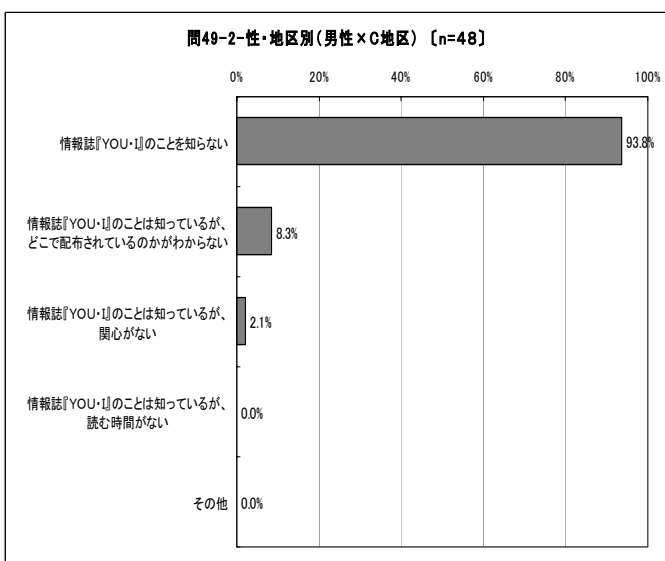
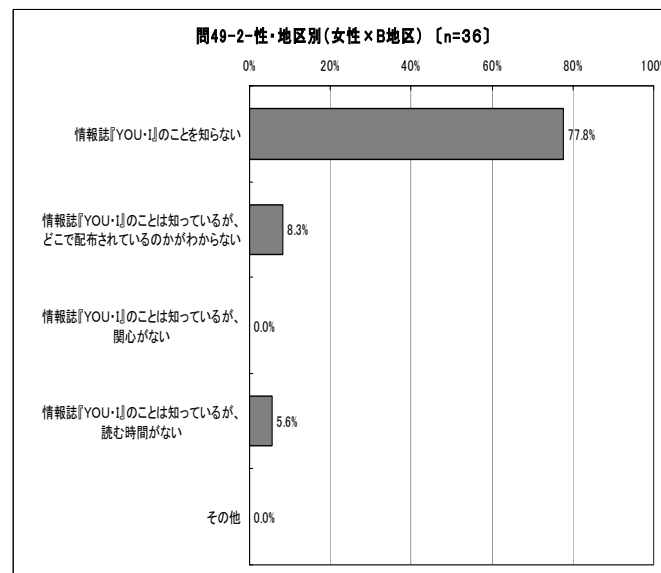
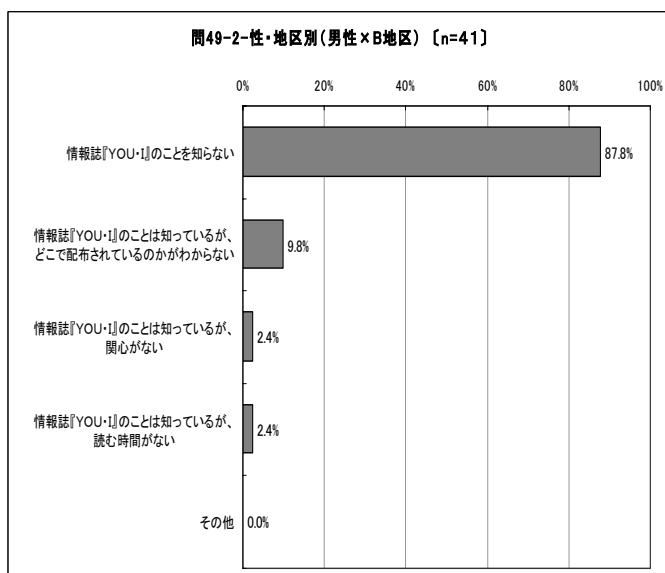
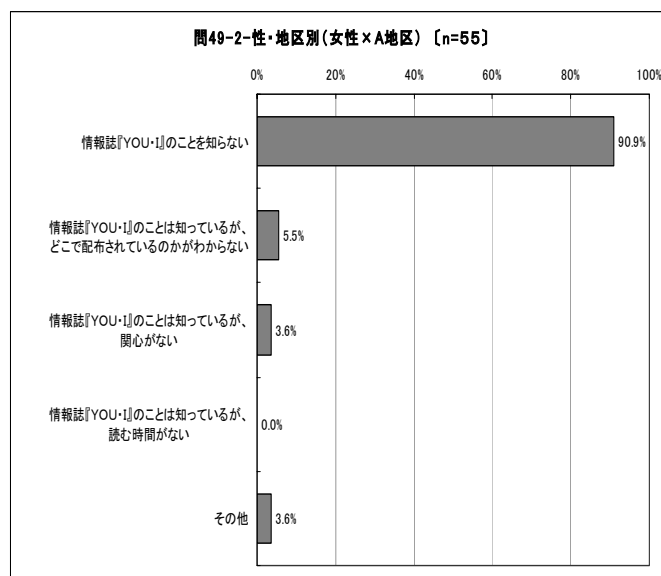
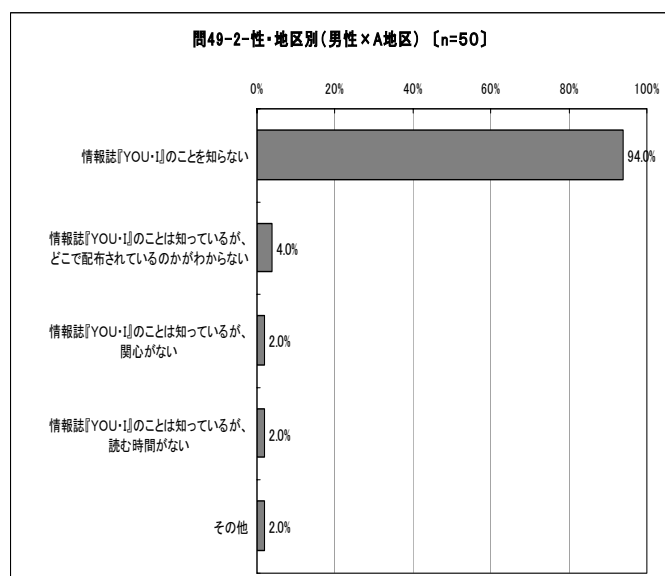
問49-2-性・年齢別(男性×70歳以上) [n=35]

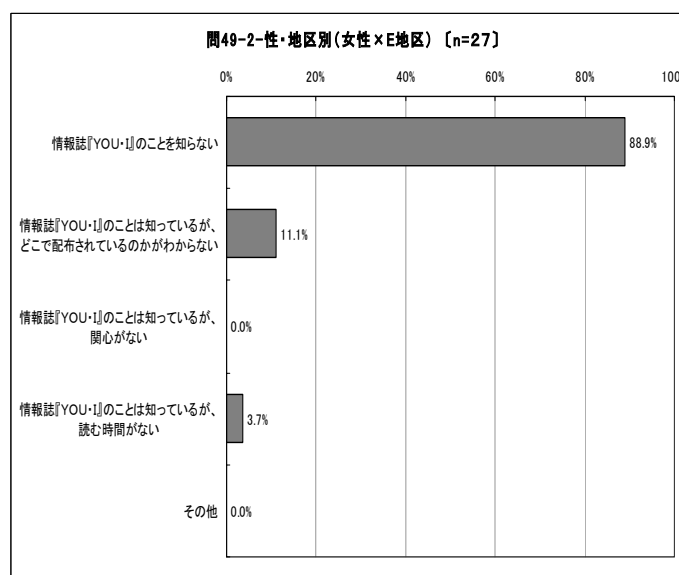
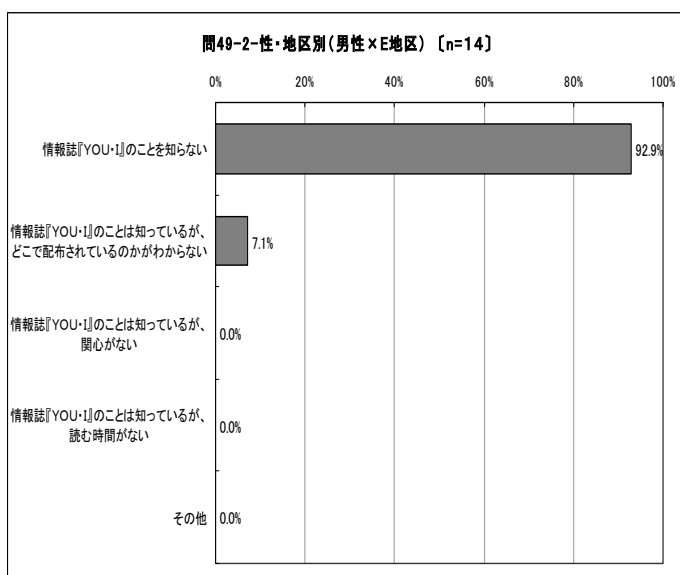
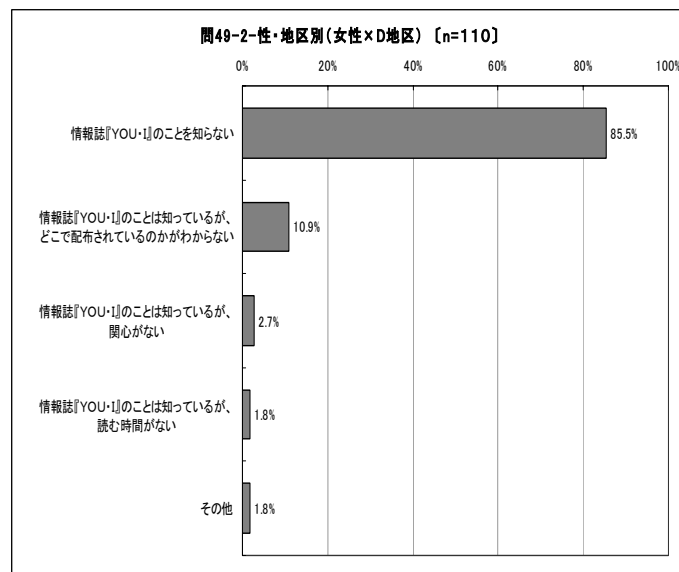
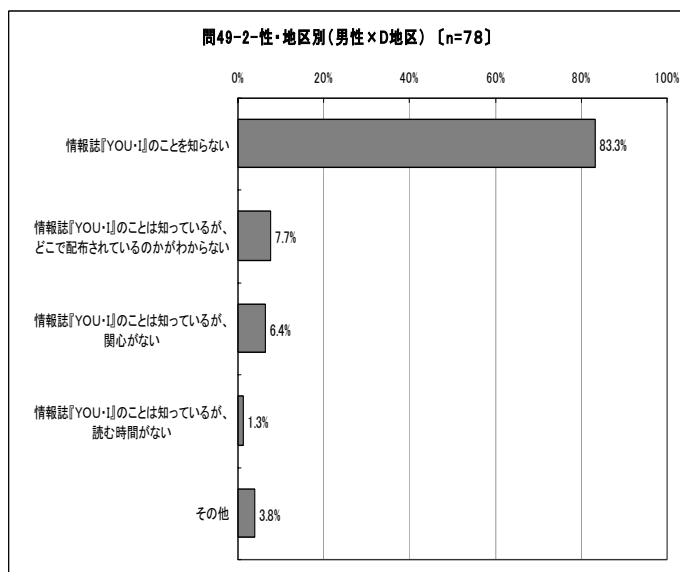


問49-2-性・年齢別(女性×70歳以上) [n=51]



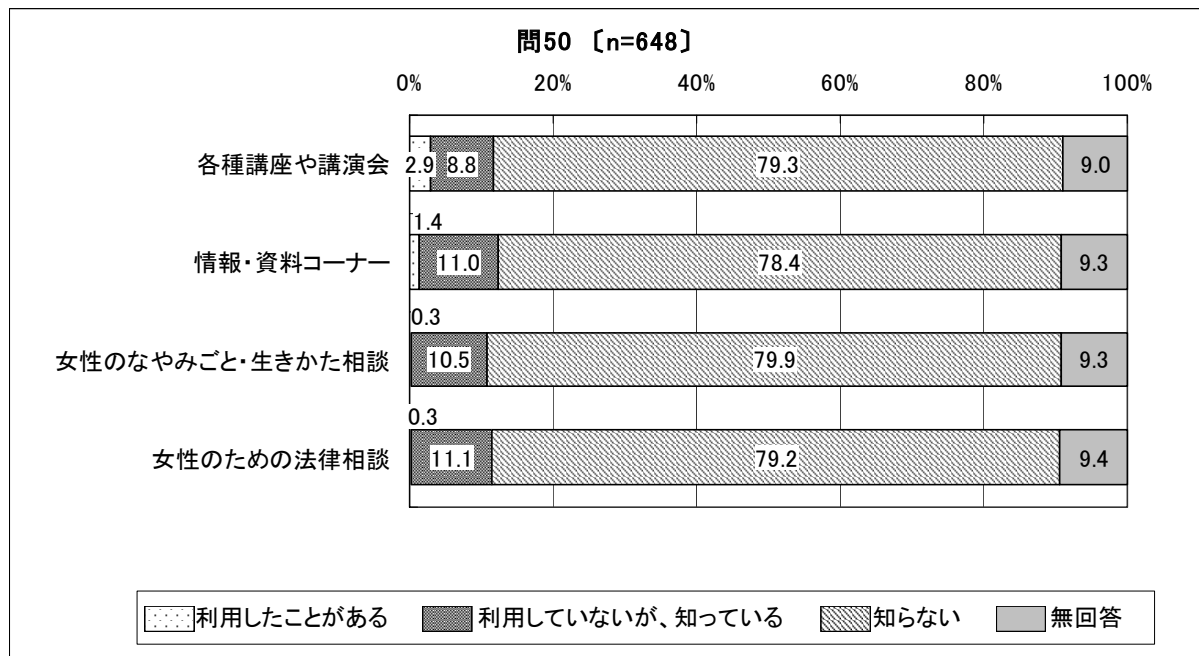
(性・地区別)





問50 市には男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。『ゆーあい』で行っている次のようなものを利用したことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	利用したことがある	利用していないが、知っている	知らない
ア 各種講座や講演会	1	2	3
イ 情報・資料コーナー	1	2	3
ウ 女性のなやみごと・生きかた相談	1	2	3
エ 女性のための法律相談	1	2	3



〇上にあげる施設については、いずれも「知らない」が70%後半と高く、次に「利用していないが、知っている」が約10%で、以下「利用したことがある」が2%台以下となっている。

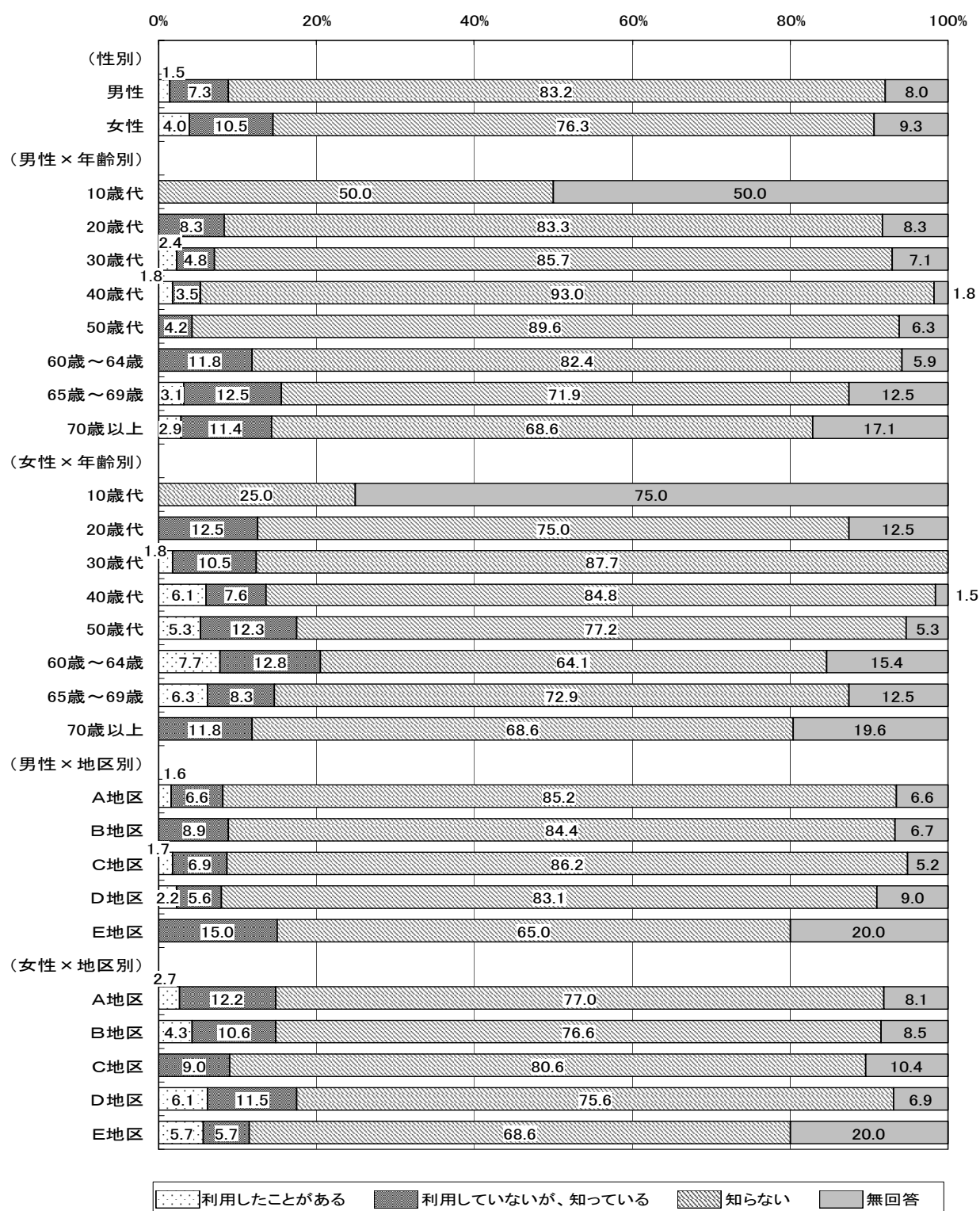
〇各種講座や講演会については、「知らない」が79.3%と高く、次に「利用していないが、知っている」が8.8%で、以下「利用したことがある」が2.9%となっている。

〇情報・資料コーナーについては、「知らない」が78.4%と高く、次に「利用していないが、知っている」が11.0%で、以下「利用したことがある」が1.4%となっている。

〇女性のなやみごと・生きかた相談については、「知らない」が79.9%と高く、次に「利用していないが、知っている」が10.5%で、以下「利用したことがある」が0.3%と少ない。

〇女性のための法律相談については、「知らない」が79.2%と高く、次に「利用していないが、知っている」が11.1%で、以下「利用したことがある」が0.3%と少ない。

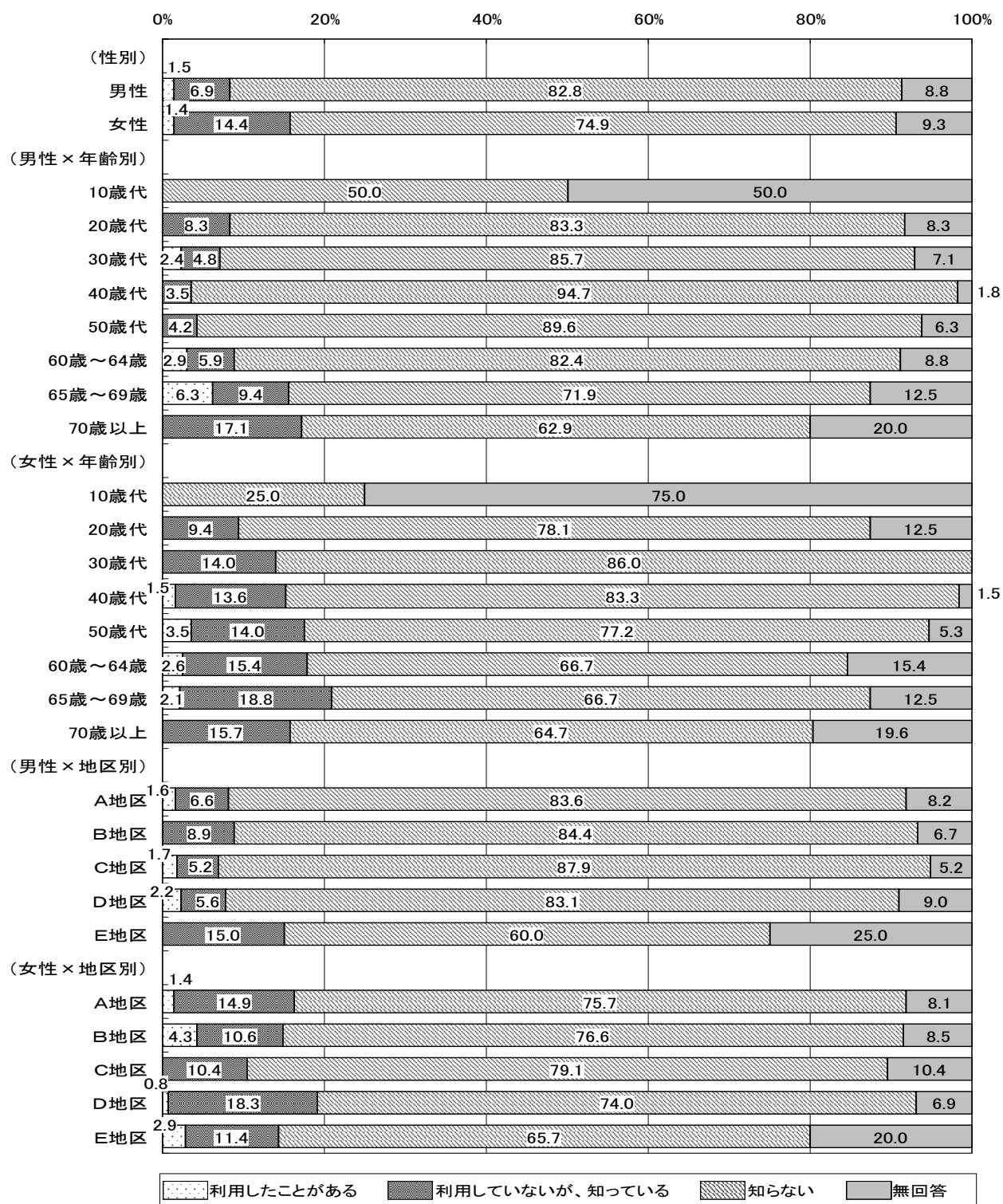
問50—各種講座や講演会



○性別では、女性より男性の方が「知らない」とする割合が高くなっている。

○「利用したことがある」の割合が比較的高いのは、性・年齢別では、女性の40歳代～69歳までで、それぞれ5%以上となっている。地区別では、D地区とE地区で5%以上の利用がある。

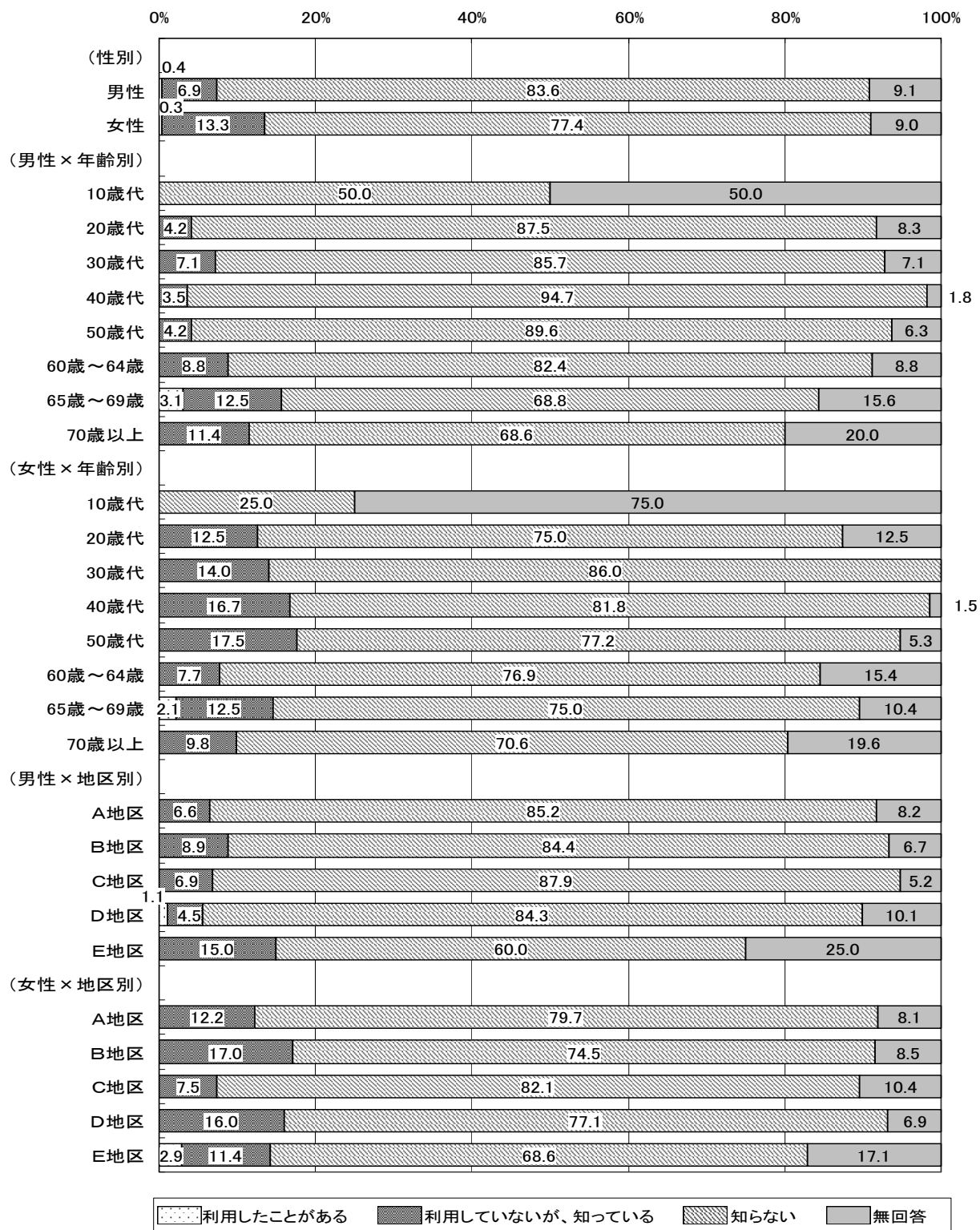
問50-情報・資料コーナー



○性別では、女性より男性が「知らない」とする割合が高い値となっている。

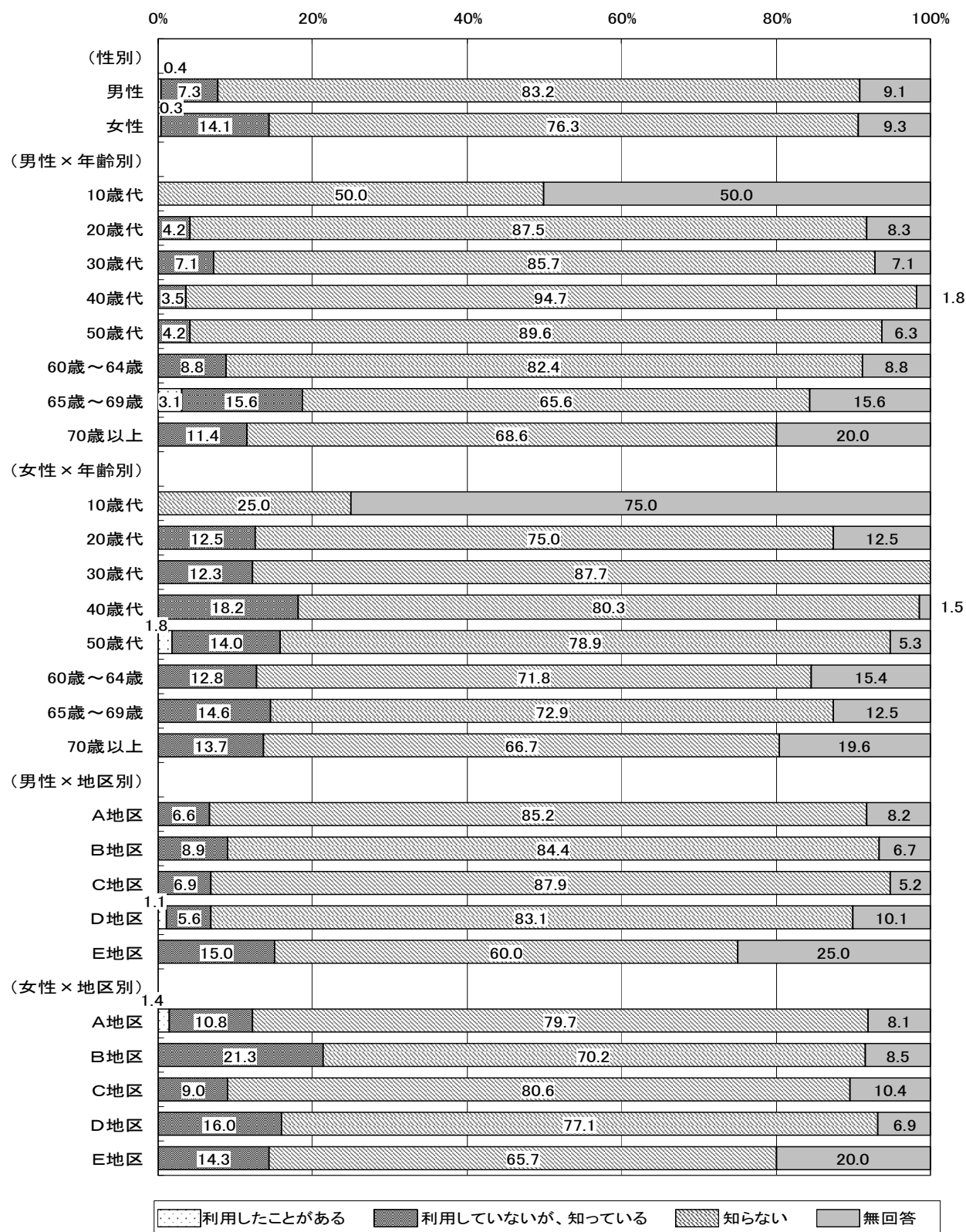
○「利用したことがある」の割合が比較的高いのは、性・年齢別では、男性の65歳～69歳で、5%以上利用している。

問50－女性のなやみごと・生きかた相談



○性別では、女性より男性の方が「知らない」とする割合が高い値となっている。

問50－女性のための法律相談

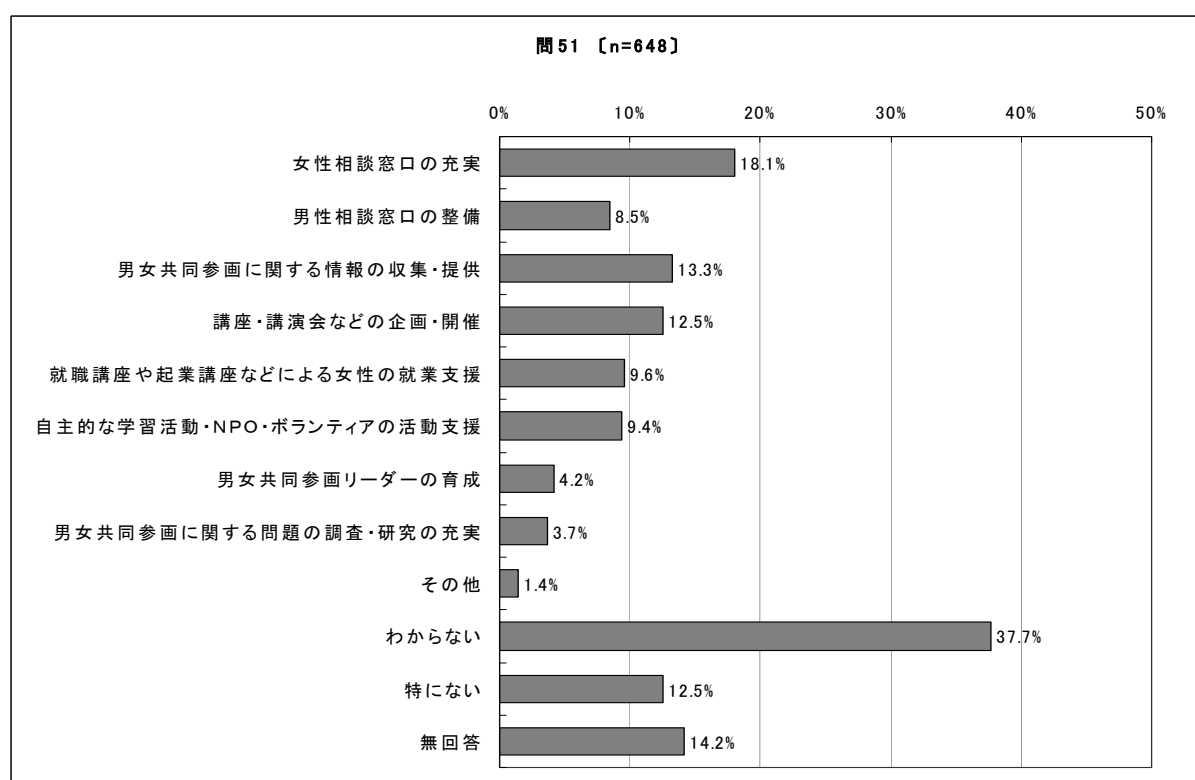


○性別では、女性より男性の方が「知らない」とする割合が高い値となっている。

問51 あなたは、男女共同参画センター『ゆーあい』にどのような事業を期待しますか。

(〇はいくつでも)

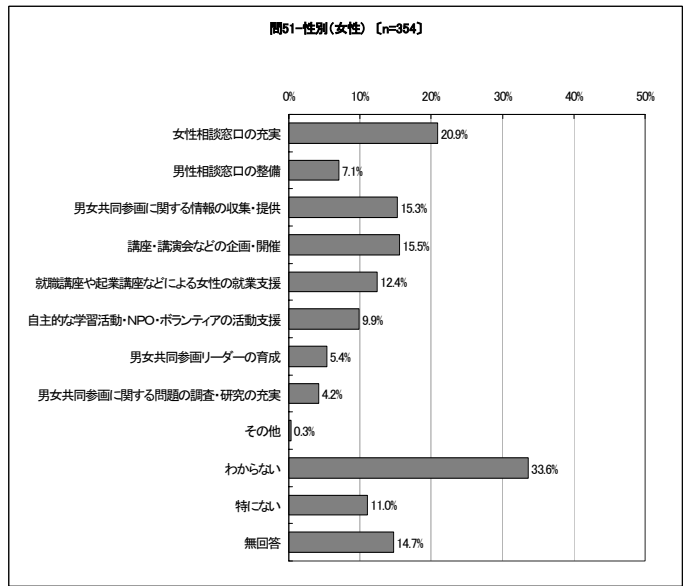
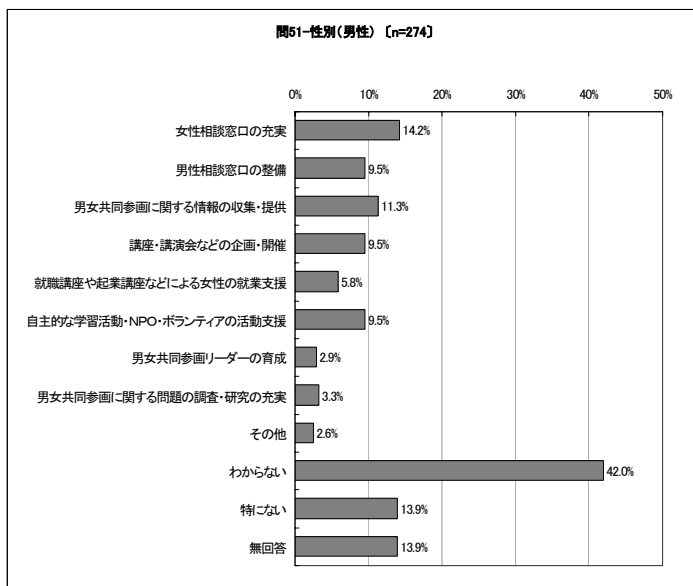
- 1 女性相談窓口の充実
- 2 男性相談窓口の整備
- 3 男女共同参画に関する情報の収集・提供
- 4 講座・講演会などの企画・開催
- 5 就職講座や起業講座などによる女性の就業支援
- 6 自主的な学習活動・NPO・ボランティアの活動支援
- 7 男女共同参画リーダーの育成
- 8 男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実
- 9 その他 ()
- 10 わからない
- 11 特にない



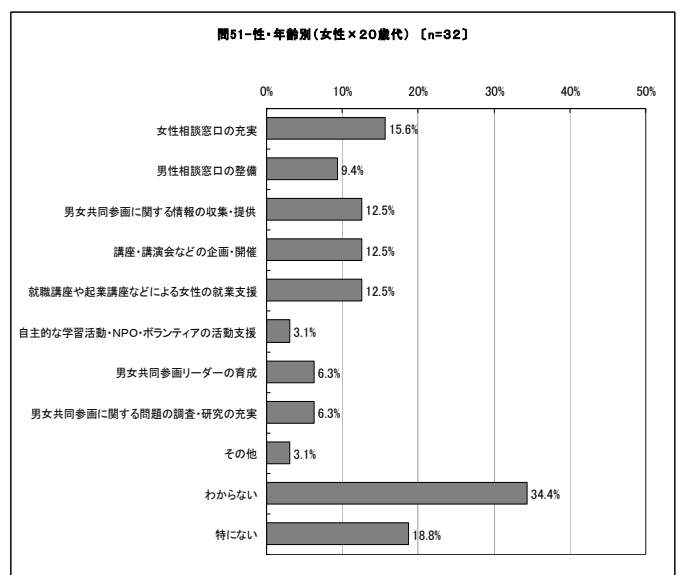
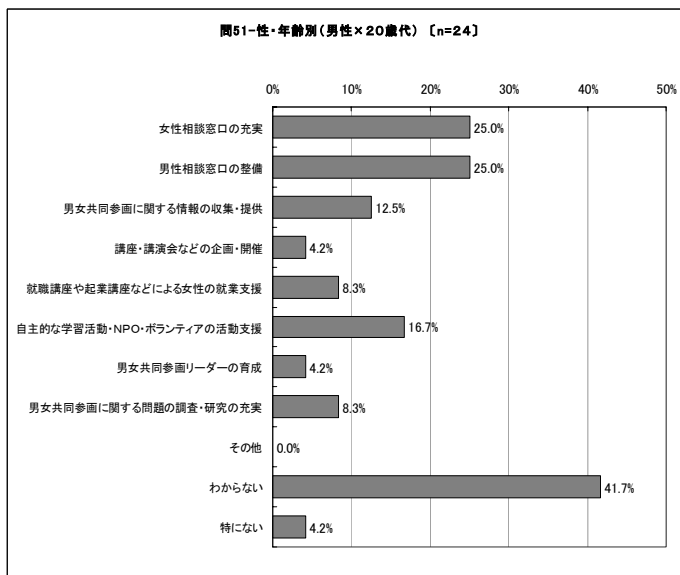
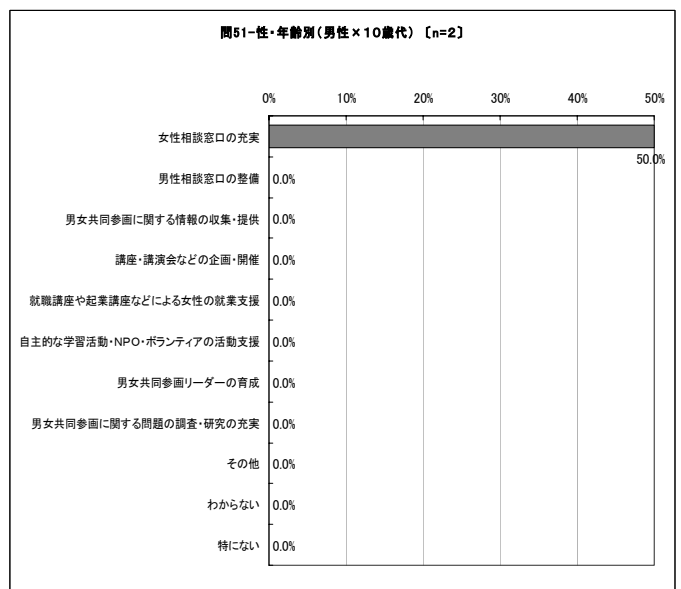
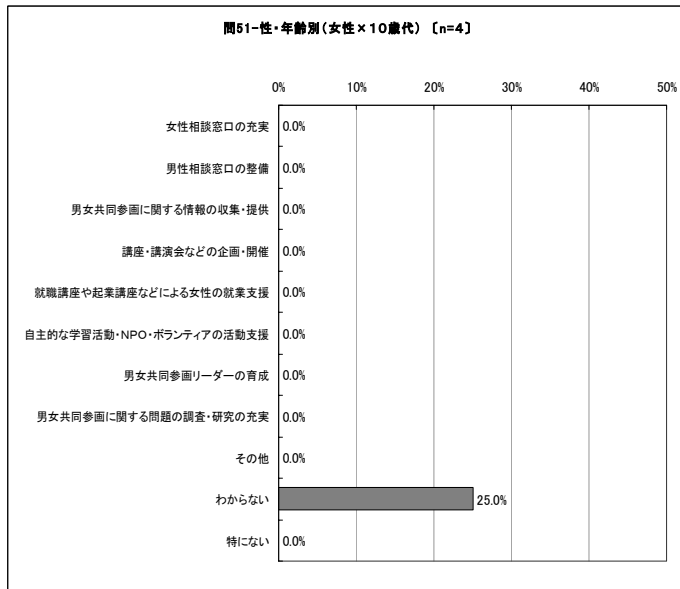
○「ゆーあい」の事業内容に対する期待の設問については、「わからない」とする人が 37.7%と多く、次に「女性相談窓口の充実」が 18.1%で、以下「男女共同参画に関する情報の収集・提供」が 13.3%となっており、性別では、男性・女性とも同様の傾向となっている。

○性・年齢別、性・地区別においても同様の傾向となっているが、女性の 40 歳代で「女性相談窓口の充実」が 33.3%と、女性の 60 歳～64 歳で「講座・講演会などの企画・開催」が 25.6%、また男性の E 地区で「男女共同参画に関する情報の収集・提供」が 20.0%と高い値となっている。

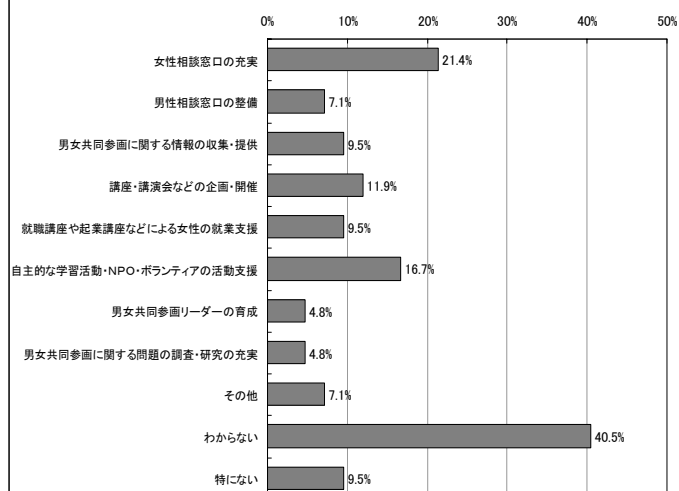
(性別)



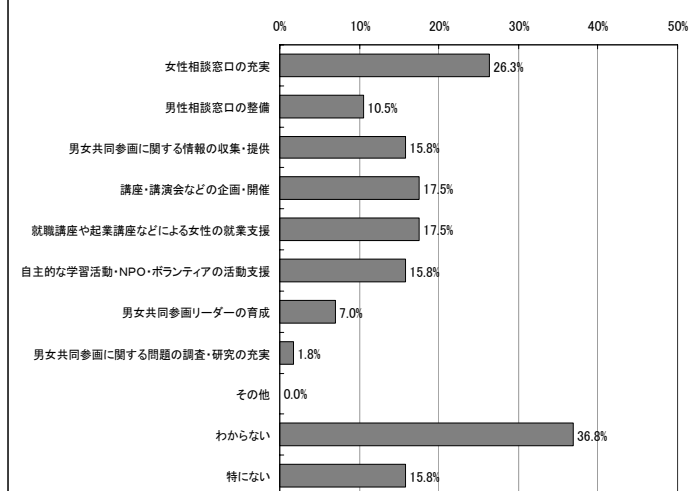
(性・年齢別)



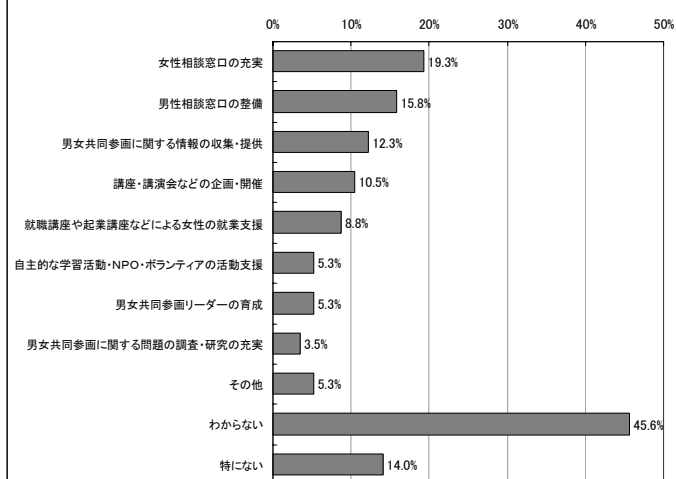
問51-性・年齢別(男性×30歳代)【n=42】



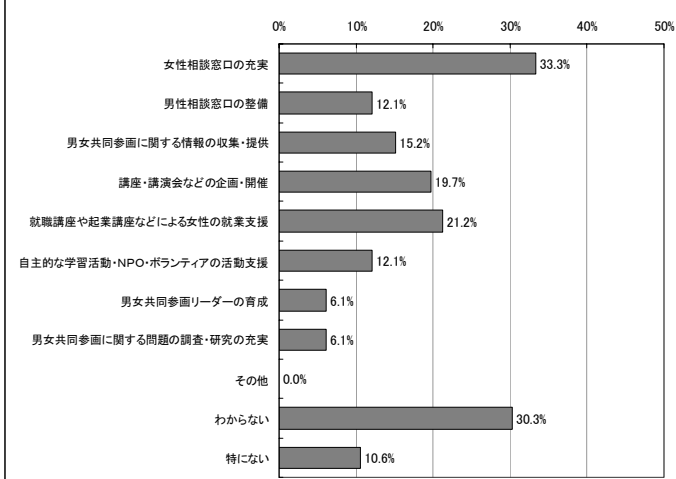
問51-性・年齢別(女性×30歳代)【n=57】



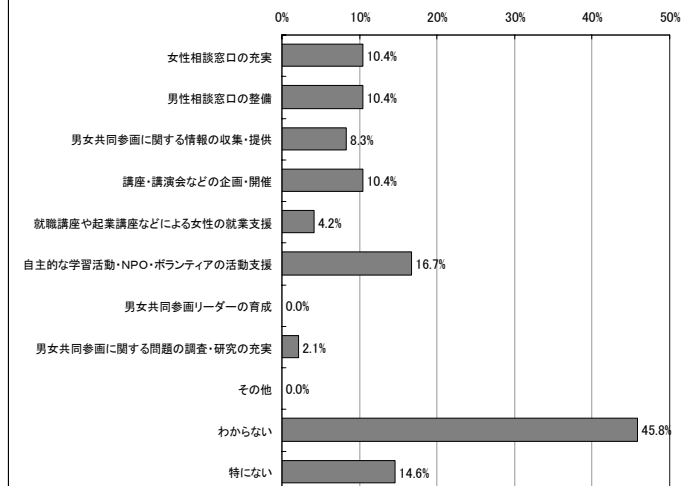
問51-性・年齢別(男性×40歳代)【n=57】



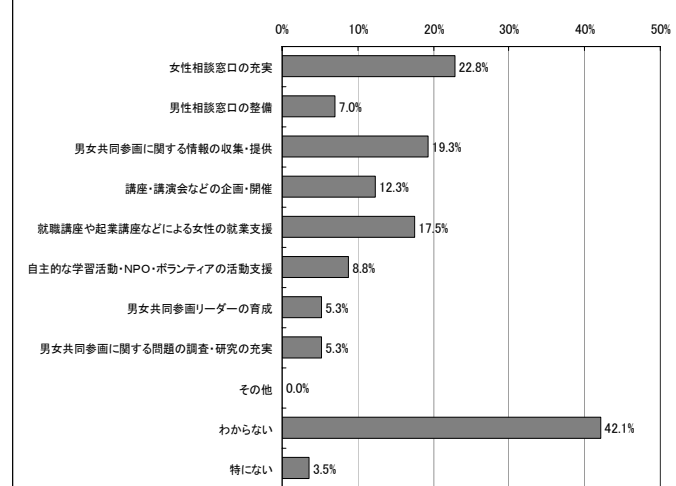
問51-性・年齢別(女性×40歳代)【n=66】



問51-性・年齢別(男性×50歳代)【n=48】

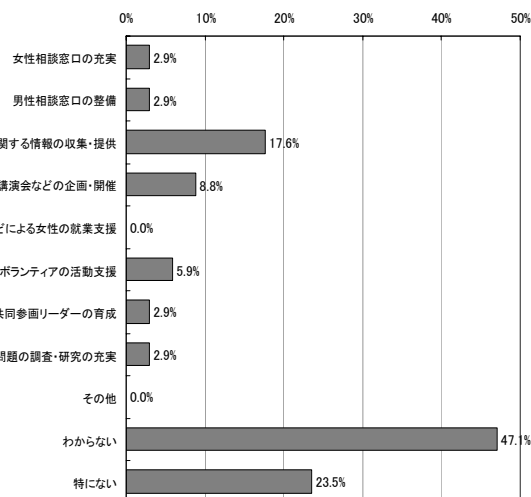


問51-性・年齢別(女性×50歳代)【n=57】

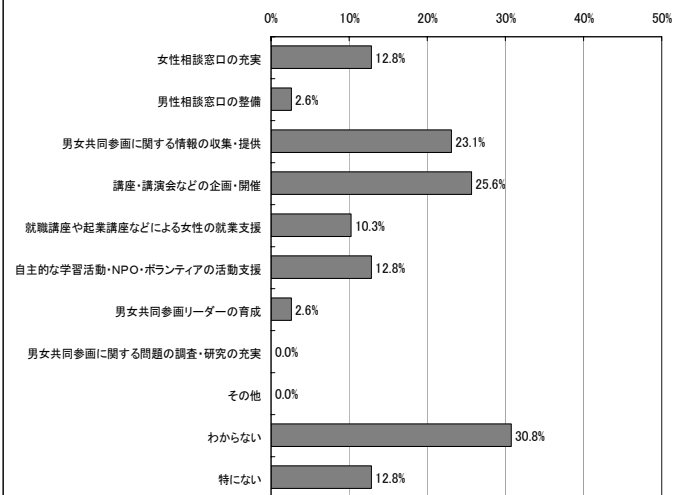


第3章 市民意識調査の集計結果

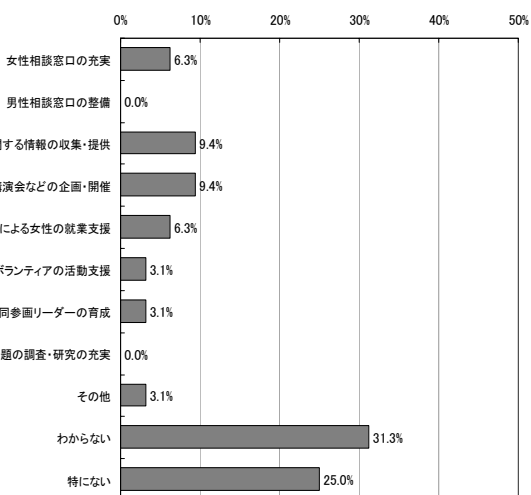
問51-性・年齢別(男性×60歳～64歳)【n=34】



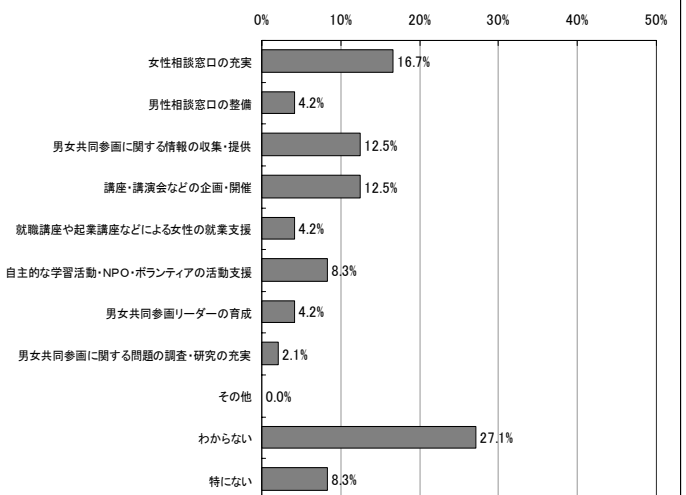
問51-性・年齢別(女性×60歳～64歳)【n=39】



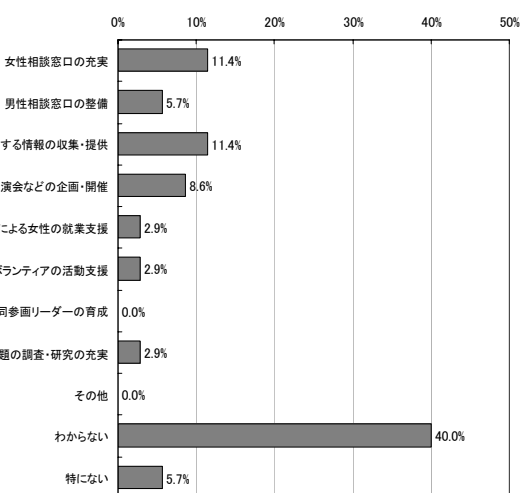
問51-性・年齢別(男性×65～69歳)【n=32】



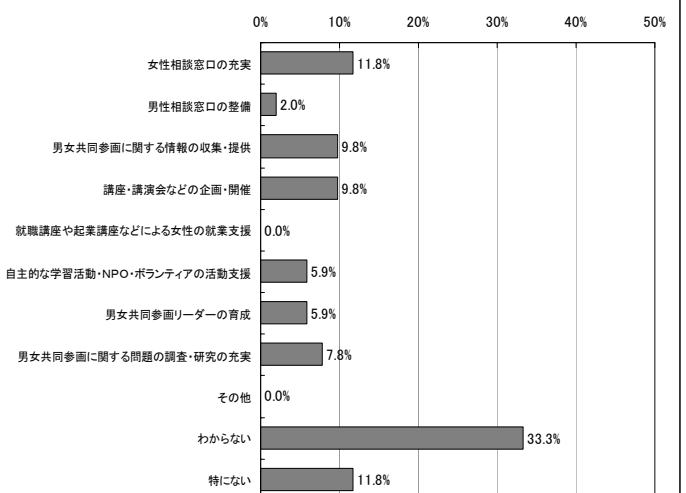
問51-性・年齢別(女性×65～69歳)【n=48】



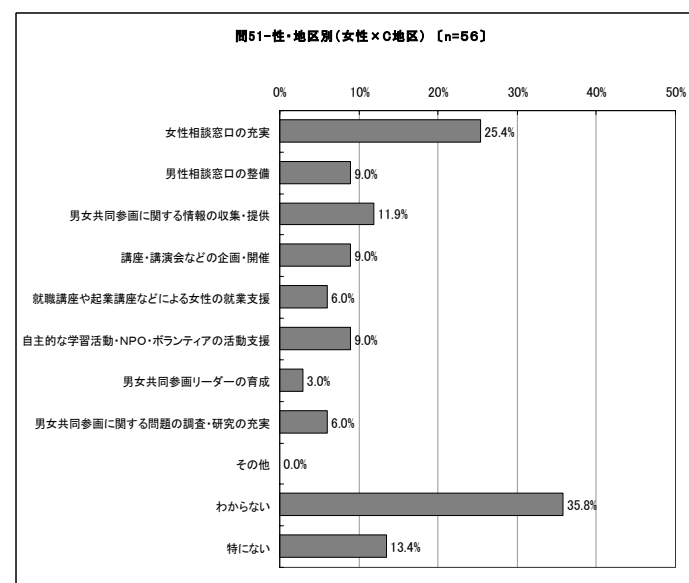
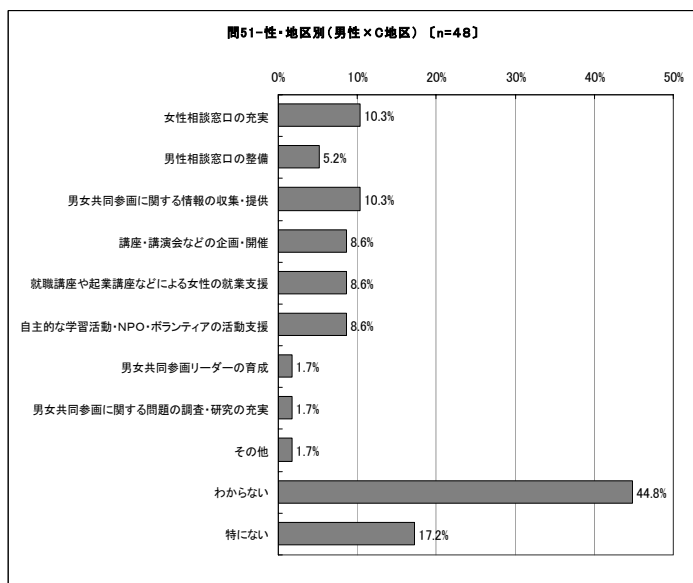
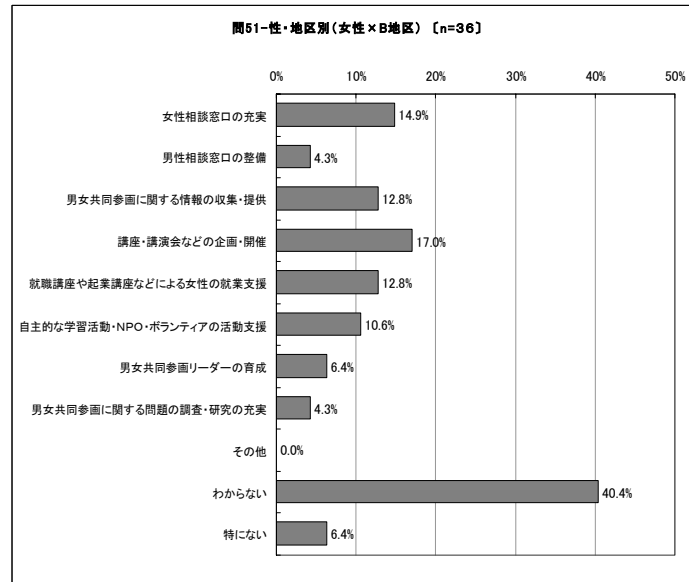
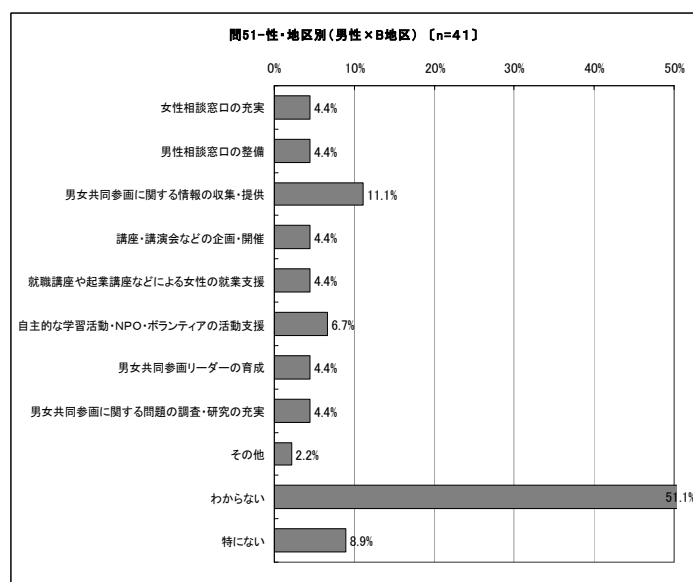
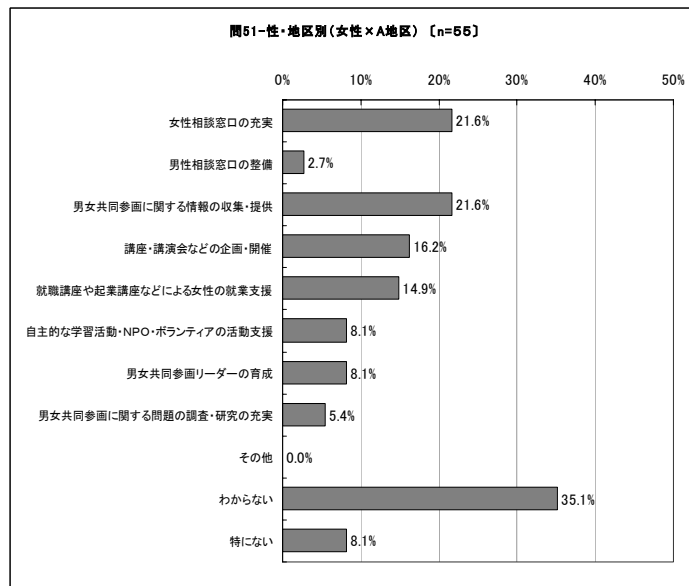
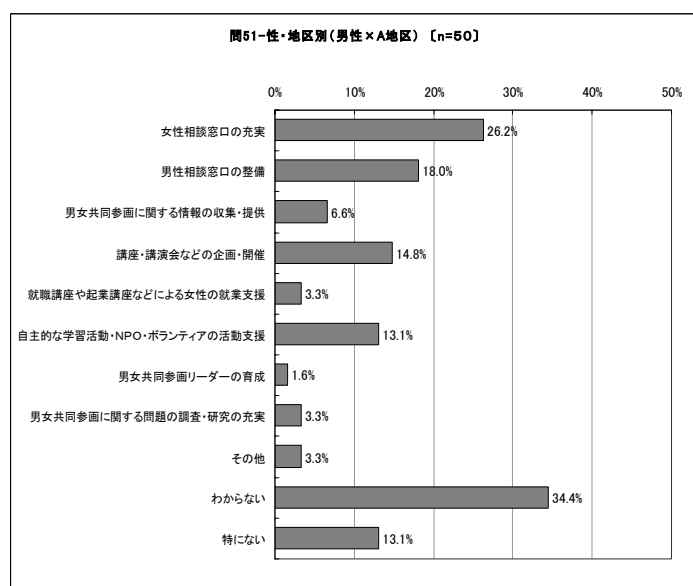
問51-性・年齢別(男性×70歳以上)【n=35】



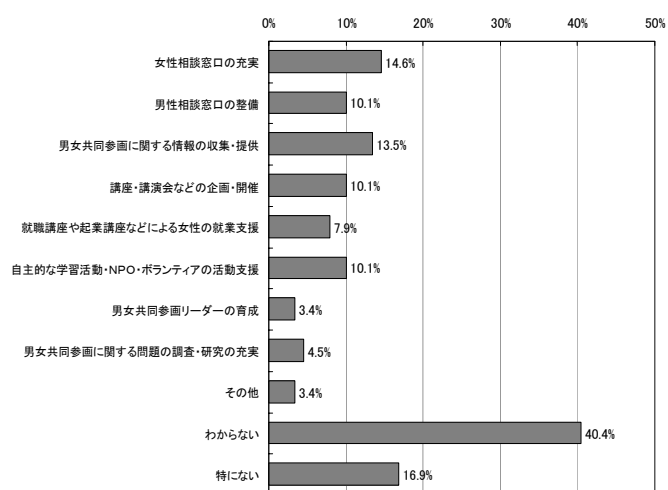
問51-性・年齢別(女性×70歳以上)【n=51】



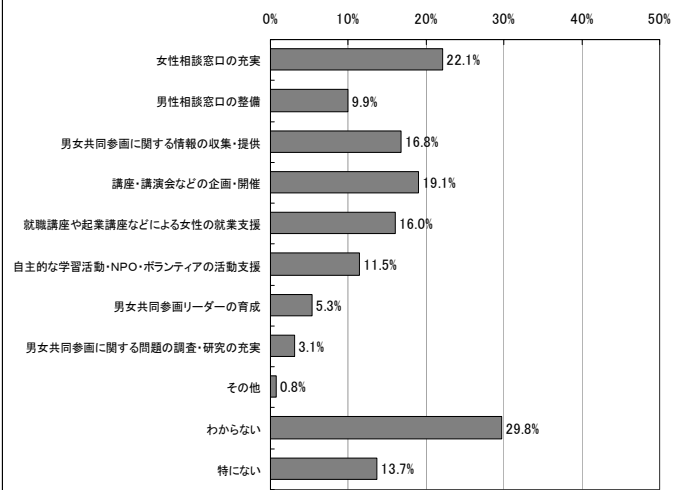
(性・地区別)



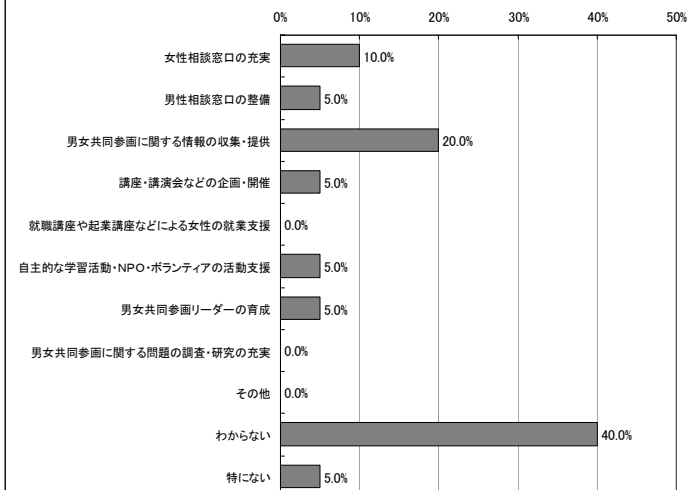
問51-性・地区別(男性×D地区) [n=78]



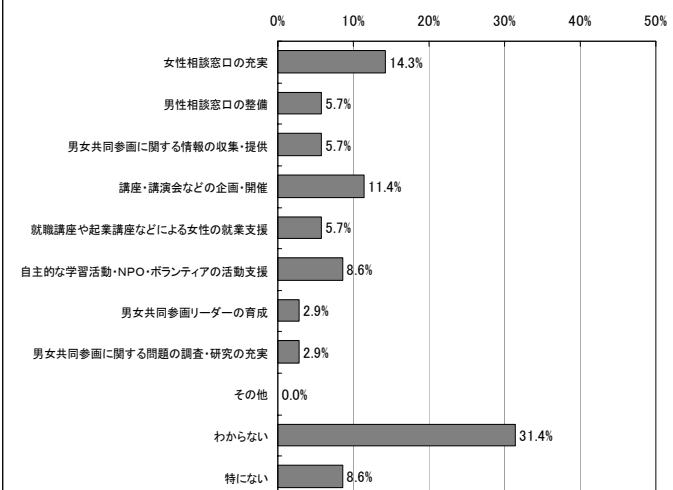
問51-性・地区別(女性×D地区) [n=110]



問51-性・地区別(男性×E地区) [n=14]



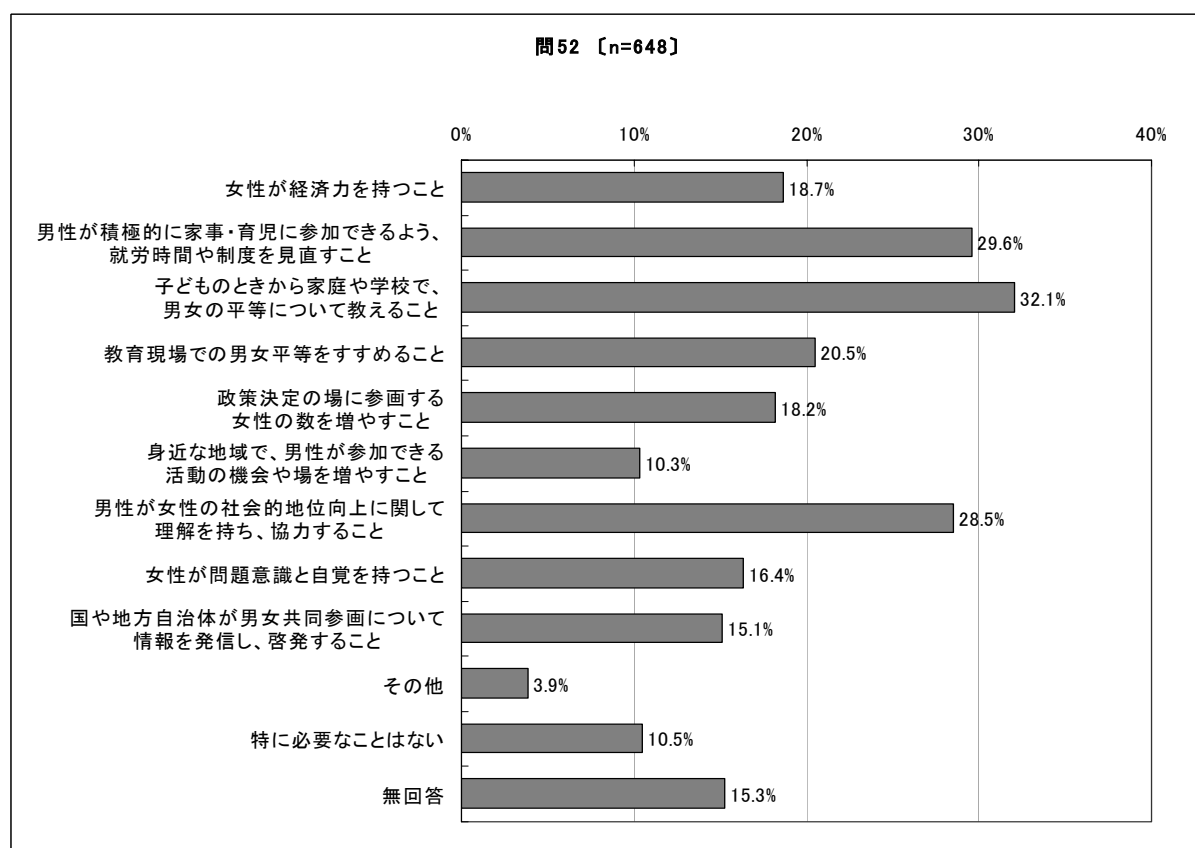
問51-性・地区別(女性×E地区) [n=27]



問52 あなたは、男女共同参画社会(※)を実現させるために、社会全体として今後どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 女性が経済力を持つこと
- 2 男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、就労時間や制度を見直すこと
- 3 子どものときから家庭や学校で、男女の平等について教えること
- 4 教育現場での男女平等をすすめること
- 5 政策決定の場に参画する女性の数を増やすこと
- 6 身近な地域で、男性が参加できる活動の機会や場を増やすこと
- 7 男性が女性の社会的地位向上に関して理解を持ち、協力すること
- 8 女性が問題意識と自覚を持つこと
- 9 国や地方自治体が男女共同参画について情報を発信し、啓発すること
- 10 その他 ()
- 11 特に必要なことはない

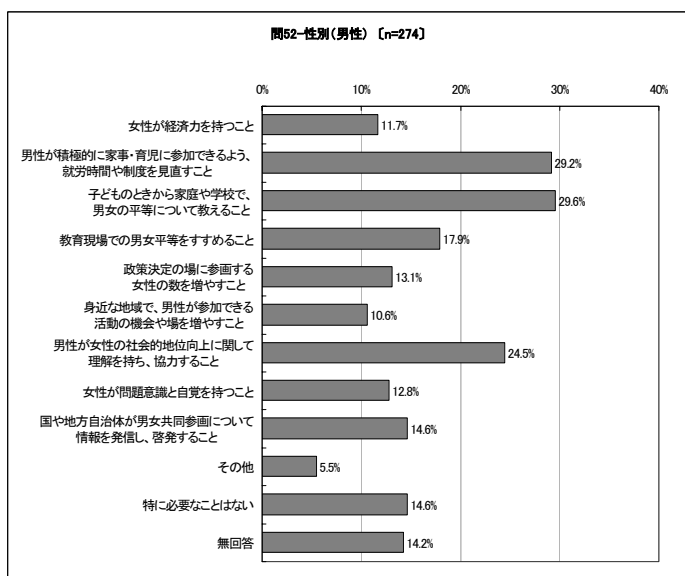
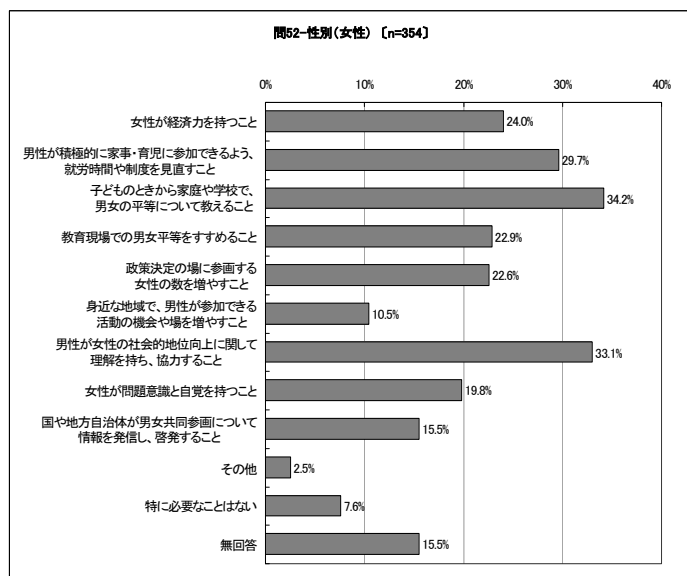
※ 男女共同参画社会 : 性別に関わりなく一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しながら、個性と能力を十分に発揮し、共に参画できる社会



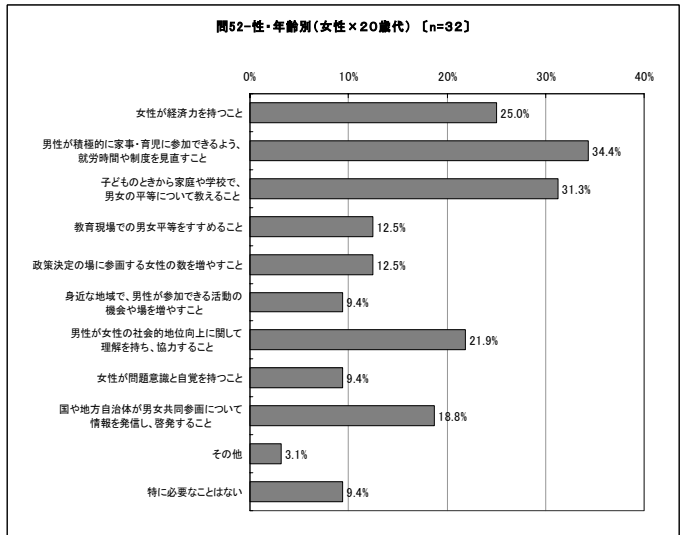
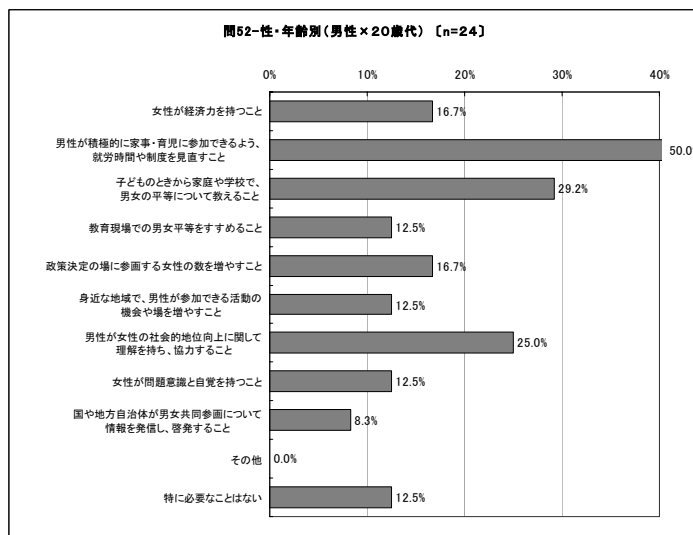
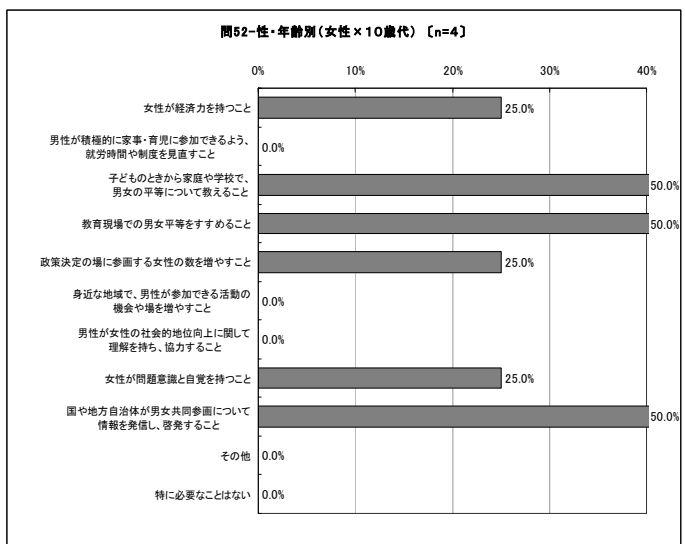
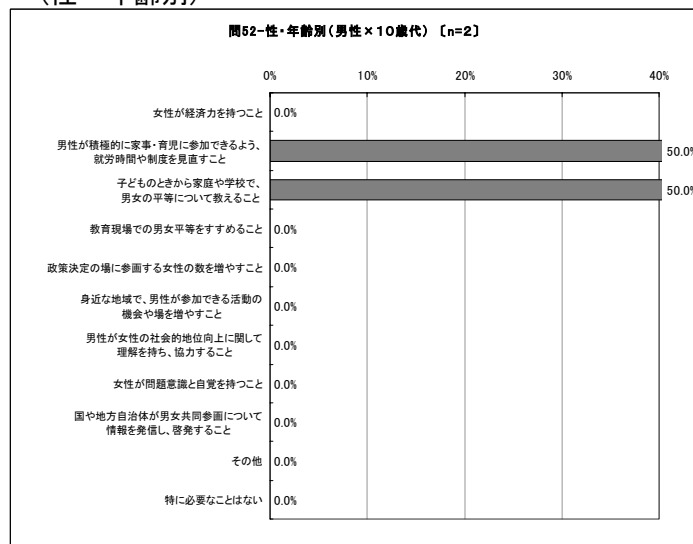
〇男女共同参画社会の実現のために必要なことについては、「子どものときから家庭や学校で、男女の平等について教えること」が 32.1%と高く、次に「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、就労時間や制度を見直すこと」が 29.6%で、以下「男性が女性の社会的地位向上に関して理解を持ち、協力すること」が 28.5%となっている。

○性・年齢別においても同様の傾向となっているが、男性・女性の若い年代で「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、就労時間や制度を見直すこと」が高い値となっている。

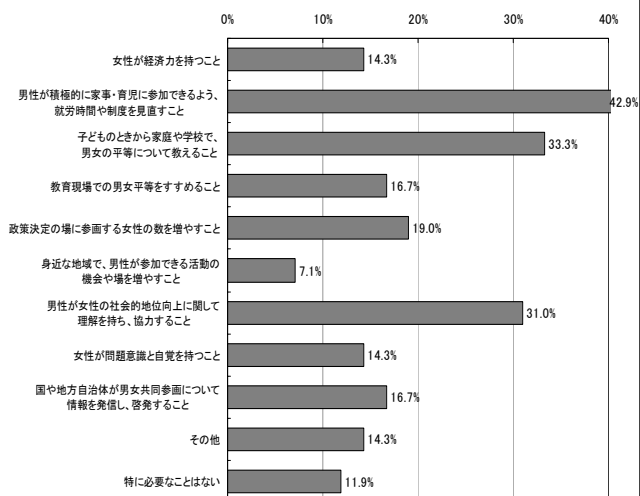
(性別)



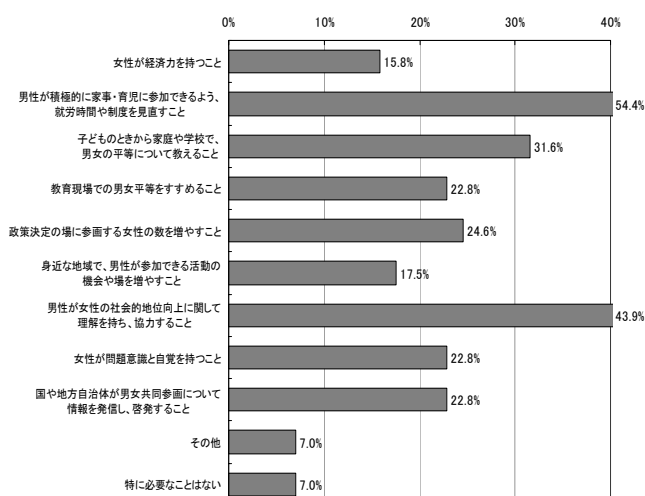
(性・年齢別)



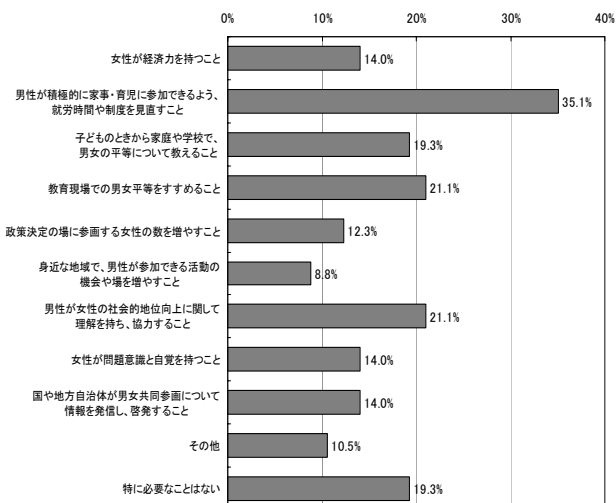
問52-性・年齢別(男性×30歳代)【n=42】



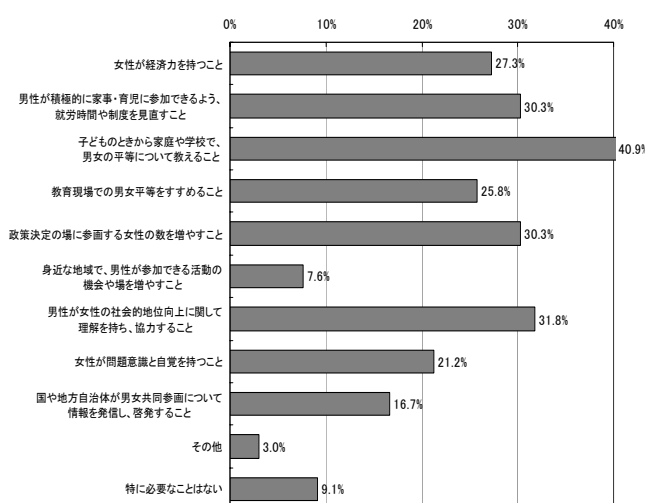
問52-性・年齢別(女性×30歳代)【n=57】



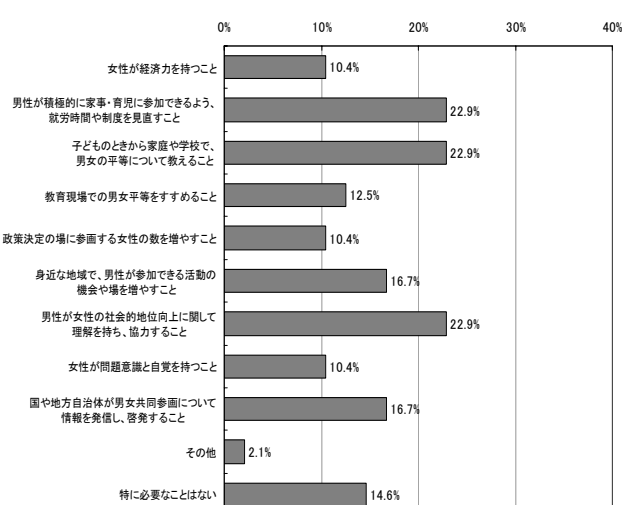
問52-性・年齢別(男性×40歳代)【n=57】



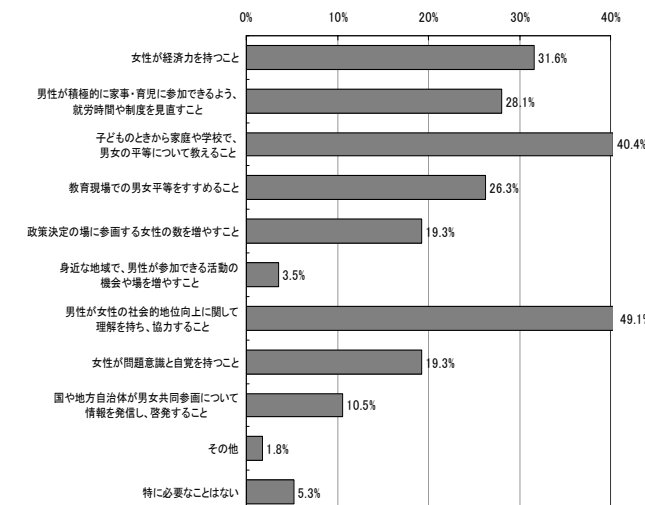
問52-性・年齢別(女性×40歳代)【n=66】



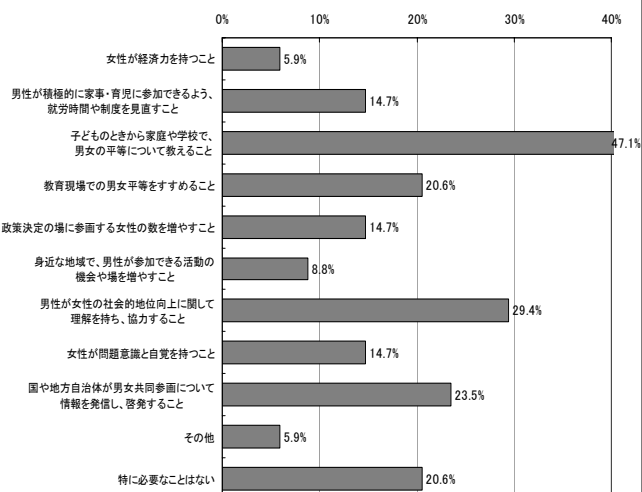
問52-性・年齢別(男性×50歳代)【n=48】



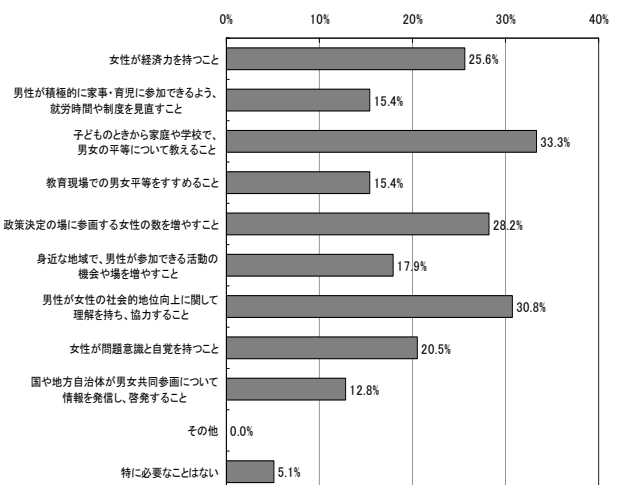
問52-性・年齢別(女性×50歳代)【n=57】



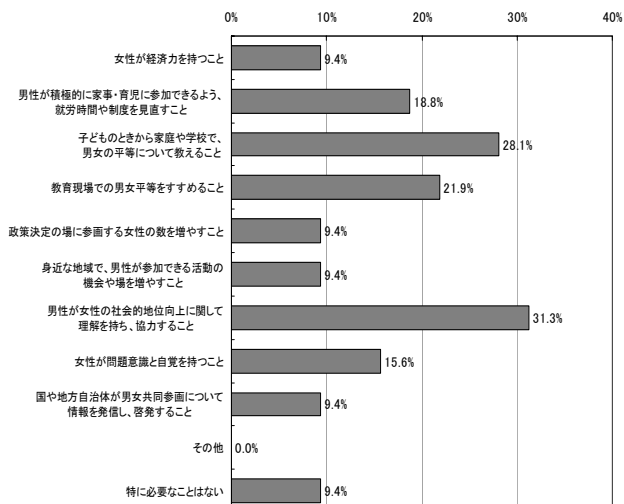
問52-性・年齢別(男性×60歳～64歳) [n=34]



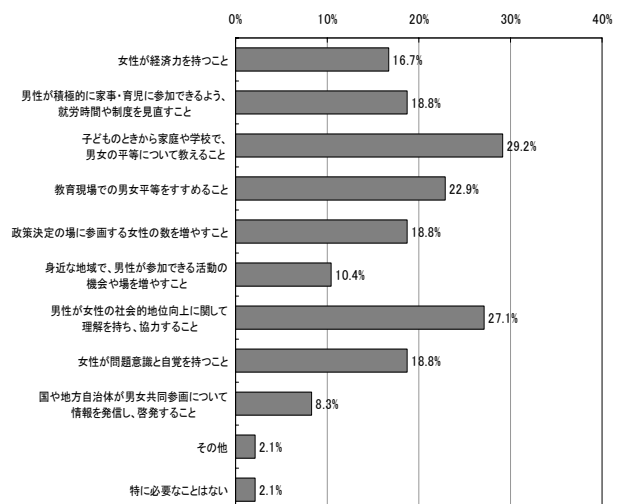
問52-性・年齢別(女性×60歳～64歳) [n=39]



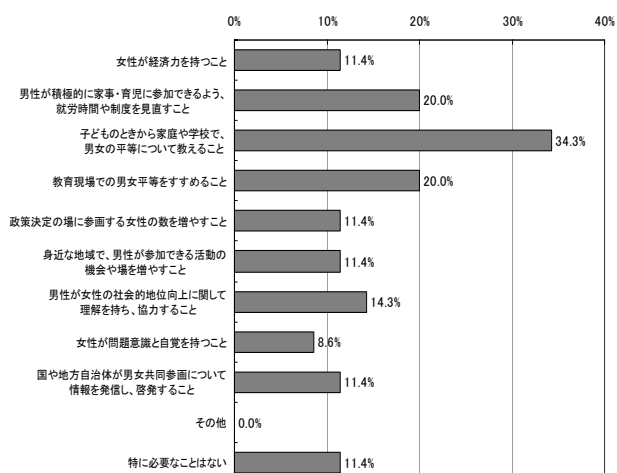
問52-性・年齢別(男性×65歳～69歳) [n=32]



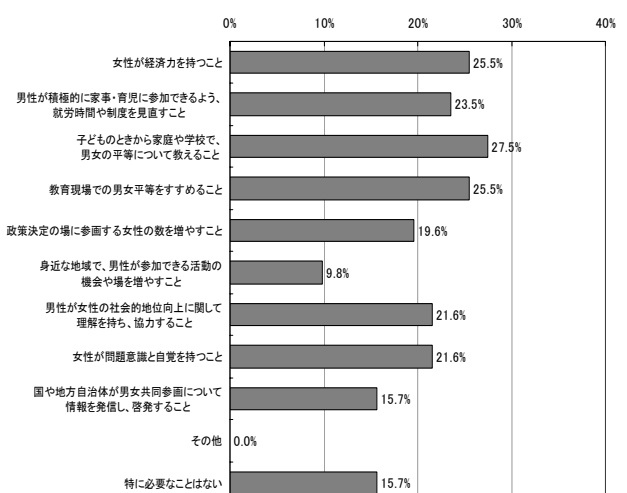
問52-性・年齢別(女性×65歳～69歳) [n=48]



問52-性・年齢別(男性×70歳以上) [n=35]

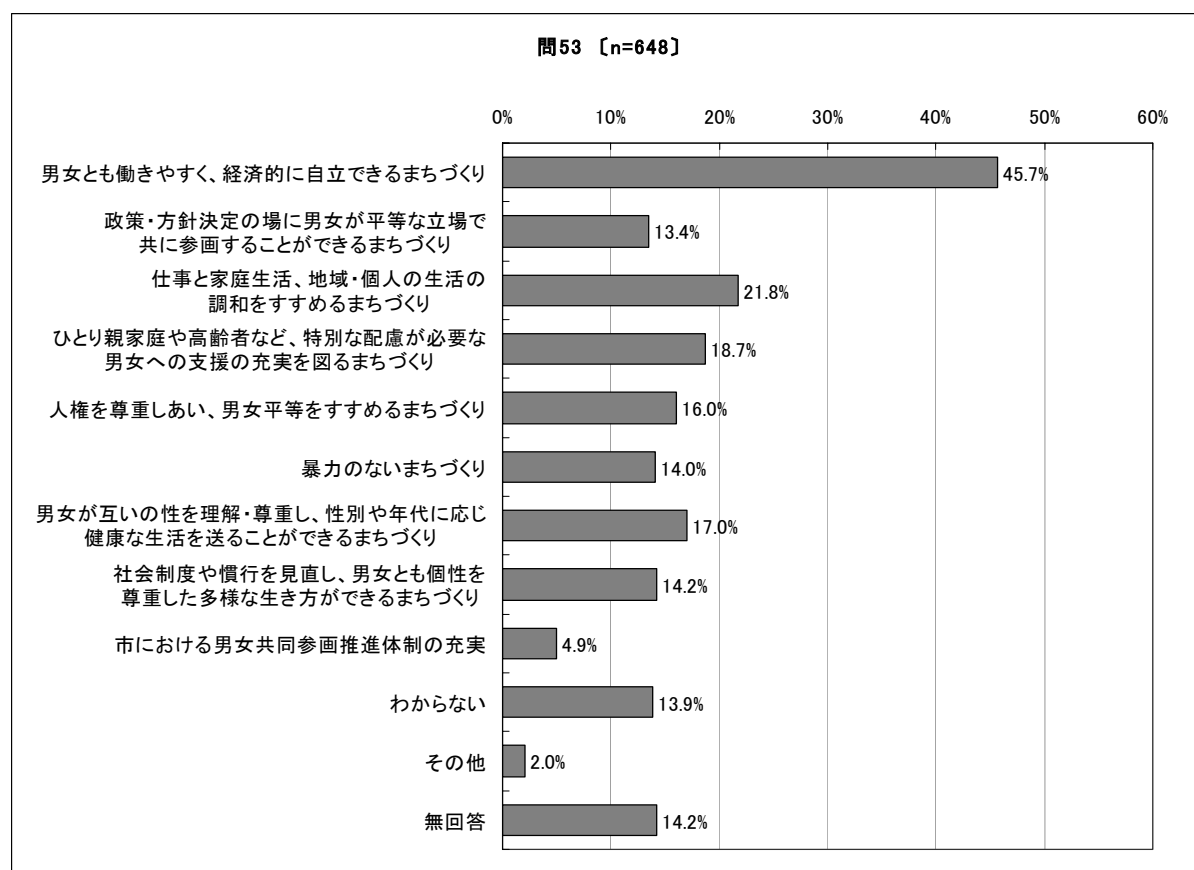


問52-性・年齢別(女性×70歳以上) [n=51]



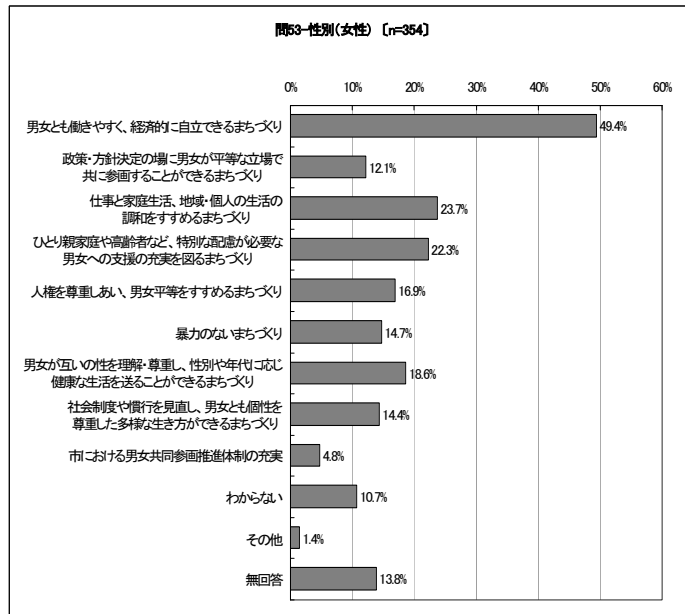
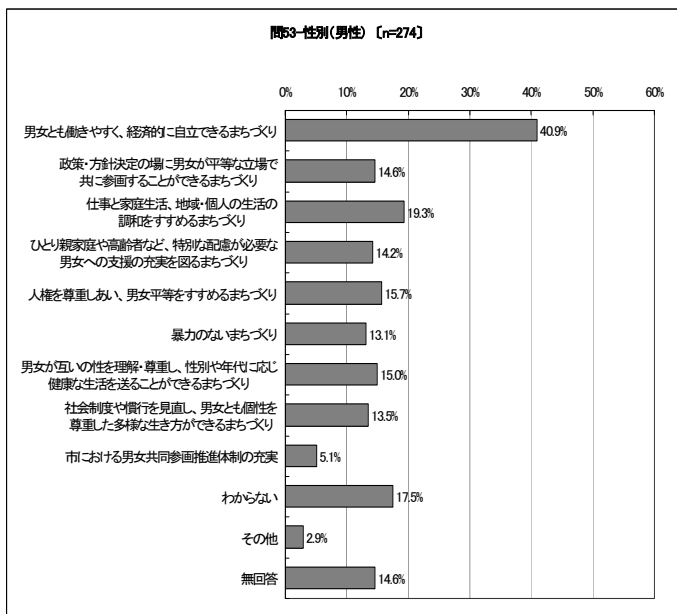
問53 あなたは、今後、男女共同参画社会を実現させるために、市が今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり
- 2 政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり
- 3 仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり
- 4 ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な男女への支援の充実を図るまちづくり
- 5 人権を尊重しあい、男女平等をすすめるまちづくり
- 6 暴力のないまちづくり
- 7 男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり
- 8 社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり
- 9 市における男女共同参画推進体制の充実
- 10 わからない
- 11 その他 ()

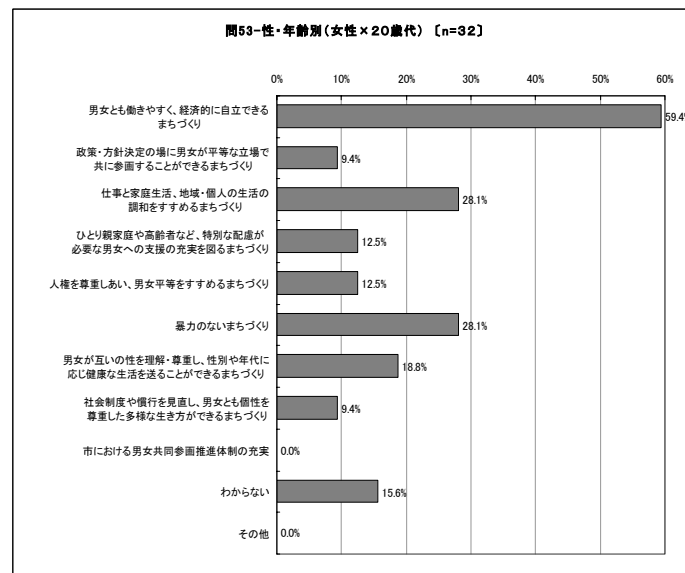
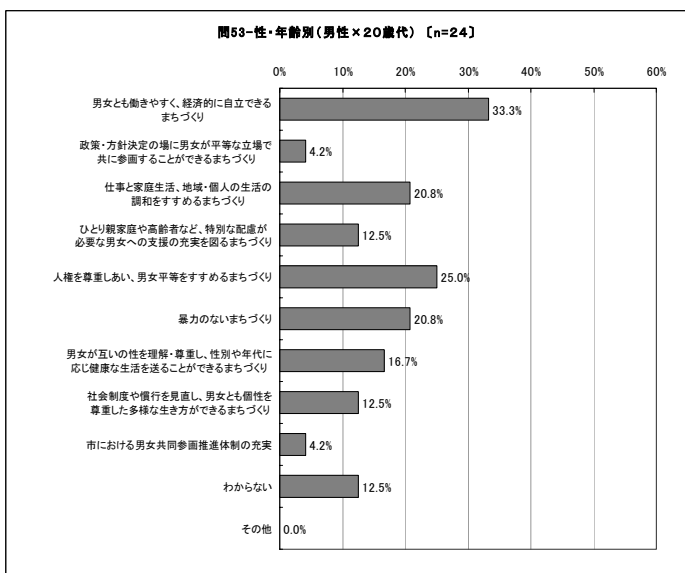
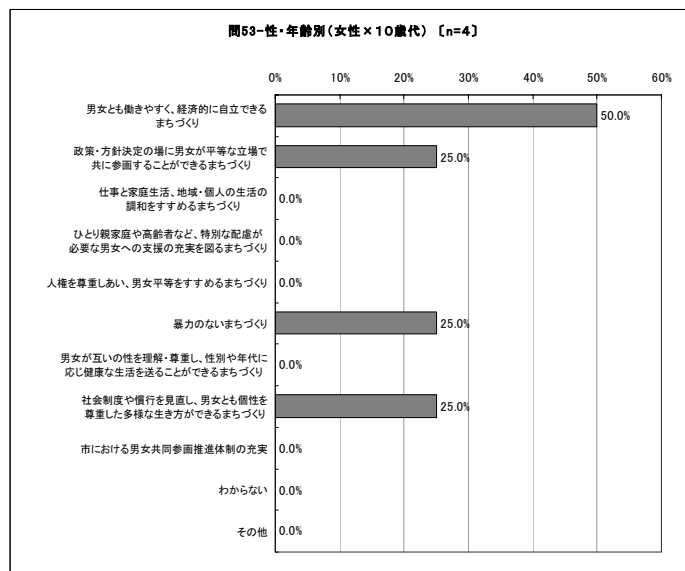
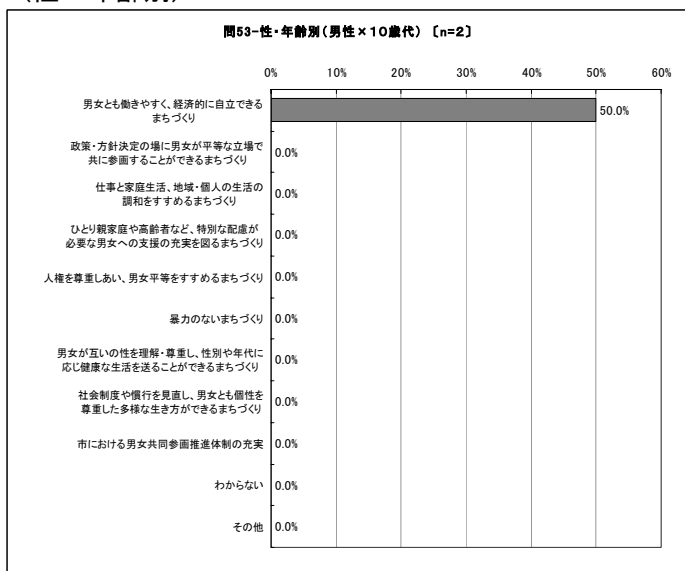


〇男女共同参画社会実現のために市が行うことについては、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が45.7%と高く、次に「仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり」が21.8%で、以下「ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な男女への支援の充実を図るまちづくり」が18.7%となっている。男性・女性、性・年齢別ともに同様の傾向となっている。

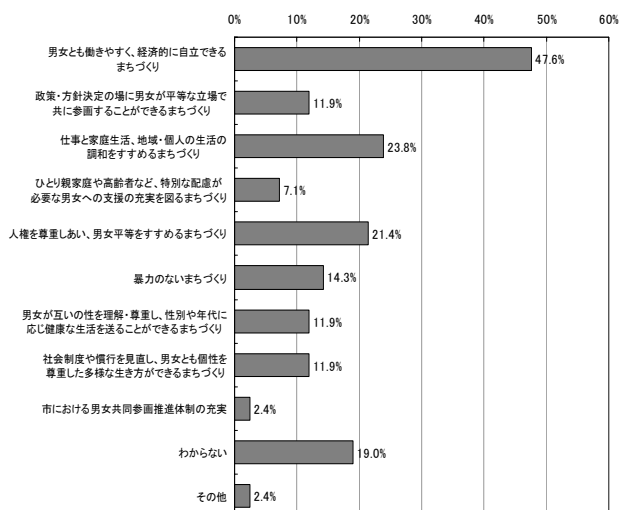
(性別)



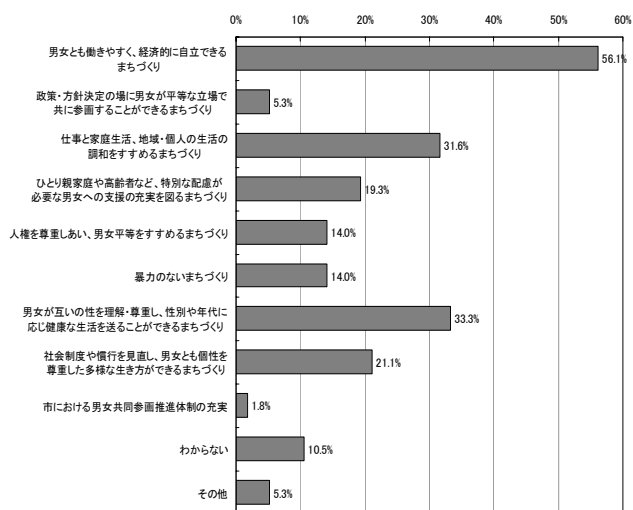
(性・年齢別)



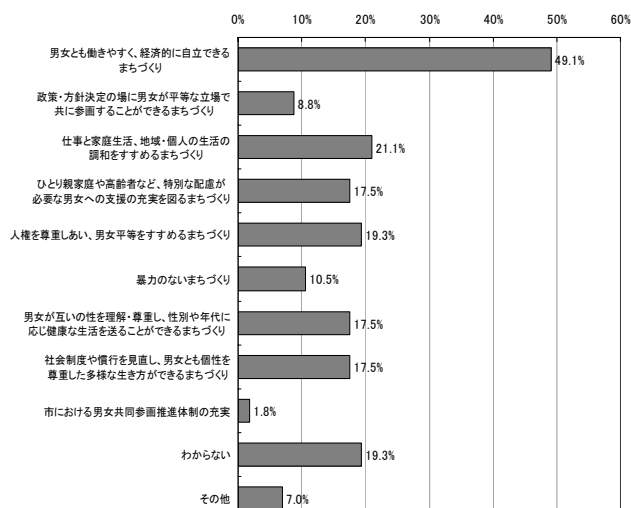
問53-性・年齢別(男性×30歳代) [n=42]



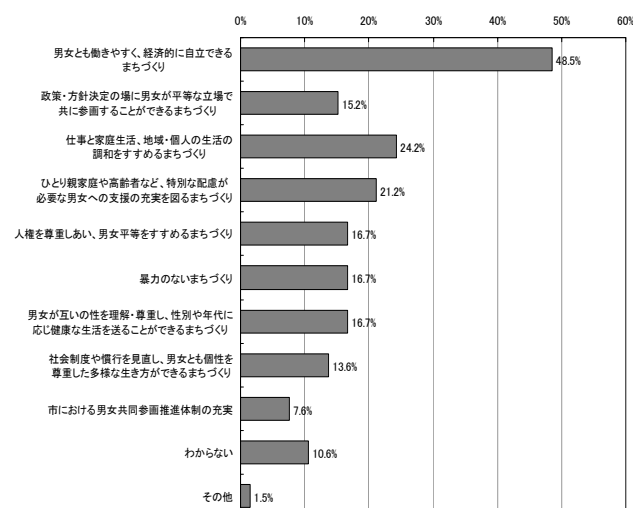
問53-性・年齢別(女性×30歳代) [n=57]



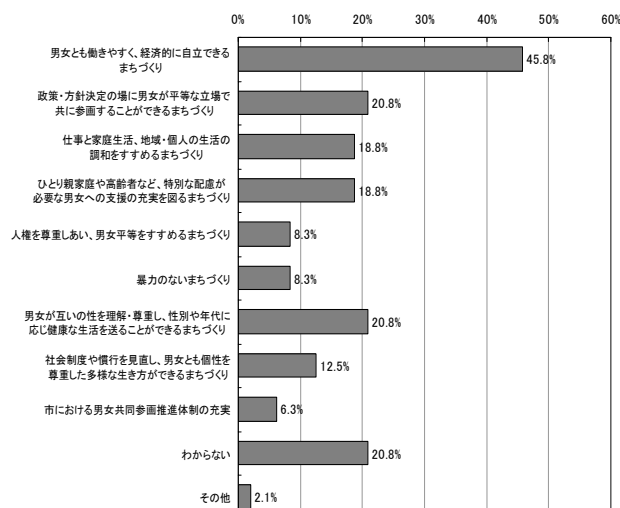
問53-性・年齢別(男性×40歳代) [n=57]



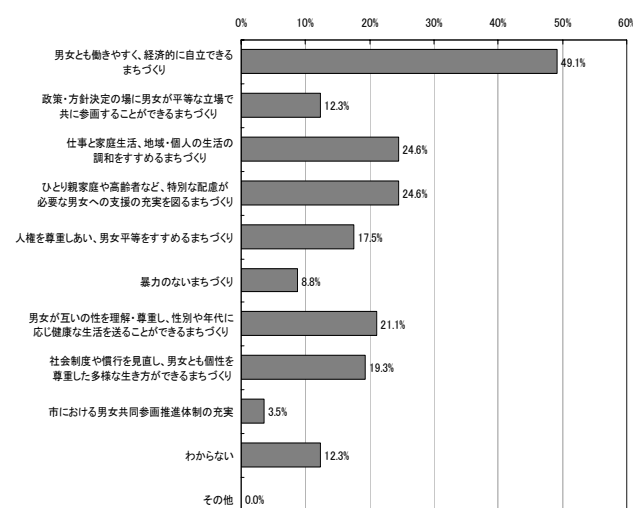
問53-性・年齢別(女性×40歳代) [n=66]



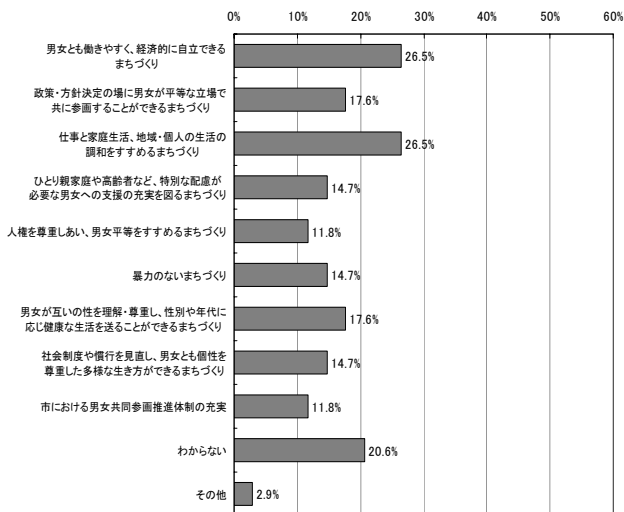
問53-性・年齢別(男性×50歳代) [n=48]



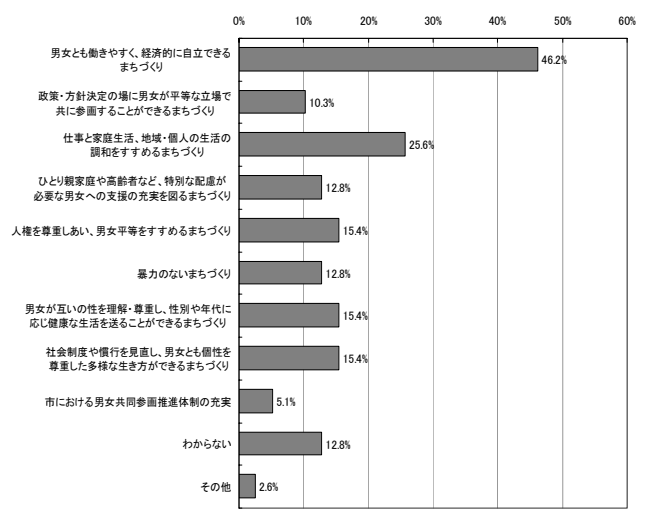
問53-性・年齢別(女性×50歳代) [n=67]



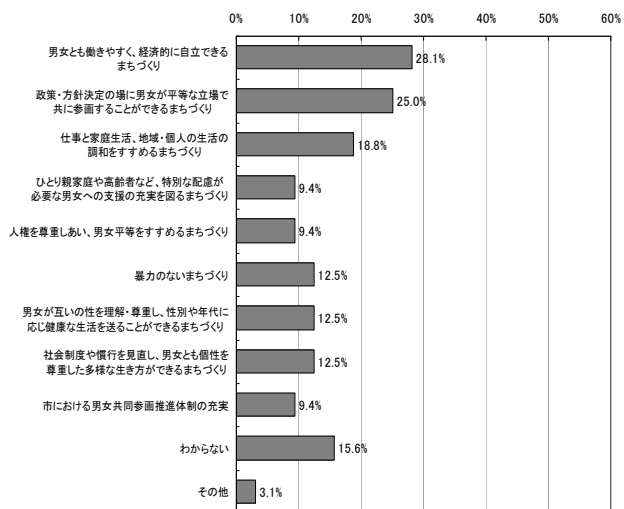
問53-性・年齢別(男性×60歳～64歳) [n=34]



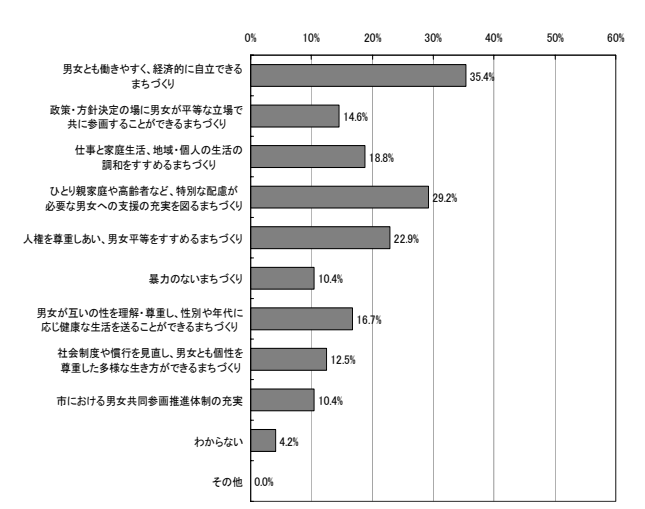
問53-性・年齢別(女性×60歳～64歳) [n=39]



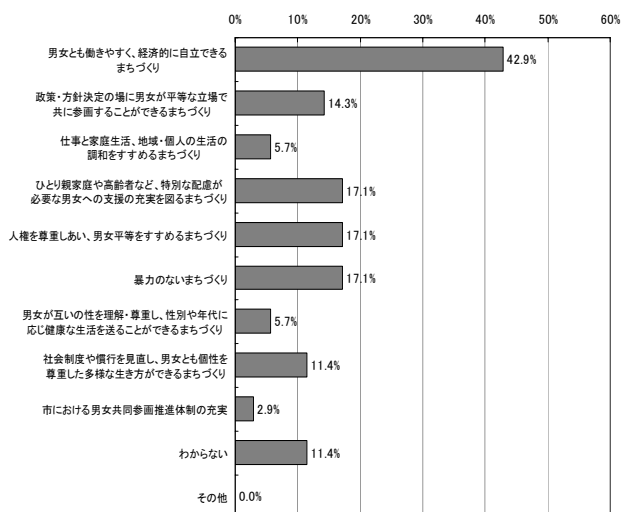
問53-性・年齢別(男性×65歳～69歳) [n=32]



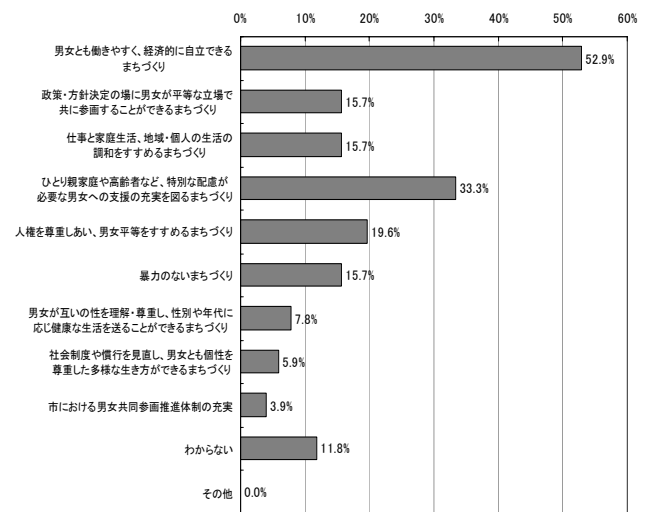
問53-性・年齢別(女性×65歳～69歳) [n=48]



問53-性・年齢別(男性×70歳以上) [n=35]



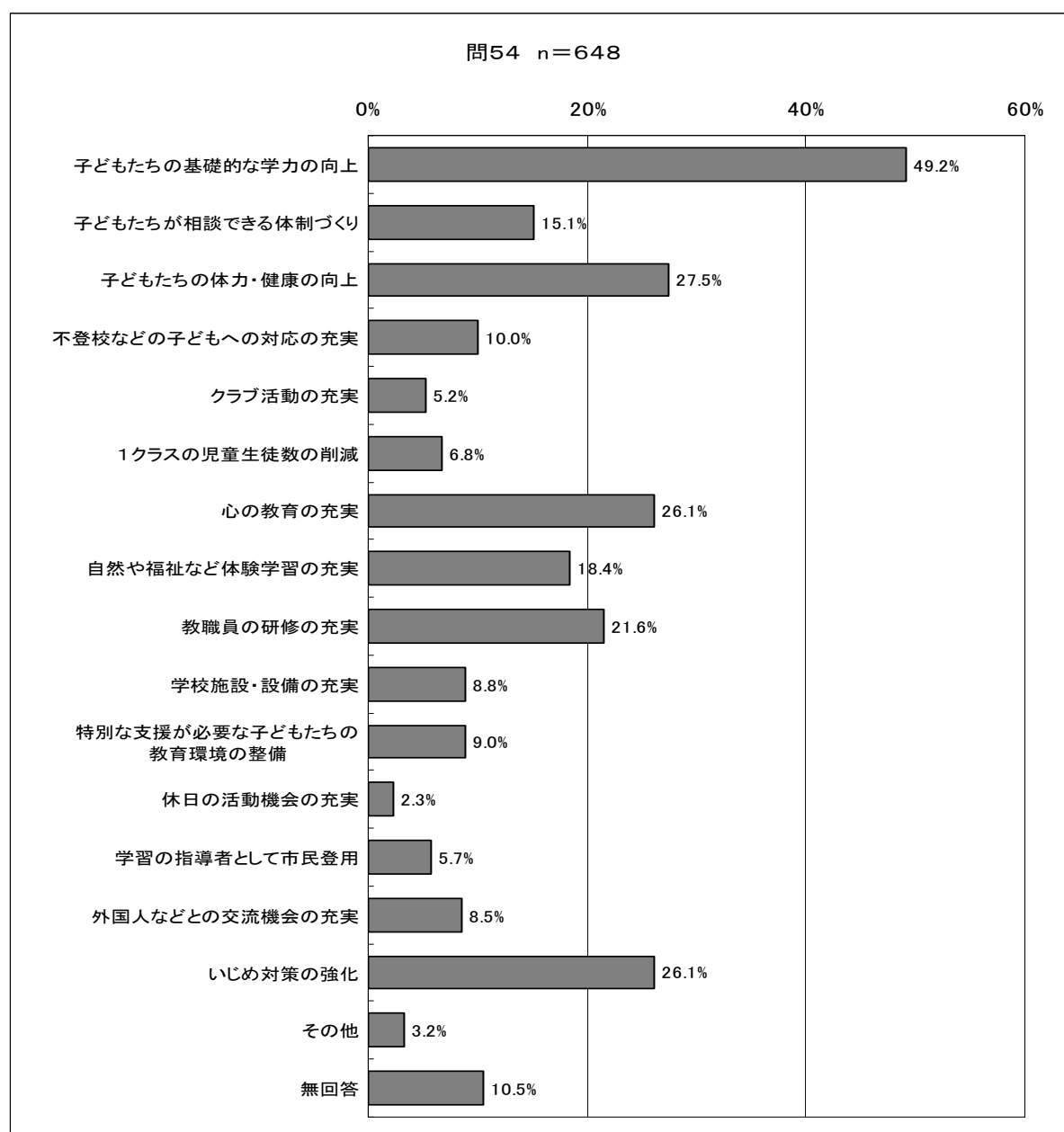
問53-性・年齢別(女性×70歳以上) [n=51]



(9) 教 育

問 54 あなたは、子どもたちの教育をより一層充実するため、本市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 子どもたちの基礎的な学力の向上 | 9 教職員の研修の充実 |
| 2 子どもたちが相談できる体制づくり | 10 学校施設・設備の充実 |
| 3 子どもたちの体力・健康の向上 | 11 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備 |
| 4 不登校などの子どもへの対応の充実 | 12 休日の活動機会の充実 |
| 5 クラブ活動の充実 | 13 学習の指導者として市民登用 |
| 6 1クラスの児童生徒数の削減 | 14 外国人などとの交流機会の充実 |
| 7 心の教育の充実 | 15 いじめ対策の強化 |
| 8 自然や福祉など体験学習の充実 | 16 その他 () |

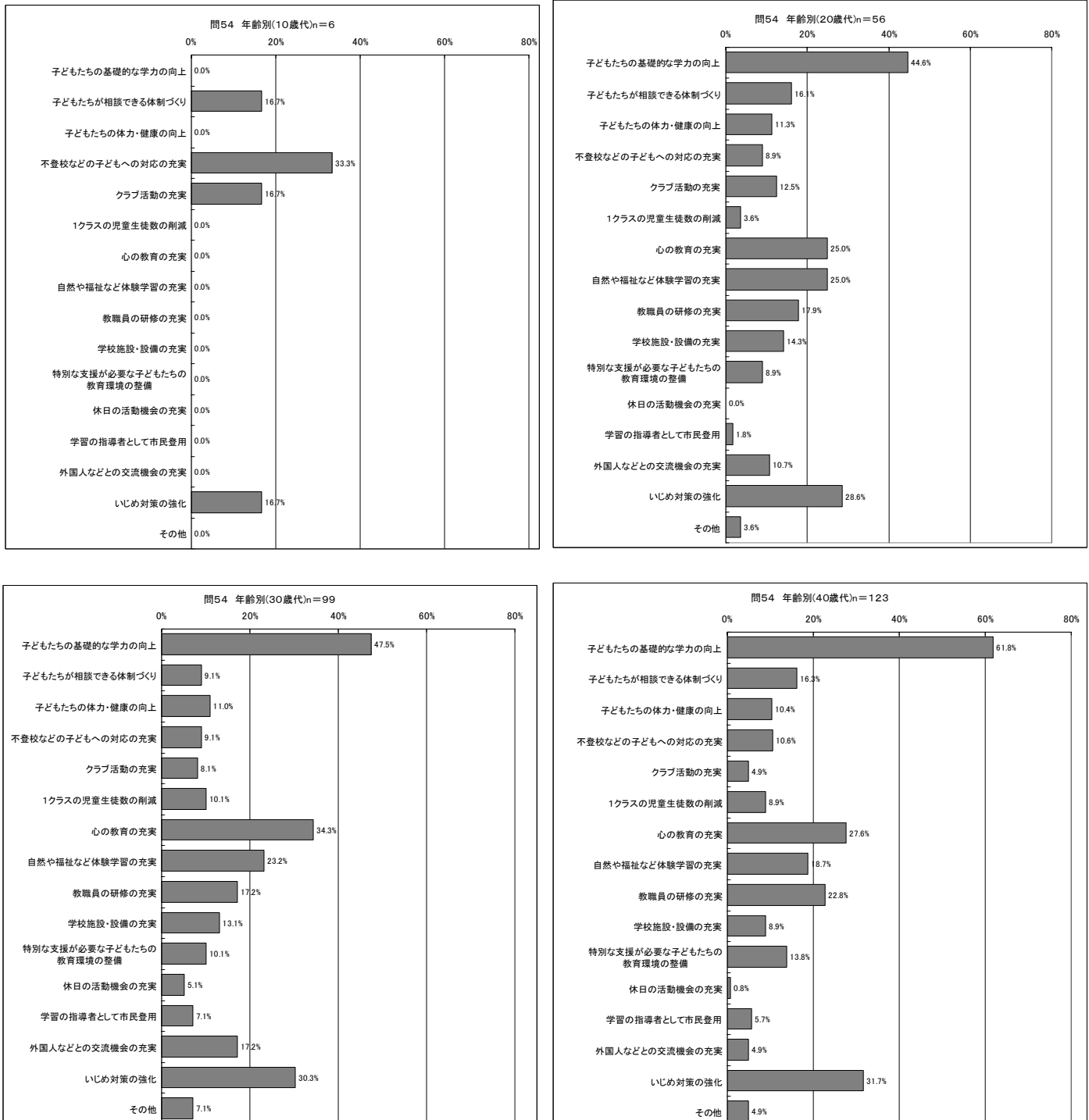


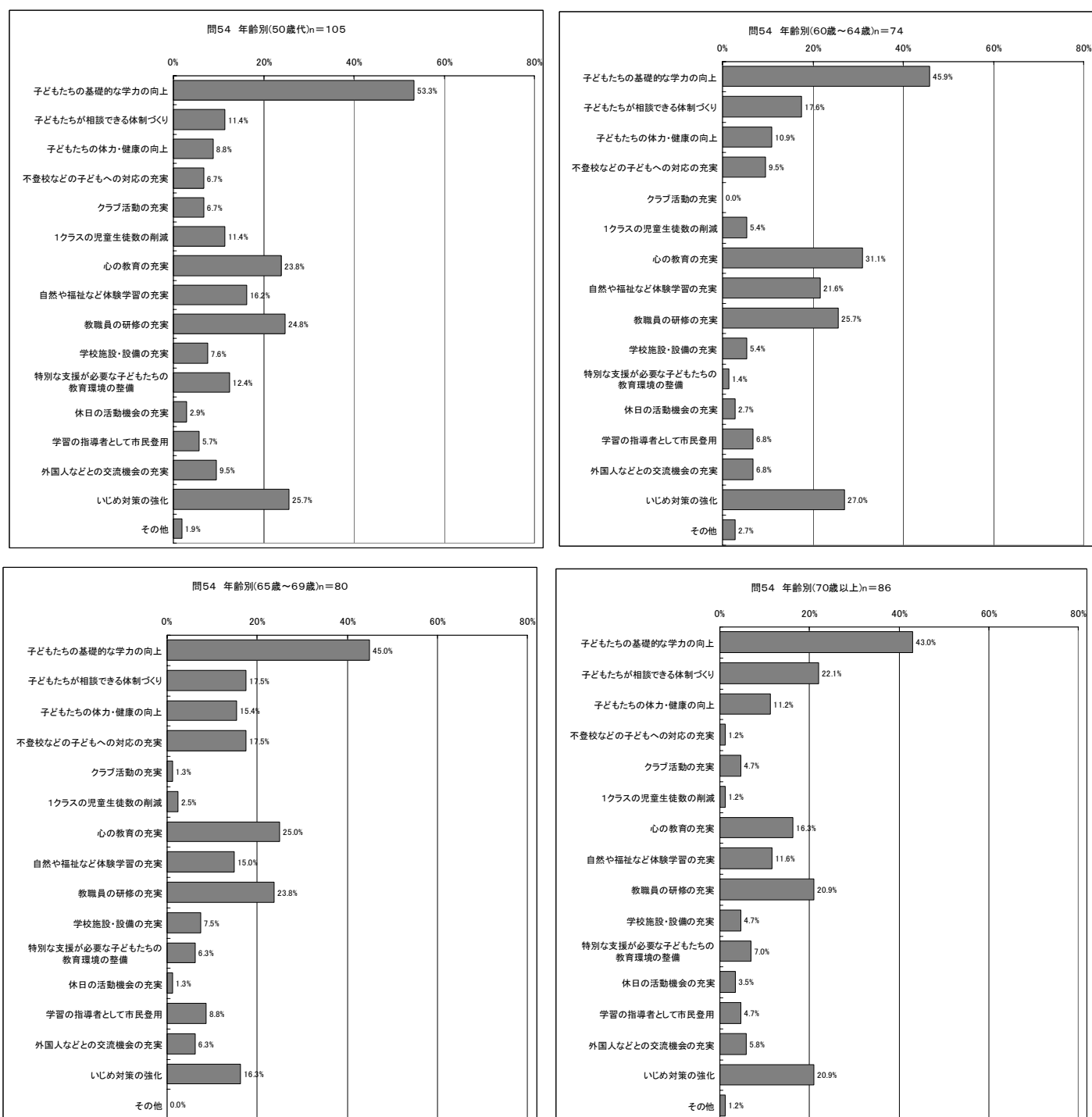
○教育を充実させるための施策については、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が49.2%と高く、次に「子どもたちの体力・健康の向上」が27.5%で、以下「心の教育の充実」と「いじめ対策の強化」が26.1%となっている。

○年齢別では、20歳代、40歳代及び50歳代で「いじめ対策の強化」が「子どもたちの基礎的な学力の向上」の次に高い値となっている。

○地区別では、いずれの地区も「子どもたちの基礎的な学力の向上」が最も高く、次に「心の教育」、「いじめ対策の強化」、「子どもたちの体力・健康の向上」、「教職員の研修の充実」となっている。

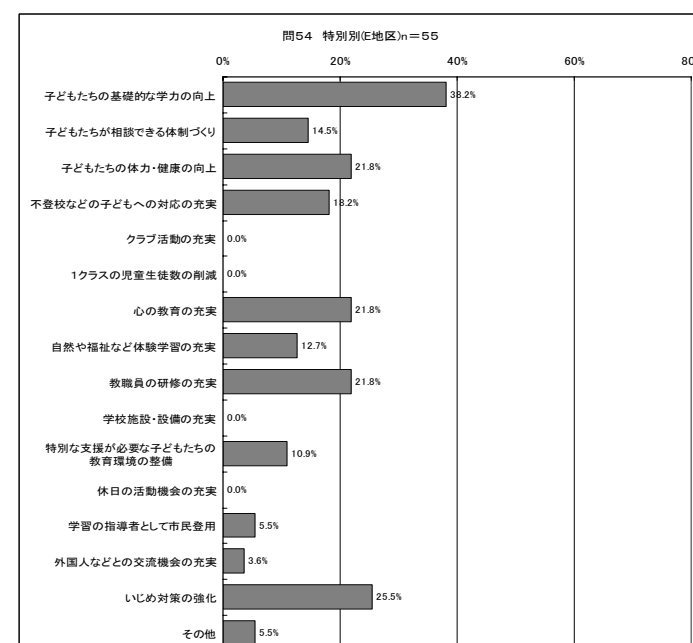
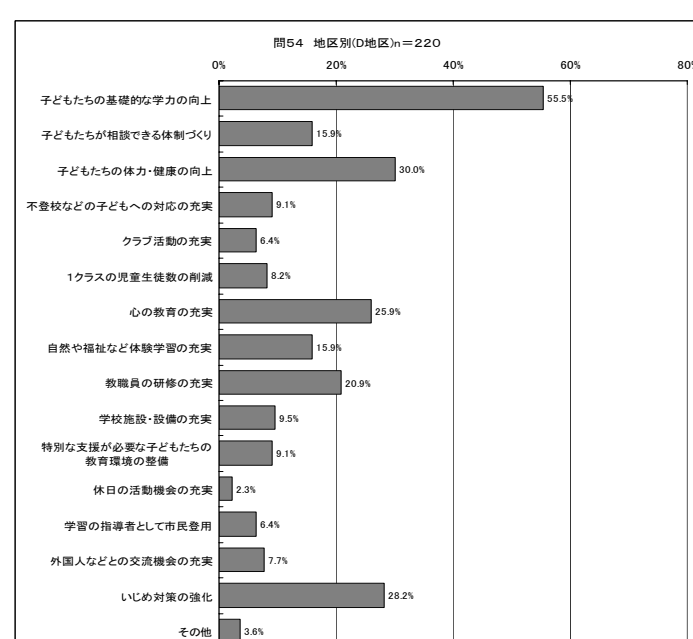
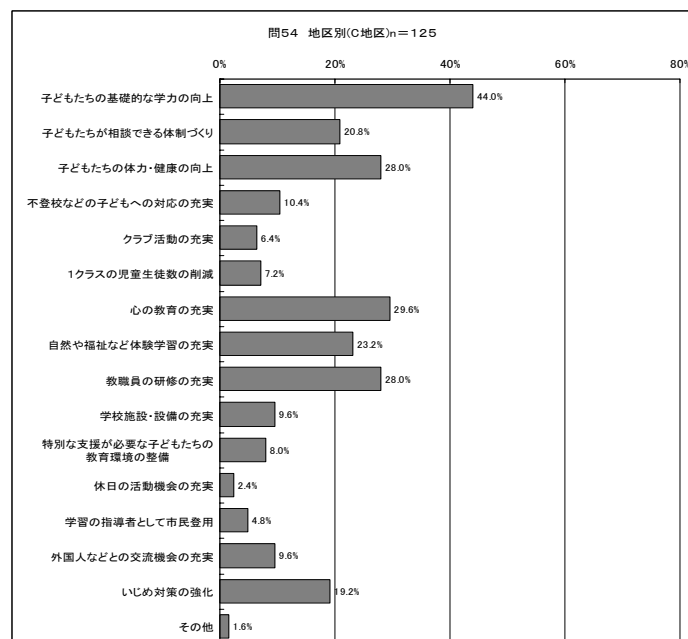
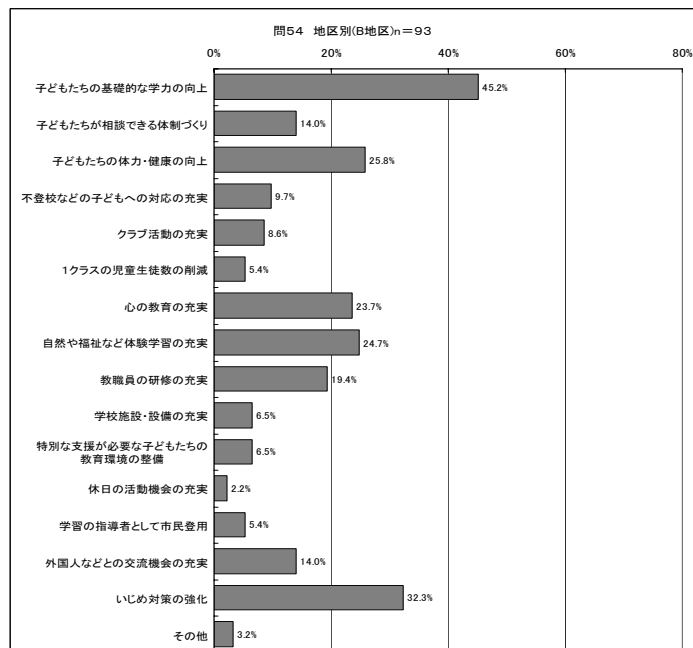
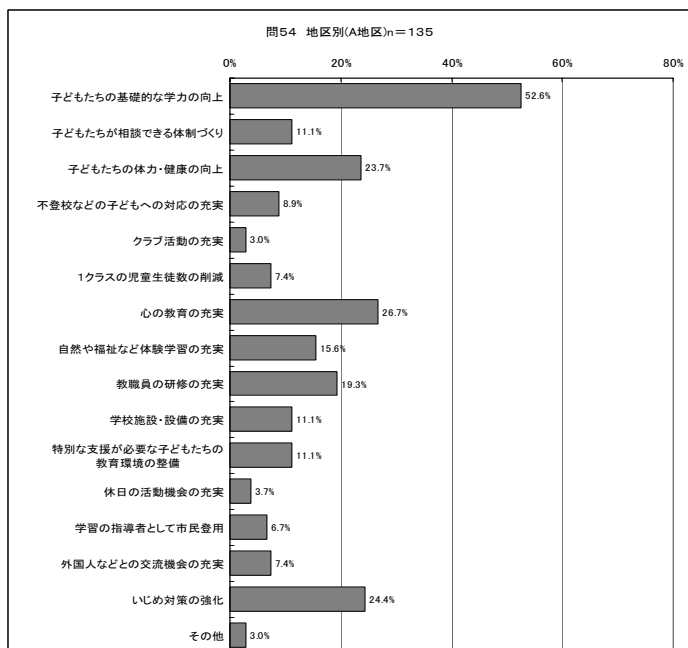
(年齢別)





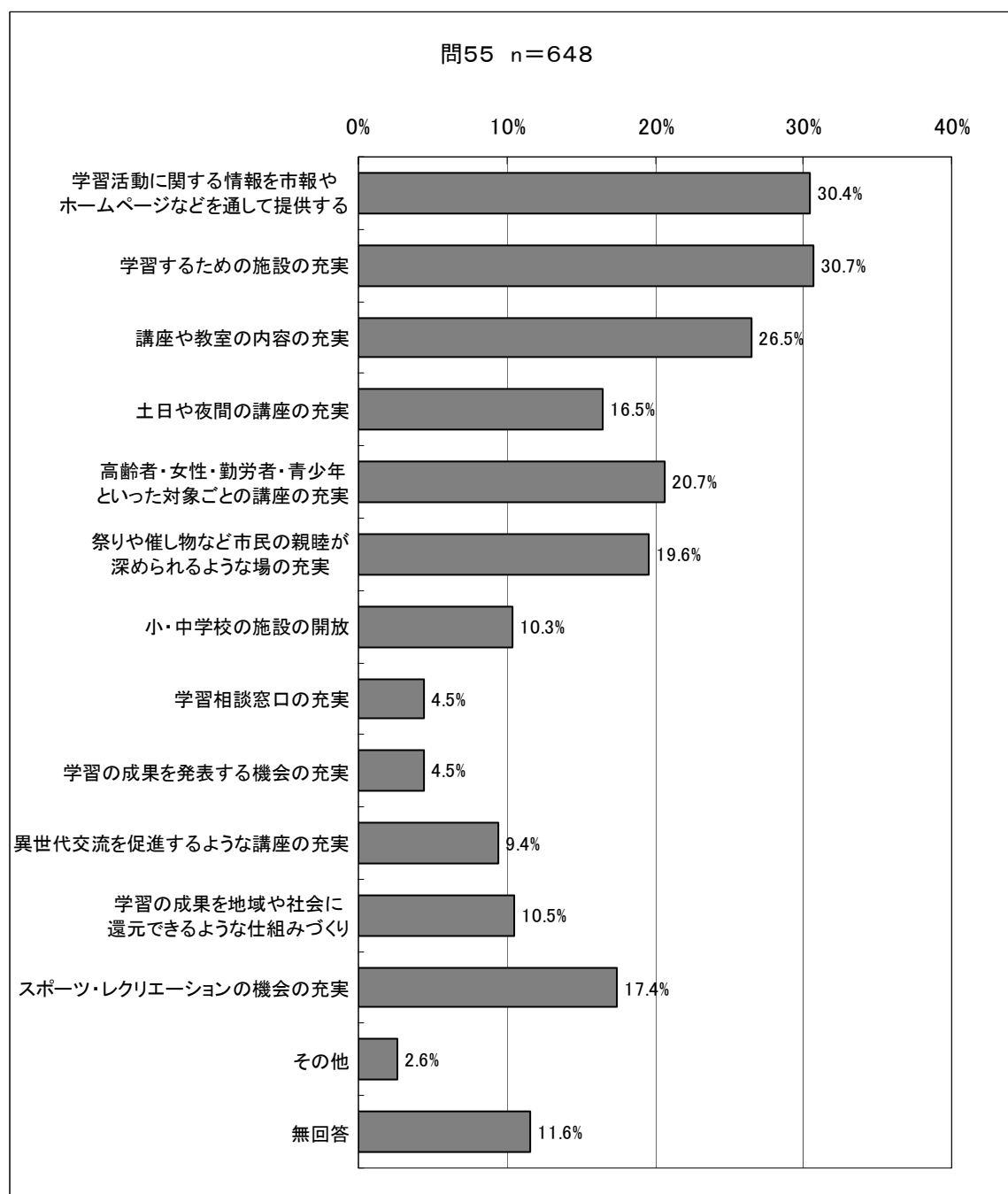
第3章 市民意識調査の集計結果

(地区別)



問55 あなたは、生涯学習をより一層充実させるため、本市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する | 7 小・中学校の施設の開放 |
| 2 学習するための施設の充実 | 8 学習相談窓口の充実 |
| 3 講座や教室の内容の充実 | 9 学習の成果を発表する機会の充実 |
| 4 土日や夜間の講座の充実 | 10 異世代交流を促進するような講座の充実 |
| 5 高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実 | 11 学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり |
| 6 祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実 | 12 スポーツ・レクリエーションの機会の充実 |
| | 13 その他 () |

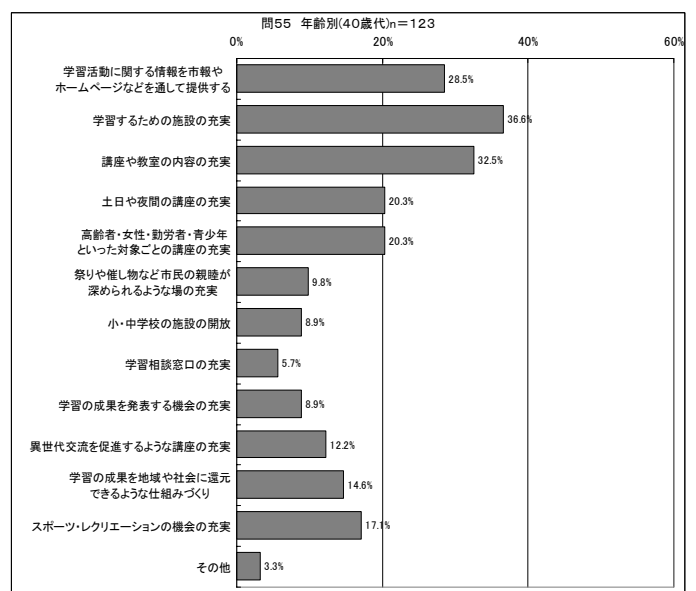
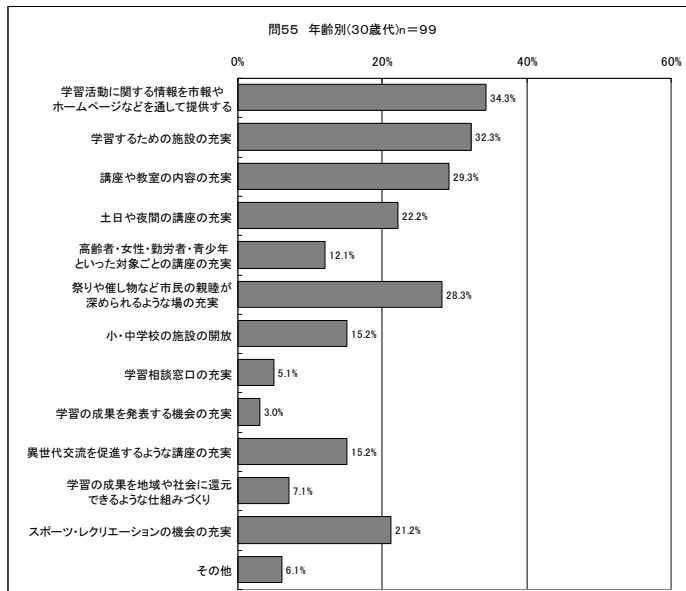
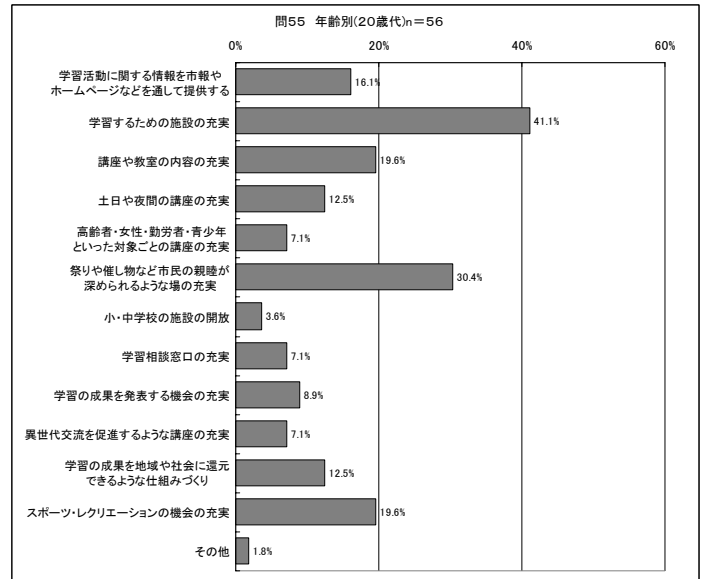
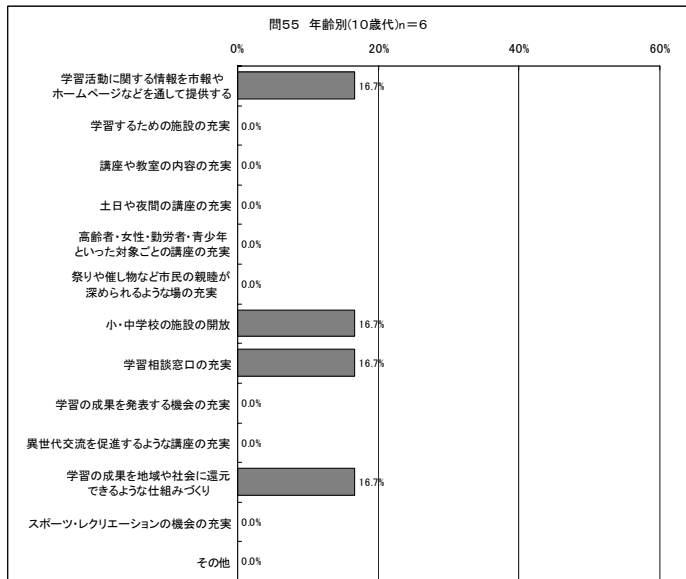


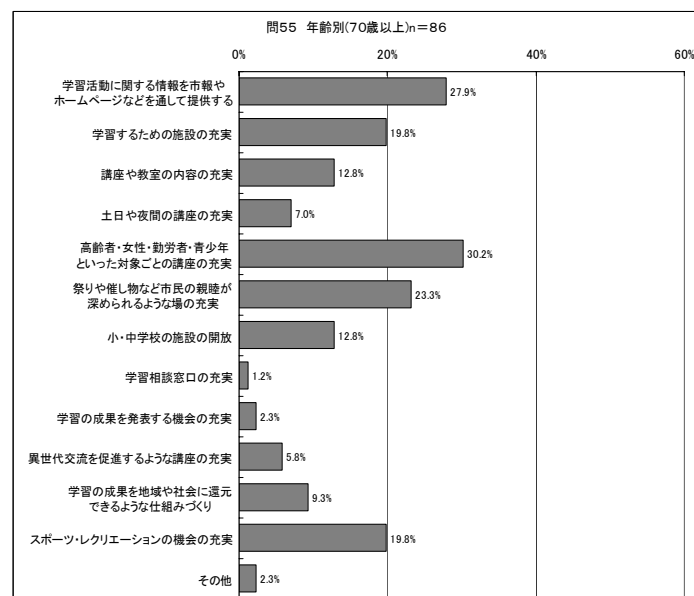
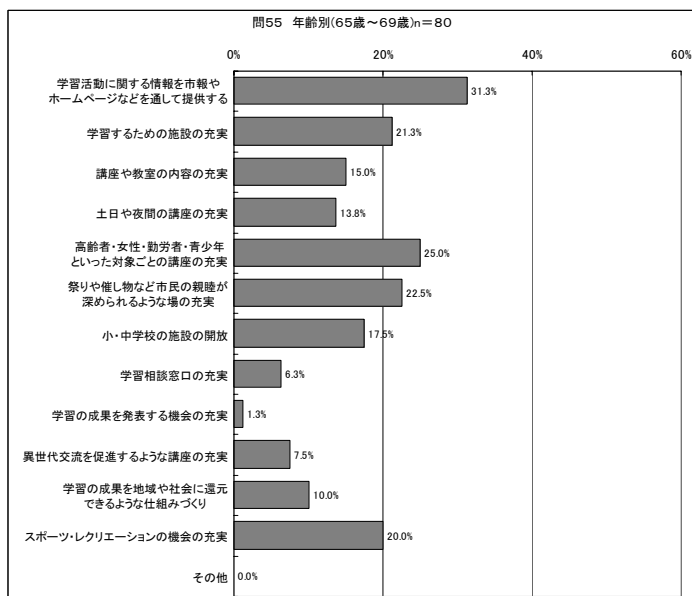
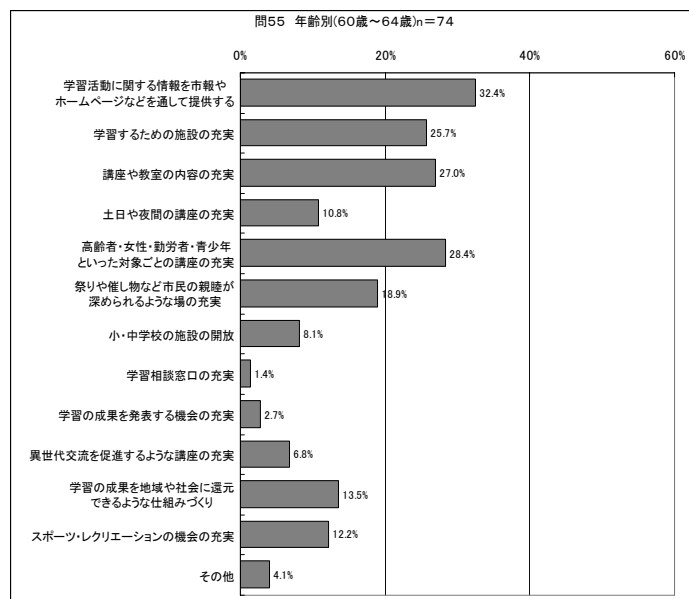
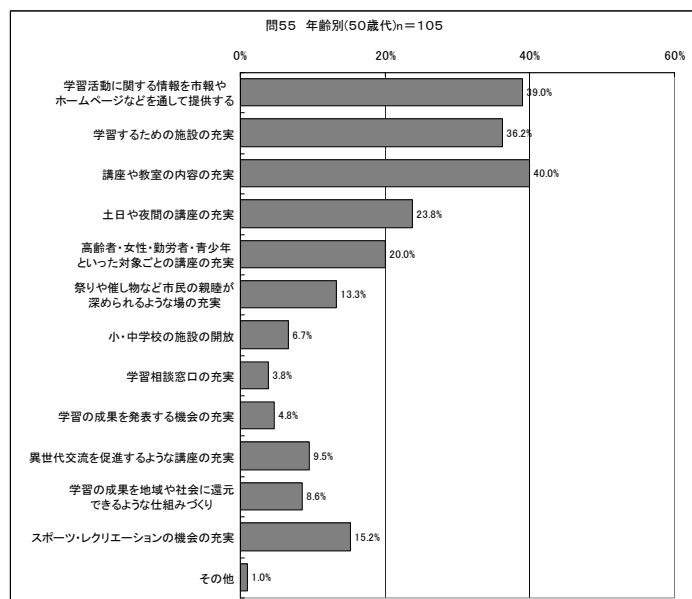
○生涯学習充実のために力を入れるべきことについては、「学習するための施設の充実」が30.7%と高く、次に「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する」が30.4%で、以下「講座や教室の内容の充実」が26.5%となっている。

○年齢別では、70歳以上の「高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実」で30.2%と期待する人が多く、一方、20歳代の「学習するための施設の充実」が41.1%で高い値となっている。

○地区別では、E地区の「高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実」で25.5%と高い値となっているのが特徴的である。

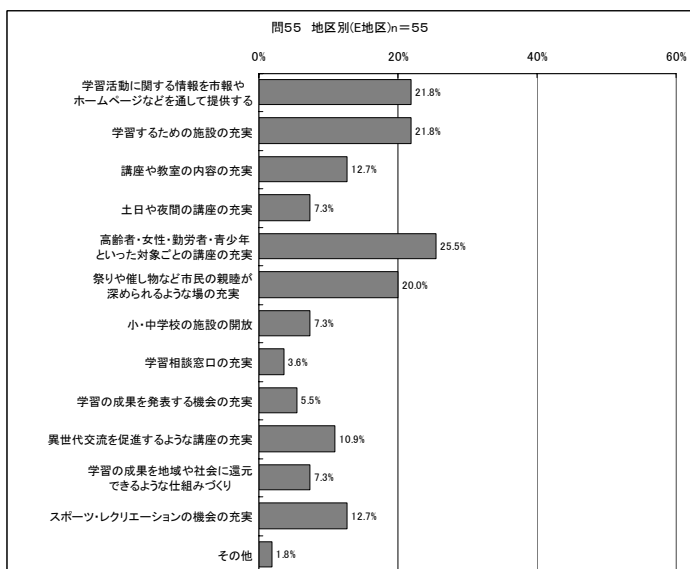
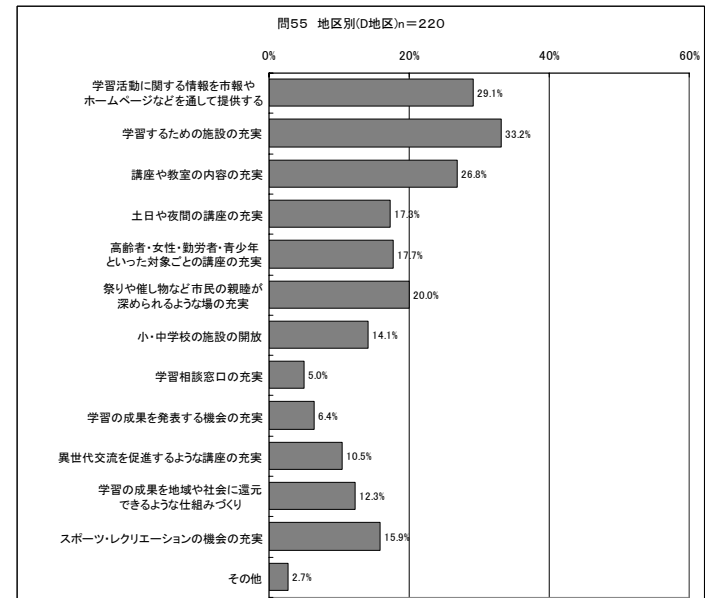
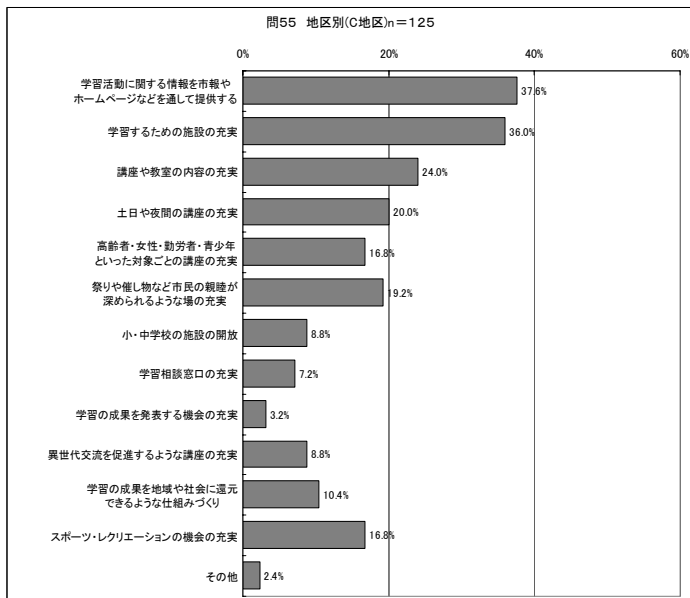
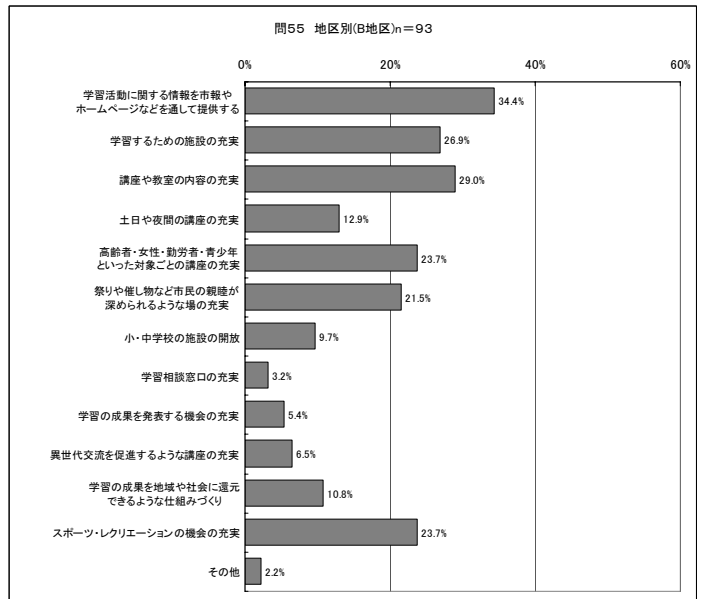
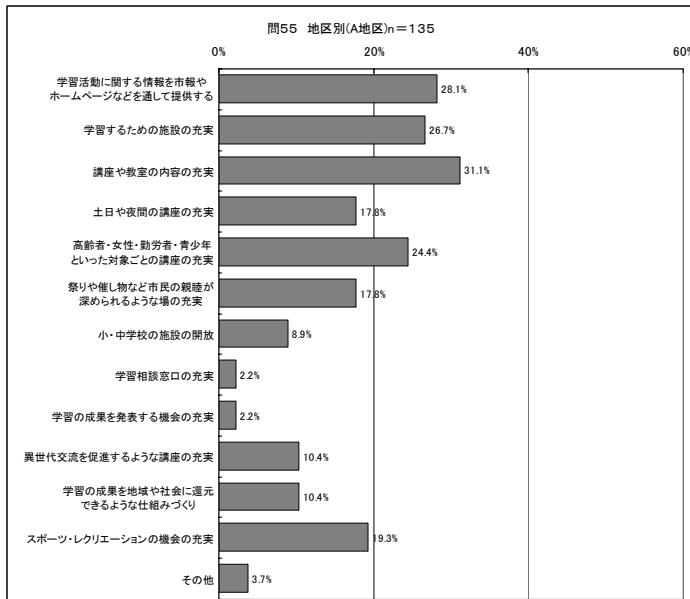
(年齢別)





第3章 市民意識調査の集計結果

(地区別)

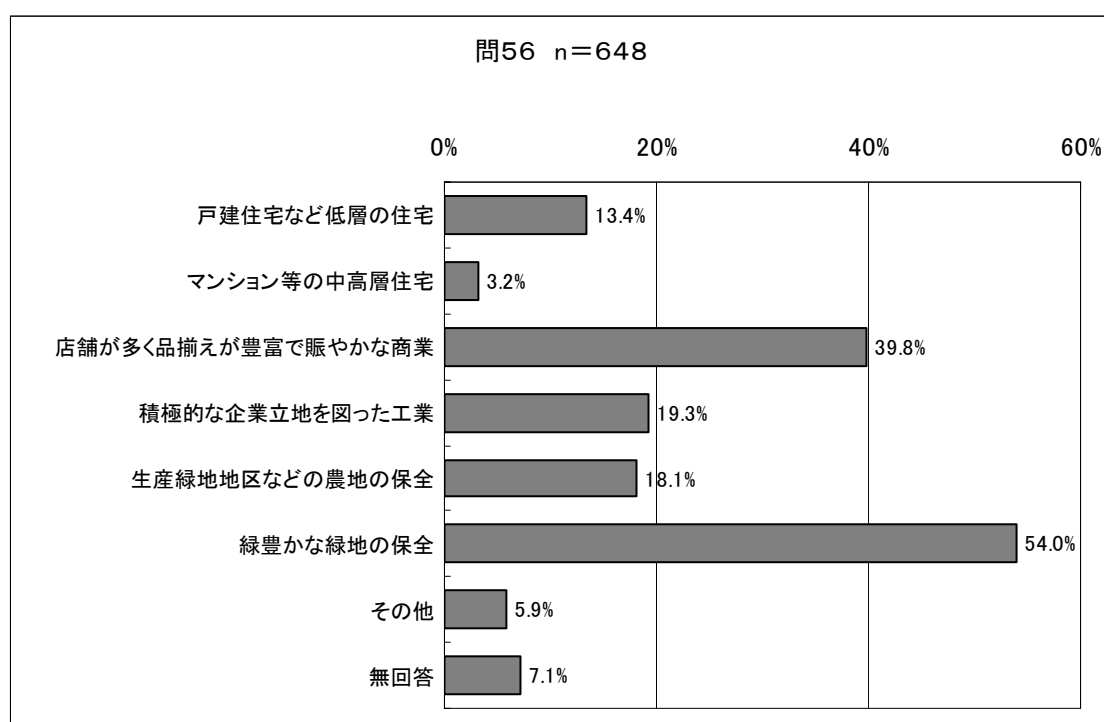


3-4. 快適で暮らしやすいまちづくり

(10) 都市基盤

問56 あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいと思いますか。
(〇は2つまで)

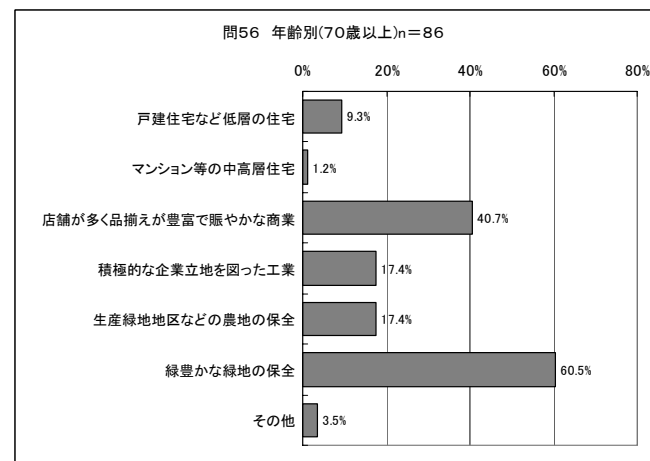
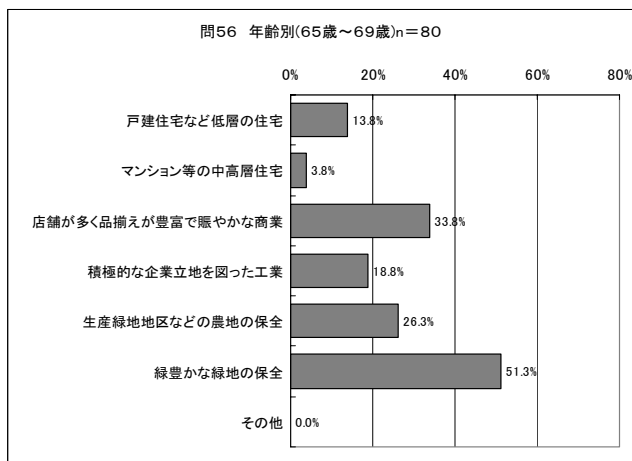
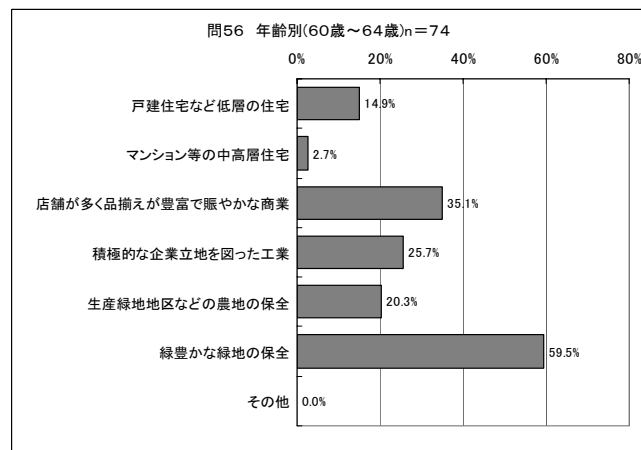
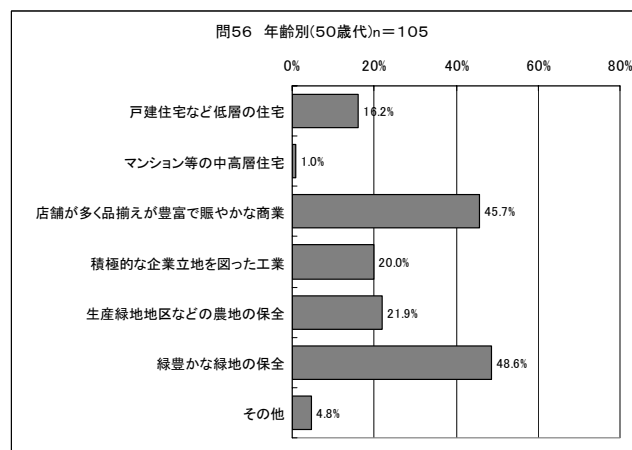
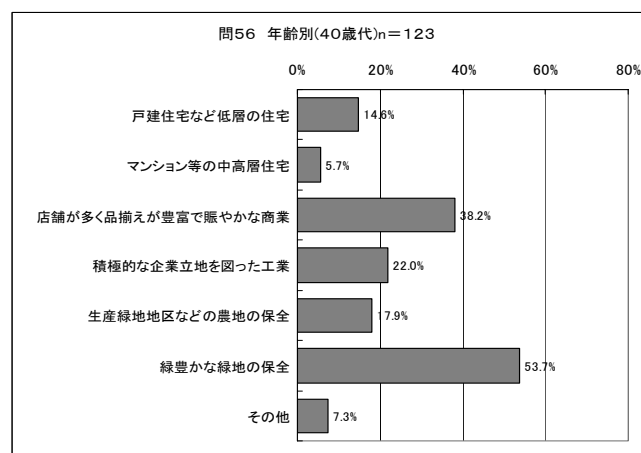
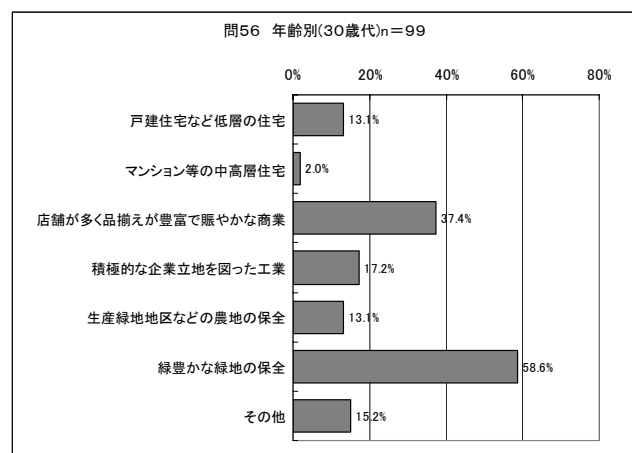
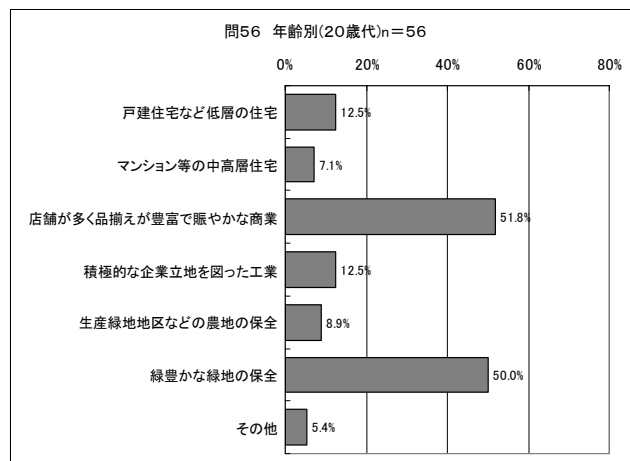
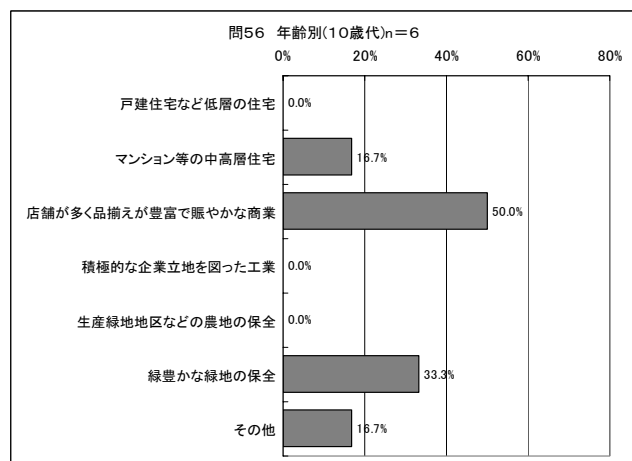
- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 戸建住宅など低層の住宅 | 4 積極的な企業立地を図った工業 |
| 2 マンション等の中高層住宅 | 5 生産緑地地区などの農地の保全 |
| 3 店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業
商業 | 6 緑豊かな緑地の保全 |
| | 7 その他 () |



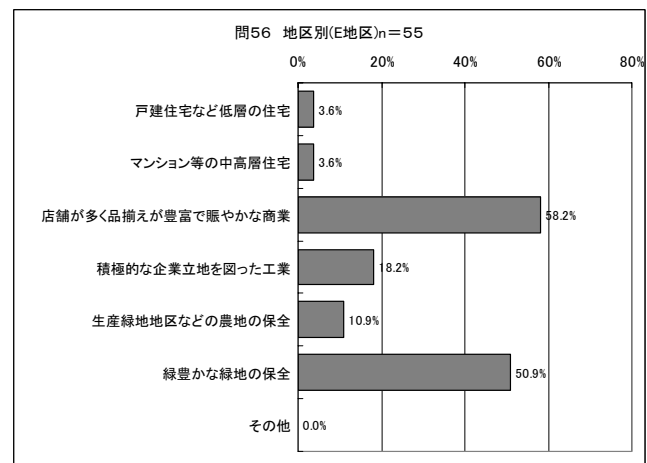
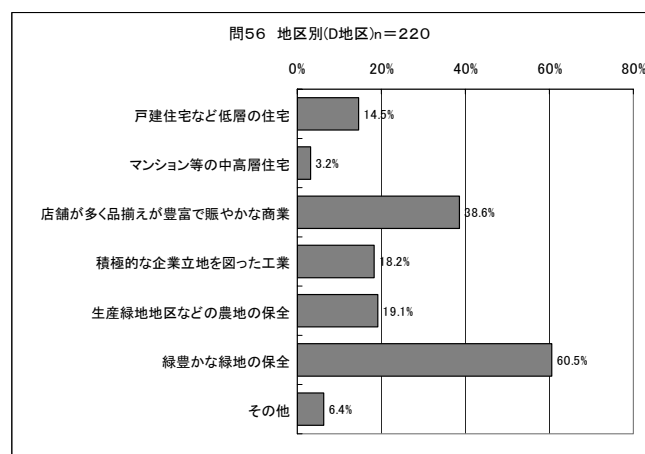
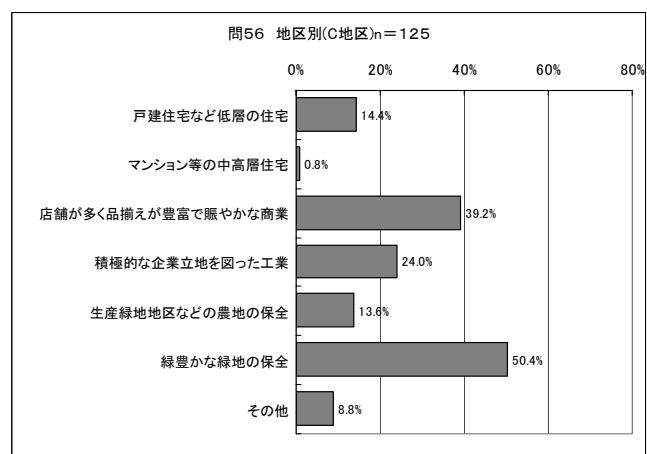
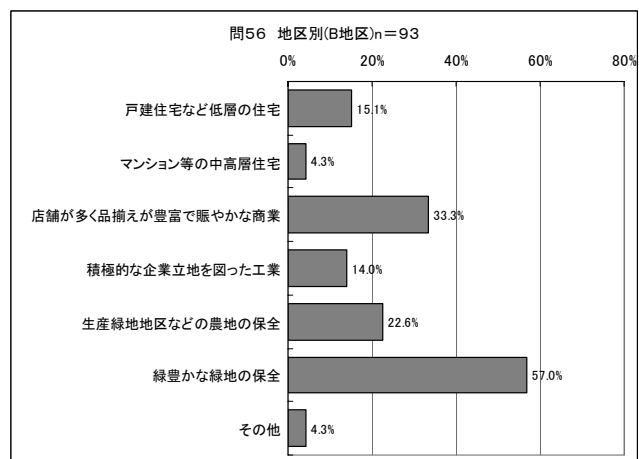
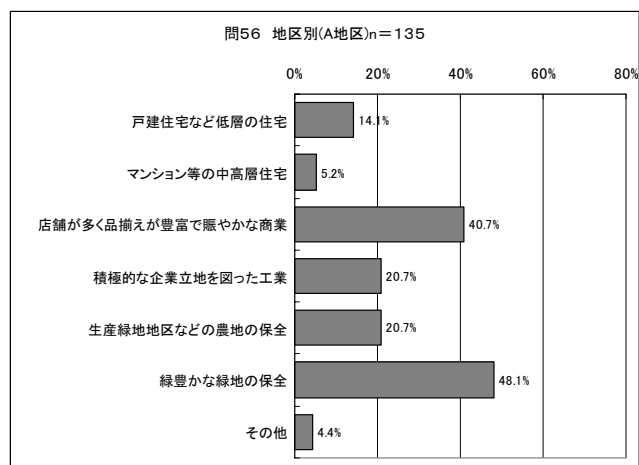
- 土地利用については、「緑豊かな緑地の保全」が 54.0%と高く、次に「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が 39.8%で、以下「積極的な企業立地を図った工業」が 19.3%となっている。
- 年齢別では、20 歳代の「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が 51.8%と高く、次に「緑豊かな緑地の保全」が 50.0%となっている。
- 地区別では、E地区の「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が 58.2%と突出しているのが特徴となっている。

第3章 市民意識調査の集計結果

(年齢別)



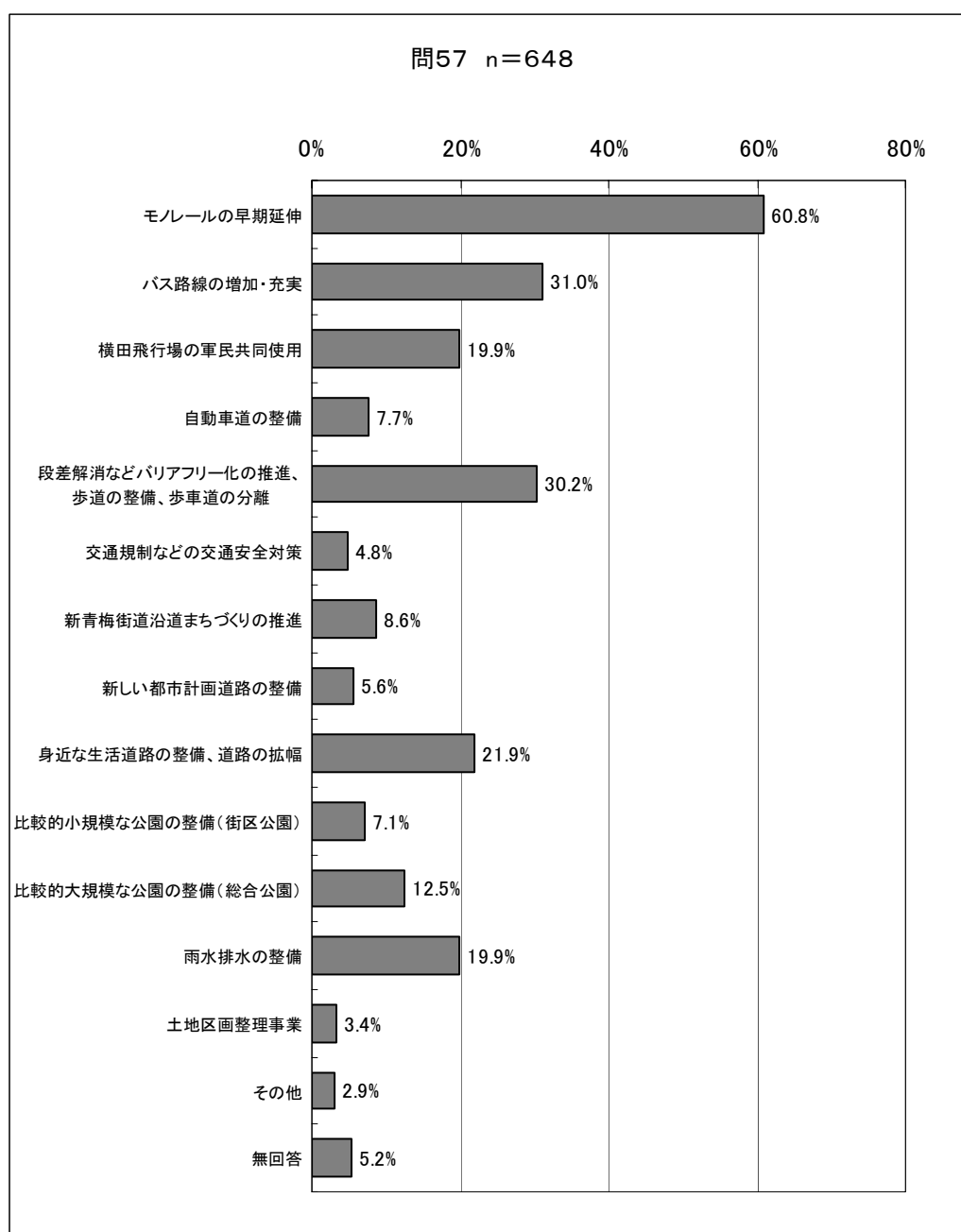
(地区別)



問57 あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1 モノレールの早期延伸 | 8 新しい都市計画道路の整備 |
| 2 バス路線の増加・充実 | 9 身近な生活道路の整備、道路の拡幅 |
| 3 横田飛行場の軍民共同使用 | 10 比較的小規模な公園の整備(街区公園) |
| 4 自動車道の整備 | 11 比較的大規模な公園の整備(総合公園) |
| 5 段差解消などバリアフリー化の推進
歩道の整備、歩車道の分離 | 12 雨水排水の整備 |
| 6 交通規制などの交通安全対策 | 13 土地区画整理事業(※) |
| 7 新青梅街道沿道まちづくりの推進 | 14 その他() |

※ 土地区画整理事業：ある一定の区域(施行地区)において、公共施設(道路・水路・公園等)の整備改善と宅地の利用増進を図るために行われる事業

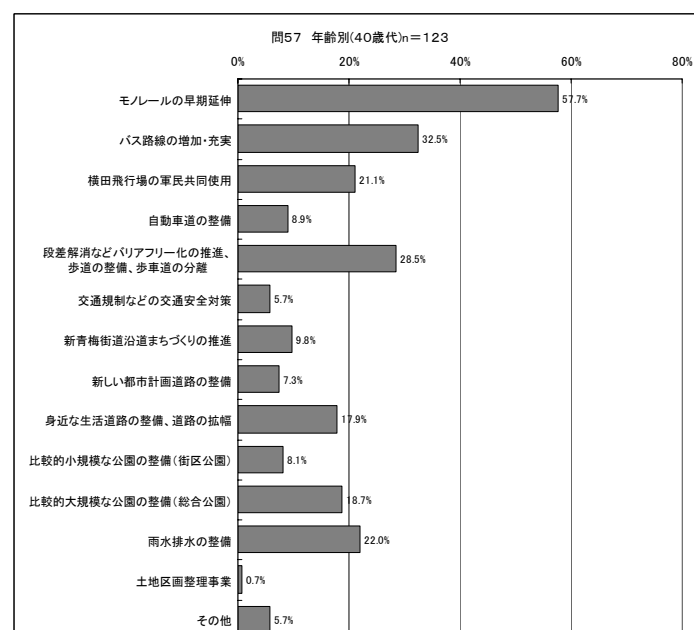
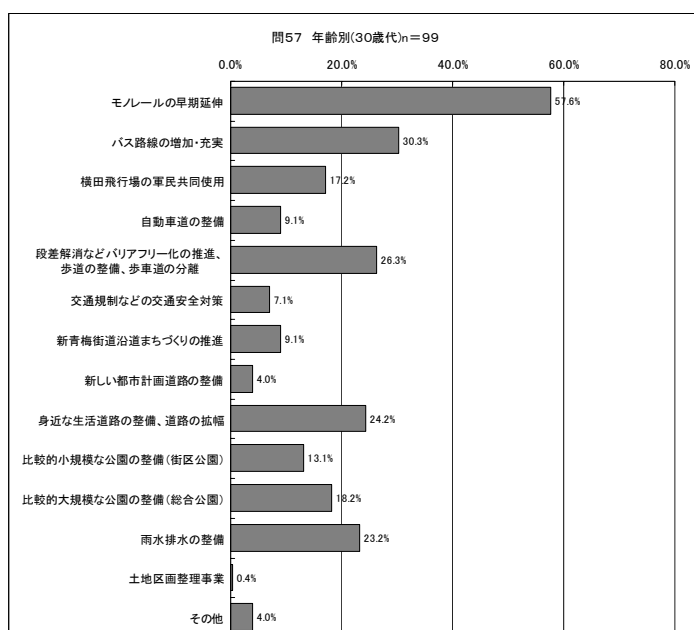
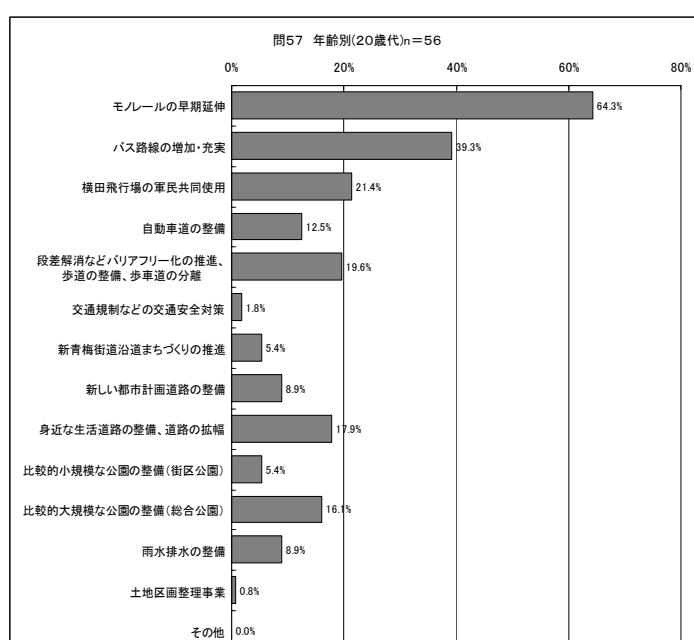
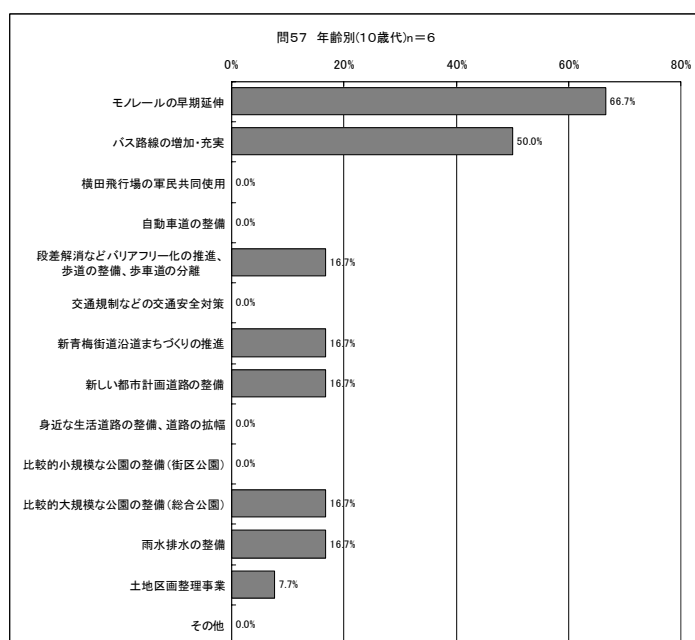


○都市基盤整備の推進については、「モノレールの早期延伸」が60.8%と高く、次に「バス路線の増加・充実」が31.0%で、以下「段差解消などバリアフリー化の推進、歩道の整備、歩車道の分離」が30.2%となっている。

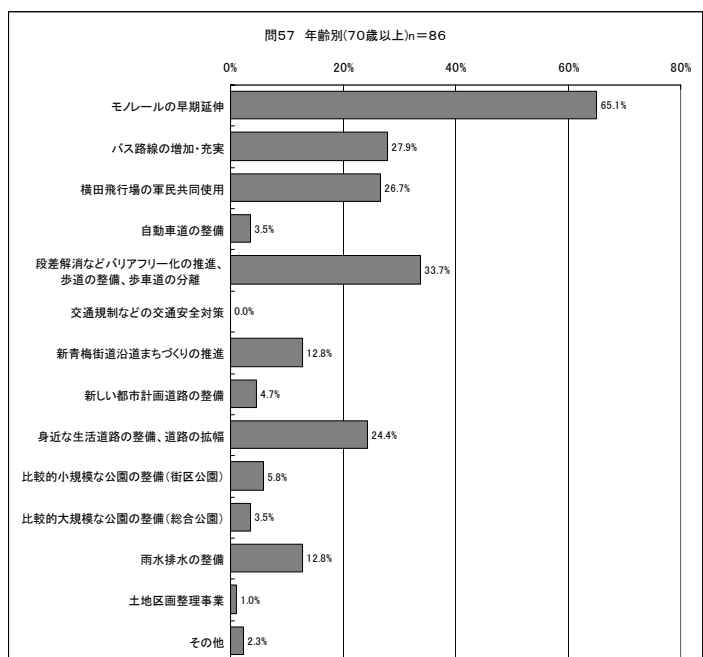
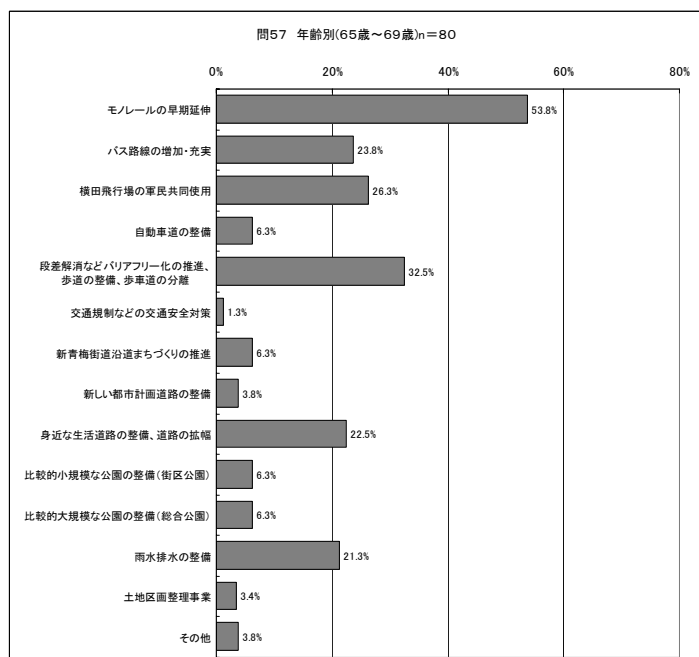
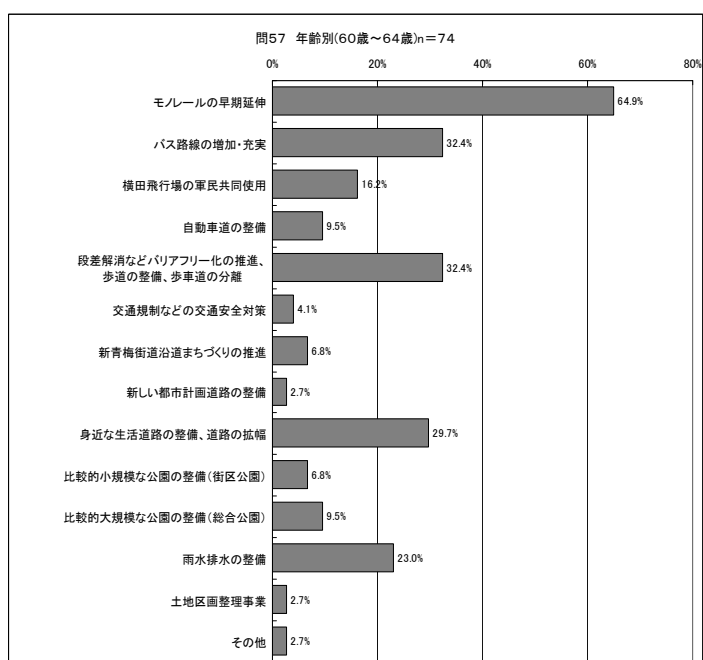
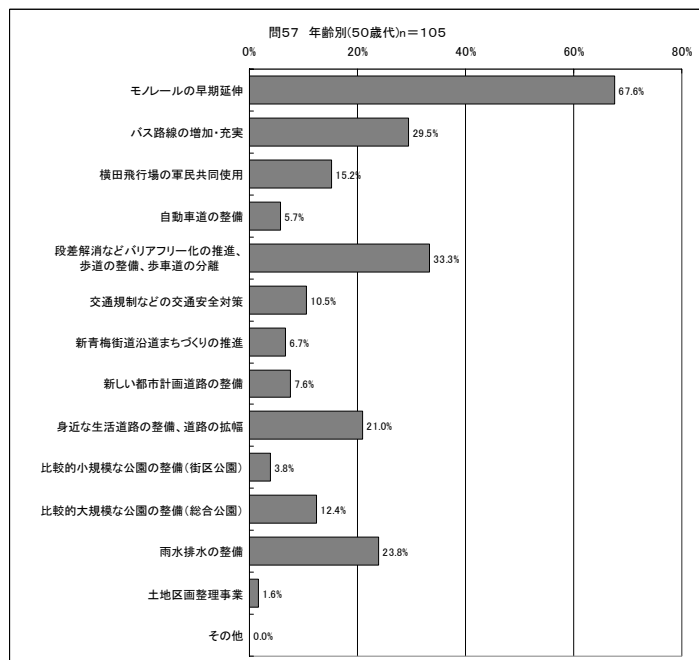
○年齢別では、30歳代以上で「雨水排水の整備」、60歳以上で「身近な生活道路の整備、道路の拡幅」が平均より高い値となっている。

○地区別では、A地区とB地区とC地区で「横田飛行場の軍民共同使用」が平均より高い値となっている。

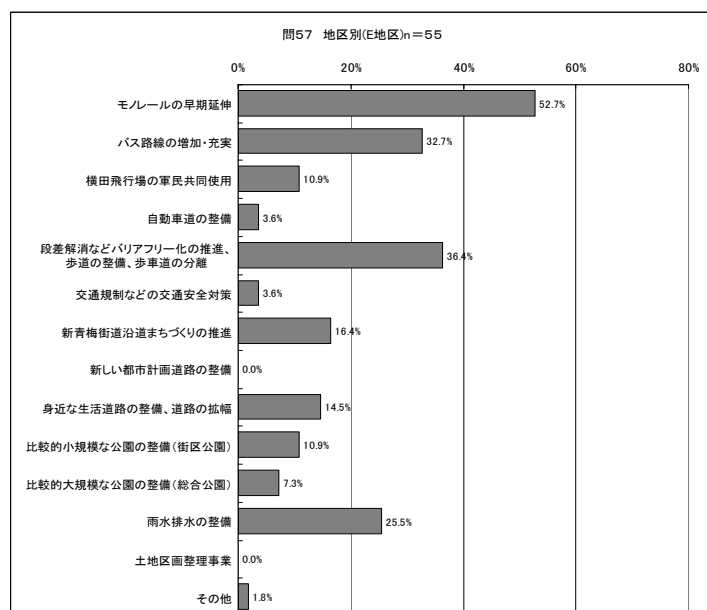
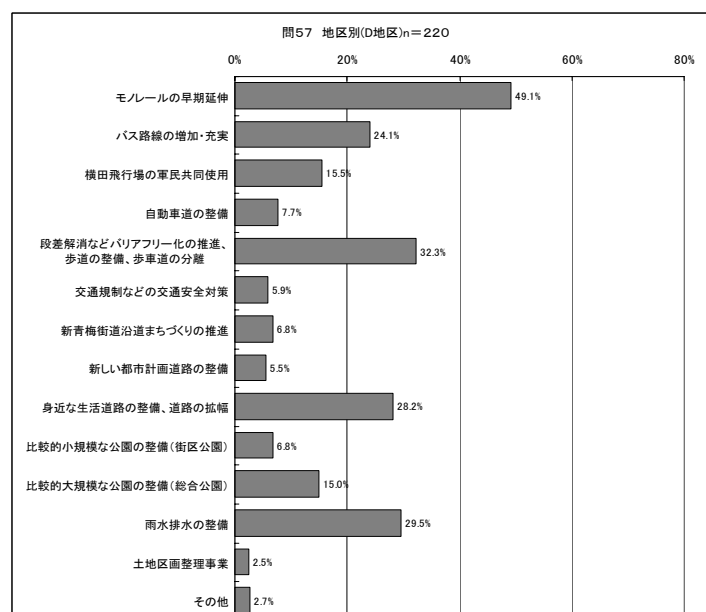
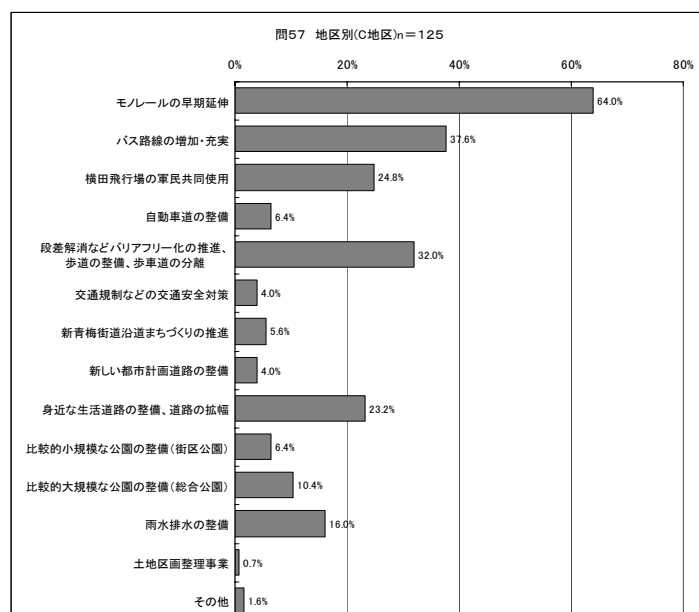
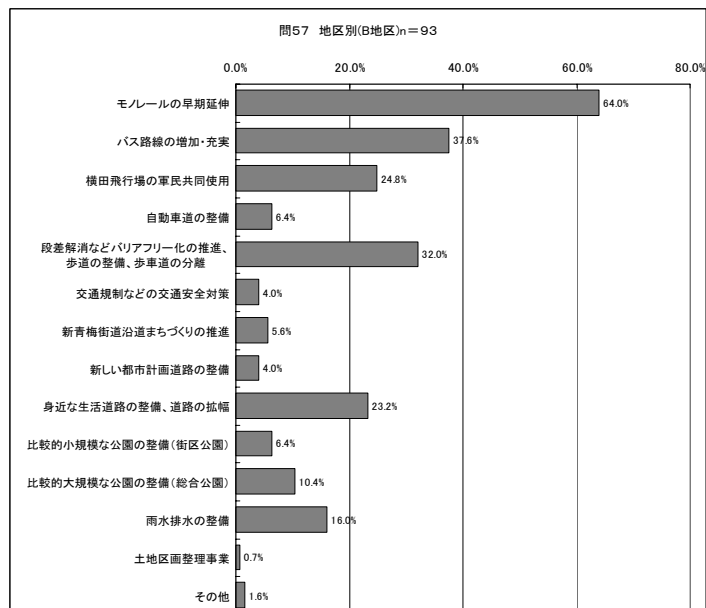
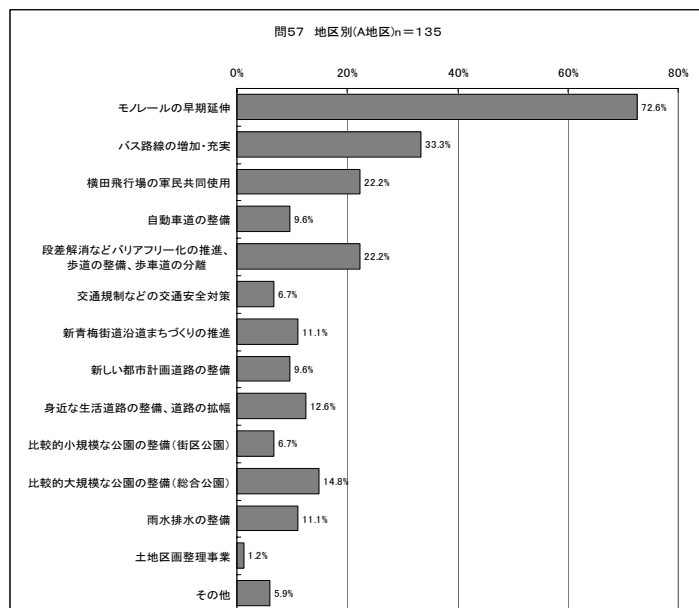
(年齢別)



第3章 市民意識調査の集計結果

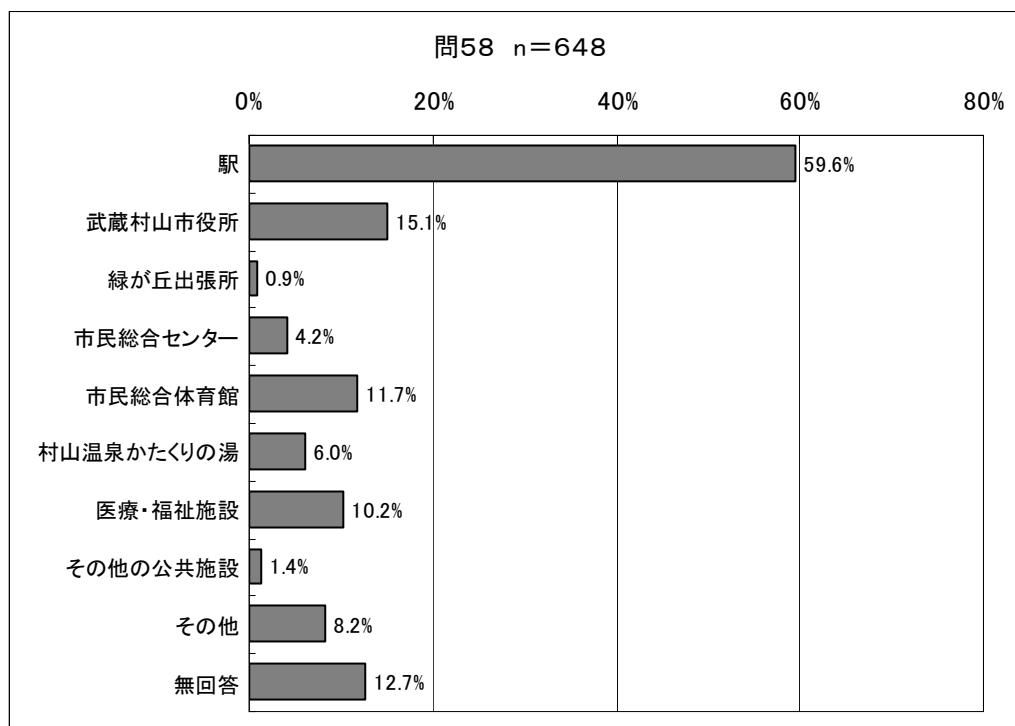


(地区別)



問 58 あなたのお住まいからどこまでの交通手段を充実させてほしいですか。(〇は2つまで)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 駅(駅名:) | 6 村山温泉かたくりの湯 |
| 2 武蔵村山市役所 | 7 医療・福祉施設(施設名:) |
| 3 緑が丘出張所 | 8 その他の公共施設(施設名:) |
| 4 市民総合センター | 9 その他() |
| 5 市民総合体育館 | |



○交通手段の充実を望む施設としては、「駅」が 59.6%と高く、次に「武蔵村山市役所」が 15.1%で、以下「市民総合体育館」が 11.7%となっている。

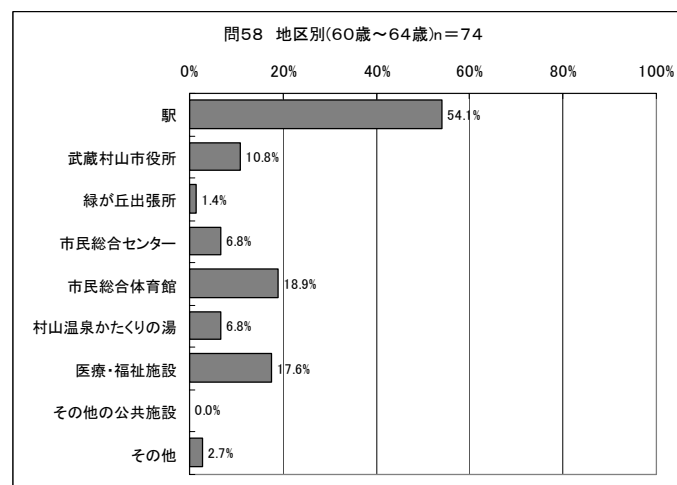
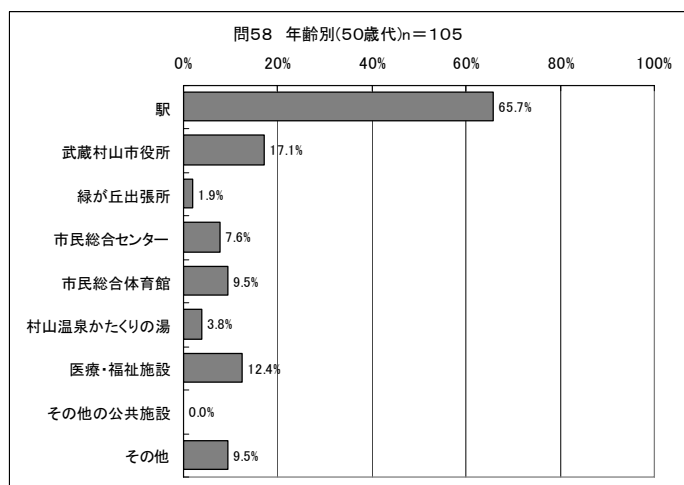
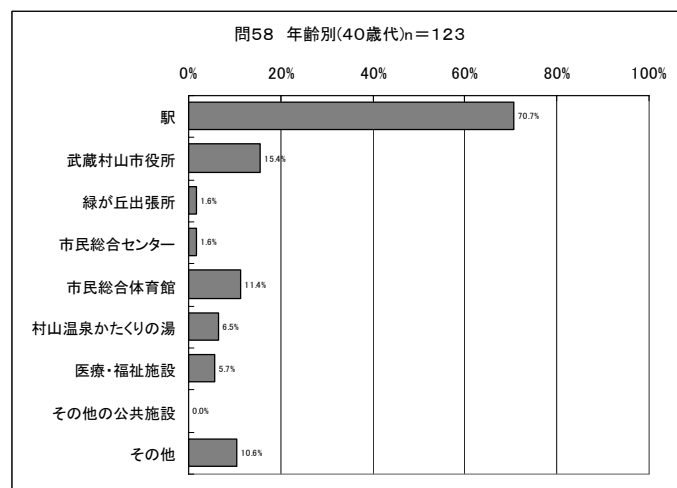
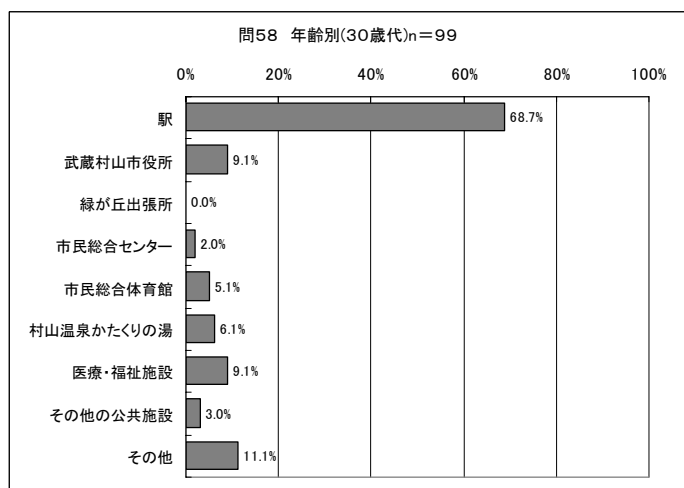
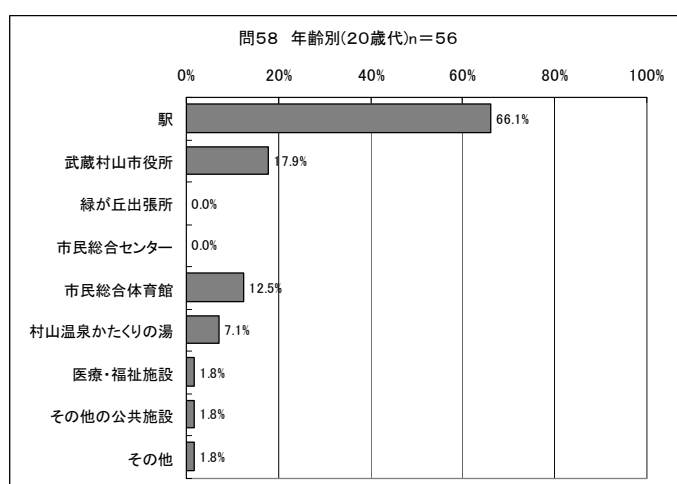
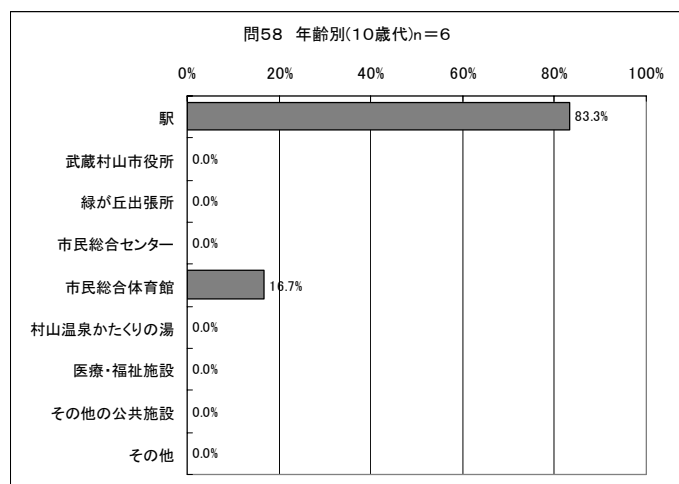
○年齢別では、60 歳代以上で「医療・福祉施設」が平均より高い値となっている。

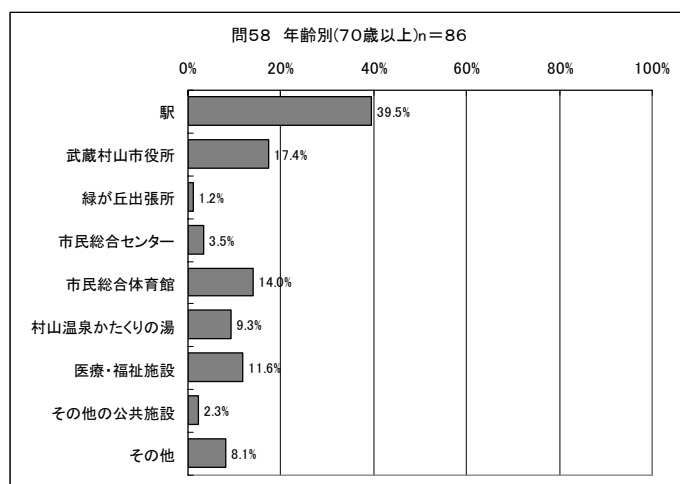
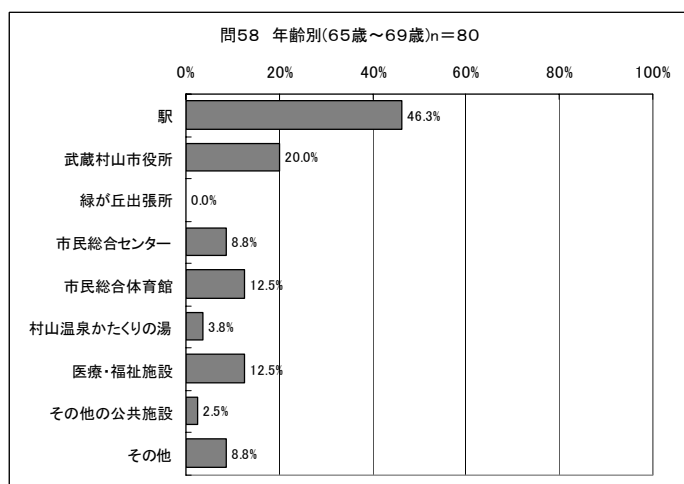
○地区別では、E 地区で「武蔵村山市役所」が「駅」の値より高い値となっている。

○「駅」として挙げられた具体の駅名は以下のとおりである。

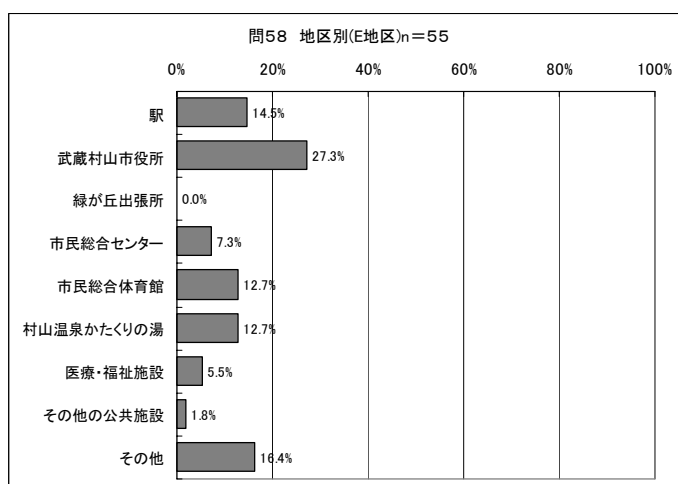
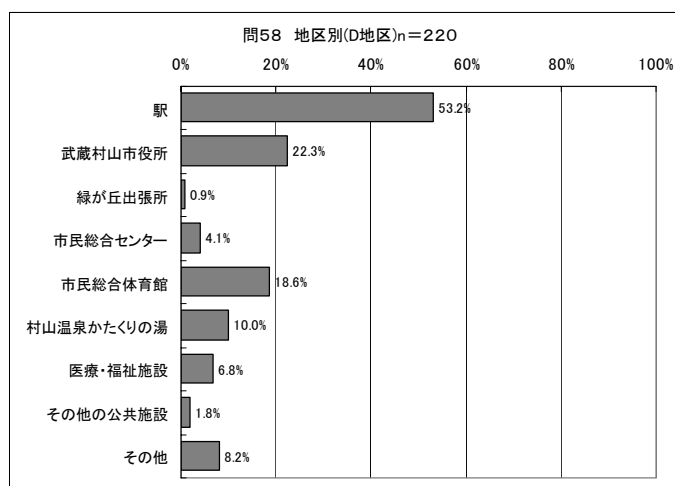
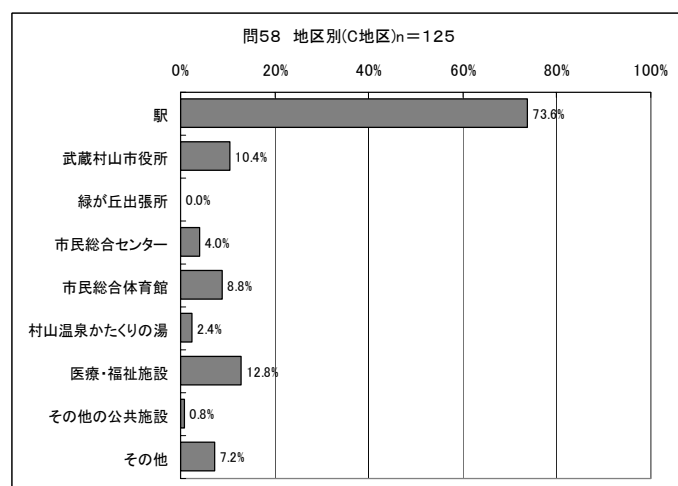
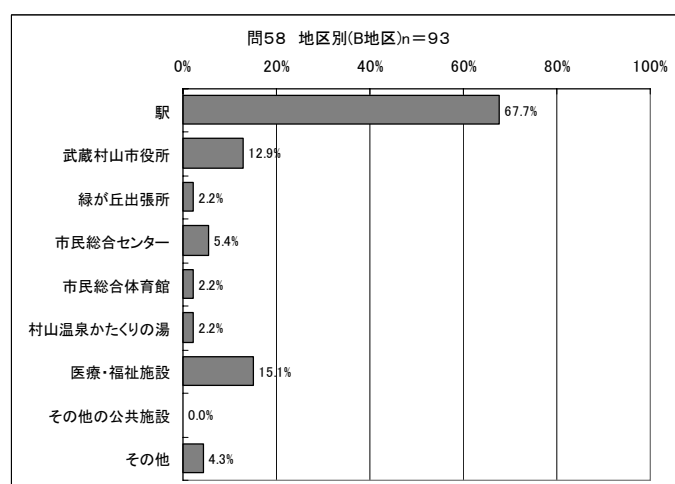
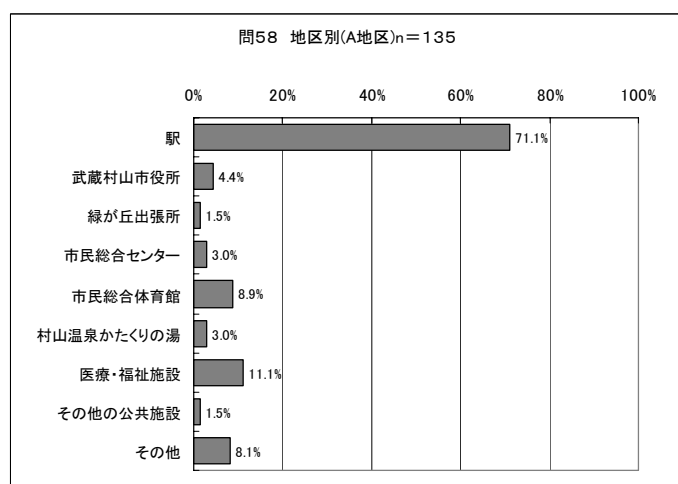
駅 名	件 数
JR 中央線立川駅	107
西武拝島線玉川上水駅	73
西武拝島線武蔵砂川駅	61
多摩都市モノレール上北台駅	40
JR 青梅線昭島駅	37
西武拝島線立川駅	11
西武拝島線東大和市駅	6
JR 八高線箱根ヶ崎駅	4

(年齢別)



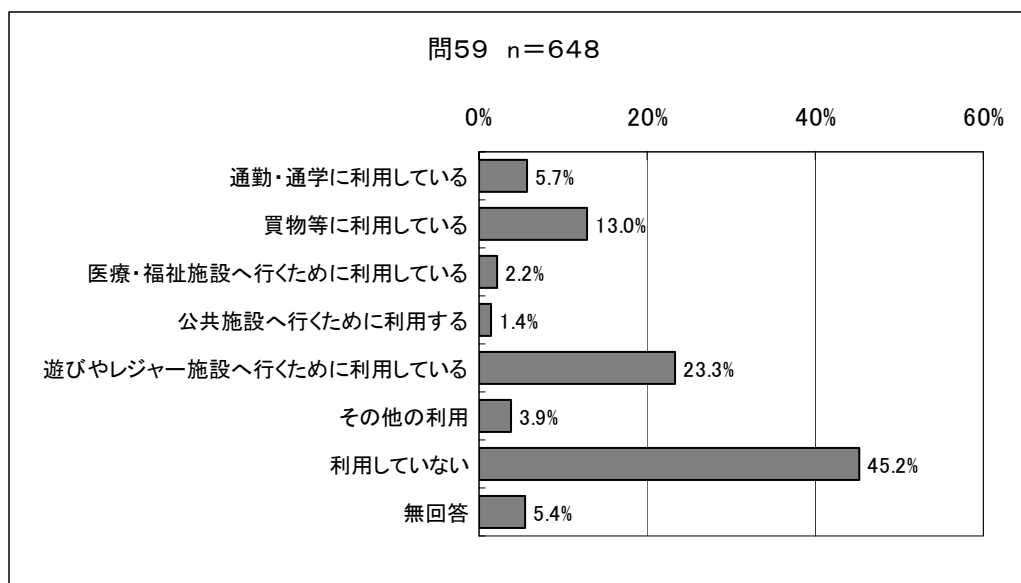


(地区別)



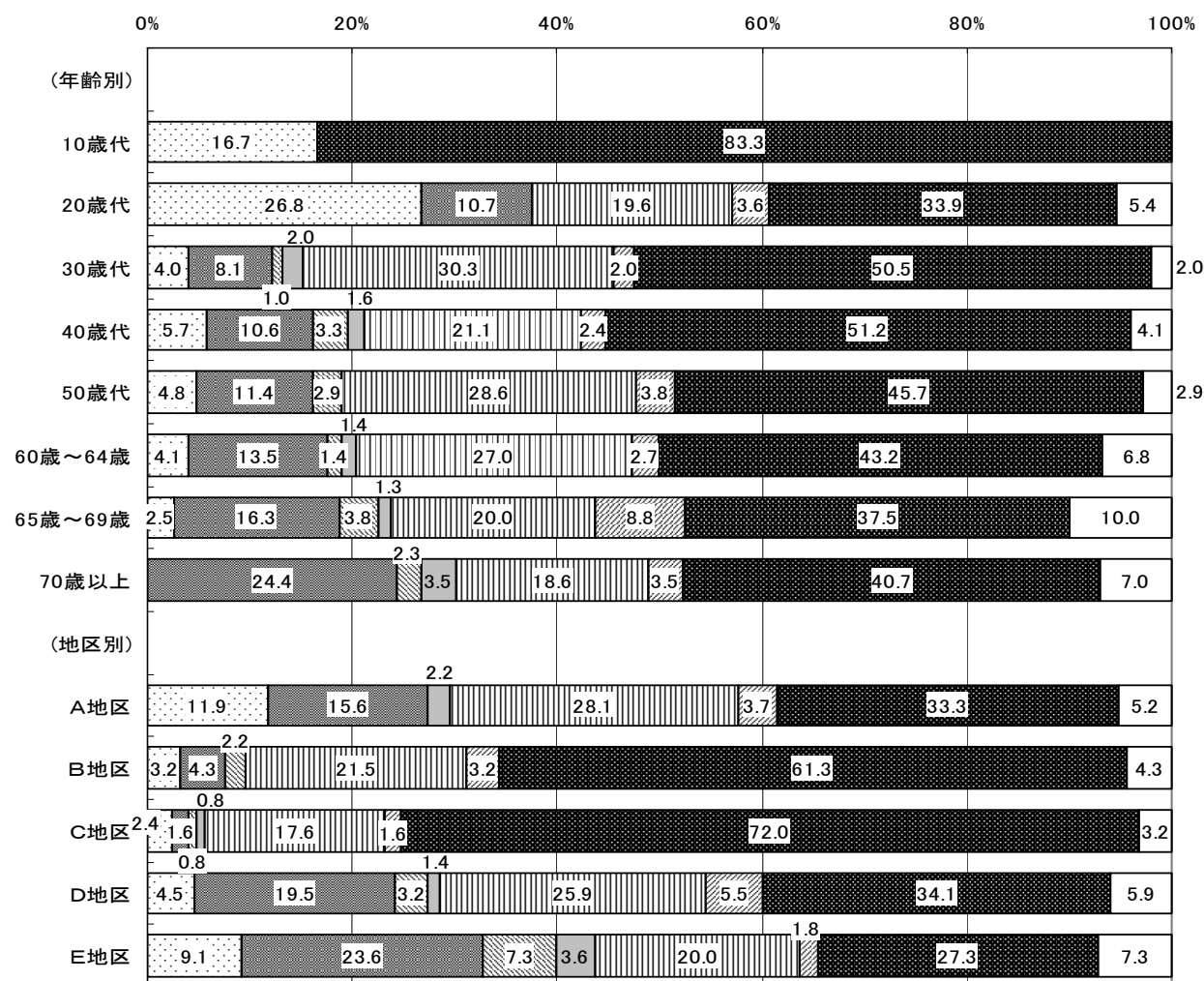
問 59 あなたは、現在、多摩都市モノレールを利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 通勤・通学に利用している | 5 遊びやレジャー施設へ行くために利用している |
| 2 買物等に利用している | 6 その他の利用() |
| 3 医療・福祉施設へ行くために利用している | 7 利用していない |
| 4 公共施設へ行くために利用している | |



○モノレールの利用については、「利用していない」が 45.2%と高く、次に「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」が 23.3%で、以下「買物等に利用している」が 13.0%となっている。

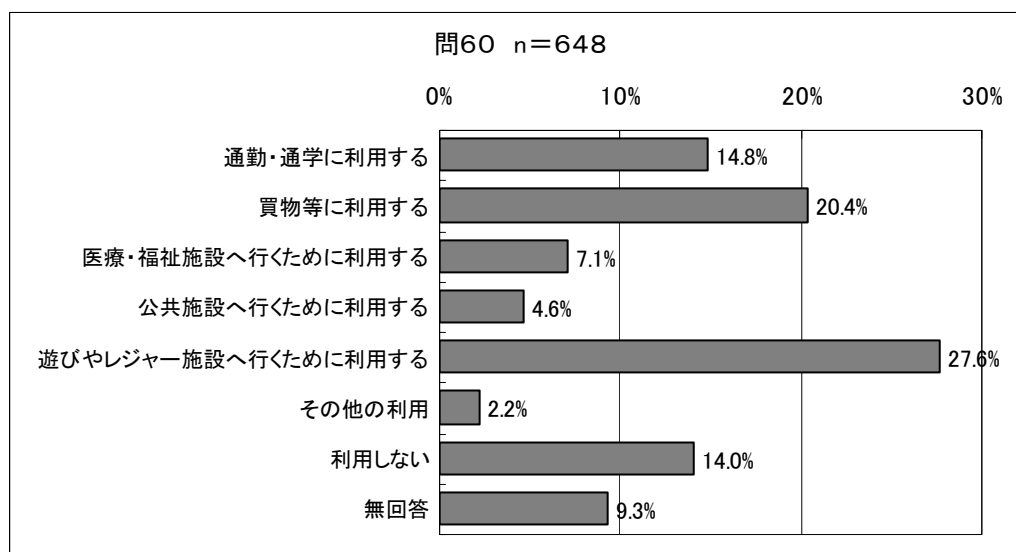
問59 年齢別・地区別



○年齢別では、20歳代の「通勤・通学に利用している」が26.8%と高く、70歳以上では「買物等に利用している」が24.4%と高い値となっている。

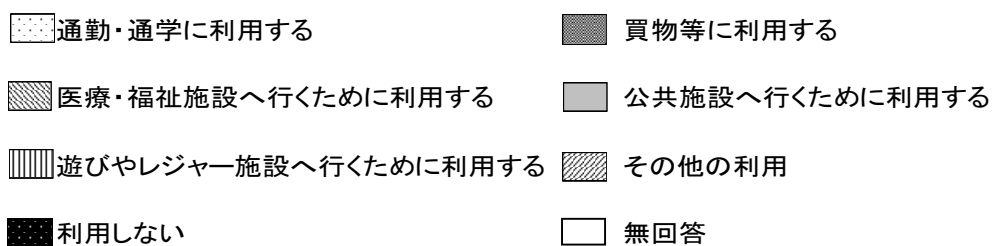
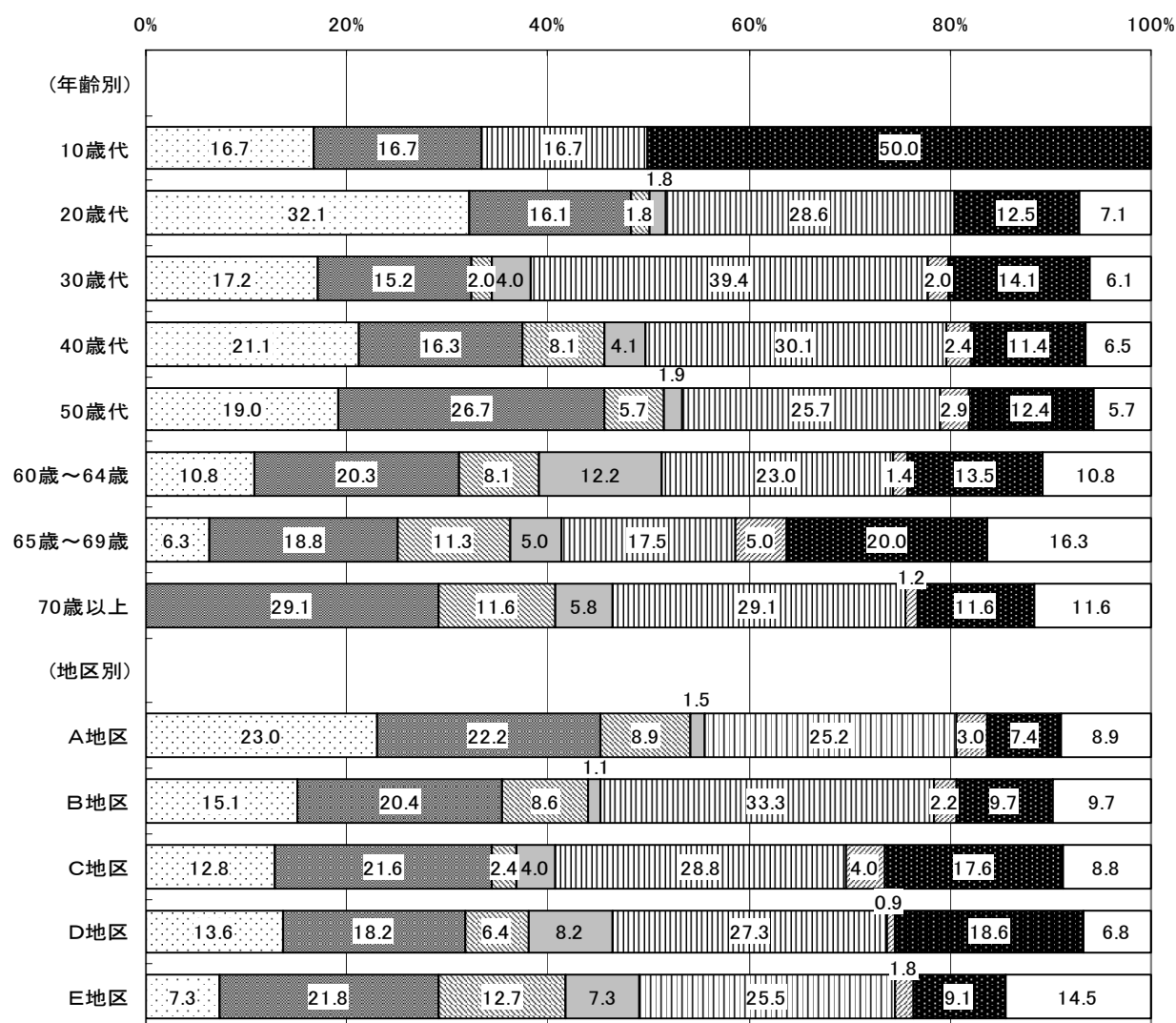
○地区別では、B地区とC地区で「利用していない」が約60%以上と高い値となっている。また、A地区とD地区とE地区で「通勤・通学に利用している」や「買物等に利用している」と回答する人が多くなっている。

問 60 あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールをどのように利用しますか。



○モノレールの利用については、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が 27.6%と高く、次に「買物等に利用する」が 20.4%、「通勤・通学に利用する」が 14.8%となっている。

問60 年齢別・地区別



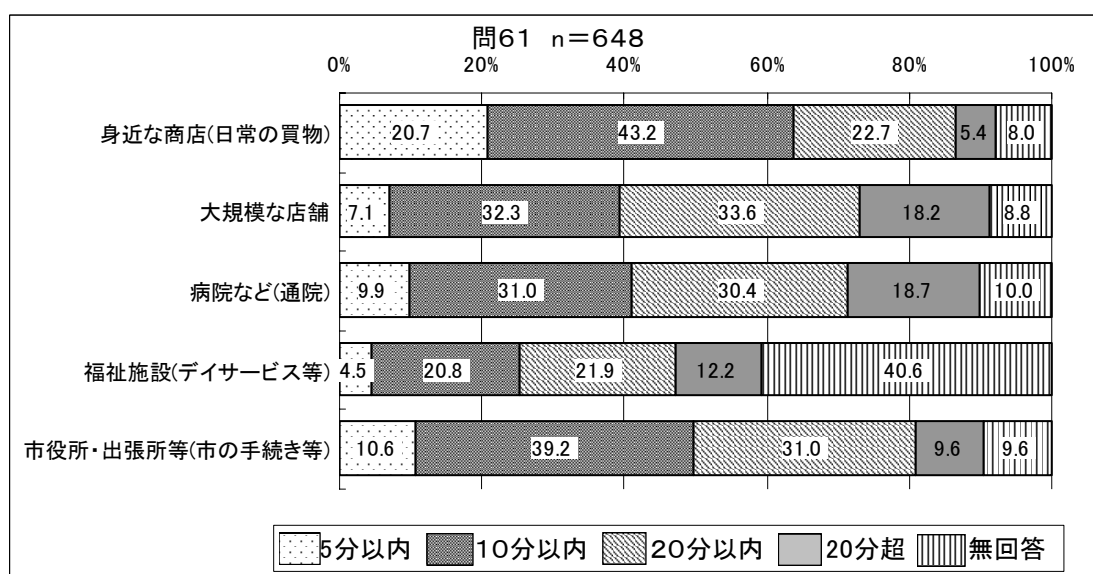
○年齢別では、20歳代の「通勤・通学に利用する」が32.1%と高く、70歳以上では「買物等に利用する」が29.1%と高い値となっている。

○地区別では、全ての地区で「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が約30%程度と高い値となっている。また、A地区では、「通勤・通学に利用する」が23.0%と高い値となっている。

問 61 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

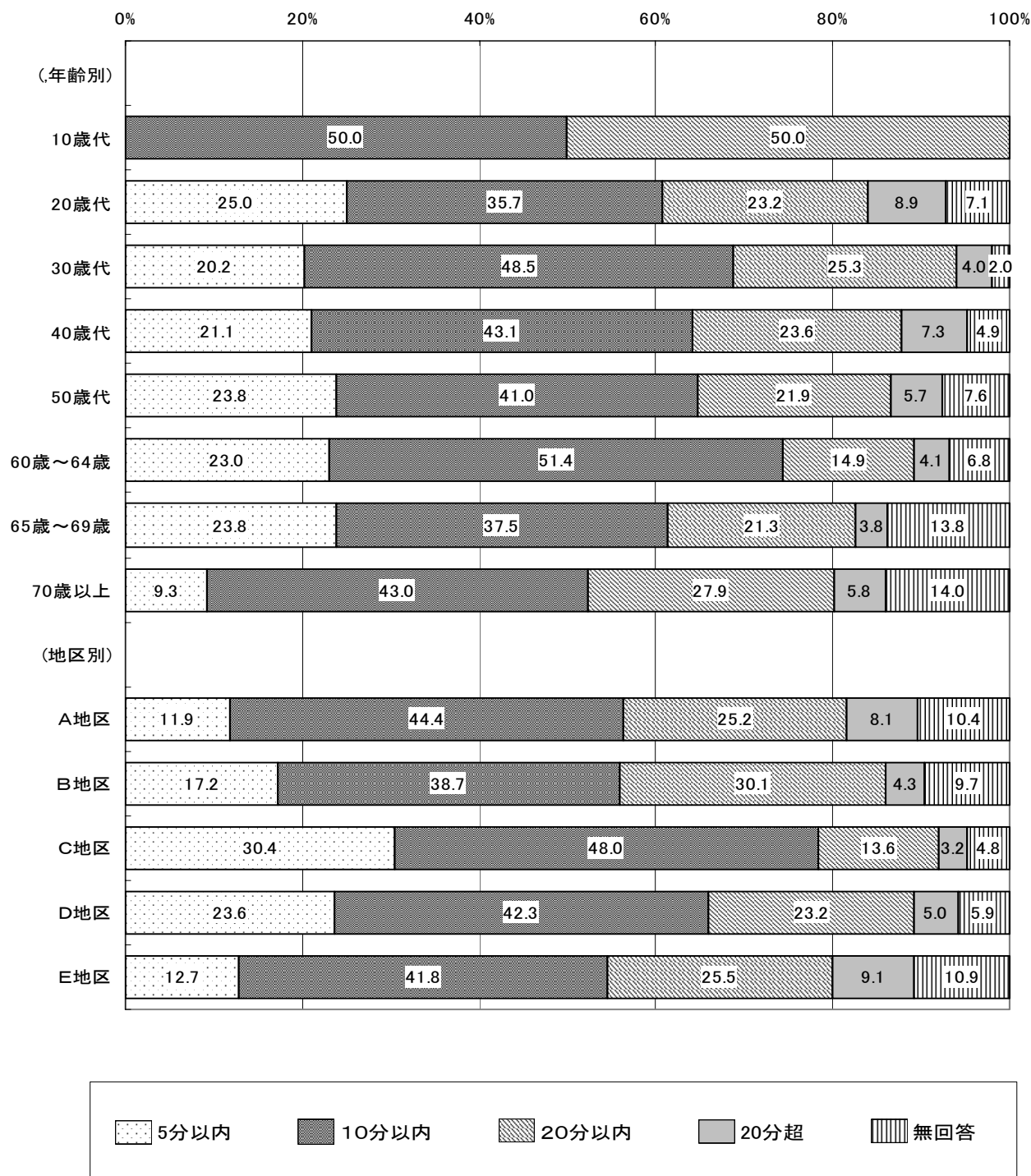
(○はそれぞれ1つ)

	5 分以内	10 分以内	20 分以内	20 分超
ア 身近な商店(日常の買物)	1	2	3	4
イ 大規模な店舗	1	2	3	4
ウ 病院など(通院)	1	2	3	4
エ 福祉施設(デイサービス等)	1	2	3	4
オ 市役所・出張所等(市の手続き等)	1	2	3	4



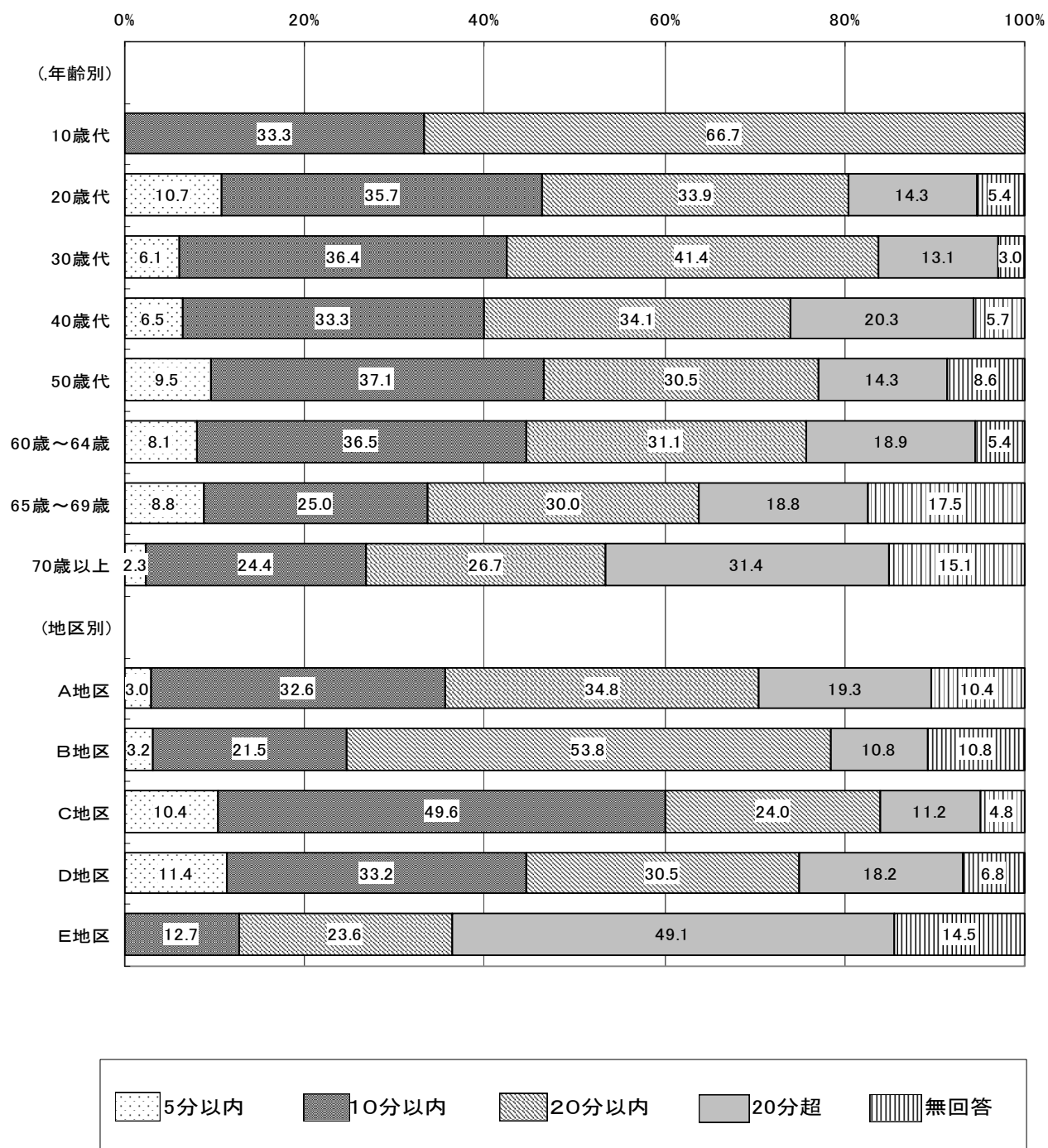
- 「身近な商店」へは63.9%、「市役所・出張所等」へは49.8%の人が「10分以内」で行くことができるのに対し、「大規模な店舗」や「病院など」へ行くためには「20分超」の人も約20%弱に見られる。
- 「福祉施設」については、「無回答」が40.6%となっている。

問6 1－身近な商店(日常の買物)



○年齢別・地区別ともに「10分以内」が30～50%と多く、次に「5分以内」が20%程度となっている。
 ○地区別では、C地区の「5分以内」で30.4%と高い値となっている。

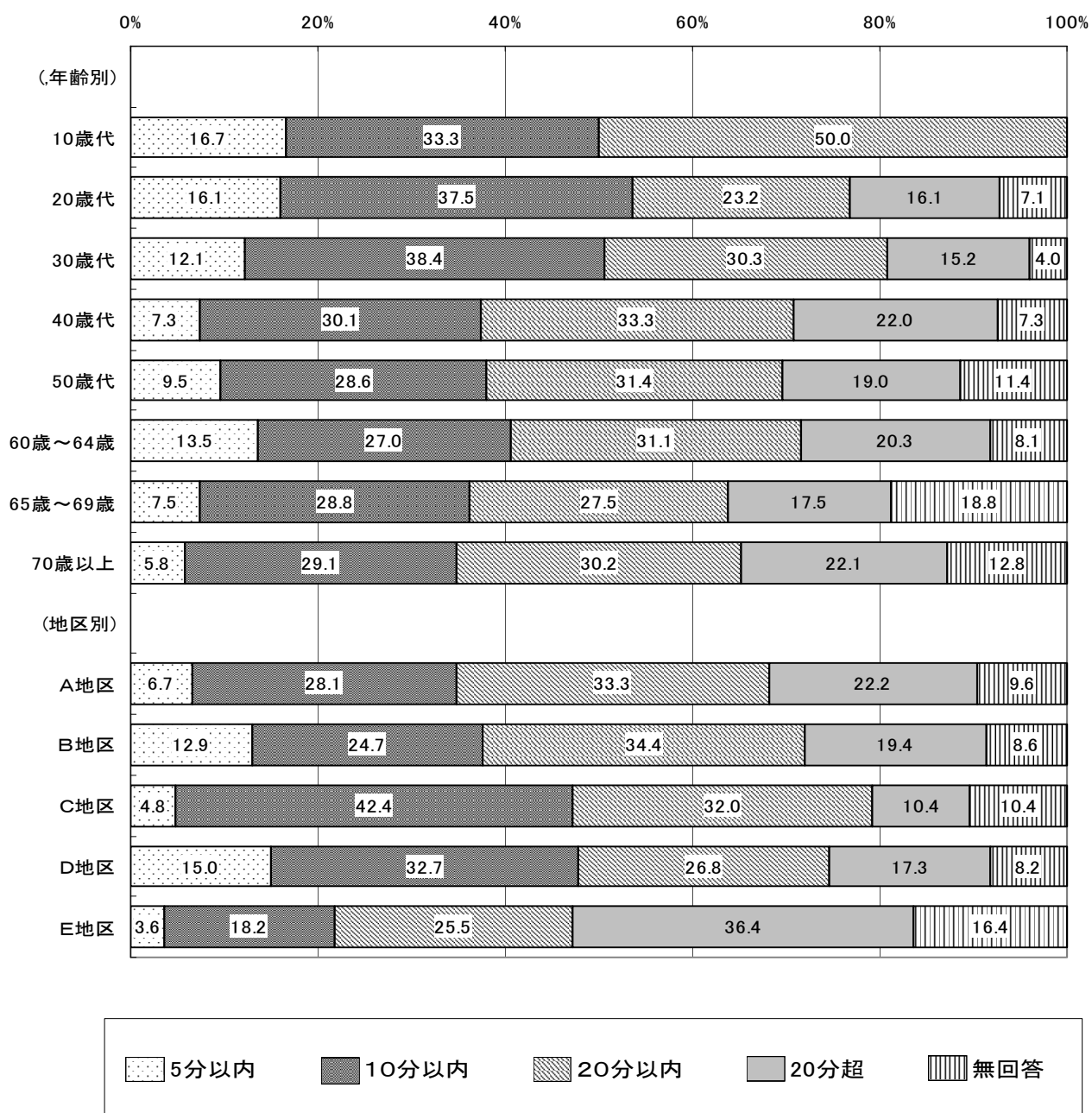
問6 1－大規模な店舗



○「10分～20分以内」が年齢別・地区別とも回答が多くなっている。

○地区別では、E地区の「20分超」で49.1%と高い値となっている。

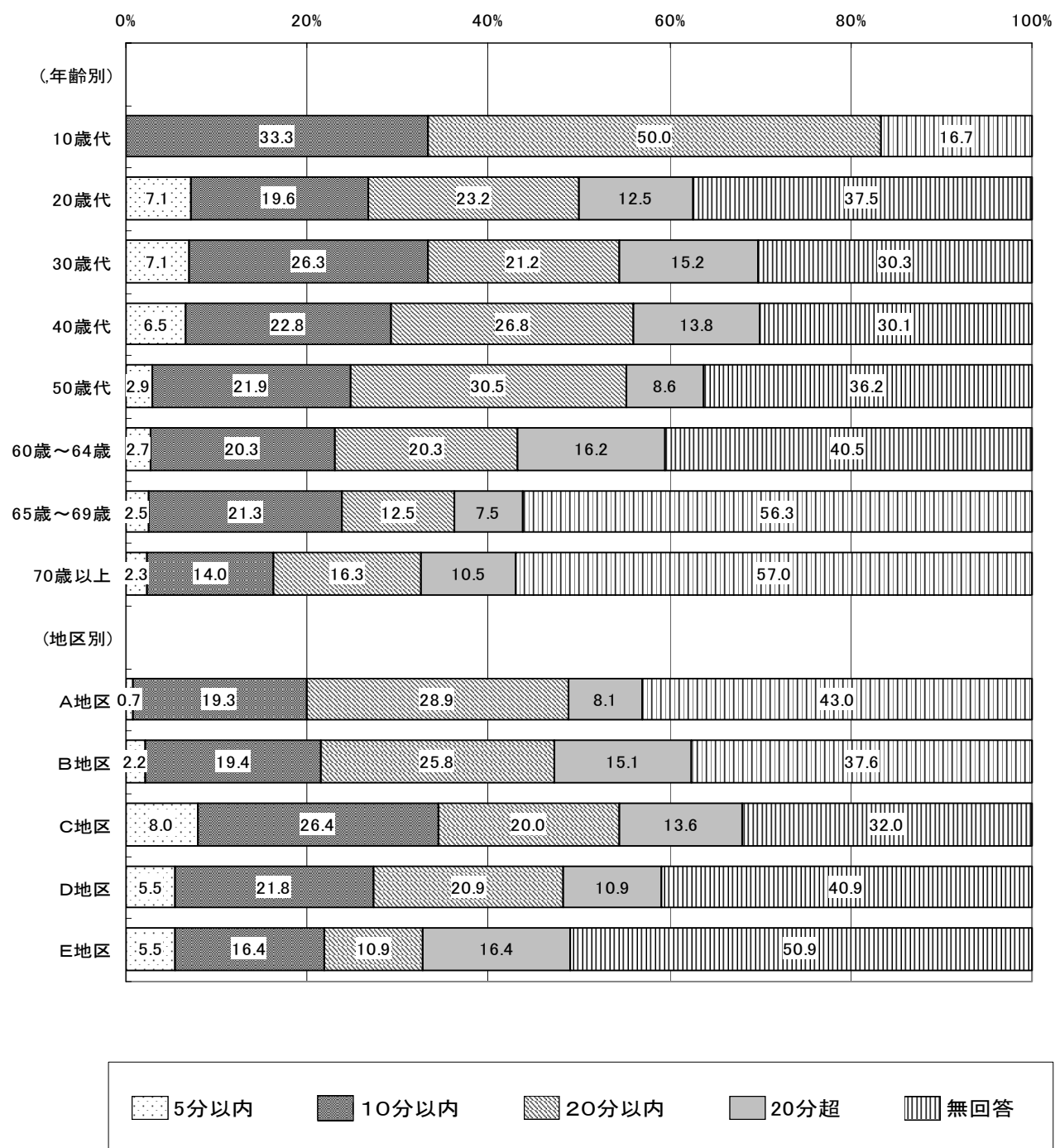
問6 1－病院など(通院)



○年齢別・地区別ともに「10分～20分以内」が約60%を占めている。

○地区別では、E地区の「20分超」で36.4%と高い値となっている。

問6 1－福祉施設（デイサービス等）

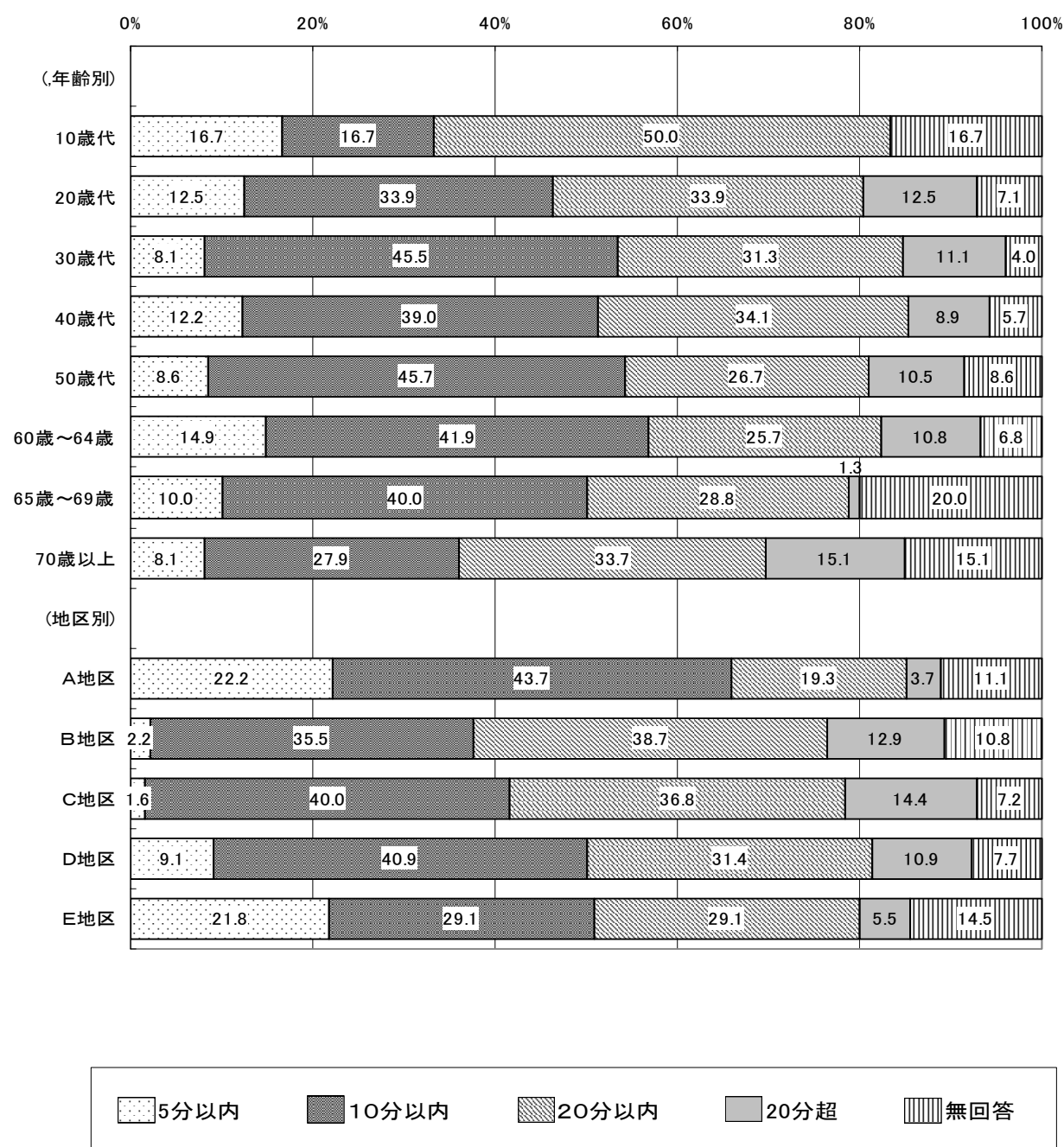


○年齢別では、「10分以内」が約20%、「20分以内」が約30%を占めている。「20分超」は約10%となっている。

○地区別では、C地区の「10分以内」で26.4%と、無回答を除いて最も高い値となっている。

○E地区では、「20分超」が16.4%と、無回答を除いて最も高い値となっている。

問6 1－市役所・出張所等(市の手続き等)

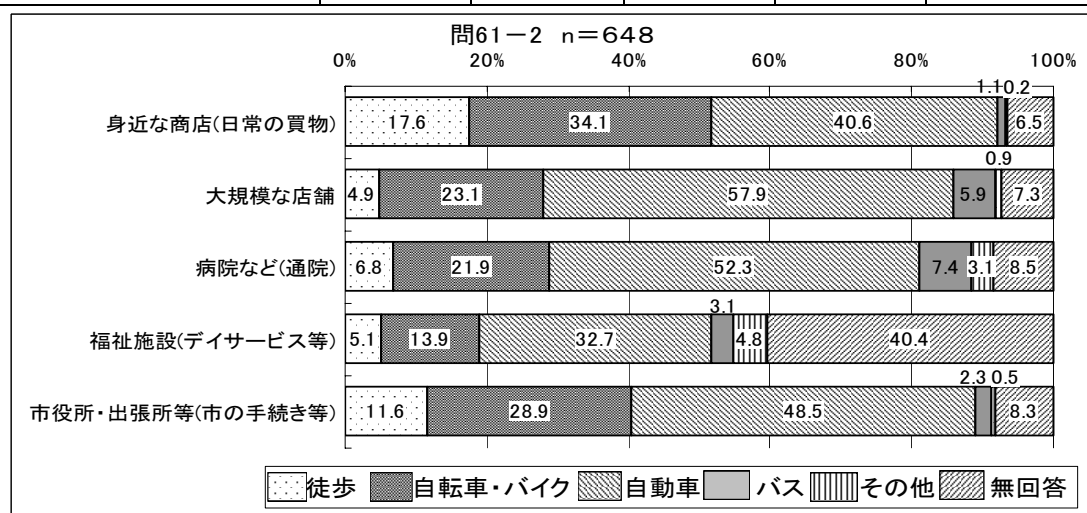


○年齢別では、「10分以内」が約30%～40%と多く、次に「20分以内」が約20～30%となっている。

○地区別では、A地区とE地区の「5分以内」で20%台と、他の地区と比較して割合が高くなっている。

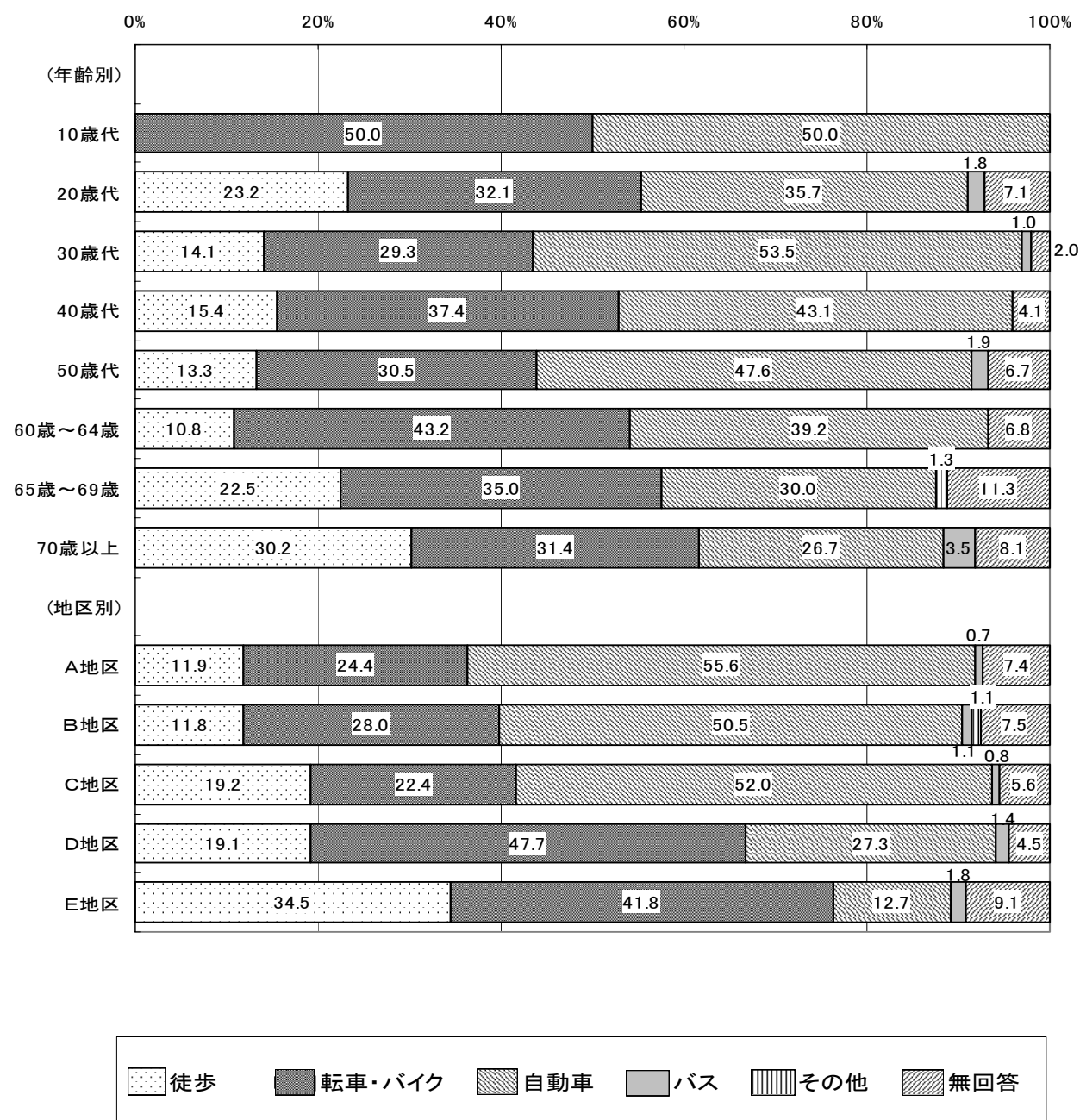
問 61-2 問 61 の施設へ行くための交通手段は何ですか。(〇はそれぞれ1つ)

	徒歩	自転車・バイク	自動車	バス	その他
ア 身近な商店(日常の買物)	1	2	3	4	5 ()
イ 大規模な店舗	1	2	3	4	5 ()
ウ 病院など(通院)	1	2	3	4	5 ()
エ 福祉施設(デイサービス等)	1	2	3	4	5 ()
オ 市役所・出張所等(市の手続き等)	1	2	3	4	5 ()



- 交通手段については、「徒歩」では「身近な商店」が17.6%と多く、次に「市役所・出張所等」が11.6%となっている。
- 「自転車・バイク」の利用は、「身近な店舗」が34.1%と多く、次に「市役所・出張所等」が28.9%となっている。
- 「自動車」の利用は、「大規模な店舗」が57.9%と多く、次に「病院など」が52.3%となっている。
- 「バス」の利用は、「病院など」が7.4%で、次に「大規模な店舗」が5.9%となっている。
- 身近な商店へは、「自動車」の利用が40.6%と高く、次に「自転車・バイク」の利用が34.1%で、「徒歩」が17.6%となっている。
- 大規模な店舗へは、「自動車」の利用が57.9%と高く、次に「自転車・バイク」が23.1%、「バス」が5.9%となっている。
- 病院などへは、「自動車」の利用が52.3%と高く、次に「自転車・バイク」の利用が21.9%、「バス」が7.4%となっている。
- 福祉施設へは、「自動車」の利用が32.7%と高く、次に、「自転車・バイク」の利用が13.9%となっている。
- 市役所・出張所等へは「自動車」の利用が48.5%と高く、次に、「自転車・バイク」の利用が28.9%、「徒歩」が11.6%となっている。

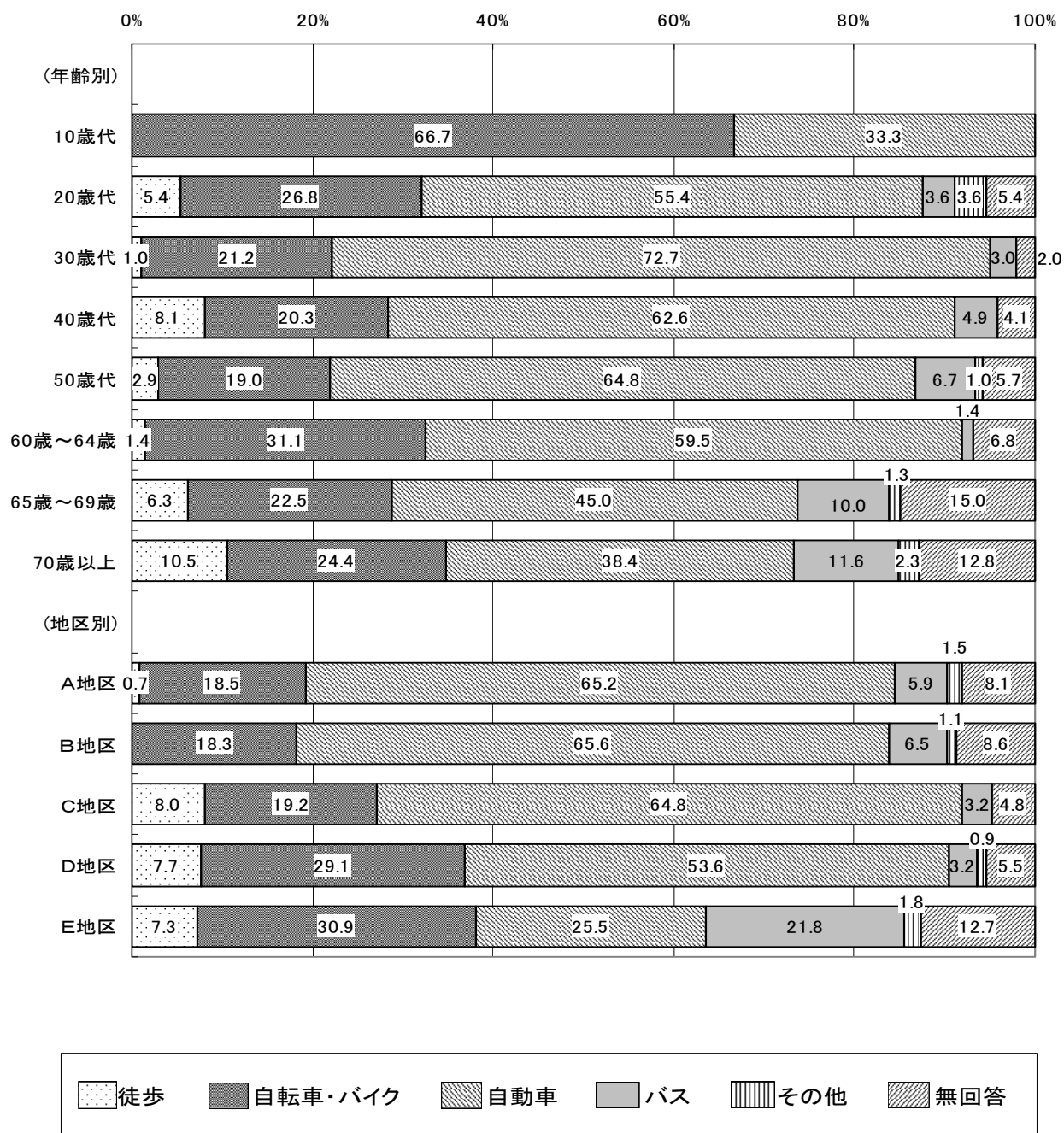
問6 1-2-身近な商店(日常の買物)



○年齢別では、70歳以上の30.2%の人が「徒歩」としている。

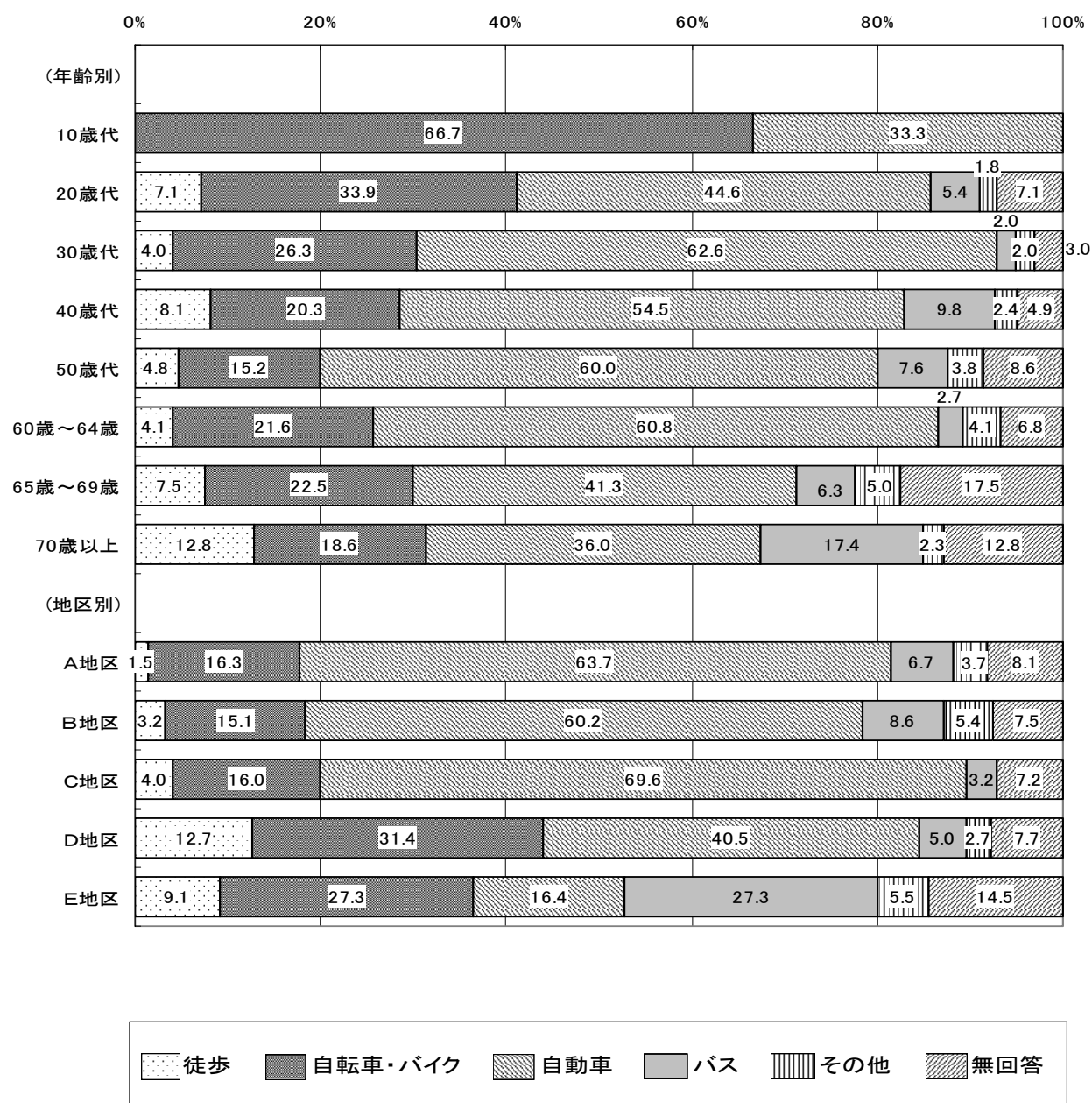
○地区別では、E地区の「徒歩」が34.5%、D地区の「自転車・バイク」利用が47.7%と高い値となっている。

問6 1-2-大規模な店舗



○年齢別では、65歳～69歳と70歳以上の「徒歩」と「バス」利用が他の年代より高い値となっている。
 ○地区別では、E地区の「バス」利用が21.8%と高く、他の地区を大きく上回っている。

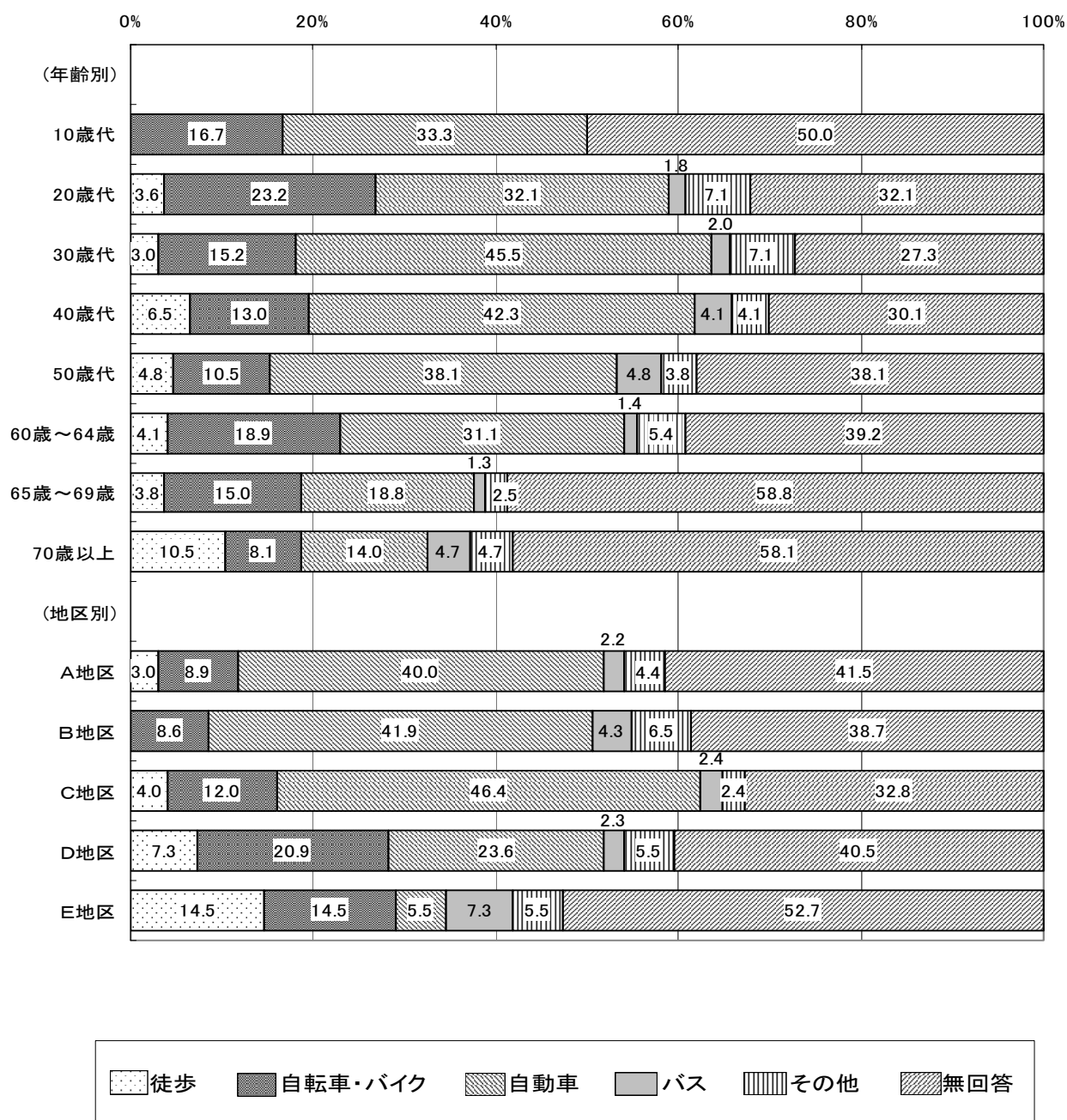
問6 1-2-病院など(通院)



○年齢別では、30歳代～50歳代と60歳～64歳の「自動車」利用が約60%と高く、それより年代の高い人は「バス」や「徒歩」による移動が多くなっている。

○地区別では、A地区とB地区とC地区の「自動車」利用が約60%となっているが、D地区とE地区では「自転車・バイク」利用が約30%と他の地区よりも増えている。また、E地区では、「バス」の利用が27.3%と高い値となっている。

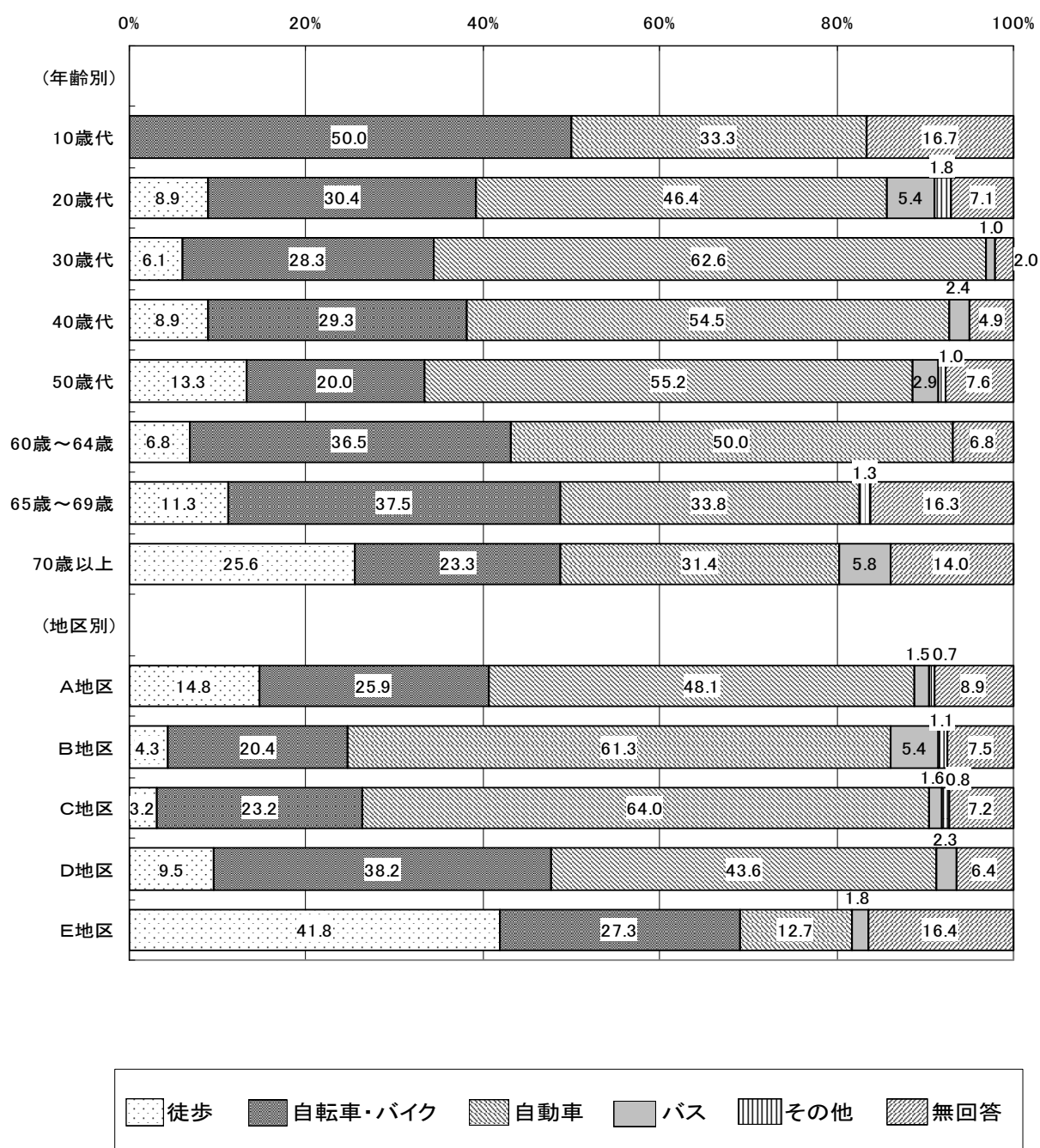
問6 1-2-福祉施設(デイサービス等)



○年齢別では、20歳代～50歳代の「自動車」利用が約40%程度と高い値となっているが、年代が60歳代以上になると「自動車」の利用が10%台と減少し、70歳以上では「徒歩」が10.5%と他の年齢に比べ約2倍となっている。

○地区別では、E地区の「徒歩」が14.5%と他の地区の約3倍となっている。

問6 1-2-市役所・出張所等(市の手続き等)



○年齢別では、70歳以上の「徒歩」が25.6%と高い値となっている。

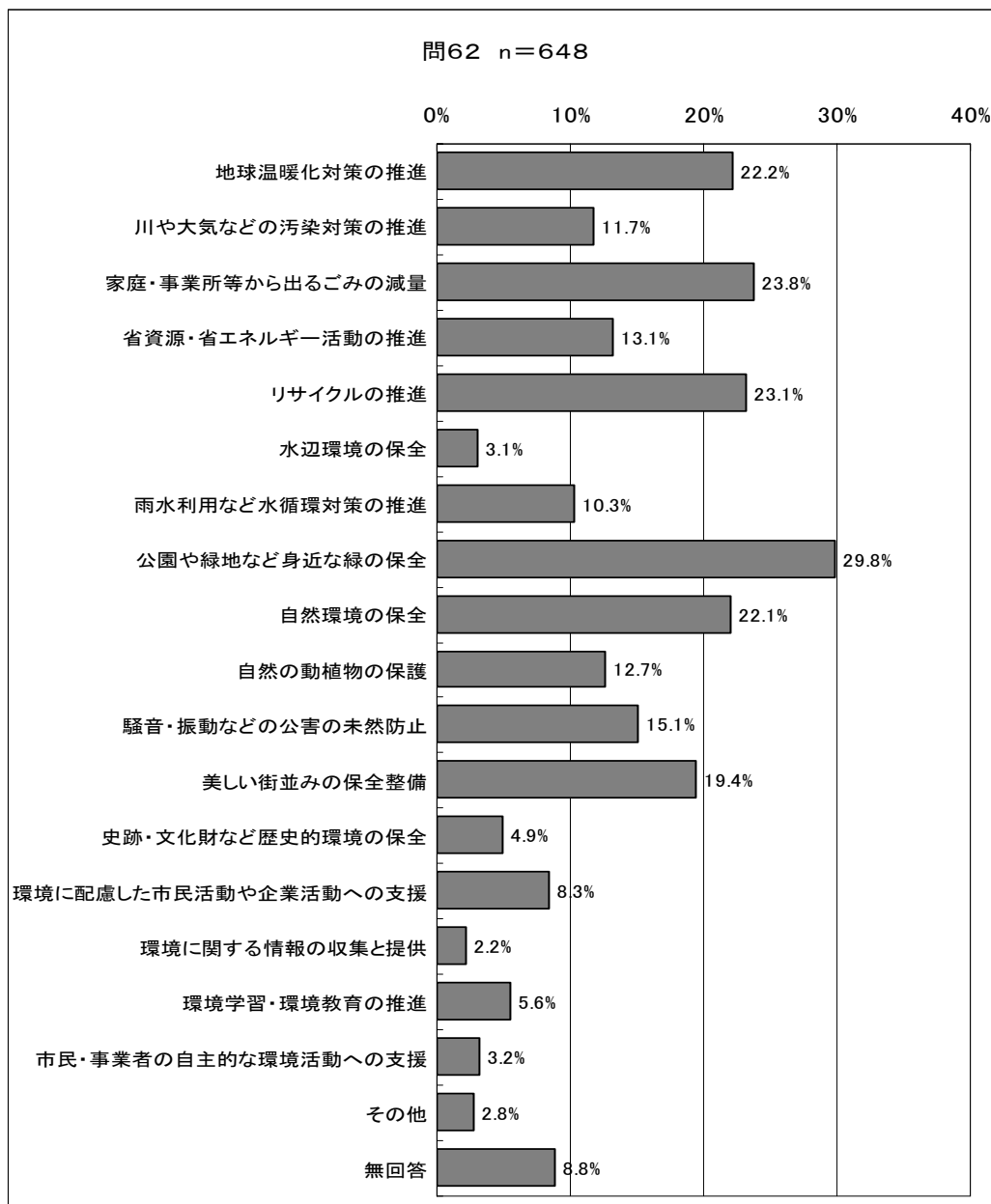
○地区別では、E地区の「徒歩」が41.8%と非常に高い値を占めている。

(11) 環 境

問 62 よりよい環境づくりのために、本市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 地球温暖化対策の推進 | 10 自然の動植物の保護 |
| 2 川や大気などの汚染対策の推進 | 11 騒音・振動などの公害の未然防止 |
| 3 家庭・事業所等から出るごみの減量 | 12 美しい街並みの保全整備 |
| 4 省資源・省エネルギー活動の推進 | 13 史跡・文化財など歴史的環境の保全 |
| 5 リサイクルの推進 | 14 環境に配慮した市民活動や企業活動への支援 |
| 6 水辺環境の保全 | 15 環境に関する情報の収集と提供 |
| 7 雨水利用など水循環対策の推進 | 16 環境学習・環境教育の推進 |
| 8 公園や緑地など身近な緑の保全 | 17 市民・事業者の自主的な環境活動への支援 |
| 9 自然環境の保全 | 18 その他 () |

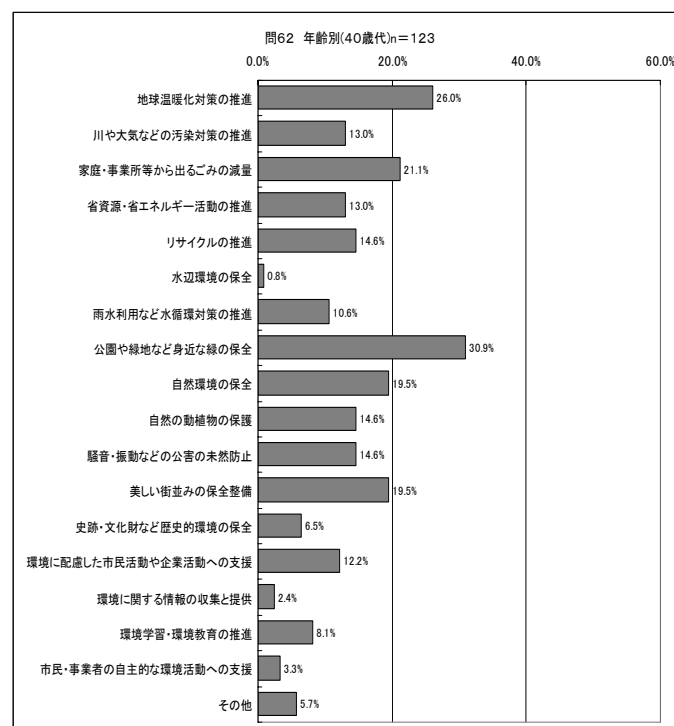
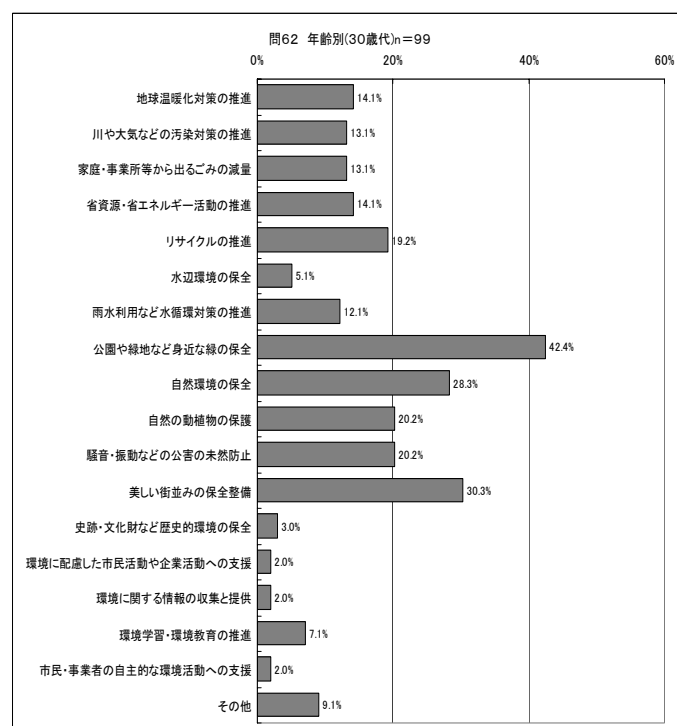
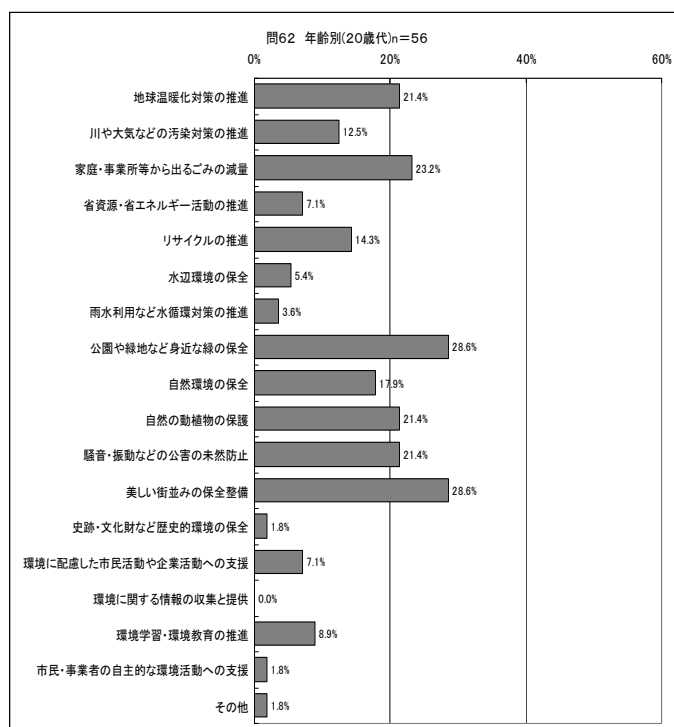
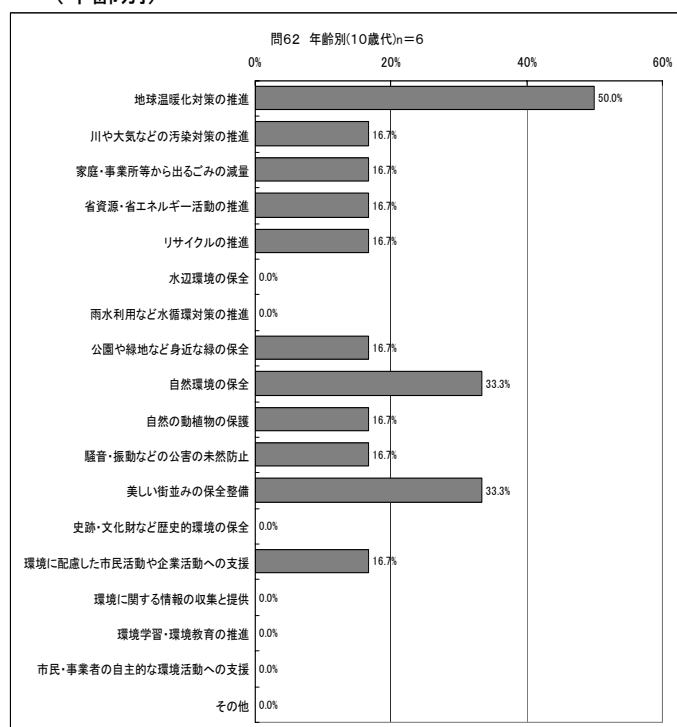


○環境づくりについては、「公園や緑地など身近な緑の保全」が 29.8%と高く、次に「家庭・事業所等から出るごみの減量」が 23.8%で、以下「リサイクルの推進」が 23.1%となっている。

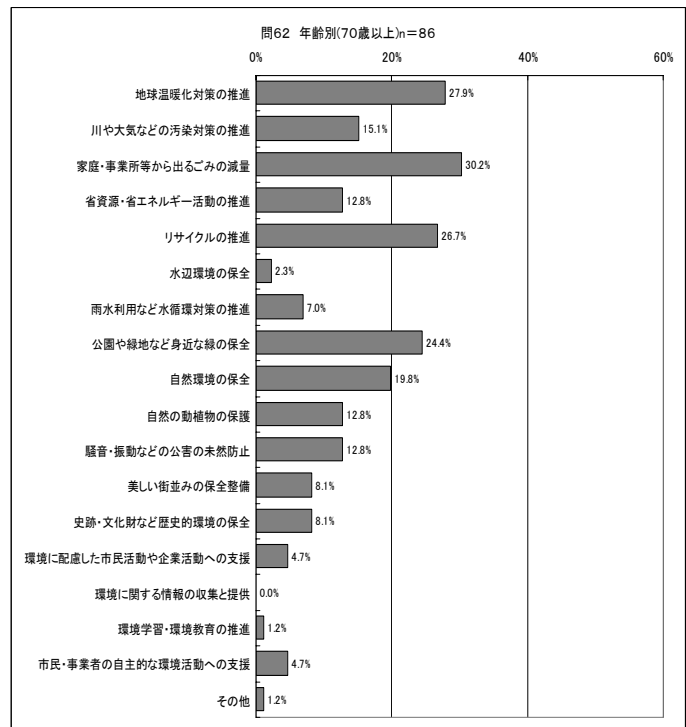
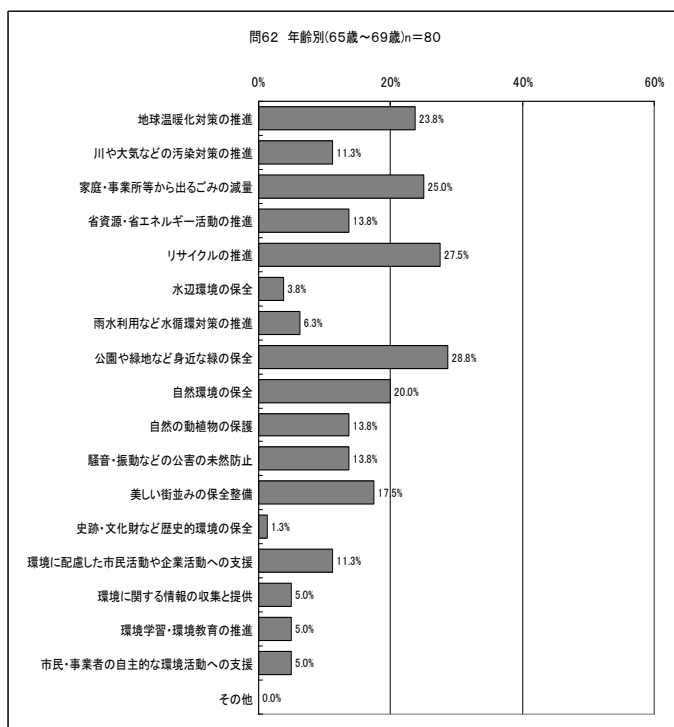
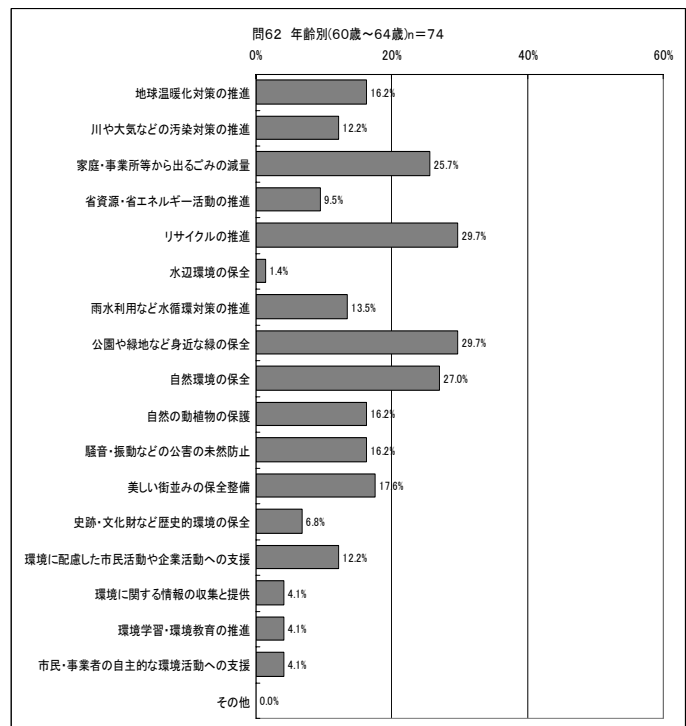
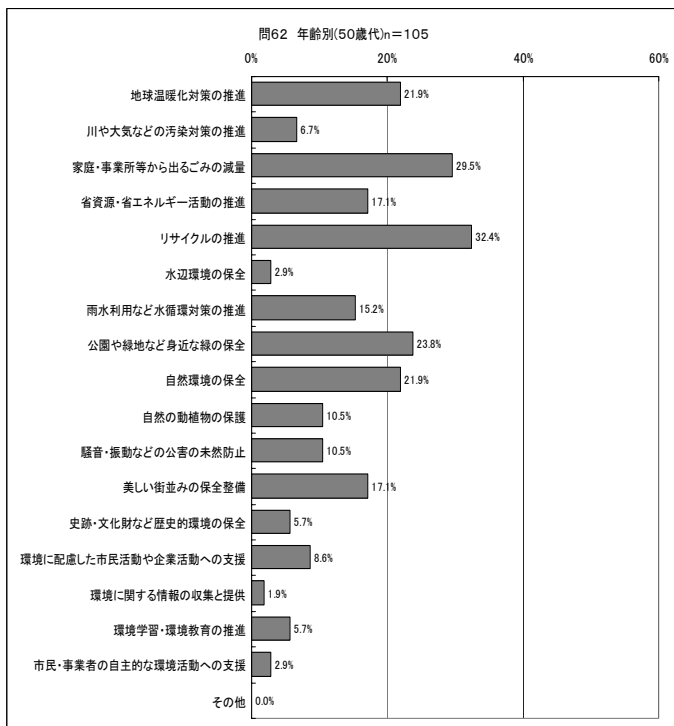
○年齢別では、20 歳代～40 歳代の「公園や緑地など身近な緑の保全」が高く、特に 30 歳代では 42.4%と高い値となっている。

○また、50 歳代と 60 歳～64 歳では、「リサイクルの推進」が高い値を示しており、70 歳以上では「家庭・事業所等から出るごみの減量」が 30.2%と高い値となっている。

(年齢別)



第3章 市民意識調査の集計結果



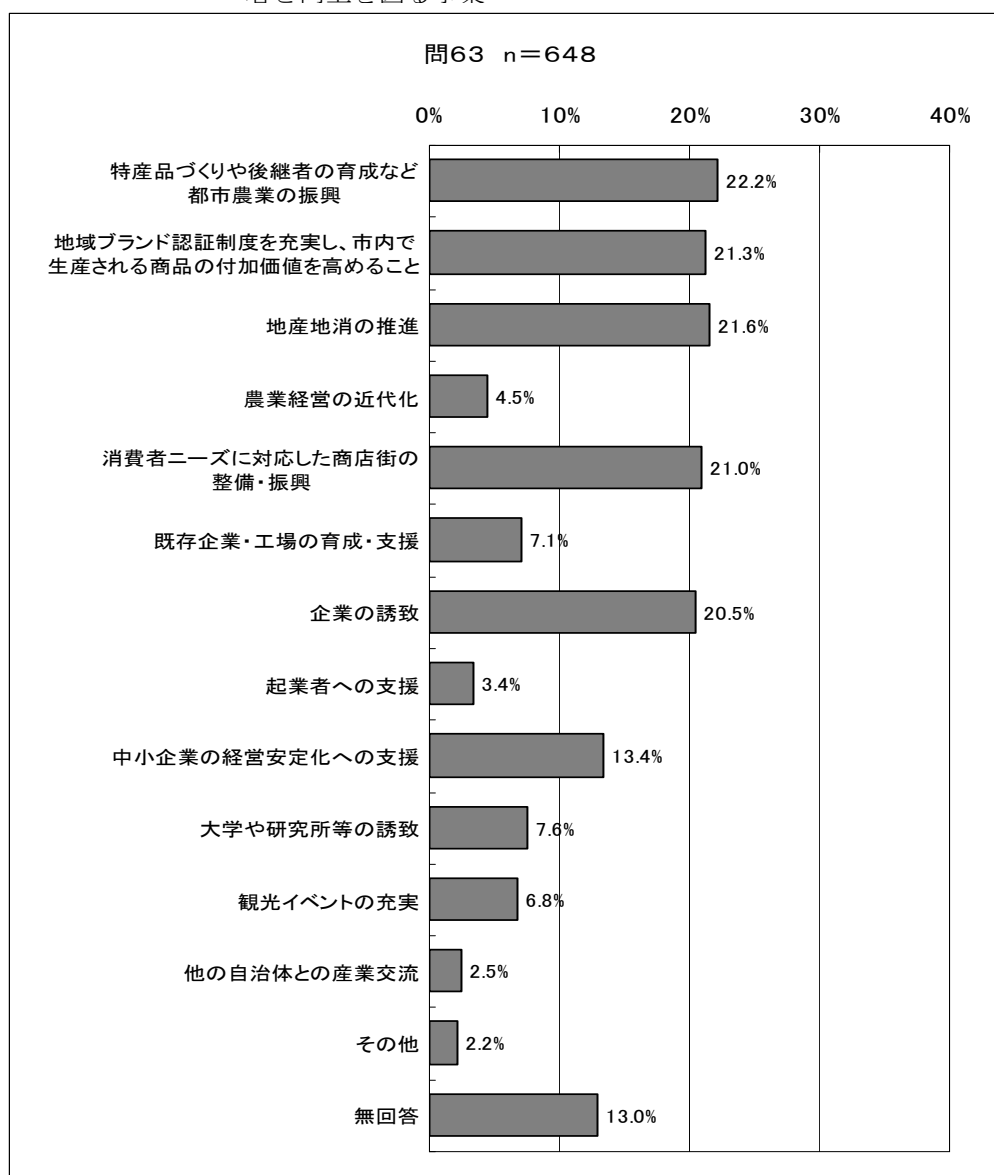
3-5. 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

(12) 産 業

問63 あなたは、本市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。(〇は2つまで)

- | | |
|---|------------------|
| 1 特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興 | 7 企業の誘致 |
| 2 地域ブランド認証制度(※)を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること | 8 起業家への支援 |
| 3 地産地消の推進 | 9 中小企業の経営安定化への支援 |
| 4 農業経営の近代化 | 10 大学や研究所等の誘致 |
| 5 消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興 | 11 観光イベントの充実 |
| 6 既存企業・工場の育成・支援 | 12 他の自治体との産業交流 |
| | 13 その他 () |

※ 地域ブランド認証制度：武蔵村山市内にある魅力ある商品を武蔵村山地域ブランドに認証し、これを広く他の地域に発信、供給して、武蔵村山地域ブランドのブランドイメージの定着と向上を図る事業

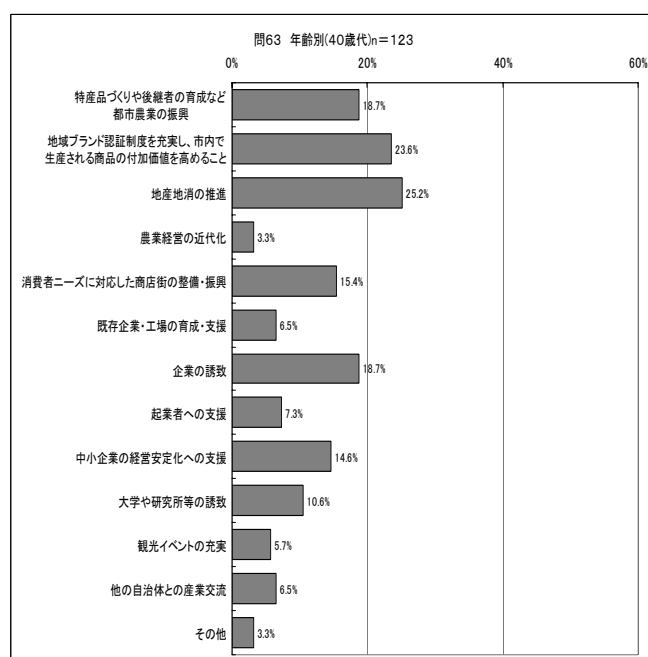
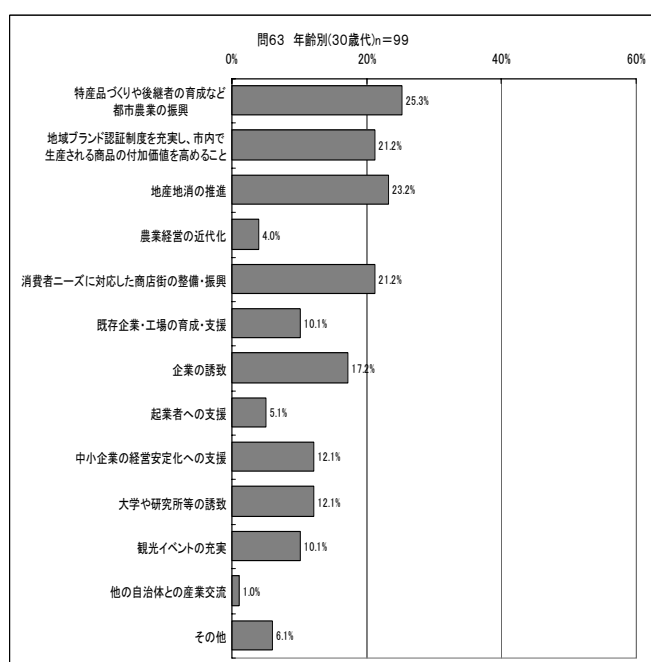
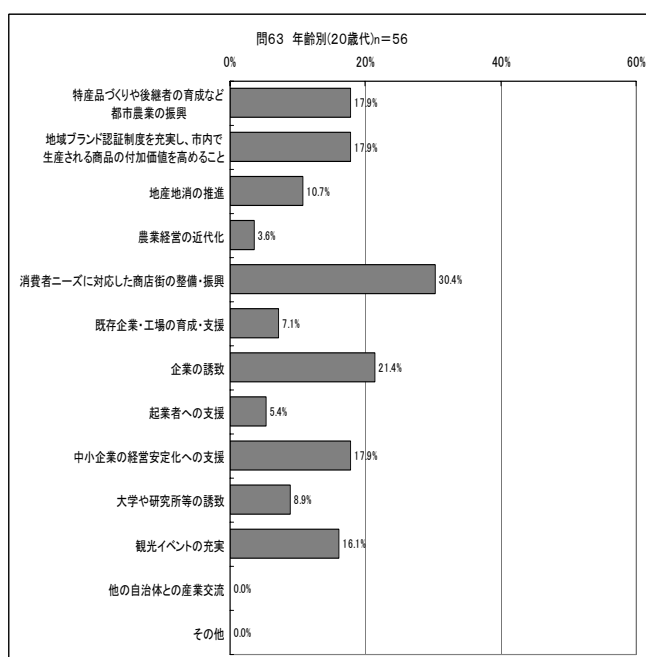
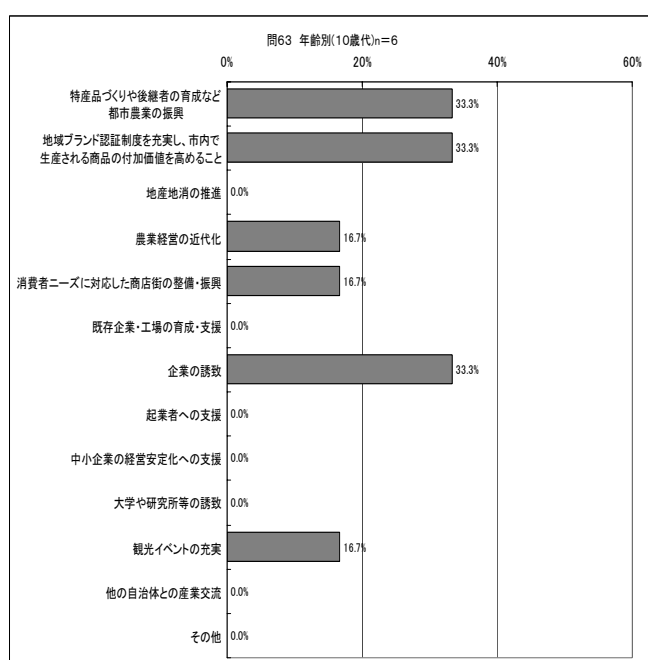


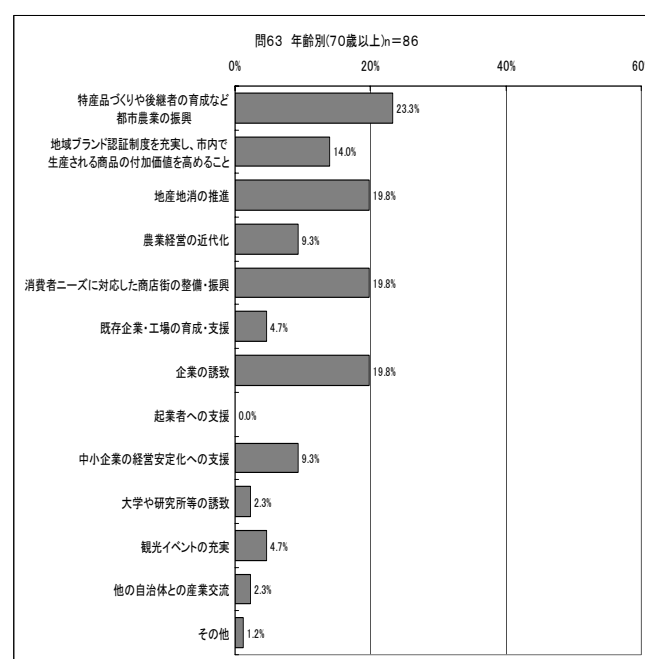
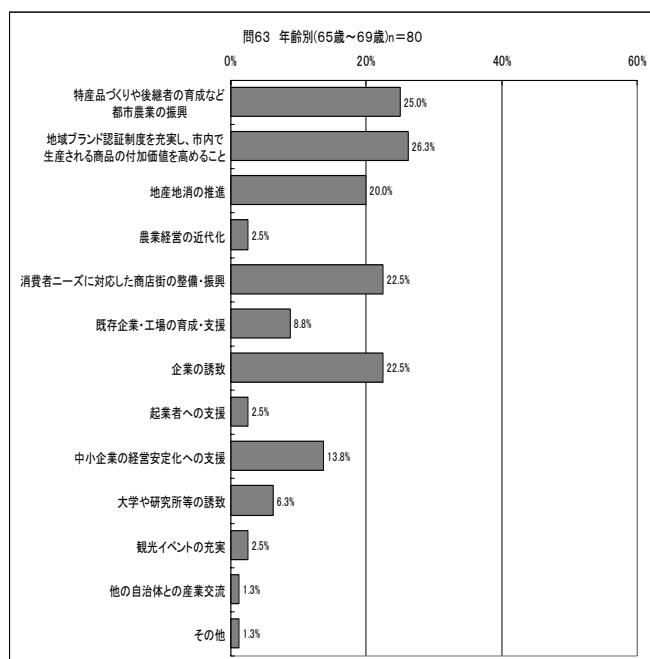
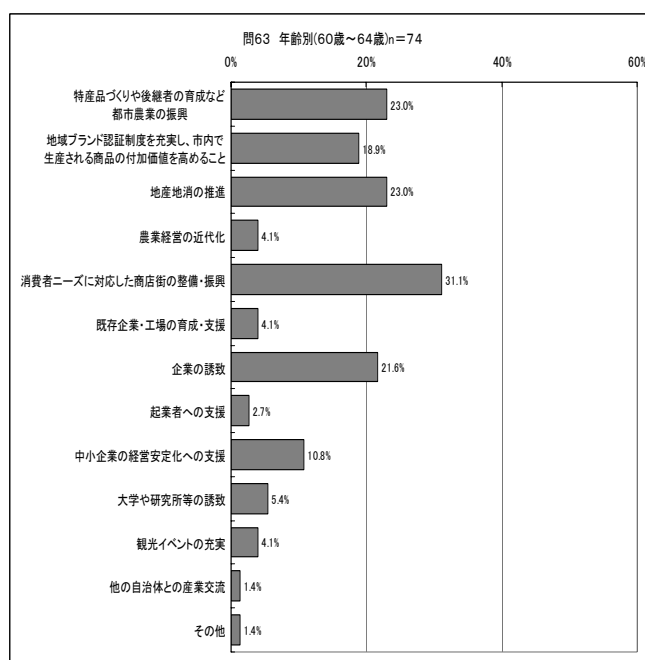
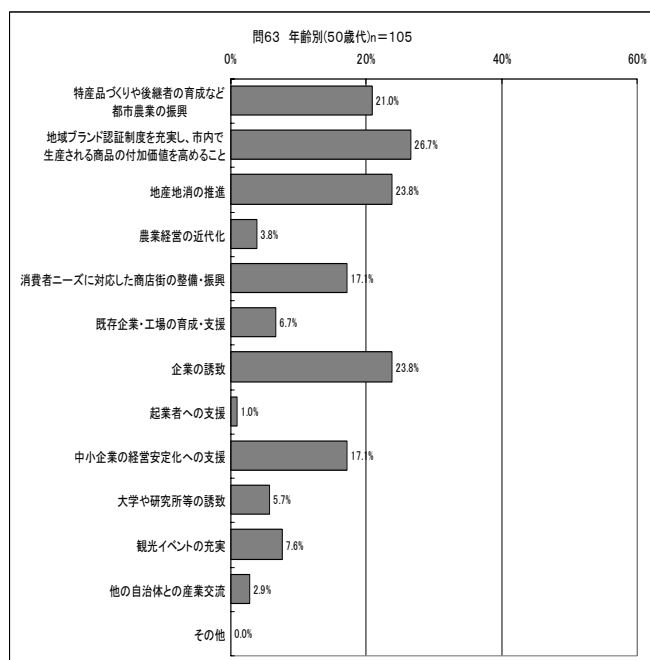
○産業振興のための重要施策については、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が22.2%と高く、次に「地産地消の推進」が21.6%で、以下「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が21.3%となっている。

○年齢別では、20歳代と40歳代の「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」が約30%と高い値となっている。

○また、50歳代と65歳～69歳の「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が26%と高い値となっている。さらに、40歳代の「地産地消の推進」が高い値となっている。

(年齢別)



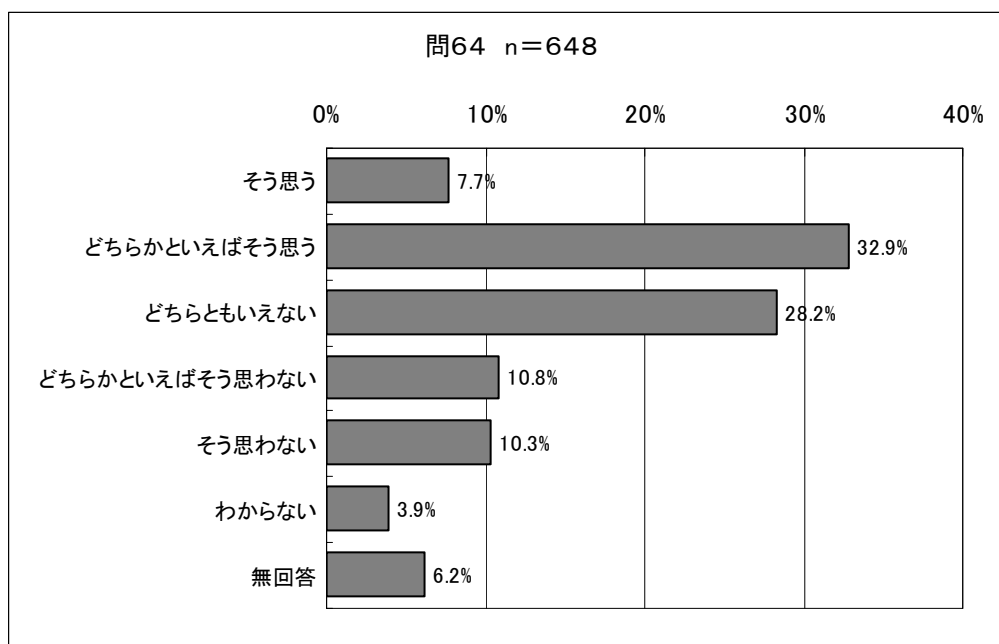


(13) 景 観

問 64 あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力あるまちなみがよく保全されていると思いますか。

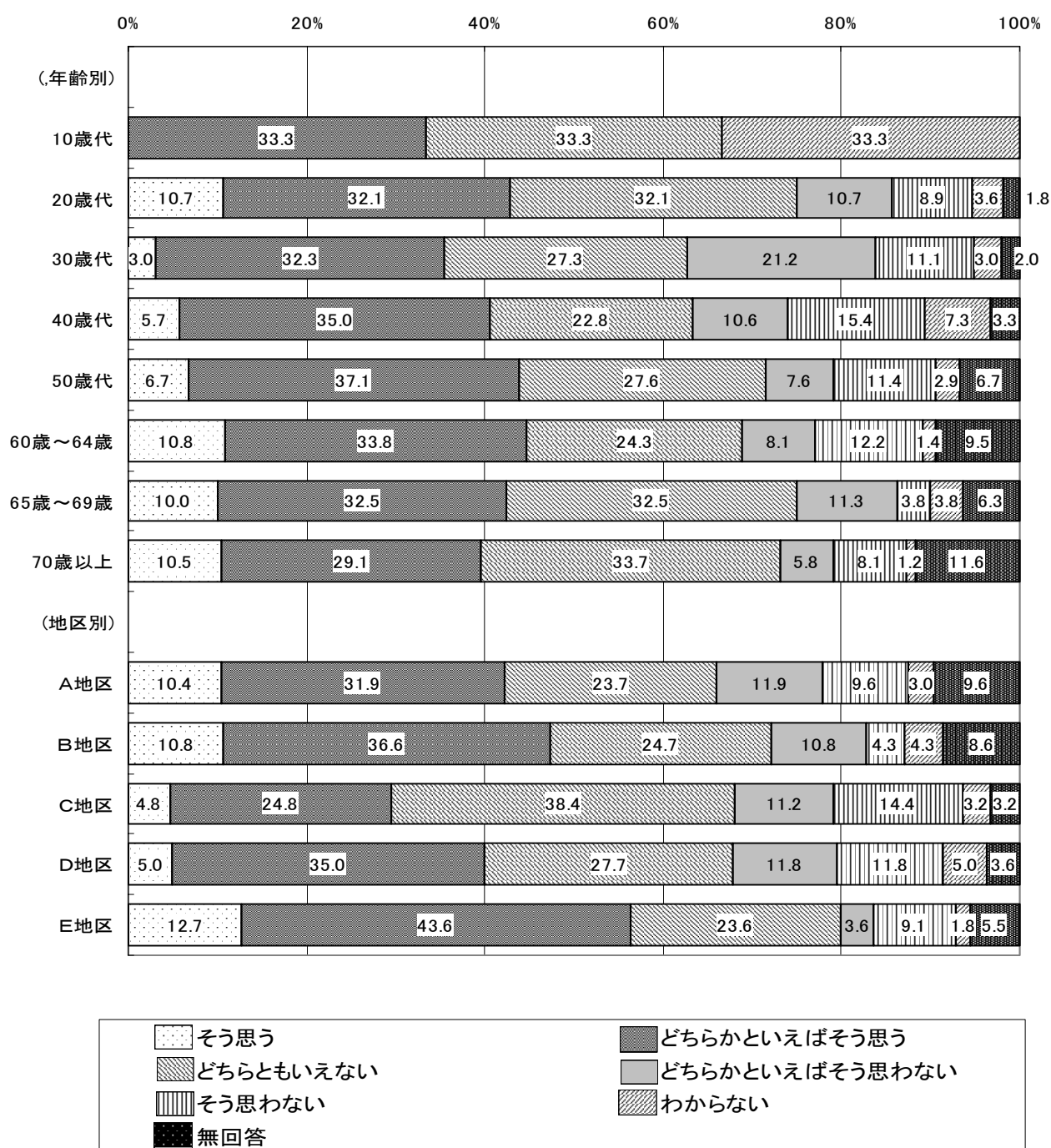
(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○地区の自然や魅力あるまちなみの保全については、「どちらかといえばそう思う」が 32.9%と高く、次に「どちらともいえない」が 28.2%で、以下「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」が約 10%となっている。

問64 年齢別・地区別

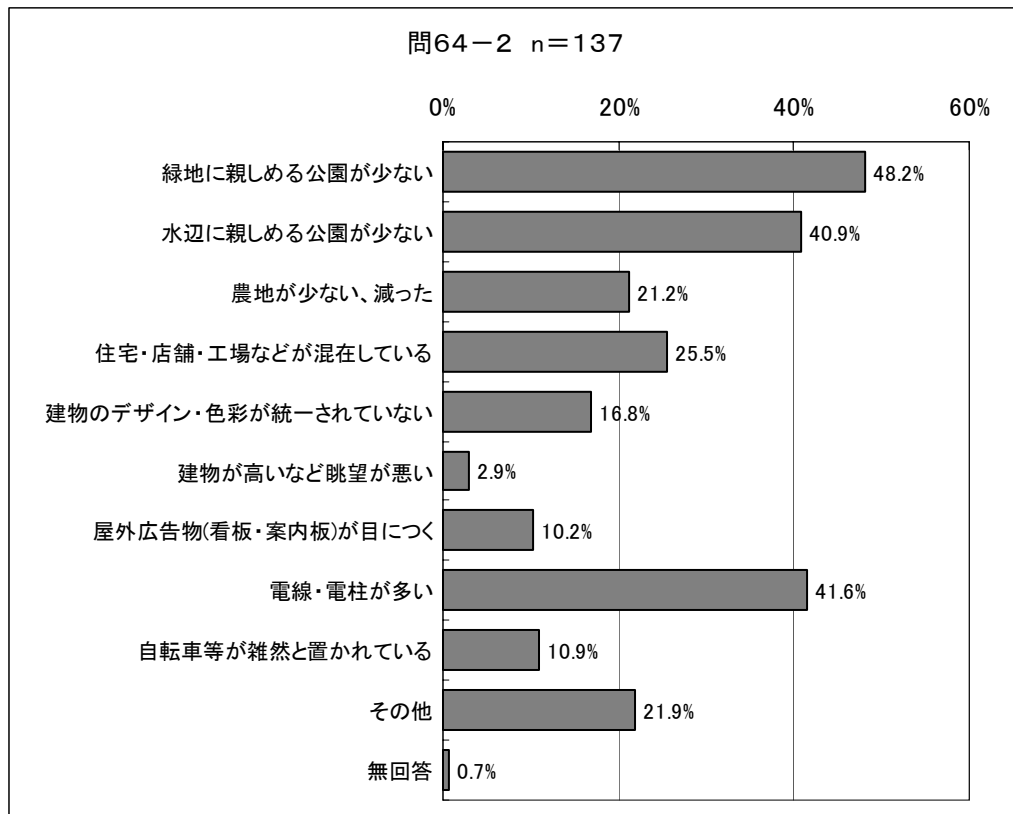


○年齢別では、各年齢においても「どちらかといえばそう思う」が約30%と高く、20歳代と60歳以上で「そう思う」とする人が約10%となっている。

○地区別では、E地区で「そう思う」が12.7%、「どちらかといえばそう思う」が43.6%であり、2つをあわせると50%以上となっている。

問 64-2 問 64 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。そう思わない理由は。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 緑地に親しめる公園が少ない | 6 建物が高いなど眺望が悪い |
| 2 水辺に親しめる公園が少ない | 7 屋外広告物(看板・案内板)が目につく |
| 3 農地が少ない、減った | 8 電線・電柱が多い |
| 4 住宅・店舗・工場などが混在している | 9 自転車等が雑然と置かれている |
| 5 建物のデザイン・色彩が統一されていない | 10 その他() |

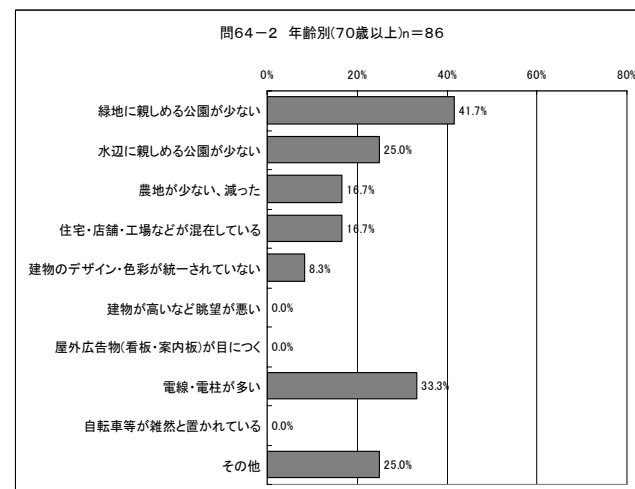
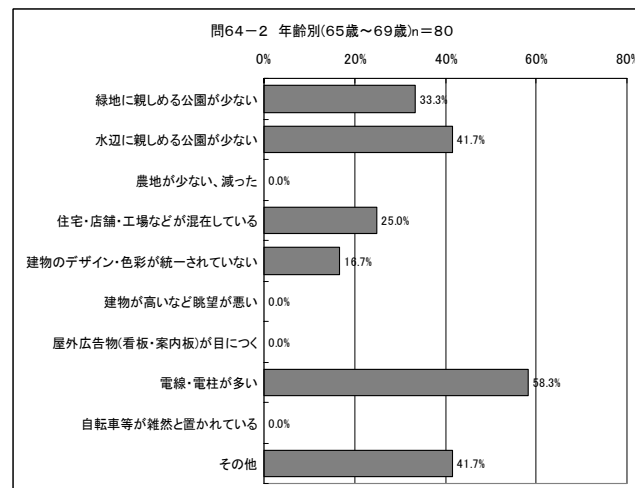
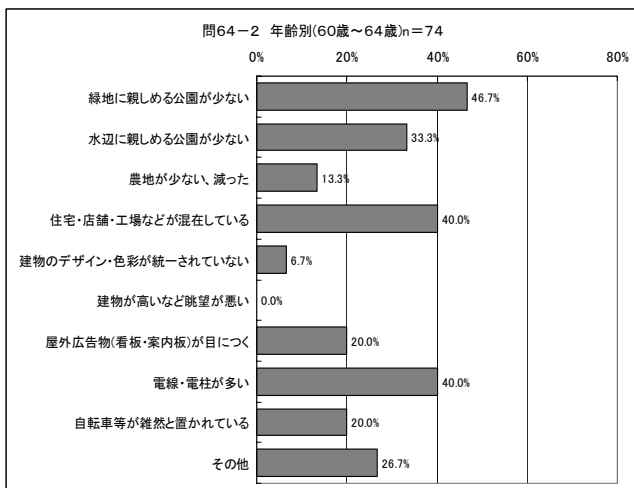
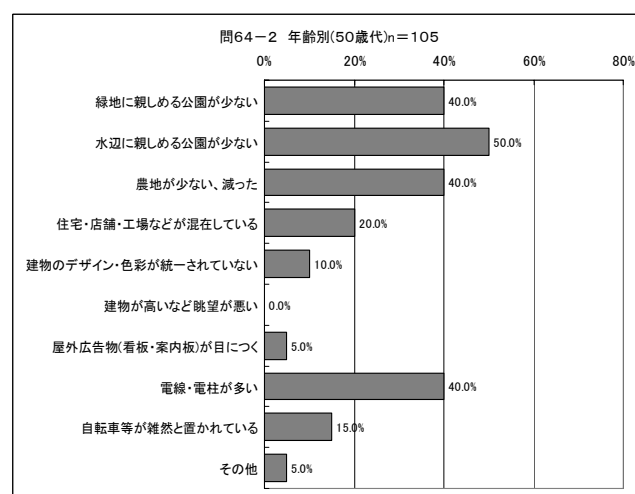
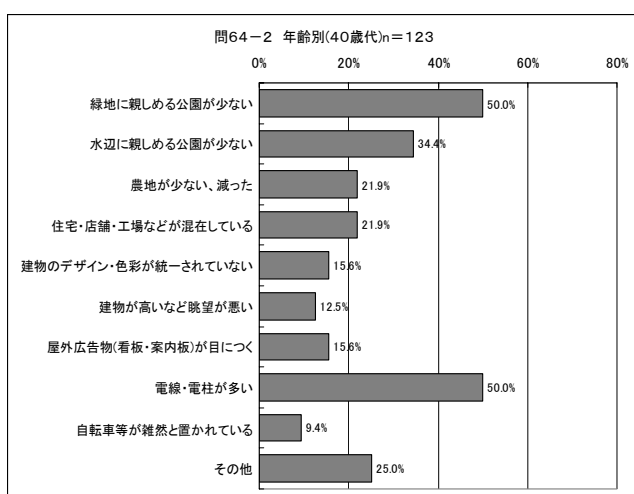
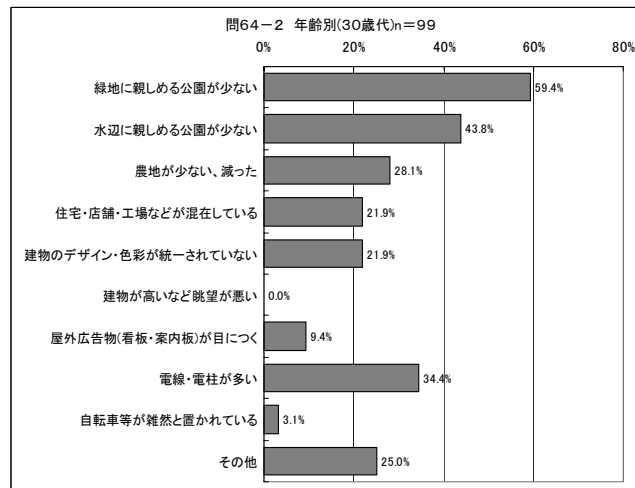
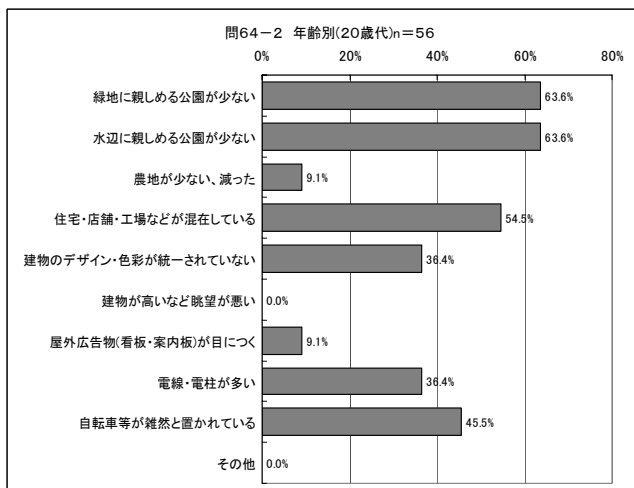


○地区の自然や魅力あるまちなみが保全されていると思わない理由については、「緑地に親しめる公園が少ない」が48.2%と高く、次に「電線・電柱が多い」が41.6%で、以下「水辺に親しめる公園が少ない」が40.9%となっている。

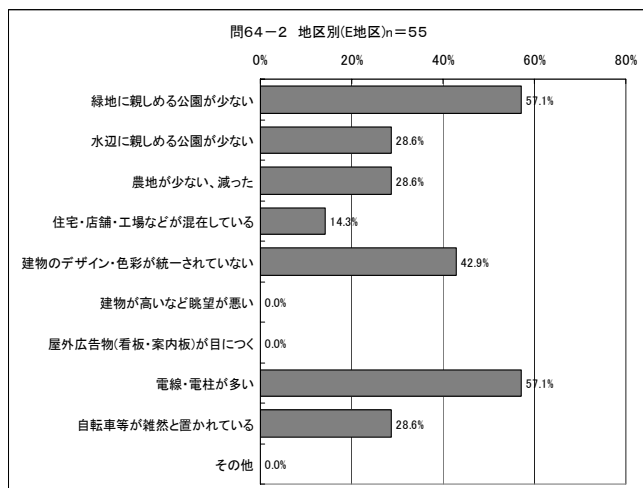
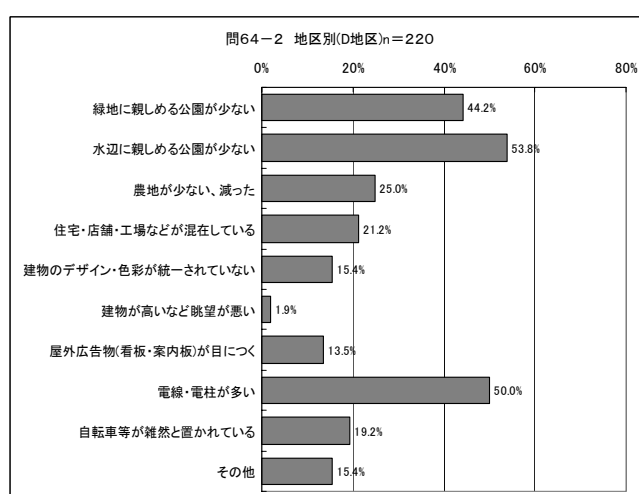
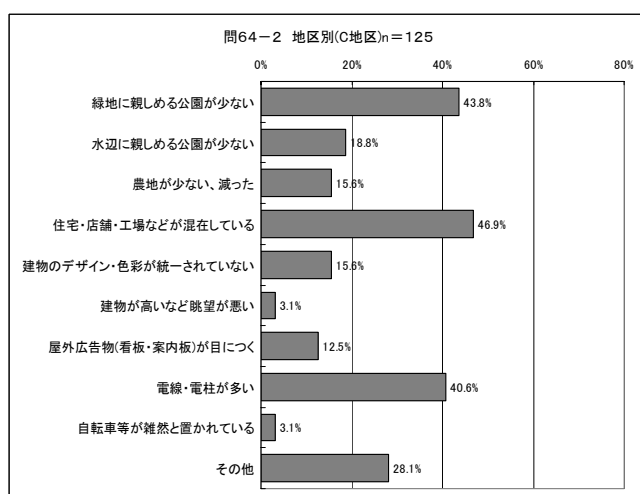
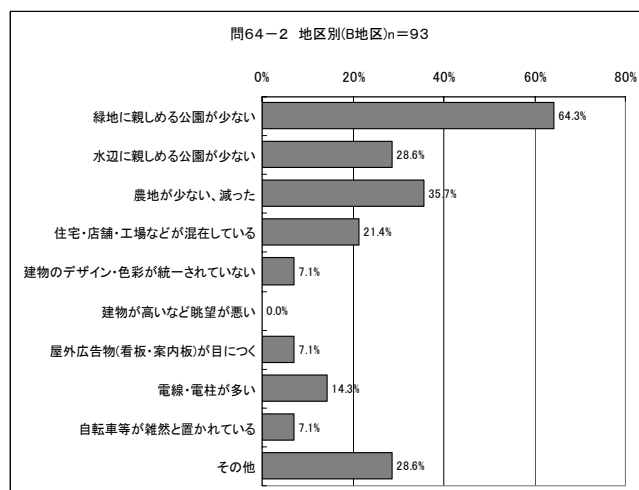
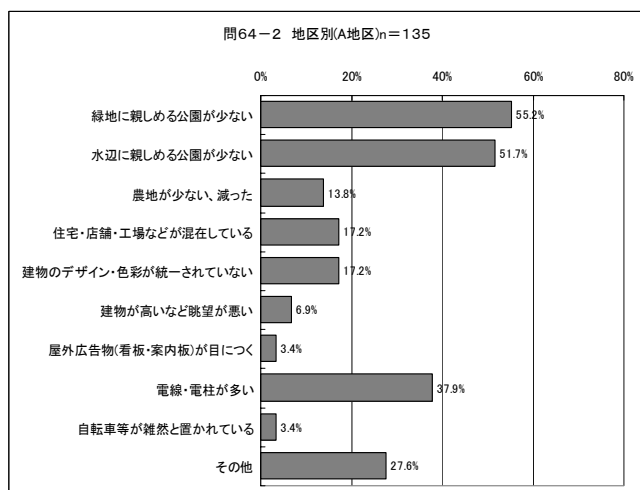
○年齢別では、20歳代の「住宅・店舗・工場などが混在している」が54.5%、「自転車等が雑然と置かれている」が45.5%と他の年代と比べ高い値となっている。また、50歳代の「農地が少ない、減った」が40.0%と高い値となっている。

○地区別では、E地区の「電線・電柱が多い」が57.1%と他の地区に比べ高い値となっている。

(年齢別)



(地区別)

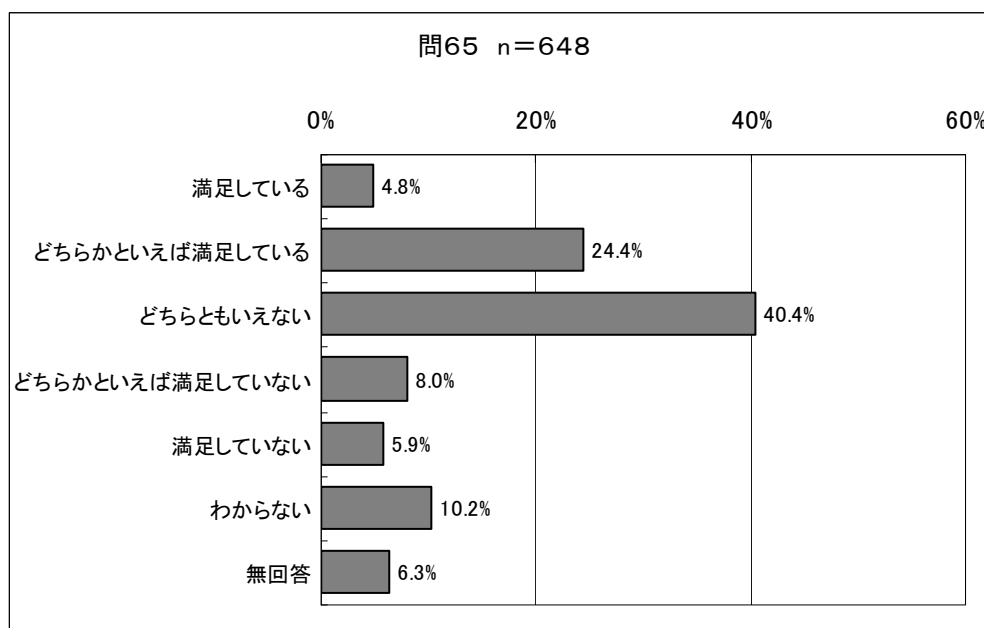


3-6. 計画の推進に向けて

(14) 行政運営

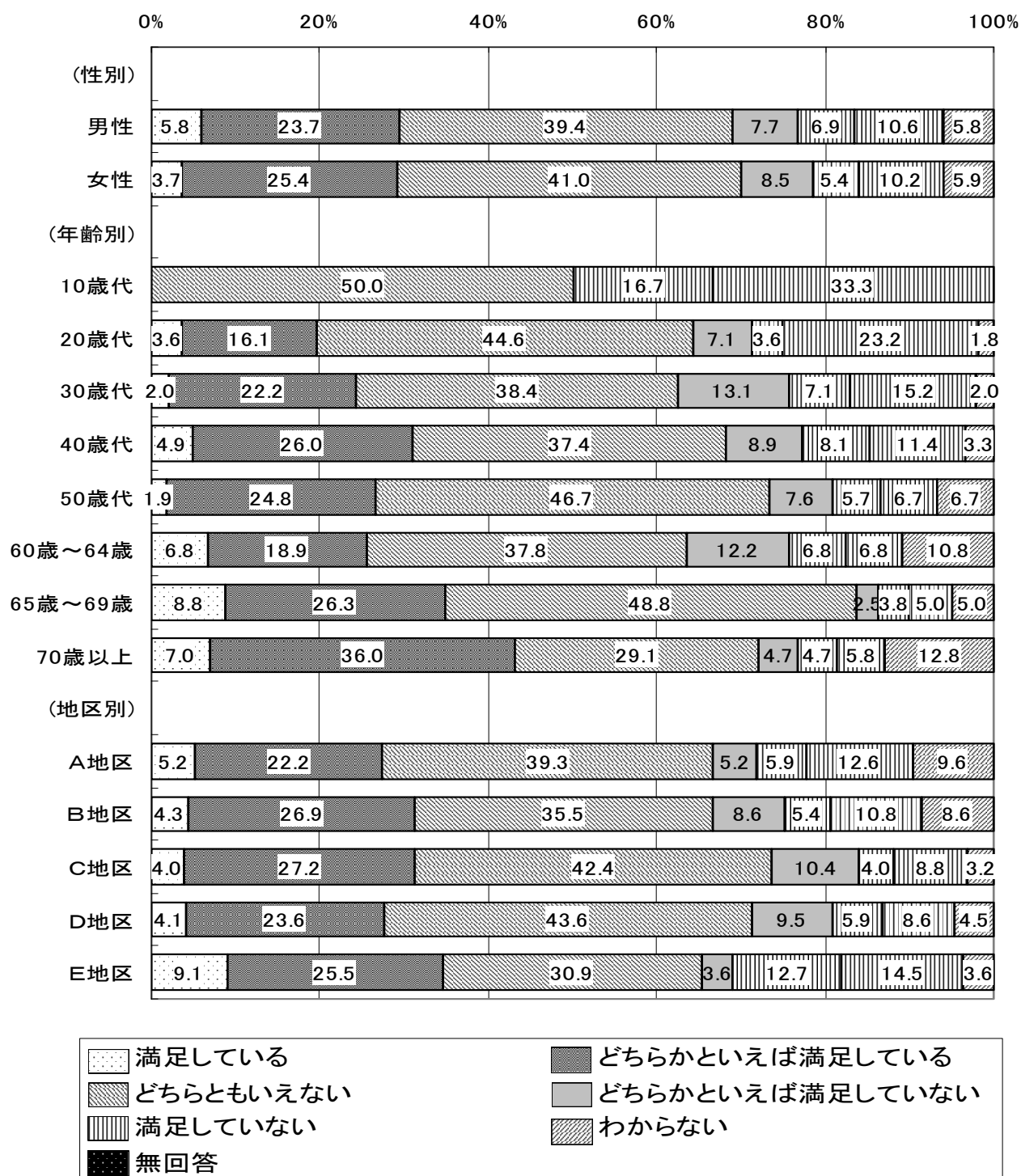
問65 あなたは、本市の行政サービスについてどの程度満足していますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 満足している | 4 どちらかといえば満足していない |
| 2 どちらかといえば満足している | 5 満足していない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



○行政サービスについては、「どちらともいえない」が 40.4%と高く、次に「どちらかといえば満足している」が 24.4%で、以下「わからない」が 10.2%となっており、男性・女性とも同様の傾向となっている。

問65 性別・年齢別・地区別

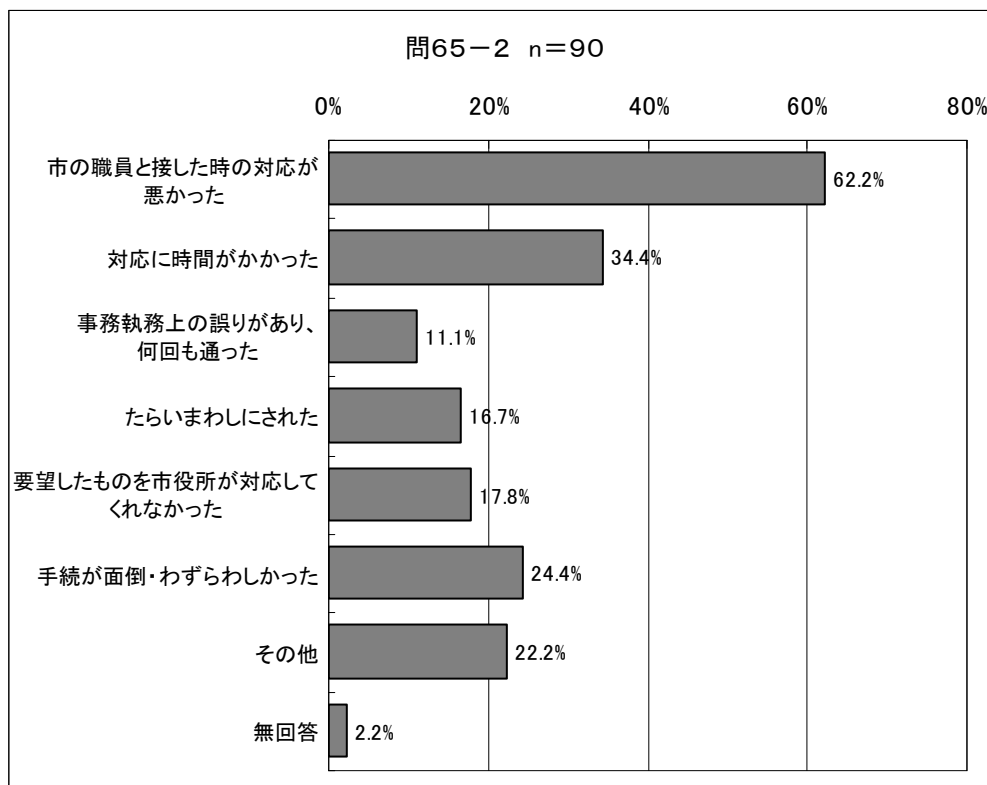


○年齢別では、60歳以上で「満足している」の回答が多く、70歳以上では「どちらかといえば満足している」が36.0%と高い値となっている。

○地区別では、E地区の「満足している」が9.1%と、他の地区と比べて高い値となっている。

問 65-2 問 65 で「4」又は「5」と回答された方にお聞きます。その理由は。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 市の職員と接した時の対応が悪かった | 5 要望したものを市役所が対応してくれなかった |
| 2 対応に時間がかかった | 6 手続きが面倒・わずらわしかった |
| 3 事務執務上の誤りがあり、何回も通った | 7 その他() |
| 4 たらいまわしにされた | |



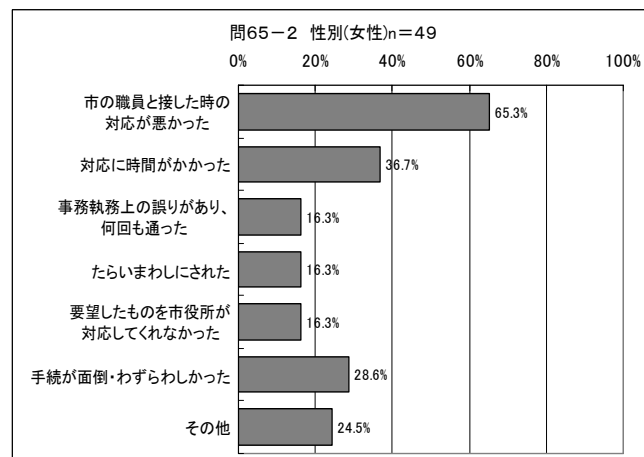
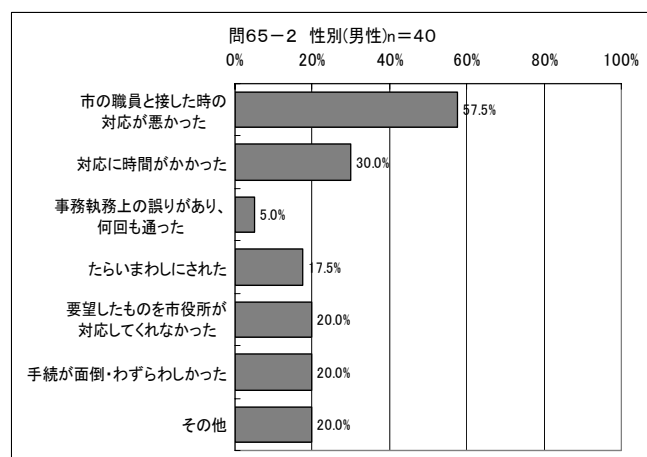
○現在の行政サービスに満足していない理由については、「市の職員と接した時の対応が悪かった」が 62.2%と高く、次に「対応に時間がかかった」が 34.4%で、以下「手続きが面倒・わずらわしかった」が 24.4%となっている。

○性別では、女性の「事務執務上の誤りがあり、何回も通った」が 16.3%と高いのに対し、男性は 5.0%と低い値となっている。

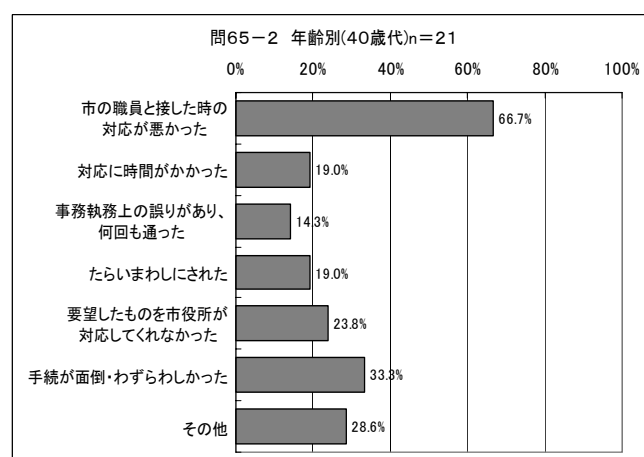
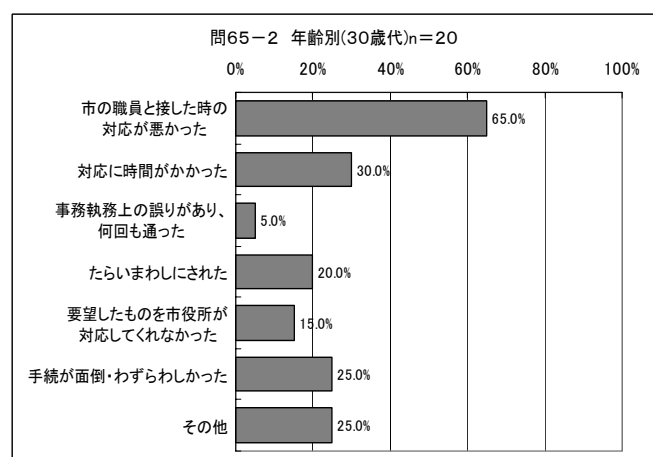
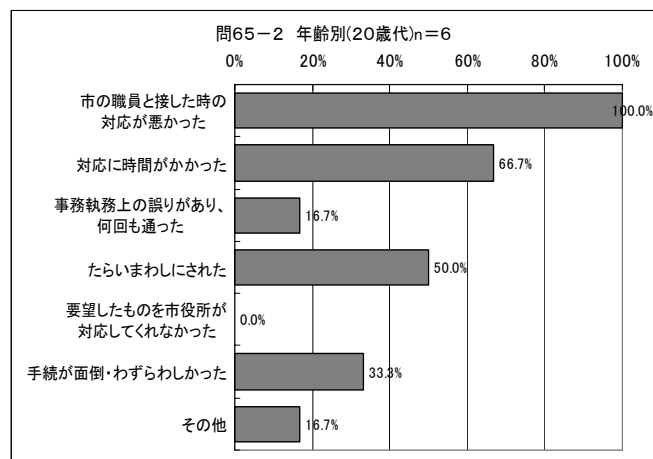
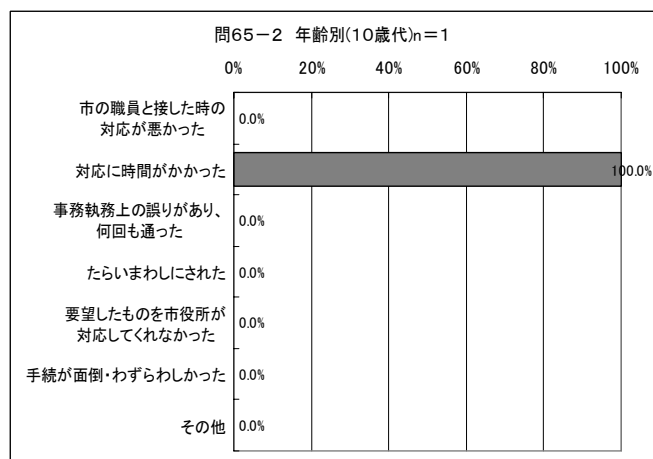
○年齢別では、50 歳代の「市の職員と接した時の対応が悪かった」で 21.4%と、他の年齢層より低い値となっている。一方、20 歳代の「たらいまわしにされた」が 50.0%と高い値も見られる。

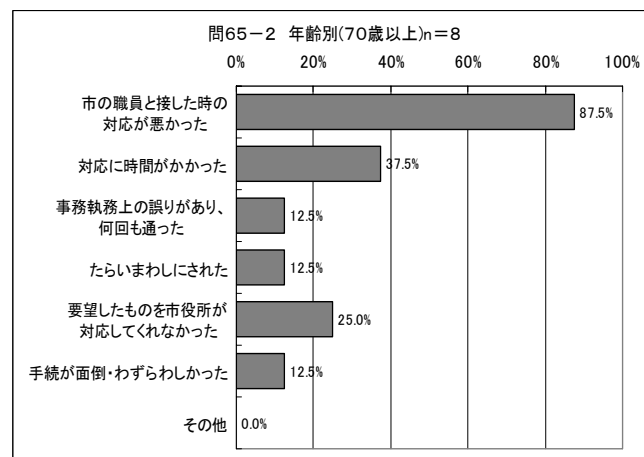
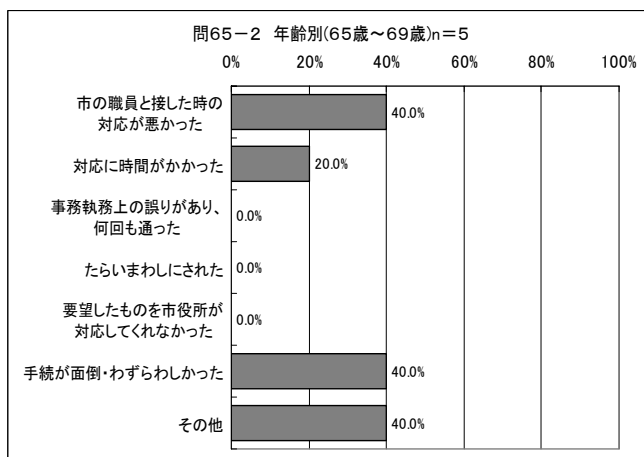
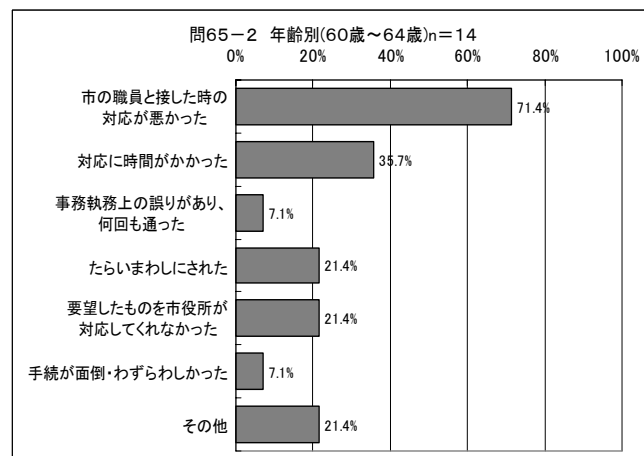
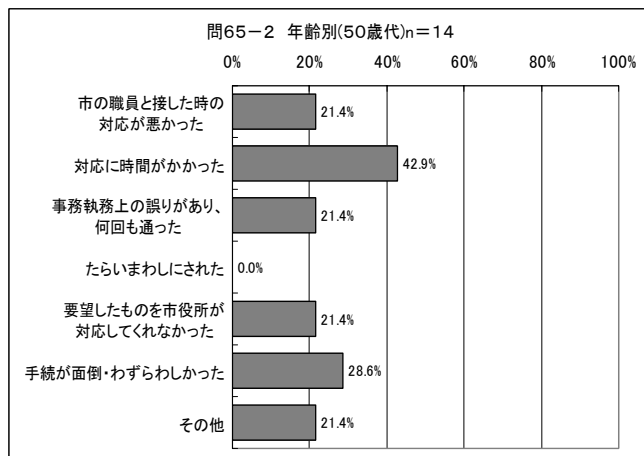
○地区別では、A地区の「市の職員と接した時の対応が悪かった」が 86.7%と高い値も見られる。

(性別)

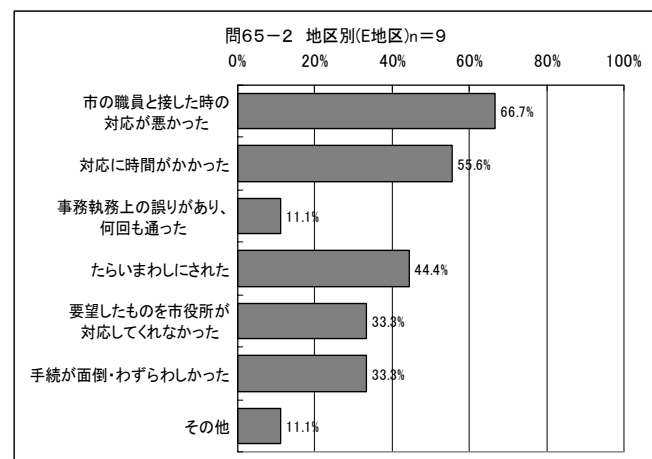
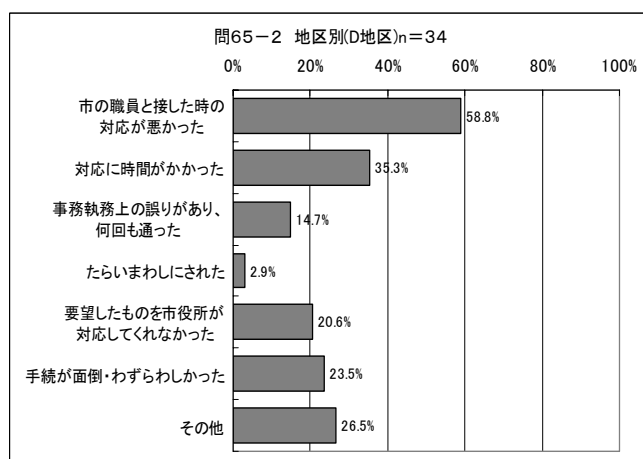
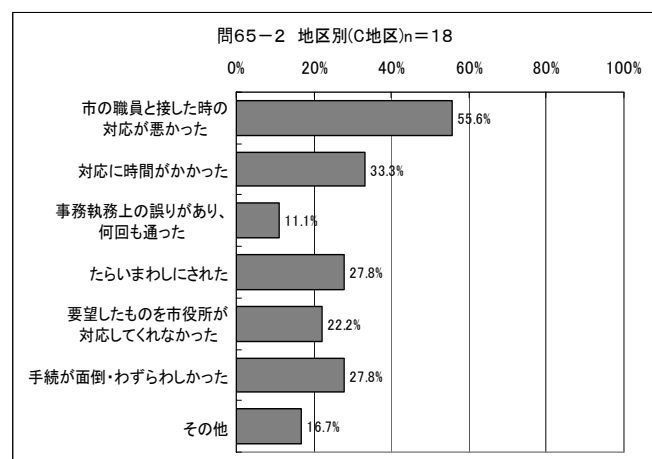
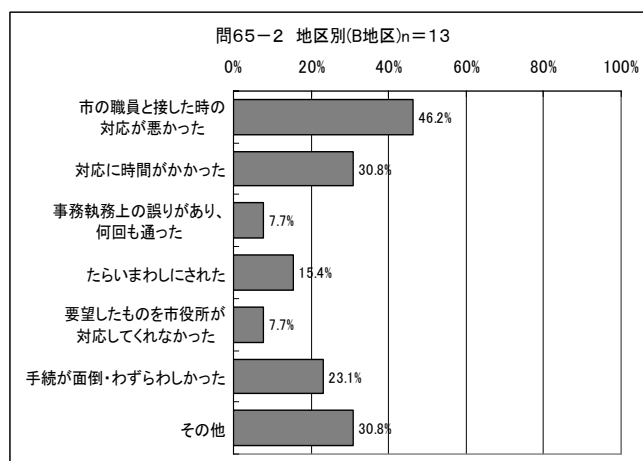
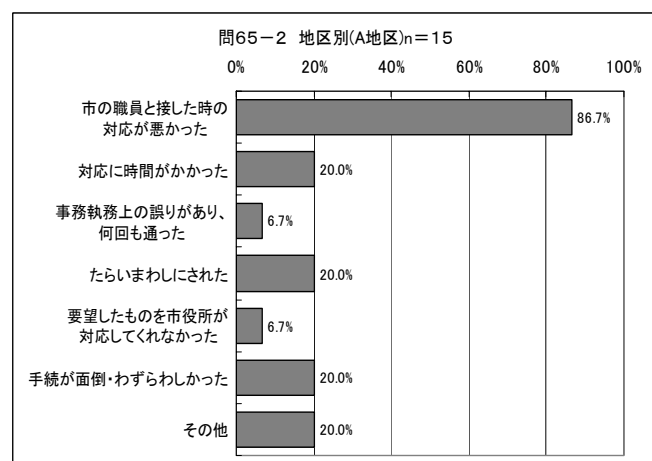


(年齢別)



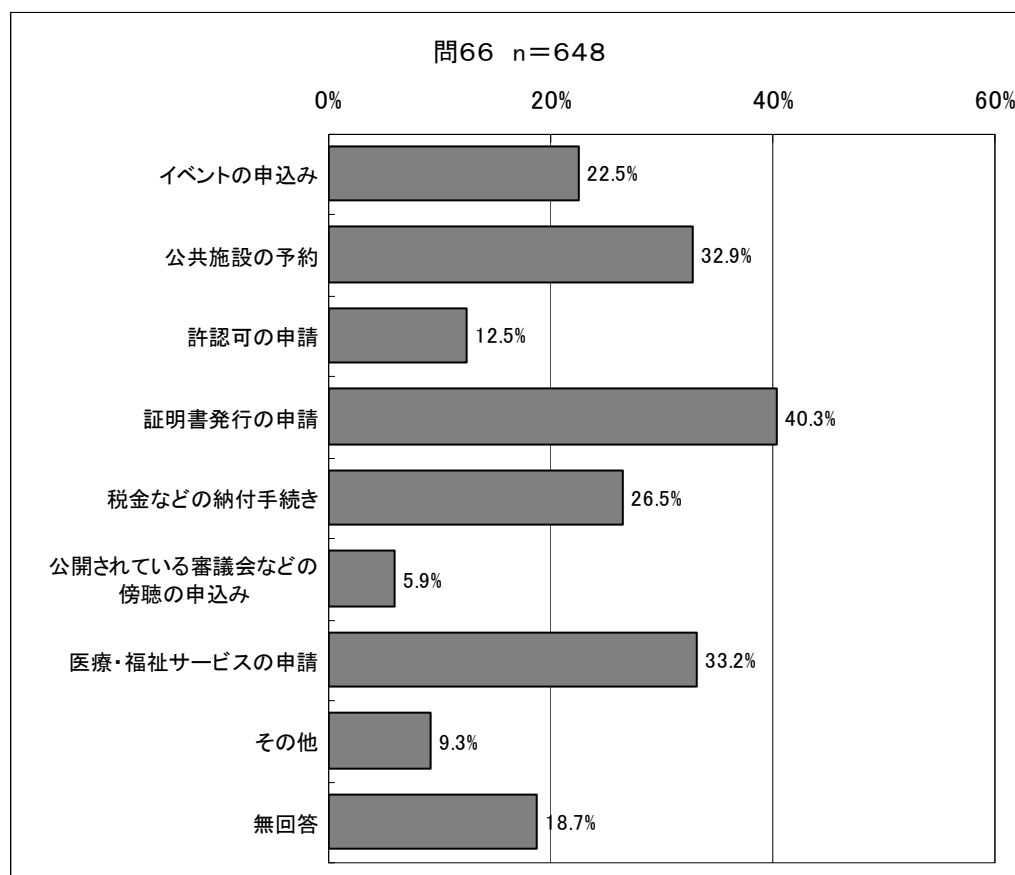


(地区別)



問 66 インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 イベントの申込み | 5 税金などの納付手続き |
| 2 公共施設の予約 | 6 公開されている審議会などの傍聴の申込み |
| 3 許認可の申請 | 7 医療・福祉サービスの申請 |
| 4 証明書発行の申請 | 8 その他 () |



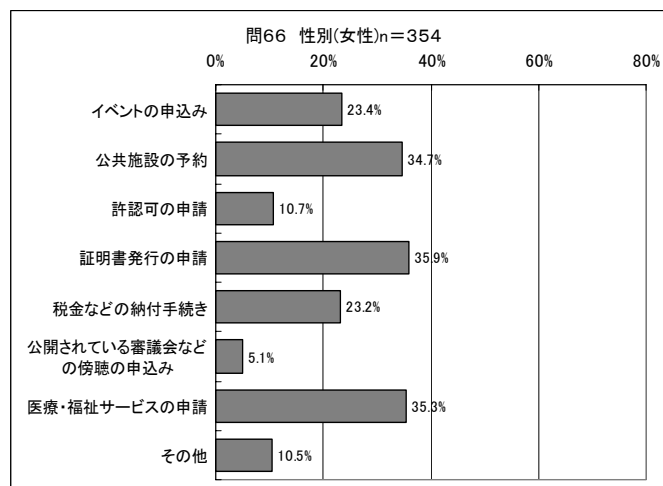
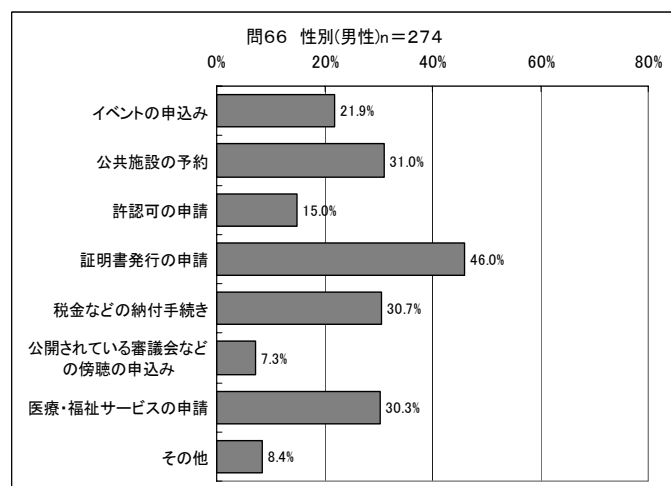
○インターネットを活用した行政サービスの充実を望む事項については、「証明書発行の申請」が 40.3% と高く、次に「医療・福祉サービスの申請」が 33.2% で、以下「公共施設の予約」が 32.9% となっている。

○性別では、男性・女性ともに同様な傾向となっている。

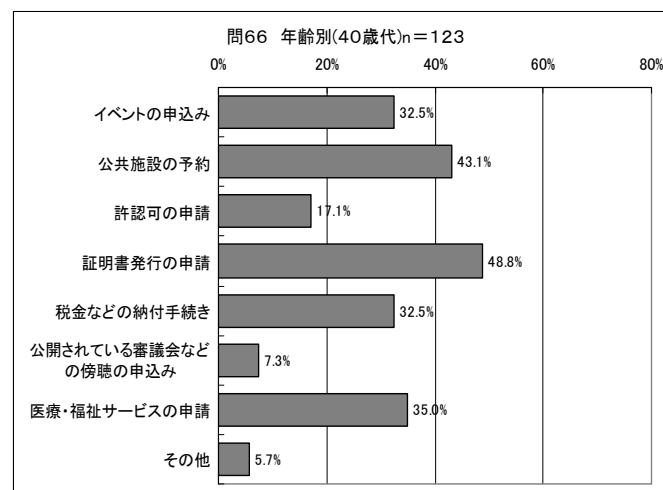
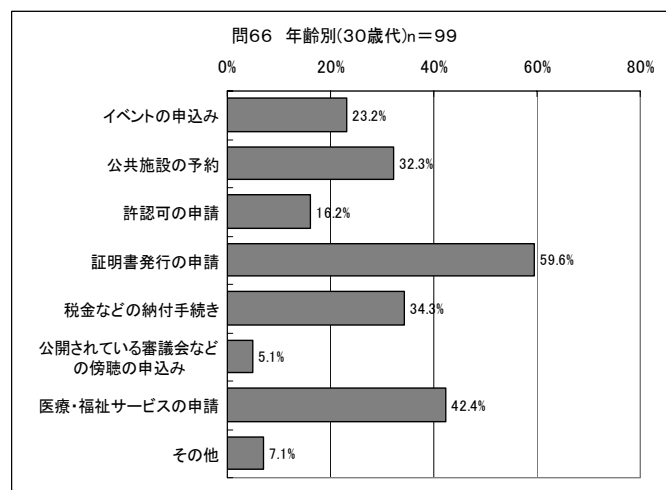
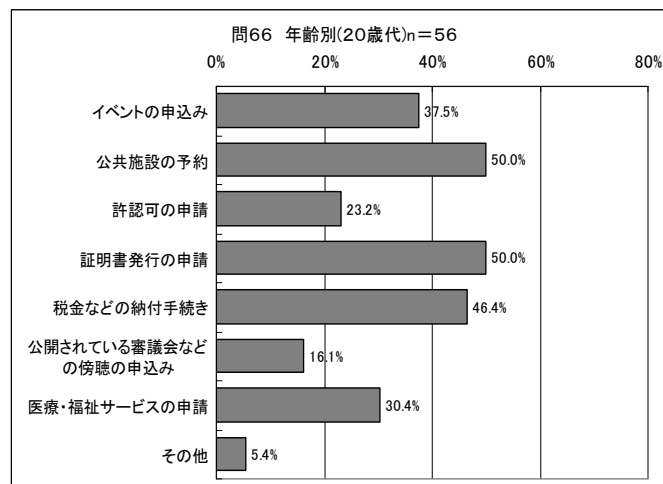
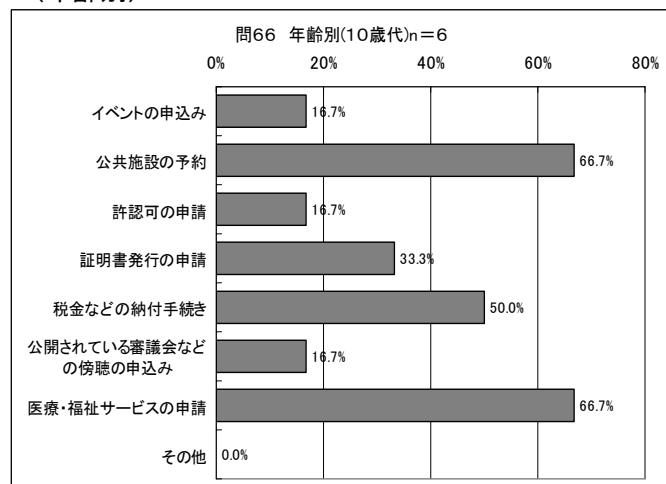
○年齢別では、60 歳～64 歳と 65 歳～69 歳の「医療・福祉サービスの申請」が他の年代より高い傾向となっている。

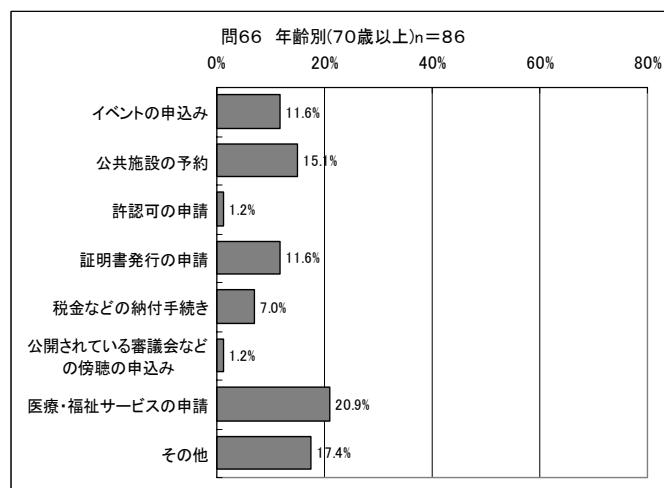
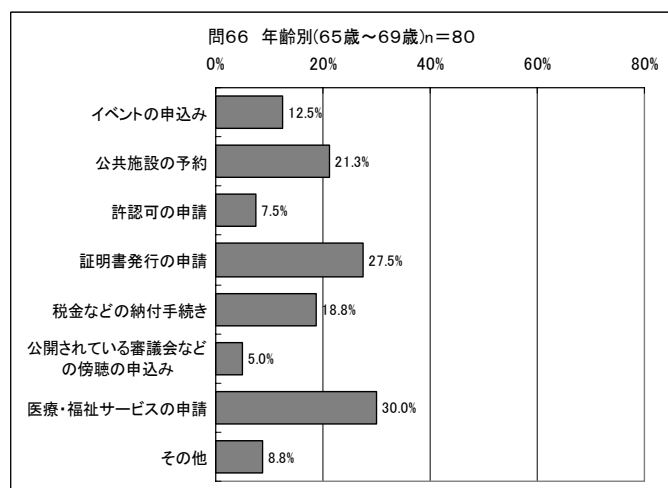
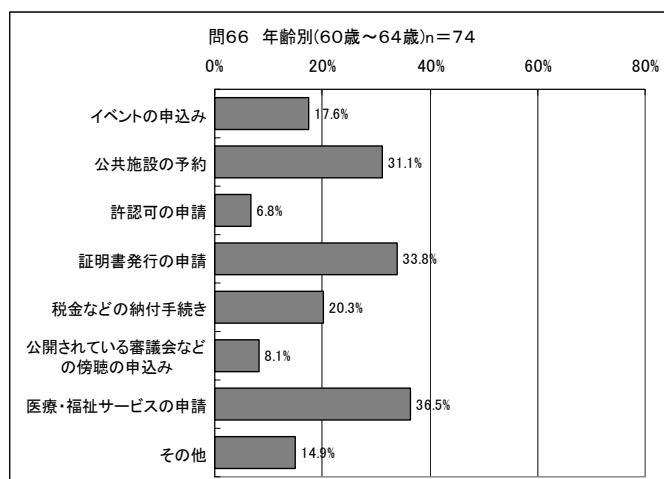
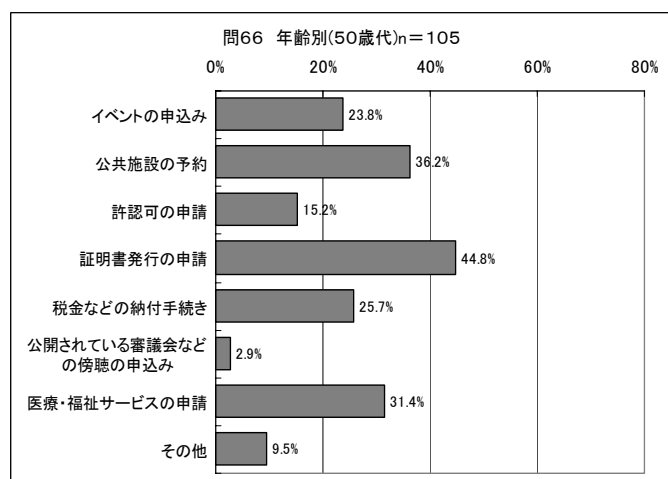
○地区別では、E 地区の「証明書発行の申請」が 20.0% と他の地区と比べて低い値となっている。

(性別)

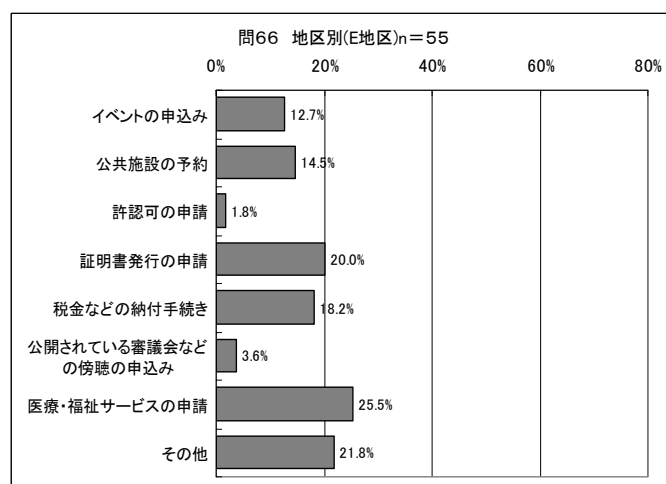
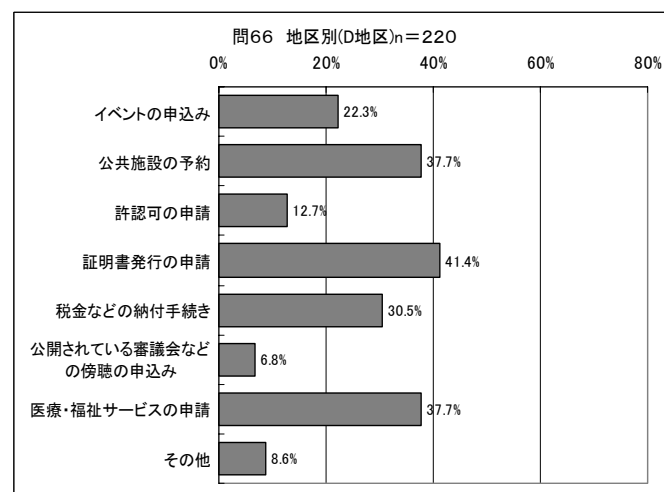
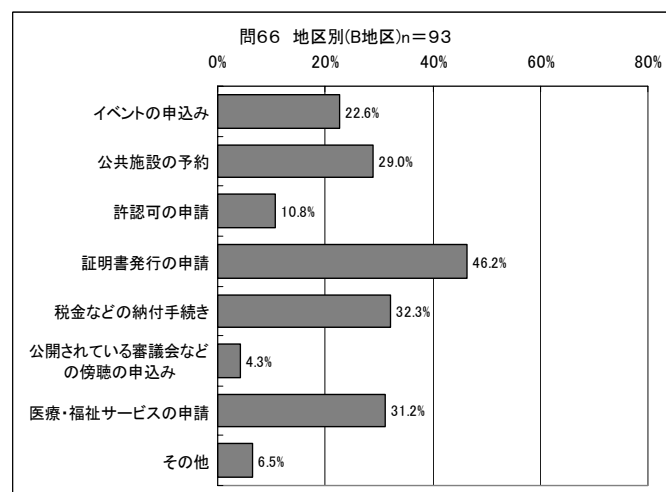
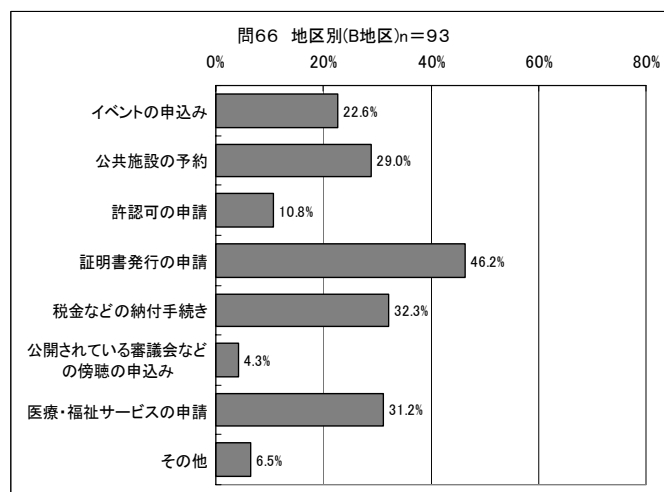
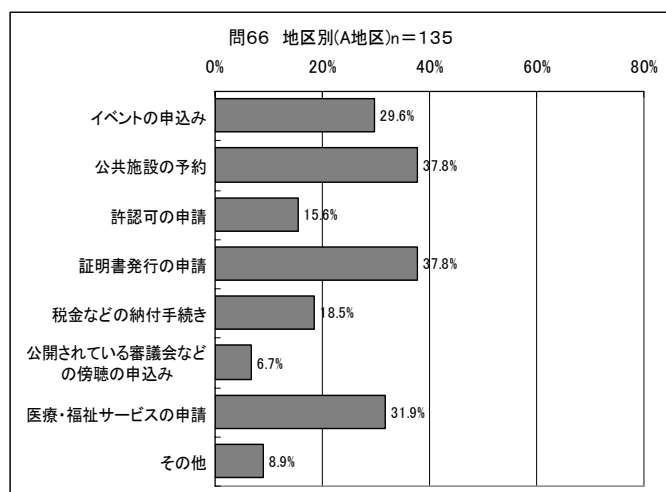


(年齢別)





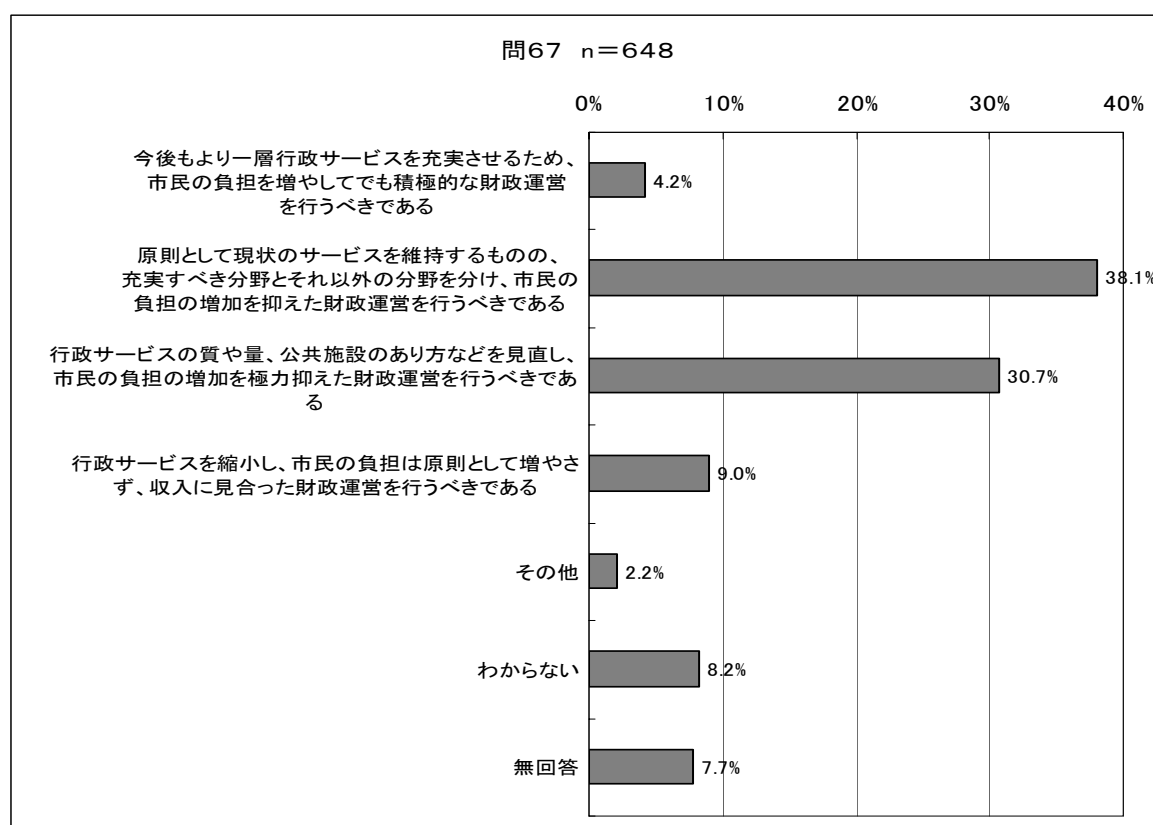
(地区別)



(15) 財政運営

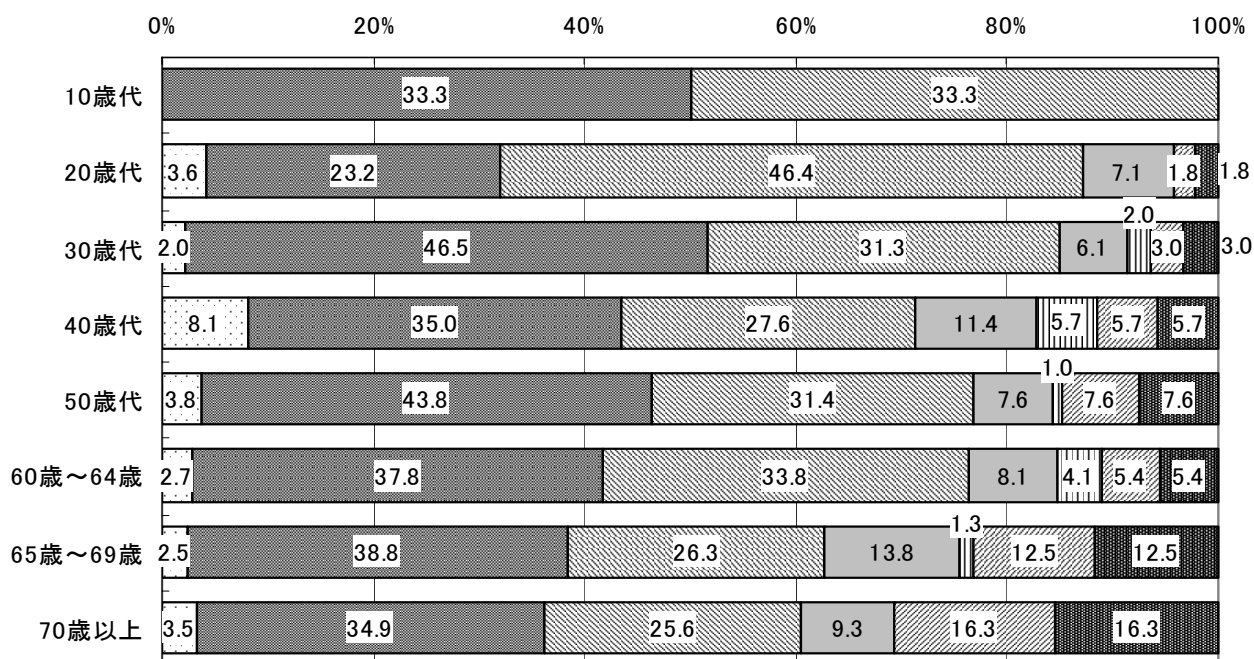
問 67 今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。(〇は1つ)

- 1 今後もより一層行政サービスを充実させるため、市民の負担を増やしてでも積極的な財政運営を行うべきである
- 2 原則として現状のサービスを維持するものの、充実すべき分野とそれ以外の分野を分け、市民の負担の増加を抑えた財政運営を行うべきである
- 3 行政サービスの質や量、公共施設のあり方などを見直し、市民の負担の増加を極力抑えた財政運営を行うべきである
- 4 行政サービスを縮小し、市民の負担は原則として増やさず、収入に見合った財政運営を行うべきである
- 5 その他 ()
- 6 わからない



○財政運営については、「原則として現状のサービスを維持するものの、充実すべき分野とそれ以外の分野を分け、市民の負担の増加を抑えた財政運営を行うべきである」が38.1%と高く、次に「行政サービスの質や量、公共施設のあり方などを見直し、市民の負担の増加を極力抑えた財政運営を行うべきである」が30.7%で、以下「行政サービスを縮小し、市民の負担は原則として増やさず、収入に見合った財政運営を行うべきである」が9.0%となっている。

問67 年齢別



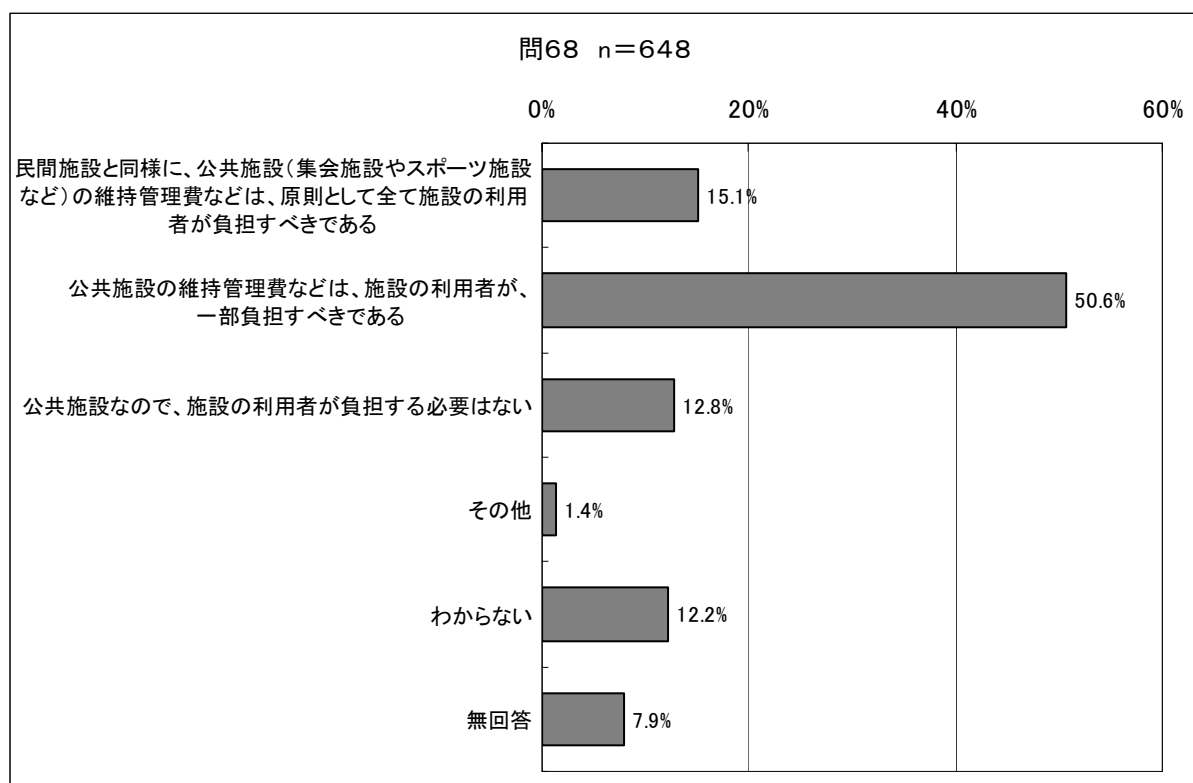
- 今後より一層行政サービスを充実させるため、市民の負担を増やしてでも積極的な財政運営を行うべきである
- 原則として現状のサービスを維持するものの、充実すべき分野とそれ以外の分野を分け、市民の負担の増加を抑えた財政運営を行うべきである
- 行政サービスの質や量、公共施設のあり方などを見直し、市民の負担の増加を極力抑えた財政運営を行うべきである
- 行政サービスを縮小し、市民の負担は原則として増やさず、収入に見合った財政運営を行うべきである
- その他
- わからない
- 無回答

○年齢別では、40歳代の「今後より一層行政サービスを充実させるため、市民の負担を増やしてでも積極的な財政運営を行うべきである」が8.1%と他の年齢の2倍となっている。

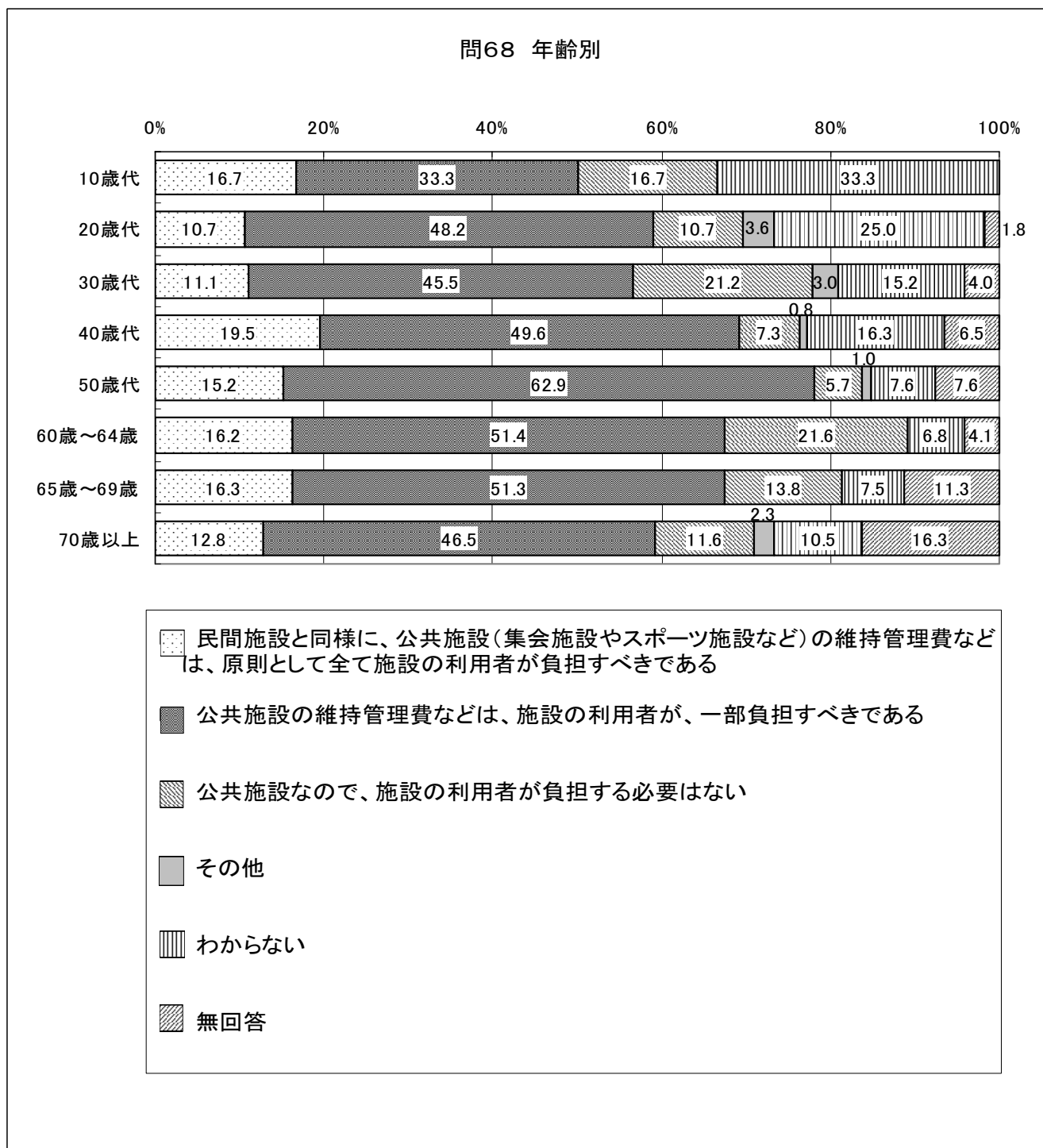
問 68 あなたは、受益者負担(※)の原則に立った公共施設使用料の負担の適正化についてどう思いますか。
(○は1つ)

- 1 民間施設と同様に、公共施設（集会施設やスポーツ施設など）の維持管理費などは、原則として
全て施設の利用者が負担すべきである
- 2 公共施設の維持管理費などは、施設の利用者が、一部負担すべきである
- 3 公共施設なので、施設の利用者が負担する必要はない
- 4 その他()
- 5 わからない

※ 受益者負担：公共施設の利用などにより、特別の利益を受ける者に対して、相応の負担を課すこと。



○公共施設使用料の負担については、「公共施設の維持管理費などは、施設の利用者が、一部負担すべきである」が50.6%と高く、次に「民間施設と同様に、公共施設（集会施設やスポーツ施設など）の維持管理費などは、原則として全て施設の利用者が負担すべきである」が15.1%で、以下「公共施設なので、施設の利用者が負担する必要はない」が12.8%となっている。

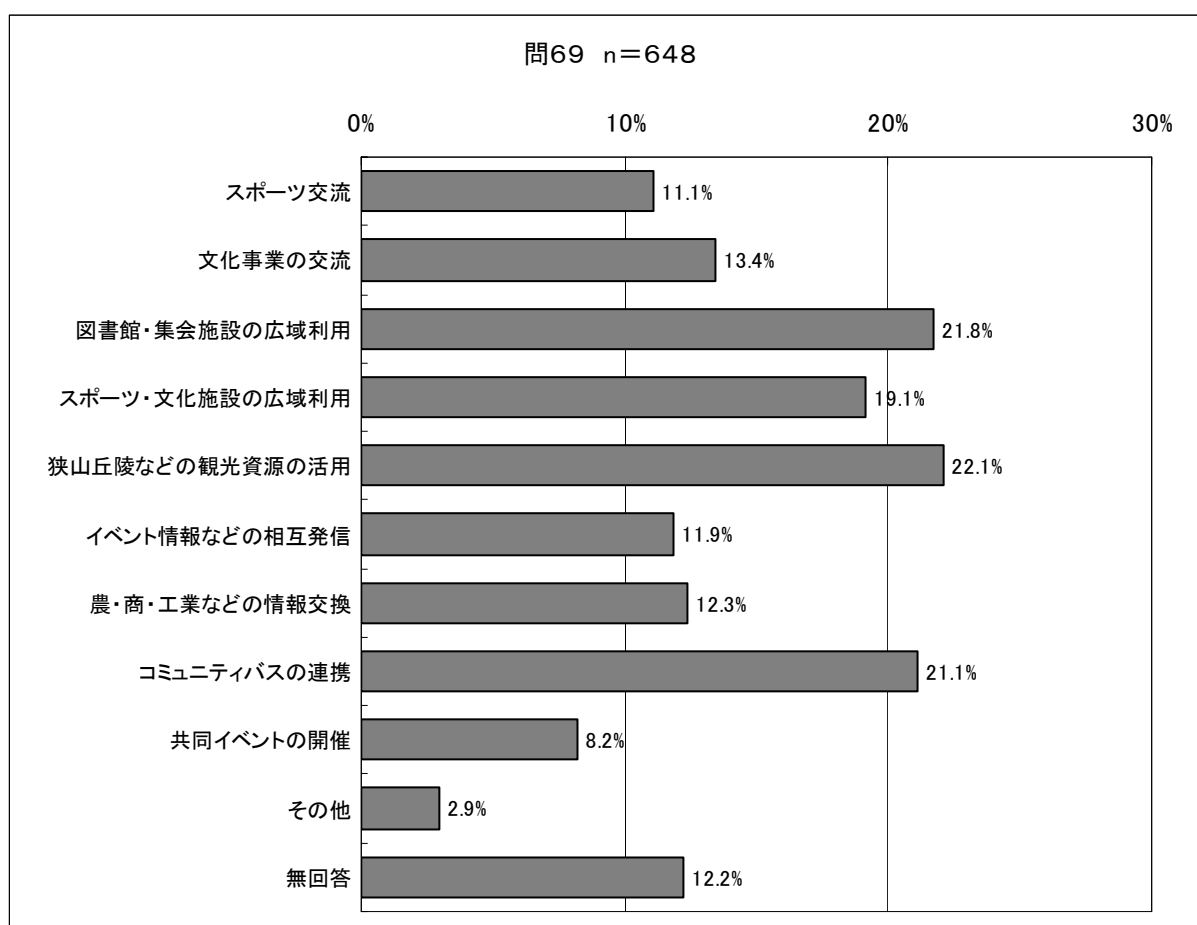


○年齢別では、いずれの年代も「公共施設の維持管理費などは、施設の利用者が、一部負担すべきである」が最も多い。また、30歳代と60歳～64歳では「公共施設なので、施設の利用者が負担する必要はない」が2割を超えている。一方、40歳代では「民間施設と同様に、公共施設（集会施設やスポーツ施設など）の維持管理費などは、原則として全て施設の利用者が負担すべきである」が19.5%と他の年齢層と比較して高い値となっているのが特徴的である。

(16) 広域行政

問 69 あなたは、今後、広域行政でどのような事業を行うべきだと思いますか。(〇は2つまで)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 スポーツ交流 | 6 イベント情報などの相互発信 |
| 2 文化事業の交流 | 7 農・商・工業などの情報交換 |
| 3 図書館・集会施設の広域利用 | 8 コミュニティバスの連携 |
| 4 スポーツ・文化施設の広域利用 | 9 共同イベントの開催 |
| 5 狭山丘陵などの観光資源の活用 | 10 その他 () |



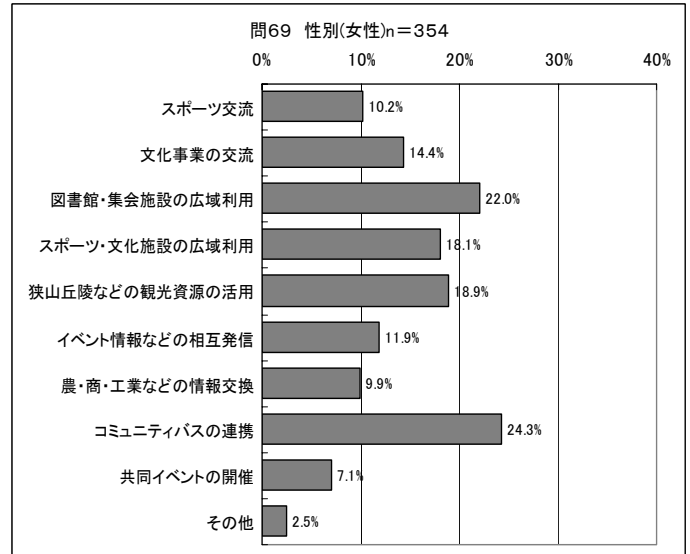
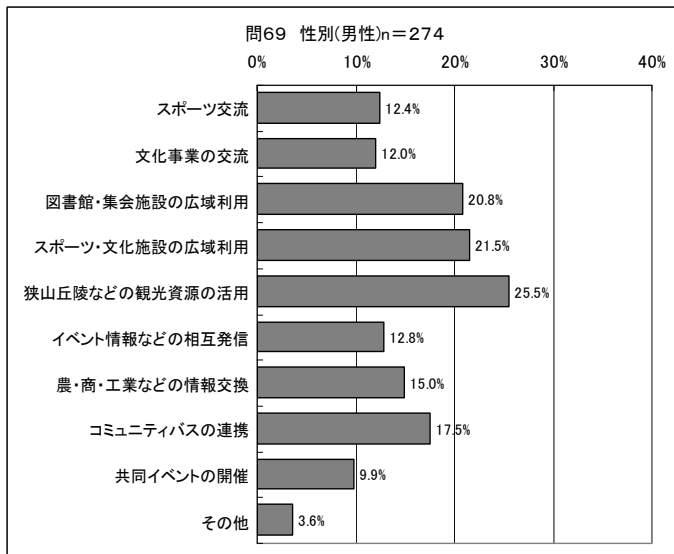
○広域行政として行うべき事業として、「狭山丘陵などの観光資源の活用」が 22.1%と高く、次に「図書館・集会施設の広域利用」が 21.8%で、以下「コミュニティバスの連携」が 21.1%となっている。

○性別では、女性の一位が「コミュニティバスの連携」の 24.3%で、男性の一位が「狭山丘陵などの観光資源の活用」の 25.5%となっている。

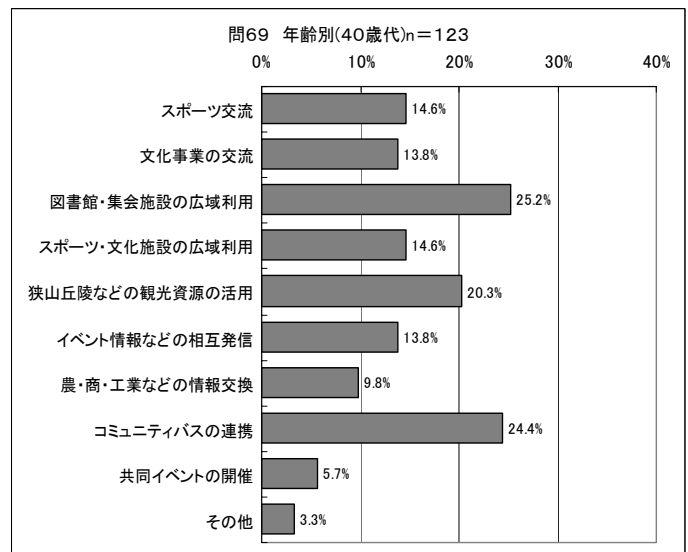
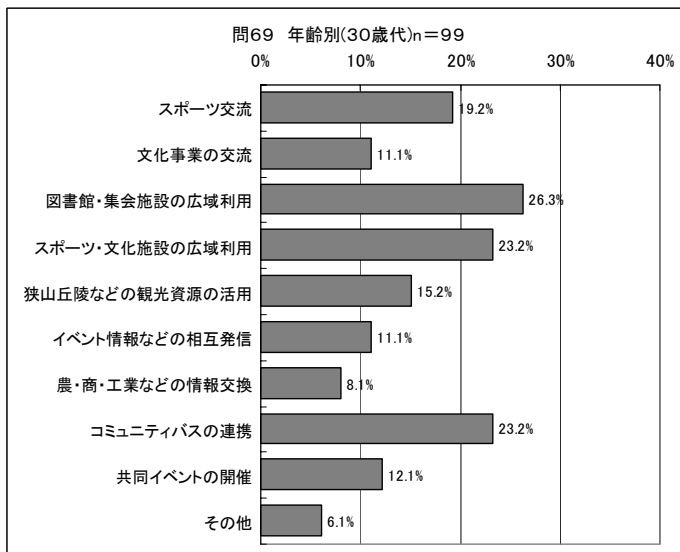
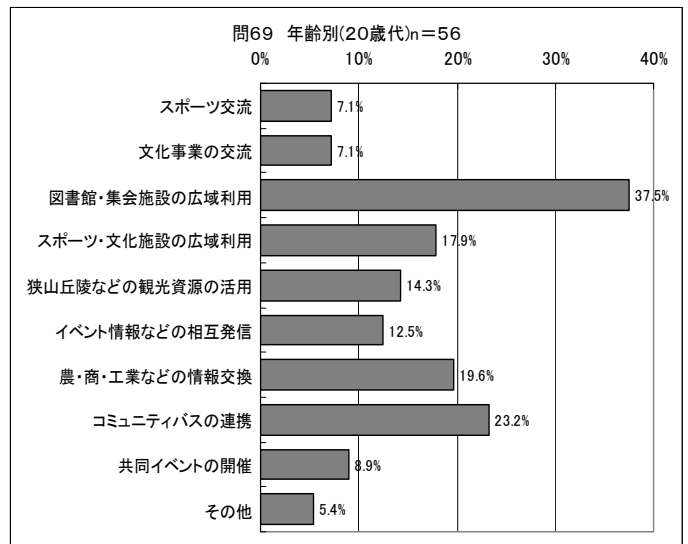
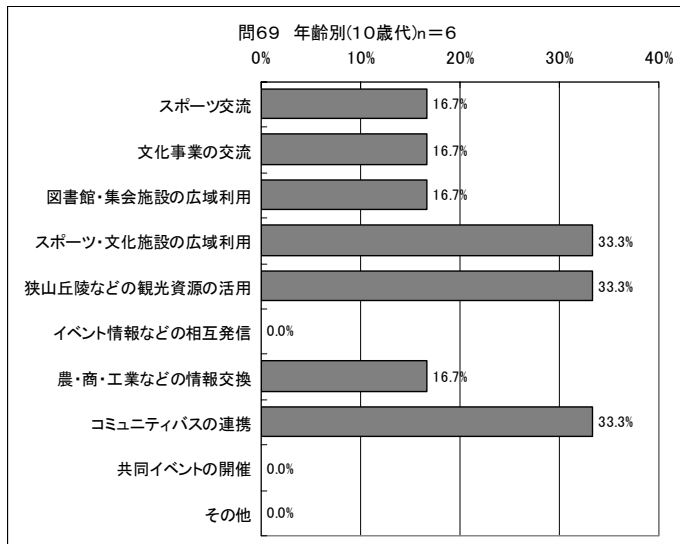
○年齢別では、20 歳代～40 歳代の「図書館・集会施設の広域利用」が最も高く、50 歳代で「スポーツ・文化施設の広域利用」、60 歳～64 歳で「コミュニティバスの連携」、65 歳以上で「狭山丘陵などの観光資源の活用」が最も多いなど、年代によって差異が見られる。

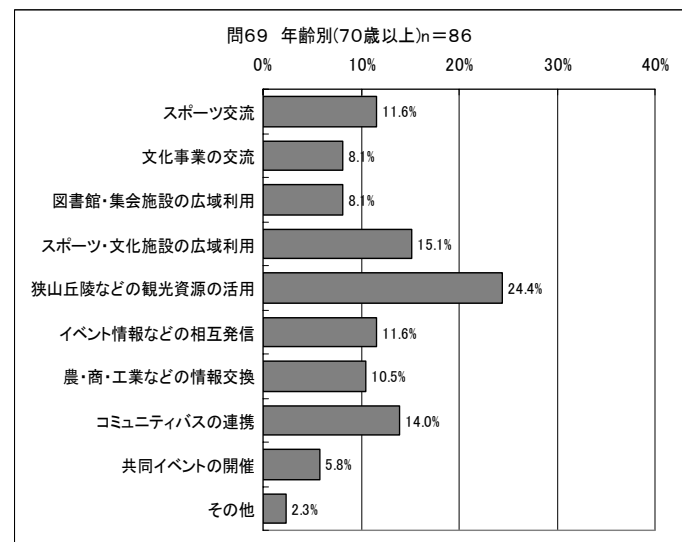
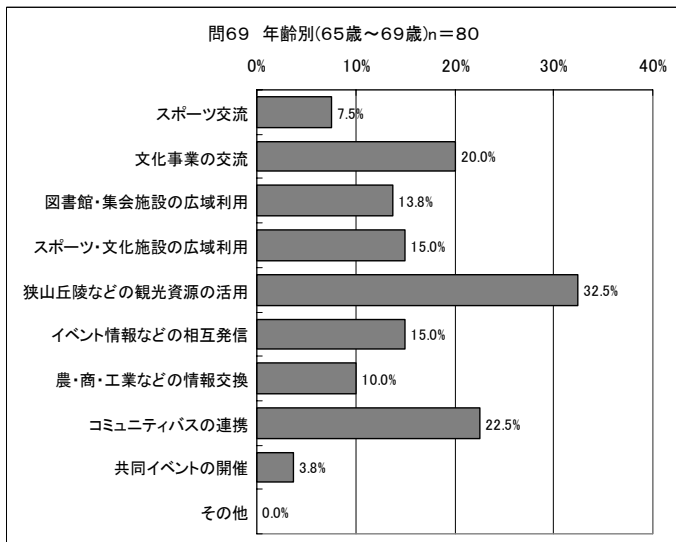
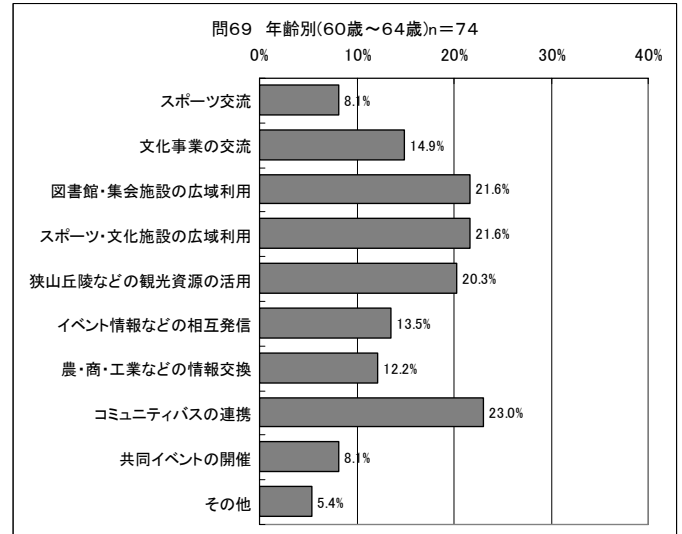
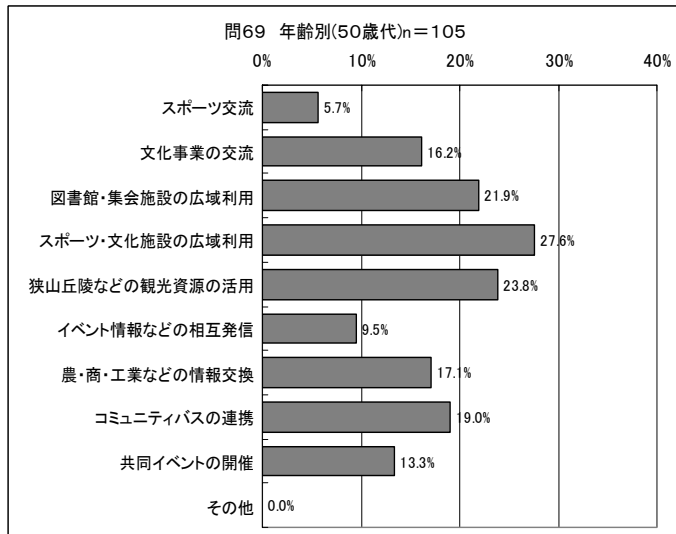
○地区別では、C 地区と E 地区の「コミュニティバスの連携」が高い値となっている。

(性別)

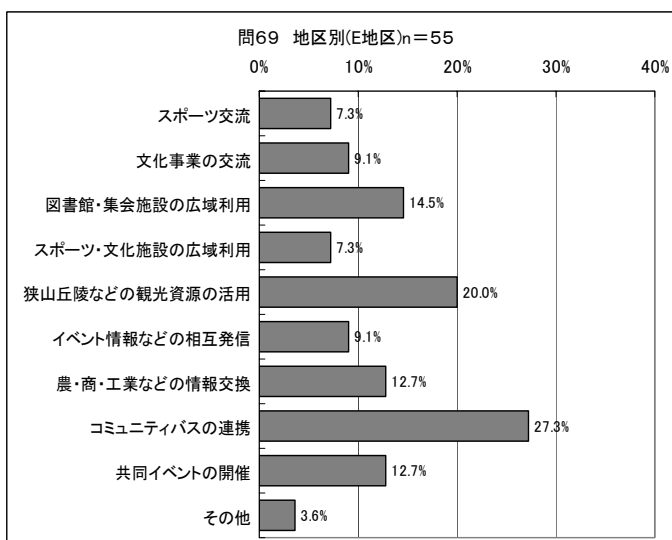
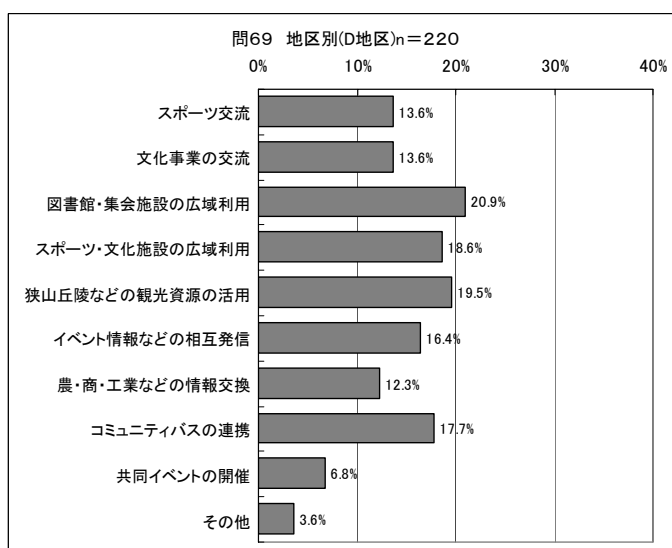
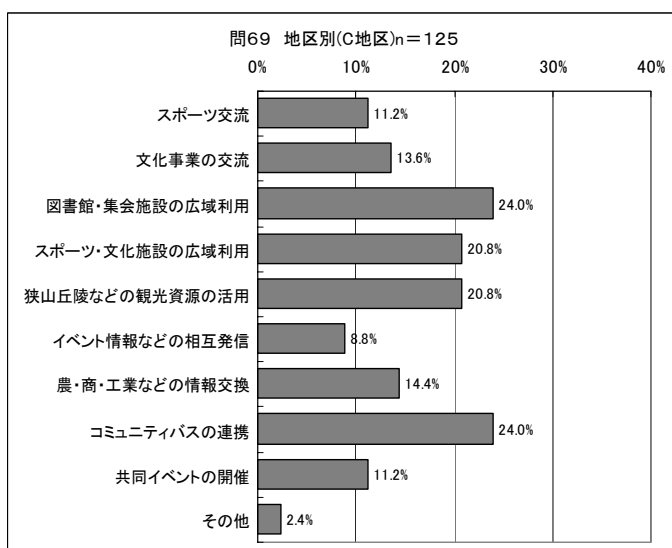
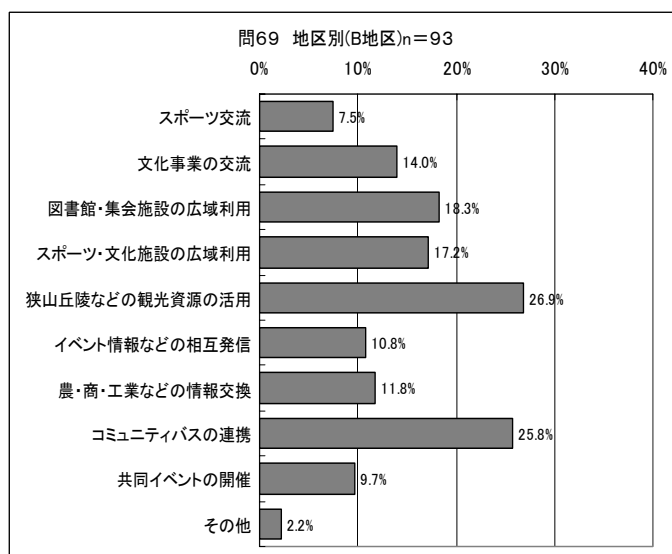
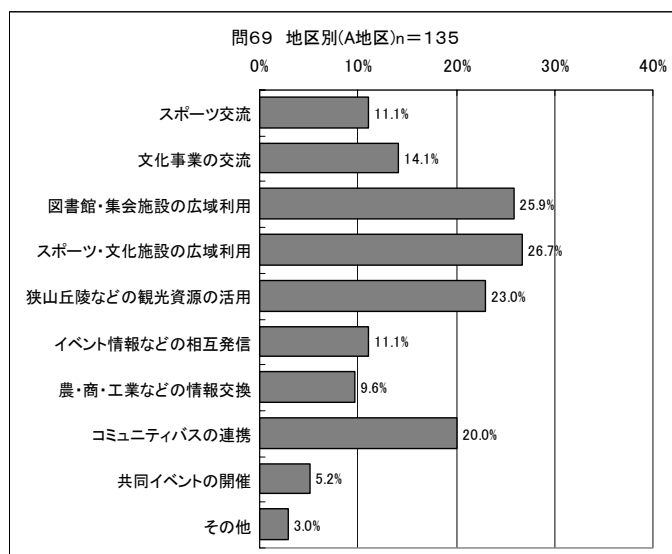


(年齢別)





(地区別)



4. 市のまちづくり施策への要望

問 70 あなたが特に武蔵村山市で力を入れて欲しいと望まれることは何ですか。次の中から要望の強いものを5つまであげて、高い順に番号を次頁の回答欄に記入してください。

(高い順に5つまで番号で)

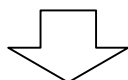
分 野	施 策
1. 市民が自ら考え行動するまちづくり	(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
	(2) 都市間交流の促進
	(3) 情報共有の充実
	(4) 市民参加の推進と協働体制の充実
2. 安心していきいきと暮らせるまちづくり	(5) 防災対策の充実・強化
	(6) 消防・救急体制の充実・強化
	(7) 交通安全対策の充実・強化
	(8) 防犯対策の充実・強化
	(9) 健康づくり事業の充実
	(10) スポーツ・レクリエーションの充実
	(11) 保健サービス・医療体制の充実
	(12) 社会保障制度の推進
	(13) 高齢者施策の充実
	(14) 障害者支援の充実
	(15) 子育て支援の推進
	(16) 地域福祉サービスの推進
	(17) 消費生活の安定と向上
	(18) 安定した雇用の確保
3. 誰もが自分らしく成長できるまちづくり	(19) 人権意識の高揚と平和意識の醸成
	(20) 男女共同参画の推進
	(21) 学校教育の整備・推進
	(22) 生涯学習の充実
	(23) 青少年健全育成の推進
4. 快適で暮らしやすいまちづくり	(24) 道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備
	(25) 公園・緑地の整備
	(26) 住宅・宅地の整備
	(27) 適正な土地利用の推進と横田飛行場の軍民共同使用

次ページに続く

第3章 市民意識調査の集計結果

	(28) ごみの減量化とリサイクルの推進
	(29) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
	(30) 公害対策・環境美化の推進
5. 地域の資源を生かした 特色あるまちづくり	(31) 農業の保全と農地の有効活用
	(32) 商・工業の活性化
	(33) 観光まちづくりの推進
	(34) 自然環境の保全
	(35) 水と緑のネットワークづくりの推進
	(36) 魅力あるまちなみ景観の形成
	(37) 芸術・文化の振興
	(38) 伝統文化・文化財の保護・活用
6. 計画の推進に向けて	(39) 行政運営の推進
	(40) 人事管理の適正化と職員の資質向上
	(41) 財政運営の適正化
	(42) 近隣自治体との連携強化

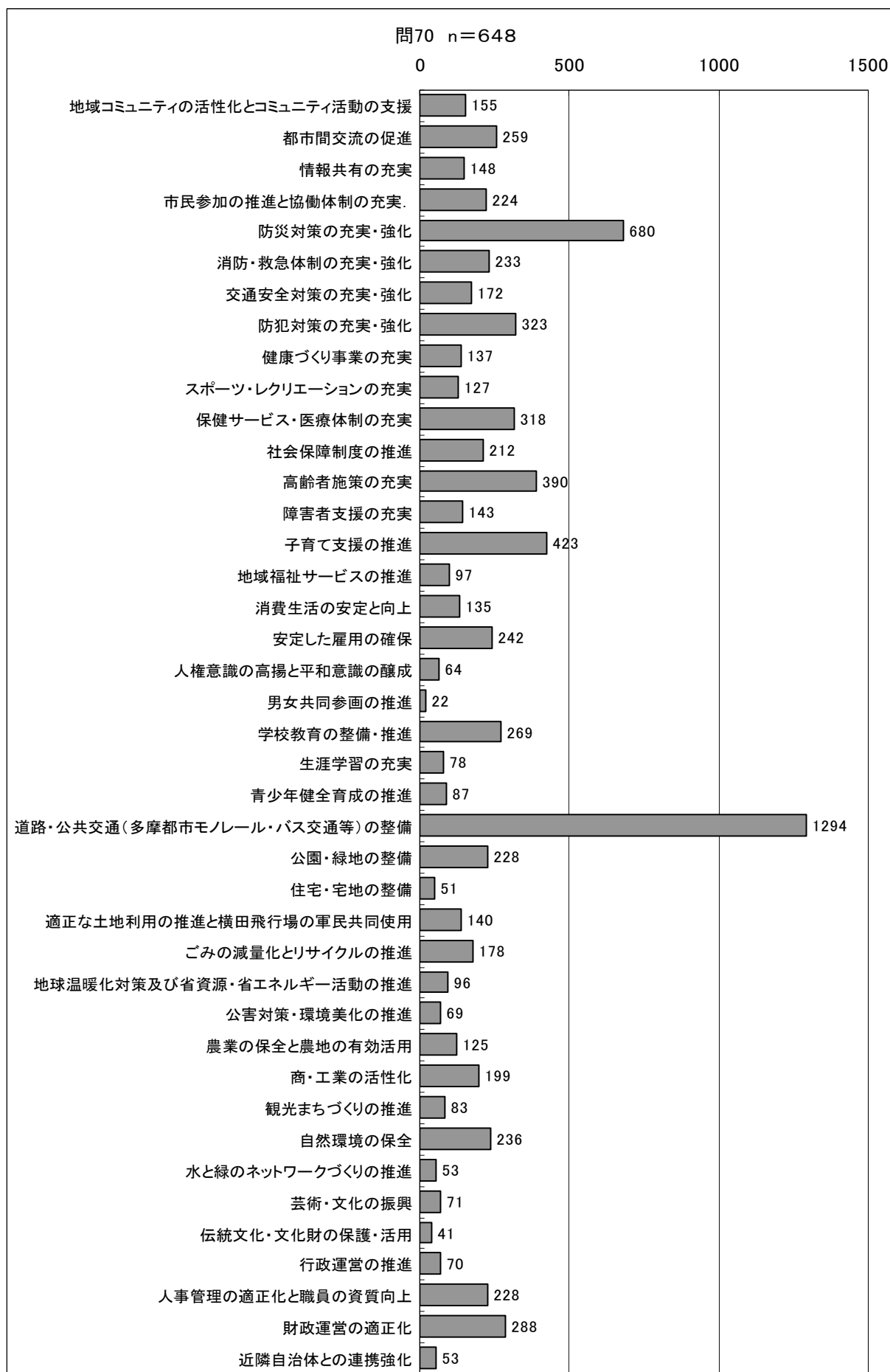
回答欄



5つ選んで優先順位の高い順に番号を
記入してください

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位

1 位が 5 点、2 位が 4 点、3 位が 3 点、4 位が 2 点、5 位が 1 点として加算して順位を決定した。



(性別)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
男性	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	高齢者施策の充実	財政運営の適正化	子育て支援の推進
	5 8 5	2 7 8	1 4 7	1 4 5	1 4 1
女性	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	子育て支援の推進	高齢者施策の充実	保健サービス・医療体制の充実
	6 7 5	3 9 0	2 7 0	2 3 3	2 2 6

(年齢別)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10歳代	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	防犯対策の充実・強化 スポーツ・レクリエーションの充実	交通安全対策の充実・強化	市民参加の推進と協働体制の充実
	1 8	1 1	8	6	5
20歳代	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	子育て支援の推進	安定した雇用の確保	公園・緑地の整備
	1 4 0	7 2	6 8	3 9	3 8
30歳代	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	子育て支援の推進	防災対策の充実・強化	防犯対策の充実・強化	公園・緑地の整備
	2 1 2	1 3 4	1 1 2	9 5	5 6
40歳代	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	学校教育の整備・推進	子育て支援の推進	防犯対策の充実・強化
	2 7 2	1 3 3	9 1	7 6	7 2
50歳代	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	保健サービス・医療体制の充実	高齢者施策の充実	自然環境の保全 財政運営の適正化
	2 4 7	1 1 7	7 9	7 4	5 9
60歳～64歳	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	財政運営の適正化	高齢者施策の充実	保健サービス・医療体制の充実 社会保障制度の推進
	1 5 0	9 6	5 8	5 6	4 6
65歳～69歳	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	高齢者施策の充実	都市間交流の促進	保健サービス・医療体制の充実
	1 1 0	8 0	7 3	5 6	5 0
70歳以上	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	高齢者施策の充実	都市間交流の促進 市民参加の推進と協働体制の充実	防災対策の充実・強化	社会保障制度の推進
	1 1 6	9 4	5 2	4 9	3 0

(地区別)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
A 地区	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	子育て支援の推進	防災対策の充実・強化	保健サービス・医療体制の充実	高齢者施策の充実
	2 8 6	1 2 3	1 1 5	7 8	6 7
B 地区	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	財政運営の適正化	市民参加の推進と協働体制の充実 子育て支援の推進	都市間交流の促進
	2 5 1	8 2	4 7	4 5	4 4
C 地区	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	子育て支援の推進	高齢者施策の充実	財政運営の適正化
	2 8 6	1 4 5	1 0 8	1 0 4	6 3
D 地区	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	防災対策の充実・強化	防犯対策の充実・強化	高齢者施策の充実	保健サービス・医療体制の充実
	3 8 0	2 9 3	1 4 0	1 2 9	1 1 4
E 地区	道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備	高齢者施策の充実	消防・救急体制の充実・強化	防災対策の充実・強化	都市間交流の促進 市民参加の推進と協働体制の充実
	6 2	4 2	4 0	3 4	3 0

○まちづくりの施策については、上位5施策で見ると「道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備」が1,294票と突出しており、次に「防災対策の充実・強化」が680票、「子育て支援の推進」が423票、「高齢者施策の充実」が390票、「防犯対策の充実・強化」が323票の順になっている。

○性別・年齢別・地区別全てにおいて「道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備」が1位となり、次に「防災対策の充実・強化」が、その他には「子育て支援の推進」「高齢者対策の充実」「防犯対策の充実・強化」「財政運営の適正化」などが上位に挙げられている。

5. 自由意見

問 71 最後に、後期基本計画策定にあたって、市政運営やまちづくりに対する御意見や御要望がありましたら御自由にお書きください。

自由意見集計表 自由意見総件数 190件

番号	分類項目	件数(件)
1	行財政運営、サービスの向上	40
2	市のまちづくり全般(複数回答含む)	25
3	モノレールの整備	20
4	交通環境の整備	14
5	公園・緑地の整備	12
6	居住環境の整備	10
7	アンケートへの不満	8
8	少子・高齢化施策	8
9	各種施設の充実	6
10	安心・安全の対策	5
11	道路の整備	5
12	学校教育の充実	4
13	ゴミ問題	4
14	日産跡地利用	4
15	市のPR	4
16	市民参加・協働	3
17	障害者福祉	3
18	横田基地活用	2
19	子育て支援	2
20	雇用対策	2
21	地球・自然環境	1
22	雨水排水の整備	1
23	騒音問題	1
24	自転車問題	1
25	生活保護	1
26	ペット問題	1
27	農業の振興	1
28	商工の振興	1
29	観光の振興	1
30	その他	5

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	50 歳代	D 地区	多摩地区とりわけ武蔵村山市には都営団地が多い。老朽化が進み建替中だが、今の時代、税金を使ってこれ以上公共住宅を供給する必要があるだろうか？ 都営団地の住民をみていると本当に困っている人もいるのはわかるが、公的に面倒をみてもらっている事に甘んじている人が多いのは事実。建て替えるのであれば民間に任せそれなりの家賃をとるべきだし、建て替え用地としてある広大な敷地はこれからの高齢化社会に向けて、また少子化に向けて老人ホーム（特養、有料共）、保育施設などに利用すべきだと考える。武蔵村山市の財政は民生費が多く、そのせいか村山団地＝建て替えという発想ではなく、これを好機ととらえて敷地の有効利用を是非考えてほしい。ただし、ひまわりや菜の花を植える事に税金を使うのは絶対に反対。観光名所として人を呼べた訳でもなくまさしく税金の無駄使い！ 民間であればこの様なお金の使い方をすることは絶対にありえない事。毎年、多額の税金を納入している者としては適正な税金の使い方をして文化的で住みやすい安全な町づくりをして欲しいと臨む。
男性	40 歳代	A 地区	質問が多すぎる。この集計作業に又、経費がかかる。結局ムダづかい。（もしかしたら最終ページだけ使うナイスアンケート？）
女性	30 歳代	C 地区	子供の遊び場について。ボール遊び禁止など規制が多く、子供が遊びづらい。フェンス、周辺道路への注意などハード面を行政で整えるべき。
男性	65～69 歳	B 地区	議員の定数、報酬の見直し。職員・上級公務員の見直し。身の丈に合った報酬の見直しを早期に行い、市債の発行ゼロにし、そこから健全な市政を行うことを念願する。民間企業は常に努力をしてそこから新鮮さを生じている。昨今、公務員の犯罪が増加しているように思う。簡単に借金できる体質を見直すこと、責任の取れる行政、誇りのある公務員となるよう職員教育をすべし。
女性	30 歳代	D 地区	よくわからないけど、もっと村山の町全体が明るい町、広い町、いつも車やバイク、うるさいし、もっと老人施設、デイサービスなど、市内に作ってほしい。市内はスーパーや老人ホーム、デイ少なすぎ。
女性	70 歳以上	D 地区	東京都内及び全国的に武蔵村山市の知名度、特色がPR不足
無回答	無回答	無回答	市政運営やまちづくりに対する意見よりもまず、市民ですが市について何も知らないので答えられません。調査されるのは、市民に対して行政や市がどういうまちづくりをしたいのか、どういう風にこれからしていきたいのかをもっとアピールして、市民に興味を持ってもらってからの方がよいのでは？ たぶん何も変わらないと思ってしまいます。今後のまちづくりの変化をがんばってください。
無回答	無回答	無回答	こういう意識調査もはたして意味があるのか疑問に思う。市として税金を有意義に使う事を優先にしてほしい。
男性	20 歳代	D 地区	社会保障制度の見直し、費用の見直し。高齢者増加に対する制度・施設の見直し。武蔵村山市の高齢者は増加の一途を辿っている。このままだと、若者への負担が増加し、流出してしまう恐れがあると思う。税金制度を見直して、相談しやすい環境を造り、若者がこの市で生きていきたいと思える町づくりが必要。雇用の創出、地元での祭りを格式高い東北の祭りのようにして、地元への愛着、誇りを持ってもらうなど。
女性	70 歳以上	A 地区	問 70 は今までの項目のまとめの様な気がする。それと同時に、終わりの項目はわからない。このように出来たなら、こんな質問はいらないでしょう？
女性	65～69 歳	C 地区	私はどちらかといえば恵まれた環境に住んでおりますが、高齢者が多くなる現状で出来るだけ健康で、地域の交流が大切だと思います。今現在は地域施設が少ないので空家を利用するなどして、集える（歩いて）場所を多くして、きめ細かなサービスが必要と考えます。寝たきりをなくす、孤独をなくす働きかけが大切だと思います。
女性	60～64 歳	E 地区	武蔵村山市に行ってみたくて言ってもらえるような所にしたいです。
男性	30 歳代	D 地区	こういった内容は市議とかが討議して行うものだと思います。いったい市役所や市議は仕事をしているのですか？ こういうアンケートを送ってこれると疑問に感じます。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	40 歳代	B 地区	障害者自立支援法をもう 1 度考えていただければよいと思います。以前憲法 32 条で守られていたと思いますが、同じ位に戻す事を願っています。国民健康保険制度もいろいろなことを含めて見直していただければと思います。いろいろな意味で障害者、弱者、高齢者の方も含む方が安心して過ごせる街になるように期待しています。
男性	50 歳代	A 地区	ごみ収集の頻度（例、燃えないごみは 1 回／月）は他市に比べ劣っている。改善を期待します。
男性	40 歳代	C 地区	すわっているだけの市職員はいらない。削減、給料カットを臨む。地主にしか金が回らない仕事で税金を使うな。とにかく無駄に税金使いすぎ。やる気を感じない。
男性	30 歳代	D 地区	本当に良くしていく気があるなら、誰にでもわかる形で何かして下さい。
女性	40 歳代	C 地区	武蔵村山に住んで切実に困った事は交通の便の悪さでした。都心で働いていたので通勤にとっても時間がかかり、同じ東京都内とは思えませんでした。結果、仕事はやめてしまいました。駅までのアクセスの悪さをどうにかしてほしいです。一人に一台マイカーが当たり前の村山です。最寄り駅近くの駐車場料金の補助やバスの本数を増やすなど、何か対策をしていただかないと、村山の中でしか動きにくく、子供達も視野もせまく、学校選択も限られてきてしまいます。早くモノレールが来ることを願います。
女性	60～64 歳	D 地区	税金の無駄遣いはやめる事。本当の意味で計画・運営に必要な事をすべき。申込、手続きなどせずに自然な形で街づくりに参画、参加できるかたちづくりをすべき。 本当に困っている人々を支援すべきで、そうではない人々を見極める力をつける。納税者として楽な生活をしている訳でもなく、将来、国民年金のみの生活がみえている我々として、税金を有効に活用すべきだと思う。
男性	50 歳代	D 地区	個人住宅地の建蔽率が 40%では効率が悪く、広い宅地を持っていないと小さい家しか建たない。
女性	40 歳代	B 地区	なんとかイオンモールが存在によって多少の雇用がされているというが、現在雇用とイオンの税収の現在が税源なのかと思われます。それ以外にはウォーキングツアーも行っているのも、歴史について見学し、感じ取ってくれる、あるいはそれをもっと市をアピールしてお客さんにきてもらい、うどん屋さんにもイオンモールだけではなく、みかん狩りもうどんも町おこしにしてもらえたらよいのではないかと思います。私はそれほどモノレールにこだわっていません。乗用車がなくてもバス電車の乗り継ぎで何とかなっています。
女性	40 歳代	A 地区	市役所に行きますといつも親切に対応していただきありがとうございます。
女性	30 歳代	D 地区	子供が小さいうちは自分で保育をしたいので、保育所に預ける気はないので、在宅でできる仕事を探したが、インターネットだと怪しいし、ハローワークも地域によってはあるみたいなき事書いてある。市役所で斡旋している所もあると聞いたが、武蔵村山ではないとのこと。子供の保育に関しては人によって考え方も違い、求めるものも違う。自分の周りにも同じようなことを考えている人がいたので、是非在宅ワーク（安全なもの）の斡旋とかも市で力を入れてもらえれば安心して子育てできる人も増えるのではないかと思います。
男性	20 歳代	A 地区	モノレールの早期延伸の実現を強く願っています。よろしくお願いいたします。
男性	40 歳代	A 地区	モノレールはいつ頃から工事を開始するのでしょうか？ なるべく早くお願いします。
女性	40 歳代	A 地区	小さい戸建住宅が増え子供が増えるのは喜ばしいですが、道路の整備、保育施設等追いついていないように思います。また若年層の雇用の確保を。ベッドタウンとして発展してきたと思いますが、高齢化に伴い空家が増えて防犯上心配です。高齢世帯、独居高齢者問題も心配です。緑が多く観光資源だと思います。軽便鉄道跡や里山等の活用は引き続き行っていただきたいです。湖南処理場も菖蒲園だけでなく観光資源として、また社会資源として活用できないでしょうか(村山だけで判断できないですね)。私は市東部で上北台・玉川上水駅へのアクセス可能ですが、西部(中腹等)の友人は交通機関は昭島駅を利用したり、村山への意識は薄いようです。各地域へのきめ細かい配慮をお願いします。さくらホールは音響の良いホールと聞きました。企画・演奏会等期待しています。

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	40 歳代	C 地区	予算や要員などの情報を収集していないので何とも言えないが、商、工、住のバランスを考えた計画を立てていけばよいと思う。会社員は顧客のため従業員のために知恵を出して働くことが肝要であり、公務員とりわけ市役所では市民のため市の発展のために何をすべきかを考え抜き価値を生み出していくことを基本に据えていけば「トンチンカン」な計画にはならないでしょう。期待しています。
女性	65～69 歳	D 地区	治安がよくて緑があって生活環境にも恵まれ、でももう少しゆっくりできる公園がほしいですね。
男性	40 歳代	D 地区	出身地は私、配偶者共に伊豆大島ですが、武蔵村山市に居住して8年目になります。私は武蔵村山市に住まいを購入してよかったと思っています。大南地区は調整区に出張所もあり、行政サービスを身近に受けることができるし、医療も充実していると思います。後期基本計画策定にあたっては、公募市民を充実される等市民の声を市政運営に反映し、市政評価にも庁内評価だけではなく市民評価、第3者評価を積極的に導入し『市政の見える化』を促進する必要があると感じております。そのような努力あってこそ、市民への負担増も市民に理解されるのではないのでしょうか。何ができることがあったら協力したい気持ちをもっております。
女性	50 歳代	D 地区	立川市に比べて税金が高いのでもっと税金を安くしてほしい。かたくりの湯は市民なら半額にしたらいと思う。
男性	70 歳以上	A 地区	六道山を高尾山のような高齢の人達が楽しく登ることができるように、又かたくり温泉がもっと利用され充実した野山北公園を作る必要がある。あの辺は本当にすばらしい所です。グラウンドを駐車場にしてもっと観光に力を。
女性	70 歳以上	C 地区	自転車で歩道を走っているとゴミが邪魔になったり電柱が邪魔になったり(道幅が狭い)する
女性	20 歳代	B 地区	東京で唯一駅がない街なので新しい駅(武蔵村山駅)を作してほしい。大きな病院がないので専門医のいる、安心できる病院を作してほしい。妊娠は病気ではないから費用がかかります。本気で少子高齢化に取り組もうとしたらまずこの考えを改めるべきである。ガンなどの健診ができる機会と場所を増やしてほしい。市民税、都民税をどうやって運用しているのか全て公表してほしい。若者にわかりやすい行政の運営をお願いします。難しい言葉を並べて中身の無いものを延々と引き争うのもやめてほしい。
男性	40 歳代	D 地区	モノレールの延長
女性	30 歳代	C 地区	市役所で働く方々の対応についてはもっと指導すべきである。嫌な思いは何度もしたし、周囲からもよく聞く。立川市など近くの市での対応はとてもよいと聞いたこともある。それだけで足を運ぶのがストレスになる。もちろん、気持ちのよい対応をして下さる職員の方もいますが。
男性	60～64 歳	A 地区	結婚相談所
男性	40 歳代	D 地区	モノレール延伸頑張ってください。
女性	50 歳代	A 地区	個人店がどんどんなくなる。年をとっても安心して働けるようにしてほしい。
無回答	無回答	無回答	自治会などを利用して広く意見を求めるべきである。
女性	50 歳代	B 地区	武蔵村山には目をひく文化・文化財も町並み景観も何もありません。観光はないです。まず陸の孤島状態から抜け出して下さい。それ以外には何も無いと思います。モノレールが整備されたらベッドタウンとしても、企業や学校の誘致も有りでしょう。それがなくて名物を作るイベントをいくら行なっても、地元だけで終わってしまい、意味がない、ただの無駄遣いになります。交通の便が良くなければ地価も安いままで。地価が安いということは低所得者しか新しく市に越して来ませんよね。あとは学校の小人数クラスと先生の数を増やすことは至急の問題だと思います。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	65～69 歳	B 地区	今年 2 月、野山北公園、釣池北千歳の泉にかかる橋の横に、冬にあると赤い実がつく万両を植えようとスコップで掘ったところ、サッカーボールほどの丸い石が埋もれていました。大昔こころ田んぼだったと聞いておりますが、私は水神様を誰かが祀ったのではないかと思います。現在すぐそば、そこらの石の上に置いてありますが、台座は埋もれているのが見えます。掘り下げて正式に祀ったらいかがでしょうか?公園内の事ですのでよろしくお願いいたします。
女性	30 歳代	C 地区	車生活でなかなか歩く機会がない。子育て中ですが、子供もすっかり車生活で慣れている。意識的に電車にのることを増やしている。でも電車に乗るまでのバス代も 400 円と高額。負担が大きい。周囲からはそこまでして電車に乗ることないと言われるが。自分の足で目的場所まで辿り着く経験は幼少時から大事だと思う。社会のマナー、ルールも学べる。村山にもモノレールが来て交通の便を良くしてほしい。村山育ちの子は世間知らずになりやすいと思う。(親の意識次第でなりやすい)せめて市内循環バスで JR の駅までつながってほしい。
女性	20 歳代	B 地区	東京都で駅がない市は武蔵村山市だけです。そのため交通手段にバス、自転車を使いますが、バスは 1 時間に 3 本でとても不便です。交通渋滞も多いので緩和してほしいです。
女性	40 歳代	C 地区	私が武蔵村山市に住むようになって一番驚いたのは街がごみだらけなこと。交通マナーの悪さ、人のふるまいの乱雑さです。ガラが悪いといった雰囲気でしょうか。これらを見て育っている子供達も登下校時のマナーの悪さ、学校内でのふるまいの勝手さが目に余ります。自分達の住んでいる場所を大切に、近所の人達と仲良く暮らしていく、といった姿勢が見られず、子供にも人にとって大事なことは何かと伝えるのに苦労します。外国人でも新規居住者でも大切に思える優しい町になればと思います。
男性	30 歳代	B 地区	武蔵村山市の悪いイメージの 1 つに、夜中の暴走族が挙げられます。取り締まりを強化し暴走族の多いイメージを払拭して下さい。市民のために静かな夜を提供して下さい。
男性	30 歳代	D 地区	公務員は手取り 15 万円で統一したらよいと思います。そしたらあんならがやりたい事いっぱいできるよ。がんばって。
男性	30 歳代	C 地区	もっと市役所の職員の対応や笑顔をよくして活気のある場所にしたいほうがいいと思う。暗くてあんな場所がいいとは思わないし、市がよくなると思う。そうすれば行きやすくなる。
女性	50 歳代	C 地区	税金を要望に沿ってうまく使ってほしい。市役所にパートの方が多数いるが、窓口で対応するのに知り合いだと相談や手続きがしにくく不満。(特に税関係、教育援助など)。また聞きたいことが説明できずに職員と交代するとまた説明しないといけなくて二度手間な場合がある。一考をお願いします。
男性	30 歳代	C 地区	もう少し分かりやすく、市民の意見が反映されるように基本計画を策定して下さい。
男性	30 歳代	C 地区	むらタクはずっと継続してもらいたいです。
女性	50 歳代	C 地区	昨年度の耐震強化補助並びに ECO 補助金の支給の対象条件には驚きました。市民に対する補助なのか業者に対する補助なのか、市と業者の癒着が疑われるものでした。納得できません。
男性	65～69 歳	B 地区	設問が多すぎ、時間がとられました。大変でした。設問項目を絞り込んでアンケートをとって下さい。

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	20 歳代	B 地区	多摩モノレールの市内延伸については、基金の拡充やふるさと納税の内容充実等、総合的な対策が必要と思われる。また、モノレール延伸を目指す周辺市町と連携し、東京都や東京都市長会、町村会を通じて国への要望を行うことも考えられる。 横田基地の軍民共同化に関しては、現在のアジア太平洋地域の安全保障環境上、難しい部分はあるが、例えば民間旅客機の離発着の前にビジネスジェット機の乗り入れをまず目指すなど、段階的な共同化を進める方法もあるのではないかと。横田基地には軍人・軍属用の旅客機の乗り入れはあるが、その一部を民間に開放する余地があると思う。いずれにしても米軍や外務・防衛当局との協議を進めていくことが重要だと思われる。
女性	70 歳以上	A 地区	後期高齢者ですのであまり参考になりません。何しろ住みよい市にして下さい。私の命のあるうちにモノレールの市内導入を。
男性	30 歳代	A 地区	以前に比べ障害者の数が増え目に余る行動が目につきます。子供がおびえてます。大声や破損行為など。独り言をつぶやく。また道路の拡幅をしても、走り屋としようとする。ならず者の違法行為の場になっており、居住域に大音量で走り回ります。転居住人の身勝手な行為、騒音等も著しいです。
女性	30 歳代	A 地区	税金の使い道、使われている先の内容確認をしっかりと、無駄を省き、よりよい使い方をよく考えてほしい。
男性	65～69 歳	D 地区	特になし。高齢者には回答が難しいと思います。良い街づくりのため職員一同、がんばって下さい。
男性	30 歳代	D 地区	武蔵村山市に来て数ヶ月で何度も家の横で交通事故をみた。近所に小さい信号を取り付けると、言っているが、しない。されない。子供が多い方なのに歩道もない。以前は所沢でもっと環境が良かった。 緑のカーテンを……と言うが、土の回収はしてくれない。どうしたら良いかわからない。来年から緑のカーテンをやるか悩む。せめて土の回収、それをまた使えるようにした土を安く売ってほしい。
女性	40 歳代	D 地区	多摩都市モノレールの延伸を実現してほしいです。
男性	30 歳代	A 地区	学力の向上をお願いします。学校が安定して先生達が安心して働ける環境があれば、おのずと地域も安定するからです。
女性	50 歳代	B 地区	他市では粗大ごみのリサイクル施設が充実しているが、武蔵村山にはないので市自体でリサイクル品の還元などもするべき(自然の有効活用)と思います。 村山病院の検査の仕組みを効率よくするべき。1つの病名がつくとその都度検査が多く何度も受けなければならないので費用が大きい。
女性	30 歳代	B 地区	何よりモノレール。子供たちのために早期実現してほしい。
女性	60～64 歳	A 地区	市民課へ手続きに行った時、書類を「お願いします」と渡したところ、黙って受け取った。ハイとか、お預かりしますとか、言えないものでしょうか。病院でさえ「患者様」と言うようになってきた現在、市役所も、いらっしゃいませ、ありがとうございますぐらい言ってもよいのではないですか。ご利用下さいましてありがとうございますという気持ちがないのでは……と思います。
女性	40 歳代	D 地区	交通量が多いのに道幅の狭い道路や雨で危険な道の整備をお願いしたい。公共施設で働かれている方の意識が低いと感じます。図書館とふれあいセンターは立派な建物ですが、利用する市民の立場になっていただきたい。(使わせている、というような態度も感じます)
男性	30 歳代	A 地区	日産跡地がうまく利用されていない。硬式用野球場やサッカー場等スポーツ施設に活用すべき。
女性	60～64 歳	D 地区	以前に比べると大南公園も木を切ってすっきりしましたが、もう少し家族でお弁当を持ってお花見でもできるようにお花を植えて楽しい公園になるとよいと思います。ゲートボールも公園でしないで別の所に移動してほしい。
男性	60～64 歳	A 地区	モノレールの市内乗り入れの推進

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	60～64 歳	C 地区	武蔵村山市には伝統的な文化や街があるにもかかわらずメイン通りがなく、建物や街並みが何の魅力もない景観であり、この地に生活して 25 年を越えようとしています。ほとんど変わらず、以前より商店もなくなり商店街がぼんやりしています。独特な街並みを作り、みんなが見学に来るような街にしたいと思っています。デエダラ祭りがあるのだからそれにふさわしい街を作り、1 年に 1 度ではなく、そこから 1 年中楽しめる物にしたいです。
無回答	無回答	無回答	私はこれまで福生市、立川市、国立市、府中市と住みましたが、武蔵村山市がとても気に入っております。その理由は、①市役所の職員の方がとても親切であたたかみを感じる、②ほどよく田舎でその割に便が良い点、③ごみ出しが楽な点、です。これからもこれまで通りにまちづくりをよろしくお願いいたします。
女性	30 歳代	B 地区	歩道の拡張……子供が安全に歩けるように幅を広げてほしい。自転車が通りづらい。トラックの横を通るのがこわい。 子供が緑にふれあう機会を増やしてほしい……イベントの回数増やす。 ごみ……毎週缶のごみを回収してほしい(東大和は毎週回収有) 治安……教育に力を入れてほしい。学力向上 直売所の増設、無農薬野菜のブランドか 織物の街 PR、機織り体験したい人、若い人でもたくさんいると思う。作品、小物のブランド化、デザイナーによる商品化、佐藤可土和、今治タオルのような。
女性	30 歳代	A 地区	早くモノレールを延伸してほしい。駅ができるとその周辺に店舗が増え子育てしている私などのパートする場も増えてよい。
女性	65～69 歳	D 地区	私、今回の回答の中には過去になっていることが多くありましたが、その時を振り返っての回答(子育ての回答など)になりました。高齢者ですので……。
女性	30 歳代	E 地区	今回のアンケートで市の取り組みが見えてきました。それ以前は全く意識をしていませんでした。大変かもしれませんが、市が市民に向けて行動を起すのが重要かと思います。
女性	65～69 歳	D 地区	市民のためにがんばって下さい。お願いします。
無回答	無回答	無回答	バスの本数を増やして下さい。
女性	50 歳代	D 地区	日産跡地の利用等はどうなっているのでしょうか？ あれだけの広さがあるので私の考えをいいます。市民プールを半分の面積に作り、残りの面積は駐車場とアスレチックにします。東大和のプールは夏休みになると人々が混み合い、隣のイトーヨーカドーはプール帰りの人でいっぱいです。日産跡地にプールを作り、遊んだ後でイオンモールで買い物、食事等でお金を使ってほしいものです。せっかく作ったモールが閉店になるようなことがないようにしたいものです。
女性	70 歳以上	D 地区	大南は市で行うようなものには場所が遠すぎる。住民税が他より高すぎると思う。
女性	40 歳代	D 地区	私の住んでいる地域は住宅火災や交通事故が多いように思う。特に交通事故は同じ場所で多数起きているが、対策がされていない。通学路でもあるのだから対策はした方がよいと思う。また、災害・火事等の時に放送される市からの放送が私の住んでいる所ではきちんと聞き取れないので困っている。
男性	20 歳代	D 地区	私は就活をしているがなかなかうまくいかない。武蔵村山市の嘱託員にも応募したが、募集職種、採用人数が少ないと言われ結局は不採用。武蔵村山市民の雇用面を充実させてほしい。
女性	30 歳代	D 地区	先の質問の「その他」の項目にも書かせていただきましたが、障害者福祉の充実を図り、モデル地区となることは武蔵村山市にとって大変有益であると考えます。私は勤務先で重症児の学童保育や発達障害に関する勉強をしてきましたが、いつも好例として挙げられるのが横浜市でした。村山の福祉施設でも多摩地区全体からの利用がある機関がありますが、横浜に比べればずいぶん現場スタッフの負担が大きいです。村山は住民税が高いとよく言われます。是非全国モデルとなる方向に活用して下さい。

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	60～64 歳	E 地区	モノレールを1日も早く作ってほしい。 駅のある市にしてほしいです。とても心待ちにしています。 新青梅街道を整備してほしい。 日産の跡地にプロ野球の球場とかコンサート会場を作ってほしいです。 イオンモールにもう少し名前の売れた人を招待してほしいです。
女性	50 歳代	A 地区	やはり一番には交通の便だと思います。若い世代は車で移動が可能です。高齢になり移動手段がない場合が大変です。歩道が狭く平らでないで転倒等危険が多いので、道路の整備も重要だと思います。車を運転している側も歩行者や自転車利用の人に危険を感じたことも多々あります。
女性	40 歳代	D 地区	子供が高校生の夏に図書館で勉強しようとしたら、ここは本を読む所で勉強するのなら他でやれと言われた。家では集中できないので勉強できる静かな場所を探しても、公共の施設はどこも使用できないとのことだった。結局、予備校に入ったが、高額な予備校費を出せない家庭の子はどうしろと言うのか？ この市の教育が低い理由がこんな所にもよく出ていると思う。高齢者のことばかりではなく考えてほしい。子供達の教育に力が入っていないこの市に将来はない気がする。
女性	40 歳代	D 地区	市役所や福祉センターが同じ場所にまとまってもらえるととても助かります。目的によって場所が違い、住いからはとても不便です。日頃仕事で帰りも遅く、書類の申請も同居している母に頼むのですが、その時の目的により場所が違っていると申し訳ないです。合同庁舎のようにできないのでしょうか。
男性	50 歳代	A 地区	モノレールを早期実現して下さい。
女性	65～69 歳	D 地区	税金の無駄遣いを(市民から見て)なくしてほしい。
男性	70 歳以上	D 地区	財政の健全化の推進と議員定数の削減、村山学園建設時に見られる建物(箱物)を優先させた行政の改革を希望。
女性	40 歳代	C 地区	意識調査をとった結果をきちんと行政に生かしていくこと。
男性	65～69 歳	A 地区	交通網の整備なくして街の発展はあり得ません。この町に60数年住んでいますが、半世紀以上経っても交通網が整備されていません。今もバスで立川駅まで通っています。武蔵村山市に住んでいる子供達がかわいそうです。
女性	65～69 歳	D 地区	バランスのとれた財政の運営を基本に発展する市政の運営に期待します。若者の雇用を確保し、武蔵村山市が「大好き」と思える市政をお願いします。
女性	50 歳代	A 地区	義母の介護が始まり、福祉・高齢者への支援が遅いと思います。また孫が小学校へ、保育園へと通うようになり、若い両親たちへの協力が必要と思われます。
男性	40 歳代	A 地区	まずは遊休地、次いで後継者不在の農地を市場を見据えた農産物の栽培をし、作物の販売、作物の加工品開発・販売、または調理する屋台や食堂を運営し、そこへパートタイムでの就労を可能とした雇用創出が望ましい。利権を貪る環境を排除するため、市職員やJA職員だけでない外部の人材を多用して組織作ることができれば尚良。またその活動をネット配信しTOKIOの「ダッシュ村」の様子でアピールすれば観光目的で同市へ来客も見込めるのではないかと。その都度交通機関を充実させては如何？
女性	60～64 歳	B 地区	現在は車で移動していますが、もし乗れなかったら武蔵村山はかなり住みづらい地域です。朝夕の家族の送り迎えをする姿もよく見かけますが、交通機関が充実すれば道路も空くことでしょう。コミュニティバスはせめてモノレールの経路を走ってほしい。今は市役所さえ行けても帰るのが大変。他の場所も同じようです。仕事は市内に沢山あれば雇用も生まれるし活気づくと思います。農業もさらに大規模化していくことも必要だと思います。サークルの発表の場も常設があるとすばらしいですね。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	30 歳代	D 地区	武蔵村山市は他の市に比べると財政は赤字ではない方だと、ある市議会議員の方に聞きました。私の勝手なイメージですがどこかの企業と癒着して限りある財源が有効活用されてないのではと思ってしまいます。小さいことでも積み積もれば山となるので、無駄を省いて健全な町づくりをしてもらいたいと思います。私の友人でモノレールに働いてる人がいるのですが、モノレール、瑞穂まで伸びないと聞きました。もし伸びないと決まっているのなら誘致運動をすると、それだけ財源がたれ流しになってしまうので、やめたほうがいいと思います。でも本当はモノレールが瑞穂まで伸びたらうれしいのですが。今後ともみんなが住みやすい町づくりをよろしく願いいたします。
女性	50 歳代	A 地区	武蔵村山は自然の美しい街であり、昔から地域住民の安全を守り（庄屋部落？ 庄屋が多く住んでいた）有識者が多く、由緒正しい地域であると聞きました。今後はさらに美しい近未来都市をめざして街全体を公園都市のように、芸術・文化に溢れた、さらに科学の粋を集めた最先端の住みやすい街になると嬉しいです。
女性	30 歳代	A 地区	近所であちこちから燃やしている匂いがして臭い。自宅や畑などで燃やしています。めちゃくちゃ気分が悪くなる。子供の教育上よくない。スーパーなど子連れ＆車（駐車場大きい）、徒歩で行ける場所を増やしてほしい。子育て中の親が気軽に集まれる場所や安心して遊べるとこなどの情報をどんどん教えてほしい。普通の市民にもわかりやすい言葉で書いてほしい。結局わかりやすくしましたって書いてあっても正直私にはわからない。興味持てない。なるべくおバカの意見も参考にして下さい。
女性	20 歳代	C 地区	今年、第二子が産まれる予定です。お金はなく車なんてとてもじゃないけど買えません。ちょっと買い物行くだけでも大変で、すぐ歩いて行ける範囲に、公園や乳幼児が遊べる施設、保健センターなどが充実してほしいです。市役所の手続きなども極力、直接行かなくてもできるようなシステムができればいいと思います。（特に出産前後）
男性	70 歳以上	C 地区	各分野にわたる質問で回答には難しいところもあり、市民には理解できないところも多々あると思います。市民の目線に立ち市民意識調査表を作成した方がよいと思いました（専門的すぎますね）。行政と市民の目線を大切にしてください。市職員は市民よりも上と思っている職員がいると思います。よりよい武蔵村山市を作っていくには職員自ら自覚する必要があると思います。
男性	65～69 歳	D 地区	廃プラ収集日（毎火曜）を全ての火曜日に行ってほしい。現在は月 1 回不収集日あり。廃プラが最も量が多いので検討してほしい。
男性	30 歳代	A 地区	交通の利便性をよくしてほしい。
男性	40 歳代	C 地区	横田基地が軍民共用となった際は、モノレールを横田基地まで延長してほしい。
男性	40 歳代	C 地区	市内にドッグランを作っていただきたいです。
女性	40 歳代	D 地区	上下水道の整備充実については調査項目に入っていなかったのですが、基本計画の項目に入っていないということでしょうか。安定的な財政運営のもと、市政運営に取り組んでいただきたいと思います。
男性	50 歳代	A 地区	私は 50 歳代の長年、武蔵村山市に居住している男です。先日、立川駅前のビジネスセンタービルに行きました。村山と立川の違いは歴然です。武蔵村山市は「駅のない市」を売りに市政運営やまちづくりを考えてもらいたいと思う。
女性	30 歳代	C 地区	自治会が若い人達が入りづらいところがある。昔から住んでいる仲間でやっていて続けづらい（悪い人達ではなかったのですが）。住宅地が場所によって汚い。ゴミ屋敷、猫屋敷がある。またゴミの捨て方ができていない人がいて、近所で注意しあっているが、収集に来る頃にはニオイ等ひどくなっている。小学校の通路、危険な所が多くとても心配。子供が事故を見てしまい、1 人で信号を渡れなくなってしまった。
男性	60～64 歳	C 地区	武蔵村山市を、むさし村山市 か ムサシ村山市 に変更できないか？

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	30 歳代	D 地区	私は数年前、4 年半ほど市内のイオンモールの中で働いておりましたが、働く側にとっては交通事情が悪く、よく働いてくれる人が定着しない、遠方から来る人が続かないと感じておりました。イオンモールまでモノレールが通って駅直になれば集客はもとより、働く方にとっても内部が安定することによってよりよいサービスが可能になってくると思います。逆にそれがないことによって、あれだけの商施設運営がデメリットを被るのは非常にもったいないと思います。モノレール延伸はぜひお願いします。また、モール内駐車場では小さなことかもしれませんが、自転車、バイク等への部品盗難が多発しており、犯罪防止策もぜひお願いいたします。
男性	40 歳代	C 地区	公害(畑からの煙)、道路の傷み、その他環境について即時対応(「すぐに改善」「時間が必要」等の回答も含め)を希望。新青梅街道の拡幅、モノレール延伸、近隣市町の駅へのアクセス充実に図ってほしい。日産工場跡地の有効利用を早期に進めてほしい(内容にはこだわらないが、雇用促進につながると思う)
女性	50 歳代	D 地区	とにかく交通が不便。子供が小さいうちはのどかで緑が多く安全な町という感じでとても気に入っていましたが、子供が大きくなり職場も替わったりしたらもう大変。近所の大きくなった子供たちはみな市外へ出てしまっています。最も働き手である若者が「不便」ということだけで市外に行く。とにかく早く電車に乗れるように。またバスを充実させてほしい。バスターミナル(ステーション)なるものがあってもよい? 今のままだと「不便」ということで若者が離れてしまう。残った者は車を利用する。地球にとってどうなのかしら?
女性	50 歳代	C 地区	線路が欲しい。移動に不便な所がまちづくりがうまくいかないネックになっているので、まずモノレール。
女性	10 歳代	C 地区	高齢者をもっと大事にしたサービスをしてほしい(子供より優先に)。交通便が良くない → 一部の区域だけバス便が良すぎる。
無回答	無回答	無回答	道路、特に歩道の整備を進めてほしい。ベビーカーや車いすが通りにくくて不便。また犬のフンや雑草などで環境美が損なわれている。個人のマナーだが、市が積極的に対策(ポスターなどでの注意や相談所等)をすれば少しはマシになると思う。
女性	50 歳代	D 地区	緑が多いところが気に入って住み続けていたのですが、最近の大南方面はあらゆるところが宅地となり残念に思っております。(いたしかたないとは思いますが)村山大島紬はぜひ継承してほしいです。
女性	50 歳代	D 地区	大雨時の道路が水に浸り、舟が必要なほどである。年に何度かのことといわれるが、低い土地の家々は大変な苦痛であり、調査を早期に行ってほしい。市内で困る場所は特定されているものと思われるも、十数年改善されていない。1 日もはやい措置を望む。
女性	50 歳代	A 地区	内容よく分からず書きました。不手際お許し下さい。
女性	50 歳代	D 地区	市政と学校、企業、自治会等の全てにおいてのコミュニケーションをはかり、何か市としての特長をアピールできるものをさがして伸ばした方がよいと思います。
男性	65～69 歳	C 地区	今回の調査結果を是非、今後の市政により良いかたちで十分に活かして下さい。
女性	20 歳代	D 地区	アンケートが長かった。
男性	50 歳代	D 地区	武蔵村山でしか出来ないまちづくり。東京都に武蔵村山があるんだと全国にアピールを。
男性	30 歳代	D 地区	まずは赤字財政を見直し、社会保障を利用している人から相応の負担を求めていくことと、村山団地のような低所得、生活保護世帯が増えるような施設を作らない。また、固定資産税なども負担していないことなども鑑みて、現状の安すぎる村山団地の賃料は見直さないと不公平だと思う。
女性	30 歳代	D 地区	モノレール、歩道の整備を早くしてほしい。特に歩道は車いすやベビーカーが全く通れない所が多い。私は一時期、府中市(東京の)で住んでいたが、府中市は非常に住みやすかった。それに比べて武蔵村山市は非常に住みにくい。上記にあげたインフラや市職員の対応の悪すぎるところ、子供の医療費の他、上げればきりが無いと思うぐらいである。たった 1 人の市民の意見ではなく、ほとんどの市民が同じような考えであると思って対応してほしい。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	70歳以上	E地区	子育てと家事の両立ができない若いお母さんの応援を。まったくのボランティアで少しずつできる所から手助けして普通の部屋にしてあげられるものかと。お尋ねしますが、ボランティアは資格及び訓練、講習どれも必要でしょうか？ よろしく願いいたします。
男性	50歳代	C地区	近所にあるゴミ屋敷に助言または介入して、きれいな町づくりをしてほしい。もっと積極的に家主に言ってほしい。
男性	20歳代	B地区	駅がほしい。
女性	40歳代	B地区	私は現在、2歳児の育児中ですが、武蔵村山の学力が低いと他のママさん達から聞き、不安に思っています。学力の低下は今後の村山の全ての低下へ結びつくと思います。(地域のイメージの悪化、人間としての力の低下、村山の未来の低下)。子供の生きる力や基本的な思考能力を身に付けさせるべきでは？ 学力だけでなく、人を思いやる心、礼儀等、学校教育の充実が必要なのではないでしょうか。村山は緑が美しいのでぜひ守っていただきたい。大人も子供も観光にも緑は大きな力を発揮できると思います。大きな魅力になります。
男性	50歳代	D地区	①市職員の適切な人事と専門性の強化が必要ではないのか。介護は介護精神、福祉は福祉精神、教育は教育精神など、その課独自の精神(規範)を再確認し、市民に対し何が必要か絶えず試行錯誤(対応や問題点の明確化など)、市行政に生かす。これがなければ計画をいくら立てても無駄ではないか？ この頃上からの物言いが目立つ(福祉など) ②子供が大人になっても同市に住みたいと思う心を育てる。 (催し物の合同開催等のバックアップ) ③福祉、防災、催し物、環境整備、教育など隣接市と協力関係を築く。 ④モノレール建設を求めるも、その間、交通手段の確保、利便性(バスの増発など)の強化を図る。
男性	65～69歳	D地区	旧武蔵野住宅、早期の整備、取り壊して公園として市で使用させてもらい、中にドッグランをぜひ作って下さい。
女性	65～69歳	D地区	限りある資源、財政を市民全体で有意義な方向に持っていけたらと思います。
男性	60～64歳	B地区	横田基地の騒音問題もまだ続いています。最近中原地区上空での小型機が低空飛行しています。
男性	60～64歳	E地区	街のコンビニ店、商店、公園、歩道等による放置自転車の管理。モノレール各駅の自転車置場、整備や管理(また有料化にする)
男性	40歳代	D地区	事件事故がなく、緑が多くて自然で、安心して暮らすことのできる武蔵村山市であってほしいです。
男性	70歳以上	B地区	時代の流れと共に人々の考え方も変わってきています。少子高齢化に加えて市内でも畑の減少が目立ち、宅地化されています。都心部に比べ遅れている現状が多摩西武と思います。難しいと思いますが、横田基地の活用、市内途中まででもよいですから、早期モノレールの延長(駅舎)、旧日産土地への企業の誘致を行って、将来に向けた取り組みをしていただきたい。
女性	60～64歳	A地区	交通の便が悪すぎる。
男性	30歳代	C地区	交通渋滞の緩和、信号などの見直しを行ってほしい。特に市内、市外に大型店舗などの施設ができるのは大変便利でよいことだが、それに伴い渋滞が激しくなり、市内を車で移動するのに時間も読めず迷惑です。
女性	40歳代	D地区	市役所の開いている時間を増やして下さい。何か教えていただきたいことがあっても平日のみ、昼以外の7時間ではなかなか電話もできません。また窓口に行くことはなおさら難しいです。できればイオンモールや玉川上水駅に出張所を設けていただきたいと思っています。図書館の開館時間を増やして下さい。原則10～17時ではどれだけの人が利用できるのでしょうか。効率化、費用削減のために民間参入を進めて下さい。あまりにも非効率なことが見受けられます。税金に見合うだけの行政サービスを提供していただけるようになっていただきたいとずっと願ってきましたが、最近は諦めかけています。隣接する市と合併してもらった方が職員の方も市民も皆幸せかもしれません。

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	70歳以上	A地区	市民が懇談し合える場の提供に努力してほしい。
女性	65～69歳	A地区	美しい町作りを早く進めてほしい。たとえば市営本町住宅の移転及び取り壊し、住人は期限がなく住んでいる。親に借受権利があるのに、残った子供達が住み続けている。庭を他人の所まで我が物顔でりようしたり、前面道路まで駐車場にしたり、高い家賃を払っている者とは不公平。管理課は何をしているのですか。身近な所から整備して下さい。不法使用も甚だしい。もっと見回りをして注意すべし。
女性	30歳代	C地区	モノレールが通ってほしいです。
男性	65～69歳	C地区	都市基盤、当市は近隣市町と比較すると、魅力ある市とは特に感じる事柄があるとはいえないが、魅力ある市とすべく鋭意努力していると思われる。そこで都市基盤の中でも回答したように、横田基地周辺の農地を有効活用するのがベストであると考えている。現在、経済産業省においても、植物工場の事例集を作成するなど省でも推奨している事柄でもある。こうしたことからそれらを参考として、本当の土地の有効な活用をし、市の発展あるいは当市はこうした事業をしているんだと、胸を張って行けるのではないのでしょうか。市が活動する時、植物工場事業の推進は今でしょ。勢いある市にしましょう。(参考 植物工場事例の近隣市として小平市、松戸市、岡谷市などがある)
男性	60～64歳	D地区	何をするにも資金(的)が重要であり、その計画の規模が変化すると思います。有限の資金の中で最大の効果が出る計画が重要だと思しますので、優先度の徹底管理をお願いしたい。市内には各分野で優れた専門性を持った方々が多数おられると思うので、市行政に携わる方々はそれらの方々の意見も聞くべきだと思います。現場主義をお願いしたい。(机の上では判らない)。
女性	20歳代	A地区	①イオンモール、ジョイフルホンダができて大変便利になってうれしい。ただ、道が混みすぎて少し困る。②飲みに行ける場所が少なすぎる。飲み屋や食べ物屋をどうにか増やせないものか。③犬の散歩で川の傍を通るんだけど、犬のウンチの始末がなくなってなさすぎる。ゴミ、ポイ捨てが多い。川にもゴミ箱を置けないですか?あといつも雑草を抜いてくれて助かります。ありがとうございます。川の傍に植えてある花がいつもキレイで見えます。花や緑の多い公園を作ってほしいです。④たまにバスを使うんですけど、時間がわかりづらい。
男性	40歳代	D地区	武蔵村山市で生活保護を受けていて、生活福祉課の就労指導員の方が、家族とかに養われていないので命令に従うように言ってきたが、指導・指示は私の自由を尊重し、必要最小限にしていたきたい。
女性	40歳代	D地区	総合センター、ふれあいセンター等名ばかりで前もっての予約や小さい子供だけが遊べるという感覚です。例えば立川市の大山団地には建て替えの時に図書館や児童館が組み込まれ、多くの方が利用しています。羽村市では1つの建物に集約されていて、雨の日などはとても便利です。ひまわり畑もすてきですが、あれだけのスペースがあり、ある程度の高さも有効活用できるのであれば、多摩センターにある屋内プールのように年間を通して利用できる空間を作っていただきたいです。せっかく武蔵村山市に住んでいるのだから、他市ではなく自市で過ごせるとよいと思います。
女性	40歳代	D地区	先程も書きましたが、以前は青梅に住んでいましたが、とにかく公園がどこもきれいで、固定遊具が新しい物に次々に替えられていて、ボランティアの方々が草むしりをして下さって、どの年代の方がいつ行ってもきれいな公園を維持していました。とにかく子育て、教育に関して市がバックアップして下さって学力も向上していました。まず公園を1つずつ見直していただきたいと思います。公園がすてきな市は細やかな部分まで気配りが行き届いているという印象を与えたいと思います。そしてすてきな公園で活発に遊ぶことによって学力も向上していくと思います。まずは公園の見直しが第一だと思います。
男性	40歳代	D地区	高齢化が進んでいるので、子育て支援対策を充実し、市の高齢化を抑制し活性化を図っていただきたい。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	40 歳代	D 地区	学校教育の充実。小中一貫校の現状を見過ごすことなく、反省をし、今後に期待させるものを明確化してほしい。伝統というものを作り、子供達が自分の学校を誇り堅く思っ過ごせるようにしてほしい。武蔵村山は特に特産物があるわけでもない、企業がある所でもない、観光する所があるわけでもない、学校教育に力を入れてほしい。
女性	30 歳代	D 地区	市内にある公園の遊具が古いのが気になります。もう少しアスレチック的な遊具が増えると子供も楽しめると思いますので、ご検討のほど、よろしく願いいたします。(欲を言うと、水遊びもできたら)
女性	30 歳代	C 地区	モノレール延伸したがっている様子ですが、村山まで延びても駅までバスが出る駐車場がなければモノレール駅まで行けない。「多摩センター←→村山」ってのも中途半端。「町田←→所沢」くらいまで延びてくれば利用価値も上がりそう。ついでに西武拝島線が八王子まで乗り入れてくれるといろいろ楽で便利。イオンができて住宅も増えたけど、それ以前からある市役所や病院、図書館の駐車場はそのままなので、車が止めずらなくなった。大きな中央図書館がほしい。東大和市とかのも利用できるようだけど、そっちには行く用事がないので、ちゃんと自分の住んでいる市内に大きな図書館がほしい。
女性	50 歳代	D 地区	行政運営、特に生活福祉課の対応が悪かった。異動した場合は、「ホウレン草」を忘れずに次の人に引き継ぎをやってほしい。まごつくと時間がかかるので。窓寄りに座っている人も動いて。
女性	20 歳代	D 地区	防犯対策の強化を徹底し、住みやすい町づくりにしてほしい。
女性	50 歳代	D 地区	村山団地の跡地はどうなっているのか？ ひまわりを去年に見に行ったがひどかった。(団地跡)必要なのか？ 税金の無駄。日産の跡地に老人施設を。老人施設もっと増やしてほしい。チョコバスをもっと増やしてほしい。かたくりの湯が遠い。日産の跡地に温泉施設を、スポーツ施設を。自転車の道路を設備してほしい。告別式の施設が遠すぎる。増やしてほしい。道の曲がり角の植木は自転車で見えにくいので、大きいものは植えないで。
男性	40 歳代	D 地区	空地のコンクリートの建物から子供が飛び下りて危ないので、何とかならないか。市に電話で相談したが、全く何も対応しようとしなかった。やる気なしの男性職員でした。結局、土地の所有者に言って立入禁止の柵で囲ってもらった。市民からの問い合わせに誠実に対応してもらいたい。せめて現状を見に来て危険かどうか確認ぐらいするべき。
女性	40 歳代	E 地区	緑が丘 1115 棟では自治会に強制加入させている。自治会活動加入は本市では強制させているのでしょうか？ 今すぐ改善を求めます。
女性	40 歳代	D 地区	子の所得制限をなくしてほしい。大南のブルドックの一時停止が分かりにくいので信号機をつけてほしい。立川の駐輪場(武蔵砂川駅)の定期が立川市の方とすぐく値段が違うのでどうにかしてほしい。税金を納めているのに所得制限が多すぎるので納得いかない。
女性	30 歳代	C 地区	武蔵村山のことを何も知らないことがわかりました。
女性	70 歳以上	D 地区	犬の公害で困ります。フン、尿の臭いです。また犬の抜け毛を敷地境界に置き、風が吸うと飛んできます。口の中に入りそうです。ゴミの袋に入れて出せばと思います。また犬の放し飼いも危険です。ブロックもいたずらされ、いまだにポロポロと落ち、浴室の基礎までが穴があき困っています。住宅地域に枯葉剤を散布されるので植木も枯れます。健康被害防止に力を入れることが望ましいと思います。東玄関のポーチに犬のフンを置き、その上に氷が載せてありました。危険です。日常生活が1日でも安心して住むことのできる、暴力的な行動や振舞いのない町が望ましいです。ゴミの件でも苦しんでいます。
男性	50 歳代	D 地区	市政運営の「見える化」を望みます。
女性	60～64 歳	D 地区	街路樹の土で野菜を作っている人がいるが、年々エスカレートしている。市道を庭として使っているようで洗濯物も干したりしていて美観が損なわれる。市道を駐車場のごとく使用、仕事をしています。

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	40 歳代	E 地区	緑豊かで野菜の直売所もある、のんびりとした武蔵村山市が自治体破綻しないように願っています。
男性	65～69 歳	E 地区	一市民として計画実現に向けて協力できることは数多く、協力をしていきたいと思います。
女性	60～64 歳	D 地区	住みよい町づくりのためにこのようなきめ細かい調査を実施して下さりありがとうございます。これからますます高齢社会に移行し医療費が膨らみ財政も厳しくなるでしょう。まずは自らの足元から「健康を維持していくこと」そして誰もが自分らしく成長できるように行政は各方面から環境を整えていくことが大切だと思います。また若者が活躍できる場（町の活性化）を多く設けることも大切と考えます。村山は空気よし水よし緑も多く人々も親切です。誇りある町にしていきたいでしょう。
女性	50 歳代	D 地区	もっと緑を増やしてほしいと思います。
女性	40 歳代	D 地区	1970年市制施行の際、山形県に村山市が既存するため武蔵村山市としたとありますが、東京都の中でも知名度が低く、村山というのだいたい東村山と勘違いされますね。（東村山が有名すぎる）緑豊かな武蔵野という意味も込め「みどり野市」に名称を変更してみてもいい。そう簡単なことではないのですが、郵便物などでも東村山と間違えて書いてあることもあります。自然が豊かな武蔵村山にぴったりではないでしょうか。問に対する回答にはなっていないかもしれませんが、自由意見ということで書かせていただきました。
男性	30 歳代	A 地区	イオンからかたくりの湯へ向かう時、新青梅街道を通過するのに渋滞すぎです。中学生の下校時には横断するため左折できないので直進もできない上に青信号は20秒間しかない。左折・直進・右折の3車線にするか、秒数を増やしてほしいです。土日祝日は交通量が多く進めず、住居人しか通れない道に抜け道として使われ、問題です。都道かもしれませんが改善よろしく願いいたします。
女性	40 歳代	A 地区	広い畑で野菜を作っている所がだんだん少なくなっている。畑はみんな住宅が建ってしまう。自然がなくなっていることが残念。村山は緑が多いことが自慢だと思う。土地があるからといって、何でも高層マンションやら住宅を作ればよいということではないだろう。村山の都内化には絶対反対。都市部のように住宅密集になれば、夏の夜も温度が下がらず寝苦しい日々が続くし、水不足も心配になる。木をたくさん切るなら水がなくなるわけだ。人口増やして国からたくさん金貰おうなんていう考え方には大反対。村山は村山の予算内でできることをやればよい。都、行政に頼らずに村山は一步步前進でよいと思う。これ以上緑つぶすの反対。畑をつぶすな。住宅いらない。住宅建てないでもっとよい使い道考えたらどうか。マンション、住宅建てるより所沢航空公園並みの大きな公園作ったほうがよい。緑や畑、昔からの風景を壊そうとしているこの村山に気持ちよく住める訳ないだろう。自然豊富な所へ異動するしかなくなる。金に目を奪われるな。進むべき道を間違えな。自然を破壊するのは許せない、許さない。地震が起きた時に備えを十分にしたいし、強い市を作っていくことを考えてもらいたい。自然を壊したり開拓することは、水不足、地震をおこすことにつながる。自分で自分の首を絞めていること。「脱、都市化」
女性	60～64 歳	C 地区	モノレールが早期実現し、いろんな線と連携し便利になることがこの町の一番の希望になるのではないのでしょうか。畑がごとくなくなり、本村の家々も庭しか残らない状態。税制等の問題もありますが、緑豊かなそして地元の野菜が食べられる環境をこれ以上減少しないしてほしいです。病気にならないため寝たきりにならないために予防できる運動、食べ物等生活習慣から学ぶことを市の仕事として何かやってほしい。新村山病院の医師のもっと向上を。
女性	60～64 歳	A 地区	市の財政が豊かでないのに生活保護者がたくさんいる。もっとよく調べて適正な受給をお願いしたい。一生懸命に働いて税金を払っている身にもなってほしい。年収が少なくても市都民税や健康保険税も高い。必要なものには使わなくてはならないが、無駄なものはよく考えて検討してほしい。

第3章 市民意識調査の集計結果

性別	年齢別	地区	自由意見
女性	65～69 歳	D 地区	武蔵村山に来てかなりの年数になりますが何も変わりません。市の職員を外部からも入れて下さい。地元の人ばかり優先していると思えません。他からの人材や地方の意見など参考に取り入れていかなければ、いつまで経っても武蔵村山という地名すらあまり知られないままだと思います。村山団地、大南地区の建て売りによる人数は増えていると考えられるのに店舗が減ってゆくというのはどういうことでしょうか。市のはずれに総合体育館を作るなど考えられません。市の中央に作れば利用価値もあると思いますが、車を持ってない、乗れない人には利用したくても遠すぎます。市民平等に使用できる場所に作っていただきたいかっと思います。団地の空地、大南公園のプール後など満足できる価値あることに使って下さるよう望みます。
男性	30 歳代	B 地区	市の北西部にスーパーマーケットの誘致をしてほしい。隣町のスーパーは利用しにくい。
女性	30 歳代	B 地区	あまり協力できずにすみません。村山にはずっと住んでいますが、正直、施設を利用したこともあまりありません。住むのにはいい場所だと思いますが、一人暮らしの賃貸物件がもっとほしいです。
男性	20 歳代	A 地区	かたくりの湯は市財であるそうですが、去年 10 月からリニューアルしたとはいえ、予算などの都合などから不具合がある部分が多くあり、またそれは法律の上で引っ掛かる部分もあると聞きました。市財に対してその管理は民間に委託していますが、所有者は市であることには変わりありません。これに対して市はその市財の修理などにより力を入れていくべきではないかと思います。
男性	30 歳代	B 地区	一体感や愛着のある町づくりのために出来ることを考える。わかりやすく、話題にしやすいものを考える。そして、市に目を向けさせた所で少しずつ各問題を提起していく。導入が大切であると思う。がんばって下さい。
男性	40 歳代	D 地区	税収を増やす事ばかり考えず、市政で収益を上げる策を考えて
男性	30 歳代	C 地区	車道は狭い所もありますが比較的問題もなく使っています。一方、自転車や歩行者の通るところが狭く、できれば広くしていただきたいです。物騒な世の中ですので、何を置いても安心して生活できる街を希望します。(地域の目が厳しい街)
女性	30 歳代	D 地区	現在、学園に住んでいます。立川駅まで行くのにバスで 30 分近くかかり、モノレール駅桜街道まで行くのにも不便に思います。近くに駅ができると助かります。
女性	30 歳代	A 地区	例えば子どもの学力向上といっても授業時間数を増やすだけで解決できるとは思いません。図書館や公園の充実等、幼い頃からの環境、成長過程でどのような教育者とであえるかなど、ハード面はもちろん重要ですが。ソフト面、目に見えない部分を成長させることが非常に大切と考えております。子育て、高齢者と分けるのではなく、豊かな子供次代を過ごした人達がやがて青年になり、このまちの未来を担い、年を重ねてからは彩り深い人生を送れるような、そんなまちになっていくことを心より期待しています。
男性	40 歳代	A 地区	公園があまりにも少ない、またあったとしても、夜誰かが汚してしまうのかすべり台にコンビニ弁当がばらまかれていたり、子供ががっかりすることが多い。治安が悪いのでは、心配になります。市役所近くの小学生は知らない渡しにも気軽にあいさつしてくれて引っ越してきて良かったと感心していたけれど、差がありすぎて。こわい。関係ないことですみません。
女性	40 歳代	A 地区	・モノレールの早期延伸 ・図書館の充実(誰もが行きたくするような、そこで 1 日過ごせるくらいの充実した図書館が一つあるといいと思います。)
女性	40 歳代	A 地区	①上北台駅を利用したくても、そこに行くまでの交通手段がないのでモノレールが延伸しても利用できない。 ②プロパンガスは料金が高いのでぜひ東大和市の様に都市ガスにして欲しい。村山団地だけ安い料金なのはずるい。 ③村山団地は低所得者が多く老人も多いので、市民税の収入は少ないのに、福祉などの出費が多い。ものすごく不公平感を感じます。

性別	年齢別	地区	自由意見
男性	50 歳代	C 地区	日産村山工場の跡地利用について、全面利用包括的な誘致が困難であれば分割化する等金額面でも大幅に譲歩し、柔軟な対応により、優良な企業を一刻も早く誘致させて、大量の雇用確保や税収の確保に努めて、高額な住民税にみあった行政サービスの実現が急務である。その為にもモノレール延長、道路整備の充実、公共駐車場の確保、拡充等交通インフラの整備は必須条件である。
女性	20 歳代	A 地区	市に電車が走っていないという現状と、買物先が少ない。 不便さはやはり改善していくべき点である。高齢者が多いということだけに重点を置かず、これからの世代を担う若者にとって、魅力的である街づくりをしていくことも重要ではないだろうか。また、教育現場では、いじめや、犯罪者を生み出さないために、道徳教育にも力を入れてほしいと思う。単に水準をあげるという点に執着したりせず、豊かで伸びやかな学校教育を行ってほしいと期待する。
女性	50 歳代	A 地区	市の放送(防災等のお知らせ)が良く聞こえません。 市の HP 等でリアルタイムな情報を UP して欲しいです。
男性	65～69 歳	D 地区	子供や高齢者が身体を気楽に動かせる費用の比較的にかからない設備を作って欲しい。 例えばピッチングボード、シュートボード、壁打ちボード
男性	30 歳代	D 地区	バスの料金が横浜、川崎、都内のように一律になるとよい。交通が不便なだけに、バスは命。
女性	20 歳代	C 地区	無駄なく市民のお金を使っていただける事を願っています。
女性	50 歳代	B 地区	・子供が大きくなってしまったので、子育てに関する要望はありません。 ・淋しいのは、商店街がないこと。(無駄使いしないからいいのかもしれませんが) ・川や水路の護岸工事は絶対しないでください。整備程度なら可能ですが、土、草、木、石ころがあつてこそ魚や野鳥が住めるので、極力手を加えないで頂きたいです。 ・市民体育館東側の水路もできるだけ自然に近いものにしていただけたら嬉しいです。 よろしくお願いします。
男性	40 歳代	D 地区	・武蔵村山市に必要なのは、悲願の駅である。最優先で進めてほしい課題と思っています。 ・美しい大南公園を作ってください。
男性	65～69 歳	A 地区	最後の設問は見開きページにすべきだったですね。めんどうなのでコメントなしにします。
男性	60～64 歳	D 地区	村山団地の入居者の実態を調査し把握してほしい。(何故に入居者の多くが高級車に乗ってられるのか)大南公園のホームレスを調査確認してほしい。市は何故にホームレスを野放しにしておくのか。幼児の環境に良くない。
男性	40 歳代	D 地区	公務員、市職員にレベルの低い仕事をしないでほしい。仕事探しの仕事をしないでほしい。プライドを持った消防士みたいに仕事をしてほしい。きちっとした営業力を持ってほしい。民間に研修に出てみるのも。

武蔵村山市民意識調査 御協力をお願い

日頃、市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、現在、将来都市像「人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま」の実現に向け、武蔵村山市第四次長期総合計画に基づき、施策・事業を行っているところです。この第四次長期総合計画の前期基本計画が平成27年度をもって終了することから、これまでの取組の成果等を踏まえながら、平成32年度を目標年度とした後期基本計画を策定します。

また、これと並行して、男女共同参画社会形成の促進に係る施策を具体的に展開していくための指針を示す、第三次男女共同参画計画の策定も進めています。

これらの策定にあたっては、市民の皆様のニーズを的確に捉えた施策の展開を図る必要があるため、「市民意識調査」を行い、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行いたいと考えております。

そこで、市内にお住まいの18歳以上の方2,000名を無作為に選ばせていただき、市民意識調査に御協力をお願いしています。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

質問の量も多く、答えにくい部分もあるかと存じますが、是非、最後まで御回答くださいますようお願い申し上げます。

平成25年7月

武蔵村山市長 藤 野 勝

《御記入にあたってのお願い》

- 1 アンケートは、必ず宛て名にある御本人が御回答ください。
- 2 各項目について、感じたままをお答えください。
- 3 回答項目のうち、当てはまると思われるものの番号に○を付けてください。
- 4 ○の数は、(○は1つ)(○は3つまで)といった()内の指定に合わせて付けてください。
- 5 「その他」に当てはまる場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。

調査票を御記入いただけましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒（切手は不要）で、

7月21日（日）までに郵便ポストに投稿してください。住所・名前はお書きにならないで結構です。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問合せ先】

武蔵村山市 企画財務部 企画政策課

電話：042（565）1111（内線372）

調査票

1. あなた自身について

問1 あなたの性別について（○は1つ）

1 男

2 女

問2 あなたの年齢について（○は1つ）

1 10歳代

5 50歳代

2 20歳代

6 60歳～64歳

3 30歳代

7 65歳～69歳

4 40歳代

8 70歳以上

問3 武蔵村山市内での居住年数について（○は1つ）

1 2年未満

4 10年以上20年未満

2 2年以上5年未満

5 20年以上30年未満

3 5年以上10年未満

6 30年以上

問4 あなたがお住まいの地区について（○は1つ）

1 A地区(中藤・神明・中央・本町)

4 D地区(榎・学園・大南)

2 B地区(三ツ木・岸・中原)

5 E地区(緑が丘)

3 C地区(残堀・伊奈平・三ツ藤)

問5 あなたのお住まいについて（○は1つ）

1 戸建て住宅(持ち家)

5 公営住宅(都営・市営)

2 戸建て住宅(賃貸)

6 社宅・官舎・寮など

3 マンション等集合住宅(持ち家)

7 その他()

4 マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)

問6 あなたは結婚していますか。（○は1つ）

1 未婚

2 既婚(配偶者あり)

3 既婚(離別・死別)

問7 あなたを含む同居している家族の人数は。(○は1つ)

1 1人	3 3人	5 5人
2 2人	4 4人	6 6人以上

問8 あなたが現在同居している家族の方は。(○は1つ)

1 ひとり暮らし	4 親と子どもと祖父母(3世代)
2 夫婦だけ	5 その他()
3 親と子ども(2世代)	

問9 あなたの職業について(○は1つ)

※ 「6」から「8」と回答した方は、次頁の問10にお進み下さい。

1 会社員	5 学生
2 自営業・自由業	6 専業主婦(夫)
3 公務員(教員・団体職員含む)	7 無職
4 パート・アルバイト 等の臨時雇用	8 その他()

問9-2 問9で「1」から「5」と回答した方にお聞きます。あなたの職場(通学地)は。(○は1つ)

※ 「1」と回答した方は、次頁の問10にお進み下さい。

1 自宅	4 東京都23区内
2 武蔵村山市内(自宅を除く)	5 その他()
3 東京都多摩地区内(武蔵村山市を除く)	

問9-3 問9-2で「2」から「5」と回答した方にお聞きます。職場(通学地)への主な交通手段は。

(○は1つ)

※ 「2」から「7」と回答した方は、次頁の問10にお進み下さい。

1 鉄道・モノレール	4 徒歩	7 自家用車
2 路線バス	5 自転車	
3 市内循環バス	6 バイク・原付(原動機付自転車)	

問9-4 問9-3で「1」と回答した方にお聞きます。最寄駅までの交通手段は。(○は1つ)

1 徒歩	4 自家用車	7 その他()
2 自転車	5 路線バス	
3 バイク・原付(原動機付自転車)	6 市内循環バス	

【結婚している方のみお答えください】

問 10 あなたの配偶者のご職業は次のどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 会社員 | 5 学生 |
| 2 自営業・自由業 | 6 専業主婦(夫) |
| 3 公務員(教員・団体職員含む) | 7 無職 |
| 4 パート・アルバイト等の臨時雇用 | 8 その他() |

2. 武蔵村山市に住んで感じたこと

問 11 武蔵村山市は住みやすいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 11-2 問 11 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。その理由は。(○は2つまで)

- | |
|-----------------------|
| 1 家や土地を持っているから |
| 2 隣近所の人間関係がよいから |
| 3 地域に愛着があるから |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよいから |
| 5 市に発展性があり、将来に期待できるから |
| 6 市のサービスがよいから |
| 7 緑が多く、自然環境がよいから |
| 8 子育てをする環境がよいから |
| 9 高齢者・障害者にも生活しやすいから |
| 10 その他() |

問 11-3 問 11 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。その理由は。(○は2つまで)

- | |
|------------------------|
| 1 借家・借地だから |
| 2 隣近所の人間関係がうまくいかないから |
| 3 地域に愛着がないから |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよいから |
| 5 市に発展性がなく、将来に期待できないから |
| 6 市のサービスがよいから |
| 7 自然環境がよいから |
| 8 子育てをする環境がよいから |
| 9 高齢者・障害者には生活しにくいから |
| 10 その他() |

問 12 あなたの暮らしをとりまく身近な生活環境
(1)～(25)について、どのように感じていますか。(〇はそれぞれ1つ)

		満 足 し て い る	ど ち ら か と い え ば 満 足	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満 で あ る
安全さ	(1) 地震・火災などからの安全さ	1	2	3	4	5
	(2) 道路・交通の安全さ	1	2	3	4	5
	(3) 犯罪・風紀などの防犯	1	2	3	4	5
	(4) 風水害などへの対策	1	2	3	4	5
便利さ	(5) 日常の交通の便利さ	1	2	3	4	5
	(6) 日常の買物の便利さ	1	2	3	4	5
快適さ	(7) 公園や緑地の状況	1	2	3	4	5
	(8) 子どもの遊び場の状況	1	2	3	4	5
	(9) 公害(騒音・振動・悪臭など)への対策	1	2	3	4	5
	(10) ごみ処理の状況	1	2	3	4	5
	(11) 道路の整備状況	1	2	3	4	5
保健・医療	(12) 病気になったときの医療機関	1	2	3	4	5
	(13) 生活習慣病の検診などの保健事業	1	2	3	4	5
	(14) 休日・夜間などの救急診察	1	2	3	4	5
教育・福祉	(15) 子どもの教育施設や福祉施設	1	2	3	4	5
	(16) 教養を高める機会	1	2	3	4	5
	(17) スポーツ・レクリエーション活動の場や機会	1	2	3	4	5
	(18) 保育サービスなどの子育て環境	1	2	3	4	5
	(19) 高齢者や障害者への福祉サービスや施設	1	2	3	4	5
行政サービス	(20) 市報やホームページなどの広報	1	2	3	4	5
	(21) 市長への手紙など市へ要望を伝える方法	1	2	3	4	5
	(22) 市役所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(23) 情報公開などの開かれた市政	1	2	3	4	5
	(24) 女性をとりまく環境	1	2	3	4	5
	(25) 市民参加・市民協働	1	2	3	4	5

3. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

3-1 市民が自ら考え行動するまちづくり

コミュニティ

問 13 あなたは、地域の自治会は重要だと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 自治会はとても重要である | 4 自治会はあまり重要でない |
| 2 自治会はどちらかといえば重要である | 5 自治会はまったく重要でない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 14 あなたは、地域の自治会に加入していますか。

(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1 自治会に加入している | 2 自治会に加入していない | 3 わからない |
|--------------|---------------|---------|

問 14-2 問 14 で「2」と回答した方にお聞きます。自治会に加入していない理由は。

(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 仕事や子育てなどで忙しく時間がない | 6 いずれ役員等を務めることになり面倒である |
| 2 自治会に関心がない | 7 近い将来、転居や市外への転出が予想される |
| 3 自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない | 8 自治会が何を行っている組織なのかわからない |
| 4 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 9 加入の仕方がわからない |
| 5 加入者とうまく打ち解けることができない | 10 会費を負担したくない |
| | 11 その他 () |

パートナーシップ

問 15 あなたは、市政に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。

(○は2つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 市報、広報誌 | 6 ポスター・掲示板 |
| 2 ホームページ | 7 新聞などのマスメディア |
| 3 フェイスブック・ツイッター | 8 市で発行しているその他の印刷物 |
| 4 携帯電話・市政情報サービスメール | 9 その他 () |
| 5 回覧板 | 10 特に情報を得たいと思わない |

問 16 あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。

(○は1つ)

- 1 パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる
- 2 行政の計画策定の段階から委員として参加する
- 3 自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す
- 4 自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う
- 5 自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す
- 6 行政の活動に対して監視・評価を行う
- 7 市民参加は難しい
- 8 その他 ()

問 17 あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 | 11 国際協力の活動 |
| 2 社会教育の推進を図る活動 | 12 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 |
| 3 まちづくりの推進を図る活動 | 13 子どもの健全育成を図る活動 |
| 4 観光の振興を図る活動 | 14 情報化社会の発展を図る活動 |
| 5 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 | 15 科学技術の振興を図る活動 |
| 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
を図る活動 | 16 経済活動の活性化を図る活動 |
| 7 環境の保全を図る活動 | 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援
する活動 |
| 8 災害救援活動 | 18 消費者の保護を図る活動 |
| 9 地域安全活動 | 19 その他 () |
| 10 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 | 20 特になし |

3-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

安全安心

問 18 首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。

(○は2つまで)

- | | |
|------------------|------------|
| 1 地震による建物等の倒壊・損壊 | 6 情報の不足・混乱 |
| 2 避難場所の確保 | 7 食料の確保 |
| 3 家族の安否確認 | 8 医療の確保 |
| 4 道路・交通機関の混乱 | 9 帰宅困難者対策 |
| 5 ライフラインの停止 | 10 その他 () |

問 19 あなたは、災害時に避難する場所を知っていますか。

(○は1つ)

1 知っている

2 知らない

問 20 あなたは、日頃、防災の準備をしていますか。

(○は1つ)

1 準備をしている

2 特に準備はしていない

問 20-2 問 20 で「1」と回答した方にお聞きます。どのような準備を行っていますか。

(○はいくつでも)

1 消火器の設置

5 身内との連絡方法の確立

2 家具などの転倒防止

6 避難経路や避難場所の確認

3 水や食料の備蓄

7 防災訓練などへの参加

4 非常用持ち出し用品の確保

8 その他()

問 21 あなたは、本市が災害に強いまちづくりに取り組んでいると思いますか。

(○は1つ)

1 そう思う

4 どちらかといえばそう思わない

2 どちらかといえばそう思う

5 思わない

3 どちらともいえない

6 わからない

問 22 災害に強いまちづくりのため、本市は、今後どのように取り組んでいく必要があると思いますか。

(○は3つまで)

1 公共施設の耐震化

8 地域コミュニティの充実

2 上下水道施設の耐震化

9 必要物資の備蓄

3 避難場所や避難路の充実

10 各種訓練等の充実

4 住宅の耐震化への支援

11 防災意識啓発の強化

5 消防救急・救護体制の強化

12 周辺自治体等との相互応援体制の確立

6 河川の整備

13 災害時要援護者対策の強化

7 情報連絡体制の充実

14 その他()

健康・医療

問 23 あなたは、市が行っている健康診断や健康教室を利用したことがありますか。

(○は2つまで)

- | | |
|--|---------------------|
| 1 市の健康診断を受けたことがある | 4 知っているが利用したことがない |
| 2 市の健康診断を受けたことはないが、職場の健康診断や人間ドッグを定期的に受けている | 5 以前は利用したが今は利用していない |
| 3 市の健康教室に通ったことがある | 6 健康診断や健康教室を知らない |
| | 7 その他 () |

問 24 あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 24-2 問 24 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きます。その理由は。

(○は2つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから |
| 2 いつも満杯で利用しにくいから |
| 3 施設が遠い、又は、交通の便が不便だから |
| 4 利用時間帯が限られていて利用しにくいから |
| 5 利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから |
| 6 施設についての情報提供が少ないから |
| 7 施設の利用方法がわからないから |
| 8 その他 () |

問 25 あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。

(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

問 26 あなたは、ジェネリック医薬品（後発医薬品）（※）を使ったことがありますか。

（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1 使ったことがある | 2 使ったことがない | 3 わからない |
|------------|------------|---------|

※ ジェネリック医薬品：厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた医薬品です。先発医薬品の特許期間満了後に、有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同じ医薬品として新たに申請され、製造・販売される安価な医薬品です。

問 26-2 問 26 で「2」と回答した方にお聞きします。ジェネリック医薬品を使用しなかった理由は。

（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 医師や薬剤師に勧められなかった | 4 ジェネリック医薬品を知らなかった |
| 2 薬局で取り扱っていなかった | 5 わからない |
| 3 効能や品質に不安があった | |

問 27 市では、ジェネリック医薬品の普及促進に努めていますが、あなたは、これについてどう思いますか。

（○は1つ）

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1 医療費（薬代）の抑制に効果的だと思うため、今後も利用していきたい | 3 その他（ ） |
| 2 品質等に不安があるため、あまり利用したくはない | 4 わからない |

問 28 現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、次の社会保障制度（年金・医療・介護保険など）の今後についてどのように思いますか。（○は1つ）

- | |
|---|
| 1 受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない |
| 2 個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい。 |
| 3 その他（ ） |
| 4 わからない |

問 29 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない |
| 2 全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない |
| 3 現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない |
| 4 その他（ ） |
| 5 わからない |

福 祉

問 30 本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 高齢者に配慮した住宅の確保・整備
- 3 高齢者の雇用・就業機会の確保
- 4 高齢者に対する医療制度の充実
- 5 寝たきりや認知症にならないための予防対策
- 6 寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策
- 7 ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実
- 8 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 9 生涯を通じた健康づくりの推進
- 10 高齢者と若い世代との交流の促進
- 11 その他 ()

問 31 今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと思いますか。(○は3つまで)

- 1 誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実
- 3 障害者の雇用・就業機会の確保
- 4 職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実
- 5 災害時の障害者救援対策や、緊急時の対応の充実
- 6 障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実
- 7 就労施設等への支援や、障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設
- 8 点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実
- 9 障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発
- 10 相談窓口や、障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実
- 11 スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実
- 12 ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援
- 13 グループホーム・ケアホームなどの施設の整備
- 14 障害者に対する経済的な支援
- 15 その他 ()

問 32 あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。

(○は2つまで)

- 1 公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保
- 2 ファミリー・サポート・センター (※) の充実
- 3 病後児保育(※)の充実
- 4 子育てに悩む親への相談業務の充実
- 5 保健所・医療機関などについての情報提供
- 6 保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実
- 7 児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実
- 8 子育てサークルなど、自主グループの育成
- 9 男性の育児参加を進める活動の促進
- 10 子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
- 11 その他 ()

※ ファミリー・サポート・センター：働く人々の仕事と子育てを支援するために、地域において育児の援助を受けた人で行いたい人を会員として登録し、援助活動の調整等の事業を行うもの。

※ 病後児保育：子どもが病気の回復期にあり、まだ保育所での集団保育が難しいと思われる場合で、かつ保護者の就労などの理由により家庭保育ができない場合に、専用の保育室で看護師等の専門スタッフが預かるサービス

問 33 あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。

(○は2つまで)

- 1 経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)
- 2 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進
- 3 仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援
- 4 出産・子育て退職後の再就職支援
- 5 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
- 6 小児医療体制整備など子どもの健康支援
- 7 妊娠・出産の支援体制の充実
- 8 公的な男女の出会い場を設ける
- 9 その他 ()
- 10 わからない

暮らし

問 34 消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実
- 2 商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化
- 3 消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化
- 4 消費者自身が主体的に活動できる場の提供
- 5 ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供
- 6 消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催
- 7 その他 ()

3-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

問 35 あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、(人権が) 尊重されていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 35-2 問 35 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。そう思わない理由。 ←

(○は2つまで)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 男女(性)差別 | 8 学歴に対する差別 |
| 2 子どもへのいじめ・虐待 | 9 思想・信条に基づく差別 |
| 3 高齢者への差別 | 10 職業に対する差別 |
| 4 障害者への差別 | 11 インターネットによる人権侵害 |
| 5 外国人への差別 | 12 刑を終えて出所した人への差別 |
| 6 感染者等に対する差別 | 13 犯罪被害者等への差別 |
| 7 プライベートの侵害 | 14 その他の差別() |

男女共同参画

問 36 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ 1 つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア 家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
イ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
ウ 職場	1	2	3	4	5	6
エ 政治の場	1	2	3	4	5	6
オ 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念や慣習など	1	2	3	4	5	6
キ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体	1	2	3	4	5	6

問 37 あなたは、次にあげる言葉について、見たか聞いたかしたことがありますか。

(○はそれぞれ 1 つ)

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
ア 男女共同参画社会	1	2	3
イ 男女雇用機会均等法	1	2	3
ウ 育児・介護休業法	1	2	3
エ ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
オ ジェンダー (社会的性別)	1	2	3
カ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
キ ドメスティック・バイオレンス (DV)	1	2	3
ク デートDV	1	2	3

【配偶者と同居している方のみお答えください】

問 38 あなたの家庭では、次のことがらを主にどなたが行っていますか。

(○はそれぞれ1つ)	主に自分	自分と配偶者が同じくらい	主に配偶者	家族(自分と配偶者以外)	家族以外の人に依頼	あてはまらない
ア 炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6
イ 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
ウ 親や家族の介護	1	2	3	4	5	6
エ 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6
オ 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6

問 39 あなたは、女性が結婚・出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実
- 3 採用や昇進・昇給など職場における男女平等の確保
- 4 仕事に対する相談や支援体制を充実させること
- 5 家族の理解や家事・育児などへの参加
- 6 女性自身が働き続けることに対する意識を持つこと
- 7 その他 ()
- 8 必要なことはない

問 40 あなたは、結婚や出産などを機会に退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 フレックスタイム制の導入や労働時間の短縮、育児休業などの制度の充実
- 3 中途退職者の採用や昇進・昇給など職場における男女平等の確保
- 4 再就職に対する相談や支援体制を充実させること
- 5 家族の理解や家事・育児などへの参加
- 6 女性自身が再就職に対する意識を持つこと
- 7 その他 ()
- 8 必要なことはない

【現在働いている方のみお答えください】

問 41 あなたの職場では次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が優遇されている	平等	女性の方が優遇されている	わからない
ア 採用時の条件	1	2	3	4
イ 賃金	1	2	3	4
ウ 昇進や昇格	1	2	3	4
エ 能力評価	1	2	3	4
オ 仕事の内容	1	2	3	4
カ 研修の機会や内容	1	2	3	4
キ 育児休業、介護休業の取得	1	2	3	4

問 42 あなたは、育児休業・介護休業・介護休暇・子の看護休暇を取得したことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)

	取得したことがある	取得したことがない (取得したことがない理由を下の欄から選んでください)			在職中に育児・介護をしたことがないので、取得する必要がなかった	働いたことがない
		職場にそのような休業・休暇の制度がなかった	在職中に育児・介護をしたが、休業・休暇を取得しなくても対応できた	休業・休暇を取得したかったが、周囲の事情などにより取得できなかった		
ア 育児休業 (育児のために一定期間休業できる制度)	1	2	3	4	5	6
イ 介護休業 (介護のために一定期間休業できる制度)	1	2	3	4	5	6
ウ 介護休暇 (短期の介護のための年5日程度の休暇)	1	2	3	4	5	6
エ 子の看護休暇 (病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇)	1	2	3	4	5	6

問 43 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きします。あなたの希望に最も近いものはどれですか。

（○は1つ）

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 8 わからない

問 43-2 あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。

（○は1つ）

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない

問 44 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV。配偶者などからの暴力。）について、どう思いますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

（○はいくつでも）

- 1 DVは人権を侵害する行為である
- 2 どんな理由があっても暴力はふるうべきではない
- 3 暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある
- 4 精神的暴力はDVではない
- 5 暴力をふるう相手とは別れたらいい
- 6 暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対応が必要な問題だ
- 7 夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである
- 8 その他()
- 9 わからない

問 45 あなたはこれまでに、あなたの配偶者などから次のような行為をされたことがありますか。

(○はそれぞれ 1 つ)

	何度もあった	1、2 度あった	まったくない
ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ 精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
ウ いやがっているのに、性的な行為を強要された	1	2	3
エ 必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた	1	2	3

問 46 問 45 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(○は 1 つ)

1 相談した	2 相談したかったが、できなかった	3 相談しようとは思わなかった
--------	-------------------	-----------------

問 46-2 問 46 で「1」と回答した方にお聞きします。その相談相手は。

(○はいくつでも)

1 家族・親戚	5 市の相談窓口・電話相談など	9 民間の相談機関
2 友人・知人	6 市以外の公的機関	10 その他 ()
3 警察	7 弁護士	
4 人権擁護委員	8 医師	

問 46-3 問 46 で「2」又は「3」と回答した方にお聞きします。その理由は。

(○は 3 つまで)

1 誰に相談したらよいかわからなかったから	7 世間体が悪いから
2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから	8 他人を巻き込みたくないから
3 相談しても無駄だと思ったから	9 思い出したくないから
4 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから	10 自分に悪いところがあると思ったから
5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをと思ったから	11 相談するほどのことではないと思ったから
6 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから	12 その他 ()

問 47 あなたは配偶者などの間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。
(○はいくつでも)

- 1 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
- 2 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
- 3 地域で、暴力を防止するための研修会やイベントなどを行う
- 4 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
- 5 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
- 6 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
- 7 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
- 8 加害者への罰則を強化する
- 9 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

問 48 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
ア 武蔵村山市第二次男女共同参画計画 ー男女YOU・Iプランー	1	2	3
イ YOU・I フォーラム(男女共同参画講演会)	1	2	3
ウ 男女共同参画センター『ゆーあい』	1	2	3

問 49 市では、男女共同参画推進市民委員会による企画、編集及び発行協力のもと、男女共同参画社会情報誌『YOU・I』を発行しています。あなたは、これまでにこの情報誌を読んだことがありますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 読んだことがある | 2 読んだことはない |
|------------|------------|

問 49-2 問 49 で「2」と回答した方にお聞きします。読んだことがない理由は。

(○はいくつでも)

- 1 情報誌『YOU・I』のことを知らない
- 2 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、どこで配布されているのかがわからない
- 3 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、関心がない
- 4 情報誌『YOU・I』のことは知っているが、読む時間がない
- 5 その他（ ）

問 50 市には男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。『ゆーあい』で行っている次のようなものを利用したことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)	利用したことがある	利用していないが、知っている	知らない
ア 各種講座や講演会	1	2	3
イ 情報・資料コーナー	1	2	3
ウ 女性のなやみごと・生きかた相談	1	2	3
エ 女性のための法律相談	1	2	3

問 51 あなたは、男女共同参画センター『ゆーあい』にどのような事業を期待しますか。

(○はいくつでも)

1 女性相談窓口の充実 2 男性相談窓口の整備 3 男女共同参画に関する情報の収集・提供 4 講座・講演会などの企画・開催 5 就職講座や起業講座などによる女性の就業支援 6 自主的な学習活動・NPO・ボランティアの活動支援 7 男女共同参画リーダーの育成 8 男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実 9 その他 () 10 わからない 11 特になし

問 52 あなたは、男女共同参画社会(※)を実現させるために、社会全体として今後どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 女性が経済力を持つこと 2 男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、就労時間や制度を見直すこと 3 子どものときから家庭や学校で、男女の平等について教えること 4 教育現場での男女平等をすすめること 5 政策決定の場に参画する女性の数を増やすこと 6 身近な地域で、男性が参加できる活動の機会や場を増やすこと 7 男性が女性の社会的地位向上に関して理解を持ち、協力すること 8 女性が問題意識と自覚を持つこと 9 国や地方自治体が男女共同参画について情報を発信し、啓発すること 10 その他 () 11 特に必要なことはない
--

※ 男女共同参画社会 : 性別に関わりなく一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しながら、個性と能力を十分に発揮し、共に参画できる社会

問 53 あなたは、今後、男女共同参画社会を実現させるために、市が今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり
- 2 政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり
- 3 仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり
- 4 ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な男女への支援の充実を図るまちづくり
- 5 人権を尊重しあい、男女平等をすすめるまちづくり
- 6 暴力のないまちづくり
- 7 男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり
- 8 社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり
- 9 市における男女共同参画推進体制の充実
- 10 わからない
- 11 その他 ()

教 育

問 54 あなたは、子どもたちの教育をより一層充実するため、本市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 子どもたちの基礎的な学力の向上 | 9 教職員の研修の充実 |
| 2 子どもたちが相談できる体制づくり | 10 学校施設・設備の充実 |
| 3 子どもたちの体力・健康の向上 | 11 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備 |
| 4 不登校などの子どもへの対応の充実 | 12 休日の活動機会の充実 |
| 5 クラブ活動の充実 | 13 学習の指導者として市民登用 |
| 6 1クラスの児童生徒数の削減 | 14 外国人などとの交流機会の充実 |
| 7 心の教育の充実 | 15 いじめ対策の強化 |
| 8 自然や福祉など体験学習の充実 | 16 その他 () |

問 55 あなたは、生涯学習をより一層充実させるため、本市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する | 7 小・中学校の施設の開放 |
| 2 学習するための施設の充実 | 8 学習相談窓口の充実 |
| 3 講座や教室の内容の充実 | 9 学習の成果を発表する機会の充実 |
| 4 土日や夜間の講座の充実 | 10 異世代交流を促進するような講座の充実 |
| 5 高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実 | 11 学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり |
| 6 祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実 | 12 スポーツ・レクリエーションの機会の充実 |
| | 13 その他 () |

3-4 快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

問 56 あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいと思いますか。

(〇は2つまで)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 戸建住宅など低層の住宅 | 4 積極的な企業立地を図った工業 |
| 2 マンション等の中高層住宅 | 5 生産緑地地区などの農地の保全 |
| 3 店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業 | 6 緑豊かな緑地の保全 |
| | 7 その他 () |

問 57 あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 モノレールの早期延伸 | 8 新しい都市計画道路の整備 |
| 2 バス路線の増加・充実 | 9 身近な生活道路の整備、道路の拡幅 |
| 3 横田飛行場の軍民共同使用 | 10 比較的小規模な公園の整備 (街区公園) |
| 4 自動車道の整備 | 11 比較的大規模な公園の整備 (総合公園) |
| 5 段差解消などバリアフリー化の推進 | 12 雨水排水の整備 |
| 歩道の整備、歩車道の分離 | 13 土地区画整理事業 (※) |
| 6 交通規制などの交通安全対策 | 14 その他 () |
| 7 新青梅街道沿道まちづくりの推進 | |

※ 土地区画整理事業：ある一定の区域（施行地区）において、公共施設（道路・水路・公園等）の整備改善と宅地の利用増進を図るために行われる事業

問 58 あなたのお住まいからどこまでの交通手段を充実させてほしいですか。

(〇は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 駅（駅名： 駅） | 6 村山温泉かたくりの湯 |
| 2 武蔵村山市役所 | 7 医療・福祉施設（施設名： ） |
| 3 緑が丘出張所 | 8 その他の公共施設（施設名： ） |
| 4 市民総合センター | 9 その他 () |
| 5 市民総合体育館 | |

問 59 あなたは、現在、多摩都市モノレールを利用していますか。

(○は1つ)

1 通勤・通学に利用している	5 遊びやレジャー施設へ行くために利用している
2 買物等に利用している	6 その他の利用()
3 医療・福祉施設へ行くために利用している	7 利用していない
4 公共施設へ行くために利用している	

問 60 あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールをどのように利用しますか。

(○は1つ)

1 通勤・通学に利用する	5 遊びやレジャー施設へ行くために利用する
2 買物等に利用する	6 その他の利用()
3 医療・福祉施設へ行くために利用する	7 利用しない
4 公共施設へ行くために利用する	

問 61 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

(○はそれぞれ1つ)

	5 分以内	10 分以内	20 分以内	20 分超
ア 身近な商店(日常の買物)	1	2	3	4
イ 大規模な店舗	1	2	3	4
ウ 病院など(通院)	1	2	3	4
エ 福祉施設(デイサービス等)	1	2	3	4
オ 市役所・出張所等(市の手続き等)	1	2	3	4

問 61-2 問 61 の施設へ行くための交通手段は何ですか。

(○はそれぞれ1つ)

	徒歩	自転車・ バイク	自動車	バス	その他
ア 身近な商店(日常の買物)	1	2	3	4	5 ()
イ 大規模な店舗	1	2	3	4	5 ()
ウ 病院など(通院)	1	2	3	4	5 ()
エ 福祉施設(デイサービス等)	1	2	3	4	5 ()
オ 市役所・出張所等(市の手続き等)	1	2	3	4	5 ()

環 境

問 62 よりよい環境づくりのために、本市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 地球温暖化対策の推進 | 10 自然の動植物の保護 |
| 2 川や大気などの汚染対策の推進 | 11 騒音・振動などの公害の未然防止 |
| 3 家庭・事業所等から出るごみの減量 | 12 美しい街並みの保全整備 |
| 4 省資源・省エネルギー活動の推進 | 13 史跡・文化財など歴史的環境の保全 |
| 5 リサイクルの推進 | 14 環境に配慮した市民活動や企業活動への支援 |
| 6 水辺環境の保全 | 15 環境に関する情報の収集と提供 |
| 7 雨水利用など水循環対策の推進 | 16 環境学習・環境教育の推進 |
| 8 公園や緑地など身近な緑の保全 | 17 市民・事業者の自主的な環境活動への支援 |
| 9 自然環境の保全 | 18 その他 () |

3-5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

産 業

問 63 あなたは、本市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。

(○は2つまで)

- | | |
|---|------------------|
| 1 特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興 | 7 企業の誘致 |
| 2 地域ブランド認証制度(※)を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること | 8 起業家への支援 |
| 3 地産地消の推進 | 9 中小企業の経営安定化への支援 |
| 4 農業経営の近代化 | 10 大学や研究所等の誘致 |
| 5 消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興 | 11 観光イベントの充実 |
| 6 既存企業・工場の育成・支援 | 12 他の自治体との産業交流 |
| | 13 その他 () |

※ 地域ブランド認証制度：武蔵村山市内にある魅力ある商品を武蔵村山地域ブランドに認証し、これを広く他の地域に発信、供給して、武蔵村山地域ブランドのブランドイメージの定着と向上を図る事業

景 観

問 64 あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力あるまちなみがよく保全されていると思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 64-2 問 64 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きます。そう思わない理由は。
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 緑地に親しめる公園が少ない | 6 建物が高いなど眺望が悪い |
| 2 水辺に親しめる公園が少ない | 7 屋外広告物(看板・案内板)が目につく |
| 3 農地が少ない、減った | 8 電線・電柱が多い |
| 4 住宅・店舗・工場などが混在している | 9 自転車等が雑然と置かれている |
| 5 建物のデザイン・色彩が統一されていない | 10 その他() |

3－6 計画の推進に向けて

行政運営

問 65 あなたは、本市の行政サービスについてどの程度満足していますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 満足している | 4 どちらかといえば満足していない |
| 2 どちらかといえば満足している | 5 満足していない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 65-2 問 65 で「4」又は「5」と回答された方にお聞きます。その理由は。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 市の職員と接した時の対応が悪かった | 5 要望したものを市役所が対応してくれなかった |
| 2 対応に時間がかかった | 6 手続きが面倒・わずらわしかった |
| 3 事務執務上の誤りがあり、何回も通った | 7 その他() |
| 4 たらいまわしにされた | |

問 66 インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 イベントの申込み | 5 税金などの納付手続き |
| 2 公共施設の予約 | 6 公開されている審議会などの傍聴の申込み |
| 3 許認可の申請 | 7 医療・福祉サービスの申請 |
| 4 証明書発行の申請 | 8 その他 () |

財政運営

問 67 今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。
(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 今後もより一層行政サービスを充実させるため、市民の負担を増やしてでも積極的な財政運営を行うべきである |
| 2 原則として現状のサービスを維持するものの、充実すべき分野とそれ以外の分野を分け、市民の負担の増加を抑えた財政運営を行うべきである |
| 3 行政サービスの質や量、公共施設のあり方などを見直し、市民の負担の増加を極力抑えた財政運営を行うべきである |
| 4 行政サービスを縮小し、市民の負担は原則として増やさず、収入に見合った財政運営を行うべきである |
| 5 その他 () |
| 6 わからない |

問 68 あなたは、受益者負担(※)の原則に立った公共施設使用料の負担の適正化についてどう思いますか。
(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 民間施設と同様に、公共施設（集会施設やスポーツ施設など）の維持管理費などは、原則として全て施設の利用者が負担すべきである |
| 2 公共施設の維持管理費などは、施設の利用者が、一部負担すべきである |
| 3 公共施設なので、施設の利用者が負担する必要はない |
| 4 その他 () |
| 5 わからない |

※ 受益者負担：公共施設の利用などにより、特別の利益を受ける者に対して、相応の負担を課すこと。

広域行政

問 69 あなたは、今後、広域行政でどのような事業を行うべきだと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 スポーツ交流 | 6 イベント情報などの相互発信 |
| 2 文化事業の交流 | 7 農・商・工業などの情報交換 |
| 3 図書館・集会施設の広域利用 | 8 コミュニティバスの連携 |
| 4 スポーツ・文化施設の広域利用 | 9 共同イベントの開催 |
| 5 狭山丘陵などの観光資源の活用 | 10 その他 () |

市のまちづくり施策

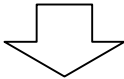
問 70 あなたが特に武蔵村山市で力を入れて欲しいと望まれることは何ですか。次の中から要望の強いものを5つまであげて、高い順に番号を次頁の回答欄に記入してください。

(高い順に5つまで番号で)

分 野	施 策
1. 市民が自ら考え行動するまちづくり	(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
	(2) 都市間交流の促進
	(3) 情報共有の充実
	(4) 市民参加の推進と協働体制の充実
2. 安心していきいきと暮らせるまちづくり	(5) 防災対策の充実・強化
	(6) 消防・救急体制の充実・強化
	(7) 交通安全対策の充実・強化
	(8) 防犯対策の充実・強化
	(9) 健康づくり事業の充実
	(10) スポーツ・レクリエーションの充実
	(11) 保健サービス・医療体制の充実
	(12) 社会保障制度の推進
	(13) 高齢者施策の充実
	(14) 障害者支援の充実
	(15) 子育て支援の推進
	(16) 地域福祉サービスの推進
	(17) 消費生活の安定と向上
	(18) 安定した雇用の確保
3. 誰もが自分らしく成長できるまちづくり	(19) 人権意識の高揚と平和意識の醸成
	(20) 男女共同参画の推進
	(21) 学校教育の整備・推進
	(22) 生涯学習の充実
	(23) 青少年健全育成の推進
4. 快適で暮らしやすいまちづくり	(24) 道路・公共交通（多摩都市モノレール・バス交通等）の整備
	(25) 公園・緑地の整備
	(26) 住宅・宅地の整備
	(27) 適正な土地利用の推進と横田飛行場の軍民共同使用
	(28) ごみの減量化とリサイクルの推進
	(29) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
	(30) 公害対策・環境美化の推進

5. 地域の資源を生かした 特色あるまちづくり	(31) 農業の保全と農地の有効活用
	(32) 商・工業の活性化
	(33) 観光まちづくりの推進
	(34) 自然環境の保全
	(35) 水と緑のネットワークづくりの推進
	(36) 魅力あるまちなみ景観の形成
	(37) 芸術・文化の振興
	(38) 伝統文化・文化財の保護・活用
6. 計画の推進に向けて	(39) 行政運営の推進
	(40) 人事管理の適正化と職員の資質向上
	(41) 財政運営の適正化
	(42) 近隣自治体との連携強化

回答欄



5つ選んで優先順位の高い順に番号を
記入してください

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位

自由意見

問 71 最後に、後期基本計画策定にあたって、市政運営やまちづくりに対する御意見や御要望がありましたら御自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。御協力ありがとうございました。

武蔵村山市民意識調査 報告書

平成26年3月

編集・発行／ 武蔵村山市企画財務部企画政策課
〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1
電話(042)565-1111(代)